科目名	ＳＯＪＯセミナー◎（１工情生学部）	開講学年	1	講義コード	1111101	区分	必修
英文表記	Scholarship Seminar for SOJO Univ. Students	開講期	前期	開講形態		単位数	1
担当教員	冨田健之※ 他						
研究室	本館３０２（冨田健之） 他			オフィスアワー	複数担当のため授業で周知		
メールアドレス	複数担当のため授業で周知 @						
キーワード	学生生活　市民生活　キャリアデザイン　ワークブック　　時間厳守						

授業概要	関連科目
1.本学で学修するにあたって必要な学生生活や市民生活での留意事項、および本学の特色である海外留学・研修等についての説明や講話を聴講することで、学ぶ際の心構え、社会人として備えるべき常識や行動のあり方などを学び、「生徒」から「学生」への転換を図る。 2.聴講ワークブックの作成をとおして、基礎的・汎用的な能力である聴き取る力や文章でまとめる力を養う。 3.授業開始5分前の教室入場を心がけ、時間厳守の重要性を身につける。	「SOJO基礎Ⅰ」「SOJO基礎Ⅱ」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A1	A1
	JABEE基準		ag	ag

JABEE記号		学生の到達度目標
efh	①	講義講話を聴講し、その概要と自身の考えを制限時間内に記述することができる。
fg	②	講義講話全体をとおして、今後の大学生活での行動目標を文章で作成することができる。
g	③	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	90	0	0	10	0	100

教科書	SOJOセミナー2020　崇城大学総合教育センター　SOJOセミナーWG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.市民として社会ルールを守る意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力)を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.ワークブック 90点　★ワークブックは、9回目の「SOJO基礎Ⅰ」の授業日に担当教員に提出する。未提出者の単位は認定しない。 1)授業ごとのワークブック作成　毎回の講義の概要をメモし(書式は任意)、自分の考えを360～400文字でまとめる。なお授業中に担当教員が検印を押す。 8点×9回＝72点 【評価基準】「講話のメモ・概要」未記入・検印なし −4点 「自分の考え」未記入・検印なし −4点 359文字以下 −2点 著しい誤字脱字 −2点 2)ワークブックのレポート「大学生活で身につけたい能力」(630～700文字)を作成する。18点 【評価基準】629文字以下 −8点 未記入 −18点 著しい誤字脱字 −2点 2.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点 「学生の到達度目標」①～③の到達度とその理由を各200～250文字で入力したのち、プリントアウトして9回目の「SOJO基礎Ⅰ」の授業日に、担当教員に提出する。 【評価基準】199文字以下 (項目ごとに)−2点 著しい誤字 −2点 未提出 −10点

学修上の注意 (SBOs)	1.毎回、必ずワークブックを持参すること。 2.教室はSoLAホールで、工学部、生物生命学部、情報学部の3学部合同で実施する。 3.初回授業時に指定する座席に毎回着席すること。 4.授業開始以降の教室への入場を認めず欠席扱いとする。 5.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 6.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 7.ワークブック作成にあたって他人のものを写したり、剽窃（ひょうせつ）をした場合、本科目の単位認定を行わない。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、学生生活	講義 P W	授業内で完成できなかったワークブックの作成	60
	内容	本科目の概要と大学生の学修のありかたについての講話（総合教育センター）PW：個人ワーク ★ワークブックの作成			
2回	テーマ	学生生活をよりよく過ごすために	講義 P W	授業内で完成できなかったワークブックの作成	60
	内容	薬物・喫煙問題、課外活動など、学生生活全般にわたっての学生部長講話 ★ワークブックの作成			
3回	テーマ	市民生活	講義 P W	授業内で完成できなかったワークブックの作成	60
	内容	社会構成員である市民の一員としての責任と義務等についての講話（外部講師、学生部） ★ワークブックの作成			
4回	テーマ	生活上の安全	講義 P W	授業内で完成できなかったワークブックの作成	60
	内容	学外生活における事故やトラブルの回避と対応についての講話（外部講師、学生部） ★ワークブックの作成			
5回	テーマ	お金の問題	講義 P W	授業内で完成できなかったワークブックの作成	60
	内容	お金に関するトラブルの回避と対応についての講話（外部講師、学生部） ★ワークブックの作成			
6回	テーマ	海外留学・研修のすすめ	講義 P W	授業内で完成できなかったワークブックの作成	60
	内容	海外研修プログラム紹介と学生による体験談（SILC、国際交流センター） ★ワークブックの作成			
7回	テーマ	未来のための学び方	講義 P W	授業内で完成できなかったワークブックの作成	60
	内容	未来をよりよく生きていくため、いま必要となる学び方についての講話（外部講師） ★ワークブックの作成			
8回	テーマ	これからの学生生活について	講義 P W	授業内で完成できなかったワークブックの作成 「大学生活で身につけたい能力」のレポート作成 「学修到達度レポート」の作成（プリントアウト） ★すべて9回目の「SOJO基礎Ⅰ」の授業で担当教員に提出	60 120 60
	内容	①インターンシップ、資格取得、SPI（適性検査）等についての講話（就職部） ②1年生前期前半終了時点での振り返りについての講話：ポートフォリオの効力、将来の職業、学生と社会人（総合教育センター） ★ワークブックの作成			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ａ（１機）	開講学年 1	講義コード 1112101	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態	単位数 2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する
研究室	30クラス開講のため授業で周知する
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC

授業概要

1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｂ（１機）	開講学年 1	講義コード 1112102	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態	単位数 2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する
研究室	30クラス開講のため授業で周知する
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC

授業概要

1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査(ナノサイエンス学科:ナノサイエンスを知る)をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法(配点)

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｃ（１機）	開講学年 1	講義コード 1112103	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態	単位数 2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する
研究室	30クラス開講のため授業で周知する
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC

授業概要

1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ａ（１ナ）	開講学年 1	講義コード 1112201	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態	単位数 2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する			
研究室	30クラス開講のため授業で周知する		オフィスアワー 複数クラスのため授業で周知	
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @			
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC			

授業概要	関連科目
1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。	「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査(ナノサイエンス学科:ナノサイエンスを知る)をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｂ（１ナ）	開講学年 1	講義コード 1112202	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態	単位数 2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する			
研究室	30クラス開講のため授業で周知する		オフィスアワー 複数クラスのため授業で周知	
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @			
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC			

授業概要	関連科目
1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。	「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査(ナノサイエンス学科:ナノサイエンスを知る)をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 Ｐ Ｗ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 Ｐ Ｗ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ａ（１建）	開講学年 1	講義コード 1112301	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態	単位数 2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する
研究室	30クラス開講のため授業で周知する
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC

授業概要

1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明　大学で学ぶということ　高校生と大学生・大学生と社会人の違い　SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、　WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS②　今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③　今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説　チーム討議の進め方、BS、KJ法　プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④　今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説　受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案　他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤　今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説　情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説　★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示）　★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備①　★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説　学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｂ（１建）	開講学年	1	講義コード	1112302	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC						

授業概要	関連科目
1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。	「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査(ナノサイエンス学科:ナノサイエンスを知る)をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｃ（１建）	開講学年	1	講義コード	1112303	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する		
研究室	30クラス開講のため授業で周知する	オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @		
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC		

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。	関連科目：「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」
教職関連区分		

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 Ｐ Ｗ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 Ｐ Ｗ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅰ◎（１シス）	開講学年 1	講義コード 1112401	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態	単位数 2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する
研究室	30クラス開講のため授業で周知する
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。
関連科目	「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅰ（１整）	開講学年	1	講義コード	1112501	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC						

授業概要	関連科目
1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。	「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査(ナノサイエンス学科:ナノサイエンスを知る)をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ（１操）	開講学年	1	講義コード	1112601	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC						

授業概要	関連科目
1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。	「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ａ（１情）	開講学年 1	講義コード 1112701	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態	単位数 2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する			
研究室	30クラス開講のため授業で周知する		オフィスアワー 複数クラスのため授業で周知	
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @			
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC			

授業概要	関連科目
1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。	「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査(ナノサイエンス学科:ナノサイエンスを知る)をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｂ（１情）	開講学年	1	講義コード	1112702	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC						

授業概要	関連科目
1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。	「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査(ナノサイエンス学科:ナノサイエンスを知る)をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 Ｐ Ｗ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 Ｐ Ｗ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｃ（１情）	開講学年	1	講義コード	1112703	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC						

授業概要	関連科目
1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。	「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査(ナノサイエンス学科:ナノサイエンスを知る)をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｄ（１情）	開講学年	1	講義コード	1112704	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する
研究室	30クラス開講のため授業で周知する
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。
関連科目	「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 Ｐ Ｗ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 Ｐ Ｗ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｅ（１情）	開講学年	1	講義コード	1112705	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC						

授業概要	関連科目
1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。	「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査(ナノサイエンス学科:ナノサイエンスを知る)をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 Ｐ Ｗ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 Ｐ Ｗ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ａ（１微）	開講学年	1	講義コード	1112801	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する

研究室	30クラス開講のため授業で周知する	オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知

メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @

キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目
「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査(ナノサイエンス学科:ナノサイエンスを知る)をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 Ｐ Ｗ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 Ｐ Ｗ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｂ（１微）	開講学年	1	講義コード	1112802	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC						

授業概要	関連科目
1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。	「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査(ナノサイエンス学科:ナノサイエンスを知る)をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30 60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30 60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30 60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60 60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｃ（１微）	開講学年 1	講義コード 1112803	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態	単位数 2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する			
研究室	30クラス開講のため授業で周知する		オフィスアワー 複数クラスのため授業で周知	
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @			
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC			

授業概要

1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ａ（１生）	開講学年	1	講義コード	1112901	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する

研究室	30クラス開講のため授業で周知する	オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知

メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @

キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目
「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｂ（１生）	開講学年	1	講義コード	1112902	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC						

授業概要	関連科目
1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。	「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査(ナノサイエンス学科:ナノサイエンスを知る)をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｃ（１生）	開講学年	1	講義コード	1112903	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する

研究室	30クラス開講のため授業で周知する	オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知

メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @

キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目
「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A4	A4
		JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査(ナノサイエンス学科:ナノサイエンスを知る)をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎（再履修）	開講学年 1	講義コード 1113001	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態	単位数 2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する			
研究室	30クラス開講のため授業で周知する		オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @			
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC			

授業概要	関連科目
1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。	「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査(ナノサイエンス学科:ナノサイエンスを知る)をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える（キャリアデザイン）意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力（文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力）を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート：「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容：A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表（プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」）チーム発表：7分　（しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料）5点　3.成果発表（プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」）　①チーム発表：10分（しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料）10点　②チーム活動報告書：チームで1部提出（PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析）5点　4.作品：授業資料（テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示）を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ：入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ：「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ：学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他：時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点（公認欠席等を除く）　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎（旧カリ）前期（旧キャリア基礎Ｉ修得者）	開講学年	1	講義コード	1113101	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する
研究室	30クラス開講のため授業で周知する
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC

授業概要

1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ａ（薬）	開講学年 1	講義コード 1113201	区分 選必
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students (Department of Pharmaceutical sciences)	開講期 前期	開講形態	単位数 2
担当教員	複数クラスのため授業で周知する			
研究室	複数クラスのため授業で周知する	オフィスアワー 複数クラスのため授業で周知する		
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知する@			
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WS			

授業概要

1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学6年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

キャリアプレコーオプ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準		fghi	fghi	

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と時事WSの作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	薬学科HPの調査をとおして6年間の学修内容を確認し、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書

SOJO基礎（薬学）2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書

適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:薬学関係 A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、参考文献2件以上、本文1200文字以上(参考文献の注は含まない) 10点　2.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」書式は同上　内容:①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 5点　3.成果発表(プレゼンテーションA)　チーム発表:7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　4.成果発表(プレゼンテーションB)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、投影画面、参考資料、質疑応答) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　5.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　6.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①～⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他:時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション　SOJO基礎の概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12:00とする。5月連休期間中、曜日振り替え週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは5回目の授業日に印刷して提出。	30　60
	内容	シラバスの説明　大学で学ぶということ　高校生と大学生、大学生と社会人の違い　SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領　時事WS			
2回	テーマ	チーム討議の方法　プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備①	講義　GW：グループワーク	時事WS②　今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	チーム編成、チーム討議の進め方、BS、KJ法　プレゼンテーションの基礎技法　薬学科HPの改善案、新作案、他大学薬学科HPとの比較、章立て、役割分担			
3回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	事WS③　今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	情報収集、内容討議　時事WS①の返却・解答・解説			
4回	テーマ	プレゼンテーションA準備③	GW	時事WS④　今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成　時事WS②の返却・解答・解説			
5回	テーマ	発表会「薬学科HP探究」	GW	時事WS⑤　今週の活動とトップニュース④	30　60
	内容	★全チーム発表資料の提出　チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評　時事WS③の返却・解答・解説			
6回	テーマ	文章作成の基本①	講義　PW	今週の活動とトップニュース⑤　レポート作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説　レポート作成の概要　タイトル設定、概要、章立て、本文1200文字以上（参考文献の注は文字数に含めない）、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、A4用紙2枚以上になる場合は両面印刷【テーマ】・薬学部学生としてのありかた　・薬剤師（医療人）としての使命と役割とはなにか　・薬学教育の4年制から6年制への移行の是非			
7回	テーマ	文章作成の基本②	PW	今週の活動とトップニュース⑥　レポート作成	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説　レポートの作成			
8回	テーマ	文章作成の基本③	PW	今週の活動とトップニュース⑦　レポート作成（次回提出）	60　60
	内容	レポートの作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB「薬学・薬剤に関する諸問題」準備①	GW	今週の活動とトップニュース⑧　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議【テーマ】（例）・AI時代における薬剤師の役割と諸課題、およびその解決方法の提案　・薬剤関係業界の諸問題とその解決方法の提案			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑨　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
12回	テーマ	発表会「薬学・薬剤に関する諸問題」①	ＧＷ	今週の活動とトップニュー⑪ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出 チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
13回	テーマ	発表会「薬学・薬剤に関する諸問題」②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成（次回提出）	60 60 60
	内容	チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
14回	テーマ	プレゼンテーション反省討議	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー チーム活動報告書 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 60 30
	内容	チーム活動報告書作成の討議 学修到達度レポート作成 授業資料バインダー整理（次回授業で点検）			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期の担任面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 授業資料バインダーの点検、出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｂ（薬）	開講学年 1	講義コード 1113202	区分 選必
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students (Department of Pharmaceutical sciences)	開講期 前期	開講形態	単位数 2

担当教員	複数クラスのため授業で周知する
研究室	複数クラスのため授業で周知する
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知する
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知する@
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WS

授業概要

1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学6年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

キャリアプレコーオプ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準		fghi	fghi	

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と時事WSの作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	薬学科HPの調査をとおして6年間の学修内容を確認し、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎（薬学）2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:薬学関係 A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、参考文献2件以上、本文1200文字以上(参考文献の注は含まない) 10点　2.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」書式は同上　内容:①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 5点　3.成果発表(プレゼンテーションA)　チーム発表:7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　4.成果発表(プレゼンテーションB)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、投影画面、参考資料、質疑応答) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　5.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　6.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①～⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他:時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション　SOJO基礎の概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12:00とする。5月連休期間中、曜日振り替え週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは5回目の授業日に印刷して提出。	30　60
	内容	シラバスの説明　大学で学ぶということ　高校生と大学生、大学生と社会人の違い　SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領　時事WS			
2回	テーマ	チーム討議の方法　プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備①	講義　GW：グループワーク	時事WS②　今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	チーム編成、チーム討議の進め方、BS、KJ法　プレゼンテーションの基礎技法　薬学科HPの改善案、新作案、他大学薬学科HPとの比較、章立て、役割分担			
3回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	事WS③　今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	情報収集、内容討議　時事WS①の返却・解答・解説			
4回	テーマ	プレゼンテーションA準備③	GW	時事WS④　今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成　時事WS②の返却・解答・解説			
5回	テーマ	発表会「薬学科HP探究」	GW	時事WS⑤　今週の活動とトップニュース④	30　60
	内容	★全チーム発表資料の提出　チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評　時事WS③の返却・解答・解説			
6回	テーマ	文章作成の基本①	講義　PW	今週の活動とトップニュース⑤　レポート作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説　レポート作成の概要　タイトル設定、概要、章立て、本文1200文字以上（参考文献の注は文字数に含めない）、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、A4用紙2枚以上になる場合は両面印刷【テーマ】・薬学部学生としてのありかた　・薬剤師（医療人）としての使命と役割とはなにか　・薬学教育の4年制から6年制への移行の是非			
7回	テーマ	文章作成の基本②	PW	今週の活動とトップニュース⑥　レポート作成	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説　レポートの作成			
8回	テーマ	文章作成の基本③	PW	今週の活動とトップニュース⑦　レポート作成（次回提出）	60　60
	内容	レポートの作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB「薬学・薬剤に関する諸問題」準備①	GW	今週の活動とトップニュース⑧　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議【テーマ】（例）・AI時代における薬剤師の役割と諸課題、およびその解決方法の提案　・薬剤関係業界の諸問題とその解決方法の提案			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑨　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
12回	テーマ	発表会「薬学・薬剤に関する諸問題」①	ＧＷ	今週の活動とトップニュー⑪ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出 チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
13回	テーマ	発表会「薬学・薬剤に関する諸問題」②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成（次回提出）	60 60 60
	内容	チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
14回	テーマ	プレゼンテーション反省討議	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー チーム活動報告書 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 60 30
	内容	チーム活動報告書作成の討議 学修到達度レポート作成 授業資料バインダー整理（次回授業で点検）			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期の担任面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 授業資料バインダーの点検、出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｃ（薬）	開講学年	1	講義コード	1113203	区分	選必
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students (Department of Pharmaceutical sciences)	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	複数クラスのため授業で周知する
研究室	複数クラスのため授業で周知する
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知する
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知する@
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WS
授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学6年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目
キャリアプレコーオプ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準		fghi	fghi	

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と時事WSの作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	薬学科HPの調査をとおして6年間の学修内容を確認し、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎（薬学）2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:薬学関係 A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、参考文献2件以上、本文1200文字以上(参考文献の注は含まない) 10点　2.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」書式は同上　内容:①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 5点　3.成果発表(プレゼンテーションA)　チーム発表:7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　4.成果発表(プレゼンテーションB)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、投影画面、参考資料、質疑応答) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　5.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　6.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①～⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他:時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション　SOJO基礎の概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振り替え週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは5回目の授業日に印刷して提出。	30　60
	内容	シラバスの説明　大学で学ぶということ　高校生と大学生、大学生と社会人の違い　SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領　時事WS			
2回	テーマ	チーム討議の方法　プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備①	講義　GW：グループワーク	時事WS②　今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	チーム編成、チーム討議の進め方、BS、KJ法　プレゼンテーションの基礎技法　薬学科HPの改善案、新作案、他大学薬学科HPとの比較、章立て、役割分担			
3回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	事WS③　今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	情報収集、内容討議　時事WS①の返却・解答・解説			
4回	テーマ	プレゼンテーションA準備③	GW	時事WS④　今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成　時事WS②の返却・解答・解説			
5回	テーマ	発表会「薬学科HP探究」	GW	時事WS⑤　今週の活動とトップニュース④	30　60
	内容	★全チーム発表資料の提出　チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評　時事WS③の返却・解答・解説			
6回	テーマ	文章作成の基本①	講義　PW	今週の活動とトップニュース⑤　レポート作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説　レポート作成の概要　タイトル設定、概要、章立て、本文1200文字以上（参考文献の注は文字数に含めない）、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、A4用紙2枚以上になる場合は両面印刷【テーマ】・薬学部学生としてのありかた　・薬剤師（医療人）としての使命と役割とはなにか　・薬学教育の4年制から6年制への移行の是非			
7回	テーマ	文章作成の基本②	PW	今週の活動とトップニュース⑥　レポート作成	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説　レポートの作成			
8回	テーマ	文章作成の基本③	PW	今週の活動とトップニュース⑦　レポート作成（次回提出）	60　60
	内容	レポートの作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB「薬学・薬剤に関する諸問題」準備①	GW	今週の活動とトップニュース⑧　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議【テーマ】（例）・AI時代における薬剤師の役割と諸課題、およびその解決方法の提案　・薬剤関係業界の諸問題とその解決方法の提案			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑨　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
12回	テーマ	発表会「薬学・薬剤に関する諸問題」①	ＧＷ	今週の活動とトップニュー⑪ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出 チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
13回	テーマ	発表会「薬学・薬剤に関する諸問題」②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成（次回提出）	60 60 60
	内容	チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
14回	テーマ	プレゼンテーション反省討議	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー チーム活動報告書 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 60 30
	内容	チーム活動報告書作成の討議 学修到達度レポート作成 授業資料バインダー整理（次回授業で点検）			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期の担任面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 授業資料バインダーの点検、出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｄ（薬）	開講学年	1	講義コード	1113204	区分	選必
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students (Department of Pharmaceutical sciences)	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	複数クラスのため授業で周知する
研究室	複数クラスのため授業で周知する
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知する
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知する@
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WS
授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学6年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目
キャリアプレコーオプ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準		fghi	fghi	

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と時事WSの作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	薬学科HPの調査をとおして6年間の学修内容を確認し、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎（薬学）2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:薬学関係 A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、参考文献2件以上、本文1200文字以上(参考文献の注は含まない) 10点　2.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」書式は同上　内容:①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 5点　3.成果発表(プレゼンテーションA)　チーム発表:7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　4.成果発表(プレゼンテーションB)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、投影画面、参考資料、質疑応答) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　5.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　6.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①～⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他:時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション　SOJO基礎の概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振り替え週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは5回目の授業日に印刷して提出。	30　60
	内容	シラバスの説明　大学で学ぶということ　高校生と大学生、大学生と社会人の違い　SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領　時事WS			
2回	テーマ	チーム討議の方法　プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備①	講義　GW：グループワーク	時事WS②　今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60　60
	内容	チーム編成、チーム討議の進め方、BS、KJ法　プレゼンテーションの基礎技法　薬学科HPの改善案、新作案、他大学薬学科HPとの比較、章立て、役割分担			
3回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	事WS③　今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60　60
	内容	情報収集、内容討議　時事WS①の返却・解答・解説			
4回	テーマ	プレゼンテーションA準備③	GW	時事WS④　今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成　時事WS②の返却・解答・解説			
5回	テーマ	発表会「薬学科HP探究」	GW	時事WS⑤　今週の活動とトップニュース④	30　60
	内容	★全チーム発表資料の提出　チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評　時事WS③の返却・解答・解説			
6回	テーマ	文章作成の基本①	講義　PW	今週の活動とトップニュース⑤　レポート作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説　レポート作成の概要　タイトル設定、概要、章立て、本文1200文字以上（参考文献の注は文字数に含めない）、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、A4用紙2枚以上になる場合は両面印刷【テーマ】・薬学部学生としてのありかた　・薬剤師（医療人）としての使命と役割とはなにか　・薬学教育の4年制から6年制への移行の是非			
7回	テーマ	文章作成の基本②	PW	今週の活動とトップニュース⑥　レポート作成	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説　レポートの作成			
8回	テーマ	文章作成の基本③	PW	今週の活動とトップニュース⑦　レポート作成（次回提出）	60　60
	内容	レポートの作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB「薬学・薬剤に関する諸問題」準備①	GW	今週の活動とトップニュース⑧　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議【テーマ】（例）・AI時代における薬剤師の役割と諸課題、およびその解決方法の提案　・薬剤関係業界の諸問題とその解決方法の提案			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑨　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
12回	テーマ	発表会「薬学・薬剤に関する諸問題」①	ＧＷ	今週の活動とトップニュー⑪ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出 チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
13回	テーマ	発表会「薬学・薬剤に関する諸問題」②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成（次回提出）	60 60 60
	内容	チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
14回	テーマ	プレゼンテーション反省討議	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー チーム活動報告書 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 60 30
	内容	チーム活動報告書作成の討議 学修到達度レポート作成 授業資料バインダー整理（次回授業で点検）			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期の担任面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 授業資料バインダーの点検、出席確認、総評			

科目名	情報処理基礎◎（１機）	開講学年	1	講義コード	1114301	区分	必修
英文表記	Introduction to Computers	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	川本 正道		
研究室	F311	オフィスアワー	火曜日3限４限、金曜日
メールアドレス	kawamoto@cis.sojo-u.ac.jp		
キーワード	情報リテラシー　情報フルエンシー　情報活用能力		

授業概要

ICT（情報通信技術）の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。ICT機器を道具として使いこなし、膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、いわゆる情報リテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。この授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力（情報フルエンシー）を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。　演習室のPCを使う実習中心の授業であるが、自分のノートPCを持ち込んで積極的に活用する事を推奨している。できるだけ最新の話題を盛り込みながら講義と演習を行う。資料配布、レポート提出、テスト、アンケート等にWebClassを利用する事で、時間や場所に縛られず事前学習や復習、課題演習、質問等ができるようにしている。各種資料を参照しながらICTを使って日常的に学修する習慣を身につけてほしい。PCに関しては高校までの習熟度に差がある為、それぞれの理解度に合わせた習熟を図っている。また各回の内容は授業の進捗にあわせて前後する場合がある。

関連科目

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,d,e,f	a,d,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
a,e	①	インターネット上の情報を適切に評価し、正しく利用することができる。
f	②	学内システムやネットを利用して円滑なコミュニケーションを行うことができる。
d	③	タッチタイピングをマスターし、基本的なOfficeソフトを利用することができる。
a,d,e	④	基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルを習得する。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
		20	28	23	24	0	5	0	100

教科書	WebClass上で資料を配布する
参考書	

予備知識	1回目から3回目は授業時間の一部を使って、各種学内手続きに利用する学内システムや、他の科目で必要となるノートPCの利用方法等の説明を行う。できるだけ自分のノートPCを持参して設定と動作を確認することを推奨する。
DP との 関連	「社会の多種多様な問題を解決するため、課題発見・問題解決能力を身につけたもの」の基本的素養となる情報機器の実践的な活用力を身につける事を目標としている。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1）授業の中で4回小テストを実施する（実施日と範囲は授業計画を参照すること）。 2）プレゼン、表計算、文書作成については課題の提出を求め、その内容をレポート点として評価する。 3）授業の中で実際に電子メール・掲示板・SNS等を利用して演習を実施し、双方向のやりとりを行いながらこれを実技点として評価する。 4）タッチタイピングの習熟度を練習ソフトの練習記録とスコアを元に算出し、実技点として評価に加える。 5）15回目の授業の中でまとめの試験を実施する。　上記を総合して成績を算出する。課題を期日までに提出する事が重要なポイントとなる。

学修上の注意 (SBOs)	・タッチタイピングはPCを活用する上で必須の技能なので必ず習得する事を勧めている。TypeQuickという練習ソフトを使って各自空き時間に練習して習得する方法を用い、まとめのテスト時のスコアを成績に反映させる。 ・資料の配布や課題の提出にはWebClassというLMS（学習管理システム）を利用し連絡事項もその中で行う。WebClassは学外からもアクセス可能でスマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用してほしい。 ・授業は主にスライドを使って進めるが、授業中や授業後もWebClassで閲覧できるようにしている。 ・毎回の授業終了時に簡単な匿名アンケート（理解度、授業の速さ、自由記述欄）を実施するので、質問や授業に対する意見等に活用して欲しい。 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有する。課題は自分の学修成果を発表する媒体だと考えて取り組む事。 ・レポート等提出物におけるコピー＆ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は不正行為とみなす。正しい引用を心がける事。 ・授業の進捗を考慮して授業計画を一部変更する可能性がある。この場合はWebClassで事前に周知する。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	情報リテラシー入門1	講義　演習	学内で利用する個別のパスワードの扱いを学習した後は、学内システムを積極的に利用することで操作に慣れる。宿所登録等を例題として完了させる。	60
	内容	学内システム（ポータルサイト、学内無線LAN、WebClass）の利用ガイダンス及び各自のノートPC利用支援			
2回	テーマ	情報リテラシー入門2	講義　演習	キーボードを見ないで入力できるようになる（タッチタイピング）はPCを道具として使う際に必須。苦手な人は日常的に練習を行ってできるだけ早く修得する。	120
	内容	検索サイトの利用、タッチタイピングの重要性と練習方法、Office365入門（Officeソフト、電子メール基礎）			
3回	テーマ	プレゼンテーション入門1	講義　演習	例題にそってPowerPointスライドを完成させWebClass上で提出する。	60
	内容	デジタルプレゼンテーション入門、内容の組み立て（SDS法とPREP法）、PowerPointの基本操作と例題作成			
4回	テーマ	情報リテラシー入門3　文書作成1	講義　演習	大学のメールアドレスを使って、1対1、1対多のやりとりを修得する。	90
	内容	電子メール応用（署名、テキスト形式、添付）メーリングリストの利用 スマートフォンでの送受信 WORDを使ったレポート提出			
5回	テーマ	各種ツールの利用1	講義　演習	グループ学習に必要なサービスの利用方法を修得し実際に利用してみる。	60
	内容	*小テスト1回目 Office365グループによるスケジュールやファイルの共有 Teamsによるオンラインチャット OneDriveの利用方法			
6回	テーマ	各種ツールの利用2	講義　演習	ネットワーク上でファイルの効率的なやりとりを行う為に共有リンクの作成方法を修得し、クラス内で自分の文書を公開してみる。	90
	内容	コンピュータの仕組み ファイルのアップロード 共有リンクの作成 掲示板への投稿			
7回	テーマ	情報とデータ	講義　演習	情報とデータに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	*小テスト2回目 コンピュータの歴史 情報とデータ（ビットとバイト、補助単位）			
8回	テーマ	インターネット入門	講義　演習	インターネットとネットワークに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	*小テスト3回目 インターネットの歴史 インターネットの基礎知識（IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス）			
9回	テーマ	プログラミング入門	講義　演習	授業で動かしたサンプルプログラムを改変し、どのように出力が変化するか試す。紹介されたプログラミング環境についても興味があれば試してみる。	120
	内容	*小テスト4回目 プログラムの基本、フローチャート、制御、実際に作って動かす演習（Snap!）			
10回	テーマ	文書作成2	講義　演習	レポート課題の作成に向けて、WORDの基本的な操作を復習する。	60
	内容	レポートの書き方の基本 レポート課題に必要なWORDの機能（インデント、脚注、図の挿入） 三角ロジック、S-C-Qモデル、正しい引用 大学生のコピペ問題			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	著作権入門	講義　演習	著作権に関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	著作者人格権と著作財産権　著作権の保護期間　クリエイティブ・コモンズ　フェアユース			
12回	テーマ	文書作成3　表計算入門1	講義　演習	レポート課題を提出期限までに完成させる。	120
	内容	レポート課題提出　Excel入門（関数、オートフィル、相対参照、絶対参照、罫線、グラフの挿入、条件付き書式）			
13回	テーマ	表計算入門2他	講義　演習	Excelの基本的機能を使った例題を完成させて提出する。 簡単なプレゼンテーション課題を作成する。	60
	内容	Excel応用（RANK関数、IF関数、オートフィルター、ExcelとWORDの連携）プレゼンテーション入門2（PowerPointの新しい機能、PreziとSway）			
14回	テーマ	情報セキュリティと情報モラル	講義　演習	情報セキュリティと情報モラルに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	60
	内容	パスワード管理ツール　多段階認証の使い方　フェイクニュースやネット依存等のインターネットに関する様々な問題			
15回	テーマ	まとめと振り返り	講義　演習	Typingの練習とまとめの試験の準備をしておく。	90
	内容	タイピングスキルの測定　情報活用自己診断アンケート　まとめの試験			

科目名	情報処理基礎◎（１ナ）	開講学年	1	講義コード	1114401	区分	必修
英文表記	Introduction to Computers	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	川本 正道

研究室	F311	オフィスアワー	火曜日3限４限、金曜日

メールアドレス	kawamoto@cis.sojo-u.ac.jp

キーワード	情報リテラシー　情報フルエンシー　情報活用能力

授業概要	ICT（情報通信技術）の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。ICT機器を道具として使いこなし、膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、いわゆる情報リテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。この授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力（情報フルエンシー）を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。　演習室のPCを使う実習中心の授業であるが、自分のノートPCを持ち込んで積極的に活用する事を推奨している。できるだけ最新の話題を盛り込みながら講義と演習を行う。資料配布、レポート提出、テスト、アンケート等にWebClassを利用する事で、時間や場所に縛られず事前学習や復習、課題演習、質問等ができるようにしている。各種資料を参照しながらICTを使って日常的に学修する習慣を身につけてほしい。PCに関しては高校までの習熟度に差がある為、それぞれの理解度に合わせた習熟を図っている。また各回の内容は授業の進捗にあわせて前後する場合がある。

関連科目				
	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,d,e,f	a,d,e,f

教職関連区分	

JABEE記号		学生の到達度目標
a,e	①	インターネット上の情報を適切に評価し、正しく利用することができる。
f	②	学内システムやネットを利用して円滑なコミュニケーションを行うことができる。
d	③	タッチタイピングをマスターし、基本的なOfficeソフトを利用することができる。
a,d,e	④	基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルを習得する。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
		20	28	23	24	0	5	0	100

教科書	WebClass上で資料を配布する

参考書	

予備知識	1回目から3回目は授業時間の一部を使って、各種学内手続きに利用する学内システムや、他の科目で必要となるノートPCの利用方法等の説明を行う。できるだけ自分のノートPCを持参して設定と動作を確認することを推奨する。
DP との 関連	「社会の多種多様な問題を解決するため、課題発見・問題解決能力を身につけたもの」の基本的素養となる情報機器の実践的な活用力を身につける事を目標としている。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1）授業の中で4回小テストを実施する（実施日と範囲は授業計画を参照すること）。 2）プレゼン、表計算、文書作成については課題の提出を求め、その内容をレポート点として評価する。 3）授業の中で実際に電子メール・掲示板・SNS等を利用して演習を実施し、双方向のやりとりを行いながらこれを実技点として評価する。 4）タッチタイピングの習熟度を練習ソフトの練習記録とスコアを元に算出し、実技点として評価に加える。 5）15回目の授業の中でまとめの試験を実施する。　上記を総合して成績を算出する。課題を期日までに提出する事が重要なポイントとなる。

学修上の注意 (SBOs)	・タッチタイピングはPCを活用する上で必須の技能なので必ず習得する事を勧めている。TypeQuickという練習ソフトを使って各自空き時間に練習して習得する方法を用い、まとめのテスト時のスコアを成績に反映させる。 ・資料の配布や課題の提出にはWebClassというLMS（学習管理システム）を利用し連絡事項もその中で行う。WebClassは学外からもアクセス可能でスマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用してほしい。 ・授業は主にスライドを使って進めるが、授業中や授業後もWebClassで閲覧できるようにしている。 ・毎回の授業終了時に簡単な匿名アンケート（理解度、授業の速さ、自由記述欄）を実施するので、質問や授業に対する意見等に活用して欲しい。 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有する。課題は自分の学修成果を発表する媒体だと考えて取り組む事。 ・レポート等提出物におけるコピー＆ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は不正行為とみなす。正しい引用を心がける事。 ・授業の進捗を考慮して授業計画を一部変更する可能性がある。この場合はWebClassで事前に周知する。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	情報リテラシー入門1	講義　演習	学内で利用する個別のパスワードの扱いを学習した後は、学内システムを積極的に利用することで操作に慣れる。宿所登録等を例題として完了させる。	60
	内容	学内システム（ポータルサイト、学内無線LAN、WebClass）の利用ガイダンス及び各自のノートPC利用支援			
2回	テーマ	情報リテラシー入門2	講義　演習	キーボードを見ないで入力できるようになる（タッチタイピング）はPCを道具として使う際に必須。苦手な人は日常的に練習を行ってできるだけ早く修得する。	120
	内容	検索サイトの利用、タッチタイピングの重要性と練習方法、Office365入門（Officeソフト、電子メール基礎）			
3回	テーマ	プレゼンテーション入門1	講義　演習	例題にそってPowerPointスライドを完成させWebClass上で提出する。	60
	内容	デジタルプレゼンテーション入門、内容の組み立て（SDS法とPREP法）、PowerPointの基本操作と例題作成			
4回	テーマ	情報リテラシー入門3　文書作成1	講義　演習	大学のメールアドレスを使って、1対1、1対多のやりとりを修得する。	90
	内容	電子メール応用（署名、テキスト形式、添付）メーリングリストの利用 スマートフォンでの送受信 WORDを使ったレポート提出			
5回	テーマ	各種ツールの利用1	講義　演習	グループ学習に必要なサービスの利用方法を修得し実際に利用してみる。	60
	内容	*小テスト1回目 Office365グループによるスケジュールやファイルの共有 Teamsによるオンラインチャット OneDriveの利用方法			
6回	テーマ	各種ツールの利用2	講義　演習	ネットワーク上でファイルの効率的なやりとりを行う為に共有リンクの作成方法を修得し、クラス内で自分の文書を公開してみる。	90
	内容	コンピュータの仕組み ファイルのアップロード 共有リンクの作成 掲示板への投稿			
7回	テーマ	情報とデータ	講義　演習	情報とデータに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	*小テスト2回目 コンピュータの歴史 情報とデータ（ビットとバイト、補助単位）			
8回	テーマ	インターネット入門	講義　演習	インターネットとネットワークに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	*小テスト3回目 インターネットの歴史 インターネットの基礎知識（IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス）			
9回	テーマ	プログラミング入門	講義　演習	授業で動かしたサンプルプログラムを改変し、どのように出力が変化するか試す。紹介されたプログラミング環境についても興味があれば試してみる。	120
	内容	*小テスト4回目 プログラムの基本、フローチャート、制御、実際に作って動かす演習（Snap!）			
10回	テーマ	文書作成2	講義　演習	レポート課題の作成に向けて、WORDの基本的な操作を復習する。	60
	内容	レポートの書き方の基本 レポート課題に必要なWORDの機能（インデント、脚注、図の挿入） 三角ロジック、S-C-Qモデル、正しい引用 大学生のコピペ問題			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	著作権入門	講義　演習	著作権に関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	著作者人格権と著作財産権　著作権の保護期間　クリエイティブ・コモンズ　フェアユース			
12回	テーマ	文書作成3　表計算入門1	講義　演習	レポート課題を提出期限までに完成させる。	120
	内容	レポート課題提出　Excel入門（関数、オートフィル、相対参照、絶対参照、罫線、グラフの挿入、条件付き書式）			
13回	テーマ	表計算入門2他	講義　演習	Excelの基本的機能を使った例題を完成させて提出する。 簡単なプレゼンテーション課題を作成する。	60
	内容	Excel応用（RANK関数、IF関数、オートフィルター、ExcelとWORDの連携）プレゼンテーション入門2（PowerPointの新しい機能、PreziとSway）			
14回	テーマ	情報セキュリティと情報モラル	講義　演習	情報セキュリティと情報モラルに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	60
	内容	パスワード管理ツール　多段階認証の使い方　フェイクニュースやネット依存等のインターネットに関する様々な問題			
15回	テーマ	まとめと振り返り	講義　演習	Typingの練習とまとめの試験の準備をしておく。	90
	内容	タイピングスキルの測定　情報活用自己診断アンケート　まとめの試験			

科目名	情報処理基礎◎（１建）	開講学年	1	講義コード	1114501	区分	必修
英文表記	Introduction to Computers	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	川本 正道

研究室	F311	オフィスアワー	火曜日3限４限、金曜日

メールアドレス	kawamoto@cis.sojo-u.ac.jp

キーワード	情報リテラシー　情報フルエンシー　情報活用能力

授業概要

ICT（情報通信技術）の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。ICT機器を道具として使いこなし、膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、いわゆる情報リテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。この授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力（情報フルエンシー）を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。　演習室のPCを使う実習中心の授業であるが、自分のノートPCを持ち込んで積極的に活用する事を推奨している。できるだけ最新の話題を盛り込みながら講義と演習を行う。資料配布、レポート提出、テスト、アンケート等にWebClassを利用する事で、時間や場所に縛られず事前学習や復習、課題演習、質問等ができるようにしている。各種資料を参照しながらICTを使って日常的に学修する習慣を身につけてほしい。PCに関しては高校までの習熟度に差がある為、それぞれの理解度に合わせた習熟を図っている。また各回の内容は授業の進捗にあわせて前後する場合がある。

関連科目

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,d,e,f	a,d,e,f

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
a,e	①	インターネット上の情報を適切に評価し、正しく利用することができる。
f	②	学内システムやネットを利用して円滑なコミュニケーションを行うことができる。
d	③	タッチタイピングをマスターし、基本的なOfficeソフトを利用することができる。
a,d,e	④	基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルを習得する。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
		20	28	23	24	0	5	0	100

教科書	WebClass上で資料を配布する

参考書	

予備知識	1回目から3回目は授業時間の一部を使って、各種学内手続きに利用する学内システムや、他の科目で必要となるノートPCの利用方法等の説明を行う。できるだけ自分のノートPCを持参して設定と動作を確認することを推奨する。
DP との 関連	「社会の多種多様な問題を解決するため、課題発見・問題解決能力を身につけたもの」の基本的素養となる情報機器の実践的な活用力を身につける事を目標としている。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1）授業の中で4回小テストを実施する（実施日と範囲は授業計画を参照すること）。 2）プレゼン、表計算、文書作成については課題の提出を求め、その内容をレポート点として評価する。 3）授業の中で実際に電子メール・掲示板・SNS等を利用して演習を実施し、双方向のやりとりを行いながらこれを実技点として評価する。 4）タッチタイピングの習熟度を練習ソフトの練習記録とスコアを元に算出し、実技点として評価に加える。 5）15回目の授業の中でまとめの試験を実施する。　上記を総合して成績を算出する。課題を期日までに提出する事が重要なポイントとなる。

学修上の注意 (SBOs)	・タッチタイピングはPCを活用する上で必須の技能なので必ず習得する事を勧めている。TypeQuickという練習ソフトを使って各自空き時間に練習して習得する方法を用い、まとめのテスト時のスコアを成績に反映させる。 ・資料の配布や課題の提出にはWebClassというLMS（学習管理システム）を利用し連絡事項もその中で行う。WebClassは学外からもアクセス可能でスマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用してほしい。 ・授業は主にスライドを使って進めるが、授業中や授業後もWebClassで閲覧できるようにしている。 ・毎回の授業終了時に簡単な匿名アンケート（理解度、授業の速さ、自由記述欄）を実施するので、質問や授業に対する意見等に活用して欲しい。 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有する。課題は自分の学修成果を発表する媒体だと考えて取り組む事。 ・レポート等提出物におけるコピー＆ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は不正行為とみなす。正しい引用を心がける事。 ・授業の進捗を考慮して授業計画を一部変更する可能性がある。この場合はWebClassで事前に周知する。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	情報リテラシー入門1	講義　演習	学内で利用する個別のパスワードの扱いを学習した後は、学内システムを積極的に利用することで操作に慣れる。宿所登録等を例題として完了させる。	60
	内容	学内システム（ポータルサイト、学内無線LAN、WebClass）の利用ガイダンス及び各自のノートPC利用支援			
2回	テーマ	情報リテラシー入門2	講義　演習	キーボードを見ないで入力できるようになる（タッチタイピング）はPCを道具として使う際に必須。苦手な人は日常的に練習を行ってできるだけ早く修得する。	120
	内容	検索サイトの利用、タッチタイピングの重要性と練習方法、Office365入門（Officeソフト、電子メール基礎）			
3回	テーマ	プレゼンテーション入門1	講義　演習	例題にそってPowerPointスライドを完成させWebClass上で提出する。	60
	内容	デジタルプレゼンテーション入門、内容の組み立て（SDS法とPREP法）、PowerPointの基本操作と例題作成			
4回	テーマ	情報リテラシー入門3　文書作成1	講義　演習	大学のメールアドレスを使って、1対1、1対多のやりとりを修得する。	90
	内容	電子メール応用（署名、テキスト形式、添付）メーリングリストの利用 スマートフォンでの送受信 WORDを使ったレポート提出			
5回	テーマ	各種ツールの利用1	講義　演習	グループ学習に必要なサービスの利用方法を修得し実際に利用してみる。	60
	内容	*小テスト1回目 Office365グループによるスケジュールやファイルの共有 Teamsによるオンラインチャット OneDriveの利用方法			
6回	テーマ	各種ツールの利用2	講義　演習	ネットワーク上でファイルの効率的なやりとりを行う為に共有リンクの作成方法を修得し、クラス内で自分の文書を公開してみる。	90
	内容	コンピュータの仕組み ファイルのアップロード 共有リンクの作成 掲示板への投稿			
7回	テーマ	情報とデータ	講義　演習	情報とデータに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	*小テスト2回目 コンピュータの歴史 情報とデータ（ビットとバイト、補助単位）			
8回	テーマ	インターネット入門	講義　演習	インターネットとネットワークに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	*小テスト3回目 インターネットの歴史 インターネットの基礎知識（IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス）			
9回	テーマ	プログラミング入門	講義　演習	授業で動かしたサンプルプログラムを改変し、どのように出力が変化するか試す。紹介されたプログラミング環境についても興味があれば試してみる。	120
	内容	*小テスト4回目 プログラムの基本、フローチャート、制御、実際に作って動かす演習（Snap!）			
10回	テーマ	文書作成2	講義　演習	レポート課題の作成に向けて、WORDの基本的な操作を復習する。	60
	内容	レポートの書き方の基本 レポート課題に必要なWORDの機能（インデント、脚注、図の挿入） 三角ロジック、S-C-Qモデル、正しい引用 大学生のコピペ問題			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	著作権入門	講義　演習	著作権に関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	著作者人格権と著作財産権　著作権の保護期間　クリエイティブ・コモンズ　フェアユース			
12回	テーマ	文書作成3　表計算入門1	講義　演習	レポート課題を提出期限までに完成させる。	120
	内容	レポート課題提出　Excel入門（関数、オートフィル、相対参照、絶対参照、罫線、グラフの挿入、条件付き書式）			
13回	テーマ	表計算入門2他	講義　演習	Excelの基本的機能を使った例題を完成させて提出する。 簡単なプレゼンテーション課題を作成する。	60
	内容	Excel応用（RANK関数、IF関数、オートフィルター、ExcelとWORDの連携）プレゼンテーション入門2（PowerPointの新しい機能、PreziとSway）			
14回	テーマ	情報セキュリティと情報モラル	講義　演習	情報セキュリティと情報モラルに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	60
	内容	パスワード管理ツール　多段階認証の使い方　フェイクニュースやネット依存等のインターネットに関する様々な問題			
15回	テーマ	まとめと振り返り	講義　演習	Typingの練習とまとめの試験の準備をしておく。	90
	内容	タイピングスキルの測定　情報活用自己診断アンケート　まとめの試験			

科目名	情報処理基礎◎（１シス整操）	開講学年	1	講義コード	1114601	区分	必修
英文表記	Introduction to Computers	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	川本 正道

研究室	F311	オフィスアワー	火曜日3限４限、金曜日

メールアドレス	kawamoto@cis.sojo-u.ac.jp

キーワード	情報リテラシー　情報フルエンシー　情報活用能力

授業概要

ICT（情報通信技術）の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。ICT機器を道具として使いこなし、膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、いわゆる情報リテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。この授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力（情報フルエンシー）を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。　演習室のPCを使う実習中心の授業であるが、自分のノートPCを持ち込んで積極的に活用する事を推奨している。できるだけ最新の話題を盛り込みながら講義と演習を行う。資料配布、レポート提出、テスト、アンケート等にWebClassを利用する事で、時間や場所に縛られず事前学習や復習、課題演習、質問等ができるようにしている。各種資料を参照しながらICTを使って日常的に学修する習慣を身につけてほしい。PCに関しては高校までの習熟度に差がある為、それぞれの理解度に合わせた習熟を図っている。また各回の内容は授業の進捗にあわせて前後する場合がある。

関連科目

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,d,e,f	a,d,e,f

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
a,e	①	インターネット上の情報を適切に評価し、正しく利用することができる。
f	②	学内システムやネットを利用して円滑なコミュニケーションを行うことができる。
d	③	タッチタイピングをマスターし、基本的なOfficeソフトを利用することができる。
a,d,e	④	基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルを習得する。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	20	28	23	24	0	5	0	100

教科書	WebClass上で資料を配布する

参考書	

予備知識	1回目から3回目は授業時間の一部を使って、各種学内手続きに利用する学内システムや、他の科目で必要となるノートPCの利用方法等の説明を行う。できるだけ自分のノートPCを持参して設定と動作を確認することを推奨する。
DP との 関連	「社会の多種多様な問題を解決するため、課題発見・問題解決能力を身につけたもの」の基本的素養となる情報機器の実践的な活用力を身につける事を目標としている。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1）授業の中で4回小テストを実施する（実施日と範囲は授業計画を参照すること）。 2）プレゼン、表計算、文書作成については課題の提出を求め、その内容をレポート点として評価する。 3）授業の中で実際に電子メール・掲示板・SNS等を利用して演習を実施し、双方向のやりとりを行いながらこれを実技点として評価する。 4）タッチタイピングの習熟度を練習ソフトの練習記録とスコアを元に算出し、実技点として評価に加える。 5）15回目の授業の中でまとめの試験を実施する。　上記を総合して成績を算出する。課題を期日までに提出する事が重要なポイントとなる。

学修上の注意 (SBOs)	・タッチタイピングはPCを活用する上で必須の技能なので必ず習得する事を勧めている。TypeQuickという練習ソフトを使って各自空き時間に練習して習得する方法を用い、まとめのテスト時のスコアを成績に反映させる。 ・資料の配布や課題の提出にはWebClassというLMS（学習管理システム）を利用し連絡事項もその中で行う。WebClassは学外からもアクセス可能でスマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用してほしい。 ・授業は主にスライドを使って進めるが、授業中や授業後もWebClassで閲覧できるようにしている。 ・毎回の授業終了時に簡単な匿名アンケート（理解度、授業の速さ、自由記述欄）を実施するので、質問や授業に対する意見等に活用して欲しい。 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有する。課題は自分の学修成果を発表する媒体だと考えて取り組む事。 ・レポート等提出物におけるコピー＆ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は不正行為とみなす。正しい引用を心がける事。 ・授業の進捗を考慮して授業計画を一部変更する可能性がある。この場合はWebClassで事前に周知する。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	情報リテラシー入門1	講義　演習	学内で利用する個別のパスワードの扱いを学習した後は、学内システムを積極的に利用することで操作に慣れる。宿所登録等を例題として完了させる。	60
	内容	学内システム（ポータルサイト、学内無線LAN、WebClass）の利用ガイダンス及び各自のノートPC利用支援			
2回	テーマ	情報リテラシー入門2	講義　演習	キーボードを見ないで入力できるようになる（タッチタイピング）はPCを道具として使う際に必須。苦手な人は日常的に練習を行ってできるだけ早く修得する。	120
	内容	検索サイトの利用、タッチタイピングの重要性と練習方法、Office365入門（Officeソフト、電子メール基礎）			
3回	テーマ	プレゼンテーション入門1	講義　演習	例題にそってPowerPointスライドを完成させWebClass上で提出する。	60
	内容	デジタルプレゼンテーション入門、内容の組み立て（SDS法とPREP法）、PowerPointの基本操作と例題作成			
4回	テーマ	情報リテラシー入門3　文書作成1	講義　演習	大学のメールアドレスを使って、1対1、1対多のやりとりを修得する。	90
	内容	電子メール応用（署名、テキスト形式、添付）メーリングリストの利用 スマートフォンでの送受信 WORDを使ったレポート提出			
5回	テーマ	各種ツールの利用1	講義　演習	グループ学習に必要なサービスの利用方法を修得し実際に利用してみる。	60
	内容	*小テスト1回目 Office365グループによるスケジュールやファイルの共有 Teamsによるオンラインチャット OneDriveの利用方法			
6回	テーマ	各種ツールの利用2	講義　演習	ネットワーク上でファイルの効率的なやりとりを行う為に共有リンクの作成方法を修得し、クラス内で自分の文書を公開してみる。	90
	内容	コンピュータの仕組み ファイルのアップロード 共有リンクの作成 掲示板への投稿			
7回	テーマ	情報とデータ	講義　演習	情報とデータに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	*小テスト2回目 コンピュータの歴史 情報とデータ（ビットとバイト、補助単位）			
8回	テーマ	インターネット入門	講義　演習	インターネットとネットワークに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	*小テスト3回目 インターネットの歴史 インターネットの基礎知識（IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス）			
9回	テーマ	プログラミング入門	講義　演習	授業で動かしたサンプルプログラムを改変し、どのように出力が変化するか試す。紹介されたプログラミング環境についても興味があれば試してみる。	120
	内容	*小テスト4回目 プログラムの基本、フローチャート、制御、実際に作って動かす演習（Snap!）			
10回	テーマ	文書作成2	講義　演習	レポート課題の作成に向けて、WORDの基本的な操作を復習する。	60
	内容	レポートの書き方の基本 レポート課題に必要なWORDの機能（インデント、脚注、図の挿入） 三角ロジック、S-C-Qモデル、正しい引用 大学生のコピペ問題			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	著作権入門	講義　演習	著作権に関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	著作者人格権と著作財産権　著作権の保護期間　クリエイティブ・コモンズ　フェアユース			
12回	テーマ	文書作成3　表計算入門1	講義　演習	レポート課題を提出期限までに完成させる。	120
	内容	レポート課題提出　Excel入門（関数、オートフィル、相対参照、絶対参照、罫線、グラフの挿入、条件付き書式）			
13回	テーマ	表計算入門2他	講義　演習	Excelの基本的機能を使った例題を完成させて提出する。 簡単なプレゼンテーション課題を作成する。	60
	内容	Excel応用（RANK関数、IF関数、オートフィルター、ExcelとWORDの連携）プレゼンテーション入門2（PowerPointの新しい機能、PreziとSway）			
14回	テーマ	情報セキュリティと情報モラル	講義　演習	情報セキュリティと情報モラルに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	60
	内容	パスワード管理ツール　多段階認証の使い方　フェイクニュースやネット依存等のインターネットに関する様々な問題			
15回	テーマ	まとめと振り返り	講義　演習	Typingの練習とまとめの試験の準備をしておく。	90
	内容	タイピングスキルの測定　情報活用自己診断アンケート　まとめの試験			

科目名	情報処理基礎◎Ａ（１情）	開講学年	1	講義コード	1114701	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	齋藤 暁

研究室	F514	オフィスアワー	金曜日５時限

メールアドレス	st@cis.sojo-u.ac.jp

キーワード	PCの基本操作　情報倫理

授業概要	あらゆるデータが電子化され、インターネットが普及した現在、PCの基本操作とネットワーク通信の初歩的利用技術の習得は、社会において有用な人材となる上で必要不可欠である。本講義では、PCの基本操作とインターネットの活用方法について学び、情報化社会において必要な情報倫理について学習する。本学での情報教育への導入的な講義であり、情報学科においても必修科目となっている。　高等学校普通免許状(情報)の取得における教科に関する科目区分 情報機器の操作 のうちの必修科目である。　なお、図書館およびPC演習室での予習復習を推奨する。

関連科目

この講義は本学での情報教育への導入的な講義であるので、情報学科のほぼすべての科目に関わりがある。

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	PCの基本操作の習得および文書,表計算,プレゼンテーション資料の作成方法の習得
	②	電子メールやWebサイトの活用方法の習得およびネットワーク社会における情報倫理の習得
	③	簡単なコマンドラインからの操作技術の習得および初歩的なプログラミングの考え方の習得
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	50	20	20	10	0	0	0	100

教科書	授業の中で指示する

参考書	

予備知識	特段の予備知識は要求しないが、情報学科の学生として当然持っているべき情報技術への興味関心を受講の前提とする。 なお、タイピング速度が遅い者は、各自タイピング練習ソフト（演習室PCにインストールされている）を使って練習すること。
DPとの関連	【知識・理解】の項目『(1)情報処理技術やネットワーク技術、ソフトウェア技術やメディア情報処理技術の基礎知識を修得し、情報システムの設計開発、メディア情報の生成・加工・流通等を通して社会に貢献できる能力』の「基礎知識の修得」に該当する。【総合的な学習経験と創造的思考力】の項目『4年間にわたる「講義」・「演習」での学びや、創造的先端研究または問題解決型研究の何れかによる卒業論文作成の作業を通して、社会の多種多様な問題に対し、自ら課題を見出し、解決する能力を身につけたもの。』に関しての導入的な科目である。
実務経験のある教員	
評価明細基準	テーマ毎に演習課題を課し、その結果によりテーマ毎の到達度を評価する。この合計点を50点満点で評価する。 期末試験を50点満点で評価する。 以上の合計100点満点で評価する。

学修上の注意 (SBOs)	毎回、テーマについて解説し、PC演習室のPCを使って演習を行う。eラーニングツール（WebClass）を使って講義の効率化を図るとともに、学生の理解度を確認しながら講義を行う。学生が所有するノートPCを使って講義を行うことがある。 毎回の演習データを持ち帰るために、USBメモリを持参することを推奨する。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Windows PCの基本的な操作方法	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	120
	内容	ノートPCのセットアップ、Office365のインストール、初歩的なメーラーの使い方　Microsoft Windows の基本的な操作方法　講義の概要、Windowsの操作、キーボード操作、日本語入力			
2回	テーマ	プレゼンテーションと文書作成の基礎	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	90
	内容	簡単なプレゼンテーションスライドとワープロ文書の作成			
3回	テーマ	文書作成	演習　e-L	演習課題が完了しない場合は宿題とする。	120
	内容	課題演習			
4回	テーマ	表計算とグラフ	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	表の作成とグラフ表示			
5回	テーマ	表計算とグラフ	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	表の操作、関数			
6回	テーマ	表計算とグラフ	演習　e-L	演習課題が完了しない場合は宿題とする。	120
	内容	課題演習			
7回	テーマ	電子メール	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	電子メールの操作、情報倫理			
8回	テーマ	インターネット概説	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	インターネットの概観、情報倫理			
9回	テーマ	WWW	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	WWWの基礎、Webサイトの仕組			
10回	テーマ	WWW	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	HTMLの書式と簡単なWebページ作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーション発表準備	講義 演習 e-L	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	120
	内容	プレゼンテーション資料作成 提示された題材について、各自、プレゼンテーションスライドを作成する。 これを次回の発表会で発表することになる。			
12回	テーマ	プレゼンテーション発表会	演習 SGD	相互評価が完了しない場合は宿題とする。	75
	内容	組を作って、プレゼンテーションの相互評価を行う			
13回	テーマ	コマンドライン	講義 演習 e-L	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。	180
	内容	Windowsコマンドプロンプトの使い方			
14回	テーマ	UNIX基礎	講義 演習 e-L	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。	180
	内容	UNIX系OS、Bashの使い方			
15回	テーマ	簡単なプログラミング	講義 演習 e-L	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。	180
	内容	VBSプログラミングの初歩の初歩			
16回	テーマ	期末試験	試験	これまでに習った内容すべてをよく復習して臨むこと	240
	内容	期末試験			

科目名	情報処理基礎◎Ｂ（１情）	開講学年	1	講義コード	1114702	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	齋藤 暁						
研究室	F514			オフィスアワー	金曜日５時限		
メールアドレス	st@cis.sojo-u.ac.jp						
キーワード	PCの基本操作　情報倫理						

授業概要

あらゆるデータが電子化され、インターネットが普及した現在、PCの基本操作とネットワーク通信の初歩的利用技術の習得は、社会において有用な人材となる上で必要不可欠である。本講義では、PCの基本操作とインターネットの活用方法について学び、情報化社会において必要な情報倫理について学習する。本学での情報教育への導入的な講義であり、情報学科においても必修科目となっている。　高等学校普通免許状(情報)の取得における教科に関する科目区分 情報機器の操作 のうちの必修科目である。　なお、図書館およびPC演習室での予習復習を推奨する。

関連科目

この講義は本学での情報教育への導入的な講義であるので、情報学科のほぼすべての科目に関わりがある。

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標			
	JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	PCの基本操作の習得および文書,表計算,プレゼンテーション資料の作成方法の習得
	②	電子メールやWebサイトの活用方法の習得およびネットワーク社会における情報倫理の習得
	③	簡単なコマンドラインからの操作技術の習得および初歩的なプログラミングの考え方の習得
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	50	20	20	10	0	0	0	100

教科書	授業の中で指示する
参考書	

予備知識	特段の予備知識は要求しないが、情報学科の学生として当然持っているべき情報技術への興味関心を受講の前提とする。 なお、タイピング速度が遅い者は、各自タイピング練習ソフト（演習室PCにインストールされている）を使って練習すること。
DPとの関連	【知識・理解】の項目『(1)情報処理技術やネットワーク技術、ソフトウェア技術やメディア情報処理技術の基礎知識を修得し、情報システムの設計開発、メディア情報の生成・加工・流通等を通して社会に貢献できる能力』の「基礎知識の修得」に該当する。【総合的な学習経験と創造的思考力】の項目『4年間にわたる「講義」・「演習」での学びや、創造的先端研究または問題解決型研究の何れかによる卒業論文作成の作業を通して、社会の多種多様な問題に対し、自ら課題を見出し、解決する能力を身につけたもの。』に関しての導入的な科目である。
実務経験のある教員	
評価明細基準	テーマ毎に演習課題を課し、その結果によりテーマ毎の到達度を評価する。この合計点を50点満点で評価する。 期末試験を50点満点で評価する。 以上の合計100点満点で評価する。

学修上の注意 (SBOs)	毎回、テーマについて解説し、PC演習室のPCを使って演習を行う。eラーニングツール（WebClass）を使って講義の効率化を図るとともに、学生の理解度を確認しながら講義を行う。学生が所有するノートPCを使って講義を行うことがある。 毎回の演習データを持ち帰るために、USBメモリを持参することを推奨する。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Windows PCの基本的な操作方法	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	120
	内容	ノートPCのセットアップ、Office365のインストール、初歩的なメーラーの使い方　Microsoft Windows の基本的な操作方法　講義の概要、Windowsの操作、キーボード操作、日本語入力			
2回	テーマ	プレゼンテーションと文書作成の基礎	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	90
	内容	簡単なプレゼンテーションスライドとワープロ文書の作成			
3回	テーマ	文書作成	演習　e-L	演習課題が完了しない場合は宿題とする。	120
	内容	課題演習			
4回	テーマ	表計算とグラフ	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	表の作成とグラフ表示			
5回	テーマ	表計算とグラフ	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	表の操作、関数			
6回	テーマ	表計算とグラフ	演習　e-L	演習課題が完了しない場合は宿題とする。	120
	内容	課題演習			
7回	テーマ	電子メール	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	電子メールの操作、情報倫理			
8回	テーマ	インターネット概説	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	インターネットの概観、情報倫理			
9回	テーマ	WWW	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	WWWの基礎、Webサイトの仕組			
10回	テーマ	WWW	講義　演習	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	HTMLの書式と簡単なWebページ作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーション発表準備	講義　演習　e-L	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	120
	内容	プレゼンテーション資料作成 提示された題材について、各自、プレゼンテーションスライドを作成する。 これを次回の発表会で発表することになる。			
12回	テーマ	プレゼンテーション発表会	演習　SGD	相互評価が完了しない場合は宿題とする。	75
	内容	組を作って、プレゼンテーションの相互評価を行う			
13回	テーマ	コマンドライン	講義　演習　e-L	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。	180
	内容	Windowsコマンドプロンプトの使い方			
14回	テーマ	UNIX基礎	講義　演習　e-L	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。	180
	内容	UNIX系OS、Bashの使い方			
15回	テーマ	簡単なプログラミング	講義　演習　e-L	PC演習室あるいは各人のノートPCを使って、授業で習った事項を復習すること。	180
	内容	VBSプログラミングの初歩の初歩			
16回	テーマ	期末試験	試験	これまでに習った内容すべてをよく復習して臨むこと	240
	内容	期末試験			

科目名	情報処理基礎◎（１微）	開講学年	1	講義コード	1114801	区分	必修
英文表記	Introduction to Computers	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	川本 正道		
研究室	F311	オフィスアワー	火曜日3限４限、金曜日
メールアドレス	kawamoto@cis.sojo-u.ac.jp		
キーワード	情報リテラシー　情報フルエンシー　情報活用能力		

授業概要

ICT（情報通信技術）の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。ICT機器を道具として使いこなし、膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、いわゆる情報リテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。この授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力（情報フルエンシー）を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。　演習室のPCを使う実習中心の授業であるが、自分のノートPCを持ち込んで積極的に活用する事を推奨している。できるだけ最新の話題を盛り込みながら講義と演習を行う。資料配布、レポート提出、テスト、アンケート等にWebClassを利用する事で、時間や場所に縛られず事前学習や復習、課題演習、質問等ができるようにしている。各種資料を参照しながらICTを使って日常的に学修する習慣を身につけてほしい。PCに関しては高校までの習熟度に差がある為、それぞれの理解度に合わせた習熟を図っている。また各回の内容は授業の進捗にあわせて前後する場合がある。

関連科目

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準		a,d,e,f	a,d,e,f	

JABEE記号		学生の到達度目標
a,e	①	インターネット上の情報を適切に評価し、正しく利用することができる。
f	②	学内システムやネットを利用して円滑なコミュニケーションを行うことができる。
d	③	タッチタイピングをマスターし、基本的なOfficeソフトを利用することができる。
a,d,e	④	基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルを習得する。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
		20	28	23	24	0	5	0	100

教科書	WebClass上で資料を配布する
参考書	

予備知識	1回目から3回目は授業時間の一部を使って、各種学内手続きに利用する学内システムや、他の科目で必要となるノートPCの利用方法等の説明を行う。できるだけ自分のノートPCを持参して設定と動作を確認することを推奨する。
DP との 関連	「社会の多種多様な問題を解決するため、課題発見・問題解決能力を身につけたもの」の基本的素養となる情報機器の実践的な活用力を身につける事を目標としている。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1）授業の中で4回小テストを実施する（実施日と範囲は授業計画を参照すること）。 2）プレゼン、表計算、文書作成については課題の提出を求め、その内容をレポート点として評価する。 3）授業の中で実際に電子メール・掲示板・SNS等を利用して演習を実施し、双方向のやりとりを行いながらこれを実技点として評価する。 4）タッチタイピングの習熟度を練習ソフトの練習記録とスコアを元に算出し、実技点として評価に加える。 5）15回目の授業の中でまとめの試験を実施する。　上記を総合して成績を算出する。課題を期日までに提出する事が重要なポイントとなる。

学修上の注意 (SBOs)	・タッチタイピングはPCを活用する上で必須の技能なので必ず習得する事を勧めている。TypeQuickという練習ソフトを使って各自空き時間に練習して習得する方法を用い、まとめのテスト時のスコアを成績に反映させる。・資料の配布や課題の提出にはWebClassというLMS（学習管理システム）を利用し連絡事項もその中で行う。WebClassは学外からもアクセス可能でスマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用してほしい。・授業は主にスライドを使って進めるが、授業中や授業後もWebClassで閲覧できるようにしている。・毎回の授業終了時に簡単な匿名アンケート（理解度、授業の速さ、自由記述欄）を実施するので、質問や授業に対する意見等に活用して欲しい。・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有する。課題は自分の学修成果を発表する媒体だと考えて取り組む事。・レポート等提出物におけるコピー＆ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は不正行為とみなす。正しい引用を心がける事。・授業の進捗を考慮して授業計画を一部変更する可能性がある。この場合はWebClassで事前に周知する。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	情報リテラシー入門1	講義　演習	学内で利用する個別のパスワードの扱いを学習した後は、学内システムを積極的に利用することで操作に慣れる。宿所登録等を例題として完了させる。	60
	内容	学内システム（ポータルサイト、学内無線LAN、WebClass）の利用ガイダンス及び各自のノートPC利用支援			
2回	テーマ	情報リテラシー入門2	講義　演習	キーボードを見ないで入力できるようになる（タッチタイピング）はPCを道具として使う際に必須。苦手な人は日常的に練習を行ってできるだけ早く修得する。	120
	内容	検索サイトの利用、タッチタイピングの重要性と練習方法、Office365入門（Officeソフト、電子メール基礎）			
3回	テーマ	プレゼンテーション入門1	講義　演習	例題にそってPowerPointスライドを完成させWebClass上で提出する。	60
	内容	デジタルプレゼンテーション入門、内容の組み立て（SDS法とPREP法）、PowerPointの基本操作と例題作成			
4回	テーマ	情報リテラシー入門3　文書作成1	講義　演習	大学のメールアドレスを使って、1対1、1対多のやりとりを修得する。	90
	内容	電子メール応用（署名、テキスト形式、添付）メーリングリストの利用 スマートフォンでの送受信 WORDを使ったレポート提出			
5回	テーマ	各種ツールの利用1	講義　演習	グループ学習に必要なサービスの利用方法を修得し実際に利用してみる。	60
	内容	*小テスト1回目 Office365グループによるスケジュールやファイルの共有 Teamsによるオンラインチャット OneDriveの利用方法			
6回	テーマ	各種ツールの利用2	講義　演習	ネットワーク上でファイルの効率的なやりとりを行う為に共有リンクの作成方法を修得し、クラス内で自分の文書を公開してみる。	90
	内容	コンピュータの仕組み ファイルのアップロード 共有リンクの作成 掲示板への投稿			
7回	テーマ	情報とデータ	講義　演習	情報とデータに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	*小テスト2回目 コンピュータの歴史 情報とデータ（ビットとバイト、補助単位）			
8回	テーマ	インターネット入門	講義　演習	インターネットとネットワークに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	*小テスト3回目 インターネットの歴史 インターネットの基礎知識（IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス）			
9回	テーマ	プログラミング入門	講義　演習	授業で動かしたサンプルプログラムを改変し、どのように出力が変化するか試す。紹介されたプログラミング環境についても興味があれば試してみる。	120
	内容	*小テスト4回目 プログラムの基本、フローチャート、制御、実際に作って動かす演習（Snap!）			
10回	テーマ	文書作成2	講義　演習	レポート課題の作成に向けて、WORDの基本的な操作を復習する。	60
	内容	レポートの書き方の基本 レポート課題に必要なWORDの機能（インデント、脚注、図の挿入） 三角ロジック、S-C-Qモデル、正しい引用 大学生のコピペ問題			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	著作権入門	講義 演習	著作権に関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	著作者人格権と著作財産権 著作権の保護期間 クリエイティブ・コモンズ フェアユース			
12回	テーマ	文書作成3 表計算入門1	講義 演習	レポート課題を提出期限までに完成させる。	120
	内容	レポート課題提出 Excel入門（関数、オートフィル、相対参照、絶対参照、罫線、グラフの挿入、条件付き書式）			
13回	テーマ	表計算入門2他	講義 演習	Excelの基本的機能を使った例題を完成させて提出する。 簡単なプレゼンテーション課題を作成する。	60
	内容	Excel応用（RANK関数、IF関数、オートフィルター、ExcelとWORDの連携） プレゼンテーション入門2（PowerPointの新しい機能、PreziとSway）			
14回	テーマ	情報セキュリティと情報モラル	講義 演習	情報セキュリティと情報モラルに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	60
	内容	パスワード管理ツール 多段階認証の使い方 フェイクニュースやネット依存等のインターネットに関する様々な問題			
15回	テーマ	まとめと振り返り	講義 演習	Typingの練習とまとめの試験の準備をしておく。	90
	内容	タイピングスキルの測定 情報活用自己診断アンケート まとめの試験			

科目名	情報処理基礎◎（１生）	開講学年	1	講義コード	1114901	区分	必修
英文表記	Introduction to Computers	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	川本 正道

研究室	F311	オフィスアワー	火曜日3限４限、金曜日

メールアドレス	kawamoto@cis.sojo-u.ac.jp

キーワード	情報リテラシー　情報フルエンシー　情報活用能力

授業概要

ICT（情報通信技術）の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。ICT機器を道具として使いこなし、膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、いわゆる情報リテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。この授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力（情報フルエンシー）を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。　演習室のPCを使う実習中心の授業であるが、自分のノートPCを持ち込んで積極的に活用する事を推奨している。できるだけ最新の話題を盛り込みながら講義と演習を行う。資料配布、レポート提出、テスト、アンケート等にWebClassを利用する事で、時間や場所に縛られず事前学習や復習、課題演習、質問等ができるようにしている。各種資料を参照しながらICTを使って日常的に学修する習慣を身につけてほしい。PCに関しては高校までの習熟度に差がある為、それぞれの理解度に合わせた習熟を図っている。また各回の内容は授業の進捗にあわせて前後する場合がある。

関連科目

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,d,e,f	a,d,e,f

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
a,e	①	インターネット上の情報を適切に評価し、正しく利用することができる。
f	②	学内システムやネットを利用して円滑なコミュニケーションを行うことができる。
d	③	タッチタイピングをマスターし、基本的なOfficeソフトを利用することができる。
a,d,e	④	基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルを習得する。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	20	28	23	24	0	5	0	100

教科書	WebClass上で資料を配布する

参考書	

予備知識	1回目から3回目は授業時間の一部を使って、各種学内手続きに利用する学内システムや、他の科目で必要となるノートPCの利用方法等の説明を行う。できるだけ自分のノートPCを持参して設定と動作を確認することを推奨する。
DP との 関連	「社会の多種多様な問題を解決するため、課題発見・問題解決能力を身につけたもの」の基本的素養となる情報機器の実践的な活用力を身につける事を目標としている。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1）授業の中で4回小テストを実施する（実施日と範囲は授業計画を参照すること）。 2）プレゼン、表計算、文書作成については課題の提出を求め、その内容をレポート点として評価する。 3）授業の中で実際に電子メール・掲示板・SNS等を利用して演習を実施し、双方向のやりとりを行いながらこれを実技点として評価する。 4）タッチタイピングの習熟度を練習ソフトの練習記録とスコアを元に算出し、実技点として評価に加える。 5）15回目の授業の中でまとめの試験を実施する。　上記を総合して成績を算出する。課題を期日までに提出する事が重要なポイントとなる。

学修上の注意 (SBOs)	・タッチタイピングはPCを活用する上で必須の技能なので必ず習得する事を勧めている。TypeQuickという練習ソフトを使って各自空き時間に練習して習得する方法を用い、まとめのテスト時のスコアを成績に反映させる。 ・資料の配布や課題の提出にはWebClassというLMS（学習管理システム）を利用し連絡事項もその中で行う。WebClassは学外からもアクセス可能でスマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用してほしい。 ・授業は主にスライドを使って進めるが、授業中や授業後もWebClassで閲覧できるようにしている。 ・毎回の授業終了時に簡単な匿名アンケート（理解度、授業の速さ、自由記述欄）を実施するので、質問や授業に対する意見等に活用して欲しい。 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有する。課題は自分の学修成果を発表する媒体だと考えて取り組む事。 ・レポート等提出物におけるコピー＆ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は不正行為とみなす。正しい引用を心がける事。 ・授業の進捗を考慮して授業計画を一部変更する可能性がある。この場合はWebClassで事前に周知する。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	情報リテラシー入門1	講義　演習	学内で利用する個別のパスワードの扱いを学習した後は、学内システムを積極的に利用することで操作に慣れる。宿所登録等を例題として完了させる。	60
	内容	学内システム（ポータルサイト、学内無線LAN、WebClass）の利用ガイダンス及び各自のノートPC利用支援			
2回	テーマ	情報リテラシー入門2	講義　演習	キーボードを見ないで入力できるようになる（タッチタイピング）はPCを道具として使う際に必須。苦手な人は日常的に練習を行ってできるだけ早く修得する。	120
	内容	検索サイトの利用、タッチタイピングの重要性と練習方法、Office365入門（Officeソフト、電子メール基礎）			
3回	テーマ	プレゼンテーション入門1	講義　演習	例題にそってPowerPointスライドを完成させWebClass上で提出する。	60
	内容	デジタルプレゼンテーション入門、内容の組み立て（SDS法とPREP法）、PowerPointの基本操作と例題作成			
4回	テーマ	情報リテラシー入門3　文書作成1	講義　演習	大学のメールアドレスを使って、1対1、1対多のやりとりを修得する。	90
	内容	電子メール応用（署名、テキスト形式、添付）メーリングリストの利用 スマートフォンでの送受信 WORDを使ったレポート提出			
5回	テーマ	各種ツールの利用1	講義　演習	グループ学習に必要なサービスの利用方法を修得し実際に利用してみる。	60
	内容	*小テスト1回目 Office365グループによるスケジュールやファイルの共有 Teamsによるオンラインチャット OneDriveの利用方法			
6回	テーマ	各種ツールの利用2	講義　演習	ネットワーク上でファイルの効率的なやりとりを行う為に共有リンクの作成方法を修得し、クラス内で自分の文書を公開してみる。	90
	内容	コンピュータの仕組み ファイルのアップロード 共有リンクの作成 掲示板への投稿			
7回	テーマ	情報とデータ	講義　演習	情報とデータに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	*小テスト2回目 コンピュータの歴史 情報とデータ（ビットとバイト、補助単位）			
8回	テーマ	インターネット入門	講義　演習	インターネットとネットワークに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	*小テスト3回目 インターネットの歴史 インターネットの基礎知識（IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス）			
9回	テーマ	プログラミング入門	講義　演習	授業で動かしたサンプルプログラムを改変し、どのように出力が変化するか試す。紹介されたプログラミング環境についても興味があれば試してみる。	120
	内容	*小テスト4回目 プログラムの基本、フローチャート、制御、実際に作って動かす演習（Snap!）			
10回	テーマ	文書作成2	講義　演習	レポート課題の作成に向けて、WORDの基本的な操作を復習する。	60
	内容	レポートの書き方の基本 レポート課題に必要なWORDの機能（インデント、脚注、図の挿入） 三角ロジック、S-C-Qモデル、正しい引用 大学生のコピペ問題			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	著作権入門	講義 演習	著作権に関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	90
	内容	著作者人格権と著作財産権 著作権の保護期間 クリエイティブ・コモンズ フェアユース			
12回	テーマ	文書作成3 表計算入門1	講義 演習	レポート課題を提出期限までに完成させる。	120
	内容	レポート課題提出 Excel入門（関数、オートフィル、相対参照、絶対参照、罫線、グラフの挿入、条件付き書式）			
13回	テーマ	表計算入門2他	講義 演習	Excelの基本的機能を使った例題を完成させて提出する。 簡単なプレゼンテーション課題を作成する。	60
	内容	Excel応用（RANK関数、IF関数、オートフィルター、ExcelとWORDの連携） プレゼンテーション入門2（PowerPointの新しい機能、PreziとSway）			
14回	テーマ	情報セキュリティと情報モラル	講義 演習	情報セキュリティと情報モラルに関する基礎知識をeラーニング教材を使って復習する。	60
	内容	パスワード管理ツール 多段階認証の使い方 フェイクニュースやネット依存等のインターネットに関する様々な問題			
15回	テーマ	まとめと振り返り	講義 演習	Typingの練習とまとめの試験の準備をしておく。	90
	内容	タイピングスキルの測定 情報活用自己診断アンケート まとめの試験			

科目名	アントレプレナーシップ入門（１全学科）	開講学年 1	講義コード 1115001	区分 選択
英文表記	Entrepreneurship	開講期 前期集中	開講形態	単位数 2

担当教員	田口 雄太　川副 智行

研究室	G303 田口 雄太　G301 川副 智行	オフィスアワー 火曜 12:30 - 15:00

メールアドレス	ytaguchi@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	アントレプレナーシップ　問題･課題発見　テクノロジー　スタートアップ

授業概要

起業や新事業創出が失敗も成功も合わせて価値あるものと見なされ、その経験を有する人材に活躍の場が次々ともたらされるような文化が醸成されつつある。また産業構造の変革が起きるような新事業、革新的技術が大学から創出されることが期待されている。 本講義は、本学起業家育成プログラム関連講義の一つとし、問題･課題を発見する上で必要となる視点や現代社会を変えつつある先端のテクノロジーについてを座学と演習を通じて学ぶ。そして、アントレプレナーシップ(起業家精神)を養う。

関連科目

「特殊講座(未来デザイン)」、「ベンチャービジネス」、「イノベーション入門」、「ローカルイノベーション」

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	問題･課題を発見する力について理解し、口頭もしくは記述によって説明することができる。
	②	現代社会を変えつつある情報テクノロジーについて理解し、口頭もしくは記述によって説明することができる。
	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	60	30	0	10	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	課題の発見と解決に向けて主体的･協働的に学ぶこと。
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	レポート1:「問題･課題を発見する上で必要となる視点とは何かについて述べる」等のテーマから1つ選択し、考察するレポートを評価する。30点。 レポート2:「起業のメリットとデメリットについて述べる」等のテーマから1つ選択し、考察するレポートを評価する。30点。 成果発表:「チームが着目する社会課題に対し、情報技術を組み込む解決を提案する」というテーマに対する発表を評価する。30点。 ポートフォリオ: 学習到達度レポートによって評価する。10点 ★提出物は適宜返却する。 ★WebClassで提出されたレポートは適宜コメントを返すので、必ず参照すること。

学修上の注意 (SBOs)	1. 毎回、講義のポイントをまとめたレジュメをスクリーンに投影し、各種資料、映像資料を参照しながら進める。 2. 講義のレジュメは、資料などはWebClassで閲覧、ダウンロードする。 3. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。 4. レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第5-8回の講義レジュメを読んでおくこと。	60
	内容	講義概要、教員紹介、崇城大学起業家育成プログラムについての概説。			
2回	テーマ	問題・課題発見①	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第5-8回の講義レジュメを読んでおくこと。	60
	内容	問題・課題を発見する視点について学ぶ。そして、テーマに即した問題・課題をチームで列挙する(PBL)。			
3回	テーマ	問題・課題発見②	演習　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第5-8回の講義レジュメを読んでおくこと。	60
	内容	問題・課題を発見する視点について学ぶ。そして、テーマに即した問題・課題をチームで列挙する(PBL)。			
4回	テーマ	テクノロジー①	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第5-8回の講義レジュメを読んでおくこと。	60
	内容	情報ネットワークがどのように社会を変えてきたかについて学ぶ。そして、テーマに即したテクノロジーについてチームで討議する(PBL)。			
5回	テーマ	テクノロジー②	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第9-12回の講義レジュメを読んでおくこと。	60
	内容	IoT, ビッグデータ, AIがどのように社会を変えつつあるかについて学ぶ。そして、テーマに即したテクノロジーについてチームで討議する(PBL)。			
6回	テーマ	テクノロジー③	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第5-8回の講義レジュメを読んでおくこと。	60
	内容	ジェデリング, フィンテックがどのように社会を変えつつあるかについて学ぶ。そして、テーマに即したテクノロジーについてチームで討議する(PBL)。			
7回	テーマ	レポート作成	演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第5-8回の講義レジュメを読んでおくこと。	60
	内容	「問題・課題を発見する上で必要となる視点とは何かについて述べる」等のテーマから1つ選択し、考察するレポートを作成			
8回	テーマ	グループディスカッション①	演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第5-8回の講義レジュメを読んでおくこと。	60
	内容	チームが着目する社会課題に対し、情報技術を組み込む解決を提案する」というテーマに対し、討議を行うとともに発表準備を進める(PBL)。			
9回	テーマ	グループディスカッション②	演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第13-15回の講義レジュメを読んでおくこと。	60
	内容	チームが着目する社会課題に対し、情報技術を組み込む解決を提案する」というテーマに対し、討議を行うとともに発表準備を進める(PBL)。			
10回	テーマ	グループディスカッション③	演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第13-15回の講義レジュメを読んでおくこと。	60
	内容	チームが着目する社会課題に対し、情報技術を組み込む解決を提案する」というテーマに対し、討議を行うとともに発表準備を進める(PBL)。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	グループディスカッション④	演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第13-15回の講義レジュメを読んでおくこと。	60
	内容	チームが着目する社会課題に対し、情報技術を組み込む解決を提案する」というテーマに対し、討議を行うとともに発表準備を進める(PBL)。			
12回	テーマ	グループディスカッション⑤	演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第13-15回の講義レジュメを読んでおくこと。	60
	内容	チームが着目する社会課題に対し、情報技術を組み込む解決を提案する」というテーマに対し、討議を行うとともに発表準備を進める(PBL)。			
13回	テーマ	成果発表①	演習	【復習】レポート作成。期限までにWebClassに提出。学習到達度レポートも同様に期限までに提出。	60
	内容	チームが着目する社会課題に対し、情報技術を組み込む解決を提案する」というテーマに対し、成果発表を行う。			
14回	テーマ	成果発表②	演習	【復習】レポート作成。期限までにWebClassに提出。学習到達度レポートも同様に期限までに提出。	60
	内容	チームが着目する社会課題に対し、情報技術を組み込む解決を提案する」というテーマに対し、成果発表を行う。			
15回	テーマ	(成果発表予備)+講義まとめ	講義	【復習】レポート作成。期限までにWebClassに提出。学習到達度レポートも同様に期限までに提出。	60
	内容	講義のまとめと教員からのメッセージ			

科目名	イノベーション入門（２機情）	開講学年	2	講義コード	1115501	区分	選必
英文表記	Innovation	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	川副 智行（実務経験）　田口 雄太

研究室	G301 川副 智行　G303 田口 雄太	オフィスアワー	月曜日3限

メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	イノベーション　コンシューマインサイト　アイディエーション　バックキャスト　　ユーザーエクスペリエンス（UX）

授業概要	本講義では、イノベーション創出に関する基本的な考えを理解し、社会で実践するための知識、スキル、マインドを身に付ける。講義の中では、自身の意識や考えをまとめ、それを共有化・考察するプロセスを組み込み、他者の考えを認め、取り込むことでアイデアをブラッシュアップできる力を醸成する。論理的なアイディエーションの体験・体得で、起業へ関心を高めるとともに、業種を問わないビジネススキルを確立する。 担当教員の川副は、前職における産業分野の各種テーマの企画立案及び提案に関する資料作成とプレゼンテーション、並びにチームビルディングによる協同推進の実務経験を活かして、アントレプレナーシップ教育におけるイノベーション創出分野において授業の中で学生に教授している。

関連科目
「特殊講座（未来デザイン）」「ローカルイノベーション」「アントレプレナーシップ入門」「ベンチャービジネス」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
(a), (b)	①	社会・環境・技術の変化を把握して、それに関係したイノベーションが必要であることを理解することができる。
(b), (c), (d)	②	イノベーションに関連したワードを理解することで、他のイノベーションの事例を理解することができる。
(d), (e), (g)	③	イノベーション創出に向けたアイディエーションの手法を理解して実践することができる
(a), (c), (d), (e), (g)	④	顕在化した課題のみならず、潜在的な課題に対して、解決するオリジナリティの高いアイデアを創出できる。
(e), (f), (h)	⑤	自身の考えるイノベーションに向けたアイデアをまとめ、他人に対して論理的にわかり易く説明することができる。
(g)	⑥	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	15	60	15	0	10	0	100

教科書	講義のレジュメを教科書とする

参考書	イノベーション全書　東洋経済社　紺野 登　978-4-492-52225-7 イノベーションのジレンマ増補改訂版　翔泳社　C.クリステンセン　978-4-881-35839-9 ビジネスを変える100のブルーオーシャン　日経BP社　日経BP総研社　978-4-2961-0392-8

予備知識	課題の発見と解決に向けたアイデア創出に関して主体的･協働的に学ぶこと。 イノベーションは特別なものでなく誰でも起こすことができるという大前提を理解していて欲しい。
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	川副 智行
評価明細 基準	1. 小テスト:15点 講義で取り上げた内容に関する基礎的事項を理解し、課題に対して自己の見解を論理的に説明できるか等を評価する。テストは適宜返却する。 2.レポート:20点×3回＝60点 身近のイノベーションとヒット商品/イノベーションのジレンマへの対応／インサイトやUXなど市場受容度、を1200～1500字でまとめる。イノベーションへの自身の考え方を論知的に表現すると共に学修到達度を評価する。(学修到達度を評価)提出されたレポートは適宜コメントをフィードバックする。 3. 成果発表:15点 課題:イノベーションにかかるアイディエーションの結果を自分の言葉で口頭発表できるかどうかを評価する。成果発表の参加が必要。(学修到達度を評価) 4. ポートフォリオ:10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 毎回、講義のポイントをまとめたレジュメをスクリーンに投影し、各種資料、映像資料を参照しながら進める。 2. 講義のレジュメは、資料などはWebClassで閲覧、ダウンロードする。 3. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。 4.起業の有無にかかわらず社会で必要となる知識・スキル・マインドの育成を目指して実践的な講義を実施することから、講義への積極的な参加が望ましい。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・アンケート記入	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第2回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・講義概要、講師紹介,アントレプレナーシップと社会とのつながりを概説。・社会からの期待や自己実現について考え、体得すべきスキルを理解する。・アンケートで、現在の自分を把握すると共に、講義の位置づけを理解する。			
2回	テーマ	イノベーション領域の頻出ワードと現在のビジネス（企業と起業）	講義	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第3回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・イノベーション領域で使用されるビジネスワードに慣れる。・社会における企業（大企業・中小企業）の特徴を理解する。・起業化よるメリット・デメリットを理解をする。			
3回	テーマ	身近にあるイノベーションとアイデアを形にするマインドセット	講義・PBL（Project Based Learning ）・レポート作成	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第4回の講義レジュメを読んでおく。身近にあるイノベーションやヒット商品をレポートにまとめる。	120
	内容	・イノベーションの事例を通して、登場背景やその必要性を理解する。・イノベーション創出では、発想とマインドが重要であることを理解する。　・身近のイノベーションやヒット品を選び、その理由をレポートにまとめる。			
4回	テーマ	イノベーションの種類（プロダクト・サービス・プロセス・意味）	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第5回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・様々なイノベーションの事例より、各種イノベーションの特徴を理解する。・アイディエーションにおけるソリューションや想像力の幅を広げる。・レポートの集計結果のフィードバックから他の人の考えを理解して発想を広げる。			
5回	テーマ	イノベーションのジレンマとその対策	講義・PBL（Project Based Learning ）・レポート作成	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第6回の講義レジュメを読んでおく。イノベーションのジレンマと対応策に関するレポートにまとめる。	120
	内容	・商品・サービスの本質的価値と変動する価値を理解する。・大企業におけるイノベーションのジレンマを理解する。・イノベーションのジレンマに対する対策を考え、レポートにまとめる。			
6回	テーマ	持続的イノベーションと破壊的イノベーション	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第7回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・持続的イノベーションと破壊的イノベーションの違いを事例にて理解する。・破壊的イノベーションに繋がる発想及び着眼点を理解する。・次に起こる破壊的イノベーションを想像して説明する。			
7回	テーマ	変化する生活環境・市場環境・規制とイノベーション	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第8回の講義レジュメを読んでおく。小テストの準備をする。	120
	内容	・イノベーションが必要となる生活環境や社会構造の変化を理解する。・規制の変化や社会情勢の変化に関する意識を醸成する　・ゲームチェンジの事例を通して、ビジネスセンスを身に付ける。			
8回	テーマ	新しい流通の確立と台頭するYou Tuber	講義・PBL（Project Based Learning ）・小テスト	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第9回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・ICTやSNSなどのプラットフォームの発展とビジネスへの影響を理解する。　・You Tuberの存在意義や起業に向けた環境の充実を理解する。・小テストの実施			
9回	テーマ	アイデア創出法（バックキャストとフォアキャスト）	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第10回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・フォアキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。・バックキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。・模擬題材によるアイディエーションによって発想に関するコツを取得する。			
10回	テーマ	イノベーションを考えよう!Part.1	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第11回の講義レジュメを読んでおく。グループ討議のための題材を選定しておく。	90
	内容	・グッドデザイン賞などの新規アイデアを評価して、アイデア創出の具体的な訓練をする。・C-TECやCESなど新規アイデアの存在を理解して、情報収集力を高める。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	イノベーションを考えよう!Part.2	講義・PBL（Project Based Learning）・SGD（Small Group Discussion）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第12回の講義レジュメを読んでおく。	90
	内容	・グッドデザイン賞などの新規アイデアを題材にグループで討議する。・グループ討議を通して、アイデアを絞り込むプロセスを体験する。・アイデアの良さを説明するプロセスによって、論理的な説明力を体得する。			
12回	テーマ	コンシューマインサイトとUX・UI	講義・PBL（Project Based Learning）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第13回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・インサイト及びUX・UIのイメージを理解する。・アイデア着想の源としてインサイトやUXを活用できる。・具体的なインサイトの事例から本質的価値が理解できる。			
13回	テーマ	ニーズを知る（需要度を確認する）	講義・PBL（Project Based Learning）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第14回の講義レジュメを読んでおく。	90
	内容	・市場ニーズを把握する手法の種類を把握する。・バックキャストによる発想法と問題点を理解する。・模擬題材によるアイディエーションによって発想に関するコツを取得する。			
14回	テーマ	ヒトの意識と感性価値（AIDMAとAISAS）	講義・PBL（Project Based Learning）・レポート作成	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第15回の講義レジュメを読んでおく。インサイトやUXなど市場受容度に関するレポートをまとめる。	120
	内容	・AIDMAやAISASなどヒトの認知特性を理解してアイデア着想の源とする。・感性工学的なアプローチを理解して、感性価値の科学的解釈ができる。・機能的価値と情緒的価値を理解してレポートにまとめる。			
15回	テーマ	講義のまとめ	PBL（Project Based Learning）・アンケート記入	【復習】ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	60
	内容	・講義のまとめと教員からのメッセージ・レポートやアンケートの結果を共有化して、自分や他者の意見を理解する。・理解度や意識に関するアンケートを実施する。			

科目名	イノベーション入門（２ナ建微）	開講学年	2	講義コード	1115601	区分	選必
英文表記	Innovation	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	川副 智行（実務経験）　田口 雄太						
研究室	G301 川副 智行　G303 田口 雄太			オフィスアワー	月曜日3限		
メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	イノベーション　コンシューマインサイト　アイディエーション　バックキャスト　ユーザーエクスペリエンス（UX）						

授業概要

本講義では、イノベーション創出に関する基本的な考えを理解し、社会で実践するための知識、スキル、マインドを身に付ける。講義の中では、自身の意識や考えをまとめ、それを共有化・考察するプロセスを組み込み、他者の考えを認め、取り込むことでアイデアをブラッシュアップできる力を醸成する。論理的なアイディエーションの体験・体得で、起業へ関心を高めるとともに、業種を問わないビジネススキルを確立する。 担当教員の川副は、前職における産業分野の各種テーマの企画立案及び提案に関する資料作成とプレゼンテーション、並びにチームビルディングによる協同推進の実務経験を活かして、アントレプレナーシップ教育におけるイノベーション創出分野において授業の中で学生に教授している。

関連科目

「特殊講座（未来デザイン）」「ローカルイノベーション」「アントレプレナーシップ入門」「ベンチャービジネス」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
(a), (b)	①	社会・環境・技術の変化を把握して、それに関係したイノベーションが必要であることを理解することができる。
(b), (c), (d)	②	イノベーションに関連したワードを理解することで、他のイノベーションの事例を理解することができる。
(d), (e), (g)	③	イノベーション創出に向けたアイディエーションの手法を理解して実践することができる
(a), (c), (d), (e), (g)	④	顕在化した課題のみならず、潜在的な課題に対して、解決するオリジナリティの高いアイデアを創出できる。
(e), (f), (h)	⑤	自身の考えるイノベーションに向けたアイデアをまとめ、他人に対して論理的にわかり易く説明することができる。
(g)	⑥	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	15	60	15	0	10	0	100

教科書

講義のレジュメを教科書とする

参考書

イノベーション全書　東洋経済社　紺野 登　978-4-492-52225-7
イノベーションのジレンマ増補改訂版　翔泳社　C.クリステンセン　978-4-881-35839-9
ビジネスを変える100のブルーオーシャン　日経BP社　日経BP総研社　978-4-2961-0392-8

予備知識	課題の発見と解決に向けたアイデア創出に関して主体的･協働的に学ぶこと。 イノベーションは特別なものでなく誰でも起こすことができるという大前提を理解していて欲しい。
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	川副 智行
評価明細 基準	1. 小テスト:15点 講義で取り上げた内容に関する基礎的事項を理解し、課題に対して自己の見解を論理的に説明できるか等を評価する。テストは適宜返却する。 2.レポート:20点×3回＝60点 身近のイノベーションとヒット商品/イノベーションのジレンマへの対応／インサイトやUXなど市場受容度、を1200～1500字でまとめる。イノベーションへの自身の考え方を論知的に表現すると共に学修到達度を評価する。(学修到達度を評価)提出されたレポートは適宜コメントをフィードバックする。 3. 成果発表:15点 課題:イノベーションにかかるアイディエーションの結果を自分の言葉で口頭発表できるかどうかを評価する。成果発表の参加が必要。(学修到達度を評価) 4. ポートフォリオ:10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 毎回、講義のポイントをまとめたレジュメをスクリーンに投影し、各種資料、映像資料を参照しながら進める。 2. 講義のレジュメは、資料などはWebClassで閲覧、ダウンロードする。 3. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。 4.起業の有無にかかわらず社会で必要となる知識・スキル・マインドの育成を目指して実践的な講義を実施することから、講義への積極的な参加が望ましい。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・アンケート記入	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第2回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・講義概要、講師紹介,アントレプレナーシップと社会とのつながりを概説。・社会からの期待や自己実現について考え、体得すべきスキルを理解する。・アンケートで、現在の自分を把握すると共に、講義の位置づけを理解する。			
2回	テーマ	イノベーション領域の頻出ワードと現在のビジネス（企業と起業）	講義	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第3回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・イノベーション領域で使用されるビジネスワードに慣れる。・社会における企業（大企業・中小企業）の特徴を理解する。・起業化よるメリット・デメリットを理解をする。			
3回	テーマ	身近にあるイノベーションとアイデアを形にするマインドセット	講義・PBL（Project Based Learning ）・レポート作成	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第4回の講義レジュメを読んでおく。身近にあるイノベーションやヒット商品をレポートにまとめる。	120
	内容	・イノベーションの事例を通して、登場背景やその必要性を理解する。・イノベーション創出では、発想とマインドが重要であることを理解する。　・身近のイノベーションやヒット品を選び、その理由をレポートにまとめる。			
4回	テーマ	イノベーションの種類（プロダクト・サービス・プロセス・意味）	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第5回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・様々なイノベーションの事例より、各種イノベーションの特徴を理解する。・アイディエーションにおけるソリューションや想像力の幅を広げる。・レポートの集計結果のフィードバックから他の人の考えを理解して発想を広げる。			
5回	テーマ	イノベーションのジレンマとその対策	講義・PBL（Project Based Learning ）・レポート作成	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第6回の講義レジュメを読んでおく。イノベーションのジレンマと対応策に関するレポートにまとめる。	120
	内容	・商品・サービスの本質的価値と変動する価値を理解する。・大企業におけるイノベーションのジレンマを理解する。・イノベーションのジレンマに対する対策を考え、レポートにまとめる。			
6回	テーマ	持続的イノベーションと破壊的イノベーション	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第7回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・持続的イノベーションと破壊的イノベーションの違いを事例にて理解する。・破壊的イノベーションに繋がる発想及び着眼点を理解する。・次に起こる破壊的イノベーションを想像して説明する。			
7回	テーマ	変化する生活環境・市場環境・規制とイノベーション	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第8回の講義レジュメを読んでおく。小テストの準備をする。	120
	内容	・イノベーションが必要となる生活環境や社会構造の変化を理解する。・規制の変化や社会情勢の変化に関する意識を醸成する　・ゲームチェンジの事例を通して、ビジネスセンスを身に付ける。			
8回	テーマ	新しい流通の確立と台頭するYou Tuber	講義・PBL（Project Based Learning ）・小テスト	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第9回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・ICTやSNSなどのプラットフォームの発展とビジネスへの影響を理解する。　・You Tuberの存在意義や起業に向けた環境の充実を理解する。・小テストの実施			
9回	テーマ	アイデア創出法（バックキャストとフォアキャスト）	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第10回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・フォアキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。・バックキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。・模擬題材によるアイディエーションによって発想に関するコツを取得する。			
10回	テーマ	イノベーションを考えよう!Part.1	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第11回の講義レジュメを読んでおく。グループ討議のための題材を選定しておく。	90
	内容	・グッドデザイン賞などの新規アイデアを評価して、アイデア創出の具体的な訓練をする。・C-TECやCESなど新規アイデアの存在を理解して、情報収集力を高める。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	イノベーションを考えよう!Part.2	講義・PBL（Project Based Learning）・SGD（Small Group Discussion）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第12回の講義レジュメを読んでおく。	90
	内容	・グッドデザイン賞などの新規アイデアを題材にグループで討議する。・グループ討議を通して、アイデアを絞り込むプロセスを体験する。・アイデアの良さを説明するプロセスによって、論理的な説明力を体得する。			
12回	テーマ	コンシューマインサイトとUX・UI	講義・PBL（Project Based Learning）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第13回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・インサイト及びUX・UIのイメージを理解する。・アイデア着想の源としてインサイトやUXを活用できる。・具体的なインサイトの事例から本質的価値が理解できる。			
13回	テーマ	ニーズを知る（需要度を確認する）	講義・PBL（Project Based Learning）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第14回の講義レジュメを読んでおく。	90
	内容	・市場ニーズを把握する手法の種類を把握する。・バックキャストによる発想法と問題点を理解する。・模擬題材によるアイディエーションによって発想に関するコツを取得する。			
14回	テーマ	ヒトの意識と感性価値（AIDMAとAISAS）	講義・PBL（Project Based Learning）・レポート作成	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第15回の講義レジュメを読んでおく。インサイトやUXなど市場受容度に関するレポートをまとめる。	120
	内容	・AIDMAやAISASなどヒトの認知特性を理解してアイデア着想の源とする。・感性工学的なアプローチを理解して、感性価値の科学的解釈ができる。・機能的価値と情緒的価値を理解してレポートにまとめる。			
15回	テーマ	講義のまとめ	PBL（Project Based Learning）・アンケート記入	【復習】ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	60
	内容	・講義のまとめと教員からのメッセージ・レポートやアンケートの結果を共有化して、自分や他者の意見を理解する。・理解度や意識に関するアンケートを実施する。			

科目名	イノベーション入門（２宇生）	開講学年	2	講義コード	1115701	区分	選必
英文表記	Innovation	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	川副 智行（実務経験）　田口 雄太

研究室	G301 川副 智行　G303 田口 雄太	オフィスアワー	月曜日3限

メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	イノベーション　コンシューマインサイト　アイディエーション　バックキャスト　　ユーザーエクスペリエンス（UX）

授業概要	本講義では、イノベーション創出に関する基本的な考えを理解し、社会で実践するための知識、スキル、マインドを身に付ける。講義の中では、自身の意識や考えをまとめ、それを共有化・考察するプロセスを組み込み、他者の考えを認め、取り込むことでアイデアをブラッシュアップできる力を醸成する。論理的なアイディエーションの体験・体得で、起業へ関心を高めるとともに、業種を問わないビジネススキルを確立する。 担当教員の川副は、前職における産業分野の各種テーマの企画立案及び提案に関する資料作成とプレゼンテーション、並びにチームビルディングによる協同推進の実務経験を活かして、アントレプレナーシップ教育におけるイノベーション創出分野において授業の中で学生に教授している。

関連科目
「特殊講座（未来デザイン）」「ローカルイノベーション」「アントレプレナーシップ入門」「ベンチャービジネス」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
(a), (b)	①	社会・環境・技術の変化を把握して、それに関係したイノベーションが必要であることを理解することができる。
(b), (c), (d)	②	イノベーションに関連したワードを理解することで、他のイノベーションの事例を理解することができる。
(d), (e), (g)	③	イノベーション創出に向けたアイディエーションの手法を理解して実践することができる
(a), (c), (d), (e), (g)	④	顕在化した課題のみならず、潜在的な課題に対して、解決するオリジナリティの高いアイデアを創出できる。
(e), (f), (h)	⑤	自身の考えるイノベーションに向けたアイデアをまとめ、他人に対して論理的にわかり易く説明することができる。
(g)	⑥	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	15	60	15	0	10	0	100

教科書	講義のレジュメを教科書とする

参考書	イノベーション全書　東洋経済社　紺野 登　978-4-492-52225-7 イノベーションのジレンマ増補改訂版　翔泳社　C.クリステンセン　978-4-881-35839-9 ビジネスを変える100のブルーオーシャン　日経BP社　日経BP総研社　978-4-2961-0392-8

予備知識	課題の発見と解決に向けたアイデア創出に関して主体的･協働的に学ぶこと。 イノベーションは特別なものでなく誰でも起こすことができるという大前提を理解していて欲しい。
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	川副 智行
評価明細 基準	1. 小テスト:15点 講義で取り上げた内容に関する基礎的事項を理解し、課題に対して自己の見解を論理的に説明できるか等を評価する。テストは適宜返却する。 2.レポート:20点×3回＝60点 身近のイノベーションとヒット商品/イノベーションのジレンマへの対応／インサイトやUXなど市場受容度、を1200～1500字でまとめる。イノベーションへの自身の考え方を論知的に表現すると共に学修到達度を評価する。(学修到達度を評価)提出されたレポートは適宜コメントをフィードバックする。 3. 成果発表:15点 課題:イノベーションにかかるアイディエーションの結果を自分の言葉で口頭発表できるかどうかを評価する。成果発表の参加が必要。(学修到達度を評価) 4. ポートフォリオ:10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 毎回、講義のポイントをまとめたレジュメをスクリーンに投影し、各種資料、映像資料を参照しながら進める。 2. 講義のレジュメは、資料などはWebClassで閲覧、ダウンロードする。 3. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。 4.起業の有無にかかわらず社会で必要となる知識・スキル・マインドの育成を目指して実践的な講義を実施することから、講義への積極的な参加が望ましい。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・アンケート記入	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第2回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・講義概要、講師紹介,アントレプレナーシップと社会とのつながりを概説。・社会からの期待や自己実現について考え、体得すべきスキルを理解する。・アンケートで、現在の自分を把握すると共に、講義の位置づけを理解する。			
2回	テーマ	イノベーション領域の頻出ワードと現在のビジネス（企業と起業）	講義	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第3回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・イノベーション領域で使用されるビジネスワードに慣れる。・社会における企業（大企業・中小企業）の特徴を理解する。・起業化よるメリット・デメリットを理解をする。			
3回	テーマ	身近にあるイノベーションとアイデアを形にするマインドセット	講義・PBL（Project Based Learning ）・レポート作成	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第4回の講義レジュメを読んでおく。身近にあるイノベーションやヒット商品をレポートにまとめる。	120
	内容	・イノベーションの事例を通して、登場背景やその必要性を理解する。・イノベーション創出では、発想とマインドが重要であることを理解する。・身近のイノベーションやヒット品を選び、その理由をレポートにまとめる。			
4回	テーマ	イノベーションの種類（プロダクト・サービス・プロセス・意味）	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第5回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・様々なイノベーションの事例より、各種イノベーションの特徴を理解する。・アイディエーションにおけるソリューションや想像力の幅を広げる。・レポートの集計結果のフィードバックから他の人の考えを理解して発想を広げる。			
5回	テーマ	イノベーションのジレンマとその対策	講義・PBL（Project Based Learning ）・レポート作成	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第6回の講義レジュメを読んでおく。イノベーションのジレンマと対応策に関するレポートにまとめる。	120
	内容	・商品・サービスの本質的価値と変動する価値を理解する。・大企業におけるイノベーションのジレンマを理解する。・イノベーションのジレンマに対する対策を考え、レポートにまとめる。			
6回	テーマ	持続的イノベーションと破壊的イノベーション	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第7回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・持続的イノベーションと破壊的イノベーションの違いを事例にて理解する。・破壊的イノベーションに繋がる発想及び着眼点を理解する。・次に起こる破壊的イノベーションを想像して説明する。			
7回	テーマ	変化する生活環境・市場環境・規制とイノベーション	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第8回の講義レジュメを読んでおく。小テストの準備をする。	120
	内容	・イノベーションが必要となる生活環境や社会構造の変化を理解する。・規制の変化や社会情勢の変化に関する意識を醸成する　・ゲームチェンジの事例を通して、ビジネスセンスを身に付ける。			
8回	テーマ	新しい流通の確立と台頭するYou Tuber	講義・PBL（Project Based Learning ）・小テスト	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第9回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・ICTやSNSなどのプラットフォームの発展とビジネスへの影響を理解する。・You Tuberの存在意義や起業に向けた環境の充実を理解する。・小テストの実施			
9回	テーマ	アイデア創出法（バックキャストとフォアキャスト）	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第10回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・フォアキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。・バックキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。・模擬題材によるアイディエーションによって発想に関するコツを取得する。			
10回	テーマ	イノベーションを考えよう!Part.1	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第11回の講義レジュメを読んでおく。グループ討議のための題材を選定しておく。	90
	内容	・グッドデザイン賞などの新規アイデアを評価して、アイデア創出の具体的な訓練をする。・C-TECやCESなど新規アイデアの存在を理解して、情報収集力を高める。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	イノベーションを考えよう!Part.2	講義・PBL（Project Based Learning）・SGD（Small Group Discussion）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第12回の講義レジュメを読んでおく。	90
	内容	・グッドデザイン賞などの新規アイデアを題材にグループで討議する。・グループ討議を通して、アイデアを絞り込むプロセスを体験する。・アイデアの良さを説明するプロセスによって、論理的な説明力を体得する。			
12回	テーマ	コンシューマインサイトとUX・UI	講義・PBL（Project Based Learning）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第13回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・インサイト及びUX・UIのイメージを理解する。・アイデア着想の源としてインサイトやUXを活用できる。・具体的なインサイトの事例から本質的価値が理解できる。			
13回	テーマ	ニーズを知る（需要度を確認する）	講義・PBL（Project Based Learning）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第14回の講義レジュメを読んでおく。	90
	内容	・市場ニーズを把握する手法の種類を把握する。・バックキャストによる発想法と問題点を理解する。・模擬題材によるアイディエーションによって発想に関するコツを取得する。			
14回	テーマ	ヒトの意識と感性価値（AIDMAとAISAS）	講義・PBL（Project Based Learning）・レポート作成	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第15回の講義レジュメを読んでおく。インサイトやUXなど市場受容度に関するレポートをまとめる。	120
	内容	・AIDMAやAISASなどヒトの認知特性を理解してアイデア着想の源とする。・感性工学的なアプローチを理解して、感性価値の科学的解釈ができる。・機能的価値と情緒的価値を理解してレポートにまとめる。			
15回	テーマ	講義のまとめ	PBL（Project Based Learning）・アンケート記入	【復習】ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	60
	内容	・講義のまとめと教員からのメッセージ・レポートやアンケートの結果を共有化して、自分や他者の意見を理解する。・理解度や意識に関するアンケートを実施する。			

科目名	イノベーション入門（２薬）	開講学年	2	講義コード	1115801	区分	選必
英文表記	Innovation	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	川副 智行（実務経験）　田口 雄太

研究室	G301 川副 智行　G303 田口 雄太	オフィスアワー	月曜日3限

メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	イノベーション　コンシューマインサイト　アイディエーション　バックキャスト　　ユーザーエクスペリエンス(UX)

授業概要	本講義では、イノベーション創出に関する基本的な考えを理解し、社会で実践するための知識、スキル、マインドを身に付ける。講義の中では、自身の意識や考えをまとめ、それを共有化・考察するプロセスを組み込み、他者の考えを認め、取り込むことでアイデアをブラッシュアップできる力を醸成する。論理的なアイディエーションの体験・体得で、起業へ関心を高めるとともに、業種を問わないビジネススキルを確立する。 担当教員の川副は、前職における産業分野の各種テーマの企画立案及び提案に関する資料作成とプレゼンテーション、並びにチームビルディングによる協同推進の実務経験を活かして、アントレプレナーシップ教育におけるイノベーション創出分野において授業の中で学生に教授している。

関連科目
「特殊講座（未来デザイン）」「ローカルイノベーション」「アントレプレナーシップ入門」「ベンチャービジネス」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
(a), (b)	①	社会・環境・技術の変化を把握して、それに関係したイノベーションが必要であることを理解することができる。
(b), (c), (d)	②	イノベーションに関連したワードを理解することで、他のイノベーションの事例を理解することができる。
(d), (e), (g)	③	イノベーション創出に向けたアイディエーションの手法を理解して実践することができる
(a), (c), (d), (e), (g)	④	顕在化した課題のみならず、潜在的な課題に対して、解決するオリジナリティの高いアイデアを創出できる。
(e), (f), (h)	⑤	自身の考えるイノベーションに向けたアイデアをまとめ、他人に対して論理的にわかり易く説明することができる。
(g)	⑥	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	15	60	15	0	10	0	100

教科書	講義のレジュメを教科書とする

参考書	イノベーション全書　東洋経済社　紺野 登　978-4-492-52225-7 イノベーションのジレンマ増補改訂版　翔泳社　C.クリステンセン　978-4-881-35839-9 ビジネスを変える100のブルーオーシャン　日経BP社　日経BP総研社　978-4-2961-0392-8

予備知識	課題の発見と解決に向けたアイデア創出に関して主体的･協働的に学ぶこと。 イノベーションは特別なものでなく誰でも起こすことができるという大前提を理解していて欲しい。
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	川副 智行
評価明細 基準	1. 小テスト:15点 講義で取り上げた内容に関する基礎的事項を理解し、課題に対して自己の見解を論理的に説明できるか等を評価する。テストは適宜返却する。 2.レポート:20点×3回＝60点 身近のイノベーションとヒット商品/イノベーションのジレンマへの対応／インサイトやUXなど市場受容度、を1200～1500字でまとめる。イノベーションへの自身の考え方を論知的に表現すると共に学修到達度を評価する。(学修到達度を評価)提出されたレポートは適宜コメントをフィードバックする。 3. 成果発表:15点 課題:イノベーションにかかるアイディエーションの結果を自分の言葉で口頭発表できるかどうかを評価する。成果発表の参加が必要。(学修到達度を評価) 4. ポートフォリオ:10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 毎回、講義のポイントをまとめたレジュメをスクリーンに投影し、各種資料、映像資料を参照しながら進める。 2. 講義のレジュメは、資料などはWebClassで閲覧、ダウンロードする。 3. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。 4.起業の有無にかかわらず社会で必要となる知識・スキル・マインドの育成を目指して実践的な講義を実施することから、講義への積極的な参加が望ましい。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・アンケート記入	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第2回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・講義概要、講師紹介,アントレプレナーシップと社会とのつながりを概説。・社会からの期待や自己実現について考え、体得すべきスキルを理解する。・アンケートで、現在の自分を把握すると共に、講義の位置づけを理解する。			
2回	テーマ	イノベーション領域の頻出ワードと現在のビジネス（企業と起業）	講義	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第3回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・イノベーション領域で使用されるビジネスワードに慣れる。・社会における企業（大企業・中小企業）の特徴を理解する。・起業化よるメリット・デメリットを理解をする。			
3回	テーマ	身近にあるイノベーションとアイデアを形にするマインドセット	講義・PBL（Project Based Learning ）・レポート作成	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第4回の講義レジュメを読んでおく。身近にあるイノベーションやヒット商品をレポートにまとめる。	120
	内容	・イノベーションの事例を通して、登場背景やその必要性を理解する。・イノベーション創出では、発想とマインドが重要であることを理解する。・身近のイノベーションやヒット品を選び、その理由をレポートにまとめる。			
4回	テーマ	イノベーションの種類（プロダクト・サービス・プロセス・意味）	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第5回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・様々なイノベーションの事例より、各種イノベーションの特徴を理解する。・アイディエーションにおけるソリューションや想像力の幅を広げる。・レポートの集計結果のフィードバックから他の人の考えを理解して発想を広げる。			
5回	テーマ	イノベーションのジレンマとその対策	講義・PBL（Project Based Learning ）・レポート作成	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第6回の講義レジュメを読んでおく。イノベーションのジレンマと対応策に関するレポートにまとめる。	120
	内容	・商品・サービスの本質的価値と変動する価値を理解する。・大企業におけるイノベーションのジレンマを理解する。・イノベーションのジレンマに対する対策を考え、レポートにまとめる。			
6回	テーマ	持続的イノベーションと破壊的イノベーション	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第7回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・持続的イノベーションと破壊的イノベーションの違いを事例にて理解する。・破壊的イノベーションに繋がる発想及び着眼点を理解する。・次に起こる破壊的イノベーションを想像して説明する。			
7回	テーマ	変化する生活環境・市場環境・規制とイノベーション	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第8回の講義レジュメを読んでおく。小テストの準備をする。	120
	内容	・イノベーションが必要となる生活環境や社会構造の変化を理解する。・規制の変化や社会情勢の変化に関する意識を醸成する ・ゲームチェンジの事例を通して、ビジネスセンスを身に付ける。			
8回	テーマ	新しい流通の確立と台頭するYou Tuber	講義・PBL（Project Based Learning ）・小テスト	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第9回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・ICTやSNSなどのプラットフォームの発展とビジネスへの影響を理解する。・You Tuberの存在意義や起業に向けた環境の充実を理解する。・小テストの実施			
9回	テーマ	アイデア創出法（バックキャストとフォアキャスト）	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第10回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・フォアキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。・バックキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。・模擬題材によるアイディエーションによって発想に関するコツを取得する。			
10回	テーマ	イノベーションを考えよう!Part.1	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第11回の講義レジュメを読んでおく。グループ討議のための題材を選定しておく。	90
	内容	・グッドデザイン賞などの新規アイデアを評価して、アイデア創出の具体的な訓練をする。・C-TECやCESなど新規アイデアの存在を理解して、情報収集力を高める。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	イノベーションを考えよう!Part.2	講義・PBL（Project Based Learning）・SGD（Small Group Discussion）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第12回の講義レジュメを読んでおく。	90
	内容	・グッドデザイン賞などの新規アイデアを題材にグループで討議する。・グループ討議を通して、アイデアを絞り込むプロセスを体験する。・アイデアの良さを説明するプロセスによって、論理的な説明力を体得する。			
12回	テーマ	コンシューマインサイトとUX・UI	講義・PBL（Project Based Learning）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第13回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・インサイト及びUX・UIのイメージを理解する。・アイデア着想の源としてインサイトやUXを活用できる。・具体的なインサイトの事例から本質的価値が理解できる。			
13回	テーマ	ニーズを知る（需要度を確認する）	講義・PBL（Project Based Learning）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第14回の講義レジュメを読んでおく。	90
	内容	・市場ニーズを把握する手法の種類を把握する。・バックキャストによる発想法と問題点を理解する。・模擬題材によるアイディエーションによって発想に関するコツを取得する。			
14回	テーマ	ヒトの意識と感性価値（AIDMAとAISAS）	講義・PBL（Project Based Learning）・レポート作成	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第15回の講義レジュメを読んでおく。インサイトやUXなど市場受容度に関するレポートをまとめる。	120
	内容	・AIDMAやAISASなどヒトの認知特性を理解してアイデア着想の源とする。・感性工学的なアプローチを理解して、感性価値の科学的解釈ができる。・機能的価値と情緒的価値を理解してレポートにまとめる。			
15回	テーマ	講義のまとめ	PBL（Project Based Learning）・アンケート記入	【復習】ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	60
	内容	・講義のまとめと教員からのメッセージ・レポートやアンケートの結果を共有化して、自分や他者の意見を理解する。・理解度や意識に関するアンケートを実施する。			

科目名	キャリアプレコーオプ（２機建宇情）	開講学年	2	講義コード	1116301	区分	選必
英文表記	Career Pre-Coop；Pre-Cooperative Education	開講期	前後期	開講形態		単位数	2
担当教員	辻田祐純　藤本元啓　田上寛美（非常勤）　藤田崇（非常勤）						
研究室	本館附属棟１F　本館305　本館附属棟１F　本館附属棟１F			オフィスアワー	授業で周知する		
メールアドレス	授業で周知する@						
キーワード	社会人基礎力　企業等提供問題解決　チームワーク　プレゼンテーション　キャリアデザイン						

授業概要

概要　本科目は、企業や団体などが抱えている現実的な問題を学生に提示し、学生がその問題の解決にあたるという、課題解決型コーオプ教育の前段階として位置づけたもので、社会人基礎力としての実践力、責任感、主体的行動力を身につけ、専門教育における学修意欲や就業意識の向上を図るものである。 1.企業等が提供する現実的な問題について、チームで精確な情報を収集し、工学・情報・デザイン系の基礎知識を生かして、アイデア的な解決案を発表する。 2.学期中に2つの問題をチームで解決・発表し、希望する個人・チームは追加の解決案の発表を行う。【クラス編成】 Aクラス:機械、建築、宇宙システム、情報、美術、デザイン学科　Bクラス:ナノサイエンス、応微、応生、薬学科　学修上の助言　1.身につけた専門基礎的な知識を現実社会の問題のアイデア的解決に生かしてみたい学生の受講を歓迎　2.「インターンシップⅠ・Ⅱ」受講予定学生の参加を歓迎

関連科目

後継科目として、3年次「キャリアセミナー」（学科別クラス）、「キャリアプロジェクト」（学生プロジェクト、2年次までに1年間の活動経験者対象）、「インターンシップⅠ・Ⅱ」（5日間以上、夏期・春期集中）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
d,e,f,i	①	企業等の提供課題について信用のある精確な情報を収集・分析し、現時点での最善解を、PowerPointを使用して口頭発表することができる。
f,i	②	チーム活動への積極的な貢献をとおして、問題を協働解決することができる。
e,f,g	③	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力の向上と社会への関心度を高めることができる。
g	④	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	10	30	3	47	10	100

教科書

SOJO基礎ⅠⅡ　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書

予備知識	「SOJO基礎」で学修したチーム活動に関する基礎知識
DP との 関連	本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	★成績評価はプロセス評価で行う。 1.レポート:「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」 書式:A4用紙1枚、1行40文字、1頁40行、MS明朝、余白各25㎜ 10点 2.①発表:1チーム10分間(しゃべり方、内容・独自性、投影画面、参考資料、質疑応答等) 10点×2回＝20点 ②発表報告書:チームで1部提出(書式は上記1に同じ、パワーポイント資料、報告分析) 5点×2回＝10点 3.作品:授業資料整理バインダー 3点 4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」入力 3点×13週分＝39点 5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、それをプリントアウトして15回目の授業時間に提出 8点 6.その他:時事ワークシート 2点×5回＝10点 ★プレゼンテーションの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く) ★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し 公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場 合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特 別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、本科目の単位認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーン等でのゲーム・メール等は禁止。発見次第退出を命じ、以後の授業出席を認めない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション　プレゼンテーションA準備①	講義　GW	★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12:00とする。	
	内容	シラバスの説明、チーム編成			
2回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	プレゼンテーションAの課題提示　発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションA準備③中間報告	GW	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA発表会①	GW	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：情報収集、整理、報告書の作成	60　60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示）　★発表時間10分　発表チーム以外は評価シート作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションA発表会②	GW	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：報告書の作成	60　60
	内容	★発表時間10分　発表チーム以外は評価シートの作成			
6回	テーマ	プレゼンテーションB準備①	GW	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動：情報収集、整理	60　60
	内容	プレゼンテーションB課題提示　発表の構成、工程表、分担等の決定			
7回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動：情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、PowerPoint作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備③中間報告	GW	今週の活動とトップニュース⑦　時事WS①　チーム活動：情報収集、整理	60　30 60
	内容	情報収集、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　チーム活動：情報収集、整理、報告書の作成	60　30 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示）　★発表時間10分　発表チーム以外は評価シート作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB発表会②	GW	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　チーム活動：報告書の作成	60　30 60
	内容	★発表時間10分　発表チーム以外は評価シート作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	課題レポート作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 課題レポート作成	60 30 60
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の作成 発表エントリー（希望）：個人、チーム			
12回	テーマ	課題レポート作成②	PW	今週の活動とトップニュー⑪ 時事WS⑤ 課題レポート作成	60 30 60
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の作成			
13回	テーマ	課題レポート作成③予備 課題レポート発表会①	PW GW	今週の活動とトップニュース⑫ 課題レポート作成：次回提出	60 60
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の作成 もしくは発表 ・7分間、PowerPointデータ印刷配布			
14回	テーマ	課題レポート発表会②	PW GW	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次週提出 到達度レポート 授業資料のバインダー整理 ★授業アンケートの入力	60 60 60 15
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の発表 ・7分間、PowerPointデータ印刷配布			
15回	テーマ	まとめ	講義	学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	60
	内容	到達度レポート提出、授業資料整理バインダー点検、総評、出席確認			

科目名	キャリアプレコーオプ（２ナ微生美デ薬）	開講学年	2	講義コード	1116401	区分	選必
英文表記	Career Pre-Coop；Pre-Cooperative Education	開講期	前後期	開講形態		単位数	2
担当教員	辻田祐純　藤本元啓　田上寛美（非常勤）　藤田崇（非常勤）						
研究室	本館附属棟１F　本館305　本館附属棟１F　本館附属棟１F			オフィスアワー	授業で周知する		
メールアドレス	授業で周知する@						
キーワード	社会人基礎力　企業等提供問題解決　チームワーク　プレゼンテーション　キャリアデザイン						

授業概要

概要　本科目は、企業や団体などが抱えている現実的な問題を学生に提示し、学生がその問題の解決にあたるという、課題解決型コーオプ教育の前段階として位置づけたもので、社会人基礎力としての実践力、責任感、主体的行動力を身につけ、専門教育における学修意欲や就業意識の向上を図るものである。 1.企業等が提供する現実的な問題について、チームで精確な情報を収集し、工学・情報・デザイン系の基礎知識を生かして、アイデア的な解決案を発表する。 2.学期中に2つの問題をチームで解決・発表し、希望する個人・チームは追加の解決案の発表を行う。【クラス編成】 Aクラス:機械、建築、宇宙システム、情報、美術、デザイン学科　Bクラス:ナノサイエンス、応微、応生、薬学科　学修上の助言　1.身につけた専門基礎的な知識を現実社会の問題のアイデア的解決に生かしてみたい学生の受講を歓迎　2.「インターンシップⅠ・Ⅱ」受講予定学生の参加を歓迎

関連科目

後継科目として、3年次「キャリアセミナー」（学科別クラス）、「キャリアプロジェクト」（学生プロジェクト、2年次までに1年間の活動経験者対象）、「インターンシップⅠ・Ⅱ」（5日間以上、夏期・春期集中）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
d,e,f,i	①	企業等の提供課題について信用のある精確な情報を収集・分析し、現時点での最善解を、PowerPointを使用して口頭発表することができる。
f,i	②	チーム活動への積極的な貢献をとおして、問題を協働解決することができる。
e,f,g	③	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力の向上と社会への関心度を高めることができる。
g	④	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	10	30	3	47	10	100

教科書

SOJO基礎ⅠⅡ　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書

予備知識	「SOJO基礎」で学修したチーム活動に関する基礎知識
DP との 関連	本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	★成績評価はプロセス評価で行う。 1.レポート:「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」 書式:A4用紙1枚、1行40文字、1頁40行、MS明朝、余白各25㎜ 10点 2.①発表:1チーム10分間(しゃべり方、内容・独自性、投影画面、参考資料、質疑応答等) 10点×2回＝20点 ②発表報告書:チームで1部提出(書式は上記1に同じ、パワーポイント資料、報告分析) 5点×2回＝10点 3.作品:授業資料整理バインダー 3点 4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」入力 3点×13週分＝39点 5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、それをプリントアウトして15回目の授業時間に提出 8点 6.その他:時事ワークシート 2点×5回＝10点 ★プレゼンテーションの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く) ★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し　公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場　合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特　別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、本科目の単位認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーン等でのゲーム・メール等は禁止。発見次第退出を命じ、以後の授業出席を認めない。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション　プレゼンテーションA準備①	講義　GW	★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12:00とする。	
	内容	シラバスの説明、チーム編成			
2回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	プレゼンテーションAの課題提示　発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションA準備③中間報告	GW	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA発表会①	GW	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：情報収集、整理、報告書の作成	60　60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示）　★発表時間10分　発表チーム以外は評価シート作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションA発表会②	GW	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：報告書の作成	60　60
	内容	★発表時間10分　発表チーム以外は評価シートの作成			
6回	テーマ	プレゼンテーションB準備①	GW	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動：情報収集、整理	60　60
	内容	プレゼンテーションB課題提示　発表の構成、工程表、分担等の決定			
7回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動：情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、PowerPoint作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備③中間報告	GW	今週の活動とトップニュース⑦　時事WS①　チーム活動：情報収集、整理	60　30 60
	内容	情報収集、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　チーム活動：情報収集、整理、報告書の作成	60　30 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示）　★発表時間10分　発表チーム以外は評価シート作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB発表会②	GW	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　チーム活動：報告書の作成	60　30 60
	内容	★発表時間10分　発表チーム以外は評価シート作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	課題レポート作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 課題レポート作成	60 30 60
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の作成 発表エントリー（希望）：個人、チーム			
12回	テーマ	課題レポート作成②	PW	今週の活動とトップニュー⑪ 時事WS⑤ 課題レポート作成	60 30 60
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の作成			
13回	テーマ	課題レポート作成③予備 課題レポート発表会①	PW GW	今週の活動とトップニュース⑫ 課題レポート作成：次回提出	60 60
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の作成 もしくは発表 ・7分間、PowerPointデータ印刷配布			
14回	テーマ	課題レポート発表会②	PW GW	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次週提出 到達度レポート 授業資料のバインダー整理 ★授業アンケートの入力	60 60 60 15
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の発表 ・7分間、PowerPointデータ印刷配布			
15回	テーマ	まとめ	講義	学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	60
	内容	到達度レポート提出、授業資料整理バインダー点検、総評、出席確認			

科目名	キャリア基礎Ⅲ◎Ａ（３機）	開講学年 3	講義コード 1116701	区分 必修
英文表記	Basic Style for Career Ⅲ	開講期 前期または後期	開講形態	単位数 1

担当教員	複数クラスのため授業で周知
研究室	複数クラスのため授業で周知
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知@
キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要

この科目は,就職活動を約1年後に控え,知識基盤社会の中,グローバル化･複雑化する企業の採用環境に対応できるプログラムを実施します.①自分自身が過ごしてきた過去を整理し,自分の人柄と能力を言葉と文章で表現ができるようになること②積極的に議論し,他者との意見の違いをまとめて,説得できることの2点を目的としています．講座形式と毎回実施する個人･グループワークを通して,自分自身のキャリアデザインの気づきを高めましょう．授業では全回,レポート用紙を授業終了前に配ります.講義において,出てきたキーワード,気づいたこと,考えたこと,今後に活かしたいことなどを書いて提出します.. 第3～7回のグループディスカッション対策では積極的に意見を発信するスキルの獲得に努めてください.

関連科目

キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A$	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
e,h	①	社会人として求められる力のレベルが分かり,自分に足りない力を強化する計画を立てることができる
f,i	②	個人ワークやグループで討論した内容を説得力を持って伝えることができる
g	③	実行可能な就職活動計画を作成することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	20	18	52	10	0	100

教科書	授業で適宜,配布する
参考書	就活のまえに-良い仕事､職場とは？　ちくまプリマー新書　中沢孝夫　978-4-480-68830-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求められます. だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければなりません. また,その力を正しく相手に伝えることも必要です. 就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算です.
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①第12回,15回の提出物(レポート)×10点→20点 ②グループディスカッション対策での発表内容:18点 ③第2回～14回の「今週の活動とトップニュース」(作品)×4点→52点 ④第15回提出の到達度ポートフォリオ(ポートフォリオ)→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,遅刻は厳禁.授業開始20分以降は欠席とする ③また,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ④欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味することがある ⑤各自で就職活動ノートを準備すること ※オフィスアワーを適宜,設定することがある

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入する	90
	内容	授業の導入として,授業の概要･授業計画･成績評価方法,科目の目的･目標の説明を受ける.また,就職の選考過程で求められるテクニカルスキルの水準を提示する			
2回	テーマ	SPIテスト対策講座	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	代表的な筆記試験のSPIについて説明を受け、模擬SPI試験を受験する(AL),			
3回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	グループディスカッション対策のチーム編成をする グループディスカッションについて講義を受け,グループのメンバーとコミュニケーションをとる練習をする			
4回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	企業から課題の提示を受け,課題を理解する(PBL)			
5回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題について討議し,グループとしての意見を集約する(PBL)			
6回	テーマ	グループディスカッション対策④	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	集約した意見を出題者へ伝えるためのプレゼンテーションを準備する(PBL)			
7回	テーマ	グループディスカッション対策⑤	講義・演習	プレゼンテーション用ソフトを使用し,出題者へのプレゼンテーション 「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題についてプレゼンテーションし,出題者の評価を受ける(PBL)			
8回	テーマ	企業の実際を知る	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	プレゼンテーション予備.企業の社員から実際の業務内容を聞き,討論する(AL)			
9回	テーマ	自己分析① 過去	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	これまでの過去を振り返り,どんな経験により,現在の自分が成り立っているのかを考える(AL)			
10回	テーマ	自己分析② 現在	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	現在の自分を多角的に見つめることで,自己理解を深める(AL)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自己分析③ 未来･他人から見た自分	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	前2講を踏まえて未来への自分をイメージする.また,他人から自分はどう見られているかを知る(AL)			
12回	テーマ	履歴書について	演習	自己表現シート(課題①),「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	“自己表現シート”を作成する.講義終了時に提出する(AL)			
13回	テーマ	面接対策①	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	面接について講義を受け,前講で作成した自己表現シートを基に面接練習をする			
14回	テーマ	面接対策②	演習	「今週の活動とトップニュース」を提出する　履歴書(課題②),「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	グループ面接を練習し,アドバイスを受ける			
15回	テーマ	総括･まとめ	講義・演習	履歴書(課題②),到達度「今週の活動とトップニュース」を提出する	
	内容	この授業のまとめとして,“大学指定の履歴書”を作成し,提出する(AL)			

科目名	キャリア基礎Ⅲ◎Ｂ（３機）	開講学年 3	講義コード 1116702	区分 必修
英文表記	Basic Style for Career Ⅲ	開講期 前期または後期	開講形態	単位数 1

担当教員	複数クラスのため授業で周知
研究室	複数クラスのため授業で周知
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知@
キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要

この科目は,就職活動を約1年後に控え,知識基盤社会の中,グローバル化･複雑化する企業の採用環境に対応できるプログラムを実施します.①自分自身が過ごしてきた過去を整理し,自分の人柄と能力を言葉と文章で表現ができるようになること②積極的に議論し,他者との意見の違いをまとめて,説得できることの2点を目的としています．講座形式と毎回実施する個人･グループワークを通して,自分自身のキャリアデザインの気づきを高めましょう．授業では全回,レポート用紙を授業終了前に配ります.講義において,出てきたキーワード,気づいたこと,考えたこと,今後に活かしたいことなどを書いて提出します.. 第3～7回のグループディスカッション対策では積極的に意見を発信するスキルの獲得に努めてください.

関連科目

キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A$	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
e,h	①	社会人として求められる力のレベルが分かり,自分に足りない力を強化する計画を立てることができる
f,i	②	個人ワークやグループで討論した内容を説得力を持って伝えることができる
g	③	実行可能な就職活動計画を作成することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	18	52	10	0	100

教科書	授業で適宜,配布する
参考書	就活のまえに-良い仕事､職場とは？　ちくまプリマー新書　中沢孝夫　978-4-480-68830-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求められます. だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければなりません. また,その力を正しく相手に伝えることも必要です. 就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算です.
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①第12回,15回の提出物(レポート)×10点→20点 ②グループディスカッション対策での発表内容:18点 ③第2回～14回の「今週の活動とトップニュース」(作品)×4点→52点 ④第15回提出の到達度ポートフォリオ(ポートフォリオ)→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,遅刻は厳禁.授業開始20分以降は欠席とする ③また,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ④欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味することがある ⑤各自で就職活動ノートを準備すること ※オフィスアワーを適宜,設定することがある

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入する	90
	内容	授業の導入として,授業の概要･授業計画･成績評価方法,科目の目的･目標の説明を受ける.また,就職の選考過程で求められるテクニカルスキルの水準を提示する			
2回	テーマ	SPIテスト対策講座	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	代表的な筆記試験のSPIについて説明を受け、模擬SPI試験を受験する(AL),			
3回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	グループディスカッション対策のチーム編成をする グループディスカッションについて講義を受け,グループのメンバーとコミュニケーションをとる練習をする			
4回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	企業から課題の提示を受け,課題を理解する(PBL)			
5回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題について討議し,グループとしての意見を集約する(PBL)			
6回	テーマ	グループディスカッション対策④	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	集約した意見を出題者へ伝えるためのプレゼンテーションを準備する(PBL)			
7回	テーマ	グループディスカッション対策⑤	講義・演習	プレゼンテーション用ソフトを使用し,出題者へのプレゼンテーション 「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題についてプレゼンテーションし,出題者の評価を受ける(PBL)			
8回	テーマ	企業の実際を知る	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	プレゼンテーション予備.企業の社員から実際の業務内容を聞き,討論する(AL)			
9回	テーマ	自己分析① 過去	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	これまでの過去を振り返り,どんな経験により,現在の自分が成り立っているのかを考える(AL)			
10回	テーマ	自己分析② 現在	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	現在の自分を多角的に見つめることで,自己理解を深める(AL)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自己分析③ 未来･他人から見た自分	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	前2講を踏まえて未来への自分をイメージする.また,他人から自分はどう見られているかを知る(AL)			
12回	テーマ	履歴書について	演習	自己表現シート(課題①),「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	“自己表現シート”を作成する.講義終了時に提出する(AL)			
13回	テーマ	面接対策①	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	面接について講義を受け,前講で作成した自己表現シートを基に面接練習をする			
14回	テーマ	面接対策②	演習	「今週の活動とトップニュース」を提出する　履歴書(課題②),「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	グループ面接を練習し,アドバイスを受ける			
15回	テーマ	総括･まとめ	講義・演習	履歴書(課題②),到達度「今週の活動とトップニュース」を提出する	
	内容	この授業のまとめとして,“大学指定の履歴書”を作成し,提出する(AL)			

科目名	キャリア基礎Ⅲ◎（３ナ）	開講学年	3	講義コード	1116801	区分	必修
英文表記	Basic Style for Career Ⅲ	開講期	前期または後期	開講形態		単位数	1

担当教員	複数クラスのため授業で周知
研究室	複数クラスのため授業で周知
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知@
キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力
授業概要	この科目は,就職活動を約1年後に控え,知識基盤社会の中,グローバル化･複雑化する企業の採用環境に対応できるプログラムを実施します.①自分自身が過ごしてきた過去を整理し,自分の人柄と能力を言葉と文章で表現ができるようになること②積極的に議論し,他者との意見の違いをまとめて,説得できることの2点を目的としています．講座形式と毎回実施する個人･グループワークを通して,自分自身のキャリアデザインの気づきを高めましょう．授業では全回,レポート用紙を授業終了前に配ります.講義において,出てきたキーワード,気づいたこと,考えたこと,今後に活かしたいことなどを書いて提出します.. 第3～7回のグループディスカッション対策では積極的に意見を発信するスキルの獲得に努めてください.

関連科目

キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A$	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
e,h	①	社会人として求められる力のレベルが分かり,自分に足りない力を強化する計画を立てることができる
f,i	②	個人ワークやグループで討論した内容を説得力を持って伝えることができる
g	③	実行可能な就職活動計画を作成することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	18	52	10	0	100

教科書	授業で適宜,配布する
参考書	就活のまえに-良い仕事､職場とは？　ちくまプリマー新書　中沢孝夫　978-4-480-68830-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求められます. だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければなりません. また,その力を正しく相手に伝えることも必要です. 就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算です.
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①第12回,15回の提出物(レポート)×10点→20点 ②グループディスカッション対策での発表内容:18点 ③第2回～14回の「今週の活動とトップニュース」(作品)×4点→52点 ④第15回提出の到達度ポートフォリオ(ポートフォリオ)→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,遅刻は厳禁.授業開始20分以降は欠席とする ③また,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ④欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味することがある ⑤各自で就職活動ノートを準備すること ※オフィスアワーを適宜,設定することがある

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入する	90
	内容	授業の導入として,授業の概要･授業計画･成績評価方法,科目の目的･目標の説明を受ける.また,就職の選考過程で求められるテクニカルスキルの水準を提示する			
2回	テーマ	SPIテスト対策講座	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	代表的な筆記試験のSPIについて説明を受け、模擬SPI試験を受験する(AL),			
3回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	グループディスカッション対策のチーム編成をする グループディスカッションについて講義を受け,グループのメンバーとコミュニケーションをとる練習をする			
4回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	企業から課題の提示を受け,課題を理解する(PBL)			
5回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題について討議し,グループとしての意見を集約する(PBL)			
6回	テーマ	グループディスカッション対策④	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	集約した意見を出題者へ伝えるためのプレゼンテーションを準備する(PBL)			
7回	テーマ	グループディスカッション対策⑤	講義・演習	プレゼンテーション用ソフトを使用し,出題者へのプレゼンテーション 「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題についてプレゼンテーションし,出題者の評価を受ける(PBL)			
8回	テーマ	企業の実際を知る	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	プレゼンテーション予備.企業の社員から実際の業務内容を聞き,討論する(AL)			
9回	テーマ	自己分析① 過去	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	これまでの過去を振り返り,どんな経験により,現在の自分が成り立っているのかを考える(AL)			
10回	テーマ	自己分析② 現在	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	現在の自分を多角的に見つめることで,自己理解を深める(AL)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自己分析③ 未来･他人から見た自分	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	前2講を踏まえて未来への自分をイメージする.また,他人から自分はどう見られているかを知る(AL)			
12回	テーマ	履歴書について	演習	自己表現シート(課題①),「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	“自己表現シート”を作成する.講義終了時に提出する(AL)			
13回	テーマ	面接対策①	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	面接について講義を受け,前講で作成した自己表現シートを基に面接練習をする			
14回	テーマ	面接対策②	演習	「今週の活動とトップニュース」を提出する　履歴書(課題②),「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	グループ面接を練習し,アドバイスを受ける			
15回	テーマ	総括･まとめ	講義・演習	履歴書(課題②),到達度「今週の活動とトップニュース」を提出する	
	内容	この授業のまとめとして,“大学指定の履歴書”を作成し,提出する(AL)			

科目名	キャリア基礎Ⅲ◎Ａ（３情）	開講学年 3	講義コード 1117101	区分 必修
英文表記	Basic Style for Career Ⅲ	開講期 前期または後期	開講形態	単位数 1

担当教員	複数クラスのため授業で周知
研究室	複数クラスのため授業で周知
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知@
キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要

この科目は,就職活動を約1年後に控え,知識基盤社会の中,グローバル化･複雑化する企業の採用環境に対応できるプログラムを実施します.①自分自身が過ごしてきた過去を整理し,自分の人柄と能力を言葉と文章で表現ができるようになること②積極的に議論し,他者との意見の違いをまとめて,説得できることの2点を目的としています．講座形式と毎回実施する個人･グループワークを通して,自分自身のキャリアデザインの気づきを高めましょう．授業では全回,レポート用紙を授業終了前に配ります.講義において,出てきたキーワード,気づいたこと,考えたこと,今後に活かしたいことなどを書いて提出します.. 第3～7回のグループディスカッション対策では積極的に意見を発信するスキルの獲得に努めてください.

関連科目

キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A$	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
e,h	①	社会人として求められる力のレベルが分かり,自分に足りない力を強化する計画を立てることができる
f,i	②	個人ワークやグループで討論した内容を説得力を持って伝えることができる
g	③	実行可能な就職活動計画を作成することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	18	52	10	0	100

教科書	授業で適宜,配布する
参考書	就活のまえに-良い仕事､職場とは？　ちくまプリマー新書　中沢孝夫　978-4-480-68830-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求められます. だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければなりません. また,その力を正しく相手に伝えることも必要です. 就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算です.
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①第12回,15回の提出物(レポート)×10点→20点 ②グループディスカッション対策での発表内容:18点 ③第2回～14回の「今週の活動とトップニュース」(作品)×4点→52点 ④第15回提出の到達度ポートフォリオ(ポートフォリオ)→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,遅刻は厳禁.授業開始20分以降は欠席とする ③また,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ④欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味することがある ⑤各自で就職活動ノートを準備すること ※オフィスアワーを適宜,設定することがある

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入する	90
	内容	授業の導入として,授業の概要･授業計画･成績評価方法,科目の目的･目標の説明を受ける.また,就職の選考過程で求められるテクニカルスキルの水準を提示する			
2回	テーマ	SPIテスト対策講座	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	代表的な筆記試験のSPIについて説明を受け、模擬SPI試験を受験する(AL),			
3回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	グループディスカッション対策のチーム編成をする グループディスカッションについて講義を受け,グループのメンバーとコミュニケーションをとる練習をする			
4回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	企業から課題の提示を受け,課題を理解する(PBL)			
5回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題について討議し,グループとしての意見を集約する(PBL)			
6回	テーマ	グループディスカッション対策④	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	集約した意見を出題者へ伝えるためのプレゼンテーションを準備する(PBL)			
7回	テーマ	グループディスカッション対策⑤	講義・演習	プレゼンテーション用ソフトを使用し,出題者へのプレゼンテーション 「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題についてプレゼンテーションし,出題者の評価を受ける(PBL)			
8回	テーマ	企業の実際を知る	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	プレゼンテーション予備.企業の社員から実際の業務内容を聞き,討論する(AL)			
9回	テーマ	自己分析① 過去	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	これまでの過去を振り返り,どんな経験により,現在の自分が成り立っているのかを考える(AL)			
10回	テーマ	自己分析② 現在	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	現在の自分を多角的に見つめることで,自己理解を深める(AL)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自己分析③ 未来･他人から見た自分	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	前2講を踏まえて未来への自分をイメージする.また,他人から自分はどう見られているかを知る(AL)			
12回	テーマ	履歴書について	演習	自己表現シート(課題①),「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	“自己表現シート”を作成する.講義終了時に提出する(AL)			
13回	テーマ	面接対策①	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	面接について講義を受け,前講で作成した自己表現シートを基に面接練習をする			
14回	テーマ	面接対策②	演習	「今週の活動とトップニュース」を提出する　履歴書(課題②),「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	グループ面接を練習し,アドバイスを受ける			
15回	テーマ	総括･まとめ	講義・演習	履歴書(課題②),到達度「今週の活動とトップニュース」を提出する	
	内容	この授業のまとめとして,“大学指定の履歴書”を作成し,提出する(AL)			

科目名	キャリア基礎Ⅲ◎Ｂ（３情）	開講学年 3	講義コード 1117102	区分 必修
英文表記	Basic Style for Career Ⅲ	開講期 前期または後期	開講形態	単位数 1

担当教員	複数クラスのため授業で周知
研究室	複数クラスのため授業で周知
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知@
キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要

この科目は,就職活動を約1年後に控え,知識基盤社会の中,グローバル化･複雑化する企業の採用環境に対応できるプログラムを実施します.①自分自身が過ごしてきた過去を整理し,自分の人柄と能力を言葉と文章で表現ができるようになること②積極的に議論し,他者との意見の違いをまとめて,説得できることの2点を目的としています．講座形式と毎回実施する個人･グループワークを通して,自分自身のキャリアデザインの気づきを高めましょう．授業では全回,レポート用紙を授業終了前に配ります.講義において,出てきたキーワード,気づいたこと,考えたこと,今後に活かしたいことなどを書いて提出します.. 第3～7回のグループディスカッション対策では積極的に意見を発信するスキルの獲得に努めてください.

関連科目

キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A$	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
e,h	①	社会人として求められる力のレベルが分かり,自分に足りない力を強化する計画を立てることができる
f,i	②	個人ワークやグループで討論した内容を説得力を持って伝えることができる
g	③	実行可能な就職活動計画を作成することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	20	18	52	10	0	100

教科書	授業で適宜,配布する
参考書	就活のまえに-良い仕事､職場とは？　ちくまプリマー新書　中沢孝夫　978-4-480-68830-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求められます. だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければなりません. また,その力を正しく相手に伝えることも必要です. 就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算です.
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①第12回,15回の提出物(レポート)×10点→20点 ②グループディスカッション対策での発表内容:18点 ③第2回～14回の「今週の活動とトップニュース」(作品)×4点→52点 ④第15回提出の到達度ポートフォリオ(ポートフォリオ)→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,遅刻は厳禁.授業開始20分以降は欠席とする ③また,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ④欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味することがある ⑤各自で就職活動ノートを準備すること ※オフィスアワーを適宜,設定することがある

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入する	90
	内容	授業の導入として,授業の概要･授業計画･成績評価方法,科目の目的･目標の説明を受ける.また,就職の選考過程で求められるテクニカルスキルの水準を提示する			
2回	テーマ	SPIテスト対策講座	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	代表的な筆記試験のSPIについて説明を受け、模擬SPI試験を受験する(AL),			
3回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	グループディスカッション対策のチーム編成をする グループディスカッションについて講義を受け,グループのメンバーとコミュニケーションをとる練習をする			
4回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	企業から課題の提示を受け,課題を理解する(PBL)			
5回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題について討議し,グループとしての意見を集約する(PBL)			
6回	テーマ	グループディスカッション対策④	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	集約した意見を出題者へ伝えるためのプレゼンテーションを準備する(PBL)			
7回	テーマ	グループディスカッション対策⑤	講義・演習	プレゼンテーション用ソフトを使用し,出題者へのプレゼンテーション 「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題についてプレゼンテーションし,出題者の評価を受ける(PBL)			
8回	テーマ	企業の実際を知る	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	プレゼンテーション予備.企業の社員から実際の業務内容を聞き,討論する(AL)			
9回	テーマ	自己分析① 過去	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	これまでの過去を振り返り,どんな経験により,現在の自分が成り立っているのかを考える(AL)			
10回	テーマ	自己分析② 現在	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	現在の自分を多角的に見つめることで,自己理解を深める(AL)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自己分析③ 未来･他人から見た自分	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	前2講を踏まえて未来への自分をイメージする.また,他人から自分はどう見られているかを知る(AL)			
12回	テーマ	履歴書について	演習	自己表現シート(課題①),「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	“自己表現シート”を作成する.講義終了時に提出する(AL)			
13回	テーマ	面接対策①	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	面接について講義を受け,前講で作成した自己表現シートを基に面接練習をする			
14回	テーマ	面接対策②	演習	「今週の活動とトップニュース」を提出する　履歴書(課題②),「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	グループ面接を練習し,アドバイスを受ける			
15回	テーマ	総括･まとめ	講義・演習	履歴書(課題②),到達度「今週の活動とトップニュース」を提出する	
	内容	この授業のまとめとして,“大学指定の履歴書”を作成し,提出する(AL)			

科目名	キャリア実践Ⅰ◎A（３機）	開講学年	3	講義コード	1117301	区分	必修
英文表記	Practice Style for Career Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	辻田祐純　藤本元啓　田上寛美（非常勤）　藤田崇（非常勤）

研究室	本館附属棟１F　本館305　本館附属棟１F　本館附属棟１F	オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知

メールアドレス	授業で周知する@

キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要	「就職できる」だけでなく「社会で活躍できる」力を磨く！ 人生は新卒で就職した1社目で決まる.納得して就職活動を終えるため,より実践的な就職活動の手段や方法を習得し,望ましい就職の実現に結びつけることを目的としている

関連科目
キャリア基礎Ⅰ,キャリア基礎Ⅱ,キャリア基礎Ⅲ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A$	A4
	JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
f,i	①	あいさつやマナー・ルールの遵守など,社会人としての常識を理解し,実践することができる
g,h	②	生涯にわたるキャリアデザインを設計することができる
f,i	③	社会人とビジネス内容について,主体的に会話することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	30	60	20	0	10	0	100

教科書	授業で適宜,配布する

参考書	採用基準　ダイヤモンド社　伊賀泰代　ISBN978-4-478-02341-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求めらる．だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければならない．また,その力を正しく相手に伝えることも必要である．就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算である
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①毎回ごとに振り返り・質問・感想×2点→30点(小テスト) ②第4,8,10,15回の提出物×15点→60点(レポート) ③第15回提出の学習到達度ポートフォリオ→10点（ポートフォリオ）

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,遅刻は厳禁.授業開始20分以降は欠席とする ③また,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ④欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味することがある ⑤各自で就職活動ノートを準備すること ※欠席者はオフィスアワーに担当教員を訪ね,課題等を確認すること

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習		
	内容	科目の概要と目標を説明する.就職状況を説明し,これからの学生生活の過ごし方を考える			
2回	テーマ	業界・企業研究①	講義		
	内容	グループワーク:対象企業について調査する、就職課見学			
3回	テーマ	業界・企業研究②	講義・演習	「良い企業とは何か?」感想文(課題①)を記入する	90
	内容	グループワーク:調査した企業について発表			
4回	テーマ	コンピテンシーについて	講義・演習	「良い企業とは何か?」感想文(課題①)提出	90
	内容	個人・グループワーク:コンピテンシーについての説明と自分とのつながりを考える			
5回	テーマ	自己分析（過去）	講義		
	内容	個人ワーク:過去の自分の経験を振り返る			
6回	テーマ	自己分析（現在）	講義・演習		
	内容	個人ワーク:現在の自分の考え方や行動について考える			
7回	テーマ	自己分析（他人から見た自分）	講義・演習	目標達成シート(課題②)を記入する	90
	内容	グループワーク:他人からは自分がどのように見られているのかを知る			
8回	テーマ	面接対策	講義・演習	目標達成シート(課題②)提出	90
	内容	個人・グループワーク:個人・集団面接についての説明			
9回	テーマ	若手社会人とのディスカッション	講義・演習	「若手社会人とのディスカッション」感想文(課題③)を記入する	90
	内容	ーディスカッション:若手社会人とのディスカッション(AL)			
10回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「若手社会人とのディスカッション」感想文(課題③)提出	90
	内容	グループワーク:企業からの課題(テーマ)について説明			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習		
	内容	グループワーク:企業からの課題に対する解決策の発表準備①			
12回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習		
	内容	グループワーク:企業からの課題に対する解決策の発表準備②			
13回	テーマ	グループディスカッション対策④	講義・演習		
	内容	グループワーク:企業からの課題に対する解決策の発表①			
14回	テーマ	グループディスカッション対策⑤	講義・演習	GD対策での感想(課題④),「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	グループワーク:企業からの課題に対する解決策の発表②			
15回	テーマ	今後の就活計画作成	講義・演習	GD対策での感想(課題④提出),「学習到達度ポートフォリオ」提出	90
	内容	個人ワーク:今後の就職活動に向けての計画書を作成			

科目名	キャリア実践Ⅰ◎B（３機）	開講学年	3	講義コード	1117302	区分	必修
英文表記	Practice Style for Career Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	辻田祐純　藤本元啓　田上寛美（非常勤）　藤田崇（非常勤）

研究室	本館附属棟１F　本館305　本館附属棟１F　本館附属棟１F	オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知

メールアドレス	授業で周知する@

キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要	「就職できる」だけでなく「社会で活躍できる」力を磨く！ 人生は新卒で就職した1社目で決まる.納得して就職活動を終えるため,より実践的な就職活動の手段や方法を習得し,望ましい就職の実現に結びつけることを目的としている

関連科目
キャリア基礎Ⅰ,キャリア基礎Ⅱ,キャリア基礎Ⅲ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A	A$	A4
	JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
f,i	①	あいさつやマナー・ルールの遵守など,社会人としての常識を理解し,実践することができる
g,h	②	生涯にわたるキャリアデザインを設計することができる
f,i	③	社会人とビジネス内容について,主体的に会話することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	30	60	20	0	10	0	100

教科書	授業で適宜,配布する

参考書	採用基準　ダイヤモンド社　伊賀泰代　ISBN978-4-478-02341-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求めらる．だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければならない．また,その力を正しく相手に伝えることも必要である．就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算である
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①毎回ごとに振り返り・質問・感想×2点→30点(小テスト) ②第4,8,10,15回の提出物×15点→60点(レポート) ③第15回提出の学習到達度ポートフォリオ→10点（ポートフォリオ）

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,遅刻は厳禁.授業開始20分以降は欠席とする ③また,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ④欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味することがある ⑤各自で就職活動ノートを準備すること ※欠席者はオフィスアワーに担当教員を訪ね,課題等を確認すること

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習		
	内容	科目の概要と目標を説明する.就職状況を説明し,これからの学生生活の過ごし方を考える			
2回	テーマ	業界・企業研究①	講義		
	内容	グループワーク:対象企業について調査する、就職課見学			
3回	テーマ	業界・企業研究②	講義・演習	「良い企業とは何か?」感想文(課題①)を記入する	90
	内容	グループワーク:調査した企業について発表			
4回	テーマ	コンピテンシーについて	講義・演習	「良い企業とは何か?」感想文(課題①)提出	90
	内容	個人・グループワーク:コンピテンシーについての説明と自分とのつながりを考える			
5回	テーマ	自己分析（過去）	講義		
	内容	個人ワーク:過去の自分の経験を振り返る			
6回	テーマ	自己分析（現在）	講義・演習		
	内容	個人ワーク:現在の自分の考え方や行動について考える			
7回	テーマ	自己分析（他人から見た自分）	講義・演習	目標達成シート(課題②)を記入する	90
	内容	グループワーク:他人からは自分がどのように見られているのかを知る			
8回	テーマ	面接対策	講義・演習	目標達成シート(課題②)提出	90
	内容	個人・グループワーク:個人・集団面接についての説明			
9回	テーマ	若手社会人とのディスカッション	講義・演習	「若手社会人とのディスカッション」感想文(課題③)を記入する	90
	内容	ーディスカッション:若手社会人とのディスカッション(AL)			
10回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「若手社会人とのディスカッション」感想文(課題③)提出	90
	内容	グループワーク:企業からの課題(テーマ)について説明			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習		
	内容	グループワーク:企業からの課題に対する解決策の発表準備①			
12回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習		
	内容	グループワーク:企業からの課題に対する解決策の発表準備②			
13回	テーマ	グループディスカッション対策④	講義・演習		
	内容	グループワーク:企業からの課題に対する解決策の発表①			
14回	テーマ	グループディスカッション対策⑤	講義・演習	GD対策での感想(課題④),「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	グループワーク:企業からの課題に対する解決策の発表②			
15回	テーマ	今後の就活計画作成	講義・演習	GD対策での感想(課題④提出),「学習到達度ポートフォリオ」提出	90
	内容	個人ワーク:今後の就職活動に向けての計画書を作成			

科目名	キャリアデザインⅠ◎（３美デ）	開講学年	3	講義コード	1117501	区分	必修
英文表記	Career Design Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	辻田祐純※　藤田崇（非常勤）

研究室	本館付属棟1F就職部就職課ｷｬﾘｱｶｳﾝｾﾗｰ室	オフィスアワー	水曜日3限目

メールアドレス	t-fujita@ cc.sojo-u.ac.jp

キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要	キャリアデザインⅠは、就職活動を控えた3年生のための講座です。グローバル経済の中、複雑化する企業の採用環境に対応できるプログラムを実施していきます。自分自身が過ごしてきた過去を整理し、自分の人柄と能力を言葉と文章で表現ができるようになることを目的としています。

関連科目
キャリアデザインⅡ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
h	①	就職活動の理解－現在の就職状況の理解と就職に対する心構えをすることができる
f	②	自己分析の理解－自己分析を行い,自分らしさを文章と言葉で表現することができる
g	③	エントリーシート作成－過去の事実を整理し,エントリーシートを書くことができる
e	④	業界・企業研究の理解－正しい企業研究を理解し,主体的な進路選択をすることができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	15	45	15	0	25	0	100

教科書	授業で適宜,配布する

参考書	就活のまえに-良い仕事、職場とは？　ちくまプリマー新書　中沢孝夫　978-4-480-68830-9

予備知識	①授業へ3分の2以上の出席が必要です。15回の講義の内、10回以上の出席が単位付与の必要条件とする。 毎回、課題・レポート用紙を配る。講義において、出てきたキーワード、気づいたこと、考えたこと、今後に活かしたいことなどを書いて提出する。 ②第2回目の講座より、遅刻者の入室は原則認めない。（自然災害等による公共機関等の遅れ及び実験遅延は証明書により認める） ③第2回目の講座より、筆記用具、テキスト等の忘れものは減点処分とする。 ④社会人標準の授業であるので、講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある。 ⑤欠席した授業の回の課題・小テスト等は、次回の授業時までに提出することができ、その場合は評価点に加味する。 ⑥授業時間の前後に就職課にてオフィスアワーを設ける。 ⑦各自で就職活動ノートを準備すること。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	期末テストは実施しない。再試験も実施しない ①小テスト:自己表現シート(課題①)15点 ②レポート:15回×3点＝45点 ③成果発表（口頭・実技）:グループディスカッション対策での発表内容15点 ④ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」15回×1点＝15点 ⑤ポートフォリオ:学習到達度ポートフォリオ10点

学修上の注意 (SBOs)	15回の授業を通して講座形式と毎回実施する個人・グループワークを通して、自分自身のキャリア形成における気づきを高める。 毎回、課題・レポート用紙を配る。講義において、出てきたキーワード、気づいたこと、考えたこと、今後に活かしたいことなどを書いて提出する。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	授業の導入として、授業の概要・授業計画・成績評価方法、科目の目的・目標の説明を受ける			
2回	テーマ	自己分析① 過去	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	これまでの過去を振り返り、どんな経験により、現在の自分が成り立っているのかを考える			
3回	テーマ	自己分析② 現在	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	現在の自分を多角的に見つめることで、自己理解を深める			
4回	テーマ	自己分析③ 他人から見た自分	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	他人から自分がどう見られているかを知る			
5回	テーマ	自己分析④ 未来	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	未来への自分をイメージする			
6回	テーマ	自己表現シートの作成	講義・演習	自己表現シート提出（課題①）,「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	自分を文章で表現する			
7回	テーマ	企業研究	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	企業の事を知る			
8回	テーマ	SPI対策講座①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	代表的な筆記試験のSPIについて説明を受け、模擬SPI試験を受験する（AL）			
9回	テーマ	熊本県内企業の魅力と企業紹介	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	熊本市の産業構造について、熊本市内企業のご紹介、熊本県ブライト企業について 他			
10回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	企業担当者から企業の説明と課題の提示を受ける(AL)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	グループワーク①(AL)			
12回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	グループワーク②(AL)			
13回	テーマ	グループディスカッション対策④	講義・演習	プレゼンテーション用ソフトを使用し、出題者へのプレゼンテーション。「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	グループ発表①(AL)			
14回	テーマ	グループディスカッション対策⑤	講義・演習	プレゼンテーション用ソフトを使用し、出題者へのプレゼンテーション。到達度ポートフォリオを提出。「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	グループ発表②(AL)			
15回	テーマ	総括・まとめ	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	前期の講義のまとめ			

科目名	キャリア基礎Ⅰ（再履修）前期	開講学年	1	講義コード	1117701	区分	必修
英文表記	Basic Style for Career Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	藤本元啓		
研究室	本館305	オフィスアワー	授業で周知
メールアドレス	授業で周知@		
キーワード	大学での学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WS		

授業概要

1.生徒から学生になったことを自覚し、大学生活における実践目標の明確化と自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修を通して、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（リサーチペーパー、レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「キャリア基礎Ⅱ」「キャリア基礎Ⅲ」「キャリア実践Ⅰ」「キャリア実践Ⅱ」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準		fghi	fghi	

JABEE記号		学生の到達度目標
gh	①	信用のある精確な情報を収集・分析し、簡単なリサーチペーパーを作成することができる。
g	②	時事ワークシートを通して社会の動きを知り、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fg	③	「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして自己管理能力の向上と社会への関心度を高めることができる。
fhi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	22	15	4	49	10	100

教科書	
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1行40文字、1頁40行、MS明朝、余白各25㎜800～1000文字 10点　2.レポート:リサーチペーパー、書式は同上、1200文字以上、参考文献2つ以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙2枚以上になる場合は、両面印刷 12点　3.成果発表(プレゼンテーションB)　①チーム発表:1チーム15分間(内容、独自性、投影画面、参考資料等) 10点　②チーム発表報告書:チームで1部提出(パワーポイント資料、報告分析) 5点　4.作品:(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 4点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」入力し、毎回授業開始時に提出、5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。　3点×13週分＝39点　6.ポートフォリオ:学生の到達度目標①～⑤の「到達度評価レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出すること。10点　7.その他:時事ワークシート 2点×5回＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12:00とする。5月連休期間中、曜日振り替え週も入力すること。	30
	内容	キャリア基礎Ⅰの概要、チーム編成 高校生と大学生、大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領			
2回	テーマ	キャリアデザインとはなにか	講義 演習	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30 60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	チーム討議の仕方、プレゼンテーションA準備①	講義 演習	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 BS、KJ法、チーム活動の進め方 プレゼンテーションの基礎技法 テーマ：イベント企画、熊本紹介、大学紹介etc 章立てを検討し役割分担			
4回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	演習	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30 60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 情報収集、内容討議			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備③	演習	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30 60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、パワーポイント作成			
6回	テーマ	発表会	演習	今週の活動とトップニュース⑤ リサーチペーパーのテーマに関心のある参考文献を図書館から2冊以上借りて次回持参）	60 60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 チーム発表（7分間）、質疑応答、教員講評、評価シート作成 リサーチペーパー（レポート）作成の予告			
7回	テーマ	発表会予備、文章作成の基本技法①	講義 演習	今週の活動とトップニュース⑥ リサーチペーパー作成	60 60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 チーム発表、質疑応答、教員講評 リサーチペーパー（レポート）作成の概要 参考文献が必要なタイトル設定、概要、章立て作成 詳細はテキストp52を参照			
8回	テーマ	文章作成の基本技法②	演習	今週の活動とトップニュース⑦ リサーチパーパー作成	60 60
	内容	リサーチペーパー作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB「学科HP探求」準備①	演習	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	所属学科HPの改善案、新作、他大学HPとの比較 情報収集、構成、パワーポイント作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	演習	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、パワーポイント作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	演習	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、パワーポイント作成			
12回	テーマ	発表会①	演習	今週の活動とトップニュー⑪ チーム活動報告書の作成	60 60
	内容	発表時間15分、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
13回	テーマ	発表会②	演習	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成 授業資料の整理	60 60 60 20
	内容	発表時間15分、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
14回	テーマ	自己点検	演習	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は15回目の授業日に提出 チーム活動報告書の作成 到達度レポートの作成 貢献度レポートの作成	60 60 60 60
	内容	チーム活動報告書、到達度レポート チーム発表作業に対する貢献度レポートの作成 授業資料の整理 授業アンケートの入力（提出不要）			
15回	テーマ	まとめ	講義 演習	学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 提出物の返却、授業資料の点検、出席確認、総評			

科目名	キャリアプランニングⅠ（旧カリ）前期	開講学年	3	講義コード	1117901	区分	必修
英文表記	Career Planning Ⅰ	開講期	集中	開講形態		単位数	1

担当教員	辻田祐純※　藤本元啓

研究室	本館付属棟1F就職部就職課内　本館305	オフィスアワー	金曜日1限目

メールアドレス	tsujita@ ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要	就職はゴールではなく,通過点である．就職活動は何のためにするのか,内定を取ればそれでよいのか？ この科目は就職活動を支援して行くことを目指している.しかし,必ずしも内定の獲得目的としているわけではない．就職活動というフィールドを経験することで成長する受講生を支援する,地域･国･世界を形成する社会人になる過程を支援する科目である

関連科目
キャリア基礎Ⅰ,キャリア基礎Ⅱ,キャリア基礎Ⅲ,人生と職業Ⅱ,キャリアプランニングⅡ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A2	A2
		JABEE基準		e,f,g,h,i	e,f,g,h,i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,i	①	授業での自己分析を基に自分のPRを表現することができる
g,h	②	効果的な履歴書･ESを作成することができる
f,i	③	企業を調査し,自分の強みを企業で生かす方法を表現することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	30	8	0	0	62	0	100

教科書	授業で適宜,配布する

参考書	採用基準　ダイヤモンド社　伊賀泰代　ISBN978-4-478-02341-9

予備知識	大学を卒業して社会人になるのではなく,今から少しずつ社会人になって行く.就職活動を通して,社会に触れ,社会へ出て行くための準備をして行く．企業のルールを学び,社会人の価値観を知る．社会的評価に身を任すことで新しい出会いやチャンスを通して変化する自分を楽しんで欲しい
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①小テスト:各回ごとの振り返り･質問･感想×2点→30点 ②レポート:各フェーズでのレポート4つ×2点→8点 ③ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」13回×4点→52点 ④ポートフォリオ:第15回提出の学習到達度ポートフォリオ→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ③欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味する ④各自で就職活動ノートを準備すること ※欠席者はオフィスアワーに担当教員を訪ね,課題等を確認すること

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」①を記入する	90
	内容	授業の目的と概要を説明する．自己紹介をする			
2回	テーマ	自己分析Ⅰ	講義	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」②を記入し提出する	90
	内容	自己分析の目的･過去の自分を振り返る①			
3回	テーマ	自己分析Ⅱ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」③を記入し提出する	90
	内容	過去②･現在の自分を見つめる			
4回	テーマ	自己分析Ⅲ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」④を記入し提出する	90
	内容	他人から見た自分を知る･将来の自分を考える			
5回	テーマ	自己表現テスト	講義	「自己表現シート」を提出する 振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑤を記入し提出する	90
	内容	自己分析を基に自分のPRを表現する			
6回	テーマ	履歴書・エントリーシートの作成Ⅰ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑥を記入し提出する	90
	内容	効果的な履歴書･ESの作成について説明を受け,履歴書･ESを書く			
7回	テーマ	履歴書・エントリーシートの作成Ⅱ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑦を記入し提出する	90
	内容	学生時代に力を入れたことを書く			
8回	テーマ	履歴書・エントリーシートの作成Ⅲ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑧を記入し提出する	90
	内容	自己PRを書く			
9回	テーマ	履歴書・エントリーシートの作成Ⅳ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑨を記入し提出する	90
	内容	志望動機を書く．主体的な企業の選択方法の説明を受ける			
10回	テーマ	エントリーシート模擬試験	講義・演習	ESを記入し提出する 振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑩を記入し提出する	90
	内容	実際にESを書いてみる			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	一般常識模擬試験	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑪を記入し提出する	90
	内容	一般常識テストを受けて,傾向と対策を考える			
12回	テーマ	企業の情報収集と活用方法Ⅰ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑫を記入し提出する	90
	内容	個人で企業選択を行い,調査してみる			
13回	テーマ	企業の情報収集と活用方法Ⅱ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑬を記入し提出する	90
	内容	自分の強みと企業の強みを考える			
14回	テーマ	企業の情報収集と活用方法Ⅲ	講義・演習	企業調査報告書を記入し提出する 振り返り・質問・感想を記入し提出する「学習到達度ポートフォリオ」を記入する「今週の活動とトップニュース」⑬を提出する	90
	内容	選択企業の調査結果を報告する			
15回	テーマ	キャリアプランニングⅠの総括	講義・演習	ライフプランを記入し提出する 振り返り・質問・感想を記入し提出する「学習到達度ポートフォリオ」を提出する	30
	内容	科目の総括とWebClassでの社会人基礎力チェック作成			

科目名	キャリアプランニングⅡ（旧カリ）前期	開講学年	3	講義コード	1118001	区分	必修
英文表記	Career Planning Ⅱ	開講期	集中	開講形態		単位数	1

担当教員	辻田祐純※　藤本元啓

研究室	本館付属棟1F就職部就職課　本館305	オフィスアワー	水曜日2限目

メールアドレス	tsujita@ ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要	職業のことを視野に入れながらも,自分の人生の時間,それも遠い将来のことではなく目の前の学生生活を意味のあるものにする作業をこの科目を通して行う.学生生活の経験の上に卒業後の社会人としての生活が待っている.そのことを考えると,この科目は職業人生にとっても重要である.

関連科目
キャリア基礎Ⅰ,キャリア基礎Ⅱ,キャリア基礎Ⅲ,人生と職業Ⅱ,キャリアプランニングⅠ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			e,f,g,h,i	e,f,g,h,i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,i	①	あいさつや会話を状況に応じて交わすことができる
g,h	②	対話を通じて相手と新しい意見をつくることができる
f,i	③	社会人と日常生活についての会話ができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	30	0	8	0	62	0	100

教科書	授業で適宜,配布する

参考書	採用基準　ダイヤモンド社　伊賀泰代　ISBN978-4-478-02341-9

予備知識	「キャリア」とは狭義には職業人生(ワークキャリア)のことを言う.広義には余暇などを含めた生活(ライフキャリア)のありとあらゆる場面が「キャリア」につながって行く．どちらの「キャリア」についても,人との出会いがカギとなる.この科目では他者とのコミュニケーションの楽しさを体験してもらうことで,どちらの「キャリア」も豊かにしていく術の習得を目指す.
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①小テスト:各回ごとの振り返り･質問･感想×2点→30点 ②成果発表:各フェーズでの発表とディスカッションでの発言4回×2点→8点 ③ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」13回×4点→52点 ④ポートフォリオ:学習到達度ポートフォリオ→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ③欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味する ④各自で就職活動ノートを準備すること ※欠席者はオフィスアワーに担当教員を訪ね,課題等を確認すること

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」①を記入し提出する	90
	内容	科目の目的と概要を説明する受講ルールについて確認する			
2回	テーマ	対人関係技能の向上	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」②を記入し提出する	90
	内容	グループでの対話を通じて,対人関係のスキル向上にチャレンジする			
3回	テーマ	自分も相手も大切にする伝え方	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」③を記入し提出する	90
	内容	Win−Winのコミュニケーションを学ぶ			
4回	テーマ	人生の先輩から学ぶⅠ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」④を記入し提出する	90
	内容	社会人の生き方･考え方から職業観を学ぶ 講演者との対話･口頭発表①			
5回	テーマ	社会が求める人材像を知る	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑤を記入し提出する	90
	内容	実社会で求められる人格と能力を理解する			
6回	テーマ	ロールモデルを探す	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑥を記入し提出する	90
	内容	自分の目指す人を探り,将来の方向性を考える			
7回	テーマ	多様化する就労環境を知る	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑦を記入し提出する	90
	内容	就職までの流れを知る.就労環境を理解し,何をすべきかを考える			
8回	テーマ	将来のためのビジネススキルⅠ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑧を記入し提出する	90
	内容	実社会で役立つディベート･プレゼンテーション力の向上にチャレンジする-その①			
9回	テーマ	将来のためのビジネススキルⅡ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑨を記入し提出する	90
	内容	実社会で役立つディベート･プレゼンテーション力の向上にチャレンジする-その② ビジネスマナーについて自分の意見を発表する-口頭発表②			
10回	テーマ	働くことを考える	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑩を記入し提出する	90
	内容	働くことについて様々な考え方を知る			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	業界・企業情報の活用方法Ⅰ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑪を記入し提出する	90
	内容	社会・業界・企業の一般知識を理解する-その①			
12回	テーマ	業界・企業情報の活用方法Ⅱ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑫を記入し提出する	90
	内容	社会・業界・企業の一般知識を理解する-その②			
13回	テーマ	業界・企業情報の活用方法Ⅲ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑬を記入し提出する	90
	内容	社会・業界・企業の一般知識を理解する- その③　企業についての調査結果を報告する-口頭発表③			
14回	テーマ	人生の先輩から学ぶⅡ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑬を提出する「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	社会人で活躍する人から学び,学生生活に生かす　講演者との対話- 口頭発表④			
15回	テーマ	振り返りと今後へのアクション	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「学習到達度ポートフォリオ」を提出する	90
	内容	科目の総括とWebClassでの社会人基礎力チェック作成			

科目名	人生と職業Ⅱ（旧カリ）前期	開講学年	3	講義コード	1118101	区分	必修
英文表記	Life and Calling Ⅱ	開講期	集中	開講形態		単位数	1

担当教員	辻田祐純※　藤本元啓

研究室	本館付属棟1F就職部就職課　本館305	オフィスアワー	金曜日1限目

メールアドレス	tsujita@ ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要	「就職できる」だけでなく「社会で活躍できる」力を磨く！ 人生は新卒で就職した1社目で決まる.納得して就職活動を終えるため,より実践的な就職活動の手段や方法を習得し,望ましい就職の実現に結びつけることを目的としている

関連科目
キャリア基礎Ⅰ,キャリア基礎Ⅱ,キャリア基礎Ⅲ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		e,f,g,h,i	e,f,g,h,i	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,i	①	あいさつやマナー・ルールの遵守など,社会人としての常識を理解し,それを実践することができる
g,h	②	生涯にわたるキャリアデザインを設計することができる
f,i	③	社会人とビジネスについて意見交換することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	30	40	20	0	10	0	100

教科書	授業で適宜,配布する

参考書	採用基準　ダイヤモンド社　伊賀泰代　ISBN978-4-478-02341-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求めらる．だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければならない．また,その力を正しく相手に伝えることも必要である．就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算である
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①各回ごとの振り返り・質問・感想×2点→30点(小テスト) ②各フェーズでの成果物4つ×10点→40点(レポート) ③各フェーズでの発表とディスカッションでの発言20点 ④第15回提出の到達度ポートフォリオ→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ③欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味する ④各自で就職活動ノートを準備すること ※欠席者はオフィスアワーに担当教員を訪ね,課題等を確認すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	科目の概要と目標を説明する.就職状況を説明し,これからの学生生活の過ごし方を考える			
2回	テーマ	良い企業とは何か?（1）	講義	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―(講義) 良い企業とは何か?：企業経営者が考える良い企業			
3回	テーマ	良い企業とは何か?（2）	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―グループワーク：働くことの意味を考える(AL)			
4回	テーマ	良い企業とは何か?（3）	講義・演習	「良い企業とは何か?」感想文を提出する 振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―ディスカッション：若手社会人とのディスカッション(AL)			
5回	テーマ	わが国の職業の動向と特徴（1）	講義	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―(講義)働くとき役立つ制度は：ブラック企業とは?働くときに守ってくれるのは誰?世の中で実際に役立つ法律・制度・知識―			
6回	テーマ	わが国の職業の動向と特徴（2）	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―グループワーク：ライフステージごとの労働法・労働保険・社会保険について調査する(AL)			
7回	テーマ	わが国の職業の動向と特徴（3）	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―グループワーク：(2)の調査の続き(AL)			
8回	テーマ	わが国の職業の動向と特徴（4）	講義・演習	「ライフステージごとの労働法・労働保険・社会保険」調査書を提出する 振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―グループワーク：調査のまとめと発表(AL)			
9回	テーマ	ビジネスの場でのコミュニケーション（1）	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―(講義) ビジネスの場で求められるコミュニケーションとは?			
10回	テーマ	ビジネスの場でのコミュニケーション（2）	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―グループワーク：社会人としてあるべきコミュニケーションについて考える(AL)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	ビジネスの場でのコミュニケーション（3）	講義・演習	「ビジネスの場でのコミュニケーション」感想文を提出する 振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	ーグループワーク:(2)のまとめと発表(AL)			
12回	テーマ	ワークライフバランスのデザイン（1）	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	ー(講義)バランスの取れたこれからの働き方			
13回	テーマ	ワークライフバランスのデザイン（2）	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	ーグループワーク:ワークライフバランスについて考える(AL)			
14回	テーマ	ワークライフバランスのデザイン（3）	講義・演習	ライフプランを提出する 「学習到達度ポートフォリオ」を作成する 振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	ー個人ワーク:ライフプランを作成する(AL)			
15回	テーマ	これからの就活	講義・演習	「学習到達度ポートフォリオ」提出 振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	科目の総括とWebClassでの社会人基礎力チェック作成			

科目名	イノベーション入門（２全学科）	開講学年	2	講義コード	1118201	区分	選必
英文表記	Innovation	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	川副 智行（実務経験）　田口 雄太

研究室	G301 川副 智行　G303 田口 雄太	オフィスアワー	月曜日3限

メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	イノベーション　コンシューマインサイト　アイディエーション　バックキャスト　　ユーザーエクスペリエンス（UX）

授業概要	本講義では、イノベーション創出に関する基本的な考えを理解し、社会で実践するための知識、スキル、マインドを身に付ける。講義の中では、自身の意識や考えをまとめ、それを共有化・考察するプロセスを組み込み、他者の考えを認め、取り込むことでアイデアをブラッシュアップできる力を醸成する。論理的なアイディエーションの体験・体得で、起業へ関心を高めるとともに、業種を問わないビジネススキルを確立する。 担当教員の川副は、前職における産業分野の各種テーマの企画立案及び提案に関する資料作成とプレゼンテーション、並びにチームビルディングによる協同推進の実務経験を活かして、アントレプレナーシップ教育におけるイノベーション創出分野において授業の中で学生に教授している。

関連科目
「特殊講座（未来デザイン）」「ローカルイノベーション」「アントレプレナーシップ入門」「ベンチャービジネス」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
(a), (b)	①	社会・環境・技術の変化を把握して、それに関係したイノベーションが必要であることを理解することができる。
(b), (c), (d)	②	イノベーションに関連したワードを理解することで、他のイノベーションの事例を理解することができる。
(d), (e), (g)	③	イノベーション創出に向けたアイディエーションの手法を理解して実践することができる
(a), (c), (d), (e), (g)	④	顕在化した課題のみならず、潜在的な課題に対して、解決するオリジナリティの高いアイデアを創出できる。
(e), (f), (h)	⑤	自身の考えるイノベーションに向けたアイデアをまとめ、他人に対して論理的にわかり易く説明することができる。
(g)	⑥	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	15	60	15	0	10	0	100

教科書	講義のレジュメを教科書とする

参考書	イノベーション全書　東洋経済社　紺野 登　978-4-492-52225-7 イノベーションのジレンマ増補改訂版　翔泳社　C.クリステンセン　978-4-881-35839-9 ビジネスを変える100のブルーオーシャン　日経BP社　日経BP総研社　978-4-2961-0392-8

予備知識	課題の発見と解決に向けたアイデア創出に関して主体的･協働的に学ぶこと。 イノベーションは特別なものでなく誰でも起こすことができるという大前提を理解していて欲しい。
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	川副 智行
評価明細 基準	1. 小テスト:15点 講義で取り上げた内容に関する基礎的事項を理解し、課題に対して自己の見解を論理的に説明できるか等を評価する。テストは適宜返却する。 2.レポート:20点×3回＝60点 身近のイノベーションとヒット商品/イノベーションのジレンマへの対応／インサイトやUXなど市場受容度、を1200～1500字でまとめる。イノベーションへの自身の考え方を論知的に表現すると共に学修到達度を評価する。(学修到達度を評価)提出されたレポートは適宜コメントをフィードバックする。 3. 成果発表:15点 課題:イノベーションにかかるアイディエーションの結果を自分の言葉で口頭発表できるかどうかを評価する。成果発表の参加が必要。(学修到達度を評価) 4. ポートフォリオ:10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 毎回、講義のポイントをまとめたレジュメをスクリーンに投影し、各種資料、映像資料を参照しながら進める。 2. 講義のレジュメは、資料などはWebClassで閲覧、ダウンロードする。 3. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。 4.起業の有無にかかわらず社会で必要となる知識・スキル・マインドの育成を目指して実践的な講義を実施することから、講義への積極的な参加が望ましい。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・アンケート記入	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第2回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・講義概要、講師紹介,アントレプレナーシップと社会とのつながりを概説。・社会からの期待や自己実現について考え、体得すべきスキルを理解する。・アンケートで、現在の自分を把握すると共に、講義の位置づけを理解する。			
2回	テーマ	イノベーション領域の頻出ワードと現在のビジネス（企業と起業）	講義	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第3回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・イノベーション領域で使用されるビジネスワードに慣れる。・社会における企業（大企業・中小企業）の特徴を理解する。・起業化よるメリット・デメリットを理解をする。			
3回	テーマ	身近にあるイノベーションとアイデアを形にするマインドセット	講義・PBL（Project Based Learning ）・レポート作成	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第4回の講義レジュメを読んでおく。身近にあるイノベーションやヒット商品をレポートにまとめる。	120
	内容	・イノベーションの事例を通して、登場背景やその必要性を理解する。・イノベーション創出では、発想とマインドが重要であることを理解する。・身近のイノベーションやヒット品を選び、その理由をレポートにまとめる。			
4回	テーマ	イノベーションの種類（プロダクト・サービス・プロセス・意味）	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第5回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・様々なイノベーションの事例より、各種イノベーションの特徴を理解する。・アイディエーションにおけるソリューションや想像力の幅を広げる。・レポートの集計結果のフィードバックから他の人の考えを理解して発想を広げる。			
5回	テーマ	イノベーションのジレンマとその対策	講義・PBL（Project Based Learning ）・レポート作成	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第6回の講義レジュメを読んでおく。イノベーションのジレンマと対応策に関するレポートにまとめる。	120
	内容	・商品・サービスの本質的価値と変動する価値を理解する。・大企業におけるイノベーションのジレンマを理解する。・イノベーションのジレンマに対する対策を考え、レポートにまとめる。			
6回	テーマ	持続的イノベーションと破壊的イノベーション	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第7回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・持続的イノベーションと破壊的イノベーションの違いを事例にて理解する。・破壊的イノベーションに繋がる発想及び着眼点を理解する。・次に起こる破壊的イノベーションを想像して説明する。			
7回	テーマ	変化する生活環境・市場環境・規制とイノベーション	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第8回の講義レジュメを読んでおく。小テストの準備をする。	120
	内容	・イノベーションが必要となる生活環境や社会構造の変化を理解する。・規制の変化や社会情勢の変化に関する意識を醸成する ・ゲームチェンジの事例を通して、ビジネスセンスを身に付ける。			
8回	テーマ	新しい流通の確立と台頭するYou Tuber	講義・PBL（Project Based Learning ）・小テスト	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第9回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・ICTやSNSなどのプラットフォームの発展とビジネスへの影響を理解する。・You Tuberの存在意義や起業に向けた環境の充実を理解する。・小テストの実施			
9回	テーマ	アイデア創出法（バックキャストとフォアキャスト）	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第10回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・フォアキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。・バックキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。・模擬題材によるアイディエーションによって発想に関するコツを取得する。			
10回	テーマ	イノベーションを考えよう!Part.1	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第11回の講義レジュメを読んでおく。グループ討議のための題材を選定しておく。	90
	内容	・グッドデザイン賞などの新規アイデアを評価して、アイデア創出の具体的な訓練をする。・C-TECやCESなど新規アイデアの存在を理解して、情報収集力を高める。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	イノベーションを考えよう!Part.2	講義・PBL（Project Based Learning）・SGD（Small Group Discussion）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第12回の講義レジュメを読んでおく。	90
	内容	・グッドデザイン賞などの新規アイデアを題材にグループで討議する。・グループ討議を通して、アイデアを絞り込むプロセスを体験する。・アイデアの良さを説明するプロセスによって、論理的な説明力を体得する。			
12回	テーマ	コンシューマインサイトとUX・UI	講義・PBL（Project Based Learning）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第13回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・インサイト及びUX・UIのイメージを理解する。・アイデア着想の源としてインサイトやUXを活用できる。・具体的なインサイトの事例から本質的価値が理解できる。			
13回	テーマ	ニーズを知る（需要度を確認する）	講義・PBL（Project Based Learning）	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第14回の講義レジュメを読んでおく。	90
	内容	・市場ニーズを把握する手法の種類を把握する。・バックキャストによる発想法と問題点を理解する。・模擬題材によるアイディエーションによって発想に関するコツを取得する。			
14回	テーマ	ヒトの意識と感性価値（AIDMAとAISAS）	講義・PBL（Project Based Learning）・レポート作成	【復習】講義中で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第15回の講義レジュメを読んでおく。インサイトやUXなど市場受容度に関するレポートをまとめる。	120
	内容	・AIDMAやAISASなどヒトの認知特性を理解してアイデア着想の源とする。・感性工学的なアプローチを理解して、感性価値の科学的解釈ができる。・機能的価値と情緒的価値を理解してレポートにまとめる。			
15回	テーマ	講義のまとめ	PBL（Project Based Learning）・アンケート記入	【復習】ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	60
	内容	・講義のまとめと教員からのメッセージ・レポートやアンケートの結果を共有化して、自分や他者の意見を理解する。・理解度や意識に関するアンケートを実施する。			

科目名	教養講座Ⅱ◎（旧カリ）	開講学年	1	講義コード	1118301	区分	必修
英文表記	Culture Course Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	1

担当教員	永松俊雄（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤控室	オフィスアワー	講義日昼休み

メールアドレス	nagamatu@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	教養

授業概要

本講座は、学生諸君に必要とされる様々な「教養」の意味を理解する科目として位置づけられる。 講義では、自然・人文・社会科学の各学問分野の魅力に触れるとともに、人間や社会を多面的に理解することを学ぶ。" 視聴したビデオについてレビューを作成することで、要約力、思考力を養う。

関連科目

SOJOセミナー

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	様々な事象を多角的視点から捉え、考えることができる。
f	②	視聴したビデオについて、文章で批評することができる。
g	③	本科目における「学修到達度」をポートフォリオで事故評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	90	0	0	10	0	100

教科書

参考書

予備知識	所属する学科の専門分野だけでなく、広く科学の諸分野にも関心を持つよう心がけておくこと。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート 90点（1～6回各10点、7～8回各15点） 毎回の講義の概要、自分の考えのまとめをノートに書き留める。最終講義後にレポートの提出を求める。 2.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点 【学生の到達度目標】の項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力する。 3.100点満点中60点以上を合格とする。

学修上の注意 (SBOs)	1.演習で使用するので、「パソコン」を持参すること。 2.講義を聞いて重要だと思うことを、自分の言葉で「要約」して書きとめるスキルを磨く機会とすること。 3.関心を持ったこと、疑問を持ったことは書きとめて、自分なりに調べる習慣を身につけること。 4.授業回数の1／3以上の欠席者は成績評価を行わない（不合格となる）。ただし、公認欠席は出席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス　人類への進化(1)	講義・演習	左記の授業内容の復習を行う。	20
	内容	「人類誕生」を教材に、ヒトが生まれるまでの“奇跡の物語”を眺望する。第1回「こうしてヒトが生まれた」 視聴レポートの作成			
2回	テーマ	人類への進化(2)	講義・演習	左記の授業内容の復習を行う。	20
	内容	第2回「最強ライバルとの出会い そして別れ」 視聴レポートの作成			
3回	テーマ	選択の科学	講義・演習	左記の授業内容の復習を行う。	20
	内容	コロンビア大学シーナ・アイエンガー「あなたの人生を決めるのは偶然？選択？」を教材に、人生における選択を考える。 視聴レポートの作成			
4回	テーマ	意志力の科学	講義・演習	左記の授業内容の復習を行う。	20
	内容	スタンフォード大学ケリー・マクゴニガル「最高の自分を引き出す法」を教材に、意志力を科学する。 視聴レポートの作成			
5回	テーマ	神の数式（1）	講義・演習	左記の授業内容の復習を行う。	20
	内容	宇宙の謎を解く唯一無二の“神の数式”を追い求めた2000年以上に及ぶ人類の思索の歴史を眺望する。第1回「この世は何からできているのか～美しさの追求 その成功と挫折～」 視聴レポートの作成			
6回	テーマ	神の数式（2）	講義・演習	左記の授業内容の復習を行う。	20
	内容	第2回「“重さ”ほどこから生まれるのか～自発的対象性の破れ～驚異の逆転劇～」 視聴レポートの作成			
7回	テーマ	「JUSTICE（正義）」とは何か？(1)	講義・演習	左記の授業内容の復習を行う。 学修到達度レポートの作成	40
	内容	ハーバード大学マイケル・サンデルの「白熱教室」を教材に、社会における正義とは何かを考える。第1回「殺人に正義はあるか」 視聴レポートの作成			
8回	テーマ	「JUSTICE（正義）」とは何か？(2) まとめ	講義・演習	左記の授業内容の復習を行う。	20
	内容	第2回「命に値段をつけられるのか」 視聴レポートの作成			

科目名	日本語表現（旧基礎日本語）（２全学科）前期	開講学年 2	講義コード 1122101	区分 選必
英文表記	Introduction to Japanese	開講期 前・後期	開講形態	単位数 2
担当教員	上妻 利博			
研究室	本館付属棟318 上妻 利博		オフィスアワー 木曜日の昼休み	
メールアドレス	@			
キーワード	日本語の基礎力、語彙力、表現力　小論文作成力　図書館活用			

授業概要

実社会では、コミュニケーションにおける敬語の使用法や語彙力の充実が求められている。また、プレゼンテーションやレポート作成等に関しても、的確で分かりやすい表現が不可欠である。そのような中で、日本人としての日本語の基礎力及び表現力を幅広く身に付けることが重要である。そのような意味から、次のようなことを目標に授業を展開する。 ①日本語検定3級合格程度の語彙力、コミュニケーション力を身に付ける。 ②図書館等を利用し、多くの書籍を読む。 ③表現力育成の一環として、小論文や書評作成に挑戦する。 ④学修成果を確認するために、日本語検定試験に挑戦する。

関連科目

関連科目：日本の文学

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A１	A１
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
fg	①	言葉の使い方等に関心を持ち、社会生活上必要な日本語力を身につけることができる。
fg	②	小説や資料等を読み、自己の意見や提案等を文章で作成することができる。
fg	③	授業で学んだことを専門分野での論文・レポート等の表現に生かすことができる。
fg	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	20	40	0	30	0	0	10	0	100

教科書	日本語検定3級 3訂版　東京書籍
参考書	

予備知識	日頃から新聞のコラムや社説等を読み、社会情勢等に関心をもっておく。 書評コンテストへの対応として、図書館の蔵書等を活用し、読書量を増やしておく。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①定期試験　（40点）②中間テスト2回 1回目 「敬語」「語彙」「言葉の意味」（10点）　2回目 「文法」「表記」「漢字」　（10点）③小論文2回　1回目 課題に対する小論文　（10点）　2回目 自選課題に対する小論文　（10点）　書評1回　自選図書に関する書評　（10点）④ポートフォリオ　（10点）

学修上の注意 (SBOs)	①専用のノートを作成し、問題の解答・解説をそのノートに記入する。②各授業内容に沿って「日本語検定3級 3訂版」の予習・復習を確実に行う。③書評コンテスト、小論文作成用に図書館等の書籍を多く読む。④レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	授業ガイダンス	演習　講義	日本語検定問題集のP6～P11の予習	30
	内容	確認テスト 入学時までの日本語に関する知識を確認する。			
2回	テーマ	「敬語」①	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP12～P17の予習	60
	内容	問題集を使って、敬語の使い方を学習する。			
3回	テーマ	「敬語」②	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP44～P52の予習	60
	内容	問題集を使って、敬語の使い方を学習する。			
4回	テーマ	「語彙」「言葉の意味」① 小論文の書き方指導	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP64～P67の予習	60
	内容	問題集を使って、「語彙」「言葉の意味」を学習する。小論文の基本的な書き方を学習する。			
5回	テーマ	「語彙」「言葉の意味」② 小論文①（下書Ⅰ）	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP68～P72の予習	60
	内容	問題集を使って「語彙」「言葉の意味」を学習する。テーマに基づいた小論文の下書を行う。			
6回	テーマ	「語彙」「言葉の意味」③ 小論文①（下書Ⅱ）	演習　講義	中間テストⅠに向けた「敬語」「語彙」「言葉の意味」の復習 小論文①の清書に向けた推敲	120
	内容	問題集を使って「語彙」「言葉の意味」を学習する。テーマに基づいた小論文の下書を行う。			
7回	テーマ	中間テストⅠ　小論文①（清書・提出）	演習	中間テストⅠの振り返り	60
	内容	これまで学習した「敬語」「語彙」「言葉の意味」の内容のテストを行う。テーマに基づいた小論文の清書を提出する。			
8回	テーマ	書評の書き方の説明 図書館研修（書評コンテスト関係）	演習　講義	日本語検定問題集のP28～P31の予習 書評コンテスト用図書の読込	300
	内容	書評例をもとに、書評の書き方を説明する。書評コンテスト関係の書籍を図書館から借りる。			
9回	テーマ	「文法」① 書評コンテスト用（下書Ⅰ）	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP32～P35の予習	60
	内容	問題集を使って「文法」を学習する。書評コンテスト用の下書を行う。			
10回	テーマ	「文法」② 書評コンテスト用（下書Ⅱ）	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP82～P85の予習 書評コンテスト作品の清書に向けた推敲	60
	内容	問題集を使って「文法」を学習する。書評コンテスト用の下書を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	「表記」「漢字」①　書評コンテスト用（清書・提出）	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP86～P89の予習	60
	内容	問題集を使って、「表記」「漢字」を学習する。書評コンテスト用の清書を提出する。			
12回	テーマ	「表記」「漢字」②　小論文②（下書Ⅰ）	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP98～P106の予習	60
	内容	問題集を使って「表記」「漢字」を学習する。自分で小論文の題材を選び、下書を行う。			
13回	テーマ	「表記」「漢字」③	演習　講義	中間テストⅡ向けた「文法」「表記」「漢字」の復習　小論文②の清書に向けた推敲	120
	内容	問題集を使って「表記」「漢字」を学習する。自分で小論文の題材を選び、下書を行う。			
14回	テーマ	中間テストⅡ　小論文②（清書・提出）	演習	定期試験の向けた中間テストⅠ・Ⅱの総復習　学修到達度レポートの作成	120
	内容	これまで学習した「文法」「表記」「漢字」の内容のテストを行う。自己のテーマに基づいた小論文の清書を提出する。			
15回	テーマ	定期試験	講義	学修到達度レポートの提出	60
	内容	定期試験 まとめ、総評			

科目名	日本の文学（２全学科）前期	開講学年 2	講義コード 1122201	区分 選必
英文表記	Japanese Literature	開講期 前後期	開講形態	単位数 2

担当教員	岩本 晃代

研究室	本館３階 304	オフィスアワー 木曜５限

メールアドレス	iwamoto@ ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	文学　地域文化

授業概要	日本の代表的な近現代の作家の作品を取り上げて、日本文学史の基礎的な知識の修得とともに、文学作品を鑑賞し、その内容を文章で表現する能力を培うことを目的とする。 近現代の名作について、文学の時代性、文化の変遷、歴史的背景ふまえつつ考察する。また、熊本にゆかりのある作家の作品を取り上げて、地域への関心が持てるように講義を行う。適宜、文章表現のための練習問題等を配布し、日本語の表現について学習する。 1.作家については、経歴や関連する作家等について自主的に図書館等で調べること。 2.作品中の分からない言葉等は辞書等で調べ、ワークシートに記入すること。 3.自分の選んだ作品について、作家及びその時代の歴史や文化に関しての調査を行い、レポートとしてまとめること。 以上のことから、自分の考えたこと等を文章や口頭で表現できる基礎的能力とコミュニケーション能力を養う。 4.毎回作成するワークシートは、添削後、次回に返却する。指示に従って推敲・補筆修正をしておくこと。

関連科目
「日本語表現」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A１	A１
		JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	さまざまな視点から日本の文学作品を鑑賞し、その内容を文章にすることができる。
a,f	②	調べたことをもとに、自分の考えを分かりやすく文章で表現することができる。
g	③	分からない言葉等を自主的に調べ、課題に最後まで取り組むことができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	40	0	30	0	20	10	0	100

教科書	くまもと文学紀行　高教研国語部会 授業中に配布する文学資料

参考書	日本近代文学大事典　講談社 現代詩大事典　三省堂

予備知識	図書館等を活用して読書量を増やしておくこと。
DP との 関連	日本の代表的な文学作品や熊本ゆかりの作家の文学作品を鑑賞すること及び、自分の出身地域等に関わる作家の課題研究を通して、自分の考えたこと等を文章や口頭で表現することにより、「課題対応力」を身につけ実践することができる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート（課題研究）30点　所定の用紙に下書きをし、さらに推敲したうえで清書したものを提出　（詳細は授業中に指示する） 2.まとめの試験（定期試験） 40点 3.ワークシート（補筆修正した完成版を「作品」として評価する）20点 4.「到達度評価ポートフォリオ」10点 【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力しプリントアウトして提出

学修上の注意 (SBOs)	1. 分からない語句等を調べるために電子辞書等を持ってくること。 2. 授業中に配布するワークシートを完成させて提出すること。(次の授業で返却する)なお、ワークシートの内容についてまとめたものを、定期試験のうちの一つの問題(小論文形式)とする。 3. レポート(課題研究)については、本学図書館及び熊本県立図書館等で資料を収集し、それらをもとにまとめること。 4. 提出物については期限を厳守すること。 ・レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	【復習】 文学史の復習	30
	内容	講義の全体について説明する。日本文学史(近現代)について学習する。			
2回	テーマ	熊本の文学1	講義／演習	【予習】熊本の文学者について調べておく【復習】作品の読み直し	60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学1 夏目漱石・小泉八雲等			
3回	テーマ	熊本の文学2	講義／演習	【予習】熊本の文学者について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲・補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学2 耕治人・島一春・石牟礼道子等			
4回	テーマ	熊本の文学3	講義／演習	【予習】熊本の文学者について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲・補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学3 蔵原伸二郎・淵上毛銭・中村汀女等			
5回	テーマ	明治の文学1	講義／演習	【予習】文学史の資料で自然主義について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲・補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:自然主義の作家の作品 島崎藤村・田山花袋等			
6回	テーマ	明治の文学2	講義／演習	【予習】文学史の資料で反自然主義について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲・補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:反自然主義の作家の作品1 夏目漱石・森鷗外・白樺派等			
7回	テーマ	明治の文学3	講義／演習	【予習】文学史の資料で反自然主義について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲・補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:反自然主義の作家の作品2 夏目漱石・森鷗外・白樺派等			
8回	テーマ	前半のまとめ	講義／演習	【予習】文学史の資料で大正期以降の代表的な作品について調べておく【復習】 課題研究の準備	60
	内容	熊本の文学についてのまとめ 日本文学史(明治期)についてのまとめ レポート(課題研究)作成の方法についての説明			
9回	テーマ	大正の文学1	講義／演習	【予習】文学史の資料で芥川龍之介について調べておく【復習】作品の読み直し ワークシートの推敲・補筆修正 課題研究の準備	60
	内容	作品鑑賞:芥川龍之介等			
10回	テーマ	大正の文学2	講義／演習	【予習】文学史の資料でプロレタリア文学について調べておく【復習】作品の読み直し ワークシートの推敲・補筆修正 課題研究の準備	60
	内容	作品鑑賞:プロレタリア文学等			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	昭和の文学1	講義／演習	【予習】課題研究 【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:昭和期の作家の作品1 文学史資料の作品の中から			
12回	テーマ	昭和の文学2	講義／演習	【予習】課題研究 【復習】作品の読み直し ワークシートの推敲･補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:昭和期の作家の作品2 文学史資料の作品の中から			
13回	テーマ	現代の文学	講義／演習	【予習】課題研究 【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:現代作家の作品 文学史資料の作品の中から			
14回	テーマ	後半のまとめ	講義／演習	【予習】課題研究 【復習】課題研究の成果としてのレポート清書	60
	内容	日本近代文学史のまとめ ワークシート全体のまとめ ワークシート完成版の提出 ポートフォリオの作成			
15回	テーマ	全体のまとめ	講義／演習		
	内容	授業全体のまとめ まとめの試験(定期試験) レポート(課題研究)提出 ポートフォリオの提出			

科目名	人間と心理（２全学科）前期	開講学年 2	講義コード 1122301	区分 選択
英文表記	Psychology	開講期 前期／後期	開講形態	単位数 2

担当教員	園部 博範（実務経験）
研究室	図書館4階
オフィスアワー	火曜、木曜の2限目
メールアドレス	sonobe-h@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	学習理論　自己･他者理解　行動の背景　人の発達　コミュニケーション

授業概要

本講義では我々の身近で起こる出来事を心理学の理論をもとに解説し、心理学とは一体どのような学問なのかを学び、心理学への興味や理解を深める。さらに、我々の日常の行動の意味を知ったり、自己理解や他者理解を深め、人間関係のあり方を学び、これらをもとに社会に貢献できる人として生きるための一助とするものである。 また、前職における児童相談所、精神保健福祉センターの実務の経験を活かし、人間の発達やメンタルヘルスの分野において授業の中で学生たちに教授する。 1.授業中に質問し、横の人との会話を勧めるので、積極的に参加する。 2.授業中の心理テストの内容をよく理解し、真剣に取り組み自己理解に努める。 3.心理学を学ぶことによって、自分や他者、さらにその関係について、知見を深めるよう努める。 4.さらに、心理学の知識を自己管理能力を高める資源とする。

関連科目

文化社会関連科目:「人間と哲学」 教職関連科目:「教育心理学」「教育相談の理論及び方法」
その他の関連科目:「キャリア関連科目」「生物学関連科目」「脳関連科目」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,e	a,e

JABEE記号		学生の到達度目標
a,e	①	心理テストによって自己理解を深め、対人関係における自分の課題を知り記述することができる。
a.i	②	本講義で人間の心や行動を理解し、他者への働きかけの方法を学んだことを文章で表現することができる。
f,h	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	50	10	30	0	0	10	0	100

教科書

やさしい心理学　北大路書房　水田恵三　978-7628-2048-9

参考書

新しい心理学ゼミナール　福村出版　藤田圭一編　978-4-571-20072-4
心理学入門　健ぱく社　平田･伊藤編　978-4-7679-4013-7
よくわかる心理学　ミネルヴァ書房　無籐他編　978-4-623-05250-9

予備知識	1.日常での出来事、小説などから心理学的な現象を考えておくとよい。　2.人間の行動や心理はすべて心理学に関係あるので、小説や漫画の登場人物の心理や行動を　理解しておくと心理学が楽しくなる。　3.自分が落ち込んだときにどんな方法や本を読むか、また、その内容を考えるようにする。　4.性格、心理検査、ストレスなどの心理学に関する本を読んでおく。
DP との 関連	1.人の発達、学習、認知、社会性などを学び、人間関係の仕組みや人間関係形成能力を身につ　ける。また、自己理解や他者の行動の背景を知り、自己管理能力の基礎的・汎用的能力を身　につける。　2.働くことにおいて、自分が果たす役割を意識し、それを遂行するためには、自己理解や他者理　解はいうまでもなく、コミュニケーション能力や職場への適応能力も必要である。これらを身に　付けるために心理学の知識が役に立つ、それがキャリアデザインのありかたにも関連してい　く。 3.またこの科目は教職科目に継続しているため、教師としての職務内容やそのあり方を身につ　け、キャリアデザインを組み立てるものでもある。
実務経験 のある 教員	園部博範
評価明細 基準	1.定期試験（15回目）50点　2.小テスト（8回目）10点　3.レポート:いくつかのテーマから選択したものについて、調査・報告する。A4の1枚、PC　使用1頁40行、1行40文字、MS明朝、10.5p、1200～1300文字 10回目にレポートの指　示説明を行う。作成後は15回目までに提出する。30点　4.ポートフォリオ:「学習到達度評価レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、　プリントアウトして、15回目までに提出する。10点

学修上の注意 (SBOs)	1.試験は小テス、定期試験を行い、追試・再試は実施しない。 2.教科書以外の資料も提示するので、重要な部分はノートをとること。ノートは各自取るよ うにし、その評価はしないので、各自教科書とともに復習の材料とすること。 3.グループ討論や当てられることが苦手な人は事前に申し出ること。 4.毎回の心理テストは自己を探求するものなので、積極的に参加し自己理解を深め るこ と。 5.心理テストに抵抗がある場合は、事前に申し出ること。 6.レポートは提出日までに出すこと。 7.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされる。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	「心とは何か」	講義　演習	予習：心や心理学に関する本を読んでおく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30
	内容	ガイダンス、心の起源、心とは何かについて学ぶ。 演習：心理テスト、人間関係を見る。			
2回	テーマ	「心理学とは何か」	講義　演習	予習：ゲシュタルトの法則、人の物の見え方について調べておく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	心理学の歩み、研究方法、領域、人間関係について学ぶ。 演習：心理テスト、私のストレス度とコーピングチェック。			
3回	テーマ	「人は物をどう見るのか」	講義　演習	予習：学習と記憶に関する事を調べておく。復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	ゲシュタルトの法則、知覚の恒常性、錯視について学ぶ。 演習：心理テスト、自分をどう評価しているか。			
4回	テーマ	「人はどのように学ぶのか」	講義　演習	予習：人間の欲求にはどんなものがあるか調べておく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	古典的：オペラント条件づけ、学習と記憶について学ぶ。　演習：心理テスト、自分はどの感覚を使って生きているか。			
5回	テーマ	「人は何故行動するのか（1）」	講義　演習	予習：人間の感情や欲求不満について調べておく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	欲求の種類、達成欲求と親和欲求について学ぶ。　演習：心理テスト、3つの自分を発見する。			
6回	テーマ	「人は何故行動するのか（2）」	講義　演習	予習：子供がどのようにして大きくなっていくか調べておく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	フラストレーションと葛藤の心理、感情の心理について学ぶ。　演習：心理テスト、達成動機と親和欲求の程度。			
7回	テーマ	「人はどのように成長するのか」	講義　演習	予習：自己・他者理解とは何かを調べておく。　復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	発達とは、乳幼児～老年期の発達心理について学ぶ。演習：心理テスト、欲求不満の表し方。			
8回	テーマ	「人は自分をどう見るのか（1）」	講義	予習：性格に関することを調べておく。　復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	人は自分をどう見るか、人をどう見るかについて学ぶ。小テスト			
9回	テーマ	「人は自分をどう見るのか（2）」	講義　演習	予習：第一印象について調べておく。　復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	人格理論、性格・心理検査、自己意識、悩める心について学ぶ。 演習：心理テスト、私の今のアイデンティテイ状態。			
10回	テーマ	「人は人をどう見るのか（1）」	講義　演習	予習：私たちが人をどのように見ているか調べておく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	容貌や人の認知、印象形成について学ぶ。　演習：心理テスト、自分の性格を知る（類型論）。レポート作成説明。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	「人は人をどう見るのか(2)」	講義　演習	予習:どんな人が好意を持たれるか調べておく。　復習:習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	暗黙のパーソナリティ理論、対人認知、2者･3者関係について学ぶ。演習:心理テスト、私の自分はどこまで自己実現しているか。			
12回	テーマ	「人は何故心惹かれるのか」	講義　演習	予習:言葉以外のコミュニケーション方法を調べておく。 復習:習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	恋愛の心理と法則、発展と崩壊について学ぶ。演習:心理テスト、自分の愛し方を知る。			
13回	テーマ	「人はメッセージをどう読み取るのか」	講義　演習	予習:自分のテリトリー(対人距離)がどの位か調べておく。 復習:習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	ノンバーバルコミュニケーション①表情と視線、動作と姿勢について学ぶ。演習:心理テスト、私の感情と自己物語。			
14回	テーマ	「説得するためには、説得されないためには	講義　演習	予習:教科書全体に目を通しておく。 復習:授業記録ノートを読む	30 30
	内容	ノンバーバルコミュニケーション②近言語、服装等、対人距離、社会的スキルついて学ぶ。 演習:心理テスト、ソーシャルスキルと思いやりの程度を知る。			
15回	テーマ	授業のまとめ	講義　演習		
	内容	授業全体のまとめ 総括ための定期試験 レポート及びポートフォリオの提出 総評			

科目名	人間と哲学（２全学科）前期	開講学年	2	講義コード	1122401	区分	選必
英文表記	The Human beings and Philosophy	開講期	前後	開講形態		単位数	2

担当教員	金田健司

研究室	本館306	オフィスアワー	金曜5限

メールアドレス	k-kaneda @ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	人格と人間主義　哲学と科学　論理的整合性　経験科学(主義)から実証科学(主義)へ　経験的事実(実証主義)と超経験的事実(精神科学)

授業概要	人間を他の動物から区別する点は多々ありますが、人間が超自然的事実と経験的事実の双方を認識し得る存在であるということもまた、人間を他の動物から区別し得る重要な点であると思われます。つまり、人間は観念論的態度と科学的態度の双方を有し得るという点で「特別な存在」なのです。したがって本講義は、哲学的にも科学的にも「正しく考える」力を伸長・拡大していくことを目的とするものであり、この目的を達成するべく、次のような柱を置いています。1.人格ゆえの人間存在 2.人間主義(ヒューマニズム) ①理想型 ②現実型 3.哲学と科学の異質性 ①妥当性と可能性に対する態度 ②事実判断と価値判断 ③精神科学と経験科学 4.哲学によっても科学によっても解明できないモノ(哲学と科学の同質性) ＝人間の精神的価値そのものを問い、創造していく領域 ①芸術(文学、音楽、美術) ②宗教 5.哲学から生成された科学の基盤である実証主義(経験主義から実証主義へ) ①一般論的に ②経験科学論的に ③コント(A. Comte)の「実証主義」による知識の三つの発展段階 ⅰ)神学的段階 ⅱ)形而上学的段階 ⅲ)実証的段階 6.人間にとって「絶対者」(超自然的事実)とは何か? 7.本当に「神は死んだ」(ニーチェ)のか? 8.人間は何を介して人間となるのか? 9.再び、人格とは何か?

関連科目

連携科目：人間と歴史、ドイツ語圏の文化と社会

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			a g	a g

JABEE記号		学生の到達度目標
a f g h	①	哲学という学問体系を理解できる。
a f g h	②	哲学と科学の異質性と同質性を理解できる。
a f g h	③	「正しく考える」とはどのように考えることなのかを理解し、日々の生活に活かすことができる。
a f g h	④	これからの人生(社会経験)において、人間本位にモノを考えることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	90	0	0	10	0	100

教科書	哲学のすすめ　講談社現代新書　岩崎武雄　4-06-115466-7 正しく考えるために　講談社現代新書　岩崎武雄　4-06-115685-3

参考書	

予備知識	高等学校で「倫理」もしくは「現代社会」を学んだ方は、その教科書を一読しておくことをお勧めします。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力のうち、特に「人間形成能力・社会形成能力」「自己理解能力・自己管理能力」を、思索をすることを通じて身につけ、これらを毎日の生活に活かせるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	Ⅰ:レポート;学期中に、30点満点のレポートを3回提出してもらいます（計90点満点）。なお、レポートの内容（課題）、書式・形式、提出期日などは、講義開始後、詳細に説明します。但し、三回目のレポートに関しては、講義最終日にポートフォリオと一緒に提出することとします。 Ⅱ:ポートフォリオ;10点満点で自己評価をしてもらいます（講義担当者についての評価ではありません）。講義最終日に、三回目のレポートと一緒に、プリントアウトして提出することとします。

学修上の注意 (SBOs)	Ⅰ：単位を集めるためではなく、真に哲学を学ぶ意欲のある学生、三回のレポート執筆に耐え得る意欲のある学生、一冊でも多くの哲学書を読む気構えのある学生の受講を歓迎します。 Ⅱ：遅刻出席は講義開始後20分までとし、それ以後の遅刻については、原則として認めません。 Ⅲ：レポート執筆における剽窃行為（不正行為）については単位認定を行いません。 Ⅳ：講義中はお茶・水以外の飲用は認めません。（但し、服薬は認めます。） Ⅴ：教科書として挙げた二冊の書は、講義用テキストとしては使いませんが、レポートの課題図書としますので必ず購入し、自主的・積極的に、何回も精読・熟読しておかないとレポートの作成が困難をきわめますので、意欲的・能動的に、果敢にこれら二冊を自分のものにしていき、人生の糧としていってください。 Ⅵ：講義内容についての学修は、予習にも復習にも全力で取り組んでください。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	人間が存在するということ	講義	【復習】ノートの読み直し。なおノートの整理には、何らかの「哲学事典」使うことをお勧めします。【その他】教科書として挙げた二冊のレポート課題図書を読み始めること。	60
	内容	人間が存在するという、あるいは存在していたということこそ、あらゆる学問が成立し得る大前提である。では、われわれが多用する「人格」とは、いったい何なのであろうか？　今後三回のレポートの書式・形式、課題内容を説明する。			
2回	テーマ	人間主義とは何か？	講義	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	理想型としての人間主義を考察する。			
3回	テーマ	人間主義とは何か？	講義	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	現実型としての人間主義を考察する。			
4回	テーマ	哲学の原意	講義	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	philosophia の意味について／哲学と思想の違いについて			
5回	テーマ	哲学と科学	講義	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	哲学と科学の対象の違いと思考形式の違い			
6回	テーマ	哲学と科学	講義	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	可能性を問題にする科学と妥当性を問題にする哲学			
7回	テーマ	哲学と科学	講義	【予習】第一回目のレポートの作成とプリントアウトを完了しておくこと。【復習】ノートの読み直し。	各90
	内容	哲学の一形式であった経験主義から科学の原理である実証主義の発生／一般論としての実証主義／「実証すること」の二様　第一回レポート提出日			
8回	テーマ	哲学と科学	講義　演習	【予習】自分で選んだ「哲学事典」等を用い、コント（A. Comte）の言う「実証主義」について、精確かつ詳細に調べ上げる。【復習】ノートの読み直し。	各60
	内容	科学原理としての実証主義／実証主義は経験的事実だけを知識の対象とする＝実証できるものだけが人間の知識である⇒実証不可能な超経験的事物（第一原因・究極因と呼ばれるもの）の暗黙の認知ではないのか？　このことについて、班を編成し、班別議論を行い、簡単なまとめを全体の前で発表する。　第一回レポートの大まかな模範解答例を提示し、それについて解説し、フィードバックを行う。			
9回	テーマ	哲学と科学	講義	【予習】マックス・ヴェーバーについて可能な限り詳細に調べておくこと。【予習】社会学、社会科学とは何か、各種辞典・辞書などにあたり、精確に調べ上げておくこと。【復習】ノートの読み直し。	各90
	内容	フランス社会学の礎を築いたコントの「実証主義」によれば人間の知識には三つの発展段階があるという。この「知識の三段解説」を解説する際には、ドイツにおける社会科学の先覚者M.ヴェーバーによる「支配の三つの発展段階」説にも、コラム的にふれてみたい。			
10回	テーマ	哲学と科学	講義　演習	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	実証主義のまとめと復習：実証的であるということは、どういうことなのか？　前々回、前回、今回と三回にわたり実証主義の性質（本質）について考えてきたが、実証主義とははたして何なのか？このことについて、班を編成し、班別議論を行い、簡単なまとめを全体の前で発表する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人間の精神的価値	講義　演習	【予習】芸術や宗教などの感性や主観で監督する以外に方法のない領域について、思索を深めておくこと。【予習】第二回目のレポートの作成とプリントアウトを完了させておくこと。【復習】ノートの読み直し。	各90
	内容	哲学によっても科学によっても、つまり論理的整合性をもってしてはとらえきれない人間の「精神的価値そのもの」について考察し、議論を行う。　いったい「精神的価値」とはどのようなものなのか?このことについて、班を編成し、班別議論を行い、簡単なまとめを全体の前で発表する。　第二回レポート提出日			
12回	テーマ	人間の精神的価値	講義　演習	【予習】「哲学事典」などで「精神科学」「シュプランガー」「ディルタイ」などのコトバや人物について詳細かつ精確に調べておくこと。【復習】ノートの読み直し。	各90
	内容	経験科学的・自然科学的実証主義は万能か／実証主義自体が認めざるを得ない実証不可能な第一原因・究極因をわれわれはどのように扱うべきなのか（以上、前回からの続きと復習）／19世紀後半から20世紀中盤まで隆昌をきわめた「精神科学」の意味を考察する／精神科学において、実証不可能な超経験的・超自然的事物は扱われ得るのか否か／精神科学は超経験的・超自然的事物の存在を証明できるのだろうか？　このことについて、班を編成し、班別議論を行い、簡単なまとめを全体の前で発表する。　第二回レポートの大まかな模範解答例を提示し、それについて解説し、フィードバックを行う。　第三回レポートの課題内容を発表する。			
13回	テーマ	絶対者の行方	講義	【復習】配布された資料を精確に読みながら、ノートを見直しておくこと。	60
	内容	「神は死んだ」（ニーチェ）のか／個々人に固有の価値観＝主観と精神科学の関係／　憲法第19条「思想・良心の自由」、第20条「信教の自由」、第23条「学問の自由」が意味するもの／主観は当該本人にしか感得できず、したがって主観的信条（たとえば信仰）を別の主観をもつ他者に強要することは、魂の殺人に他ならない。　資料を配布する。			
14回	テーマ	人間について	講義　演習	【予習】「哲学事典」等で、カントについて調べておくこと。【復習】ノートの読み直し。	各60
	内容	結局、人間とは何か／人間が人間になる条件とは何か／人間は、何によって、何を介して人間となるのか／何が人間に〈人格〉を付与するのか／ドイツ観念論哲学の祖・カントの『教育学講義』に認められる人間についてのきわめて重要な三つの命題を時間をかけて考え、議論していく。　カントが提示した、人間が人間となるための要件（命題）をもとに、人間とは何かを考えていく。班を編成し、班別議論を行い、簡単なまとめを全体の前で発表する。			
15回	テーマ	人間と哲学について	講義	【予習】ノート全体の読み直し。【予習】ポートフォリオを作成し、プリントアウトしておくこと。【予習】第三回目のレポートを作成し、プリントアウトを完了させておくこと。	各120
	内容	本講義の総復習：人間にせよ哲学にせよ、永遠に完成し得ない観念にすぎない。観念が観念を追究し、観念が観念によって追究され続けているのだ。しかし、哲学が万学の基盤である理由はここにある。　①ポートフォリオの回収　②第三回レポートの回収　第三回レポートの大まかな模範解答例を提示し、それについて解説し、フィードバックを行う。③まとめと総評			

科目名	人間と歴史（２全学科）前期	開講学年 1	講義コード 1122501	区分 選必
英文表記	History and the problem Ⅰ	開講期 前期	開講形態	単位数 2
担当教員	冨田健之			
研究室	本館302		オフィスアワー 水曜昼休み	
メールアドレス	@			
キーワード	歴史学　歴史教科書　記述の変化　研究の進展　「歴史は変わる」			

授業概要

1.中学校歴史教科書はその時代時代の特徴をつかむための最良の手引き書であり、歴史を学び直そうとする際に第一に参照されるべき参考書だといえる。また、中学校歴史教科書は学習指導要領の改訂に基づき、原則として4年ごとに改訂され、そのたびに記述が修正されたり、場合によってはまったく新しくかきかえられたりもする。 2.本授業では、東京書籍から1972(昭和47)年と2006(平成18)年にそれぞれ刊行された中学校歴史教科書を比較し、約30年の間に教科書記述がどれだけ変わってきたのかをまず確認する。 3.ついで、そうした教科書記述の変化の背景にある、歴史研究の発展・深化についてみていく。 4.歴史は「暗記物」というレッテルが貼られることがあるが、知識を身につけることはどの研究分野にあってもその出発点である。 5.本授業では、基礎的な知識を身につけたうえで、その知識を「応用」していくスベを修得していく。それによって、歴史的背景をふまえた現代社会を理解し、そこで生きていくための基礎知識(社会形成能力)と汎用的能力を身につけることをめざす。 6.小テストについては、可能な限り採点の上、次回の授業時に返却する。

関連科目

総合・人間科学関係科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a.g	a.g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	人間や社会を多角的な視野から捉え、考え文章で説明することができる。
g	②	自主的、継続的に学修することができる。
g	③	レポート課題について十分な準備調査を行い、wordを使ってレポートを作成することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	55	30	0	5	10	0	100

教科書

教科書は使用しない

参考書

参考書は授業中に適宜紹介する

予備知識	1.自ら学ぼうとする意欲と意思　2.中学校程度の日本史に関する知識
DP との 関連	「課題対応力」の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1. 小テスト:初回5点 第2～6回×10点＝55点　2. レポート:課題は第11回授業時に提示する。A4用紙、フォーマット(余白各25㎜、1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1200文字以上、参考文献必須、30点　3. 作品(個人資料):紙バインダーに整理したもの(配付資料、小テスト答案、ノートなど)5点　4. ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点　①【学生の到達度目標】の項目1～4の達成度とその理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出　②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1. 中間･定期試験は実施しない。再試験も実施しない。 2. 授業中に教師の発言を同時進行でメモしノートするスキルを身につけることが必須となる 3. 教師の質問には積極的に答えるようにする 4. 授業内容に関して不明な点があれば積極的に質問するようにする 5. 個人資料保存のため紙バインダーを準備すること 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされるので注意すること

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	授業全般に関するガイダンス	講義	ガイダンス内容を再度確認する	10
	内容	授業概要の説明および受講にあたっての諸注意などを行う			
2回	テーマ	人類の出現	講義	授業内容の復習をしておく	20
	内容	人類出現の年代はどこまでさかのぼるのか			
3回	テーマ	三内丸山遺跡	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	発見、発掘で変わる時代像			
4回	テーマ	稲作のはじまり	講義　演習	授業内容の復習をしておく	20
	内容	米づくりはいつ日本に伝わったのか　確認テスト①			
5回	テーマ	仁徳天皇陵	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	世界最大の古墳と習ったはずだが			
6回	テーマ	聖徳太子	講義　演習	授業内容の復習をしておく	20
	内容	旧一万円札の肖像は別人？　確認テスト②			
7回	テーマ	蝦夷	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	反乱者から抵抗の英雄へ			
8回	テーマ	鎌倉幕府	講義　演習	授業内容の復習をしておく	20
	内容	「イイクニつくろう」と覚えたが…　確認テスト③			
9回	テーマ	モンゴル襲来	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	2回とも暴風が吹いたのか			
10回	テーマ	倭寇	講義　演習	授業内容の復習をしておく	20
	内容	日本人ばかりではなかった　確認テスト④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	長篠の戦い レポート課題の提示	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	武田騎馬隊は存在したのか レポート作成に関するガイダンス			
12回	テーマ	天草・島原一揆	講義　演習	授業内容の復習をしておく レポートを作成する	60
	内容	「乱」から「一揆」へ 確認テスト⑤			
13回	テーマ	鎖国と開国	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する レポートを作成する	60
	内容	江戸幕府は国を閉じてはいなかった			
14回	テーマ	個人資料の整理と提出 レポートの確認作業	講義　演習	レポートを作成する ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	60
	内容	各自が選択した課題が適切であるか、参考資料・文献が適切であるか、使用するデータは十分か、等の確認を行う 確認テスト⑥			
15回	テーマ	レポートの提出 個人資料の返却	講義　演習		
	内容	レポートを完成させ提出する 個人資料などを返却する 授業の総括を行う			

科目名	人間と環境（２全学科）前期	開講学年 1	講義コード 1122601	区分 選択
英文表記	Human and Environment	開講期 前期・後期	開講形態	単位数 2

担当教員	上野賢仁

研究室	F803	オフィスアワー	木曜5時限

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	自然と人間の相互作用　地球と気候システム　環境指標と生物多様性　環境経済と環境政策 資源･エネルギー利用と環境負荷

授業概要	人間をとりまく環境はいま、地球温暖化、生物多様性、資源･エネルギーの枯渇、環境汚染などの問題が溢れており、これらは複数の要因と関係し、複雑である。人間が環境問題にどう対処すべきかを考えるとき、からみ合った複雑なことを広い視野で多面的に理解する必要がある。人間活動に起因する環境問題はあらゆる分野が関係するが、個々人としてはまず自然科学と社会科学の両面から考える姿勢をもつのが良いと思われる。 本講義では、環境に関する基礎的な事柄を学びつつ、様々な対策手法や環境技術を学びながら、人間と環境の相互関係をシステム的に捉えて考えていく。各人の専門分野において環境問題に取り組む際の基礎的な素養を身に付けることができるものと期待している。 講義では、前半で「人間と環境」に関しての基礎事項や捉え方について説明した後、関連するテキストの該当箇所について説明し、後半で理解を助けるために簡単な計算などの演習を行う。（資料や課題にWebClassを使う。関数電卓を用意しておくと良い。）

関連科目	

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,b,g	a,b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	環境問題を多角的な視点から捉え、問題の背景や構造、対策の現状を理解し、文章（あるいは口頭）で説明することができる。
b	②	技術が社会や自然に及ぼす影響、及び技術者の社会的責任を理解し、文章（あるいは口頭）で説明することができる。
g	③	自主的、継続的に学習することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	0	30	0	0	10	0	100

教科書	Professional Engineering Library 環境工学　実教出版　PEL編集委員会監修、山崎慎一編　978-4-407-34030-3

参考書	環境問題をシステム的に考える　化学同人　井村秀文　978-4-7598-1323-4 環境白書／循環型社会白書／生物多様性白書　日経印刷　環境省大臣官房環境計画課：環境省環境再生･資源循環局　978-4865791174 環境社会検定試験eco検定公式テキスト　日本能率境界マネジメントセンター　東京商工会議所　978-4820727026 新版 環境被害のガバナンス　成文堂　永松俊雄　978-4792333607 熊本県自然保護読本 自然保護とあなた-子供達の未来のために-　城野印刷所　熊本県自然保護読本編集委員会

予備知識	環境問題に関する関心を持ち、新聞記事やニュースに目を通しておくこと。
DP との 関連	本学DP「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」に必要な人間や社会に対する多角的視野と基礎的知識、及び社会課題への対応についての汎用的能力を身につけ、それらを実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1. 中間試験、期末試験　各30点（再試験は実施しない。） 2. 課題レポート 30点（7回目授業時にテーマ等について説明、11回目授業時に提出を求める。） 図書館の環境関連図書を資料として、課題レポート（本文1,000文字以上）を次の規定に沿って作成し提出する。 A4用紙1枚（両面可）、表紙不要、余白各25mm、1頁40行、1行40文字、フォント：MS明朝体、10.5pt。 1行目：タイトル、2行目：空白、3行目：学部名、学科名、学籍番号、氏名、4行目：空白、5行目：本文。 参考文献・URLを末尾に記載。（著書の場合：著者名、『著書名』、引用頁、発行所、発行年。論文の場合：著者名、「論文名」『雑誌名』、引用頁、発行所、発行年。Webの場合：名称、URL、アクセス日） 3. ポートフォリオ：「到達度評価レポート」10点 【学生の到達度目標】の項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し15回目までに提出する。 授業アンケートに回答する。 4. 講義中に実施する演習問題の取り組み状況も評価に加味する。 5. 100点満点中60点以上を合格とする。

学修上の注意 (SBOs)	1. 授業回数の1／3以上の欠席者は成績評価を行わない（不合格となる）。ただし、公認欠席は出席扱いとする。 2. 遅刻は授業開始後20分までとし、以後は欠席とする。 3. 提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。ただし、公認欠席の場合は別途指示する。 4. 授業中のお茶・水以外の飲用は不可。 5. 授業中に他の授業の課題やスマートフォン等を使用した場合は退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	自然と人間の相互関係	講義	予習:教科書の全体に目を通しておく。復習:ガイダンスでの説明事項について確認する。	20 20
	内容	ガイダンス／自然と人間の相互関係の把握と理解			
2回	テーマ	地球と人間／環境容量	講義 演習	予習:教科書の1章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球と人間の関係／地球の許容限界／環境容量			
3回	テーマ	地球の気候システム／地球温暖化	講義 演習	予習:教科書の1～2章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球の大気／水の循環／気候システム／地球温暖化			
4回	テーマ	環境指標／生物多様性	講義 演習	予習:教科書の12章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	生物多様性／生態系／生態系の機能とサービス／生物多様性の保全			
5回	テーマ	環境感／地球と人間の歴史／文明の転換／持続可能性	講義 演習	予習:教科書の1～3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	変化する世界の見方／成長の限界／熱力学的な視点／地球の歴史／人間の歴史／低炭素・共生・循環型社会／持続可能性			
6回	テーマ	環境管理／環境影響評価（その1）	講義 演習	予習:教科書の2～3、13章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	コモンズの悲劇／ローカルコモンズ／環境管理／環境影響評価			
7回	テーマ	環境経済／環境政策／環境倫理	講義 演習	予習:教科書の1～3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球環境と経済／市場の失敗／環境情報／環境政策／環境倫理			
8回	テーマ	前半まとめ／中間試験	講義 試験	予習:1～8回の授業内容を総復習し、中間試験の準備をしておく。復習:中間試験の内容を振り返る。	60 30
	内容	前半の講義についてのまとめ／中間試験による達成度の確認			
9回	テーマ	資源・エネルギー利用／環境負荷	講義 演習	予習:教科書の3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	資源生産性／エネルギー生産性／隠れた資源フロー（エコロジカルリュックサック）／内包エネルギー（ライフサイクルエネルギー）／環境負荷／エコロジカル・フットプリント／環境資源勘定／マテリアルフロー／ライフサイクルアセスメント(LCA)			
10回	テーマ	自然エネルギー利用／省エネルギー	講義 演習	予習:教科書の1、3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	エネルギーの質／エクセルギー／ヒートポンプ／カルノー効率／バイオマスエネルギー／環境に好ましい選択／仮想評価法(CVM)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	公害／環境関連法	講義　演習	予習：教科書の4章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30　30
	内容	産業発展と公害／公害病／環境保全のための法制度			
12回	テーマ	水環境／廃棄物	講義　演習	予習：教科書の5～8章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30　30
	内容	水質汚濁／富栄養化／上水道／下水道／廃棄物処理			
13回	テーマ	土壌環境／大気環境／熱環境	講義　演習	予習：教科書の9～11章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30　30
	内容	土壌環境／大気環境／音・振動／熱環境			
14回	テーマ	生態系／環境影響評価（その2）	講義　演習	予習：教科書の12～13章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読するとともに、9～15回の授業内容を総復習し、期末試験の準備をしておく。	30　60
	内容	生態系と生物多様性の保存／環境影響評価（環境アセスメント）／ミティゲーション			
15回	テーマ	後半まとめ／期末試験　／総括	講義　試験　／講義	予習：9～15回の授業内容を総復習し、期末試験の準備をしておく。 復習：期末試験の内容を振り返り、ポートフォリオ（到達度レポート）を作成する。 ／復習：授業全体の内容を振り返る。	60　30　／30
	内容	後半の講義についてのまとめ／期末試験による達成度の確認			

科目名	現代の社会と法（２全学科）前期	開講学年 2	講義コード 1122701	区分 選必
英文表記	Modern Society and Law	開講期 前後期	開講形態	単位数 2

担当教員	竹内 明里（実務経験）
研究室	本館付属棟312
オフィスアワー	昼休み
メールアドレス	take1118@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	法　社会　人権

授業概要

1 授業概要 (1)本講義は、教員の官庁等での勤務経験等を踏まえ、「ブラック校則」「LGBT」「介護問題」「ブラックバイト」など、学生が今後関わりうる(関わった)現代社会の様々な問題を題材として、法の基本的な枠組を学び、社会問題解決のための多様なアプローチ等を考えるものである。 (2)授業はレジュメに沿った講義形式だが、毎週の宿題を踏まえて、グループディスカッションを行い、レポートを作成する。 (3)本講義は、(1)(2)をとおして、学生が以下の能力を習得することを目的とする。 ・現代社会を理解し、社会生活を営む上での基礎知識(社会形成能力) ・自分の意見を分かりやすく伝える表現力(人間関係形成能力) ・毎回宿題を行うことで、自主的に社会問題を調べ、継続的に学習する能力
2 学修上の助言 (1)心構えとして、取り上げる「法」や社会問題を他人事と思わず、自分の問題として考えること。科学技術により改善される社会問題(介護)や、科学技術が生み出した社会問題(軍事研究、SNSトラブル等)があることに留意すること。 (2)社会問題や法的問題には、「1+1=2」のような明確な解がない場合もある。「多数派の意見」が「正しい」とは限らない。様々な意見を議論する中で新しい解決策が生まれることも多い。授業では、自分の意見を積極的に発言しながら、他の履修者の意見にも耳を傾けること。 (3)毎回の宿題は必ず行うこと。宿題の「復習課題」では授業で学んだ知識を定着させ、「予習課題」では次回取り上げる社会問題を調べ、自分の考えを整理すること。 *提出物については、次回授業などで適宜解説をする。

関連科目

本講義では広く法を扱うが、日本を形作る根本的な法として「日本国憲法」があり、公務員・教員の基本知識として、採用試験でも出題されている。本講義履修後、より深く「日本」の在り方を考えたい場合には、発展科目として「日本国憲法」を勧める。

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A１	A１
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	法の基礎知識や多様な考え方を学び、これらを活かして社会問題を考えることができる
f	②	社会問題を調べ、自分の意見を分かりやすく説明することができる
g	③	社会問題を自分で調べて宿題を作成し、毎回期限前に提出することができる
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	34	0	30	0	0	10	26	100

教科書

教科書は使用しない。

参考書

高校生からの法学入門　中央大学出版部　中央大学法学部　978-4805727096
科学者と戦争　岩波書店　池内 了　978-4004316114
ブラック校則 理不尽な苦しみの現実　東洋館出版社　荻上チキ、内田 良　978-4491035574
介護殺人:追いつめられた家族の告白(新潮文庫)　新潮社　毎日聞大阪社会部取材班　978-4101012919
はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで (スッキリわかる!)　ナツメ社　石田 仁　978-4816365829

予備知識	(1)現代の社会問題への関心と、自ら学ぼうとする意欲を持つこと (2)ニュースで現代の社会の動きを把握すること (3)中学や高校の「現代社会」「公民」などの知識をおさらいしておくこと
DP との 関連	(1)法の基本構造や社会問題について、多様な考え方を知り理解を深め、社会生活を営む上での基礎知識(社会形成能力)を身に着ける。 (2)討議やレポート作成などの作業を通じて、自分の意見を分かりやすく伝える表現力やコミュニケーション能力(人間関係形成能力)を身に着ける。
実務経験 のある 教員	竹内明里
評価明細 基準	1 定期試験 34点 2 レポート 30点(第11回提出) 所定のテーマ(第1回に詳細を発表)について、参考文献(書籍一冊以上+その他資料)読み、レポートを作成する。第8回・9回・10回では「レポートワークシート」をもとにグループワークを行うが、完成した「ワークシート」を持参していない学生は出席を認めない。特に、第10回に「レポートワークシート③(レポート下書き)」を提出しない学生には、第11回でのレポートの提出自体を認めない。 3「到達度評価ポートフォリオ」10点 「学生の到達度目標」の各項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力しプリントアウトして第15回で提出。 4 その他:宿題 26点(2点×13回) 毎回授業前に完成しておくこと。期限後の提出、授業中に作業を行った場合は評価対象外。 5 60点以上を合格とする。再試験等は一切行わない。

学修上の注意 (SBOs)	1 授業参加のマナーを守ること。守れない場合は出席を認めない。 （授業資料・筆記用具・学生証以外は鞄に収納、携帯操作禁止、私語禁止） 2 授業中は学生証を机の上に置き、指定座席に座ること（視力等は応相談）。 3 授業開始後20分を遅刻とし、以後の出席を認めない。 4 提出物は期限内に提出する。締め切り後は受け付けない。 公欠予定者は前もって提出しておくこと（応相談）。 病欠・予期せぬ公欠の場合は、次回授業前日までに教員研究室ポストに提出すること（応相談）。 5 グループワークや提出物においては、社会問題を自分で調べてまとめ、自分の考えを他人にわかるように述べる努力をすること。この努力により、社会問題への理解が深まり、表現力も向上する。 このため、レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされ、単位を認めない。 また、グループワークに積極的に参加しない場合は、授業自体に参加していないとみなし、退出を命じることもある。 6 わからないことがあれば、授業やオフィスアワーに教員に質問をすること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	（復習）ガイダンスでの説明事項についての確認	20
	内容	授業概要、受講時の注意事項など			
2回	テーマ	イントロダクション：法とは何か	講義、演習	（予習）「法と道徳」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	法と道徳の違い、日本における法の種類（憲法、法律、条令等）を知る。			
3回	テーマ	憲法①総論・統治	講義、演習	（予習）「憲法の基礎」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	憲法の歴史、3大原理（国民主権、平和主義、基本的人権の尊重）を学び、憲法の意義を考える。			
4回	テーマ	憲法②人権	講義、演習	（予習）「ブラック校則と人権」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	「ブラック校則」などを題材として、憲法が保障する人権について学ぶ。			
5回	テーマ	民法①財産法	講義、演習	（予習）「消費者トラブル」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	大学生が関わりうる契約トラブル 等を題材に、契約や不法行為等、財産に関する民法の規定を学ぶ。			
6回	テーマ	民法②家族法	講義、演習	（予習）「LGBTと法」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読。	60
	内容	婚姻、相続等、家族に関する法を学ぶ。また、「LGBT」「同性婚」などを題材に、家族法の意義を考える。			
7回	テーマ	刑法①総論	講義、演習	（予習）「刑法の基礎」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読。 ※次回に向けて「レポートワークシート①」を作成する	60
	内容	刑法① 罪刑法定主義等、刑法の基本原則を学ぶ。			
8回	テーマ	刑法②刑事訴訟法、 レポート作業①	講義、演習	（予習）「裁判員裁判」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読 ※次回に向けて「レポートワークシート②」を作成する。	60
	内容	刑法① 「裁判員裁判」を題材に、刑事裁判手続きの基礎を学ぶ。 レポート作業① 「レポートトワークシート①」を持参し、グループ内で発表する。			
9回	テーマ	法による日常紛争の解決、 レポート作業②	講義、演習	（予習）「SNSトラブル」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読。 ※次回に向けて「レポートワークシート③（レポート下書き）」を作成する。2部印刷して次回授業で持参。	60
	内容	法による日常紛争の解決 「SNSトラブル」などを題材に、日常的な紛争（トラブル）において法が果たす役割を考える。 レポート作業② 「レポートワークシート②」をグループ内で発表する。全体の流れ、調査内容の過不足、わかりやすさ（論理性、文章など）、参考文献の書き方などを相互に検討する。			
10回	テーマ	レポート作業③	演習	※次回に向けて「レポート完成版」を作成する	60
	内容	「レポートワークシート③（レポート下書き）」をグループ内で発表する。全体の流れ、調査内容の過不足、わかりやすさ（論理性、文章など）、参考文献の書き方などを相互に検討する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人権問題を考える	講義、演習	（予習）「ハンセン病と人権」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	上熊本に療養所のあった「ハンセン病」を題材に、人権を考える			
12回	テーマ	製造者と消費者の法	講義、演習	（予習）「製造物による事故」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	「テレビ発火事故」「こんにゃくゼリー裁判」などを題材に、「ものづくり」に携わる者が知るべき法(製造物責任法,知的財産権等)を学ぶ。			
13回	テーマ	労働と法	講義、演習	（予習）「ブラックバイト」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	「ブラックバイト」などを題材に、労働者として知るべき法（労働基準法等）を学び、現代の労働問題を考える。			
14回	テーマ	国際社会の法	講義、演習	（予習）「国際社会」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読 ※ポートフォリオ「到達度レポート」を行い、印刷して第15回提出。	60
	内容	国際社会の法（国際法）や国連の取組の基礎を学び、国際問題を考える。			
15回	テーマ	期末試験 まとめ	講義	（予習）これまでの授業内容を総復習しておく。 ※ポートフォリオ「科目到達度レポート」を提出する。	60
	内容	期末試験 解説 全体のまとめ			

科目名	現代の社会と政治（２全学科）前期	開講学年	1	講義コード	1122801	区分	選必
英文表記	Political Science	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	今井亮佑						
研究室	本館310			オフィスアワー	初回講義で示します		
メールアドレス	@						
キーワード	政治　選挙　熟議						

授業概要

(1)政治の基本的な仕組みを理解してもらいます 18歳になれば選挙権を得て、一人の有権者として政治と関わることになります。しかし、政治の仕組みがわかっていなければ、折角得た選挙権を有効に行使することができません。そこで本講義を通じて、一般教養として、政治の仕組みに関する基本的理解を深めてもらいます。 (2)政治に関する論点について、自分なりに考えてもらいます 政治とは、正解のない営みです。 一つの問題に対する色々な立場・考え方が存在します。 本講義では、政治に関する諸論点に対する、複数の見方を提示します。 受講生の皆さんには、講義内容をもとに、関連する情報を自ら収集・処理することで、論点に対する自分なりの考えをまとめてもらいます。 (3)他の受講生と「熟議」してもらいます この講義の中では、他の受講生との熟議（意見交換）をしてもらう機会を設けます。 予め示した論点について、自分なりの考えをまとめてきてもらい、少人数のグループでその考えをぶつけ合ってもらいます。 価値観や意見の異なる人たちで一つの論点について議論することで、多面的な視点を獲得するとともに、コミュニケーション・スキルを磨いてもらうのがその目的です。

関連科目

基礎科目：SOJO基礎I、SOJO基礎II

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	政治に関する論点について多面的に考える能力とその素養を身に付けることができる。
f	②	自身の考えを論理的に記述する力を養うことができる。
f	③	他の受講生との討議を通じて、コミュニケーション能力を磨くことができる。
g	④	自主的、継続的に学習する習慣を身に付けることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	72	0	0	10	18	100

教科書

※指定なし

参考書

政治学　東京大学出版会　川出良枝・谷口将紀（編）　978-4130322195

予備知識	■受講にあたり、予備知識は必要としませんが、政治を学びたいという積極的な意欲は持って下さい。 ■政治は絶えず動いています。その動きをフォローするために、日々新聞に目を通すようにして下さい。
DP との 関連	講義の中で、政治的問題に対する自身の立場を根拠付けて論じる機会を多く設けます。それを通じて、本学DPに挙げられている基礎的・汎用的能力である、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」を身に付け、それらを実践できるようにします。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.リサーチペーパー①・②・③（計72点） ○講義で取り上げるテーマに関連する論点について、受講生の間で（5～6名程度の小グループで）熟議（意見交換）してもらう機会を三度設けます。 ○熟議のテーマとされた論点について、 ・講義を受けた時点でどのように考えていたか ・どのようなソースから、どのような情報を入手したか ・熟議の場で、他の受講生からどのような意見が出されたか ・それを聞いて、自身の考えはどのような影響を受けたか ・最終的に、どのような考えに至ったか を、根拠も含めて論理的に記述してもらいます（①②③各1500字以上）。 ※提出の2週間後までをめどに、気づいた点、改善すべき点をフィードバックします。 2.意見交換への貢献度（各6点、計18点） ○意見交換の際、有益な考え方を出せたかどうか、グループの他のメンバーに評価してもらいます。 3. ポートフォリオ:「学修到達度レポート」（10点） ・【学生の到達度目標】の項目①～④の達成度とその理由を各200～250文字で入力してもらいます。 ☆いずれも、詳細は講義の中で説明します。

学修上の注意 (SBOs)	■受講マナーは必ず守って下さい。・私語厳禁です。・講義中は携帯電話／スマートフォンをマナーモードに設定の上、鞄の中にしまってもらいます。☆携帯電話／スマートフォンを操作しているのを発見次第退出を命じ、以後の授業出席を認めません。■授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とします。■リサーチペーパーは、提出期限（初回講義時に明示）を厳守してください。期限後に出されても一切受け取りません。■再試験等は一切行いません。■リサーチペーパーの執筆に際し、コピー&ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）を行った場合は、不正行為とみなし、単位を認定しません。■私が話す内容、黒板やパワーポイントに示す内容の中から、重要だと思う点を抽出・要約してノートにメモするというスキルを身に付けて下さい。■講義内容が理解できなかった場合は、遠慮なく質問して下さい（講義中／講義後でも、オフィスアワーでも構いません）。■新聞やテレビニュースを通じて、日々の政治の動きに興味を持つようにして下さい。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	(復習)ガイダンスでの説明事項についてよく頭に入れる。	30
	内容	授業概要や受講時の注意事項等を説明する。			
2回	テーマ	日本政治の争点①:外交・安全保障	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の安全保障、日米同盟の歴史的背景について講じる。			
3回	テーマ	日本政治の争点②:経済・福祉	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	経済政策や福祉政策に関する諸論点について講じる。			
4回	テーマ	政治の仕組み:政策過程①	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	どのような過程を経て政策が作られるのか、日本型の政策決定の特徴について講じる。			
5回	テーマ	政治の仕組み:政策過程②	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。（予習)次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	日本型の政策決定の功罪や、近年の変化について講じる。			
6回	テーマ	熟議①	演習	(復習)熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議(意見交換)してもらう(SGD)。			
7回	テーマ	政治の仕組み:選挙制度①	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	選挙制度を類型化し、それぞれの特徴について説明する。また、衆参両院の選挙制度の特徴や、制度改革の背景などについて講じる。			
8回	テーマ	政治の仕組み:選挙制度②	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の現行の選挙制度にまつわる論点や、いわゆる「一票の格差」の問題について講じる。			
9回	テーマ	政治の仕組み:行政制度	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の行政機構の改革の概要と、それがもたらした影響について講じる。			
10回	テーマ	政治のアクター:政党	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	政党の果たす機能や日本の政党の特徴について講じる。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	政治のアクター:政治家	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。（予習）次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	なぜ、どのような人が政治家を目指すのか、政治家の実態はどのようなものかについて講じる。			
12回	テーマ	熟議②	演習	（復習）熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議（意見交換）してもらう（SGD）。			
13回	テーマ	政治のアクター:有権者①	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	なぜ人は選挙で投票／棄権するのか、人は何を判断基準に投票する政党や候補者を選ぶのかについて講じる。			
14回	テーマ	政治のアクター:有権者②	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。（予習）次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	若年層の投票率が低いのは問題か、投票率を上げるにはどうすればよいのかについて講じる。			
15回	テーマ	熟議②	演習	（復習）熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。 学修到達度レポートを執筆し、授業アンケートに回答する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議（意見交換）してもらう（SGD）。			

科目名	現代の社会と経済（２全学科）前期	開講学年 2	講義コード 1122901	区分 選必
英文表記	Modem Soeiey and Economy	開講期 前期／後期	開講形態	単位数 2
担当教員	徳永 洋(非常勤)			
研究室	教務課前 非常勤講師室		オフィスアワー 授業後の非常勤講師室	
メールアドレス	asonohana 1592@gmail.com			
キーワード	①社会　②経済　③金融　④経済効果　⑤歴史			

授業概要	関連科目
1.現代の社会と経済の基礎などについて幅広く学び基本的な知識を身につける。 2.現代の社会と経済を見るうえで重要であるので、真剣な学習への取り組みを期待する。 3.自分の選んだテーマについて調査するなどして、レポート(課題研究)としてまとめること。	

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			afg	afg

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	多面的に物事を考える能力を身につけることができる。
f	②	論理的な記述力を養うことがてきる。
g	③	自主的に学習する習慣を身につけることができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	60	0	30	0	0	10	0	100

教科書	使用しません
参考書	使用しません

予備知識	受講にあたり予備知識は必要としませんが、社会と経済を学びたい意欲は持って下さい。
DP との 関連	1.本学DPの理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続をはかる 2.自主的、継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける 3.自身の考え方を論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力（文章作成能力）を身につける 4.一定の制約下で個人で計画的に課題に取り組み、解決する能力を身につける
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート(課題研究) 30点 2.定期試験 60点 3.「到達度評価ポートフォリオ」 10点 (上記「学生の到達度目標」の項目①から③の達成度と、その理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出して下さい)

学修上の注意 (SBOs)	1.私が話す内容やホワイトボードに書いた内容の中で、重要と思う点をノートなどにメモするというスキルを身につけて下さい。 2.新聞やテレビニュースなどを通じて、日々の社会と経済の動きに興味を持つようにして下さい。 3.レポート(課題研究)については、本学図書館や県立図書館などで資料を収集し、それらをもとにして、まとめること。なお、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。 4.授業開始30分を超えた遅刻は、欠席扱いとするので注意すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	あなたの知らない「お金のはなし」その1　オリエンテーション1	講義 演習	【復習】講義内容の復習	15
	内容	①お札の一生 ②日銀の機能 ③シラバスの説明			
2回	テーマ	あなたの知らない「お金のはなし」その2　オリエンテーション2	講義 演習	【予習】日本のコインついて調べておく　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①小判の話 ②コインの一生 ③レポートの作成方法			
3回	テーマ	商業道徳～信頼される会社の条件	講義 演習	【予習】日本の商業道徳の概要を調べておく　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①会社は誰のものか ②日本でいちばん大切にしたい会社 ③ポートフォリオの作成			
4回	テーマ	商業道徳とその変遷～禁欲から強欲へ	講義	【予習】現代日本の商業道徳について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①日本とアメリカの商業道徳 ②資本主義はどのように変質したか ③企業事件の概要			
5回	テーマ	企業の盛衰を左右する危機管理力	講義 演習	【予習】危機管理力の概念について調べておく　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①失敗学とは ②ハインリッヒの法則 ③危機管理の成功例と失敗例 ④講義3回～5回を受講して各自の企業イメージの変化はあるか			
6回	テーマ	グローバル化とその影響	講義	【予習】経済グローバル化について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①経済のグローバル化とは ②外国為替相場と物価 ③BRICSとG7、G20			
7回	テーマ	農業と食料～日本と世界の食と農の姿	講義	【予習】日本の食料事情について調べておく　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①世界と日本の農業の姿 ②自由貿易論とTPP ③企業の農業分野への参入			
8回	テーマ	地球温暖化の現状認識　・レポート(課題研究)作成の方法について説明	講義 演習	【予習】日本の温暖化の現状について調べておく【復習】講義内容の復習・課題研究の準備	30
	内容	①世界と日本の異常気象 ②地球温暖化について ③IPCCについて④レポート(課題研究)の具体的ナ作成方法			
9回	テーマ	地球温暖化回避への取り組み	講義	【予習】日本の温暖化回避への取り組みを調べておく【復習】講義内容の復習・課題研究の準備	30
	内容	①省エネへの取り組みと課題 ②原子力発電ほか			
10回	テーマ	20代で知っておきたいお金のこと	講義 演習	【予習】将来の生活設計について思い描いておく　【復習】講義内容の復習・課題研究の準備	30
	内容	①お金のリスク ②結婚とお金 ③老後とお金 ④あなたのお金に対する考え方は（考え・意見）			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	AKB48の経済効果ほか	講義	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①経済効果ってなんだろう ②AKB48と吉本興業の経済効果			
12回	テーマ	くまモンの経済効果	講義	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①くまモンの経済効果算出方法 ②くまモンの活動について			
13回	テーマ	どういう社会を築くか、どういう生き方を選ぶか	講義 習演	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①幸せの経済学 ②ソーシャル・ビジネスについて ③ブータンの国民総幸福量 ④あなたの李蒼とする日本の社会とは（考え・意見）			
14回	テーマ	20世紀はどんな世紀であったか	講義 習演	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習・レポート(課題研究)作成と「到達度評価ポートフォリオ」の作成とそれぞれのプリントアウト	30
	内容	①国民国家の成立と危機 ②ソ連の成立と崩壊 ③なぜ欧米は世界の覇者となったのか ④レポート・ポートフォリオの作成について			
15回	テーマ	全体のまとめと「定期試験」および提出物	講義 習演		
	内容	経済社会史1から14のまとめと「定期試験」およびレポート(課題研究)と「到達度評価ポートフォリオ」の提出			

科目名	日本国憲法（３ナ建微生美デ）	開講学年	3	講義コード	1124201	区分	選択
英文表記	The Constitution of Japan	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	竹内明里（実務教員）
研究室	本館付属棟312
オフィスアワー	昼休み
メールアドレス	take1118@sojo-u.ac.jp
キーワード	法　社会　憲法　人権　　統治

授業概要

1 授業概要 (1)日本国憲法は基本的人権の尊重や平和主義、国民主権など日本国のあり方を定めている。本講義では、裁判例や社会問題(「ブラック校則」「軍事研究と平和主義」「君が代斉唱問題」等)を題材に、教員の官庁での経験も踏まえつつ、日本国憲法の理念、人権、日本の統治の仕組みへの理解を深める。 (2)授業はレジュメに沿った講義形式だが、毎週の宿題を踏まえて、グループ討議や発表を行う。 (3)こうした作業を通じて、憲法や人権への理解を深め、多様な観点から考えることにより、社会生活を営む上での基礎知識(社会形成能力)を身に着けるとともに、自分の意見を分かりやすく伝える表現力やコミュニケーション能力(人間関係形成能力)を身に着ける。また、毎回宿題を行うことで、自主的に社会問題を調べ、継続的に学習する習慣を身につける。 (4)なお、ニーズに応じて教員採用試験や公務員試験対策を盛り込む。 2 学修上の助言 (1)心構えとして、日本国憲法や社会問題を他人事と思わず、自分の問題として考えること。 (2)憲法が関わる社会問題には、「1+1=2」のような明確な正解がないこともあるし、「多数派の意見」が「正しい」ものでない場合もある。様々な意見を議論する中で新しい解決策が生まれることも多い。授業では、自分の意見を積極的に発言しながら、他の履修者の意見にも耳を傾けること。 (3)毎回の宿題は必ず行うこと。宿題の「復習課題」で授業中に学んだ知識を定着させ、「予習課題」で次回取り上げる社会問題を調べ、自分の考えを整理すること。 ＊提出物については、次回授業などで適宜解説をする。

関連科目

法学を扱う授業としては、「現代社会と法Ⅰ」と本講義「日本国憲法」が設定されている。 本講義は「日本国憲法」に特化したものであり、幅広い法の基礎知識を学ぶ「現代社会と法Ⅰ」に対して応用的な立ち位置にある。 また、本科目は、公務員・教員採用試験受験者のニーズを重視する。このため、「宿題〔復習課題〕」についても、試験対策問題を含むなど、「現代社会と法Ⅰ」よりも量が多くなる。 法について、より一般的な基礎知識を学びたい場合には、「現代社会と法Ⅰ」を履修することを勧める。

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】･･･必修 【科目区分】･･･文科省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･日本国憲法

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A１	A１
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	日本国憲法についての基礎知識や多様な考え方を学び、これらを活かして、社会問題を考えることができる
f	②	日本国憲法に関する社会問題を調べて、自分の意見を文章で分かりやすく説明することができる
f	③	日本国憲法に関する社会問題を調べて宿題を作成し、毎回期限前に提出することができる
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	34	0	30	0	0	10	26	100

教科書

教職課程のための憲法入門 <第2版>　弘文堂　原博史、斎藤一久　　978-4-335-35763-3

参考書

いちばんやさしい憲法入門 第5版　有斐閣　初宿正典ほか　978-4641220911
教養としての憲法入門　弘文堂　神野 潔　978-4335356636
憲法 第六版　岩波書店　芦部信喜ほか　978-4000227995
ポケット六法 令和2年版　有斐閣　佐伯 仁志、大村 敦志ほか　978-4641009202

予備知識	(1)憲法に関する動きへの関心と、自ら学ぼうとする意欲を持つこと (2)ニュースで現代の社会の動きを把握すること (3)中学や高校の「現代社会」「公民」、本学の「現代社会と法Ｉ」(履修している場合)の知識をおさらいしておくこと。
DP との 関連	(1)日本国憲法の基本構造や社会問題への理解を深め、多様な観点から考えることにより、社会に貢献するための基礎知識(社会形成能力)を身に着ける。 (2)討議やレポート作成等の作業を通じて、自分の意見を分かりやすく伝える表現力やコミュニケーション能力(人間関係形成能力)を身に着ける。
実務経験 のある 教員	竹内明里
評価明細 基準	1 定期試験 34点 2 レポート 30点(第11回提出) 所定のテーマ(第1回に詳細を発表)について、参考文献(書籍一冊以上+その他資料)読み、レポートを作成する。第8回・9回・10回では「レポートワークシート」をもとにグループワークを行うが、完成した「ワークシート」を持参していない学生は出席を認めない。特に、第10回に「レポートワークシート③(レポート下書き)」を提出しない学生には、第11回でのレポートの提出自体を認めない。 3「到達度評価ポートフォリオ」10点 「学生の到達度目標」の各項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力しプリントアウトして第15回で提出。 4 その他:宿題 26点(2点×13回) 毎回授業前に完成しておくこと。期限後の提出、授業中に作業を行った場合は評価対象外。 5 60点以上を合格とする。再試験等は一切行わない。

学修上の注意 (SBOs)	1 授業参加のマナーを守ること。守れない場合は出席を認めない。 （授業資料/筆記用具/学生証以外は鞄に収納、携帯操作禁止、私語禁止） 2 授業中は学生証を机の上に置き、指定座席に座ること（応相談）。 3 授業開始後20分を遅刻とし、以後の出席を認めない。 4 提出物は期限内に提出する。締め切り後は受け付けない。 公欠予定者は前もって提出しておくこと（応相談）。 病欠・予期せぬ公欠の場合は次回授業前日までに教員研究室に提出すること（応相談）。 5 グループワークや提出物においては、社会問題を自分で調べてまとめ、自分の考えを他人にわかるように述べる努力をすること。この努力を継続することで、社会問題への理解や表現力が高めることができる。 このため、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなし、単位を認めない。また、グループワークに積極参加しない場合には、授業に参加していないものとみなし、退出を命じることもある 6 わからないことがあれば、授業やオフィスアワーに教員に質問をすること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	（復習）ガイダンスでの説明事項についての確認	20
	内容	授業概要、受講時の注意事項など			
2回	テーマ	イントロダクション	講義　演習	（予習）「立憲主義と憲法の基礎」に関する新聞記事等についての宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	憲法の意義、歴史、三大原理（国民主権・基本的人権の尊重・平和主義）を学ぶ。			
3回	テーマ	人権総論1	講義　演習	（予習）人権の歴史等に関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	人権保障の歴史、人権の観念、享有主体等を学ぶ。			
4回	テーマ	人権総論2	講義　演習	（予習）「基本的人権の限界」に関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	基本的人権の限界（公共の福祉、私人間効力等）を学ぶ。			
5回	テーマ	人権各論1：包括的基本権	講義　演習	（予習）「新しい人権」に関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	幸福追求権や新しい人権（プライバシー権、自己決定権等）の意義、内容、限界を学ぶ。			
6回	テーマ	人権各論2：法の下の平等	講義　演習	（予習）「法の下の平等」に関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	法の下の平等の意義、内容、限界を学ぶ。			
7回	テーマ	人権各論3：精神的自由権①	講義　演習	（予習）「思想・良心の自由、信教の自由」に関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読　※次回に向けて「レポートワークシート①」を作成する	60
	内容	思想・良心の自由、信教の自由について、意義、内容、限界を学ぶ。			
8回	テーマ	人権各論4：精神的自由権②、レポート作業1：	講義　演習	（予習）「表現の自由、学問の自由」に関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読　※次回に向けて「レポートワークシート②」を作成する。	60
	内容	人権各論4 表現の自由、学問の自由について、意義、内容、限界を学ぶ。レポート作業1 「レポートワークシート①」を持参し、グループ内で発表する。			
9回	テーマ	人権各論5：経済的自由権、レポート作業2	講義　演習	（予習）「職業選択の自由」に関する宿題シートを行う。（復習復習シートを行う。配布資料の再読　※次回に向けて「レポートワークシート③（レポート下書き）」を作成する。2部印刷して次回授業で持参。	60
	内容	人権各論5 職業選択の自由、居住・移転の自由、財産権について、意義、内容、限界を学ぶ。 レポート作業2 「レポートワークシート②」をグループ内で発表する。全体の流れ、調査内容の過不足、わかりやすさ（論理性、文章など）、参考文献の書き方などを確認する。			
10回	テーマ	レポート作業3	演習	※次回に向けて「レポート完成版」を作成する。次回印刷して提出する。	60
	内容	「レポートワークシート③（レポート下書き）」をグループ内で発表する。全体の流れ、調査内容の過不足、わかりやすさ（論理性、文章など）、参考文献の書き方などを相互に検討する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人権各論6:参政権・社会権	講義 演習	（予習）「選挙権、教育を受ける権利」に関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	選挙権等の参政権及び生存権・教育を受ける権利等の社会権について、意義、内容、限界を学ぶ。			
12回	テーマ	統治1:国会	講義 演習	（予習）統治の仕組みに関する宿題を行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	権力分立制の歴史と意義、日本国憲法における三権の位置付けを把握する。また、国会の地位（国民の代表機関・国権の最高機関・唯一の立法機関）を学ぶ。			
13回	テーマ	統治2:内閣	講義 演習	（予習）統治の仕組みに関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	行政権の概念、内閣の組織と権能、議院内閣制等を学ぶ。			
14回	テーマ	統治3:裁判所	講義 演習	（予習）統治の仕組みに関する宿題を行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読 ※ポートフォリオ「科目到達度レポート」を入力し、印刷して第15回に提出	60
	内容	司法権の概念、裁判所の組織と権能、司法権の独立や違憲審査制等を学ぶ。			
15回	テーマ	期末試験 まとめ	講義 演習	（予習）これまでの授業内容を総復習しておく。 ※ポートフォリオ「科目到達度レポート」の提出	60
	内容	期末試験 解説 全体のまとめ			

科目名	技術者倫理＊３（３建）	開講学年	3	講義コード	1124401	区分	選択/建築計画コース・建
英文表記	Engineering Ethics	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	鈴木俊洋						
研究室	本館309			オフィスアワー	授業で指示する		
メールアドレス	t-suzuki@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	組織における科学技術者　社会における科学技術者　専門職としての科学技術者　倫理的判断形成　　科学技術者と環境						

授業概要

1. 科学技術の専門家になるということがいかなることかを理解し、科学技術者として実社会で出会う可能性のある倫理的問題に対処する方法を学ぶ。　2. 方法論や諸概念の把握と並行して、具体的事例に即して、倫理的判断形成の実践的練習を行う。　3. 授業内でのディスカッションを通じて倫理的問題の討論の練習を行う。　★提出課題（時事ワークシート等）については、課題提出の次の週などに適宜解説を行う。

関連科目

科学・技術・社会に関係する諸科目

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・選択 【科目区分】・・・教科に関する科目（高等学校 情報）【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報社会及び情報倫理

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A3	A3
JABEE基準		b	b	b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
b	①	倫理的判断がいかなるものかを文章で説明することができる
b	②	セブンステップガイドにそって倫理的判断を実践することができる
b	③	「予防原則」という概念について文章で適切に説明することができる
b	④	科学技術における「安全」の意義を文章で説明することができる
b	⑤	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	24	40	0	0	10	26	100

教科書

指定しない

参考書

本質から考え行動する科学技術者倫理　白桃書房　金沢工業大学・科学技術応用倫理研究所編　9784561256991
理系のための科学技術者倫理　丸善出版　直江清隆・盛永審一郎編　9784621089460
技術の道徳化: 事物の道徳性を理解し設計する　法政大学出版局　フェルベーク著　9784588010330

予備知識	1. 科学技術の関わる社会的問題について興味を持っていること（日常生活の中で、新聞や報道番組などを通じて知識を深めておくこと） 2. ディスカッションにおいて自らの意見を述べる姿勢を持っていること 3. 他者の意見を聞き、それについて質問をする姿勢を持っていること 4. 倫理的問題を自らの問題として考えようとする姿勢を持っていること
DP との 関連	科学技術者倫理の諸問題の学習や実践的思考練習を通して、専門職として社会や組織の中で働くための能力を身に着けることを目的とする本授業は、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)のうちで、特に、「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応力」を身につけ、実践できる能力の育成を図ることに関連する。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.小テスト:期末に論述形式の確認テストを実施する 24点　2.レポート(期末レポート):期末に授業全体に関するレポートを提出する 20点　A4用紙1枚片面、表紙不要 フォーマット(1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1.000文字以上　3.レポート(事例考察シート):事例考察シート(授業内で配布する様式に記入して提出)を計4回提出 5点×4回 20点　4.その他:リアクションペーパー:初回と最終回以外の各回の授業終了時に授業内容についての質問・疑問・感想・コメント・考えたことなどを記述したリアクションペーパーを提出 2点×13回 26点　5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点　①【学生の到達度目標】の項目①～⑤の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出　②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1.重要な事務的連絡や告知は授業冒頭で行うので授業には遅刻しないこと。（遅刻は授業開始後20分までとし以後は欠席とする。） 2.複数回でひとまとまりのテーマを扱う場合もあるので、やむをえず授業に欠席した場合には、教員や友人から情報を得るなどして、欠席した回に行われたことを把握するようにつとめること。 3.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。但し公認欠席の場合は別途指示する。 4.私語は厳禁であるが、授業内で扱われているテーマについて意見を述べることは歓迎する。その場で述べられなかったことは、リアクションペーパーに書いてもらえれば、次の回の授業で対応する。 5.お茶・水以外飲食は不可。 6.授業中にスライド・黒板の内容を写真撮影することは禁止する。（事情がある場合は適宜別途指示する。） 7.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義	シラバスを読む 授業で扱った内容について理解を深める	30 60
	内容	科学技術者倫理とは何か。なぜ必要なのか。どのように授業を進めるか。			
2回	テーマ	科学技術と倫理	講義 演習	科学技術が関わる倫理的問題について考える 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	技術と倫理の関係 倫理的判断とは何か リアクションペーパーの作成			
3回	テーマ	倫理的判断形成	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	セブンステップガイドの説明と練習 リアクションペーパーの作成			
4回	テーマ	組織の中の科学技術者①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
5回	テーマ	組織の中の科学技術者②	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
6回	テーマ	科学技術専門知と安全性	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート②として第9回授業で提出）	60 60
	内容	「安全」とは何か 安全の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート①の解説			
7回	テーマ	公益通報（内部告発）	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート②として第9回授業で提出）	60 60
	内容	公益通報（内部告発）についての説明 事例による判断練習とディスカッション リアクションペーパー作成			
8回	テーマ	科学技術者と倫理規定	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート②として第9回授業で提出）	60 60
	内容	専門職としての科学技術者 倫理規定についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
9回	テーマ	科学技術者と環境	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート③として第12回授業で提出）	60 60
	内容	「環境」とは何か 環境の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート②の解説			
10回	テーマ	パターナリズムとインフォームド・コンセント	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート③として第12回授業で提出）	60 60
	内容	科学技術のパターナリズムとインフォームド・コンセント 事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	科学技術者とグローバル化	講義　演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート③として第12回授業で提出）	60　60
	内容	「グローバル化」の諸相 グローバル化に関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
12回	テーマ	総合的な事例の考察①	講義　演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート④として第14回授業で提出）	60　60
	内容	総合的な事例についての動画を視聴 事例の分析とディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート③の解説			
13回	テーマ	総合的な事例の考察②	講義　演習	授業で扱った事例の考察（事例考察シート④として第14回授業で提出） 期末レポートの作成	60　60
	内容	事例の分析とディスカッション 倫理的な判断の提示の練習 リアクションペーパー作成			
14回	テーマ	よりよき科学技術社会のために	講義　演習	授業内容の理解を深める 到達度評価レポートの作成 期末レポートの作成	30　30　60
	内容	いかなる科学技術者になるか どのように科学技術と付き合っていくか リアクションペーパー作成 事例考察シート④の解説			
15回	テーマ	まとめ 確認テスト	講義　演習	授業全体をまとめて復習する	60
	内容	確認テスト（30分） 確認テストの解説 全体のまとめ			

科目名	技術者倫理（３情）	開講学年	3	講義コード	1124501	区分	選択/建築計画コース・建
英文表記	Engineering Ethics	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	鈴木俊洋						
研究室	本館309			オフィスアワー	授業で指示する		
メールアドレス	t-suzuki@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	組織における科学技術者　社会における科学技術者　専門職としての科学技術者　倫理的判断形成　　科学技術者と環境						

授業概要	1. 科学技術の専門家になるということがいかなることかを理解し、科学技術者として実社会で出会う可能性のある倫理的問題に対処する方法を学ぶ。　2. 方法論や諸概念の把握と並行して、具体的事例に即して、倫理的判断形成の実践的練習を行う。　3. 授業内でのディスカッションを通じて倫理的問題の討論の練習を行う。　★提出課題（時事ワークシート等）については、課題提出の次の週などに適宜解説を行う。

関連科目
科学・技術・社会に関係する諸科目

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・選択 【科目区分】・・・教科に関する科目（高等学校 情報）【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報社会及び情報倫理

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A3	A3
JABEE基準		b	b	b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
b	①	倫理的判断がいかなるものかを文章で説明することができる
b	②	セブンステップガイドにそって倫理的判断を実践することができる
b	③	「予防原則」という概念について文章で適切に説明することができる
b	④	科学技術における「安全」の意義を文章で説明することができる
b	⑤	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	24	40	0	0	10	26	100

教科書	指定しない
参考書	本質から考え行動する科学技術者倫理　白桃書房　金沢工業大学・科学技術応用倫理研究所編　9784561256991 理系のための科学技術者倫理　丸善出版　直江清隆・盛永審一郎編　9784621089460 技術の道徳化: 事物の道徳性を理解し設計する　法政大学出版局　フェルベーク著　9784588010330

予備知識	1. 科学技術の関わる社会的問題について興味を持っていること（日常生活の中で、新聞や報道番組などを通じて知識を深めておくこと） 2. ディスカッションにおいて自らの意見を述べる姿勢を持っていること 3. 他者の意見を聞き、それについて質問をする姿勢を持っていること 4. 倫理的問題を自らの問題として考えようとする姿勢を持っていること
DP との 関連	科学技術者倫理の諸問題の学習や実践的思考練習を通して、専門職として社会や組織の中で働くための能力を身に着けることを目的とする本授業は、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)のうちで、特に、「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応力」を身につけ、実践できる能力の育成を図ることに関連する。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.小テスト:期末に論述形式の確認テストを実施する 24点　2.レポート(期末レポート):期末に授業全体に関するレポートを提出する 20点　A4用紙1枚片面、表紙不要 フォーマット(1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1.000文字以上　3.レポート(事例考察シート):事例考察シート(授業内で配布する様式に記入して提出)を計4回提出 5点×4回 20点　4.その他:リアクションペーパー:初回と最終回以外の各回の授業終了時に授業内容についての質問・疑問・感想・コメント・考えたことなどを記述したリアクションペーパーを提出 2点×13回 26点　5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点　①【学生の到達度目標】の項目①～⑤の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出　②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1.重要な事務的連絡や告知は授業冒頭で行うので授業には遅刻しないこと。（遅刻は授業開始後20分までとし以後は欠席とする。） 2.複数回でひとまとまりのテーマを扱う場合もあるので、やむをえず授業に欠席した場合には、教員や友人から情報を得るなどして、欠席した回に行われたことを把握するようにつとめること。 3.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。但し公認欠席の場合は別途指示する。 4.私語は厳禁であるが、授業内で扱われているテーマについて意見を述べることは歓迎する。その場で述べられなかったことは、リアクションペーパーに書いてもらえれば、次の回の授業で対応する。 5.お茶・水以外飲食は不可。 6.授業中にスライド・黒板の内容を写真撮影することは禁止する。（事情がある場合は適宜別途指示する。） 7.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義	シラバスを読む 授業で扱った内容について理解を深める	30 60
	内容	科学技術者倫理とは何か。なぜ必要なのか。どのように授業を進めるか。			
2回	テーマ	科学技術と倫理	講義 演習	科学技術が関わる倫理的問題について考える 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	技術と倫理の関係 倫理的判断とは何か リアクションペーパーの作成			
3回	テーマ	倫理的判断形成	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	セブンステップガイドの説明と練習 リアクションペーパーの作成			
4回	テーマ	組織の中の科学技術者①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
5回	テーマ	組織の中の科学技術者②	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
6回	テーマ	科学技術専門知と安全性	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート②として第9回授業で提出）	60 60
	内容	「安全」とは何か 安全の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート①の解説			
7回	テーマ	公益通報（内部告発）	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート②として第9回授業で提出）	60 60
	内容	公益通報（内部告発）についての説明 事例による判断練習とディスカッション リアクションペーパー作成			
8回	テーマ	科学技術者と倫理規定	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート②として第9回授業で提出）	60 60
	内容	専門職としての科学技術者 倫理規定についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
9回	テーマ	科学技術者と環境	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート③として第12回授業で提出）	60 60
	内容	「環境」とは何か 環境の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート②の解説			
10回	テーマ	パターナリズムとインフォームド・コンセント	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート③として第12回授業で提出）	60 60
	内容	科学技術のパターナリズムとインフォームド・コンセント 事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	科学技術者とグローバル化	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート③として第12回授業で提出）	60 60
	内容	「グローバル化」の諸相 グローバル化に関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
12回	テーマ	総合的な事例の考察①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート④として第14回授業で提出）	60 60
	内容	総合的な事例についての動画を視聴 事例の分析とディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート③の解説			
13回	テーマ	総合的な事例の考察②	講義 演習	授業で扱った事例の考察（事例考察シート④として第14回授業で提出） 期末レポートの作成	60 60
	内容	事例の分析とディスカッション 倫理的な判断の提示の練習 リアクションペーパー作成			
14回	テーマ	よりよき科学技術社会のために	講義 演習	授業内容の理解を深める 到達度評価レポートの作成 期末レポートの作成	30 30 60
	内容	いかなる科学技術者になるか どのように科学技術と付き合っていくか リアクションペーパー作成 事例考察シート④の解説			
15回	テーマ	まとめ 確認テスト	講義 演習	授業全体をまとめて復習する	60
	内容	確認テスト（30分） 確認テストの解説 全体のまとめ			

科目名	政治学Ⅰ（３機宇微生）前期	開講学年	3	講義コード	1124701	区分	選必
英文表記	Political Science I	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	今井亮佑						
研究室	本館310			オフィスアワー	初回講義で示します		
メールアドレス	@						
キーワード	政治　選挙　熟議						

授業概要

(1)政治の基本的な仕組みを理解してもらいます 18歳になれば選挙権を得て、一人の有権者として政治と関わることになります。しかし、政治の仕組みがわかっていなければ、折角得た選挙権を有効に行使することができません。そこで本講義を通じて、一般教養として、政治の仕組みに関する基本的理解を深めてもらいます。 (2)政治に関する論点について、自分なりに考えてもらいます 政治とは、正解のない営みです。 一つの問題に対する色々な立場・考え方が存在します。 本講義では、政治に関する諸論点に対する、複数の見方を提示します。 受講生の皆さんには、講義内容をもとに、関連する情報を自ら収集・処理することで、論点に対する自分なりの考えをまとめてもらいます。 (3)他の受講生と「熟議」してもらいます この講義の中では、他の受講生との熟議(意見交換)をしてもらう機会を設けます。 予め示した論点について、自分なりの考えをまとめてきてもらい、少人数のグループでその考えをぶつけ合ってもらいます。 価値観や意見の異なる人たちで一つの論点について議論することで、多面的な視点を獲得するとともに、コミュニケーション・スキルを磨いてもらうのがその目的です。

関連科目

基礎科目:キャリア基礎I、キャリア基礎II

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	政治に関する論点について多面的に考える能力とその素養を身に付けることができる。
f	②	自身の考えを論理的に記述する力を養うことができる。
f	③	他の受講生との討議を通じて、コミュニケーション能力を磨くことができる。
g	④	自主的、継続的に学習する習慣を身に付けることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑥	

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	75	0	0	10	15	100

教科書

※指定なし

参考書

政治学　東京大学出版会　川出良枝・谷口将紀(編)　978-4130322195

予備知識	■受講にあたり、予備知識は必要としませんが、政治を学びたいという積極的な意欲は持って下さい。 ■政治は絶えず動いています。その動きをフォローするために、日々新聞に目を通すようにして下さい。
DP との 関連	講義の中で、政治的問題に対する自身の立場を根拠付けて論じる機会を多く設けます。それを通じて、本学DPに挙げられている基礎的・汎用的能力である、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」を身に付け、それらを実践できるようにします。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.リアクションペーパー（4回、計20点） ○4回の講義では、扱うテーマに関連する論点を提示します。それについて、自分の考えを根拠も含めて記述したものを、次週の講義の前日までに提出してもらいます。 ※提出の2週間後までをめどに、気づいた点、改善すべき点をフィードバックします。 2.リサーチペーパー①・②・③（①②各17点、③21点、計55点） ○講義で取り上げるテーマに関連する論点について、受講生の間で（5～6名程度の小グループで）熟議（意見交換）してもらう機会を三度設けます。 ○熟議のテーマとされた論点について、 ・講義を受けた時点でどのように考えていたか ・どのようなソースから、どのような情報を入手したか ・熟議の場で、他の受講生からどのような意見が出されたか ・それを聞いて、自身の考えはどのような影響を受けたか ・最終的に、どのような考えに至ったか を、根拠も含めて論理的に記述してもらいます（各2000字以上）。 ※提出の2週間後までをめどに、気づいた点、改善すべき点をフィードバックします。 3.意見交換への貢献度（各5点、計15点） ○意見交換の際、有益な考え方を出せたかどうか、グループの他のメンバーに評価してもらいます。 4. ポートフォリオ:「学修到達度レポート」（10点） ・【学生の到達度目標】の項目①～④の達成度とその理由を各200～250文字で入力してもらいます。 ☆いずれも、詳細は講義の中で説明します。

学修上の注意 (SBOs)	■受講マナーは必ず守って下さい。・私語厳禁です。・講義中は携帯電話／スマートフォンをマナーモードに設定の上、鞄の中にしまってもらいます。☆携帯電話／スマートフォンを操作しているのを発見次第退出を命じ、以後の授業出席を認めません。■授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とします。■リサーチペーパーは、提出期限（初回講義時に明示）を厳守してください。期限後に出されても一切受け取りません。■再試験等は一切行いません。■リサーチペーパーの執筆に際し、コピー&ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）を行った場合は、不正行為とみなし、単位を認定しません。■私が話す内容、黒板やパワーポイントに示す内容の中から、重要だと思う点を抽出・要約してノートにメモするというスキルを身に付けて下さい。■講義内容が理解できなかった場合は、遠慮なく質問して下さい（講義中／講義後でも、オフィスアワーでも構いません）。■新聞やテレビニュースを通じて、日々の政治の動きに興味を持つようにして下さい。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	（復習）ガイダンスでの説明事項についてよく頭に入れる。	30
	内容	授業概要や受講時の注意事項等を説明する。			
2回	テーマ	日本政治の争点①：外交・安全保障	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の安全保障、日米同盟の歴史的背景について講じる。			
3回	テーマ	日本政治の争点②：経済・福祉	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	経済政策や福祉政策に関する諸論点について講じる。			
4回	テーマ	政治の仕組み：政策過程①	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	どのような過程を経て政策が作られるのか、日本型の政策決定の特徴について講じる。			
5回	テーマ	政治の仕組み：政策過程②	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。（予習）次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	日本型の政策決定の功罪や、近年の変化について講じる。			
6回	テーマ	熟議①	演習	（復習）熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議（意見交換）してもらう（SGD）。			
7回	テーマ	政治の仕組み：選挙制度①	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	選挙制度を類型化し、それぞれの特徴について説明する。また、衆参両院の選挙制度の特徴や、制度改革の背景などについて講じる。			
8回	テーマ	政治の仕組み：選挙制度②	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の現行の選挙制度にまつわる論点や、いわゆる「一票の格差」の問題について講じる。			
9回	テーマ	政治の仕組み：行政制度	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の行政機構の改革の概要と、それがもたらした影響について講じる。			
10回	テーマ	政治のアクター：政党	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	政党の果たす機能や日本の政党の特徴について講じる。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	政治のアクター:政治家	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。(予習)次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	なぜ、どのような人が政治家を目指すのか、政治家の実態はどのようなものかについて講じる。			
12回	テーマ	熟議②	演習	(復習)熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議(意見交換)してもらう(SGD)。			
13回	テーマ	政治のアクター:有権者①	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	なぜ人は選挙で投票／棄権するのか、人は何を判断基準に投票する政党や候補者を選ぶのかについて講じる。			
14回	テーマ	政治のアクター:有権者②	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。(予習)次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	若年層の投票率が低いのは問題か、投票率を上げるにはどうすればよいのかについて講じる。			
15回	テーマ	熟議②	演習	(復習)熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。 学修到達度レポートを執筆し、授業アンケートに回答する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議(意見交換)してもらう(SGD)。			

科目名	政治学Ⅰ（３ナ建情）前期	開講学年	3	講義コード	1124801	区分	選必
英文表記	Political Science I	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	今井亮佑						
研究室	本館310			オフィスアワー	初回講義で示します		
メールアドレス	@						
キーワード	政治　選挙　熟議						

授業概要

(1)政治の基本的な仕組みを理解してもらいます 18歳になれば選挙権を得て、一人の有権者として政治と関わることになります。しかし、政治の仕組みがわかっていなければ、折角得た選挙権を有効に行使することができません。そこで本講義を通じて、一般教養として、政治の仕組みに関する基本的理解を深めてもらいます。 (2)政治に関する論点について、自分なりに考えてもらいます 政治とは、正解のない営みです。 一つの問題に対する色々な立場・考え方が存在します。 本講義では、政治に関する諸論点に対する、複数の見方を提示します。 受講生の皆さんには、講義内容をもとに、関連する情報を自ら収集・処理することで、論点に対する自分なりの考えをまとめてもらいます。 (3)他の受講生と「熟議」してもらいます この講義の中では、他の受講生との熟議（意見交換）をしてもらう機会を設けます。 予め示した論点について、自分なりの考えをまとめてきてもらい、少人数のグループでその考えをぶつけ合ってもらいます。 価値観や意見の異なる人たちで一つの論点について議論することで、多面的な視点を獲得するとともに、コミュニケーション・スキルを磨いてもらうのがその目的です。

関連科目

基礎科目：キャリア基礎I、キャリア基礎II

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	政治に関する論点について多面的に考える能力とその素養を身に付けることができる。
f	②	自身の考えを論理的に記述する力を養うことができる。
f	③	他の受講生との討議を通じて、コミュニケーション能力を磨くことができる。
g	④	自主的、継続的に学習する習慣を身に付けることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	75	0	0	10	15	100

教科書

※指定なし

参考書

政治学　東京大学出版会　川出良枝・谷口将紀（編）　978-4130322195

予備知識	■受講にあたり、予備知識は必要としませんが、政治を学びたいという積極的な意欲は持って下さい。 ■政治は絶えず動いています。その動きをフォローするために、日々新聞に目を通すようにして下さい。
DP との 関連	講義の中で、政治的問題に対する自身の立場を根拠付けて論じる機会を多く設けます。それを通じて、本学DPに挙げられている基礎的・汎用的能力である、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」を身に付け、それらを実践できるようにします。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.リアクションペーパー（4回、計20点） ○4回の講義では、扱うテーマに関連する論点を提示します。それについて、自分の考えを根拠も含めて記述したものを、次週の講義の前日までに提出してもらいます。 ※提出の2週間後までをめどに、気づいた点、改善すべき点をフィードバックします。 2.リサーチペーパー①・②・③（①②各17点、③21点、計55点） ○講義で取り上げるテーマに関連する論点について、受講生の間で（5～6名程度の小グループで）熟議（意見交換）してもらう機会を三度設けます。 ○熟議のテーマとされた論点について、 ・講義を受けた時点でどのように考えていたか ・どのようなソースから、どのような情報を入手したか ・熟議の場で、他の受講生からどのような意見が出されたか ・それを聞いて、自身の考えはどのような影響を受けたか ・最終的に、どのような考えに至ったか を、根拠も含めて論理的に記述してもらいます（各2000字以上）。 ※提出の2週間後までをめどに、気づいた点、改善すべき点をフィードバックします。 3.意見交換への貢献度（各5点、計15点） ○意見交換の際、有益な考え方を出せたかどうか、グループの他のメンバーに評価してもらいます。 4. ポートフォリオ:「学修到達度レポート」（10点） ・【学生の到達度目標】の項目①～④の達成度とその理由を各200～250文字で入力してもらいます。 ☆いずれも、詳細は講義の中で説明します。

学修上の注意 (SBOs)	■受講マナーは必ず守って下さい。・私語厳禁です。・講義中は携帯電話／スマートフォンをマナーモードに設定の上、鞄の中にしまってもらいます。☆携帯電話／スマートフォンを操作しているのを発見次第退出を命じ、以後の授業出席を認めません。■授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とします。■リサーチペーパーは、提出期限（初回講義時に明示）を厳守してください。期限後に出されても一切受け取りません。■再試験等は一切行いません。■リサーチペーパーの執筆に際し、コピー&ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）を行った場合は、不正行為とみなし、単位を認定しません。■私が話す内容、黒板やパワーポイントに示す内容の中から、重要だと思う点を抽出・要約してノートにメモするというスキルを身に付けて下さい。■講義内容が理解できなかった場合は、遠慮なく質問して下さい（講義中／講義後でも、オフィスアワーでも構いません）。■新聞やテレビニュースを通じて、日々の政治の動きに興味を持つようにして下さい。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	(復習)ガイダンスでの説明事項についてよく頭に入れる。	30
	内容	授業概要や受講時の注意事項等を説明する。			
2回	テーマ	日本政治の争点①:外交・安全保障	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の安全保障、日米同盟の歴史的背景について講じる。			
3回	テーマ	日本政治の争点②:経済・福祉	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	経済政策や福祉政策に関する諸論点について講じる。			
4回	テーマ	政治の仕組み:政策過程①	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	どのような過程を経て政策が作られるのか、日本型の政策決定の特徴について講じる。			
5回	テーマ	政治の仕組み:政策過程②	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。（予習)次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	日本型の政策決定の功罪や、近年の変化について講じる。			
6回	テーマ	熟議①	演習	(復習)熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議(意見交換)してもらう(SGD)。			
7回	テーマ	政治の仕組み:選挙制度①	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	選挙制度を類型化し、それぞれの特徴について説明する。また、衆参両院の選挙制度の特徴や、制度改革の背景などについて講じる。			
8回	テーマ	政治の仕組み:選挙制度②	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の現行の選挙制度にまつわる論点や、いわゆる「一票の格差」の問題について講じる。			
9回	テーマ	政治の仕組み:行政制度	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の行政機構の改革の概要と、それがもたらした影響について講じる。			
10回	テーマ	政治のアクター:政党	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	政党の果たす機能や日本の政党の特徴について講じる。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	政治のアクター:政治家	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。(予習)次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	なぜ、どのような人が政治家を目指すのか、政治家の実態はどのようなものかについて講じる。			
12回	テーマ	熟議②	演習	(復習)熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議(意見交換)してもらう(SGD)。			
13回	テーマ	政治のアクター:有権者①	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	なぜ人は選挙で投票／棄権するのか、人は何を判断基準に投票する政党や候補者を選ぶのかについて講じる。			
14回	テーマ	政治のアクター:有権者②	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。(予習)次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	若年層の投票率が低いのは問題か、投票率を上げるにはどうすればよいのかについて講じる。			
15回	テーマ	熟議②	演習	(復習)熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。 学修到達度レポートを執筆し、授業アンケートに回答する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議(意見交換)してもらう(SGD)。			

科目名	哲学の出発点（３機宇微生）前期	開講学年	3	講義コード	1125101	区分	選必
英文表記	Starting point in philosophy	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	清水俊（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後の非常勤講師控室

メールアドレス	shimizuep@bloom.ocn.ne.jp

キーワード	哲学　倫理学　クリティカル・シンキング

授業概要	『哲学ってどんなこと?』を参照しながら、様々な対象について哲学的に考えていく訓練をします。存在そのものから人生の意味まで、多くの対象を哲学的にとらえることにより、「自ら考える」力を養ってくことになります。教科書を読んで予習し、授業内容について家庭でも考察してください。 12回目の授業中に、中間テストの結果を学生にフィードバックする。

関連科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	あらゆる事柄を、多様な視点から考える能力を身に付けることができる。
f	②	自らの考えを的確に表明し、論述する能力を身に付けることができる。
g	③	常に哲学的な問題意識を持ち続け、自主的に対象を考察することができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	0	0	60	0	0	10	0	100

教科書	哲学ってどんなこと?　昭和堂　トマス・ネーゲル　978-4812293058

参考書	

予備知識	教科書においてわからない単語などあれば、予習の段階で辞書などで調べてみること。
DP との 関連	哲学を学ぶことを通じて、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.リサーチペーパー（30点） 指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているか、参考文献をきちんと読み解けているかを評価。 2.ポートフォリオ（10点） 到達度評価レポート。【学生の到達目標】と項目①～③の達成度とその理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出。 規定に従って書けているかで評価。 3.期末レポート（60点） 指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているかを評価。

学修上の注意 (SBOs)	教科書の講義に関連する箇所を、必ず事前に読んでおくこと。授業中のレポートに関する指示などは聞き逃さないようにし、必要な事柄は必ず書きとどめておくこと。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	哲学にできること	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。	
	内容	哲学を学ぶにあたって必要な事柄の解説 哲学的な問いを立ててみる ポートフォリオ・リサーチペーパーの作成要領			
2回	テーマ	はじめに 哲学の入り口	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	哲学が対象とすることについての考察 問いについてのディスカッション レポートの作成要領			
3回	テーマ	何かを知ること	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	私たちはどうやって何かを知るのかの考察 問いについてのディスカッション リサーチペーパー作成に必要な参照文献の探し方概要			
4回	テーマ	他人の心	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	他人の心を知るとはどのようなことかについての考察 問いについてのディスカッション			
5回	テーマ	心-身問題	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	心と体の関係についての考察 問いについてのディスカッション			
6回	テーマ	ことばの意味	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 リサーチペーパーの作成	
	内容	言葉と意味の関係はどのようになっているのかについての考察 問いについてのディスカッション リサーチペーパーの課題発表			
7回	テーマ	自由意志	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	私たちの意志は自由なのか、自由とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
8回	テーマ	正しいことと不正なこと	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	正や不正とは何なのか、倫理とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
9回	テーマ	正義	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	正義のために何をなすべきなのか、正義とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
10回	テーマ	死	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	死とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人生の意味	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	人生の意味とは何か、人生とは何かについての考察 問いについてのディスカッション 教科書のまとめ 期末レポートの課題発表・作成概要			
12回	テーマ	時間	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 期末レポートの作成	
	内容	時間について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
13回	テーマ	愛	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 期末レポートの作成	
	内容	様々な愛について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
14回	テーマ	大人と子供	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 ポートフォリオ（到達度レポート）の作成・授業アンケートの入力	
	内容	大人と子供について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
15回	テーマ	その他の哲学的テーマ	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	様々なテーマについて哲学的に考察 問いについてディスカッション			

科目名	哲学の出発点（３ナ）前期	開講学年	3	講義コード	1125201	区分	選必
英文表記	Starting point in philosophy	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	清水俊（非常勤）						
研究室	本館１階 非常勤講師室			オフィスアワー	授業時間前後の非常勤講師控室		
メールアドレス	shimizuep@bloom.ocn.ne.jp						
キーワード	哲学　倫理学　クリティカル・シンキング						

授業概要

『哲学ってどんなこと?』を参照しながら、様々な対象について哲学的に考えていく訓練をします。存在そのものから人生の意味まで、多くの対象を哲学的にとらえることにより、「自ら考える」力を養ってくことになります。教科書を読んで予習し、授業内容について家庭でも考察してください。 12回目の授業中に、中間テストの結果を学生にフィードバックする。

関連科目

建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標			
JABEE基準			

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	あらゆる事柄を、多様な視点から考える能力を身に付けることができる。
f	②	自らの考えを的確に表明し、論述する能力を身に付けることができる。
g	③	常に哲学的な問題意識を持ち続け、自主的に対象を考察することができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	0	0	60	0	0	10	0	100

教科書

哲学ってどんなこと?　昭和堂　トマス・ネーゲル　978-4812293058

参考書

予備知識	教科書においてわからない単語などあれば、予習の段階で辞書などで調べてみること。
DP との 関連	哲学を学ぶことを通じて、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.リサーチペーパー（30点） 指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているか、参考文献をきちんと読み解けているかを評価。 2.ポートフォリオ（10点） 到達度評価レポート。【学生の到達目標】と項目①～③の達成度とその理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出。 規定に従って書けているかで評価。 3.期末レポート（60点） 指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているかを評価。

学修上の注意 (SBOs)	教科書の講義に関連する箇所を、必ず事前に読んでおくこと。授業中のレポートに関する指示などは聞き逃さないようにし、必要な事柄は必ず書きとどめておくこと。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	哲学にできること	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。	
	内容	哲学を学ぶにあたって必要な事柄の解説 哲学的な問いを立ててみる ポートフォリオ・リサーチペーパーの作成要領			
2回	テーマ	はじめに 哲学の入り口	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	哲学が対象とすることについての考察 問いについてのディスカッション レポートの作成要領			
3回	テーマ	何かを知ること	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	私たちはどうやって何かを知るのかの考察 問いについてのディスカッション リサーチペーパー作成に必要な参照文献の探し方概要			
4回	テーマ	他人の心	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	他人の心を知るとはどのようなことかについての考察 問いについてのディスカッション			
5回	テーマ	心-身問題	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	心と体の関係についての考察 問いについてのディスカッション			
6回	テーマ	ことばの意味	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 リサーチペーパーの作成	
	内容	言葉と意味の関係はどのようになっているのかについての考察 問いについてのディスカッション リサーチペーパーの課題発表			
7回	テーマ	自由意志	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	私たちの意志は自由なのか、自由とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
8回	テーマ	正しいことと不正なこと	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	正や不正とは何なのか、倫理とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
9回	テーマ	正義	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	正義のために何をなすべきなのか、正義とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
10回	テーマ	死	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	死とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人生の意味	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	人生の意味とは何か、人生とは何かについての考察 問いについてのディスカッション 教科書のまとめ 期末レポートの課題発表・作成概要			
12回	テーマ	時間	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 期末レポートの作成	
	内容	時間について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
13回	テーマ	愛	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 期末レポートの作成	
	内容	様々な愛について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
14回	テーマ	大人と子供	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 ポートフォリオ（到達度レポート）の作成・授業アンケートの入力	
	内容	大人と子供について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
15回	テーマ	その他の哲学的テーマ	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	様々なテーマについて哲学的に考察 問いについてディスカッション			

科目名	哲学の出発点（３建）前期	開講学年	3	講義コード	1125202	区分	選必
英文表記	Starting point in philosophy	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	清水俊（非常勤）						
研究室	本館１階 非常勤講師室			オフィスアワー	授業時間前後の非常勤講師控室		
メールアドレス	shimizuep@bloom.ocn.ne.jp						
キーワード	哲学　倫理学　クリティカル・シンキング						

授業概要

『哲学ってどんなこと?』を参照しながら、様々な対象について哲学的に考えていく訓練をします。存在そのものから人生の意味まで、多くの対象を哲学的にとらえることにより、「自ら考える」力を養ってくことになります。教科書を読んで予習し、授業内容について家庭でも考察してください。 12回目の授業中に、中間テストの結果を学生にフィードバックする。

関連科目

建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標			
JABEE基準			

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	あらゆる事柄を、多様な視点から考える能力を身に付けることができる。
f	②	自らの考えを的確に表明し、論述する能力を身に付けることができる。
g	③	常に哲学的な問題意識を持ち続け、自主的に対象を考察することができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	0	0	60	0	0	10	0	100

教科書

哲学ってどんなこと?　昭和堂　トマス・ネーゲル　978-4812293058

参考書

予備知識	教科書においてわからない単語などあれば、予習の段階で辞書などで調べてみること。
DP との 関連	哲学を学ぶことを通じて、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.リサーチペーパー（30点） 指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているか、参考文献をきちんと読み解けているかを評価。 2.ポートフォリオ（10点） 到達度評価レポート。【学生の到達目標】と項目①～③の達成度とその理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出。 規定に従って書けているかで評価。 3.期末レポート（60点） 指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているかを評価。

学修上の注意 (SBOs)	教科書の講義に関連する箇所を、必ず事前に読んでおくこと。授業中のレポートに関する指示などは聞き逃さないようにし、必要な事柄は必ず書きとどめておくこと。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	哲学にできること	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。	
	内容	哲学を学ぶにあたって必要な事柄の解説 哲学的な問いを立ててみる ポートフォリオ・リサーチペーパーの作成要領			
2回	テーマ	はじめに 哲学の入り口	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	哲学が対象とすることについての考察 問いについてのディスカッション レポートの作成要領			
3回	テーマ	何かを知ること	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	私たちはどうやって何かを知るのかの考察 問いについてのディスカッション リサーチペーパー作成に必要な参照文献の探し方概要			
4回	テーマ	他人の心	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	他人の心を知るとはどのようなことかについての考察 問いについてのディスカッション			
5回	テーマ	心-身問題	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	心と体の関係についての考察 問いについてのディスカッション			
6回	テーマ	ことばの意味	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 リサーチペーパーの作成	
	内容	言葉と意味の関係はどのようになっているのかについての考察 問いについてのディスカッション リサーチペーパーの課題発表			
7回	テーマ	自由意志	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	私たちの意志は自由なのか、自由とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
8回	テーマ	正しいことと不正なこと	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	正や不正とは何なのか、倫理とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
9回	テーマ	正義	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	正義のために何をなすべきなのか、正義とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
10回	テーマ	死	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	死とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人生の意味	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	人生の意味とは何か、人生とは何かについての考察 問いについてのディスカッション 教科書のまとめ 期末レポートの課題発表・作成概要			
12回	テーマ	時間	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 期末レポートの作成	
	内容	時間について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
13回	テーマ	愛	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 期末レポートの作成	
	内容	様々な愛について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
14回	テーマ	大人と子供	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 ポートフォリオ（到達度レポート）の作成・授業アンケートの入力	
	内容	大人と子供について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
15回	テーマ	その他の哲学的テーマ	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	様々なテーマについて哲学的に考察 問いについてディスカッション			

科目名	哲学の出発点（３情）前期	開講学年	3	講義コード	1125203	区分	選必
英文表記	Starting point in philosophy	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	清水俊（非常勤）						
研究室	本館１階 非常勤講師室			オフィスアワー	授業時間前後の非常勤講師控室		
メールアドレス	shimizuep@bloom.ocn.ne.jp						
キーワード	哲学　倫理学　クリティカル・シンキング						

授業概要	関連科目
『哲学ってどんなこと?』を参照しながら、様々な対象について哲学的に考えていく訓練をします。存在そのものから人生の意味まで、多くの対象を哲学的にとらえることにより、「自ら考える」力を養ってくことになります。教科書を読んで予習し、授業内容について家庭でも考察してください。 12回目の授業中に、中間テストの結果を学生にフィードバックする。	

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標			
	JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	あらゆる事柄を、多様な視点から考える能力を身に付けることができる。
f	②	自らの考えを的確に表明し、論述する能力を身に付けることができる。
g	③	常に哲学的な問題意識を持ち続け、自主的に対象を考察することができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	0	0	60	0	0	10	0	100

教科書	哲学ってどんなこと?　昭和堂　トマス・ネーゲル　978-4812293058
参考書	

予備知識	教科書においてわからない単語などあれば、予習の段階で辞書などで調べてみること。
DP との 関連	哲学を学ぶことを通じて、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.リサーチペーパー（30点） 指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているか、参考文献をきちんと読み解けているかを評価。 2.ポートフォリオ（10点） 到達度評価レポート。【学生の到達目標】と項目①～③の達成度とその理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出。 規定に従って書けているかで評価。 3.期末レポート（60点） 指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているかを評価。

学修上の注意 (SBOs)	教科書の講義に関連する箇所を、必ず事前に読んでおくこと。授業中のレポートに関する指示などは聞き逃さないようにし、必要な事柄は必ず書きとどめておくこと。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	哲学にできること	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。	
	内容	哲学を学ぶにあたって必要な事柄の解説 哲学的な問いを立ててみる ポートフォリオ・リサーチペーパーの作成要領			
2回	テーマ	はじめに 哲学の入り口	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	哲学が対象とすることについての考察 問いについてのディスカッション レポートの作成要領			
3回	テーマ	何かを知ること	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	私たちはどうやって何かを知るのかの考察 問いについてのディスカッション リサーチペーパー作成に必要な参照文献の探し方概要			
4回	テーマ	他人の心	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	他人の心を知るとはどのようなことかについての考察 問いについてのディスカッション			
5回	テーマ	心-身問題	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	心と体の関係についての考察 問いについてのディスカッション			
6回	テーマ	ことばの意味	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 リサーチペーパーの作成	
	内容	言葉と意味の関係はどのようになっているのかについての考察 問いについてのディスカッション リサーチペーパーの課題発表			
7回	テーマ	自由意志	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	私たちの意志は自由なのか、自由とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
8回	テーマ	正しいことと不正なこと	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	正や不正とは何なのか、倫理とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
9回	テーマ	正義	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	正義のために何をなすべきなのか、正義とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
10回	テーマ	死	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	死とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人生の意味	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	人生の意味とは何か、人生とは何かについての考察　問いについてのディスカッション　教科書のまとめ　期末レポートの課題発表・作成概要			
12回	テーマ	時間	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 期末レポートの作成	
	内容	時間について哲学的に考察　問いについてディスカッション			
13回	テーマ	愛	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 期末レポートの作成	
	内容	様々な愛について哲学的に考察　問いについてディスカッション			
14回	テーマ	大人と子供	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 ポートフォリオ（到達度レポート）の作成・授業アンケートの入力	
	内容	大人と子供について哲学的に考察　問いについてディスカッション			
15回	テーマ	その他の哲学的テーマ	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	様々なテーマについて哲学的に考察　問いについてディスカッション			

科目名	現代の社会と経済Ⅰ（３機宇微生）前期	開講学年	3	講義コード	1125501	区分	選必
英文表記	Modem Soeiey and Economy	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	徳永 洋(非常勤)						
研究室	教務課前 非常勤講師室			オフィスアワー	授業後の非常勤講師室		
メールアドレス	asonohana 1592@gmail.com						
キーワード	①社会　②経済　③金融　④経済効果　⑤歴史						

授業概要	関連科目
1.現代の社会と経済の基礎などについて幅広く学び基本的な知識を身につける。 2.現代の社会と経済を見るうえで重要であるので、真剣な学習への取り組みを期待する。 3.自分の選んだテーマについて調査するなどして、レポート(課題研究)としてまとめること。	

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			afg	afg

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	多面的に物事を考える能力を身につけることができる。
f	②	論理的な記述力を養うことがてきる。
g	③	自主的に学習する習慣を身につけることができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	60	0	30	0	0	10	0	100

教科書	使用しません
参考書	使用しません

予備知識	受講にあたり予備知識は必要としませんが、社会と経済を学びたい意欲は持って下さい。
DP との 関連	1.本学DPの理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続をはかる 2.自主的、継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける 3.自身の考え方を論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力（文章作成能力）を身につける 4.一定の制約下で個人で計画的に課題に取り組み、解決する能力を身につける
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート(課題研究) 30点 2.定期試験 60点 3.「到達度評価ポートフォリオ」10点 (上記「学生の到達度目標」の項目①から③の達成度と、その理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出して下さい)

学修上の注意 (SBOs)	1.私が話す内容やホワイトボードに書いた内容の中で、重要と思う点をノートなどにメモするというスキルを身につけて下さい。　2.新聞やテレビニュースなどを通じて、日々の社会と経済の動きに興味を持つようにして下さい。　3.レポート(課題研究)については、本学図書館や県立図書館などで資料を収集し、それらをもとにして、まとめること。なお、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。　4.授業開始30分を超えた遅刻は、欠席扱いとするので注意すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	あなたの知らない「お金のはなし」その1　オリエンテーション1	講義 演習	【復習】講義内容の復習	15
	内容	①お札の一生 ②日銀の機能 ③シラバスの説明			
2回	テーマ	あなたの知らない「お金のはなし」その2　オリエンテーション2	講義 演習	【予習】日本のコインついて調べておく　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①小判の話 ②コインの一生 ③レポートの作成方法			
3回	テーマ	商業道徳～信頼される会社の条件	講義 演習	【予習】日本の商業道徳の概要を調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①会社は誰のものか ②日本でいちばん大切にしたい会社 ③ポートフォリオの作成			
4回	テーマ	商業道徳とその変遷～禁欲から強欲へ	講義	【予習】現代日本の商業道徳について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①日本とアメリカの商業道徳 ②資本主義はどのように変質したか ③企業事件の概要			
5回	テーマ	企業の盛衰を左右する危機管理力	講義 演習	【予習】危機管理力の概念について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①失敗学とは ②ハインリッヒの法則 ③危機管理の成功例と失敗例 ④講義3回～5回を受講して各自の企業イメージの変化はあるか			
6回	テーマ	グローバル化とその影響	講義	【予習】経済グローバル化について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①経済のグローバル化とは ②外国為替相場と物価 ③BRICSとG7、G20			
7回	テーマ	農業と食料～日本と世界の食と農の姿	講義	【予習】日本の食料事情について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①世界と日本の農業の姿 ②自由貿易論とTPP ③企業の農業分野への参入			
8回	テーマ	地球温暖化の現状認識 ・レポート(課題研究)作成の方法について説明	講義 演習	【予習】日本の温暖化の現状について調べておく【復習】講義内容の復習・課題研究の準備	30
	内容	①世界と日本の異常気象 ②地球温暖化について ③IPCCについて④レポート(課題研究)の具体的ナ作成方法			
9回	テーマ	地球温暖化回避への取り組み	講義	【予習】日本の温暖化回避への取り組みを調べておく【復習】講義内容の復習・課題研究の準備	30
	内容	①省エネへの取り組みと課題 ②原子力発電ほか			
10回	テーマ	20代で知っておきたいお金のこと	講義 演習	【予習】将来の生活設計について思い描いておく 【復習】講義内容の復習・課題研究の準備	30
	内容	①お金のリスク ②結婚とお金 ③老後とお金 ④あなたのお金に対する考え方は（考え・意見）			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	AKB48の経済効果ほか	講義	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①経済効果ってなんだろう ②AKB48と吉本興業の経済効果			
12回	テーマ	くまモンの経済効果	講義	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①くまモンの経済効果算出方法 ②くまモンの活動について			
13回	テーマ	どういう社会を築くか、どういう生き方を選ぶか	講義 習演	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①幸せの経済学 ②ソーシャル・ビジネスについて ③ブータンの国民総幸福量 ④あなたの李蒼とする日本の社会とは（考え・意見）			
14回	テーマ	20世紀はどんな世紀であったか	講義 習演	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習・レポート(課題研究)作成と「到達度評価ポートフォリオ」の作成とそれぞれのプリントアウト	30
	内容	①国民国家の成立と危機 ②ソ連の成立と崩壊 ③なぜ欧米は世界の覇者となったのか ④レポート・ポートフォリオの作成について			
15回	テーマ	全体のまとめと「定期試験」および提出物	講義 習演		
	内容	経済社会史1から14のまとめと「定期試験」およびレポート(課題研究)と「到達度評価ポートフォリオ」の提出			

科目名	現代の社会と経済Ⅰ（３ナ建情）前期	開講学年	3	講義コード	1125601	区分	選必
英文表記	Modem Soeiey and Economy	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	徳永 洋(非常勤)						
研究室	教務課前 非常勤講師室			オフィスアワー	授業後の非常勤講師室		
メールアドレス	asonohana 1592@gmail.com						
キーワード	①社会　②経済　③金融　④経済効果　⑤歴史						

授業概要	関連科目
1.現代の社会と経済の基礎などについて幅広く学び基本的な知識を身につける。 2.現代の社会と経済を見るうえで重要であるので、真剣な学習への取り組みを期待する。 3.自分の選んだテーマについて調査するなどして、レポート(課題研究)としてまとめること。	

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			afg	afg

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	多面的に物事を考える能力を身につけることができる。
f	②	論理的な記述力を養うことがてきる。
g	③	自主的に学習する習慣を身につけることができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	60	0	30	0	0	10	0	100

教科書	使用しません
参考書	使用しません

予備知識	受講にあたり予備知識は必要としませんが、社会と経済を学びたい意欲は持って下さい。
DP との 関連	1.本学DPの理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続をはかる 2.自主的、継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける 3.自身の考え方を論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力（文章作成能力）を身につける 4.一定の制約下で個人で計画的に課題に取り組み、解決する能力を身につける
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート(課題研究) 30点 2.定期試験 60点 3.「到達度評価ポートフォリオ」 10点 (上記「学生の到達度目標」の項目①から③の達成度と、その理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出して下さい)

学修上の注意 (SBOs)	1.私が話す内容やホワイトボードに書いた内容の中で、重要と思う点をノートなどにメモするというスキルを身につけて下さい。　2.新聞やテレビニュースなどを通じて、日々の社会と経済の動きに興味を持つようにして下さい。　3.レポート(課題研究)については、本学図書館や県立図書館などで資料を収集し、それらをもとにして、まとめること。なお、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。　4.授業開始30分を超えた遅刻は、欠席扱いとするので注意すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	あなたの知らない「お金のはなし」その1　オリエンテーション1	講義 演習	【復習】講義内容の復習	15
	内容	①お札の一生 ②日銀の機能 ③シラバスの説明			
2回	テーマ	あなたの知らない「お金のはなし」その2　オリエンテーション2	講義 演習	【予習】日本のコインついて調べておく　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①小判の話 ②コインの一生 ③レポートの作成方法			
3回	テーマ	商業道徳～信頼される会社の条件	講義 演習	【予習】日本の商業道徳の概要を調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①会社は誰のものか ②日本でいちばん大切にしたい会社 ③ポートフォリオの作成			
4回	テーマ	商業道徳とその変遷～禁欲から強欲へ	講義	【予習】現代日本の商業道徳について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①日本とアメリカの商業道徳 ②資本主義はどのように変質したか ③企業事件の概要			
5回	テーマ	企業の盛衰を左右する危機管理力	講義 演習	【予習】危機管理力の概念について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①失敗学とは ②ハインリッヒの法則 ③危機管理の成功例と失敗例 ④講義3回～5回を受講して各自の企業イメージの変化はあるか			
6回	テーマ	グローバル化とその影響	講義	【予習】経済グローバル化について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①経済のグローバル化とは ②外国為替相場と物価 ③BRICSとG7、G20			
7回	テーマ	農業と食料～日本と世界の食と農の姿	講義	【予習】日本の食料事情について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①世界と日本の農業の姿 ②自由貿易論とTPP ③企業の農業分野への参入			
8回	テーマ	地球温暖化の現状認識 ・レポート(課題研究)作成の方法について説明	講義 演習	【予習】日本の温暖化の現状について調べておく【復習】講義内容の復習・課題研究の準備	30
	内容	①世界と日本の異常気象 ②地球温暖化について ③IPCCについて④レポート(課題研究)の具体的ナ作成方法			
9回	テーマ	地球温暖化回避への取り組み	講義	【予習】日本の温暖化回避への取り組みを調べておく【復習】講義内容の復習・課題研究の準備	30
	内容	①省エネへの取り組みと課題 ②原子力発電ほか			
10回	テーマ	20代で知っておきたいお金のこと	講義 演習	【予習】将来の生活設計について思い描いておく 【復習】講義内容の復習・課題研究の準備	30
	内容	①お金のリスク ②結婚とお金 ③老後とお金 ④あなたのお金に対する考え方は（考え・意見）			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	AKB48の経済効果ほか	講義	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①経済効果ってなんだろう ②AKB48と吉本興業の経済効果			
12回	テーマ	くまモンの経済効果	講義	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①くまモンの経済効果算出方法 ②くまモンの活動について			
13回	テーマ	どういう社会を築くか、どういう生き方を選ぶか	講義 習演	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①幸せの経済学 ②ソーシャル・ビジネスについて ③ブータンの国民総幸福量 ④あなたの李蒼とする日本の社会とは（考え・意見）			
14回	テーマ	20世紀はどんな世紀であったか	講義 習演	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習・レポート(課題研究)作成と「到達度評価ポートフォリオ」の作成とそれぞれのプリントアウト	30
	内容	①国民国家の成立と危機 ②ソ連の成立と崩壊 ③なぜ欧米は世界の覇者となったのか ④レポート・ポートフォリオの作成について			
15回	テーマ	全体のまとめと「定期試験」および提出物	講義 習演		
	内容	経済社会史1から14のまとめと「定期試験」およびレポート(課題研究)と「到達度評価ポートフォリオ」の提出			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎①（テニス）（１機建）	開講学年	1	講義コード	1131101	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態		単位数	1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）						
研究室	保健体育棟 2階			オフィスアワー	火曜日の3，4限目		
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション						

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする　2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参　3.貴重品の自己管理　4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター　5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎②（ソフトボール）（１機建）	開講学年	1	講義コード 1131102	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態	単位数 1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）				
研究室	保健体育棟 2階			オフィスアワー 火曜日の3，4限目	
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp				
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション				

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト） 30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎③（バレーボール）（１機建）	開講学年	1	講義コード 1131103	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態	単位数 1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）				
研究室	保健体育棟 2階			オフィスアワー 火曜日の3，4限目	
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp				
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション				

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする　2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参　3.貴重品の自己管理　4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター　5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎④（卓球）（1機建）	開講学年	1	講義コード	1131104	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日の3，4限目

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目
健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト） 30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする　2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参　3.貴重品の自己管理　4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター　5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎①（テニス）（１ナ宇）	開講学年	1	講義コード 1131201	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態	単位数 1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）				
研究室	保健体育棟 2階			オフィスアワー 火曜日の3，4限目	
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp				
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション				

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする　2.トレーニングウエア・トレーニングシューズ持参　3.貴重品の自己管理　4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター　5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎②（ソフトボール）（１ナ宇）	開講学年	1	講義コード 1131202	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態	単位数 1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）				
研究室	保健体育棟 2階			オフィスアワー 火曜日の3，4限目	
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp				
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション				

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする　2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参　3.貴重品の自己管理　4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター　5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎③（バレーボール）（１ナ宇）	開講学年	1	講義コード 1131203	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態	単位数 1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）				
研究室	保健体育棟 2階			オフィスアワー 火曜日の3，4限目	
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp				
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション				

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする　2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参　3.貴重品の自己管理　4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター　5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎④（卓球）（１ナ宇）	開講学年	1	講義コード	1131204	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日の3，4限目

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目
健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする　2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参　3.貴重品の自己管理　4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター　5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎①（テニス）（１微生）	開講学年	1	講義コード 1131301	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態	単位数 1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）				
研究室	保健体育棟 2階			オフィスアワー 火曜日の3，4限目	
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp				
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション				

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする　2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参　3.貴重品の自己管理　4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター　5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎②（ソフトボール）（１微生）	開講学年	1	講義コード	1131302	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日の3，4限目

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について	関連科目：健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする　2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参　3.貴重品の自己管理　4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター　5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎③（バレーボール）（１微生）	開講学年	1	講義コード 1131303	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態	単位数 1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）				
研究室	保健体育棟 2階			オフィスアワー 火曜日の3，4限目	
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp				
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション				

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする　2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参　3.貴重品の自己管理　4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター　5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎④（卓球）（１微生）	開講学年	1	講義コード	1131304	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態		単位数	1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）						
研究室	保健体育棟 2階			オフィスアワー	火曜日の3，4限目		
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション						

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト） 30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎①（テニス）（１情）	開講学年	1	講義コード	1131401	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態		単位数	1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）						
研究室	保健体育棟 2階			オフィスアワー	火曜日の3，4限目		
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション						

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎②（ソフトボール）（１情）	開講学年	1	講義コード	1131402	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日の3，4限目

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目
健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎③（バレーボール）（１情）	開講学年	1	講義コード	1131403	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日の3，4限目

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目
健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4
JABEE基準		f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする　2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参　3.貴重品の自己管理　4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター　5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎④（卓球）（1情）	開講学年	1	講義コード	1131404	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態		単位数	1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）						
研究室	保健体育棟 2階			オフィスアワー	火曜日の3，4限目		
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション						

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎①（テニス）（1美デ薬）	開講学年	1	講義コード 1131501	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態	単位数 1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）				
研究室	保健体育棟 2階			オフィスアワー 火曜日の3，4限目	
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp				
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション				

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする　2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参　3.貴重品の自己管理　4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター　5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎②（ソフトボール）（１美デ薬）	開講学年	1	講義コード 1131502	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態	単位数 1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）				
研究室	保健体育棟 2階			オフィスアワー 火曜日の3，4限目	
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp				
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション				

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト） 30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする　2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参　3.貴重品の自己管理　4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター　5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎③（バレーボール）（１美デ薬）	開講学年	1	講義コード 1131503	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期	前期	開講形態	単位数 1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）				
研究室	保健体育棟 2階			オフィスアワー 火曜日の3，4限目	
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp				
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション				

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト） 30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする　2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参　3.貴重品の自己管理　4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター　5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎④（卓球）（1美デ薬）	開講学年 1	講義コード 1131504	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational I	開講期 前期	開講形態	単位数 1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日の3，4限目

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより,仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。すなわち本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査及び2回目授業時に体力測定を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」について ②「仲間への敬意・思いやり」について ③「リーダーシップ・責任感」について ④「報告・連絡・相談」について ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」について ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」について ③「イベント企画におけるコミュニケーション」について ④「面接」の基本的な考え方について ⑤「夢の実現とコミュニケーション」について

関連科目
健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を理解し、実践することができる。（人間性向上プログラムⅠ①～④）
f,g,i	③	自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を図ることができる。（人間性向上プログラムⅡ①～⑥）
f,g,h,i	④	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト） 30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア･トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			
3回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅡ①			
8回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅡ②			
9回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅡ③			
10回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅡ④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑥			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康科学概論（２全学科）前期	開講学年 1	講義コード 1134101	区分 選択
英文表記	Health Science Theory	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	藤原大樹

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日の3，4限

メールアドレス	hfujiwara@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	健康づくり　生活習慣　運動･身体活動　運動処方

授業概要

本学の教育理念は「体･徳･智」です。「体」を最初に掲げているのは、私達が自らの人生を豊かに幸せに過ごすための大きな要素として、「心と体の健康」があげられるからです。健康科学概論は、心と体の健康に関する知識および身体運動に関することを学び、科学的な思考態度を養い、生活設計を図る能力と自己管理能力を育成することを目的としています。具体的には、健康科学、身体運動学、運動生理学、生涯スポーツを領域とし、また、複雑多様化した現代社会への精神的な適応能力育成も視野に入れ、本講義と健康スポーツを組み合わせ、修得した理論をリサーチペーパーやミニッツペーパーにて自身へのフィードバックとするとともに、フィードバックを発表にて表現することにより、理論と実践が一体化した学習を行います。

関連科目

健康スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
a,g	①	健康の諸問題について、文章で説明（報告）することができる。
a,d	②	生活習慣形成の重要性を理解し、それを実践することができる。
a,d,g	③	健康と体力･運動（身体活動）の関連性を理解し、それを実践することができる。
a,d,h,i	④	健康に関するプレゼンテーションができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	0	20	30	10	0	10	0	100

教科書	授業の中で指示をする

参考書	健康増進科学概論　東京教学社　今村裕行他

予備知識	1.自己生活習慣の把握 2.健康の維持増進への意欲･関心 3.健康に関する諸課題
DP との 関連	本学DP(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的･汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)を理解し、実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験　2回行うので、15点×2＝30点 2.レポート　疑問点などを図書館等の健康関連の図書を活用し、リサーチペーパーを提出する。30点 （A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25mm、1000文字以上） 3.ミニッツペーパー　毎時の授業内容を確認し、ミニッツペーパーを作成する。2×10＝20点 4.成果発表　各グループに発表課題を与え、口頭発表を行ってもらう。10点 5.ポートフォリオ 「達成度評価ポートフォリオ」10点

学修上の注意 (SBOs)	1.時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.健康スポーツ教育Ⅰ・Ⅱとの関連性を理解してください。 3.講義ノートの積極的活用 4.講義関連質問先：担当教員研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 講義に関する質問・相談等は、オフィスアワーなどを積極的に利用してください。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	校訓「体・徳・智」,健康とは	講義	【予習】シラバスを読み、授業内容の確認をする。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	健康とは,Quality of Life,平均寿命,健康寿命、我が国の健康課題			
2回	テーマ	我が国の健康づくり施策	講義	【予習】「我が国の健康づくり施策」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	健康日本21,身体活動基準2013 ,METs			
3回	テーマ	メタボリックシンドローム	講義	【予習】「メタボリックシンドローム」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	特定健康診断,内臓脂肪,高血圧症,糖尿病,脂肪異常症			
4回	テーマ	健康と体力	講義	【予習】「健康と体力」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	体力とは,健康と体力の関係,ライフステージによる体力の変化,ロコモティブシンドローム			
5回	テーマ	肥満と減量	講義	【予習】「肥満と減量」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	BMI,体組成,肥満の予防,ダイエット,低体重			
6回	テーマ	身体的健康と運動	講義	【予習】「身体的健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	エネルギー消費,骨格筋,身体的健康に及ぼす運動・身体活動の効果,不活動			
7回	テーマ	精神的健康と運動	演習，講義	【予習】「精神的健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。 健康に関するリサーチペーパーを作成する。	10 50
	内容	ストレス,ストレスと運動,運動が及ぼす脳への影響,精神的健康に及ぼす運動・身体活動の効果,中間テスト			
8回	テーマ	運動処方・トレーニング法	講義	【予習】「運動処方・トレーニング法」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	トレーニングの原理・原則,トレーニングの条件,ACSMの基本原則,有酸素運動,最大酸素摂取量,心拍予備能,レジスタンストレーニング,最大反復回数			
9回	テーマ	栄養	講義	【予習】「健康と栄養」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	食生活の現状,食事バランスガイド 成果発表のグループ分け			
10回	テーマ	飲酒・喫煙	講義	【予習】「健康と飲酒・喫煙」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	大量飲酒・イッキ飲みの健康に及ぼす影響,喫煙・受動喫煙が及ぼす健康被害			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	睡眠･休養	講義	【予習】「健康と睡眠･休養」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	体内時計,生活リズム			
12回	テーマ	薬物乱用の防止	講義	【予習】「健康と薬物乱用」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	薬物乱用とは,依存症､ドーピング			
13回	テーマ	健康実践1	演習	【予習】発表の準備 【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	成果発表1,AL, SGD			
14回	テーマ	健康実践2	演習	【予習】発表内容について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	成果発表2,AL, SGD			
15回	テーマ	まとめ	演習，講義	【予習】テスト範囲の内容を確認する。【復習】テスト内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。「到達度ポートフォリオ」の作成を行う。	50 10
	内容	中間テスト 総括			

科目名	健康スポーツ実習（２全学科）前期	開講学年 2	講義コード 1135101	区分 選択
英文表記	Health Sports Practicum	開講期 前後期	開講形態	単位数 1

担当教員	水月晃　藤原大樹

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日の3，4限

メールアドレス	suigetsu@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀･作法

授業概要	健康スポーツ実習では、個人スポーツ、また小集団スポーツ活動を通して,身体的な健康･体力の維持増進はもちろん、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康も維持増進させる知識と実践方法を体得し、生涯を通してスポーツや身体運動に親しむ習慣を獲得する。併せて、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることによって,「社会人基礎力」を習得する。内容は卓球･バドミントン･バスケットボール･タグラグビーの4種目のうち3種目行う。

関連科目
健康科学概論

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通して、身体的健康･体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	スポーツ活動を通して、精神的健康を維持増進させる知識を獲得して、それを実践することができる。
f,g,h,i	③	スポーツや身体運動に親しむ習慣を獲得することができる。
f,g	④	スポーツ活動を通して、社会で通用する基礎的な力を身につけることができる
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	アクティブスポーツ(総合版)　大修館書店　鈴木 一行

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト） 30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本スキル習得(種目1)	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	種目の特性･歴史の理解。スキルの基本把握。学習目標の確認。			
2回	テーマ	基本スキルの応用(種目1)	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。			
3回	テーマ	戦術の習得 （種目1）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術･作戦確認、実践へ向け練習。			
4回	テーマ	実戦への応用(種目1)	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	対抗戦実施。個別反省活動。			
5回	テーマ	ゲーム理論習得　スキルテスト(種目1)	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。 スキルテスト。			
6回	テーマ	基本スキル習得(種目2)	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	種目の特性･歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。			
7回	テーマ	基本スキルの応用(種目2)	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。			
8回	テーマ	戦術の習得 （種目2）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術･作戦確認、実践へ向け練習。			
9回	テーマ	実戦への応用(種目2)	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	対抗戦実施。個別反省活動。			
10回	テーマ	ゲーム理論習得　スキルテスト(種目2)	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。 スキルテスト。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	基本スキル習得(種目3)	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	種目の特性･歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。			
12回	テーマ	基本スキルの応用(種目3)	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。			
13回	テーマ	戦術の習得 （種目3）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術･作戦確認、実践へ向け練習。			
14回	テーマ	実戦への応用(種目3)	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	対抗戦実施。個別反省活動。			
15回	テーマ	ゲーム理論習得　スキルテスト(種目3)	実技	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成 （作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。 スキルテスト。			

科目名	英語圏の文化と社会（２全学科）前期	開講学年 1	講義コード 1141601	区分 選必
英文表記	The English-Speaking World: Society and Culture	開講期 後期	開講形態	単位数 2
担当教員	Gareth Humphreys（実務経験）　Robert Hirschel			
研究室	SILC 4F		オフィスアワー	Please refer to silconline.jp silconline.jpで確認してください。
メールアドレス	ghumphreys@m.sojo-u.ac.jp			
キーワード	English-speaking communities 英語圏コミュニティー　Cultural learning 文化学習　Intercultural understanding 異文化理解　Diversity 多様性　Independent learning 自主学習			

授業概要

Develop intercultural understanding in the context of English-speaking communities　英語圏コミュニティーでの異文化理解の向上を図る。Develop awareness of cultural diversity among English-speaking communities　英語圏コミュニティー内の文化多様性認知の向上を図る。Understand different characteristics of English language use in the world　世界での異なる英語言語の特徴を理解する。Promote independent learning and research skills about cultural topics　文化話題についての自立学習やリサーチ力の促進を図る。We teach this course based on our research and experience in study abroad and international education in previous teaching positions in Japanese and international universities. このコースでは自己の留学経験や研究、及び前職の日本や海外の大学での留学に関する教育業務の経験をもとに指導を行います。

関連科目

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		fg	fg	fg

JABEE記号		学生の到達度目標
fg	①	I can talk about the learning content in relation to my own experiences in English or Japanese. 自分の経験に基づき学習内容について英語または日本語で話ができる。
fg	②	I can research and report information about (some) English-speaking communities in English or Japanese. 英語圏コニュニティーについて英語または日本語で情報を調査し報告できる。
fg	③	I can demonstrate independent learning skills through silconline.jp, independent tasks, and self-reflection. silconline.jp、自主学習課題、自己振返りを通じて自立学習スキルを確認することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	30	20	0	10	40	100

教科書

ありません

参考書

予備知識	基礎英語力 Basic English skills
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	The extent to which a student has achieved the goals of the course is assessed through the following: 学生がどのようにコース目標を達成したかは次のように評価する: Reflections (30): reflections on the learning content using English or Japanese. レポート (30) は 振返り:英語または日本語で学習内容を振り返る Final project (20): silconline.jp-based project. 成果発表 (20) は 最終プロジェクト: silconline.jp に基づくプロジェクト Sojo Portfolio (10): A description of your achievements ポートフォリオ (10): 到達達成ポートフォリオ Culture Portfolio (40): reading and independent tasks. その他 (40) は「Cultureのポートフォリオ」: リーディングと自主学習課題

学修上の注意 (SBOs)	1. Classes essentially consist of presentation of learning content by the teacher(s), followed by tasks requiring individual engagement with content, leading to self-reflection. 学習内容は教員により提示され、以下のような課題で、各々の課題への取り組みや学習への振り返り課題が望まれる。 2. More complex reading content is presented in Japanese. より複雑な読解内容では日本語で提示する。 3. You are expected to use English as much as possible to communicate with your teacher(s) and other students. However, the course is not a test of English and you should not worry about making mistakes. 教員及び他の学生とはな能な限り英語を活用することが期待される。しかし、コースは英語テストとは異なり、英語の間違いへお心配は必要ない。 4. Self-reflections and reports can be completed in Japanese and/or English. 自己の振り返りやレポートは日本語やまたは英語で行うことができる。 5. In the final project you will be required to submit a video entry on silconline.jp. 最終レポートはsilconline.jpでビデオの提出が要求される。 6. If you do not attend class regularly or on time, you will not be able to pass the course. クラスに定期的または時間通りに出席しない場合はコースに合格できないでしょう。 7. If you are absent for any reason you must contact your teacher(s) to catch up on work missed. いかなる理由でも欠席する場合は教員に連絡し、欠席した分の課題の遅れを取り戻さなければならない。 8. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Introduction: Cultures of English-speaking world	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	コース説明:英語圏の文化Introduction to course aims and outline. コースの目的と概要導入			
2回	テーマ	Topic 1: English language in the world	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Global Englishes Varieties of English in the world トピック1:グローバル英語における英語言語			
3回	テーマ	Topic 2: English in Japan	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Role of English in Japan トピック2:日本での英語 日本での英語の役割			
4回	テーマ	Topic 3: Multilingualism and multiculturalism	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Multicultural communities Using more than one language トピック3:多言語主義と多文化主義 多文化コミュニティー 1つの言語えはなく複数言語を使う			
5回	テーマ	Topic 4: Cultural stereotyping	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Avoiding stereotypes Generalisations トピック4:文化的ステレオタイプ ステレオタイプを避ける 一般化			
6回	テーマ	Topic 5: Families	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Family life in English-speaking communities トピック5:家族 英語圏コミュニティーでの家族生活			
7回	テーマ	Topic 6: Education	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Education differences in the world トピック6:教育 世界の教育の違い			
8回	テーマ	Topic 7: Student life	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Comparing student life in English-speaking communities with Japanese student life トピック7:英語圏コミュニティーと日本の学生生活の学生生活比較			
9回	テーマ	Topic 8: Work	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Working styles Working differences トピック8:働き方 仕事の違い			
10回	テーマ	Topic 9: Living abroad	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Experiences of Japanese people living overseas トピック9:海外生活 日本人の海外生活経験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	Topic 10: Social life	演習　e-L	宿題：振り返り、リーディング、自主調査　Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Comparing social life in English-speaking communities　トピック10：社会生活　英語圏との社会生活比較			
12回	テーマ	Topic 11: Open Topic 1	演習　e-L	宿題：振り返り、リーディング、自主調査　Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Entertainment: comparing and contrasting popular entertainment in English-speaking communities　トピック11：エンターテインメント　エンターテインメント：英語圏で対照的な人気のエンタープライズとの比較			
13回	テーマ	Topic 12: Open Topic 2	演習　e-L	宿題：振り返り、リーディング、自主調査　Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Student-selected topic　トピック12：オープン課題　学生がトピックを選択			
14回	テーマ	Final project: Summarising the course (1)	演習　e-L	宿題：振り返り、リーディング、自主調査　Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Summarising and reflecting　最終プロジェクト：コースの概要（1）まとめと振り返り			
15回	テーマ	Final project: Summarising the course (2)	演習　e-L	復習と振り返り Review and reflection　コース評価 Course evaluation　最終レポート Final report　崇城ポートフォリオSojo Portfolio	90分
	内容	Reflection, evaluation and feedback　最終プロジェクト：コースの概要（2）振返り、評価とフィードバック			

科目名	中国語圏の文化と社会（２全学科）前期	開講学年 2	講義コード 1141701	区分 選択
英文表記	Culture and Society in the Chinese Speaking Area	開講期 前期	開講形態	単位数 2
担当教員	単援朝			
研究室	本館307	オフィスアワー	月曜４限、金曜４限	
メールアドレス	shan@までの文字を入力@@ed.sojo-u.ac.jp以降を入力			
キーワード	言語、文化、社会、理解、共生			

授業概要

中国語圏とは中国語を母語とする人々が生活する国と地域を指し、中国、台湾、香港、マカオなどはそうです。この地域の文化と社会を学ぶことにより異文化理解の意義と方法を知るのが目的です。授業のやり方としては、11回目まで教員の講義を聞き映像資料を見て中国語圏の文化と社会を学んでいきます。その間、小テストを行いレポートを提出してもらいます。12回目から三回にわたって、異文化理解実践として、受講生が指定された範囲内で関心のある課題を見つけチームで共同研究し成果発表を行います。最終回は担当教員が成果発表について講評を行います。

関連科目

中国語Ⅰ　中国語Ⅱ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	
JABEE基準		a,f,g	a,f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	中国語圏の文化と社会についての理解を深め、グローバル的な考え方を身に着ける。
f.g	②	異文化理解の意義と方法を把握し、批判的思考をすることができる。
f.i	③	資料検索及び編集の能力を高め、研究成果を発表することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	30	30	30	0	10	0	100

教科書

なし。必要に応じてプリントを配布する。

参考書

中国文化事典　丸善出版　中国文化事典編集員会
漢字の世界：中国文化の原点1　平凡社　白川静
漢字の世界：中国文化の原点2　平凡社　白川静

予備知識	中国語という言語と中国という国についてある程度知っておきます。
DP との 関連	グローバル的な視点から多面的に物事を理解し、広く論理的に考える基礎的能力、「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」を中心とする汎用的能力を身につけ、それらを実践できるようにします。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	小テストは3回×10点＝30点　レポートは A4用紙1枚、1行40文字、1頁40行、MS明朝、200字以上5回×10点＝50点　成果発表は1回×30点＝30点　ポートフォリオは1回×10点＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.必ずレポートを提出すること。 2.引用について必ず出所を明記すること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為と みなされます。 3.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 4.スマートフォンはカバンの中にしまうこと。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	中国語と中国語圏とは	講義	今日のテーマをめぐって予習	９０
	内容	中国語、中国語圏あれこれ			
2回	テーマ	異文化理解のために	講義	今日のテーマをめぐって予習	９０
	内容	異文化理解の意義と方法			
3回	テーマ	中国語圏文化とは	講義	小テスト1	９０
	内容	儒教と中国文化について			
4回	テーマ	伝統文化の世界	講義	今日のテーマをめぐって予習	９０
	内容	中国の伝統文化について			
5回	テーマ	経済と社会	講義	小テスト2	９０
	内容	歴史、地理、民族について			
6回	テーマ	戯曲と音楽	講義	レポート：中国の戯曲と音楽について	９０
	内容	中国の戯曲と音楽について			
7回	テーマ	建築と造園	講義	今日のテーマをめぐって予習	９０
	内容	中国の代表的な建築と庭園について			
8回	テーマ	生活習慣	講義	今日のテーマをめぐって予習	９０
	内容	生活習慣の地域差について			
9回	テーマ	食文化1	講義	レポート：食文化の特徴について	９０
	内容	南方の食文化について			
10回	テーマ	食文化2	講義	小テスト3	９０
	内容	北方の食文化について			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	風土と民俗	講義	今日のテーマをめぐって予習	９０
	内容	各地の風土と民俗について			
12回	テーマ	成果発表1	講義	成果発表の準備予習（発表はチームで行い、1チームあたり20分間）	９０
	内容	中国語圏の文化と社会をめぐって関心のある課題を大学で専攻する分野の知識を生かす見地から研究、発表する。AL			
13回	テーマ	成果発表2	演習	成果発表の準備予習（発表はチームで行い、1チームあたり20分間）	９０
	内容	中国語圏の文化と社会をめぐって関心のある課題を大学で専攻する分野の知識を生かす見地から研究、発表する。AL　AL			
14回	テーマ	成果発表3	演習	成果発表の準備（発表はチームで行い、1チームあたり20分間）	９０
	内容	中国語圏の文化と社会をめぐって関心のある課題を大学で専攻する分野の知識を生かす見地から研究、発表する。AL　AL			
15回	テーマ	講評	演習	ポートフォリオ提出	９０
	内容	成果発表の講評・まとめ　AL			

科目名	韓国語圏の文化と社会（２全学科）前期	開講学年 2	講義コード 1141801	区分 選必
英文表記	Culture and Society in the Korean Speaking Area	開講期 前期	開講形態	単位数 2

担当教員	辛教燦（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室

メールアドレス	viduri1026@gmail.com

キーワード	韓国語　韓国文化　韓国社会　批判的思考　　共生

授業概要	本講義を通して異文化に対する理解と批判的思考を身につける。具体的には、韓国語圏の文化と社会について映画・ドラマ・K-POPなどの文化コンテンツを通じて考える。また受講生がグループに分かれて講義で提示した範囲内外で自由にテーマを設定し、調査・討議・発表を行う。他のグループのテーマの中で興味深かった成果発表についての批判的感想をレポートとして提出する。

関連科目

韓国語　選択外国語Ⅰ（韓国語）　選択外国語Ⅱ（韓国語）　他の言語科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A4	A4
		JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f.i	①	異文化について主体的に調査することができる。
f.g	②	調査した内容を批判的に分析することができる。
a.f	③	異文化について理解を深めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	30	0	30	30	0	10	0	100

教科書	なし

参考書	

予備知識	韓国文化や韓国事情への関心と簡単な予備知識が必要である。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会関係形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.定期試験30点　2.レポート30点、メール提出（表紙不要、PCで作成、A4用紙1枚にまとめてE-mail提出、書式はWordの基本仕様：余白各25㎜、1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字のサイズ10.5、本文1,000文字以上、メールでの提出が難しく、2枚以上の場合は両面印刷）　3.成果発表30点　4.ポートフォリオ10点、レポートの後ろに内容を張り付け、一つのファイルにまとめてメール提出（メールでの提出が難しい場合は印刷して教員に提出）

学修上の注意 (SBOs)	1.授業に積極的に参加し、主体的に発言及び意見交換を行うこと。 2.グループで協力し、選択したテーマへの理解を深めること。 3.他のグループのテーマに対して批判的討論を行うこと。 4.レポートとポートフォリオは一つのファイルにまとめてメールで提出すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス①	講義	授業内容の確認	90
	内容	授業内容の説明			
2回	テーマ	ガイダンス②	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	テーマ別グループ分け			
3回	テーマ	韓国の歴史	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国歴史の概観 グループ①発表、討議			
4回	テーマ	日韓交流史	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国ドラマから見る韓国と日本の交流史 グループ②発表、討議			
5回	テーマ	韓国の文字	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国ドラマから見るハングル グループ③発表、討議			
6回	テーマ	韓国の戦争と分断	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国映画から見る韓国戦争と分断 グループ④発表、討議			
7回	テーマ	韓国の民主化	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国映画から見る韓国の民主化 グループ⑤発表、討議			
8回	テーマ	韓国の政治と言論	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国映画から見る政治と言論 グループ⑥発表、討議			
9回	テーマ	韓国の映画と社会①	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国映画から見る韓国社会①			
10回	テーマ	韓国の映画と社会②	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国映画から見る韓国社会②			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	韓国の教育	講義 演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国ドラマから見る韓国の教育 グループ⑦発表、討議			
12回	テーマ	韓国の観光	講義 演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国ドラマと観光・料理・ファッション グループ⑧発表、討議			
13回	テーマ	韓国の歌	講義 演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国の歌謡とK-POP グループ⑨発表、討議			
14回	テーマ	韓国の節句	講義 演習	レポートとポートフォリオ(到達度レポート)の提出	90
	内容	韓国の節句 グループ⑩発表、討議			
15回	テーマ	試験			
	内容	定期試験			

科目名	ドイツ語圏の文化と社会（２全学科）前期	開講学年 2	講義コード 1141901	区分 選必
英文表記	Cultural and Societies in German Speaking Areas	開講期 前期	開講形態	単位数 2

担当教員	アクスト フローリアン
研究室	本館１階非常勤講師室
オフィスアワー	授業後非常勤講師室で対応
メールアドレス	axt.koushi@icloud.com
キーワード	文化　社会　理解
授業概要	ドイツ語圏の文化や社会等について、興味・関心のある分野をグループで調べ、発表する。その後、全体でディスカッションをする。

関連科目

ドイツ語　他の言語科目

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	自ら資料検索ができる。
	②	論理的な思考を通して発表・表現することができる。
	③	ドイツ語圏の文化と社会及び比較文化に対する理解を深めることができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	60	0	10	0	100

教科書	「なし」
参考書	ヨーロッパ学入門　朝日出版社　武蔵大学人文学部ヨーロッパ比較文化学科編　4255004102 インターネット上の資料

予備知識	関心のある分野について情報収集をすること。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	授業時の口頭発表　授業への積極的な参加　期末レポート　ポートフォリオは印刷して担当教員に提出　詳細は以下の通り。　レポートは1回提出するので1×30=30点　成果発表は1回行うので1×60=60点　ポートフォリオは1回提出するので1×10=10点

学修上の注意 (SBOs)	1.積極的な参加と発言を主体的に行うこと。 2.著作権に留意すること。出典及び引用を明記する。 3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	科目内容の確認、テキストの読書	45
	内容	科目内容の説明、テーマ設定とグループ分け			
2回	テーマ	討議	演習	テーマの書籍を読む、グループ内打ち合わせ	90
	内容	テキストに関して討議を行う、グループ内打ち合わせ			
3回	テーマ	討議	演習	テーマの書籍を読む、グループ内打ち合わせ	90
	内容	テキストに関して討議を行う、グループ内打ち合わせ			
4回	テーマ	討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	テキストに関して討議を行う、グループ内打ち合わせ			
5回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
6回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
7回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
8回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
9回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
10回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
12回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
13回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
14回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
15回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション、まとめ			

科目名	フランス語圏の文化と社会（２全学科）前期	開講学年 2	講義コード 1142001	区分 選択
英文表記	Culture and Society in France	開講期 前期	開講形態	単位数 2
担当教員	フェレロ イヴ （非常勤）			
研究室	本館１階 非常勤講師室		オフィスアワー 火曜日、授業の後	
メールアドレス	yves@plum.plala.or.jp			
キーワード	文化　社会　生活　理解　　共生			

授業概要

フランス語圏の文化と社会について講義と演習という形で学んでいく。この学習を通して異文化理解の意義と方法を知るのが目的である。 授業のやり方としては、受講生に与えられた課題をめぐってチームで共同研究をし成果発表をしてもらうことを主とする。

関連科目

フランス語Ⅰ、フンランス語Ⅱ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	フランスの文化と社会について理解を深め、客観視することができる
f .g	②	異文化理解の意義と方法を把握し、批判的思考をすることができる
f.i	③	資料検索及び編集の能力を高め、研究成果を発表することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	２８	５２	0	２０	0	100

教科書

無し

参考書

無し

予備知識	フランス語とフランスという国についてある程度知っておく。
DP との 関連	基本的、汎用的能力（「人間関係形成、社会形成能力」「課題対用能力」「グローバルな視点から多面的に物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	レポートははA4用紙1枚、1行40文字、1頁40行、MS明朝、100文字以上 14回X2点＝28点　成果発表は1回X52点＝52点　ポートフォリオは1回X20店＝20店

学修上の注意 (SBOs)	1.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 2.引用について出所を明記すること。.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	演習		９０
	内容	授業の説明			
2回	テーマ	フランス語	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	フランス語の発音、原点			
3回	テーマ	EUでのフランス	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	地理:ヨーロッパとフランス			
4回	テーマ	スポーツ	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	国技、格闘技、教育			
5回	テーマ	料理	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	惣菜、調味料、パン対米			
6回	テーマ	休暇	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	過ごし方、有休			
7回	テーマ	ファッション	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	洋服、下着、身に着ける物			
8回	テーマ	藝術	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	歴史、美術、音楽			
9回	テーマ	身体	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	香水、生活習慣			
10回	テーマ	家族	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	家事、性、老者			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	教育	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	制服、旅費、性教育、国語			
12回	テーマ	健康	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	国民保険、病院			
13回	テーマ	労働	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	社員と上司、労働者と政府との関係			
14回	テーマ	税金	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	種類、使い方			
15回	テーマ	政治	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	政治のシステム			

科目名	選択外国語Ⅰ（韓国語）（３機宇生）前期	開講学年 3	講義コード 1142701	区分 選択
英文表記	Korean Ⅰ	開講期 前期/後期	開講形態	単位数 2

担当教員	辛教燦（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室

メールアドレス	viduri1026@gmail.com

キーワード	韓国語

授業概要	「韓国語Ⅰ」では、韓国語の「ハングル」の読み書き、簡単な会話を学ぶ。また、ハングル入力によるインターネット検索を行い、自分で簡単な韓国関連の情報を調べられるようにする。韓国の歌などの文化を通して韓国語を楽しく学ぶ。 (1)ハングル文字（母音・子音・パッチムなど）を学ぶ。 (2)韓国語における簡単な挨拶・身近なものの名称などの表現を学ぶ。 (3)インターネット上で韓国関連の情報検索を行う。 (4)韓国の歌などの文化を通して韓国語を学ぶ。

関連科目

選択外国語(韓国語) 選択外国語Ⅱ(韓国語) 韓国語圏の文化と社会

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A4	A4
		JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	ハングルの基礎、特に文字の母音と子音の構造を学び、ハングルを読むことができる。
f.g.i	②	韓国語の基礎文型を学び、韓国語で簡単な日常会話を話すことができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	20	0	0	10	0	100

教科書	授業中に配布する

参考書	

予備知識	韓国文化や韓国事情への関心と簡単な予備知識が必要である。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.定期試験　・1回（40点） 2.中間試験　・1回（30点） 3.レポート　・1回（20点） 4.ポートフォリオ　・1回（10点)

学修上の注意 (SBOs)	・発音練習など、授業に積極的に参加すること。・ポートフォリオはレポートに貼り付け、メールで提出(メールでの提出が難しい場合は印刷して教員に提出)

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義　演習	授業内容の確認	90
	内容	ガイダンス			
2回	テーマ	発音と文字①	講義　演習	【予習】プリント「基本母音と子音」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「基本母音と基本子音」:ハングル表・母音と子音の形と音			
3回	テーマ	発音と文字②	講義　演習	【予習】プリント「激音・濃音」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「激音・濃音」:平音・激音・濃音の特色			
4回	テーマ	発音と文字③	講義　演習	【予習】プリント「二重母音」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「二重母音」			
5回	テーマ	発音と文字④	講義　演習	【予習】プリント「パッチム」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「パッチム」:パッチム発音と連音			
6回	テーマ	発音と文字⑤	講義　演習	【予習】プリント「発音の規則」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「発音の規則」:鼻音化・濃音化・激音化・口蓋音化			
7回	テーマ	総合練習(1)	講義　演習	【予習】中間テストの準備【復習】中間テストの準備と課題提出	90
	内容	発音と文字①～⑤			
8回	テーマ	中間試験	講義　演習	【予習】プリント「自己紹介(1)」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容				
9回	テーマ	会話基礎①	講義　演習	【予習】プリント「自己紹介(2)」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「挨拶・教室会話」:こんにちは?			
10回	テーマ	会話基礎②	講義　演習	【予習】プリント「物・人の紹介」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「自己紹介」:初めまして			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	会話基礎③	講義　演習	【予習】中間テストの準備 【復習】中間テストの準備と課題提出	90
	内容	「物·人の紹介」:これは何ですか?			
12回	テーマ	会話基礎④	講義　演習	【予習】プリント「日程の紹介」を事前に読む 【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「日程の紹介」:週末に何をしますか?			
13回	テーマ	会話基礎⑤	講義　演習	【予習】プリント「場所の紹介」を事前に読む 【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「場所の紹介」:事務室はどこにありますか?			
14回	テーマ	文化と情報検索	講義　演習	【予習】プリント(韓国の歌)を事前に読む 【復習】韓国語で情報検した結果の課題提出	90
	内容	韓国の文化学習と韓国語で情報検索方法学習			
15回	テーマ	前期:試験　後期:総合練習(2)	講義　演習	【予習】期末テストの準備 【復習】期末テストの準備と課題提出 ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	90
	内容	前期:定期試験 後期:会話基礎①~⑤			
16回	テーマ	後期:試験	演習		
	内容	後期:定期試験			

科目名	選択外国語Ⅰ（韓国語）（３ナ微）前期	開講学年 3	講義コード 1142801	区分 選択
英文表記	Korean Ⅰ	開講期 前期/後期	開講形態	単位数 2
担当教員	辛教燦（非常勤）			
研究室	本館１階 非常勤講師室		オフィスアワー 授業時間後の非常勤講師控室	
メールアドレス	viduri1026@gmail.com			
キーワード	韓国語			

授業概要

「韓国語Ⅰ」では、韓国語の「ハングル」の読み書き、簡単な会話を学ぶ。また、ハングル入力によるインターネット検索を行い、自分で簡単な韓国関連の情報を調べられるようにする。韓国の歌などの文化を通して韓国語を楽しく学ぶ。 (1)ハングル文字（母音・子音・パッチムなど）を学ぶ。(2)韓国語における簡単な挨拶・身近なものの名称などの表現を学ぶ。(3)インターネット上で韓国関連の情報検索を行う。(4)韓国の歌などの文化を通して韓国語を学ぶ。

関連科目

選択外国語(韓国語) 選択外国語Ⅱ(韓国語) 韓国語圏の文化と社会

建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4
JABEE基準		a,f,g	a,f,g

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	ハングルの基礎、特に文字の母音と子音の構造を学び、ハングルを読むことができる。
f.g.i	②	韓国語の基礎文型を学び、韓国語で簡単な日常会話を話すことができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	20	0	0	10	0	100

教科書

授業中に配布する

参考書

予備知識	韓国文化や韓国事情への関心と簡単な予備知識が必要である。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.定期試験　・1回（40点） 2.中間試験　・1回（30点） 3.レポート　・1回（20点） 4.ポートフォリオ　・1回（10点)

学修上の注意 (SBOs)	・発音練習など、授業に積極的に参加すること。・ポートフォリオはレポートに貼り付け、メールで提出(メールでの提出が難しい場合は印刷して教員に提出)

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義　演習	授業内容の確認	90
	内容	ガイダンス			
2回	テーマ	発音と文字①	講義　演習	【予習】プリント「基本母音と子音」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「基本母音と基本子音」:ハングル表・母音と子音の形と音			
3回	テーマ	発音と文字②	講義　演習	【予習】プリント「激音・濃音」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「激音・濃音」:平音・激音・濃音の特色			
4回	テーマ	発音と文字③	講義　演習	【予習】プリント「二重母音」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「二重母音」			
5回	テーマ	発音と文字④	講義　演習	【予習】プリント「パッチム」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「パッチム」:パッチム発音と連音			
6回	テーマ	発音と文字⑤	講義　演習	【予習】プリント「発音の規則」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「発音の規則」:鼻音化・濃音化・激音化・口蓋音化			
7回	テーマ	総合練習(1)	講義　演習	【予習】中間テストの準備【復習】中間テストの準備と課題提出	90
	内容	発音と文字①～⑤			
8回	テーマ	中間試験	講義　演習	【予習】プリント「自己紹介(1)」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容				
9回	テーマ	会話基礎①	講義　演習	【予習】プリント「自己紹介(2)」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「挨拶・教室会話」:こんにちは?			
10回	テーマ	会話基礎②	講義　演習	【予習】プリント「物・人の紹介」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「自己紹介」:初めまして			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	会話基礎③	講義　演習	【予習】中間テストの準備 【復習】中間テストの準備と課題提出	90
	内容	「物·人の紹介」:これは何ですか?			
12回	テーマ	会話基礎④	講義　演習	【予習】プリント「日程の紹介」を事前に読む 【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「日程の紹介」:週末に何をしますか?			
13回	テーマ	会話基礎⑤	講義　演習	【予習】プリント「場所の紹介」を事前に読む 【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「場所の紹介」:事務室はどこにありますか?			
14回	テーマ	文化と情報検索	講義　演習	【予習】プリント(韓国の歌)を事前に読む 【復習】韓国語で情報検した結果の課題提出	90
	内容	韓国の文化学習と韓国語で情報検索方法学習			
15回	テーマ	前期:試験　後期:総合練習(2)	講義　演習	【予習】期末テストの準備 【復習】期末テストの準備と課題提出 ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	90
	内容	前期:定期試験 後期:会話基礎①~⑤			
16回	テーマ	後期:試験	演習		
	内容	後期:定期試験			

科目名	選択外国語Ⅰ（韓国語）（３建情）前期	開講学年 3	講義コード 1142901	区分 選択
英文表記	Korean Ⅰ	開講期 前期/後期	開講形態	単位数 2

担当教員	辛教燦（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室

メールアドレス	viduri1026@gmail.com

キーワード	韓国語

授業概要	「韓国語Ⅰ」では、韓国語の「ハングル」の読み書き、簡単な会話を学ぶ。また、ハングル入力によるインターネット検索を行い、自分で簡単な韓国関連の情報を調べられるようにする。韓国の歌などの文化を通して韓国語を楽しく学ぶ。 (1)ハングル文字（母音・子音・パッチムなど）を学ぶ。 (2)韓国語における簡単な挨拶・身近なものの名称などの表現を学ぶ。 (3)インターネット上で韓国関連の情報検索を行う。 (4)韓国の歌などの文化を通して韓国語を学ぶ。

関連科目

選択外国語(韓国語) 選択外国語Ⅱ(韓国語) 韓国語圏の文化と社会

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A4	A4
		JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	ハングルの基礎、特に文字の母音と子音の構造を学び、ハングルを読むことができる。
f.g.i	②	韓国語の基礎文型を学び、韓国語で簡単な日常会話を話すことができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	20	0	0	10	0	100

教科書	授業中に配布する

参考書	

予備知識	韓国文化や韓国事情への関心と簡単な予備知識が必要である。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.定期試験　・1回（40点） 2.中間試験　・1回（30点） 3.レポート　・1回（20点） 4.ポートフォリオ　・1回（10点)

学修上の注意 (SBOs)	・発音練習など、授業に積極的に参加すること。・ポートフォリオはレポートに貼り付け、メールで提出(メールでの提出が難しい場合は印刷して教員に提出)

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義　演習	授業内容の確認	90
	内容	ガイダンス			
2回	テーマ	発音と文字①	講義　演習	【予習】プリント「基本母音と子音」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「基本母音と基本子音」:ハングル表·母音と子音の形と音			
3回	テーマ	発音と文字②	講義　演習	【予習】プリント「激音·濃音」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「激音·濃音」:平音·激音·濃音の特色			
4回	テーマ	発音と文字③	講義　演習	【予習】プリント「二重母音」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「二重母音」			
5回	テーマ	発音と文字④	講義　演習	【予習】プリント「パッチム」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「パッチム」:パッチム発音と連音			
6回	テーマ	発音と文字⑤	講義　演習	【予習】プリント「発音の規則」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「発音の規則」:鼻音化·濃音化·激音化·口蓋音化			
7回	テーマ	総合練習(1)	講義　演習	【予習】中間テストの準備【復習】中間テストの準備と課題提出	90
	内容	発音と文字①～⑤			
8回	テーマ	中間試験	講義　演習	【予習】プリント「自己紹介(1)」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容				
9回	テーマ	会話基礎①	講義　演習	【予習】プリント「自己紹介(2)」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「挨拶·教室会話」:こんにちは?			
10回	テーマ	会話基礎②	講義　演習	【予習】プリント「物·人の紹介」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「自己紹介」:初めまして			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	会話基礎③	講義　演習	【予習】中間テストの準備 【復習】中間テストの準備と課題提出	90
	内容	「物·人の紹介」:これは何ですか?			
12回	テーマ	会話基礎④	講義　演習	【予習】プリント「日程の紹介」を事前に読む 【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「日程の紹介」:週末に何をしますか?			
13回	テーマ	会話基礎⑤	講義　演習	【予習】プリント「場所の紹介」を事前に読む 【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「場所の紹介」:事務室はどこにありますか?			
14回	テーマ	文化と情報検索	講義　演習	【予習】プリント(韓国の歌)を事前に読む 【復習】韓国語で情報検した結果の課題提出	90
	内容	韓国の文化学習と韓国語で情報検索方法学習			
15回	テーマ	前期:試験　後期:総合練習(2)	講義　演習	【予習】期末テストの準備 【復習】期末テストの準備と課題提出 ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	90
	内容	前期:定期試験 後期:会話基礎①~⑤			
16回	テーマ	後期:試験	演習		
	内容	後期:定期試験			

科目名	選択外国語Ⅰ（フランス語）（３機宇生）前期	開講学年 3	講義コード 1143201	区分 選択
英文表記	Foreign Language (French I) (Applied Microbial Technology / Applied Life Science)	開講期 前期	開講形態	単位数 2

担当教員	フェレロ イヴ （非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー 火２限本館1階、木３限、木４限芸術学部

メールアドレス	yves@plum.plala.or.jp

キーワード	フランス語　単語　発音　文法

授業概要	フランス語の入門・初級講座である。フランス語を基礎から勉強し、日常生活に使われることばや言い方を中心に会話の練習をしながら読み書きの基本を身に着ける。

関連科目

フランス語Ⅱ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	簡単な発音をすることが出来る。
f.g	②	フランス語の短文を読み書きの基本を身に着け、それらを実践することができる。
a.f.g	③	フランスの文化についての理解を深め、グローバル的な考え方を身に着ける。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	20	70	0	0	0	0	10	0	100

教科書	授業開始時教科書を配布する。　フェレロ

参考書	

予備知識	フランス語、フランス文化についての基礎的知識　中高校で習った英語の学び方とその体験
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」「グローバルな視点から多面的に物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	中間テストは1回行うので1回×20点＝20点　定期試験は1回行うので1回×70点＝70点　ポートフォリオは1回×10点＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.電子媒体でもいいので和仏一仏和辞書を持って来ること。2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	オリエンテーション－発音			
2回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	1日に10分
	内容	挨拶			
3回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	母音と母音字			
4回	テーマ	単語	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	人称代名詞			
5回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～である（＝be動詞）			
6回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	冠詞			
7回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～を持っている（＝have動詞）			
8回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	er動詞			
9回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	指示形容詞			
10回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	所有形容詞			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	強音人称代名詞			
12回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	形容詞			
13回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	疑問形			
14回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング　ポートフォリオ(到達度レポート)を作成	90
	内容	疑問詞			
15回	テーマ	試験			90
	内容	定期試験			

科目名	選択外国語Ⅰ（フランス語）（３ナ微）前期	開講学年	3	講義コード	1143301	区分	選択
英文表記	Foreign Language (French I) (Applied Microbial Technology / Applied Life Science)	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	フェレロ イヴ （非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	火２限本館1階、木３限、木４限芸術学部

メールアドレス	yves@plum.plala.or.jp

キーワード	フランス語　単語　発音　文法

授業概要	フランス語の入門・初級講座である。フランス語を基礎から勉強し、日常生活に使われることばや言い方を中心に会話の練習をしながら読み書きの基本を身に着ける。

関連科目

フランス語Ⅱ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	簡単な発音をすることが出来る。
f.g	②	フランス語の短文を読み書きの基本を身に着け、それらを実践することができる。
a.f.g	③	フランスの文化についての理解を深め、グローバル的な考え方を身に着ける。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	20	70	0	0	0	0	10	0	100

教科書	授業開始時教科書を配布する。　フェレロ

参考書	

予備知識	フランス語、フランス文化についての基礎的知識　中高校で習った英語の学び方とその体験
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」「グローバルな視点から多面的に物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	中間テストは1回行うので1回×20点＝20点　定期試験は1回行うので1回×70点＝70点　ポートフォリオは1回×10点＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.電子媒体でもいいので和仏一仏和辞書を持って来ること。2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	オリエンテーション＝発音			
2回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	1日に10分
	内容	挨拶			
3回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	母音と母音字			
4回	テーマ	単語	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	人称代名詞			
5回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～である（＝be動詞）			
6回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	冠詞			
7回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～を持っている（＝have動詞）			
8回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	er動詞			
9回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	指示形容詞			
10回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	所有形容詞			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	強音人称代名詞			
12回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	形容詞			
13回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	疑問形			
14回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング　ポートフォリオ(到達度レポート)を作成	90
	内容	疑問詞			
15回	テーマ	試験			90
	内容	定期試験			

科目名	選択外国語Ⅰ（フランス語）（３建情）前期	開講学年	3	講義コード	1143401	区分	選択
英文表記	Foreign Language (French I) (Applied Microbial Technology / Applied Life Science)	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	フェレロ イヴ （非常勤）						
研究室	本館１階 非常勤講師室			オフィスアワー	火２限本館1階、木３限、木４限芸術学部		
メールアドレス	yves@plum.plala.or.jp						
キーワード	フランス語　単語　発音　文法						

授業概要

フランス語の入門・初級講座である。フランス語を基礎から勉強し、日常生活に使われることばや言い方を中心に会話の練習をしながら読み書きの基本を身に着ける。

関連科目

フランス語Ⅱ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	簡単な発音をすることが出来る。
f.g	②	フランス語の短文を読み書きの基本を身に着け、それらを実践することができる。
a.f.g	③	フランスの文化についての理解を深め、グローバル的な考え方を身に着ける。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
20	70	0	0	0	0	10	0	100

教科書

授業開始時教科書を配布する。　フェレロ

参考書

予備知識	フランス語、フランス文化についての基礎的知識　中高校で習った英語の学び方とその体験
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」「グローバルな視点から多面的に物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	中間テストは1回行うので1回×20点＝20点　定期試験は1回行うので1回×70点＝70点　ポートフォリオは1回×10点＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.電子媒体でもいいので和仏一仏和辞書を持って来ること。2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	オリエンテーション－発音			
2回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	1日に10分
	内容	挨拶			
3回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	母音と母音字			
4回	テーマ	単語	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	人称代名詞			
5回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～である（＝be動詞）			
6回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	冠詞			
7回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～を持っている（＝have動詞）			
8回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	er動詞			
9回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	指示形容詞			
10回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	所有形容詞			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	強音人称代名詞			
12回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	形容詞			
13回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	疑問形			
14回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング　ポートフォリオ(到達度レポート)を作成	90
	内容	疑問詞			
15回	テーマ	試験			90
	内容	定期試験			

科目名	フランス語Ⅰ（３美デ）前期	開講学年	3	講義コード	1143601	区分	選択
英文表記	Foreign Language (French I) (Applied Microbial Technology / Applied Life Science)	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	フェレロ イヴ （非常勤）						
研究室	本館１階 非常勤講師室			オフィスアワー	火２限本館1階、木３限、木４限芸術学部		
メールアドレス	yves@plum.plala.or.jp						
キーワード	フランス語　単語　発音　文法						

授業概要

フランス語の入門・初級講座である。フランス語を基礎から勉強し、日常生活に使われることばや言い方を中心に会話の練習をしながら読み書きの基本を身に着ける。

関連科目

フランス語Ⅱ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	簡単な発音をすることが出来る。
f.g	②	フランス語の短文を読み書きの基本を身に着け、それらを実践することができる。
a.f.g	③	フランスの文化についての理解を深め、グローバル的な考え方を身に着ける。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
20	70	0	0	0	0	10	0	100

教科書

授業開始時教科書を配布する。　フェレロ

参考書

予備知識	フランス語、フランス文化についての基礎的知識　中高校で習った英語の学び方とその体験
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」「グローバルな視点から多面的に物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	中間テストは1回行うので1回×20点＝20点　定期試験は1回行うので1回×70点＝70点　ポートフォリオは1回×10点＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.電子媒体でもいいので和仏一仏和辞書を持って来ること。2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	オリエンテーション＝発音			
2回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	1日に10分
	内容	挨拶			
3回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	母音と母音字			
4回	テーマ	単語	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	人称代名詞			
5回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～である（＝be動詞）			
6回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	冠詞			
7回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～を持っている（＝have動詞）			
8回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	er動詞			
9回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	指示形容詞			
10回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	所有形容詞			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	強音人称代名詞			
12回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	形容詞			
13回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	疑問形			
14回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング　ポートフォリオ(到達度レポート)を作成	90
	内容	疑問詞			
15回	テーマ	試験			90
	内容	定期試験			

科目名	ドイツ語Ⅰ（３機宇生）前期	開講学年 3	講義コード 1143901	区分 選必
英文表記	German	開講期 前期／後期	開講形態	単位数 2

担当教員	アクスト フローリアン

研究室	本館１階非常勤講師室	オフィスアワー	授業後非常勤講師室で対応

メールアドレス	axt.koushi@icloud.com

キーワード	ドイツ語学習

授業概要	日常生活の様々な場面において、ドイツ語でコミュニケーションが取れるようにする。ドイツ語を総合的に学び、活用能力を習得する。

関連科目
ドイツ語 II

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	ドイツ語の基礎的な仕組みを理解できる。
	②	簡単なドイツ語会話ができる。
	③	簡単なドイツ語文章を書くことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	50	30	0	10	0	10	0	100

教科書	Ein Geist in Nurnberg? Deutsch fur Anfanger　同学社　Diana Beier-Taguchi, 清野智昭　978-4-8102-0735-4

参考書	

予備知識	日頃から新聞やニュース、読書等を通してドイツやヨーロッパに関心を持つこと。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	授業への積極的な参加及び、小テストと定期試験によって総合的に評価する。　詳細は以下の通り。　定期試験は1回行うので1×50=50点　小テストは6回行うので6×5=30点　成果発表は1回行うので1×10=10点 ポートフォリオは1回行うので1×10=10点

学修上の注意 (SBOs)	1.出席を怠らず、毎時間の予習と復習を行うこと。　2.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義・演習	当該ページの復習	90
	内容	イントロダクション／アルファベットの読み方／あいさつ／自己紹介			
2回	テーマ	動詞(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	動詞の現在人称変化			
3回	テーマ	数字	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	数字			
4回	テーマ	動詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	不正規動詞			
5回	テーマ	名詞(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	名詞の性			
6回	テーマ	小テスト名詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	名詞の格			
7回	テーマ	名詞(3)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	複数形			
8回	テーマ	名詞(4)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	複数形			
9回	テーマ	前置詞(1)、所有冠詞(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	前置詞、所有冠詞			
10回	テーマ	前置詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	前置詞			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	動詞(4)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	分離動詞			
12回	テーマ	小テスト、副文(1)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	副文			
13回	テーマ	動詞(5)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	話法の助動詞			
14回	テーマ	動詞(6)副文(2)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	話法の助動詞 副文			
15回	テーマ	試験			90
	内容	定期試験			
16回	テーマ				90
	内容				

科目名	ドイツ語Ⅰ（３ナ微）前期	開講学年 3	講義コード 1144001	区分 選必
英文表記	German	開講期 前期／後期	開講形態	単位数 2

担当教員	アクスト フローリアン

研究室	本館１階非常勤講師室	オフィスアワー	授業後非常勤講師室で対応

メールアドレス	axt.koushi@icloud.com

キーワード	ドイツ語学習

授業概要	日常生活の様々な場面において、ドイツ語でコミュニケーションが取れるようにする。ドイツ語を総合的に学び、活用能力を習得する。

関連科目
ドイツ語 II

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	ドイツ語の基礎的な仕組みを理解できる。
	②	簡単なドイツ語会話ができる。
	③	簡単なドイツ語文章を書くことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	50	30	0	10	0	10	0	100

教科書	Ein Geist in Nurnberg? Deutsch fur Anfanger　同学社　Diana Beier-Taguchi, 清野智昭　978-4-8102-0735-4

参考書	

予備知識	日頃から新聞やニュース、読書等を通してドイツやヨーロッパに関心を持つこと。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	授業への積極的な参加及び、小テストと定期試験によって総合的に評価する。　詳細は以下の通り。　定期試験は1回行うので1×50=50点　小テストは6回行うので6×5=30点　成果発表は1回行うので1×10=10点 ポートフォリオは1回行うので1×10=10点

学修上の注意 (SBOs)	1.出席を怠らず、毎時間の予習と復習を行うこと。　2.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義・演習	当該ページの復習	90
	内容	イントロダクション／アルファベットの読み方／あいさつ／自己紹介			
2回	テーマ	動詞(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	動詞の現在人称変化			
3回	テーマ	数字	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	数字			
4回	テーマ	動詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	不正規動詞			
5回	テーマ	名詞(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	名詞の性			
6回	テーマ	小テスト名詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	名詞の格			
7回	テーマ	名詞(3)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	複数形			
8回	テーマ	名詞(4)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	複数形			
9回	テーマ	前置詞(1)、所有冠詞(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	前置詞、所有冠詞			
10回	テーマ	前置詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	前置詞			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	動詞(4)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	分離動詞			
12回	テーマ	小テスト、副文(1)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	副文			
13回	テーマ	動詞(5)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	話法の助動詞			
14回	テーマ	動詞(6)副文(2)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	話法の助動詞 副文			
15回	テーマ	試験			90
	内容	定期試験			
16回	テーマ				90
	内容				

科目名	ドイツ語Ⅰ（３建情）前期	開講学年 3	講義コード 1144101	区分 選必
英文表記	German	開講期 前期／後期	開講形態	単位数 2

担当教員	アクスト フローリアン

研究室	本館１階非常勤講師室	オフィスアワー	授業後非常勤講師室で対応

メールアドレス	axt.koushi@icloud.com

キーワード	ドイツ語学習

授業概要	日常生活の様々な場面において、ドイツ語でコミュニケーションが取れるようにする。ドイツ語を総合的に学び、活用能力を習得する。

関連科目
ドイツ語 II

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	ドイツ語の基礎的な仕組みを理解できる。
	②	簡単なドイツ語会話ができる。
	③	簡単なドイツ語文章を書くことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	50	30	0	10	0	10	0	100

教科書	Ein Geist in Nurnberg? Deutsch fur Anfanger　同学社　Diana Beier-Taguchi, 清野智昭　978-4-8102-0735-4

参考書	

予備知識	日頃から新聞やニュース、読書等を通してドイツやヨーロッパに関心を持つこと。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	授業への積極的な参加及び、小テストと定期試験によって総合的に評価する。　詳細は以下の通り。　定期試験は1回行うので1×50=50点　小テストは6回行うので6×5=30点　成果発表は1回行うので1×10=10点 ポートフォリオは1回行うので1×10=10点

学修上の注意 (SBOs)	1.出席を怠らず、毎時間の予習と復習を行うこと。　2.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義・演習	当該ページの復習	90
	内容	イントロダクション／アルファベットの読み方／あいさつ／自己紹介			
2回	テーマ	動詞(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	動詞の現在人称変化			
3回	テーマ	数字	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	数字			
4回	テーマ	動詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	不正規動詞			
5回	テーマ	名詞(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	名詞の性			
6回	テーマ	小テスト名詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	名詞の格			
7回	テーマ	名詞(3)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	複数形			
8回	テーマ	名詞(4)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	複数形			
9回	テーマ	前置詞(1)、所有冠詞(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	前置詞、所有冠詞			
10回	テーマ	前置詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	前置詞			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	動詞(4)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	分離動詞			
12回	テーマ	小テスト、副文(1)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	副文			
13回	テーマ	動詞(5)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	話法の助動詞			
14回	テーマ	動詞(6)副文(2)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	話法の助動詞 副文			
15回	テーマ	試験			90
	内容	定期試験			
16回	テーマ				90
	内容				

科目名	中国語Ⅰ（３機宇生）前期	開講学年 3	講義コード 1144401	区分 選択
英文表記	Chinese1	開講期 前期	開講形態	単位数 2.

担当教員	単援朝

研究室	本館307	オフィスアワー 木曜４ 金曜３

メールアドレス	shan@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	発音,語彙,文法,漢字

授業概要	1.中国語は漢字が使用されているから日本人学習者にとって学びやすいと思われがちであるが、発音や文法など言語としての系統が全く違うので外 国語として学ぶほかない。中国語Iは中国語を初めて学習する人のための入門・初級講座である。中国の基礎を身につけるよう、週一回の授業で中国語の発音をはじめ、日常生活に密着した語彙、表現および簡単な文法を学ぶ。中国語でのコミュニケーション力の養成は目的である 2.ALを基本的授業手法とする。発音練習、会話練習と文法解説を交互に行うが、とくに単語の発音練習に力を入れる。 3.毎回練習問題（小テスト）を課すので、必ず提出すること。 4.中間試験と小テストの講評を行う。

関連科目

中国語Ⅱ　中国語圏の文化と社会

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A4	A4
		JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	発音の仕組みが分かり、習った単語を発音することができる。
f.g.i	②	動詞述語文と形容詞述語文の構造を理解し、中国語の短文を読み、書くことができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	１５	５５	２０	０	０	０	１０	０	１００

教科書	改訂 中国語への招待　熊本出版文化会館　王忠義・単継清

参考書	精選日中・中日辞典　東方書店　姜晩成・王郁良編

予備知識	1.初修外国語なので、英語学習の要領、体験などが学習において役立つ。 2.中国という国についての基本的知識。 3.漢字
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験 1回行うので1×15点＝15点 2.小テスト 教科書の第1課から第9課まで+発音10回行うので10×2点＝20点 3.定期試験 1回×55点＝55点 4.ポートフォリオ1回×10点＝10点 5.基本的に再試を行わない。

学修上の注意 (SBOs)	1.語学の勉強は一般の授業と違って、単なる講義を聞いて理解するだけでなく、真似たり、考えたり、口にしたりすることなどが必要であるということを心得て、双方向的学習を目指すように授業中発音練習、会話練習に積極的に参加すること。 2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.スマートフォンはカバンの中にしまうこと。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 5.中国語Ⅰを履修しておかないと中国語Ⅱを履修することができません。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本知識	講義		90
	内容	中国語あれこれ 中国語の発音、語彙、文法などについて概説			
2回	テーマ	発音	講義 AL	【予習】教科書p141～148を読んでおく。　【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	発音 母音、子音、複母音			
3回	テーマ	発音	講義 AL	【予習】教科書p149～151を読んでおく。　【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	発音 声調、軽声、音節			
4回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p6～8を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	初対面 判断、紹介の表現、疑問文(1)、人称代名詞			
5回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p11～14を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	訪問・取り次ぎ 存在、懇請の表現、疑問文(2)、基数詞・序数詞			
6回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p16～19を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	自程 勧誘、時間の表現、疑問文(3)、連動式(1)、方位詞			
7回	テーマ	発音　形容詞述語文	講義	【予習】教科書p22～25を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	買い物 完了、頻度の表現、指示代名詞・疑問代名詞(1)			
8回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p27～30を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	相談 存在、時刻の表現、“二”と“两”の使い分け			
9回	テーマ	中間試験	講義 試験	【復習】小テストの講評。	90
	内容	中間試験 第一課～第五課			
10回	テーマ	発音　様々な修飾語	講義	【予習】教科書p33～36を読んでおく。　【復習】中間試験の講評。	90
	内容	中国語学習 程度、範囲の表現、補語(1)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発音　様々な修飾語	講義	【予習】教科書p39～42を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	旅行　可能、経験、願望の表現、助動詞(1)			
12回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p45～48を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	チケットの予約　方式、願望の表現、連動式(2)			
13回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p52～55を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	休暇　補語(2)、疑問文(4)、曜日の言い方			
14回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p33～55を読んでおく。　【復習】語彙の復習・プリントを配る	90
	内容	復習　第六課～第九課			
15回	テーマ	試験	試験		90
	内容	定期試験			
16回	テーマ				90
	内容				

科目名	中国語Ⅰ（３ナ微）前期	開講学年 3	講義コード 1144501	区分 選択
英文表記	Chinese1	開講期 前期	開講形態	単位数 2.

担当教員	単援朝
研究室	本館307
オフィスアワー	木曜４　金曜３
メールアドレス	shan@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	発音,語彙,文法,漢字

授業概要

1.中国語は漢字が使用されているから日本人学習者にとって学びやすいと思われがちであるが、発音や文法など言語としての系統が全く違うので外 国語として学ぶほかない。中国語Iは中国語を初めて学習する人のための入門・初級講座である。中国の基礎を身につけるよう、週一回の授業で中国語の発音をはじめ、日常生活に密着した語彙、表現および簡単な文法を学ぶ。中国語でのコミュニケーション力の養成は目的である 2.ALを基本的授業手法とする。発音練習、会話練習と文法解説を交互に行うが、とくに単語の発音練習に力を入れる。 3.毎回練習問題（小テスト）を課すので、必ず提出すること。 4.中間試験と小テストの講評を行う。

関連科目

中国語Ⅱ　中国語圏の文化と社会

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	発音の仕組みが分かり、習った単語を発音することができる。
f.g.i	②	動詞述語文と形容詞述語文の構造を理解し、中国語の短文を読み、書くことができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	１５	５５	２０	０	０	０	１０	０	１００

教科書	改訂 中国語への招待　熊本出版文化会館　王忠義・単継清
参考書	精選日中・中日辞典　東方書店　姜晩成・王郁良編

予備知識	1.初修外国語なので、英語学習の要領、体験などが学習において役立つ。 2.中国という国についての基本的知識。 3.漢字
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験 1回行うので1×15点＝15点 2.小テスト 教科書の第1課から第9課まで+発音10回行うので10×2点＝20点 3.定期試験 1回×55点＝55点 4.ポートフォリオ1回×10点＝10点 5.基本的に再試を行わない。

学修上の注意 (SBOs)	1.語学の勉強は一般の授業と違って、単なる講義を聞いて理解するだけでなく、真似たり、考えたり、口にしたりすることなどが必要であるということを心得て、双方向的学習を目指すように授業中発音練習、会話練習に積極的に参加すること。 2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.スマートフォンはカバンの中にしまうこと。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 5.中国語Ⅰを履修しておかないと中国語Ⅱを履修することができません。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本知識	講義		90
	内容	中国語あれこれ 中国語の発音、語彙、文法などについて概説			
2回	テーマ	発音	講義 AL	【予習】教科書p141～148を読んでおく。　【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	発音 母音、子音、複母音			
3回	テーマ	発音	講義 AL	【予習】教科書p149～151を読んでおく。　【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	発音 声調、軽声、音節			
4回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p6～8を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	初対面 判断、紹介の表現、疑問文(1)、人称代名詞			
5回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p11～14を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	訪問・取り次ぎ 存在、懇請の表現、疑問文(2)、基数詞・序数詞			
6回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p16～19を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	自程 勧誘、時間の表現、疑問文(3)、連動式(1)、方位詞			
7回	テーマ	発音　形容詞述語文	講義	【予習】教科書p22～25を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	買い物 完了、頻度の表現、指示代名詞・疑問代名詞(1)			
8回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p27～30を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	相談 存在、時刻の表現、“二”と“两”の使い分け			
9回	テーマ	中間試験	講義 試験	【復習】小テストの講評。	90
	内容	中間試験 第一課～第五課			
10回	テーマ	発音　様々な修飾語	講義	【予習】教科書p33～36を読んでおく。　【復習】中間試験の講評。	90
	内容	中国語学習 程度、範囲の表現、補語(1)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発音　様々な修飾語	講義	【予習】教科書p39～42を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	旅行　可能、経験、願望の表現、助動詞(1)			
12回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p45～48を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	チケットの予約　方式、願望の表現、連動式(2)			
13回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p52～55を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	休暇　補語(2)、疑問文(4)、曜日の言い方			
14回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p33～55を読んでおく。　【復習】語彙の復習・プリントを配る	90
	内容	復習　第六課～第九課			
15回	テーマ	試験	試験		90
	内容	定期試験			
16回	テーマ				90
	内容				

科目名	中国語Ⅰ（３建情）前期	開講学年	3	講義コード	1144601	区分	選択
英文表記	Chinese1	開講期	前期	開講形態		単位数	2.
担当教員	単援朝						
研究室	本館307			オフィスアワー	木曜４　金曜３		
メールアドレス	shan@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	発音,語彙,文法,漢字						

授業概要

1.中国語は漢字が使用されているから日本人学習者にとって学びやすいと思われがちであるが、発音や文法など言語としての系統が全く違うので外 国語として学ぶほかない。中国語Iは中国語を初めて学習する人のための入門・初級講座である。中国の基礎を身につけるよう、週一回の授業で中国語の発音をはじめ、日常生活に密着した語彙、表現および簡単な文法を学ぶ。中国語でのコミュニケーション力の養成は目的である 2.ALを基本的授業手法とする。発音練習、会話練習と文法解説を交互に行うが、とくに単語の発音練習に力を入れる。 3.毎回練習問題（小テスト）を課すので、必ず提出すること。 4.中間試験と小テストの講評を行う。

関連科目

中国語Ⅱ　中国語圏の文化と社会

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	発音の仕組みが分かり、習った単語を発音することができる。
f.g.i	②	動詞述語文と形容詞述語文の構造を理解し、中国語の短文を読み、書くことができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
１５	５５	２０	０	０	０	１０	０	１００

教科書

改訂 中国語への招待　熊本出版文化会館　王忠義・単継清

参考書

精選日中・中日辞典　東方書店　姜晩成・王郁良編

予備知識	1.初修外国語なので、英語学習の要領、体験などが学習において役立つ。 2.中国という国についての基本的知識。 3.漢字
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験 1回行うので1×15点＝15点 2.小テスト 教科書の第1課から第9課まで+発音10回行うので10×2点＝20点 3.定期試験 1回×55点＝55点 4.ポートフォリオ1回×10点＝10点 5.基本的に再試を行わない。

学修上の注意 (SBOs)	1.語学の勉強は一般の授業と違って、単なる講義を聞いて理解するだけでなく、真似たり、考えたり、口にしたりすることなどが必要であるということを心得て、双方向的学習を目指すように授業中発音練習、会話練習に積極的に参加すること。 2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.スマートフォンはカバンの中にしまうこと。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 5.中国語Ⅰを履修しておかないと中国語Ⅱを履修することができません。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本知識	講義		90
	内容	中国語あれこれ 中国語の発音、語彙、文法などについて概説			
2回	テーマ	発音	講義 AL	【予習】教科書p141～148を読んでおく。　【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	発音 母音、子音、複母音			
3回	テーマ	発音	講義 AL	【予習】教科書p149～151を読んでおく。　【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	発音 声調、軽声、音節			
4回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p6～8を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	初対面 判断、紹介の表現、疑問文(1)、人称代名詞			
5回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p11～14を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	訪問・取り次ぎ 存在、懇請の表現、疑問文(2)、基数詞・序数詞			
6回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p16～19を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	自程 勧誘、時間の表現、疑問文(3)、連動式(1)、方位詞			
7回	テーマ	発音　形容詞述語文	講義	【予習】教科書p22～25を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	買い物 完了、頻度の表現、指示代名詞・疑問代名詞(1)			
8回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p27～30を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	相談 存在、時刻の表現、“二”と“两”の使い分け			
9回	テーマ	中間試験	講義 試験	【復習】小テストの講評。	90
	内容	中間試験 第一課～第五課			
10回	テーマ	発音　様々な修飾語	講義	【予習】教科書p33～36を読んでおく。　【復習】中間試験の講評。	90
	内容	中国語学習 程度、範囲の表現、補語(1)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発音　様々な修飾語	講義	【予習】教科書p39～42を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	旅行　可能、経験、願望の表現、助動詞(1)			
12回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p45～48を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	チケットの予約　方式、願望の表現、連動式(2)			
13回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p52～55を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	休暇　補語(2)、疑問文(4)、曜日の言い方			
14回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p33～55を読んでおく。　【復習】語彙の復習・プリントを配る	90
	内容	復習　第六課～第九課			
15回	テーマ	試験	試験		90
	内容	定期試験			
16回	テーマ				90
	内容				

科目名	中国語Ⅰ（３美デ）前期	開講学年 3	講義コード 1144701	区分 選択
英文表記	Chinese1	開講期 前期	開講形態	単位数 2.
担当教員	単援朝			
研究室	本館307	オフィスアワー 木曜４ 金曜３		
メールアドレス	shan@ed.sojo-u.ac.jp			
キーワード	発音,語彙,文法,漢字			

授業概要

1.中国語は漢字が使用されているから日本人学習者にとって学びやすいと思われがちであるが、発音や文法など言語としての系統が全く違うので外 国語として学ぶほかない。中国語Iは中国語を初めて学習する人のための入門・初級講座である。中国の基礎を身につけるよう、週一回の授業で中国語の発音をはじめ、日常生活に密着した語彙、表現および簡単な文法を学ぶ。中国語でのコミュニケーション力の養成は目的である 2.ALを基本的授業手法とする。発音練習、会話練習と文法解説を交互に行うが、とくに単語の発音練習に力を入れる。 3.毎回練習問題（小テスト）を課すので、必ず提出すること。 4.中間試験と小テストの講評を行う。

関連科目

中国語Ⅱ　中国語圏の文化と社会

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	発音の仕組みが分かり、習った単語を発音することができる。
f.g.i	②	動詞述語文と形容詞述語文の構造を理解し、中国語の短文を読み、書くことができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	１５	５５	２０	０	０	０	１０	０	１００

教科書

改訂 中国語への招待　熊本出版文化会館　王忠義・単継清

参考書

精選日中・中日辞典　東方書店　姜晩成・王郁良編

予備知識	1.初修外国語なので、英語学習の要領、体験などが学習において役立つ。 2.中国という国についての基本的知識。 3.漢字
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験 1回行うので1×15点＝15点 2.小テスト 教科書の第1課から第9課まで+発音10回行うので10×2点＝20点 3.定期試験 1回×55点＝55点 4.ポートフォリオ1回×10点＝10点 5.基本的に再試を行わない。

学修上の注意 (SBOs)	1.語学の勉強は一般の授業と違って、単なる講義を聞いて理解するだけでなく、真似たり、考えたり、口にしたりすることなどが必要であるということを心得て、双方向的学習を目指すように授業中発音練習、会話練習に積極的に参加すること。 2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.スマートフォンはカバンの中にしまうこと。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 5.中国語Ⅰを履修しておかないと中国語Ⅱを履修することができません。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本知識	講義		90
	内容	中国語あれこれ 中国語の発音、語彙、文法などについて概説			
2回	テーマ	発音	講義 AL	【予習】教科書p141～148を読んでおく。　【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	発音 母音、子音、複母音			
3回	テーマ	発音	講義 AL	【予習】教科書p149～151を読んでおく。　【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	発音 声調、軽声、音節			
4回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p6～8を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	初対面 判断、紹介の表現、疑問文(1)、人称代名詞			
5回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p11～14を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	訪問・取り次ぎ 存在、懇請の表現、疑問文(2)、基数詞・序数詞			
6回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p16～19を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	自程 勧誘、時間の表現、疑問文(3)、連動式(1)、方位詞			
7回	テーマ	発音　形容詞述語文	講義	【予習】教科書p22～25を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	買い物 完了、頻度の表現、指示代名詞・疑問代名詞(1)			
8回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p27～30を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	相談 存在、時刻の表現、“二”と“两”の使い分け			
9回	テーマ	中間試験	講義 試験	【復習】小テストの講評。	90
	内容	中間試験 第一課～第五課			
10回	テーマ	発音　様々な修飾語	講義	【予習】教科書p33～36を読んでおく。　【復習】中間試験の講評。	90
	内容	中国語学習 程度、範囲の表現、補語(1)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発音　様々な修飾語	講義	【予習】教科書p39～42を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	旅行　可能、経験、願望の表現、助動詞(1)			
12回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p45～48を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	チケットの予約　方式、願望の表現、連動式(2)			
13回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p52～55を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	休暇　補語(2)、疑問文(4)、曜日の言い方			
14回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p33～55を読んでおく。　【復習】語彙の復習・プリントを配る	90
	内容	復習　第六課～第九課			
15回	テーマ	試験	試験		90
	内容	定期試験			
16回	テーマ				90
	内容				

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ①◎（1機宇）	開講学年 1	講義コード 1211101	区分 必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期 前期	開講形態	単位数 3

担当教員	藤城 謙一　中西 眞也　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中西）、本館付属棟316（津曲)　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	関数に関する性質や微分・積分の公式を使った基本的な計算ができる。
f	②	増減表やマクローリン展開などを用いて、関数の性質を調べたりグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート(課題)の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習(WebClass利用)の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート(提出方法指定あり)、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中西）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ 内容				
32回	テーマ 内容				90

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ②◎（1機宇）	開講学年	1	講義コード	1211102	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態		単位数	3

担当教員	藤城 謙一　中西 眞也　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中西）、本館付属棟316（津曲)　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	関数に関する性質や微分・積分の公式を使った基本的な計算ができる。
f	②	増減表やマクローリン展開などを用いて、関数の性質を調べたりグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート(課題)の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習(WebClass利用)の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート(提出方法指定あり)、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中西）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ 内容				
32回	テーマ 内容				90

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ③◎（1機宇）	開講学年	1	講義コード	1211103	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態		単位数	3

担当教員	藤城 謙一　中西 眞也　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中西）、本館付属棟316（津曲)　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	関数に関する性質や微分・積分の公式を使った基本的な計算ができる。
f	②	増減表やマクローリン展開などを用いて、関数の性質を調べたりグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート(課題)の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習(WebClass利用)の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート(提出方法指定あり)、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中西）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ 内容				
32回	テーマ 内容				90

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ④◎（1機宇）	開講学年	1	講義コード	1211104	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態		単位数	3

担当教員	藤城 謙一　中西 眞也　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中西）、本館付属棟316（津曲)　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	関数に関する性質や微分・積分の公式を使った基本的な計算ができる。
f	②	増減表やマクローリン展開などを用いて、関数の性質を調べたりグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート(課題)の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習(WebClass利用)の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート(提出方法指定あり)、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中西）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ 内容				
32回	テーマ 内容				90

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ①◎（1建情）	開講学年	1	講義コード	1211201	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態		単位数	3

担当教員	藤城 謙一　中西 眞也　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中西）、本館付属棟316（津曲)　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	関数に関する性質や微分・積分の公式を使った基本的な計算ができる。
f	②	増減表やマクローリン展開などを用いて、関数の性質を調べたりグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート(課題)の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習(WebClass利用)の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート(提出方法指定あり)、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中西）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ 内容				
32回	テーマ 内容				90

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ②◎（1建情）	開講学年 1	講義コード 1211202	区分 必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期 前期	開講形態	単位数 3

担当教員	藤城 謙一　中西 眞也　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中西）、本館付属棟316（津曲)　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	関数に関する性質や微分・積分の公式を使った基本的な計算ができる。
f	②	増減表やマクローリン展開などを用いて、関数の性質を調べたりグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート(課題)の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習(WebClass利用)の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート(提出方法指定あり)、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中西）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ 内容				
32回	テーマ 内容				90

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ③◎（1建情）	開講学年	1	講義コード	1211203	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態		単位数	3

担当教員	藤城 謙一　中西 眞也　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中西）、本館付属棟316（津曲)　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	関数に関する性質や微分・積分の公式を使った基本的な計算ができる。
f	②	増減表やマクローリン展開などを用いて、関数の性質を調べたりグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート(課題)の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習(WebClass利用)の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート(提出方法指定あり)、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中西）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ 内容				
32回	テーマ 内容				90

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ④◎（1建情）	開講学年 1	講義コード 1211204	区分 必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期 前期	開講形態	単位数 3

担当教員	藤城 謙一　中西 眞也　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中西）、本館付属棟316（津曲)　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	関数に関する性質や微分・積分の公式を使った基本的な計算ができる。
f	②	増減表やマクローリン展開などを用いて、関数の性質を調べたりグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート(課題)の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習(WebClass利用)の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート(提出方法指定あり)、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中西）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ				
	内容				
32回	テーマ				90
	内容				

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ⑤◎（1建情）	開講学年 1	講義コード 1211205	区分 必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期 前期	開講形態	単位数 3

担当教員	藤城 謙一　中西 眞也　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明
研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中西）、本館付属棟316（津曲)　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）
オフィスアワー	学修上の注意欄を参照
メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分

授業概要

機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	関数に関する性質や微分・積分の公式を使った基本的な計算ができる。
f	②	増減表やマクローリン展開などを用いて、関数の性質を調べたりグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書

微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書

微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4
関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート(課題)の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習(WebClass利用)の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート(提出方法指定あり)、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中西）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ 内容				
32回	テーマ 内容				90

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ①◎（１ナ微生）	開講学年	1	講義コード	1211501	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態		単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　中西 眞也　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（中西）　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	微分積分学　指数関数　対数関数　逆三角関数　　不定積分

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：行列と行列式）
（発展科目）「バイオ・化学系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	関数に関する性質や微分・積分の公式を使った基本的な計算をすることができる。
f	②	増減表やマクローリン展開などを用いて、関数の性質を調べたりグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。 6) 「その他」として、各学科の学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（河合）、「初回の授業で連絡」（中西）、「初回の授業で連絡」（津曲）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	関数の極限1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	専門科目との接続その1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の面積との関連について学び、その演習を行う。			
28回	テーマ	専門科目との接続その2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の応用事例および微分方程式について取り上げ、その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続その3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	微分方程式について学び、一般解が指数関数となる変数分離形の問題の演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成と提出。	120
	内容	定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。			

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ②◎（１ナ微生）	開講学年	1	講義コード	1211502	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態		単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　中西 眞也　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（中西）　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	微分積分学　指数関数　対数関数　逆三角関数　　不定積分

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：行列と行列式）
（発展科目）「バイオ・化学系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	関数に関する性質や微分・積分の公式を使った基本的な計算をすることができる。
f	②	増減表やマクローリン展開などを用いて、関数の性質を調べたりグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。 6) 「その他」として、各学科の学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（河合）、「初回の授業で連絡」（中西）、「初回の授業で連絡」（津曲）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	関数の極限1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	専門科目との接続その1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の面積との関連について学び、その演習を行う。			
28回	テーマ	専門科目との接続その2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の応用事例および微分方程式について取り上げ、その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続その3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	微分方程式について学び、一般解が指数関数となる変数分離形の問題の演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成と提出。	120
	内容	定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。			

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ③◎（１ナ微生）	開講学年	1	講義コード	1211503	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態		単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　中西 眞也　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（中西）　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	微分積分学　指数関数　対数関数　逆三角関数　　不定積分

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：行列と行列式）
（発展科目）「バイオ・化学系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	関数に関する性質や微分・積分の公式を使った基本的な計算をすることができる。
f	②	増減表やマクローリン展開などを用いて、関数の性質を調べたりグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。 6) 「その他」として、各学科の学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（河合）、「初回の授業で連絡」（中西）、「初回の授業で連絡」（津曲）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	関数の極限1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	専門科目との接続その1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の面積との関連について学び、その演習を行う。			
28回	テーマ	専門科目との接続その2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の応用事例および微分方程式について取り上げ、その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続その3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	微分方程式について学び、一般解が指数関数となる変数分離形の問題の演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成と提出。	120
	内容	定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。			

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ④◎（１ナ微生）	開講学年	1	講義コード	1211504	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態		単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　中西 眞也　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（中西）　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	微分積分学　指数関数　対数関数　逆三角関数　　不定積分

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：行列と行列式）
（発展科目）「バイオ・化学系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	関数に関する性質や微分・積分の公式を使った基本的な計算をすることができる。
f	②	増減表やマクローリン展開などを用いて、関数の性質を調べたりグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。 6) 「その他」として、各学科の学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（河合）、「初回の授業で連絡」（中西）、「初回の授業で連絡」（津曲）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	関数の極限1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	専門科目との接続その1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の面積との関連について学び、その演習を行う。			
28回	テーマ	専門科目との接続その2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の応用事例および微分方程式について取り上げ、その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続その3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	微分方程式について学び、一般解が指数関数となる変数分離形の問題の演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成と提出。	120
	内容	定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。			

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ⑤◎（１ナ微生）	開講学年	1	講義コード	1211505	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態		単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　中西 眞也　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（中西）　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	微分積分学　指数関数　対数関数　逆三角関数　　不定積分

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：行列と行列式）
（発展科目）「バイオ・化学系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	関数に関する性質や微分・積分の公式を使った基本的な計算をすることができる。
f	②	増減表やマクローリン展開などを用いて、関数の性質を調べたりグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。 6) 「その他」として、各学科の学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（河合）、「初回の授業で連絡」（中西）、「初回の授業で連絡」（津曲）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	関数の極限1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	専門科目との接続その1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の面積との関連について学び、その演習を行う。			
28回	テーマ	専門科目との接続その2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の応用事例および微分方程式について取り上げ、その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続その3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	微分方程式について学び、一般解が指数関数となる変数分離形の問題の演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成と提出。	120
	内容	定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。			

科目名	薬学基礎数学◎Ａ（１薬）	開講学年 1	講義コード 1211701	区分 必修
英文表記	Calculus for Pharmaceutical Sciences	開講期 前期	開講形態	単位数 1

担当教員	大嶋 康裕　日比野 剛士

研究室	本館付属棟317（大嶋）　本館付属棟319（日比野）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	yohshima@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	マクローリン展開　偏微分　極値　2重積分　　微分方程式

授業概要	薬学について学習・研究するみなさんにとって、数学は必要な基礎学力の一つです。なかでも微分積分学は、物理化学、薬物動態や統計学など専門授業の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する解析力を養うことも目的とします。

関連科目
（連携科目）物理化学I、薬物動態学I、薬物動態学II

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	本科目を通して理解できたり、思ったりしたことを簡潔にまとめることができる。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	10	15	10	0	5	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷、河合、田中　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法　森北出版　小中英嗣　978-4-627-06211-5

予備知識	高等学校における数学I、数学II。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。中間試験は薬学基礎数学演習の授業時間を使って実施する。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。実施形態として全学SALC演習（WebClass利用）を利用することがある。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート（提出方法指定あり）を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題もノートにまとめておくこと。WebClass に掲載する解説を参考にすること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. オフィスアワーは次の通り。月曜日4時限（大嶋）、水曜日4時限（日比野）。 4. キャンパス間移動の問題から授業担当教員への相談の時間（オフィスアワー）を活用できない場合は、図書館1階全学SALCでの質問対応の時間などを授業2回目までに案内する。 5. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	微分の計算	講義　演習	【第1回授業の予習】事前に高階導関数の単元まで定義を読み、例題を解いておくこと。【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	高校における既習事項の復習。			
2回	テーマ	微分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	ロピタルの定理、関数の増減			
3回	テーマ	微分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	1変数関数のマクローリン展開			
4回	テーマ	積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	高校における既習事項の復習			
5回	テーマ	積分の計算2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	広義積分			
6回	テーマ	積分の応用	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	60
	内容	面積、体積、曲線の長さ			
7回	テーマ	偏微分の計算	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。試験範囲について、各単元の例題を振り返る。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	偏導関数、高階偏導関数、合成関数の偏導関数			
8回	テーマ	偏微分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	極値の判定法			
9回	テーマ	偏微分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	2変数関数のマクローリン展開			
10回	テーマ	2重積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	定義と2重積分の計算			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2重積分の計算2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	極座標変換			
12回	テーマ	2重積分の応用	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	体積、曲面の面積、3重積分			
13回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	変数分離形、同次形			
14回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	60
	内容	1階の線形微分方程式、2階の定数係数線形微分方程式			
15回	テーマ	定期試験と授業内容の総括	講義　演習	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成及び提出。	120
	内容	定期試験、前期の授業内容の総括			

科目名	薬学基礎数学◎Ｂ（１薬）	開講学年 1	講義コード 1211702	区分 必修
英文表記	Calculus for Pharmaceutical Sciences	開講期 前期	開講形態	単位数 1

担当教員	大嶋 康裕　日比野 剛士

研究室	本館付属棟317（大嶋）　本館付属棟319（日比野）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	yohshima@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	マクローリン展開　偏微分　極値　2重積分　　微分方程式

授業概要	薬学について学習・研究するみなさんにとって、数学は必要な基礎学力の一つです。なかでも微分積分学は、物理化学、薬物動態や統計学など専門授業の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する解析力を養うことも目的とします。

関連科目
（連携科目）物理化学I、薬物動態学I、薬物動態学II

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	本科目を通して理解できたり、思ったりしたことを簡潔にまとめることができる。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	10	15	10	0	5	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷、河合、田中　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法　森北出版　小中英嗣　978-4-627-06211-5

予備知識	高等学校における数学I、数学II。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。中間試験は薬学基礎数学演習の授業時間を使って実施する。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。実施形態として全学SALC演習（WebClass利用）を利用することがある。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート（提出方法指定あり）を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題もノートにまとめておくこと。WebClass に掲載する解説を参考にすること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. オフィスアワーは次の通り。月曜日4時限（大嶋）、水曜日4時限（日比野）。 4. キャンパス間移動の問題から授業担当教員への相談の時間（オフィスアワー）を活用できない場合は、図書館1階全学SALCでの質問対応の時間などを授業2回目までに案内する。 5. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	微分の計算	講義　演習	【第1回授業の予習】事前に高階導関数の単元まで定義を読み、例題を解いておくこと。【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	高校における既習事項の復習。			
2回	テーマ	微分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	ロピタルの定理、関数の増減			
3回	テーマ	微分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	1変数関数のマクローリン展開			
4回	テーマ	積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	高校における既習事項の復習			
5回	テーマ	積分の計算2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	広義積分			
6回	テーマ	積分の応用	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	60
	内容	面積、体積、曲線の長さ			
7回	テーマ	偏微分の計算	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。試験範囲について、各単元の例題を振り返る。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	偏導関数、高階偏導関数、合成関数の偏導関数			
8回	テーマ	偏微分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	極値の判定法			
9回	テーマ	偏微分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	2変数関数のマクローリン展開			
10回	テーマ	2重積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	定義と2重積分の計算			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2重積分の計算2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	極座標変換			
12回	テーマ	2重積分の応用	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	体積、曲面の面積、3重積分			
13回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	変数分離形、同次形			
14回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	60
	内容	1階の線形微分方程式、2階の定数係数線形微分方程式			
15回	テーマ	定期試験と授業内容の総括	講義　演習	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成及び提出。	120
	内容	定期試験、前期の授業内容の総括			

科目名	薬学基礎数学演習◎Ａ（１薬）	開講学年 1	講義コード 1211801	区分 必修
英文表記	Calculus Recitation for Pharmaceutical Sciences	開講期 前期	開講形態	単位数 1

担当教員	大嶋 康裕　日比野 剛士

研究室	本館付属棟317（大嶋）　本館付属棟319（日比野）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	yohshima@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	マクローリン展開　偏微分　極値　2重積分　　微分方程式

授業概要	薬学について学習・研究するみなさんにとって、数学は必要な基礎学力の一つです。なかでも微分積分学は、物理化学、薬物動態や統計学など専門授業の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する解析力を養うことも目的とします。この授業では薬学基礎数学で学んだ単元の演習を行います。	関連科目：（連携科目）物理化学I、薬物動態学I、薬物動態学II

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標			
		JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	本科目を通して理解できたり、思ったりしたことを簡潔にまとめることができる。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	10	15	10	0	5	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷、河合、田中　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法　森北出版　小中英嗣　978-4-627-06211-5

予備知識	高等学校における数学I、数学II。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。中間試験は薬学基礎数学演習の授業時間を使って実施する。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。実施形態として全学SALC演習（WebClass利用）を利用することがある。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート（提出方法指定あり）を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題もノートにまとめておくこと。WebClass に掲載する解説を参考にすること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. オフィスアワーは次の通り。月曜日4時限（大嶋）、水曜日4時限（日比野）。 4. キャンパス間移動の問題から授業担当教員への相談の時間（オフィスアワー）を活用できない場合は、図書館1階全学SALCでの質問対応の時間などを授業2回目までに案内する。 5. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	微分の計算	講義　演習	【第1回授業の予習】事前に高階導関数の単元まで定義を読み、例題を解いておくこと。【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	高校における既習事項の復習。			
2回	テーマ	微分の応用1	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	ロピタルの定理、関数の増減			
3回	テーマ	微分の応用2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	1変数関数のマクローリン展開			
4回	テーマ	積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	高校における既習事項の復習			
5回	テーマ	積分の計算2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	広義積分			
6回	テーマ	積分の応用	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	60
	内容	面積、体積、曲線の長さ			
7回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲について、各単元の例題を振り返る。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	中間試験と課題についての講評			
8回	テーマ	偏微分の応用1	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	極値の判定法			
9回	テーマ	偏微分の応用2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	2変数関数のマクローリン展開			
10回	テーマ	2重積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	定義と2重積分の計算			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2重積分の計算2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	極座標変換			
12回	テーマ	2重積分の応用	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	体積、曲面の面積、3重積分			
13回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	変数分離形、同次形			
14回	テーマ	微分方程式2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	1階の線形微分方程式、2階の定数係数線形微分方程式			
15回	テーマ	授業内容の総括	演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成及び提出。	90
	内容	授業内容の総括としての演習および「科目の学修到達度レポート」の作成及び提出			

科目名	薬学基礎数学演習◎Ｂ（１薬）	開講学年 1	講義コード 1211802	区分 必修
英文表記	Calculus Recitation for Pharmaceutical Sciences	開講期 前期	開講形態	単位数 1

担当教員	大嶋 康裕　日比野 剛士

研究室	本館付属棟317（大嶋）　本館付属棟319（日比野）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	yohshima@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	マクローリン展開　偏微分　極値　2重積分　　微分方程式

授業概要	薬学について学習・研究するみなさんにとって、数学は必要な基礎学力の一つです。なかでも微分積分学は、物理化学、薬物動態や統計学など専門授業の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する解析力を養うことも目的とします。この授業では薬学基礎数学で学んだ単元の演習を行います。	関連科目：（連携科目）物理化学I、薬物動態学I、薬物動態学II

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標			
		JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	本科目を通して理解できたり、思ったりしたことを簡潔にまとめることができる。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	10	15	10	0	5	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷、河合、田中　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法　森北出版　小中英嗣　978-4-627-06211-5

予備知識	高等学校における数学I、数学II。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。中間試験は薬学基礎数学演習の授業時間を使って実施する。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。実施形態として全学SALC演習(WebClass利用)を利用することがある。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題もノートにまとめておくこと。WebClass に掲載する解説を参考にすること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. オフィスアワーは次の通り。月曜日4時限（大嶋）、水曜日4時限（日比野）。 4. キャンパス間移動の問題から授業担当教員への相談の時間（オフィスアワー）を活用できない場合は、図書館1階全学SALCでの質問対応の時間などを授業2回目までに案内する。 5. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	微分の計算	講義　演習	【第1回授業の予習】事前に高階導関数の単元まで定義を読み、例題を解いておくこと。【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	高校における既習事項の復習。			
2回	テーマ	微分の応用1	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	ロピタルの定理、関数の増減			
3回	テーマ	微分の応用2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	1変数関数のマクローリン展開			
4回	テーマ	積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	高校における既習事項の復習			
5回	テーマ	積分の計算2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	広義積分			
6回	テーマ	積分の応用	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	60
	内容	面積、体積、曲線の長さ			
7回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲について、各単元の例題を振り返る。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	中間試験と課題についての講評			
8回	テーマ	偏微分の応用1	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	極値の判定法			
9回	テーマ	偏微分の応用2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	2変数関数のマクローリン展開			
10回	テーマ	2重積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	定義と2重積分の計算			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2重積分の計算2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	極座標変換			
12回	テーマ	2重積分の応用	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	体積、曲面の面積、3重積分			
13回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	変数分離形、同次形			
14回	テーマ	微分方程式2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	60
	内容	1階の線形微分方程式、2階の定数係数線形微分方程式			
15回	テーマ	授業内容の総括	演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成及び提出。	90
	内容	授業内容の総括としての演習および「科目の学修到達度レポート」の作成及び提出			

科目名	バイオ・化学系の数理Ⅰ（２ナ微）	開講学年	2	講義コード	1212001	区分	選択
英文表記	Probability and Statistics	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	田代敬大（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後、非常勤講師室

メールアドレス	@

キーワード	資料の整理　確率分布　推定　検定

授業概要	バイオ･化学系の数理Ⅰで学ぶ確率･統計学は、自然科学,工学,農学,医学はもちろん社会科学･人文科学などあらゆる分野で応用されるとともに,より高度かつ広範な学問的発展を遂げている.その意味で,確率･統計の基礎を学ぶことはどの学問分野においても必須の素養であり,より専門的な確率･統計手法への手掛かりとなる.しかし,確率と統計を数理的に行うと,多くの学生諸君は大きな抵抗を覚えるようである.　そこで本講義は,実験データの解析等に資するように,統計学の見地を重視した初歩的内容とする.すなわち現代統計学はいわば「部分から全体を知ることができるか」という問に答えようとするものであるが,もちろんこの問には肯定的に回答される.いわゆる推測統計学（推定･検定）であるが,これを中心に考えたい（計算自体は四則演算程度）.ただ,推測統計を論理的に説明しようとすると確率の知識が不可欠となり,アプローチが長くなるところが教える側の悩みの種となる.対象学科によって確率の知識の必要性の有無は異なるであろうから,各学科の先生方および受講生諸君と対話しつつ学科により講義内容と構成を工夫したい.

関連科目

（基礎科目）基礎数理I,II（旧カリ:微分積分学）（連携科目）線形代数（発展科目）データ解析を要する科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c，g	c，g

JABEE記号		学生の到達度目標
c，f，g	①	確率分布の概念が理解できるようになる
c，f，g	②	統計的推定の基礎が理解できるようになる
c，f，g	③	統計的検定の基礎が理解できるようになる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書	新確率統計　大日本図書　新井 他　　978-4-477-02686-2

参考書	『Excelで学ぶ統計解析入門』　オーム社　管民郎　　978-4-274-06708 『統計学が最強の学問である』　ダイヤモンド社　西内啓　　978-4-478-02221-04 『統計学が最強の学問である（実践編）』　ダイヤモンド社　西内啓　　978-4-478-02823-0 『統計的方法の仕組み』　日科技連　永田靖　4-8171-0294-2 『44の例題で学ぶ統計的検定と推定の解き方』　オーム社　上田拓治　　978-4-274-0676-0

予備知識	高校における数学A「場合の数・確率」、基礎数理I,II（旧カリ：微分積分学）
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ,それらを実践できるようにする.特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする.
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート（課題）の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)ポートフォリオを作成して、自己評価する。 5) 図書館の科目に関係する図書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強だから、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。理解できない箇所があれば授業時間前後に質問するか、学生支援センターにおいて学習指導員の指導を受けてください。また、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなします。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	序	講義		
	内容	講義の目的,全般的流れ			
2回	テーマ	確率変数	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	離散確率変数　連続確率変数			
3回	テーマ	確率分布1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	二項分布			
4回	テーマ	確率分布2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	正規分布			
5回	テーマ	確率分布3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ディー分布			
6回	テーマ	母集団と標本	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中心極限定理			
7回	テーマ	推定1	講義　演習	【復習】中間試験のための勉強	120
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中間試験　振り返り、講評			
9回	テーマ	推定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
10回	テーマ	推定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	検定1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	検定の手順			
12回	テーマ	検定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
13回	テーマ	検定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
14回	テーマ	検定4	講義　演習	【復習】定期試験のための勉強	120
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合 （注:1群のt検定と呼ばれる検定方法）			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【予習】「学習到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験 振り返り、講評、「科目の学修到達度レポート」の提出			

科目名	確率・統計（２建）	開講学年	2	講義コード	1212101	区分	選択
英文表記	Probability and Statistics	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	河合浩明		
研究室	本館３階308	オフィスアワー	学生支援センターの学習支援時間割を確認してください。
メールアドレス	@		
キーワード	資料の整理　確率分布　推定　検定		

授業概要

確率･統計学は自然科学,工学,農学,医学はもちろん社会科学･人文科学などあらゆる分野で応用されるとともに,より高度かつ広範な学問的発展を遂げている.その意味で,確率･統計の基礎を学ぶことはどの学問分野においても必須の素養であり,より専門的な確率･統計手法への手掛かりとなる.しかし,確率と統計を数理的に行うと,多くの学生諸君は大きな抵抗を覚えるようである.　そこで本講義は,実験データの解析等に資するように,統計学の見地を重視した初歩的内容とする.すなわち現代統計学はいわば「部分から全体を知ることができるか」という問に答えようとするものであるが,もちろんこの問には肯定的に回答される.いわゆる推測統計学(推定･検定)であるが,これを中心に考えたい(計算自体は四則演算程度).ただ,推測統計を論理的に説明しようとすると確率の知識が不可欠となり,アプローチが長くなるところが教える側の悩みの種となる.対象学科によって確率の知識の必要性の有無は異なるであろうから,各学科の先生方および受講生諸君と対話しつつ学科により講義内容と構成を工夫したい.

関連科目

(基礎科目)基礎数理I,II(旧カリ:微分積分学)､(連携科目)線形代数 (発展科目)データ解析を要する科目

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c， g	c， g

JABEE記号		学生の到達度目標
c， f， g	①	確率分布の概念を理解することができる
c， f， g	②	統計的推定の基礎が理解でき､実験データの解析ができる
c， f， g	③	統計的検定の基礎が理解でき､実験データの解析ができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書	統計学の基礎　裳華房　栗栖 他　　4-7853-1525-3
参考書	

予備知識	高校における数学A「場合の数・確率」、基礎数理I,II（旧カリ：微分積分学）
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ,それらを実践できるようにする.特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする.
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート（課題）の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)ポートフォリオを作成して、自己評価する。 5) 図書館の科目に関係する図書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強だから、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。理解できない箇所があれば授業時間前後に質問するか、学生支援センターにおいて学習指導員の指導を受けてください。また、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなします。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	序	講義		
	内容	講義の目的,全般的流れ			
2回	テーマ	確率変数	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	離散確率変数　連続確率変数			
3回	テーマ	確率分布1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	二項分布			
4回	テーマ	確率分布2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	正規分布			
5回	テーマ	確率分布3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ディー分布			
6回	テーマ	母集団と標本	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中心極限定理			
7回	テーマ	推定1	講義　演習	【復習】中間試験のための勉強	120
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中間試験　振り返り、講評			
9回	テーマ	推定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
10回	テーマ	推定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	検定1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	検定の手順			
12回	テーマ	検定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
13回	テーマ	検定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
14回	テーマ	検定4	講義　演習	【復習】定期試験のための勉強	120
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合 （注：1群のt検定と呼ばれる検定方法）			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【予習】「学習到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験 振り返り、講評、「科目の学修到達度レポート」の提出			

科目名	バイオ・化学系の数理Ｉ◎Ａ（２生）	開講学年 2	講義コード 1212301	区分 必修
英文表記	Probability and Statistics	開講期 前期	開講形態	単位数 2
担当教員	藤城謙一			
研究室	本館付属棟315	オフィスアワー	学生支援センターの学習支援時間割を確認してください。	
メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp			
キーワード	資料の整理　確率分布　推定　検定			

授業概要

バイオ･化学系の数理Ｉで学ぶ確率･統計学は、自然科学,工学,農学,医学はもちろん社会科学･人文科学などあらゆる分野で応用されるとともに,より高度かつ広範な学問的発展を遂げている.その意味で,確率･統計の基礎を学ぶことはどの学問分野においても必須の素養であり,より専門的な確率･統計手法への手掛かりとなる.しかし,確率と統計を数理的に行うと,多くの学生諸君は大きな抵抗を覚えるようである.　そこで本講義は,実験データの解析等に資するように,統計学の見地を重視した初歩的内容とする.すなわち現代統計学はいわば「部分から全体を知ることができるか」という問に答えようとするものであるが,もちろんこの問には肯定的に回答される.いわゆる推測統計学（推定･検定）であるが,これを中心に考えたい（計算自体は四則演算程度）.ただ,推測統計を論理的に説明しようとすると確率の知識が不可欠となり,アプローチが長くなるところが教える側の悩みの種となる.対象学科によって確率の知識の必要性の有無は異なるであろうから,各学科の先生方および受講生諸君と対話しつつ学科により講義内容と構成を工夫したい.

関連科目

（基礎科目）基礎数理I,II（旧カリ:微分積分学）（連携科目）線形代数（発展科目）データ解析を要する科目

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c，g	c，g

JABEE記号		学生の到達度目標
c，f，g	①	確率分布の概念が理解できるようになる
c，f，g	②	統計的推定の基礎が理解できるようになる
c，f，g	③	統計的検定の基礎が理解できるようになる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

新確率統計　大日本図書　新井 他　　978-4-477-02686-2

参考書

新確率統計問題集　大日本図書　新井 他　978-4-477-02688-6

予備知識	高校における数学A「場合の数・確率」、基礎数理I,II（旧カリ：微分積分学）
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ,それらを実践できるようにする.特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする.
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート（課題）の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況および学科SALCの解答状況により理解度を評価する。 4)ポートフォリオを作成して、自己評価する。 5) 図書館の科目に関係する図書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強だから、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。理解できない箇所があれば授業時間前後に質問するか、学生支援センターにおいて学習指導員の指導を受けてください。また、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなします。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	序	講義		
	内容	講義の目的,全般的流れ			
2回	テーマ	確率変数	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	離散確率変数　連続確率変数			
3回	テーマ	確率分布1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	二項分布			
4回	テーマ	確率分布2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	正規分布			
5回	テーマ	確率分布3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ディー分布			
6回	テーマ	母集団と標本	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中心極限定理			
7回	テーマ	推定1	講義　演習	【復習】中間試験のための勉強	120
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中間試験　振り返り、講評			
9回	テーマ	推定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
10回	テーマ	推定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	検定1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	検定の手順			
12回	テーマ	検定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
13回	テーマ	検定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
14回	テーマ	検定4	講義　演習	【復習】定期試験のための勉強	120
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合 （注:1群のt検定と呼ばれる検定方法）			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【予習】「学習到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験 振り返り、講評、「科目の学修到達度レポート」の提出			

科目名	バイオ・化学系の数理Ｉ◎Ｂ（２生）	開講学年 2	講義コード 1212302	区分 必修
英文表記	Probability and Statistics	開講期 前期	開講形態	単位数 2
担当教員	河合浩明			
研究室	本館３階308	オフィスアワー 学生支援センターの学習支援時間割を確認してください。		
メールアドレス	@			
キーワード	資料の整理　確率分布　推定　検定			

授業概要

バイオ･化学系の数理Ｉで学ぶ確率･統計学は、自然科学,工学,農学,医学はもちろん社会科学･人文科学などあらゆる分野で応用されるとともに,より高度かつ広範な学問的発展を遂げている.その意味で,確率･統計の基礎を学ぶことはどの学問分野においても必須の素養であり,より専門的な確率･統計手法への手掛かりとなる.しかし,確率と統計を数理的に行うと,多くの学生諸君は大きな抵抗を覚えるようである.　そこで本講義は,実験データの解析等に資するように,統計学の見地を重視した初歩的内容とする.すなわち現代統計学はいわば「部分から全体を知ることができるか」という問に答えようとするものであるが,もちろんこの問には肯定的に回答される.いわゆる推測統計学（推定･検定）であるが,これを中心に考えたい（計算自体は四則演算程度）.ただ,推測統計を論理的に説明しようとすると確率の知識が不可欠となり,アプローチが長くなるところが教える側の悩みの種となる.対象学科によって確率の知識の必要性の有無は異なるであろうから,各学科の先生方および受講生諸君と対話しつつ学科により講義内容と構成を工夫したい.

関連科目

（基礎科目）基礎数理I,II（旧カリ:微分積分学）（連携科目）線形代数（発展科目）データ解析を要する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c，g	c，g

JABEE記号		学生の到達度目標
c，f，g	①	確率分布の概念を理解することができる
c，f，g	②	統計的推定の基礎が理解でき、実験データの解析ができる
c，f，g	③	統計的検定の基礎が理解でき、実験データの解析ができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

統計学の基礎　裳華房　栗栖 他　　4-7853-1525-3

参考書

予備知識	高校における数学A「場合の数・確率」、基礎数理I,II（旧カリ：微分積分学）
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ,それらを実践できるようにする.特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする.
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート（課題）の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況および学科SALCの解答状況により理解度を評価する。 4)ポートフォリオを作成して、自己評価する。 5) 図書館の科目に関係する図書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強だから、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。理解できない箇所があれば授業時間前後に質問するか、学生支援センターにおいて学習指導員の指導を受けてください。また、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなします。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	序	講義		
	内容	講義の目的,全般的流れ			
2回	テーマ	確率変数	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	離散確率変数　連続確率変数			
3回	テーマ	確率分布1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	二項分布			
4回	テーマ	確率分布2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	正規分布			
5回	テーマ	確率分布3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ディー分布			
6回	テーマ	母集団と標本	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中心極限定理			
7回	テーマ	推定1	講義　演習	【復習】中間試験のための勉強	120
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中間試験　振り返り、講評			
9回	テーマ	推定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
10回	テーマ	推定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	検定1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	検定の手順			
12回	テーマ	検定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
13回	テーマ	検定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
14回	テーマ	検定4	講義　演習	【復習】定期試験のための勉強	120
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合 （注:1群のt検定と呼ばれる検定方法）			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【予習】「学習到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験 振り返り、講評、「科目の学修到達度レポート」の提出			

科目名	工学・情報系の数理Ｉ◎Ａ（２機）	開講学年	2	講義コード	1212401	区分	選必
英文表記	Linear Algebra I A	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	田中 正紀 (非常勤)						
研究室	本館１階 非常勤講師室			オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室		
メールアドレス	@						
キーワード	行列　連立一次方程式　逆行列　行列式　　ベクトル						

授業概要

線形代数は工学、生物学、化学、さらに最近では計算機等の情報理論や経済学を学ぶ上で必須の知識となってきている。そのため、まず線形代数があつかう行列と行列式に慣れるようにする。その事柄を、よく知られた連立1次方程式との関連のもとで学習する。

関連科目

（基礎科目）基礎数学（発展科目）制御工学に関連する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	行列の概念を理解し、和・差・積の基本的な計算ができる。
f	②	連立一次方程式の解を、行列を用いて求めることができる。
f	③	逆行列の概念を理解し、逆行列を求めることができる。
c	④	行列式の概念を理解し、3次以下と4次以上のいずれの正方行列についても行列式を計算することができる。
g	⑤	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

やさしく学べる線形代数　共立出版株式会社　石村園子　　978-4-320-01660-6

参考書

トレンディ線形代数　学術図書出版社　秋山、池田、渋谷、田中　978-4-87361-226-3

予備知識	高等学校における、数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート(課題)の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強だから、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。学生支援センターにおいて質問を受けるシステムがあるので、理解できない箇所があれば積極的に質問に来ること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	行列の定義と行列の演算	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	行列の和、差、積を定めて、それらの関係を示す。			
2回	テーマ	正方行列と逆行列	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	逆行列に関する事を勉強する。(数の商にあたる計算)			
3回	テーマ	連立1次方程式と行列	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	連立1次方程式を行列で表す。			
4回	テーマ	連立1次方程式の解法	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	連立1次方程式の解法を行列で述べる。			
5回	テーマ	行列の階数	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	行列の階数の定義を述べる。			
6回	テーマ	行列の階数と連立1次方程式	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	連立1次方程式と、行列の階数の関係を述べる。			
7回	テーマ	逆行列の求め方	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	逆行列の応用。			
8回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	講評、中間試験　課題の講評・振り返り、中間試験			
9回	テーマ	行列式の定義	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	行列の不変量であることを認識する。			
10回	テーマ	行列式の性質	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	行列式の計算をする。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	逆行列の存在条件	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	逆行列の存在と行列式の関係を述べる。			
12回	テーマ	クラーメルの公式	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	連立方程式と行列式の関係。			
13回	テーマ	ベクトルと行列	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	ベクトルを行列表現する。			
14回	テーマ	1次変換	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	行列がベクトル空間の変換という性質を持つことを示す。			
15回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	「科目の学修到達度レポート」の作成	100
	内容	講評、定期試験　課題の講評・振り返り、定期試験			
16回	テーマ	前期の授業内容の総括	講義	「科目の学修到達度レポート」の提出	100
	内容	まとめ			

科目名	工学・情報系の数理Ⅰ◎B（２機）	開講学年	2	講義コード	1212402	区分	選必
英文表記	Linear Algebra I	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	城戸 浩章 (非常勤)

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室

メールアドレス	@

キーワード	行列　連立一次方程式　逆行列　行列式

授業概要	線形代数は工学、生物学、化学、さらに最近では計算機等の情報理論や経済学を学ぶ上で必須の知識となってきている。そのため、まず線形代数があつかう行列と行列式に慣れるようにする。その事柄を、よく知られた連立1次方程式との関連のもとで学習する。

関連科目
（基礎科目）基礎数学（発展科目）制御工学に関連する科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	行列の概念を理解し、和・差・積の基本的な計算ができる。
f	②	連立一次方程式の解を、行列を用いて求めることができる。
f	③	逆行列の概念を理解し、逆行列を求めることができる。
c	④	行列式の概念を理解し、3次以下と4次以上のいずれの正方行列についても行列式を計算することができる。
g	⑤	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	45	0	15	0	0	10	0	100

教科書	やさしく学べる線形代数　共立出版株式会社　石村園子　　978-4-320-01660-6

参考書	

予備知識	高等学校における、数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート(課題)の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強だから、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。学生支援センターにおいて、数学の学習指導員が質問を受けるので、センターの学習支援時間割を確認の上、理解できない箇所があれば積極的に質問に行くこと。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	行列の定義と行列の演算(和、差、スカラー倍)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	行列を数の一つの拡張として理解し、行列の和、差、スカラー倍の計算を覚える。			
2回	テーマ	行列の演算(積)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	行列の積の計算について習熟する。			
3回	テーマ	正方行列と逆行列	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	行列の演算で大きな役割を持つ正方行列と逆行列について学ぶ。			
4回	テーマ	行列と連立一次方程式	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	連立一次方程式を、行列を用いて解く。			
5回	テーマ	階段行列(1)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	連立一次方程式の中から本質的な式だけを取り出すために必要な方法について学ぶ。			
6回	テーマ	階段行列(2)、連立一次方程式の解(1)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	前回に引き続き連立一次方程式の中から本質的な式だけを取り出すために必要な方法について学び、連立方程式の解の種類について調べる。			
7回	テーマ	連立一次方程式の解(2)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	前回に引き続き、連立方程式の解の種類について調べる。			
8回	テーマ	逆行列の求め方	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	逆行列の求め方について学習する。			
9回	テーマ	講評、中間試験	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験			
10回	テーマ	行列式の定義(1)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	行列式の理解をする。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列式の定義(2)、行列式の性質(1)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	前回に引き続き行列式について学習し、いろいろな性質を用いて、行列式の計算になれる。			
12回	テーマ	行列式の性質(2)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	前回に引き続き、いろいろな性質を用いて、行列式の計算を行う。			
13回	テーマ	逆行列の存在条件	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	逆行列の存在条件について調べる。			
14回	テーマ	逆行列と連立一次方程式	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	クラメールの公式を解説する。			
15回	テーマ	講評、定期試験	講義　演習	「科目の学修到達度レポート」の作成	90
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験			
16回	テーマ	まとめ	講義	「科目の学修到達度レポート」の提出	90
	内容	前期の授業内容の総括			

科目名	工学・情報系の数理Ｉ◎Ａ（２建）	開講学年	2	講義コード	1212501	区分	選必
英文表記	Linear Algebra I	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	藤城 謙一

研究室	本館付属棟315	オフィスアワー	学生支援センターの学習支援時間割を確認してください。

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	ベクトル　内積･外積　逆行列　連立方程式

授業概要

本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能･論理的思考力を養います。本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学･物理学･生物学･化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学･情報系の数理Iにおいては,高校で学んだベクトルの知識を復習しつつ,行列を導入し,その基本理論を体系的に学び,さらに,その応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的･多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。

関連科目

(連携科目)確率･統計,工学･情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学･情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)工学･情報系の数理II(旧カリ:線形代数学II),微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	ベクトルの概念を理解し、内積や成分表示について各種計算をすることができる。
c, f	②	行列の概念を理解し、基本的な計算(和･差･積)や、行列を用いて連立一次方程式を解くことができる
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法(配点)

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

新版数学シリーズ 新版線形代数　実教出版　岡本和夫･他　978-4-407-32169-2

参考書

新版数学シリーズ 新版線形代数演習　実教出版　岡本和夫･他　978-4-407-32175-3

予備知識	高等学校における,数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート(ポートフォリオ)を作成し,自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトルの基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
2回	テーマ	ベクトルの応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
3回	テーマ	ベクトルの応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
4回	テーマ	ベクトルの内積	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの内積とその応用ついて学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
5回	テーマ	ベクトルの成分表示	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの成分表示とその応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
6回	テーマ	空間ベクトル 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	空間ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
7回	テーマ	空間ベクトル 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	空間ベクトルの内積･成分表示について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
9回	テーマ	行列の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列の定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
10回	テーマ	行列の演算 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列の演算 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
12回	テーマ	行列と連立方程式 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	連立方程式の行列表示･行基本操作について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
13回	テーマ	行列と連立方程式 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列を用いての連立方程式の解法を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
14回	テーマ	逆行列	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成･提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理Ｉ◎Ｂ（２建）	開講学年	2	講義コード	1212502	区分	選必
英文表記	Linear Algebra I	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	坂西 文俊（非常勤）						
研究室	本館1階 非常勤講師室					オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室
メールアドレス	@						
キーワード	ベクトル　内積･外積　逆行列　連立方程式						

授業概要

本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能･論理的思考力を養います。本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学･物理学･生物学･化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学･情報系の数理Iにおいては,高校で学んだベクトルの知識を復習しつつ,行列を導入し,その基本理論を体系的に学び,さらに,その応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的･多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。

関連科目

(連携科目)確率･統計,工学･情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学･情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)工学･情報系の数理II(旧カリ:線形代数学II),微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	ベクトルの概念を理解し、内積や成分表示について各種計算をすることができる。
c, f	②	行列の概念を理解し、基本的な計算(和･差･積)や、行列を用いて連立一次方程式を解くことができる
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

線形代数入門　学術図書出版社　兼山瓊典 葛巻孝子 久綱正和 棚橋勝美 共著　978-4-7806-0075-9

参考書

予備知識	高等学校における,数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート(ポートフォリオ)を作成し,自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトルの基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
2回	テーマ	ベクトルの応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
3回	テーマ	ベクトルの応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
4回	テーマ	ベクトルの内積	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの内積とその応用ついて学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
5回	テーマ	ベクトルの成分表示	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの成分表示とその応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
6回	テーマ	空間ベクトル 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	空間ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
7回	テーマ	空間ベクトル 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	空間ベクトルの内積･成分表示について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
9回	テーマ	行列の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列の定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
10回	テーマ	行列の演算 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列の演算 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
12回	テーマ	行列と連立方程式 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	連立方程式の行列表示･行基本操作について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
13回	テーマ	行列と連立方程式 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列を用いての連立方程式の解法を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
14回	テーマ	逆行列	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成･提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理Ｉ（２宇）	開講学年	2	講義コード	1212601	区分	選必
英文表記	Linear Algebra I	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	坂西 文俊（非常勤）						
研究室	本館1階 非常勤講師室			オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室		
メールアドレス	@						
キーワード	ベクトル　内積･外積　逆行列　連立方程式						

授業概要

本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能･論理的思考力を養います。 本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学･物理学･生物学･化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学･情報系の数理Iにおいては,高校で学んだベクトルの知識を復習しつつ,行列を導入し,その基本理論を体系的に学び,さらに,その応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的･多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。

関連科目

(連携科目)確率･統計,工学･情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学･情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)工学･情報系の数理II(旧カリ:線形代数学II),微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	ベクトルの概念を理解し、内積や成分表示について各種計算をすることができる。
c, f	②	行列の概念を理解し、基本的な計算(和･差･積)や、行列を用いて連立一次方程式を解くことができる
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法(配点)

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

線形代数入門　学術図書出版社　兼山瓊典 葛巻孝子 久綱正和 棚橋勝美 共著　978-4-7806-0075-9

参考書

予備知識	高等学校における,数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート(ポートフォリオ)を作成し,自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトルの基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
2回	テーマ	ベクトルの応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
3回	テーマ	ベクトルの応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
4回	テーマ	ベクトルの内積	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの内積とその応用ついて学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
5回	テーマ	ベクトルの成分表示	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの成分表示とその応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
6回	テーマ	空間ベクトル 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	空間ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
7回	テーマ	空間ベクトル 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	空間ベクトルの内積･成分表示について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
9回	テーマ	行列の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列の定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
10回	テーマ	行列の演算 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列の演算 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
12回	テーマ	行列と連立方程式 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	連立方程式の行列表示･行基本操作について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
13回	テーマ	行列と連立方程式 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列を用いての連立方程式の解法を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
14回	テーマ	逆行列	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成･提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理ＩＡ（２情）	開講学年	2	講義コード	1212701	区分	選必
英文表記	Linear Algebra I	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	城戸 浩章 (非常勤)		
研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室
メールアドレス	@		
キーワード	行列　連立一次方程式　逆行列　行列式		

授業概要

線形代数は工学、生物学、化学、さらに最近では計算機等の情報理論や経済学を学ぶ上で必須の知識となってきている。そのため、まず線形代数があつかう行列と行列式に慣れるようにする。その事柄を、よく知られた連立1次方程式との関連のもとで学習する。

関連科目

（基礎科目）基礎数学（発展科目）制御工学に関連する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	行列の概念を理解し、和・差・積の基本的な計算ができる。
f	②	連立一次方程式の解を、行列を用いて求めることができる。
f	③	逆行列の概念を理解し、逆行列を求めることができる。
c	④	行列式の概念を理解し、3次以下と4次以上のいずれの正方行列についても行列式を計算することができる。
g	⑤	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	45	0	15	0	0	10	0	100

教科書

やさしく学べる線形代数　共立出版株式会社　石村園子　978-4-320-01660-6

参考書

予備知識	高等学校における、数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート(課題)の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強だから、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。学生支援センターにおいて、数学の学習指導員が質問を受けるので、センターの学習支援時間割を確認の上、理解できない箇所があれば積極的に質問に行くこと。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	行列の定義と行列の演算(和、差、スカラー倍)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	行列を数の一つの拡張として理解し、行列の和、差、スカラー倍の計算を覚える。			
2回	テーマ	行列の演算(積)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	行列の積の計算について習熟する。			
3回	テーマ	正方行列と逆行列	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	行列の演算で大きな役割を持つ正方行列と逆行列について学ぶ。			
4回	テーマ	行列と連立一次方程式	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	連立一次方程式を、行列を用いて解く。			
5回	テーマ	階段行列(1)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	連立一次方程式の中から本質的な式だけを取り出すために必要な方法について学ぶ。			
6回	テーマ	階段行列(2)、連立一次方程式の解(1)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	前回に引き続き連立一次方程式の中から本質的な式だけを取り出すために必要な方法について学び、連立方程式の解の種類について調べる。			
7回	テーマ	連立一次方程式の解(2)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	前回に引き続き、連立方程式の解の種類について調べる。			
8回	テーマ	逆行列の求め方	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	逆行列の求め方について学習する。			
9回	テーマ	講評、中間試験	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験			
10回	テーマ	行列式の定義(1)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	行列式の理解をする。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列式の定義(2)、行列式の性質(1)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	前回に引き続き行列式について学習し、いろいろな性質を用いて、行列式の計算になれる。			
12回	テーマ	行列式の性質(2)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	前回に引き続き、いろいろな性質を用いて、行列式の計算を行う。			
13回	テーマ	逆行列の存在条件	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	逆行列の存在条件について調べる。			
14回	テーマ	逆行列と連立一次方程式	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	クラメールの公式を解説する。			
15回	テーマ	講評、定期試験	講義　演習	「科目の学修到達度レポート」の作成	90
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験			
16回	テーマ	まとめ	講義	「科目の学修到達度レポート」の提出	90
	内容	前期の授業内容の総括			

科目名	工学・情報系の数理ＩＢ（２情）	開講学年	2	講義コード	1212702	区分	選必
英文表記	Linear Algebra I	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	坂西 文俊（非常勤）						
研究室	本館1階 非常勤講師室			オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室		
メールアドレス	@						
キーワード	ベクトル　内積･外積　逆行列　連立方程式						

授業概要

本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能･論理的思考力を養います。本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学･物理学･生物学･化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学･情報系の数理Iにおいては,高校で学んだベクトルの知識を復習しつつ,行列を導入し,その基本理論を体系的に学び,さらに,その応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的･多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。

関連科目

(連携科目)確率･統計,工学･情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学･情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)工学･情報系の数理III(旧カリ:線形代数学II),微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	ベクトルの概念を理解し、内積や成分表示について各種計算をすることができる。
c, f	②	行列の概念を理解し、基本的な計算(和･差･積)や、行列を用いて連立一次方程式を解くことができる
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法(配点)

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

線形代数入門　学術図書出版社　兼山瓊典 葛巻孝子 久綱正和 棚橋勝美 共著　978-4-7806-0075-9

参考書

予備知識	高等学校における,数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート(ポートフォリオ)を作成し,自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトルの基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
2回	テーマ	ベクトルの応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
3回	テーマ	ベクトルの応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
4回	テーマ	ベクトルの内積	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの内積とその応用ついて学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
5回	テーマ	ベクトルの成分表示	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ベクトルの成分表示とその応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
6回	テーマ	空間ベクトル 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	空間ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
7回	テーマ	空間ベクトル 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	空間ベクトルの内積･成分表示について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
9回	テーマ	行列の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列の定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
10回	テーマ	行列の演算 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列の演算 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
12回	テーマ	行列と連立方程式 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	連立方程式の行列表示･行基本操作について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
13回	テーマ	行列と連立方程式 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列を用いての連立方程式の解法を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
14回	テーマ	逆行列	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成･提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理ＩＣ（２情）	開講学年	2	講義コード	1212703	区分	選必
英文表記	Linear Algebra I A	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	田中 正紀 (非常勤)						
研究室	本館１階 非常勤講師室			オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室		
メールアドレス	@						
キーワード	行列　連立一次方程式　逆行列　行列式　　ベクトル						

授業概要

線形代数は工学、生物学、化学、さらに最近では計算機等の情報理論や経済学を学ぶ上で必須の知識となってきている。そのため、まず線形代数があつかう行列と行列式に慣れるようにする。その事柄を、よく知られた連立1次方程式との関連のもとで学習する。

関連科目

（基礎科目）基礎数学（発展科目）制御工学に関連する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	行列の概念を理解し、和・差・積の基本的な計算ができる。
f	②	連立一次方程式の解を、行列を用いて求めることができる。
f	③	逆行列の概念を理解し、逆行列を求めることができる。
c	④	行列式の概念を理解し、3次以下と4次以上のいずれの正方行列についても行列式を計算することができる。
g	⑤	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

やさしく学べる線形代数　共立出版株式会社　石村園子　　978-4-320-01660-6

参考書

トレンディ線形代数　学術図書出版社　秋山、池田、渋谷、田中　978-4-87361-226-3

予備知識	高等学校における、数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート(課題)の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強だから、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。学生支援センターにおいて質問を受けるシステムがあるので、理解できない箇所があれば積極的に質問に来ること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	行列の定義と行列の演算	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	行列の和、差、積を定めて、それらの関係を示す。			
2回	テーマ	正方行列と逆行列	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	逆行列に関する事を勉強する。(数の商にあたる計算)			
3回	テーマ	連立1次方程式と行列	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	連立1次方程式を行列で表す。			
4回	テーマ	連立1次方程式の解法	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	連立1次方程式の解法を行列で述べる。			
5回	テーマ	行列の階数	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	行列の階数の定義を述べる。			
6回	テーマ	行列の階数と連立1次方程式	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	連立1次方程式と、行列の階数の関係を述べる。			
7回	テーマ	逆行列の求め方	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	逆行列の応用。			
8回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	講評、中間試験　課題の講評・振り返り、中間試験			
9回	テーマ	行列式の定義	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	行列の不変量であることを認識する。			
10回	テーマ	行列式の性質	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	行列式の計算をする。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	逆行列の存在条件	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	逆行列の存在と行列式の関係を述べる。			
12回	テーマ	クラーメルの公式	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	連立方程式と行列式の関係。			
13回	テーマ	ベクトルと行列	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	ベクトルを行列表現する。			
14回	テーマ	1次変換	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	行列がベクトル空間の変換という性質を持つことを示す。			
15回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	「科目の学修到達度レポート」の作成	100
	内容	講評、定期試験　課題の講評・振り返り、定期試験			
16回	テーマ	前期の授業内容の総括	講義	「科目の学修到達度レポート」の提出	100
	内容	まとめ			

科目名	基礎物理学◎①（１機）	開講学年	1	講義コード	1220101	区分	必修
英文表記	fundamental physics	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	町田 光男　上野 賢仁

研究室	F702　F803	オフィスアワー	町田：木曜5時限、上野：木曜5時限

メールアドレス	machida@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	力　速度と加速度　運動の法則　運動方程式　　具体的な運動

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に機械工学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。
前半では、物理量の単位、数値の表し方と計算法、必要な数学を学んだ後、力とベクトルの概念、物理量のベクトル表現、力の合成と分解、力のつり合いについて学び、続いて位置と速度、速さと速度の関係、速度の合成、速度と加速度の関係を学び、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。　後半では、身の回りの簡単な運動を与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。まず、等速度運動と等加速度運動における位置、速度、加速度を運動方程式から求め、それらの関係について学ぶ。また、運動量保存則と力積について学ぶ。さらに、具体的な運動として、自由落下、鉛直投げ上げ、鉛直投げ下げなどの1次元の運動の解法と、水平投射、斜方投射などの2次元の運動の解法について学ぶ。

関連科目

1.物理学　2.物理学実験

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	力学における力のつり合いと、位置（変位）、速度、加速度の関係を微分と積分を用いて理解することができる。
c	②	直線運動や平面運動を理解し、運動方程式を用いて解くことができる。
c, g	③	専門課程の授業が理解できる物理学の知識を身につけることができる。
g	④	授業に積極的に取り組むことによって、学習意欲と集中力を養うことができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　工学は物理学を基礎として成り立っており、特に機械工学を学ぶ学生にとって力学は基礎科目として必須である。この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ機械工学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点） 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理量の単位、数値の表し方と計算法について学ぶ。			
2回	テーマ	ベクトル	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力学に必要な力とベクトルの概念、物理量(位置、力)のベクトル表現について学ぶ			
3回	テーマ	力の合成と分解	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.2)。	60
	内容	力の合成、力の分解について学ぶ			
4回	テーマ	力のつりあい	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.3)。	60
	内容	さまざまな場合に対する力のつり合いについて学ぶ。			
5回	テーマ	速度と加速度Ⅰ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)と速度、速さと速度の関係について学ぶ。			
6回	テーマ	速度と加速度Ⅱ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	速度の合成、速度と加速度の関係について学ぶ。			
7回	テーマ	運動の法則Ⅰ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則(慣性の法則)について学ぶ。			
8回	テーマ	運動の法則Ⅱ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第2法則(運動の法則)について学ぶ。			
9回	テーマ	運動の法則Ⅲ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第3法則(作用反作用の法則)について学ぶ。			
10回	テーマ	中間試験	講義　演習	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.~9.までの学習到達度の評価。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	等速度運動と等加速度運動	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)	60
	内容	等速度運動と等加速度運動における位置、速度、加速度を運動方程式から求め、それらの関係について学ぶ。			
12回	テーマ	運動量と力積	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3,3.4 運動量と力積)。	60
	内容	運動量保存則と力積について学ぶ。			
13回	テーマ	具体的な運動Ⅰ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	自由落下、鉛直投げ上げ、鉛直投げ下げなどの1次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）について学ぶ。			
14回	テーマ	具体的な運動Ⅱ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	水平投射、斜方投射などの2次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）について学ぶ。			
15回	テーマ	中間試験　／総括	試験　講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成　／到達目標に達していない部分について理解し、学習すること　「到達度ポートフォリオ」の提出	180 ／60
	内容	後半の到達度を確認する。／総評、試験の返却と解説			

科目名	基礎物理学◎②（１機）	開講学年	1	講義コード	1220102	区分	必修
英文表記	fundamental physics	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	町田 光男　上野 賢仁

研究室	F702　F803	オフィスアワー	町田：木曜5時限、上野：木曜5時限

メールアドレス	machida@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	力　速度と加速度　運動の法則　運動方程式　　具体的な運動

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に機械工学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。
前半では、物理量の単位、数値の表し方と計算法、必要な数学を学んだ後、力とベクトルの概念、物理量のベクトル表現、力の合成と分解、力のつり合いについて学び、続いて位置と速度、速さと速度の関係、速度の合成、速度と加速度の関係を学び、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。　後半では、身の回りの簡単な運動を与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。まず、等速度運動と等加速度運動における位置、速度、加速度を運動方程式から求め、それらの関係について学ぶ。また、運動量保存則と力積について学ぶ。さらに、具体的な運動として、自由落下、鉛直投げ上げ、鉛直投げ下げなどの1次元の運動の解法と、水平投射、斜方投射などの2次元の運動の解法について学ぶ。

関連科目

1.物理学　2.物理学実験

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	力学における力のつり合いと、位置（変位）、速度、加速度の関係を微分と積分を用いて理解することができる。
c	②	直線運動や平面運動を理解し、運動方程式を用いて解くことができる。
c, g	③	専門課程の授業が理解できる物理学の知識を身につけることができる。
g	④	授業に積極的に取り組むことによって、学習意欲と集中力を養うことができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　工学は物理学を基礎として成り立っており、特に機械工学を学ぶ学生にとって力学は基礎科目として必須である。この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ機械工学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点） 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理量の単位、数値の表し方と計算法について学ぶ。			
2回	テーマ	ベクトル	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力学に必要な力とベクトルの概念、物理量(位置、力)のベクトル表現について学ぶ			
3回	テーマ	力の合成と分解	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.2)。	60
	内容	力の合成、力の分解について学ぶ			
4回	テーマ	力のつりあい	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.3)。	60
	内容	さまざまな場合に対する力のつり合いについて学ぶ。			
5回	テーマ	速度と加速度Ⅰ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)と速度、速さと速度の関係について学ぶ。			
6回	テーマ	速度と加速度Ⅱ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	速度の合成、速度と加速度の関係について学ぶ。			
7回	テーマ	運動の法則Ⅰ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則(慣性の法則)について学ぶ。			
8回	テーマ	運動の法則Ⅱ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第2法則(運動の法則)について学ぶ。			
9回	テーマ	運動の法則Ⅲ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第3法則(作用反作用の法則)について学ぶ。			
10回	テーマ	中間試験	講義　演習	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.~9.までの学習到達度の評価。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	等速度運動と等加速度運動	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)	60
	内容	等速度運動と等加速度運動における位置、速度、加速度を運動方程式から求め、それらの関係について学ぶ。			
12回	テーマ	運動量と力積	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3,3.4 運動量と力積)。	60
	内容	運動量保存則と力積について学ぶ。			
13回	テーマ	具体的な運動Ⅰ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	自由落下、鉛直投げ上げ、鉛直投げ下げなどの1次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）について学ぶ。			
14回	テーマ	具体的な運動Ⅱ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	水平投射、斜方投射などの2次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）について学ぶ。			
15回	テーマ	中間試験　／総括	試験　講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成　／到達目標に達していない部分について理解し、学習すること　「到達度ポートフォリオ」の提出	180 ／60
	内容	後半の到達度を確認する。／総評、試験の返却と解説			

科目名	基礎物理学①（１ナ微生）	開講学年	1	講義コード	1220201	区分	選択
英文表記	fundamental physics	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	町田光男　板橋克美　福島和洋（非常勤）

研究室	F702　F801　本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	町田：木曜5時限、板橋：月曜4時限、福島：授業終了後

メールアドレス	machida@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	音波と光波　熱、熱力学の第1法則　クーロンの法則　電場と電位、直流回路　　磁場、電磁誘導

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特にナノサイエンス学科、応用微生物工学科、応用生命科学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 具体的には、熱について、熱と温度との関係、熱容量と比熱、理想気体の状態方程式、気体がする仕事、熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。電気については、電荷の間にはたらくクーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位の定義、電場と電位の関係、直列回路、並列回路の合成抵抗、磁石がつくる磁場、電流のまわりに発生する磁場と電磁誘導について学ぶ。波については、波を表す量、縦波と横波、波が示す性質、光波、音波が示す現象について学ぶ。

関連科目
1.物理学　2.物理学実験

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校 理科）【各科目に含めることが必要な事項】･･･物理学

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	波、熱、電気と磁気に関する基礎的な内容を理解することができる。
	②	身の回りで起こる波、電気、磁気が関係する現象を理解することができる。
	③	専門課程の授業が理解できる物理学の知識を身につけることができる。。
	④	授業に積極的に取り組むことによって、学習意欲と集中力を養うことができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つナノサイエンス学、応用微生物工学、応用生命科学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（熱力学、電磁気学、波）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点） 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	熱と温度	講義　演習	【予習】教科書(7章 7.1 温度、7.2 熱)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱と温度との関係について学ぶ。			
2回	テーマ	熱容量と比熱	講義　演習	【予習】教科書(7章 7.3 熱容量と比熱)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱容量と比熱について学ぶ。			
3回	テーマ	状態方程式と仕事	講義　演習	【予習】教科書(7章 7.4 理想気体の状態方程式)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	理想気体の状態方程式、気体がする仕事について学ぶ。			
4回	テーマ	仕事	講義　演習	【予習】教科書(8章 8.3 気体の体積変化による仕事)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	気体がする仕事			
5回	テーマ	熱力学の第一法則	講義　演習	【予習】教科書(8章 8.2 熱力学の第1法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。			
6回	テーマ	クーロンの法則	講義　演習	【予習】教科書(10章 10.2 クーロンの法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。			
7回	テーマ	電場	講義　演習	【予習】教科書(11章 11.1 電場)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。			
8回	テーマ	電位	講義　試験	【予習】教科書(11章 11.3 電位)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。			
9回	テーマ	学習到達度判定	講義　演習	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	1.～8.の中間試験とまとめ			
10回	テーマ	直列回路と並列回路	講義　演習	【予習】教科書(12章 電流と直流回路)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	磁石と磁場	講義　演習	【予習】教科書(13章 13.1 磁気力と磁荷、13.2 磁場と磁束密度)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。			
12回	テーマ	電流の作る磁場と電磁誘導	講義　演習	【予習】教科書(13章 13.3 電流がつくる磁場、14章 14.1 ファラデーの電磁誘導の法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場と電磁誘導について学ぶ。			
13回	テーマ	波とその性質Ⅰ	講義　演習	【予習】教科書(17章 波とその性質)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。			
14回	テーマ	波とその性質Ⅱ	講義　演習	【予習】教科書(18章 音波と光波)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。			
15回	テーマ	学習到達度判定　／1.～15.までのまとめと先端物理学	講義　試験	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。「到達度ポートフォリオ」の作成　／「到達度ポートフォリオ」の提出	60　／　60
	内容	1.～14.の中間試験とまとめ。　／講義のまとめを行い、科学技術と日常生活の関連について学ぶ。また、ナノ、バイオ、医療、それぞれの観点における先端物理学を学ぶ。			

科目名	基礎物理学②（１ナ微生）	開講学年	1	講義コード	1220202	区分	選択
英文表記	fundamental physics	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	町田光男　板橋克美　福島和洋（非常勤）

研究室	F702　F801　本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	町田：木曜5時限、板橋：月曜4時限、福島：授業終了後

メールアドレス	machida@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	音波と光波　熱、熱力学の第1法則　クーロンの法則　電場と電位、直流回路　　磁場、電磁誘導

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特にナノサイエンス学科、応用微生物工学科、応用生命科学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 具体的には、熱について、熱と温度との関係、熱容量と比熱、理想気体の状態方程式、気体がする仕事、熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。電気については、電荷の間にはたらくクーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位の定義、電場と電位の関係、直列回路、並列回路の合成抵抗、磁石がつくる磁場、電流のまわりに発生する磁場と電磁誘導について学ぶ。波については、波を表す量、縦波と横波、波が示す性質、光波、音波が示す現象について学ぶ。

関連科目
1.物理学　2.物理学実験

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校 理科）【各科目に含めることが必要な事項】･･･物理学

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	波、熱、電気と磁気に関する基礎的な内容を理解することができる。
	②	身の回りで起こる波、電気、磁気が関係する現象を理解することができる。
	③	専門課程の授業が理解できる物理学の知識を身につけることができる。。
	④	授業に積極的に取り組むことによって、学習意欲と集中力を養うことができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つナノサイエンス学、応用微生物工学、応用生命科学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（熱力学、電磁気学、波）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点） 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	熱と温度	講義 演習	【予習】教科書(7章 7.1 温度、7.2 熱)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱と温度との関係について学ぶ。			
2回	テーマ	熱容量と比熱	講義 演習	【予習】教科書(7章 7.3 熱容量と比熱)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱容量と比熱について学ぶ。			
3回	テーマ	状態方程式と仕事	講義 演習	【予習】教科書(7章 7.4 理想気体の状態方程式)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	理想気体の状態方程式、気体がする仕事について学ぶ。			
4回	テーマ	仕事	講義 演習	【予習】教科書(8章 8.3 気体の体積変化による仕事)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	気体がする仕事			
5回	テーマ	熱力学の第一法則	講義 演習	【予習】教科書(8章 8.2 熱力学の第1法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。			
6回	テーマ	クーロンの法則	講義 演習	【予習】教科書(10章 10.2 クーロンの法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。			
7回	テーマ	電場	講義 演習	【予習】教科書(11章 11.1 電場)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。			
8回	テーマ	電位	講義 試験	【予習】教科書(11章 11.3 電位)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。			
9回	テーマ	学習到達度判定	講義 演習	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	1.～8.の中間試験とまとめ			
10回	テーマ	直列回路と並列回路	講義 演習	【予習】教科書(12章 電流と直流回路)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	磁石と磁場	講義　演習	【予習】教科書(13章 13.1 磁気力と磁荷、13.2 磁場と磁束密度)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。			
12回	テーマ	電流の作る磁場と電磁誘導	講義　演習	【予習】教科書(13章 13.3 電流がつくる磁場、14章 14.1 ファラデーの電磁誘導の法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場と電磁誘導について学ぶ。			
13回	テーマ	波とその性質Ⅰ	講義　演習	【予習】教科書(17章 波とその性質)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。			
14回	テーマ	波とその性質Ⅱ	講義　演習	【予習】教科書(18章 音波と光波)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。			
15回	テーマ	学習到達度判定　／1.～15.までのまとめと先端物理学	講義　試験	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。「到達度ポートフォリオ」の作成　／「到達度ポートフォリオ」の提出	60　／　60
	内容	1.～14.の中間試験とまとめ。　／講義のまとめを行い、科学技術と日常生活の関連について学ぶ。また、ナノ、バイオ、医療、それぞれの観点における先端物理学を学ぶ。			

科目名	基礎物理学③（１ナ微生）	開講学年	1	講義コード	1220203	区分	選択
英文表記	fundamental physics	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	町田光男　板橋克美　福島和洋（非常勤）

研究室	F702　F801　本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	町田：木曜5時限、板橋：月曜4時限、福島：授業終了後

メールアドレス	machida@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	音波と光波　熱、熱力学の第1法則　クーロンの法則　電場と電位、直流回路　　磁場、電磁誘導

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特にナノサイエンス学科、応用微生物工学科、応用生命科学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 具体的には、熱について、熱と温度との関係、熱容量と比熱、理想気体の状態方程式、気体がする仕事、熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。電気については、電荷の間にはたらくクーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位の定義、電場と電位の関係、直列回路、並列回路の合成抵抗、磁石がつくる磁場、電流のまわりに発生する磁場と電磁誘導について学ぶ。波については、波を表す量、縦波と横波、波が示す性質、光波、音波が示す現象について学ぶ。

関連科目
1.物理学　2.物理学実験

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校 理科）【各科目に含めることが必要な事項】･･･物理学

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	波、熱、電気と磁気に関する基礎的な内容を理解することができる。
	②	身の回りで起こる波、電気、磁気が関係する現象を理解することができる。
	③	専門課程の授業が理解できる物理学の知識を身につけることができる。。
	④	授業に積極的に取り組むことによって、学習意欲と集中力を養うことができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つナノサイエンス学、応用微生物工学、応用生命科学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（熱力学、電磁気学、波）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点） 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	熱と温度	講義　演習	【予習】教科書(7章 7.1 温度、7.2 熱)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱と温度との関係について学ぶ。			
2回	テーマ	熱容量と比熱	講義　演習	【予習】教科書(7章 7.3 熱容量と比熱)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱容量と比熱について学ぶ。			
3回	テーマ	状態方程式と仕事	講義　演習	【予習】教科書(7章 7.4 理想気体の状態方程式)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	理想気体の状態方程式、気体がする仕事について学ぶ。			
4回	テーマ	仕事	講義　演習	【予習】教科書(8章 8.3 気体の体積変化による仕事)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	気体がする仕事			
5回	テーマ	熱力学の第一法則	講義　演習	【予習】教科書(8章 8.2 熱力学の第1法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。			
6回	テーマ	クーロンの法則	講義　演習	【予習】教科書(10章 10.2 クーロンの法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。			
7回	テーマ	電場	講義　演習	【予習】教科書(11章 11.1 電場)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。			
8回	テーマ	電位	講義　試験	【予習】教科書(11章 11.3 電位)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。			
9回	テーマ	学習到達度判定	講義　演習	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	1.～8.の中間試験とまとめ			
10回	テーマ	直列回路と並列回路	講義　演習	【予習】教科書(12章 電流と直流回路)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	磁石と磁場	講義 演習	【予習】教科書(13章 13.1 磁気力と磁荷、13.2 磁場と磁束密度)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。			
12回	テーマ	電流の作る磁場と電磁誘導	講義 演習	【予習】教科書(13章 13.3 電流がつくる磁場、14章 14.1 ファラデーの電磁誘導の法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場と電磁誘導について学ぶ。			
13回	テーマ	波とその性質Ⅰ	講義 演習	【予習】教科書(17章 波とその性質)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。			
14回	テーマ	波とその性質Ⅱ	講義 演習	【予習】教科書(18章 音波と光波)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。			
15回	テーマ	学習到達度判定 ／1.～15.までのまとめと先端物理学	講義 試験	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。「到達度ポートフォリオ」の作成 ／「到達度ポートフォリオ」の提出	60 ／ 60
	内容	1.～14.の中間試験とまとめ。 ／講義のまとめを行い、科学技術と日常生活の関連について学ぶ。また、ナノ、バイオ、医療、それぞれの観点における先端物理学を学ぶ。			

科目名	基礎物理学◎①（１建）	開講学年	1	講義コード	1220301	区分	必修
英文表記	fundamental physics	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	天本徳浩　町田光男

研究室	F802　F702	オフィスアワー	天本：木曜5時限、町田：木曜5時限

メールアドレス	amamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	力　運動、運動方程式　仕事　力学的エネルギー　　運動量

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に建築学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。
前半では、速度と加速度、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な運動を、与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法、ベクトルの概念および表現法、力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。次に、位置と速度と加速度の関係、運動の第1～3法則を理解した上で、自由落下、鉛直投げ上げ、鉛直投げ下げなどの1次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）と、水平投射、斜方投射などの2次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）について学ぶ。さらに、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量とその保存則について学ぶ。

関連科目

1.物理学 2.物理学実験

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c, g	c, g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルで表わす方法と、物体の運動の表し方を理解することができる。
c	②	運動方程式の立て方および解き方と、典型的物体の運動（落体の運動、円運動、単振動、抵抗力を受けている物体の運動）を理解することができる。
c	③	エネルギー保存則と運動量保存則を理解することができる。
g	④	演習及び課題に取り組むことにより、自主的、継続的に学習することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　工学は物理学を基礎として成り立っており、特に建築学を学ぶ学生にとって力学は基礎科目として必須である。この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ建築学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点） 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要な、物理量の表し方、ベクトルの概念および表現法について学ぶ。			
2回	テーマ	力	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力の概念、力の合成と分解、力のつり合いについて学ぶ。			
3回	テーマ	運動の表し方Ⅰ	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。			
4回	テーマ	運動の表し方Ⅱ	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。			
5回	テーマ	運動の法則	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。			
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。			
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。			
8回	テーマ	運動量	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3, 3.4)。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。			
9回	テーマ	等速円運動	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。			
10回	テーマ	中間試験	試験 講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～8.の内容に関する中間試験とまとめ			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	振動	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	振動の運動について学ぶ。			
12回	テーマ	摩擦や抵抗力を受けている物体の運動	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	摩擦や，空気・水の抵抗力について学び、その力を受けている物体の運動について学ぶ。			
13回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。			
14回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。			
15回	テーマ	中間試験 ／総括	試験 講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成 ／到達目標に達していない部分について理解し、学習すること 「到達度ポートフォリオ」の提出	180 ／60
	内容	学習到達度判定 1.～14.の内容に関する中間試験とまとめ ／1.～15.の内容のまとめ			

科目名	基礎物理学◎②（１建）	開講学年	1	講義コード	1220302	区分	必修
英文表記	fundamental physics	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	天本徳浩　町田光男

研究室	F802　F702	オフィスアワー	天本：木曜5時限、町田：木曜5時限

メールアドレス	amamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	力　運動、運動方程式　仕事　力学的エネルギー　　運動量

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に建築学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。
前半では、速度と加速度、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な運動を、与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法、ベクトルの概念および表現法、力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。次に、位置と速度と加速度の関係、運動の第1～3法則を理解した上で、自由落下、鉛直投げ上げ、鉛直投げ下げなどの1次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）と、水平投射、斜方投射などの2次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）について学ぶ。さらに、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量とその保存則について学ぶ。

関連科目

1.物理学 2.物理学実験

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c, g	c, g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルで表わす方法と、物体の運動の表し方を理解することができる。
c	②	運動方程式の立て方および解き方と、典型的物体の運動（落体の運動、円運動、単振動、抵抗力を受けている物体の運動）を理解することができる。
c	③	エネルギー保存則と運動量保存則を理解することができる。
g	④	演習及び課題に取り組むことにより、自主的、継続的に学習することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　工学は物理学を基礎として成り立っており、特に建築学を学ぶ学生にとって力学は基礎科目として必須である。この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ建築学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点） 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要な、物理量の表し方、ベクトルの概念および表現法について学ぶ。			
2回	テーマ	力	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力の概念、力の合成と分解、力のつり合いについて学ぶ。			
3回	テーマ	運動の表し方Ⅰ	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。			
4回	テーマ	運動の表し方Ⅱ	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。			
5回	テーマ	運動の法則	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。			
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。			
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。			
8回	テーマ	運動量	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3, 3.4)。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。			
9回	テーマ	等速円運動	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。			
10回	テーマ	中間試験	試験 講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～8.の内容に関する中間試験とまとめ			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	振動	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	振動の運動について学ぶ。			
12回	テーマ	摩擦や抵抗力を受けている物体の運動	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	摩擦や，空気・水の抵抗力について学び、その力を受けている物体の運動について学ぶ。			
13回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。			
14回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。			
15回	テーマ	中間試験 ／総括	試験 講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成 ／到達目標に達していない部分について理解し、学習すること 「到達度ポートフォリオ」の提出	180 ／60
	内容	学習到達度判定 1.～14.の内容に関する中間試験とまとめ ／1.～15.の内容のまとめ			

科目名	基礎物理学①（１シス◎・１整操）	開講学年	1	講義コード	1220401	区分	必修
英文表記	fundamental physics	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	天本徳浩　池田達裕（非常勤）

研究室	F802　本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	天本：木曜5時限、池田：授業終了後

メールアドレス	amamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	力　運動、運動方程式　仕事　力学的エネルギー　　運動量

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に宇宙航空システム工学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。　前半では、速度と加速度、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な運動を、与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。
　具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法、ベクトルの概念および表現法、力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。次に、位置と速度と加速度の関係、運動の法則を理解した上で、直線上の運動、平面上の運動、等速円運動、フックの法則、単振動、抵抗力を受けている物体の運動について学ぶ。さらに、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量とその保存則について学ぶ。

関連科目

1.物理学　2.物理学実験

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルで表わす方法と、物体の運動の表し方を理解することができる。
c	②	運動方程式の立て方および解き方と、典型的物体の運動（落体の運動、円運動、単振動、抵抗力を受けている物体の運動）を理解することができる。
c	③	エネルギー保存則と運動量保存則を理解することができる。
g	④	演習及び課題に取り組むことにより、自主的、継続的に学習することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学　2.高校の物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　工学は物理学を基礎として成り立っており、特に宇宙航空システム工学を学ぶ学生にとって力学は基礎科目として必須である。この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ宇宙航空システム工学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要な、物理量の表し方、ベクトルの概念および表現法について学ぶ。			
2回	テーマ	力	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力の概念、力の合成と分解、力のつり合いについて学ぶ。			
3回	テーマ	運動の表し方Ⅰ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。			
4回	テーマ	運動の表し方Ⅱ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。			
5回	テーマ	運動の法則	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。			
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。			
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。			
8回	テーマ	運動量	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3, 3.4)。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。			
9回	テーマ	等速円運動	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。			
10回	テーマ	中間試験	試験　講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～8.の内容に関する中間試験とまとめ			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	振動	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	振動の運動について学ぶ。			
12回	テーマ	摩擦や抵抗力を受けている物体の運動	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	摩擦や,空気・水の抵抗力について学び、その力を受けている物体の運動について学ぶ。			
13回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。			
14回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。			
15回	テーマ	中間試験　／総括	試験　講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成　／到達目標に達していない部分について理解し、学習すること　「到達度ポートフォリオ」の提出	180 ／60
	内容	学習到達度判定　1.～14.の内容に関する中間試験とまとめ　／1.～15.の内容のまとめ			

科目名	基礎物理学②（１シス◎・１整操）	開講学年	1	講義コード	1220402	区分	必修
英文表記	fundamental physics	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	天本徳浩　池田達裕（非常勤）

研究室	F802　本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	天本：木曜5時限、池田：授業終了後

メールアドレス	amamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	力　運動、運動方程式　仕事　力学的エネルギー　　運動量

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に宇宙航空システム工学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。　前半では、速度と加速度、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な運動を、与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。
　具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法、ベクトルの概念および表現法、力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。次に、位置と速度と加速度の関係、運動の法則を理解した上で、直線上の運動、平面上の運動、等速円運動、フックの法則、単振動、抵抗力を受けている物体の運動について学ぶ。さらに、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量とその保存則について学ぶ。

関連科目

1.物理学　2.物理学実験

建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標			
JABEE基準			

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルで表わす方法と、物体の運動の表し方を理解することができる。
c	②	運動方程式の立て方および解き方と、典型的物体の運動（落体の運動、円運動、単振動、抵抗力を受けている物体の運動）を理解することができる。
c	③	エネルギー保存則と運動量保存則を理解することができる。
g	④	演習及び課題に取り組むことにより、自主的、継続的に学習することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　工学は物理学を基礎として成り立っており、特に宇宙航空システム工学を学ぶ学生にとって力学は基礎科目として必須である。この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ宇宙航空システム工学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点） 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要な、物理量の表し方、ベクトルの概念および表現法について学ぶ。			
2回	テーマ	力	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力の概念、力の合成と分解、力のつり合いについて学ぶ。			
3回	テーマ	運動の表し方Ⅰ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。			
4回	テーマ	運動の表し方Ⅱ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。			
5回	テーマ	運動の法則	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。			
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。			
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。			
8回	テーマ	運動量	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3, 3.4)。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。			
9回	テーマ	等速円運動	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。			
10回	テーマ	中間試験	試験　講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～8.の内容に関する中間試験とまとめ			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	振動	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	振動の運動について学ぶ。			
12回	テーマ	摩擦や抵抗力を受けている物体の運動	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	摩擦や,空気・水の抵抗力について学び、その力を受けている物体の運動について学ぶ。			
13回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。			
14回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。			
15回	テーマ	中間試験　／総括	試験　講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成　／到達目標に達していない部分について理解し、学習すること　「到達度ポートフォリオ」の提出	180 ／60
	内容	学習到達度判定　1.～14.の内容に関する中間試験とまとめ　／1.～15.の内容のまとめ			

科目名	基礎物理学①（１情）	開講学年	1	講義コード	1220501	区分	選択
英文表記	fundamental physics	開講期	前	開講形態		単位数	2

担当教員	上野賢仁　天本徳浩　福島和洋（非常勤）

研究室	F803　F802　本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	上野：木曜5時限、天本：木曜5時限、福島：授業終了後

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	力　運動、運動方程式　仕事　力学的エネルギー　　運動量

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に情報学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。前半では、力学について学ぶ。まず、速度と加速度、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。その上で、身の回りの簡単な運動を、与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。後半では、電気について学ぶ。　具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法、ベクトルの概念および表現法、力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。次に、位置と速度と加速度の関係、運動の法則を理解した上で、直線上の運動、平面上の運動、等速円運動、フックの法則、単振動、抵抗力を受けている物体の運動について学ぶ。さらに、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量とその保存則について学ぶ。

関連科目

1.物理学　2.物理学実験

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルで表わす方法と、物体の運動の表し方を理解することができる。
c	②	運動方程式の立て方および解き方と、典型的物体の運動（落体の運動、円運動、単振動、抵抗力を受けている物体の運動）を理解することができる。
c	③	エネルギー保存則と運動量保存則を理解することができる。
g	④	演習及び課題に取り組むことにより、自主的、継続的に学習することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ情報学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点） 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要な、物理量の表し方、ベクトルの概念および表現法について学ぶ。			
2回	テーマ	力	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力の概念、力の合成と分解、力のつり合いについて学ぶ。			
3回	テーマ	運動の表し方Ⅰ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。			
4回	テーマ	運動の表し方Ⅱ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。			
5回	テーマ	運動の法則	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。			
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。			
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。			
8回	テーマ	運動量	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3, 3.4)。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。			
9回	テーマ	等速円運動	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。			
10回	テーマ	中間試験	試験　講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～8.の内容に関する中間試験とまとめ			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	振動	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	振動の運動について学ぶ。			
12回	テーマ	摩擦や抵抗力を受けている物体の運動	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	摩擦や，空気・水の抵抗力について学び、その力を受けている物体の運動について学ぶ。			
13回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。			
14回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。			
15回	テーマ	中間試験／総括	試験 講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成 ／到達目標に達していない部分について理解し、学習すること 「到達度ポートフォリオ」の提出	180 ／60
	内容	学習到達度判定 1.～14.の内容に関する中間試験とまとめ ／1.～15.の内容のまとめ			

科目名	基礎物理学②（１情）	開講学年	1	講義コード	1220502	区分	選択
英文表記	fundamental physics	開講期	前	開講形態		単位数	2

担当教員	上野賢仁　天本徳浩　福島和洋（非常勤）

研究室	F803　F802　本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	上野：木曜5時限、天本：木曜5時限、福島：授業終了後

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	力　運動、運動方程式　仕事　力学的エネルギー　　運動量

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に情報学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。
前半では、力学について学ぶ。まず、速度と加速度、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。その上で、身の回りの簡単な運動を、与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。後半では、電気について学ぶ。　具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法、ベクトルの概念および表現法、力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。次に、位置と速度と加速度の関係、運動の法則を理解した上で、直線上の運動、平面上の運動、等速円運動、フックの法則、単振動、抵抗力を受けている物体の運動について学ぶ。さらに、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量とその保存則について学ぶ。

関連科目

1.物理学　2.物理学実験

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルで表わす方法と、物体の運動の表し方を理解することができる。
c	②	運動方程式の立て方および解き方と、典型的物体の運動（落体の運動、円運動、単振動、抵抗力を受けている物体の運動）を理解することができる。
c	③	エネルギー保存則と運動量保存則を理解することができる。
g	④	演習及び課題に取り組むことにより、自主的、継続的に学習することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ情報学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点） 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要な、物理量の表し方、ベクトルの概念および表現法について学ぶ。			
2回	テーマ	力	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力の概念、力の合成と分解、力のつり合いについて学ぶ。			
3回	テーマ	運動の表し方Ⅰ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。			
4回	テーマ	運動の表し方Ⅱ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。			
5回	テーマ	運動の法則	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。			
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。			
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。			
8回	テーマ	運動量	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3, 3.4)。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。			
9回	テーマ	等速円運動	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。			
10回	テーマ	中間試験	試験　講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～8.の内容に関する中間試験とまとめ			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	振動	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	振動の運動について学ぶ。			
12回	テーマ	摩擦や抵抗力を受けている物体の運動	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	摩擦や，空気・水の抵抗力について学び、その力を受けている物体の運動について学ぶ。			
13回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。			
14回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。			
15回	テーマ	中間試験／総括	試験 講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成 ／到達目標に達していない部分について理解し、学習すること 「到達度ポートフォリオ」の提出	180 ／60
	内容	学習到達度判定 1.～14.の内容に関する中間試験とまとめ ／1.～15.の内容のまとめ			

科目名	基礎物理学③（１情）	開講学年	1	講義コード	1220503	区分	選択
英文表記	fundamental physics	開講期	前	開講形態		単位数	2

担当教員	上野賢仁　天本徳浩　福島和洋（非常勤）

研究室	F803　F802　本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	上野：木曜5時限、天本：木曜5時限、福島：授業終了後

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	力　運動、運動方程式　仕事　力学的エネルギー　　運動量

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に情報学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。前半では、力学について学ぶ。まず、速度と加速度、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。その上で、身の回りの簡単な運動を、与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。後半では、電気について学ぶ。　具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法、ベクトルの概念および表現法、力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。次に、位置と速度と加速度の関係、運動の法則を理解した上で、直線上の運動、平面上の運動、等速円運動、フックの法則、単振動、抵抗力を受けている物体の運動について学ぶ。さらに、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量とその保存則について学ぶ。

関連科目

1.物理学　2.物理学実験

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルで表わす方法と、物体の運動の表し方を理解することができる。
c	②	運動方程式の立て方および解き方と、典型的物体の運動（落体の運動、円運動、単振動、抵抗力を受けている物体の運動）を理解することができる。
c	③	エネルギー保存則と運動量保存則を理解することができる。
g	④	演習及び課題に取り組むことにより、自主的、継続的に学習することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ情報学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点） 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要な、物理量の表し方、ベクトルの概念および表現法について学ぶ。			
2回	テーマ	力	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力の概念、力の合成と分解、力のつり合いについて学ぶ。			
3回	テーマ	運動の表し方Ⅰ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。			
4回	テーマ	運動の表し方Ⅱ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。			
5回	テーマ	運動の法則	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。			
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。			
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。			
8回	テーマ	運動量	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3, 3.4)。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。			
9回	テーマ	等速円運動	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。			
10回	テーマ	中間試験	試験　講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～8.の内容に関する中間試験とまとめ			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	振動	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	振動の運動について学ぶ。			
12回	テーマ	摩擦や抵抗力を受けている物体の運動	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	摩擦や，空気・水の抵抗力について学び、その力を受けている物体の運動について学ぶ。			
13回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。			
14回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。			
15回	テーマ	中間試験／総括	試験 講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成 ／到達目標に達していない部分について理解し、学習すること 「到達度ポートフォリオ」の提出	180 ／60
	内容	学習到達度判定 1.～14.の内容に関する中間試験とまとめ ／1.～15.の内容のまとめ			

科目名	基礎化学Ⅰ（1機宇）	開講学年	1	講義コード	1221101	区分	選択
英文表記	basic chemistry I	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	関谷 博（非常勤）

研究室	本館1階の非常勤講義室	オフィスアワー	関谷：授業終了後

メールアドレス	@

キーワード	原子の構造　周期律　化学結合　酸と塩基　　高分子

授業概要

私たちの身の回りには、実にさまざまな物質が存在する。海や山や動植物など自然に存在する物質、あるいは、私たちの生活を豊かにする人工の物質など、いろいろある。化学はこれらの物質の性質、構造および物質間の反応を対象とした学問であり、身の回りのすべての物質が化学の教材となる。 この講義では化学を専攻しない学生にも化学の基礎を理解してもらい、その上で日常生活と化学のさまざまな接点を概説する。題材として生活に関係した物質や現象をできるだけ多くとりあげ、これらは化学的な見地からはどのようになっているのかを解説する。この講義を通して、化学の視点から日常生活から先端工学や環境問題を理解し、興味を持つようになってもらいたい。なお、この科目は学士過程共通の学習効果との対応に該当した科目である。

関連科目

地学、基礎物理学、物理学Iなど（連携科目）、化学II（発展科目）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c, g	c, g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	講義でとり上げる工学や環境関するテーマについて、化学の考え方で理解することができる。
g	②	小テスト、復習問題、課題に積極的に取り組むことによって、学習意欲と集中力を養うことができる。
	③	無遅刻、無欠席の習慣を身に付けることができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	20	0	0	10	0	100

教科書

物質の基礎としての化学入門　学術出版社　千葉工業大学教育センター化学教室　978-4-7806-0323-1

参考書

化学基礎　学術出版社　杉田雅美、吉田結城、田村嘉廣　978-4-7806-0547-1

予備知識	高校で学んだ化学をさらに深めた「化学の基礎」を学ぶことで、原子、分子の構造や結合について理解できるようになるとともに、無機材料、有機材料の合成、反応、分析、評価法に関する基礎的な考察ができるようになる。また、工学や環境問題について、化学の基礎用語を用いて説明ができるようになる知識を習得する。日々、新聞やサイエンス雑誌などに興味を持って接しておくことが大事。
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	(1) 中間試験、定期試験を行う。 (2) 授業中に演習あるいはレポート作成を実施し、理解度を確認する。 (3) 単元ごとに課題を課し、適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	本講義では、必要に応じて資料を配布する。高校までの「化学」の知識は特に必要ないが、講義内容をしっかり習得するように努めること。教科書は用いないので、必ずノートを取ること。また、ビデオ視聴に関しては講義中にレポートを作成し提出する（レポート用紙を持参すること）。板書やスライドのカメラ撮影は禁止する。授業中の私語は、他の受講者に迷惑となるので厳禁。毎回復習を講義時間外に行い、次回の講義中の復習問題で理解度を確認する。なお教員の事情により、学習内容順が前後することがある。講義内容の順番については、初回に説明する。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	原子の構造	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（周期表）の予習をする。	60
	内容	オリエンテーション、原子を構成する粒子、原子の表し方、同位体			
2回	テーマ	周期表	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（電子殻と電子構造）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、電子の配置と周期律、物質の表し方（化学式）			
3回	テーマ	電子殻と原子構造	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（原子軌道への電子の収容）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、電子殻、電子軌道			
4回	テーマ	原子軌道への電子の収容	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（電子配置と周期表の関係）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、原子軌道への電子の配置、多電子原子の電子配置			
5回	テーマ	電子配置と周期表の関係	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（イオン結合と金属結合）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、電子配置と原子の性質、イオン化エネルギーと電子親和力、電気陰性度			
6回	テーマ	化学結合Ⅰ	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（共有結合）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、イオン結合、金属結合、イオン結晶と金属結晶の構造			
7回	テーマ	化学結合Ⅱ	講義	1回から7回までの授業の復習をする。	60
	内容	前回の復習、共有結合の考え方、電子式と構造式			
8回	テーマ	中間試験と授業のまとめ	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（混成軌道）の予習をする。	60
	内容	試験と1回から7回までの授業のまとめ			
9回	テーマ	混成軌道	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（分子間力と水素結合）の予習をする。	60
	内容	中間試験問題の解説、sp3、sp2、sp混成軌道と分子構造、共有結合結晶			
10回	テーマ	分子間力と水素結合	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（物質の変化と化学反応式）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、分子の極性、分子間力、水素結合			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	物質の変化と化学反応式	講義	与えられた課題に取り組み次の授業（酸・塩基と中和反応）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、化学反応式とその書き方、化学反応式が表す意味、化学量論			
12回	テーマ	酸・塩基と中和反応	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（水溶液の性質）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、酸と塩基、電離度と酸塩基の強弱、水の電離と水のイオン積			
13回	テーマ	水溶液の性質	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（高分子）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、水素イオン指数pH、酸塩基の中和			
14回	テーマ	高分子	講義	1回から14回までの授業の復習をする。	60
	内容	前回の復習、合成高分子と天然高分子			
15回	テーマ	定期試験　／講義の総括	試験　／講義	定期試験の問題を解き直して授業にのぞむこと。	60
	内容	試験　／授業の総括と定期試験問題の解説			

科目名	基礎化学Ｉ（１建情）	開講学年	1	講義コード	1221201	区分	選択
英文表記	basic chemistry I	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	関谷 博（非常勤）

研究室	本館１階の非常勤講義室	オフィスアワー	関谷：授業終了後

メールアドレス	@

キーワード	原子の構造　周期律　化学結合　酸と塩基　　高分子

授業概要

私たちの身の回りには、実にさまざまな物質が存在する。海や山や動植物など自然に存在する物質、あるいは、私たちの生活を豊かにする人工の物質など、いろいろある。化学はこれらの物質の性質、構造および物質間の反応を対象とした学問であり、身の回りのすべての物質が化学の教材となる。 この講義では化学を専攻しない学生にも化学の基礎を理解してもらい、その上で日常生活と化学のさまざまな接点を概説する。題材として生活に関係した物質や現象をできるだけ多くとりあげ、これらは化学的な見地からはどのようになっているのかを解説する。この講義を通して、化学の視点から日常生活から先端工学や環境問題を理解し、興味を持つようになってもらいたい。なお、この科目は学士過程共通の学習効果との対応に該当した科目である。

関連科目

地学、基礎物理学、物理学Iなど（連携科目）、化学II（発展科目）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c, g	c, g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	講義でとり上げる工学や環境関するテーマについて、化学の考え方で理解することができる。
g	②	小テスト、復習問題、課題に積極的に取り組むことによって、学習意欲と集中力を養うことができる。
	③	無遅刻、無欠席の習慣を身に付けることができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	20	0	0	10	0	100

教科書

物質の基礎としての化学入門　学術出版社　千葉工業大学教育センター化学教室　　978-4-7806-0323-1

参考書

化学基礎　学術出版社　杉田雅美、吉田結城、田村嘉廣　　978-4-7806-0547-1

予備知識	高校で学んだ化学をさらに深めた「化学の基礎」を学ぶことで、原子、分子の構造や結合について理解できるようになるとともに、無機材料、有機材料の合成、反応、分析、評価法に関する基礎的な考察ができるようになる。また、工学や環境問題について、化学の基礎用語を用いて説明ができるようになる知識を習得する。日々、新聞やサイエンス雑誌などに興味を持って接しておくことが大事。
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	(1) 中間試験、定期試験を行う。 (2) 授業中に演習あるいはレポート作成を実施し、理解度を確認する。 (3) 単元ごとに課題を課し、適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	本講義では、必要に応じて資料を配布する。高校までの「化学」の知識は特に必要ないが、講義内容をしっかり習得するように努めること。教科書は用いないので、必ずノートを取ること。また、ビデオ視聴に関しては講義中にレポートを作成し提出する（レポート用紙を持参すること）。板書やスライドのカメラ撮影は禁止する。授業中の私語は、他の受講者に迷惑となるので厳禁。毎回復習を講義時間外に行い、次回の講義中の復習問題で理解度を確認する。なお教員の事情により、学習内容順が前後することがある。講義内容の順番については、初回に説明する。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	原子の構造	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（周期表）の予習をする。	60
	内容	オリエンテーション、原子を構成する粒子、原子の表し方、同位体			
2回	テーマ	周期表	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（電子殻と電子構造）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、電子の配置と周期律、物質の表し方（化学式）			
3回	テーマ	電子殻と原子構造	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（原子軌道への電子の収容）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、電子殻、電子軌道			
4回	テーマ	原子軌道への電子の収容	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（電子配置と周期表の関係）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、原子軌道への電子の配置、多電子原子の電子配置			
5回	テーマ	電子配置と周期表の関係	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（イオン結合と金属結合）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、電子配置と原子の性質、イオン化エネルギーと電子親和力、電気陰性度			
6回	テーマ	化学結合Ⅰ	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（共有結合）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、イオン結合、金属結合、イオン結晶と金属結晶の構造			
7回	テーマ	化学結合Ⅱ	講義	1回から7回までの授業の復習をする。	60
	内容	前回の復習、共有結合の考え方、電子式と構造式			
8回	テーマ	中間試験と授業のまとめ	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（混成軌道）の予習をする。	60
	内容	試験と1回から7回までの授業のまとめ			
9回	テーマ	混成軌道	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（分子間力と水素結合）の予習をする。	60
	内容	中間試験問題の解説、sp3、sp2、sp混成軌道と分子構造、共有結合結晶			
10回	テーマ	分子間力と水素結合	講義	与えられた課題に取り組み、次の授業（物質の変化と化学反応式）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、分子の極性、分子間力、水素結合			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	物質の変化と化学反応式	講義	与えられた課題に取り組み次の授業(酸･塩基と中和反応)の予習をする。	60
	内容	前回の復習､化学反応式とその書き方､化学反応式が表す意味､化学量論			
12回	テーマ	酸･塩基と中和反応	講義	与えられた課題に取り組み､次の授業(水溶液の性質)の予習をする。	60
	内容	前回の復習､酸と塩基､電離度と酸塩基の強弱､水の電離と水のイオン積			
13回	テーマ	水溶液の性質	講義	与えられた課題に取り組み､次の授業(高分子)の予習をする。	60
	内容	前回の復習､水素イオン指数pH､酸塩基の中和			
14回	テーマ	高分子	講義	1回から14回までの授業の復習をする。	60
	内容	前回の復習､合成高分子と天然高分子			
15回	テーマ	定期試験 ／講義の総括	試験 ／講義	定期試験の問題を解き直して授業にのぞむこと。	60
	内容	試験 ／授業の総括と定期試験問題の解説			

科目名	薬学基礎物理学◎Ａ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1221401	区分	必修
英文表記	pharmaceutical physics	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	福島 和洋（非常勤）　町田 光男　天本 徳浩

研究室	本館１階 非常勤講師室　F702　F802	オフィスアワー	福島：授業終了後、町田：木曜5時限、天本：木曜5時限

メールアドレス	fksm@kumamoto-u.ac.jp

キーワード	音波と光波　電気と磁気　運動　仕事とエネルギー

授業概要	薬学は色々な学問から成り立っており、物理学もその1つとして重要である。高校で物理を履修していない学生、あるいは高校の物理学に関する知識や理解度が十分でない学生などを念頭において、薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基礎的事項を解説するとともに、本科目と並行して行われる薬学基礎物理学演習を通してそれらの知識が確実に身に付くようにする。

関連科目
薬学基礎物理学演習

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c,g	①	薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基本的知識を修得することができる。
c	②	物理学の基礎知識を修得することで薬学の専門科目（例えば物理化学Ⅰ,Ⅱなど）にスムーズに取り組むことができる。
c,g	③	授業に積極的に取り組むことによって、学習意欲と集中力を養うことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	25	0	0	0	5	0	100

教科書	薬学の基礎としての物理　学術図書出版社　大林康二 他 著

参考書	授業中に指示する

予備知識	1.高校の数学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ薬学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学、波、電磁気学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を行う。（70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（25点）　3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（5点）　4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本概念	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(1章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理量、スカラー量とベクトル量、有効数字			
2回	テーマ	運動の法則	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力、力のつり合い、摩擦力			
3回	テーマ	運動の法則	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4-9)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	速さと速度、加速度、加速度運動、力と運動、ニュートンの運動の法則、落体の運動			
4回	テーマ	エネルギー	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1-2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事、位置エネルギー、運動エネルギー、力学的エネルギーの保存則			
5回	テーマ	波動	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波の表し方、波の重ね合わせ、回折、波の伝わり方、音波、光波			
6回	テーマ	電荷と電流	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷・電場・電位、電流と抵抗、直流回路			
7回	テーマ	電場と磁場	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と磁場			
8回	テーマ	学習到達度判定	講義、試験	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成・提出	180
	内容	1.～7.のまとめと試験			

科目名	薬学基礎物理学◎Ｂ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1221402	区分	必修
英文表記	pharmaceutical physics	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	福島 和洋（非常勤）　町田 光男　天本 徳浩

研究室	本館１階 非常勤講師室　F702　F802	オフィスアワー	福島：授業終了後、町田：木曜5時限、天本：木曜5時限

メールアドレス	fksm@kumamoto-u.ac.jp

キーワード	音波と光波　電気と磁気　運動　仕事とエネルギー

授業概要	薬学は色々な学問から成り立っており、物理学もその1つとして重要である。高校で物理を履修していない学生、あるいは高校の物理学に関する知識や理解度が十分でない学生などを念頭において、薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基礎的事項を解説するとともに、本科目と並行して行われる薬学基礎物理学演習を通してそれらの知識が確実に身に付くようにする。

関連科目
薬学基礎物理学演習

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c,g	①	薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基本的知識を修得することができる。
c	②	物理学の基礎知識を修得することで薬学の専門科目（例えば物理化学Ⅰ,Ⅱなど）にスムーズに取り組むことができる。
c,g	③	授業に積極的に取り組むことによって、学習意欲と集中力を養うことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	25	0	0	0	5	0	100

教科書	薬学の基礎としての物理　学術図書出版社　大林康二 他 著

参考書	授業中に指示する

予備知識	1.高校の数学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ薬学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学、波、電磁気学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を行う。（70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（25点）　3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（5点）　4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本概念	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(1章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理量、スカラー量とベクトル量、有効数字			
2回	テーマ	運動の法則	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力、力のつり合い、摩擦力			
3回	テーマ	運動の法則	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4-9)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	速さと速度、加速度、加速度運動、力と運動、ニュートンの運動の法則、落体の運動			
4回	テーマ	エネルギー	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1-2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事、位置エネルギー、運動エネルギー、力学的エネルギーの保存則			
5回	テーマ	波動	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波の表し方、波の重ね合わせ、回折、波の伝わり方、音波、光波			
6回	テーマ	電荷と電流	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷・電場・電位、電流と抵抗、直流回路			
7回	テーマ	電場と磁場	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と磁場			
8回	テーマ	学習到達度判定	講義、試験	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成・提出	180
	内容	1.～7.のまとめと試験			

科目名	薬学基礎物理学◎C（１薬）	開講学年	1	講義コード	1221403	区分	必修
英文表記	pharmaceutical physics	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	福島 和洋（非常勤）　町田 光男　天本 徳浩
研究室	本館１階 非常勤講師室　F702　F802
オフィスアワー	福島：授業終了後、町田：木曜5時限、天本：木曜5時限
メールアドレス	fksm@kumamoto-u.ac.jp
キーワード	音波と光波　電気と磁気　運動　仕事とエネルギー

授業概要

薬学は色々な学問から成り立っており、物理学もその1つとして重要である。高校で物理を履修していない学生、あるいは高校の物理学に関する知識や理解度が十分でない学生などを念頭において、薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基礎的事項を解説するとともに、本科目と並行して行われる薬学基礎物理学演習を通してそれらの知識が確実に身に付くようにする。

関連科目

薬学基礎物理学演習

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c,g	①	薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基本的知識を修得することができる。
c	②	物理学の基礎知識を修得することで薬学の専門科目（例えば物理化学Ⅰ,Ⅱなど）にスムーズに取り組むことができる。
c,g	③	授業に積極的に取り組むことによって、学習意欲と集中力を養うことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	25	0	0	0	5	0	100

教科書

薬学の基礎としての物理　学術図書出版社　大林康二 他 著

参考書

授業中に指示する

予備知識	1.高校の数学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ薬学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学、波、電磁気学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を行う。（70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（25点）　3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（5点）　4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本概念	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(1章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理量、スカラー量とベクトル量、有効数字			
2回	テーマ	運動の法則	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力、力のつり合い、摩擦力			
3回	テーマ	運動の法則	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4-9)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	速さと速度、加速度、加速度運動、力と運動、ニュートンの運動の法則、落体の運動			
4回	テーマ	エネルギー	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1-2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事、位置エネルギー、運動エネルギー、力学的エネルギーの保存則			
5回	テーマ	波動	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波の表し方、波の重ね合わせ、回折、波の伝わり方、音波、光波			
6回	テーマ	電荷と電流	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷・電場・電位、電流と抵抗、直流回路			
7回	テーマ	電場と磁場	講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と磁場			
8回	テーマ	学習到達度判定	講義、試験	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成・提出	180
	内容	1.～7.のまとめと試験			

科目名	薬学基礎物理学演習◎Ａ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1221501	区分	必修
英文表記	pharmaceutical physics exercises	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	福島 和洋（非常勤）　町田 光男　天本 徳浩

研究室	本館１階 非常勤講師室　F702　F802	オフィスアワー	福島：授業終了後、町田：木曜5時限、天本：木曜5時限

メールアドレス	fksm@kumamoto-u.ac.jp

キーワード	音波と光波　電気と磁気　運動　仕事とエネルギー

授業概要	薬学は色々な学問から成り立っており、物理学もその1つとして重要である。高校で物理学を履修していない学生、あるいは高校の物理学に関する知識や理解度が十分でない学生などを念頭において、薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基礎的事項について、本科目と並行して行われる薬学基礎物理学で学ぶ知識が確実に身に付くように演習を行なう。

関連科目
薬学基礎物理学

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c,g	①	薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基本的知識を修得することができる。
c	②	物理学の基礎知識を修得することで薬学の専門科目（例えば物理化学Ⅰ,Ⅱなど）にスムーズに取り組むことができる。
c,g	③	授業に積極的に取り組むことによって、学習意欲と集中力を養うことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	35	35	25	0	0	0	5	0	100

教科書	薬学の基礎としての物理　学術図書出版社　大林康二 他 著

参考書	授業中に指示する

予備知識	1.高校の数学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ薬学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学、波、電磁気学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（25点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（5点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本概念	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(1章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理量、スカラー量とベクトル量、有効数字			
2回	テーマ	運動の法則	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力、力のつり合い、摩擦力			
3回	テーマ	運動の法則	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4-6)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	速さと速度、加速度、加速度運動			
4回	テーマ	運動の法則	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.7-9)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力と運動、ニュートンの運動の法則、落体の運動			
5回	テーマ	エネルギー	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事			
6回	テーマ	エネルギー	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置エネルギー、運動エネルギー			
7回	テーマ	エネルギー	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則			
8回	テーマ	学習到達度判定	試験	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめを行う。			
9回	テーマ	波動	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 4.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波の表し方、波の重ね合わせ、回折、波の伝わり方			
10回	テーマ	波動	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 4.4-5)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	音波、光波			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	電荷と電流	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷･電場･電位			
12回	テーマ	電荷と電流	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と抵抗			
13回	テーマ	電荷と電流	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直流回路			
14回	テーマ	電場と磁場	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と磁場Ⅰ			
15回	テーマ	電場と磁場　／学習到達度判定	演習　／試験、講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。／試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成･提出	60　／　180
	内容	電流と磁場Ⅱ　／試験と総括			

科目名	薬学基礎物理学演習◎Ｂ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1221502	区分	必修
英文表記	pharmaceutical physics exercises	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	福島 和洋（非常勤）　町田 光男　天本 徳浩
研究室	本館１階 非常勤講師室　F702　F802
オフィスアワー	福島：授業終了後、町田：木曜5時限、天本：木曜5時限
メールアドレス	fksm@kumamoto-u.ac.jp
キーワード	音波と光波　電気と磁気　運動　仕事とエネルギー

授業概要

薬学は色々な学問から成り立っており、物理学もその1つとして重要である。高校で物理学を履修していない学生、あるいは高校の物理学に関する知識や理解度が十分でない学生などを念頭において、薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基礎的事項について、本科目と並行して行われる薬学基礎物理学で学ぶ知識が確実に身に付くように演習を行なう。

関連科目

薬学基礎物理学

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c,g	①	薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基本的知識を修得することができる。
c	②	物理学の基礎知識を修得することで薬学の専門科目（例えば物理化学Ⅰ,Ⅱなど）にスムーズに取り組むことができる。
c,g	③	授業に積極的に取り組むことによって、学習意欲と集中力を養うことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	35	35	25	0	0	0	5	0	100

教科書	薬学の基礎としての物理　学術図書出版社　大林康二 他 著
参考書	授業中に指示する

予備知識	1.高校の数学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ薬学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学、波、電磁気学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（25点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（5点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本概念	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(1章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理量、スカラー量とベクトル量、有効数字			
2回	テーマ	運動の法則	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力、力のつり合い、摩擦力			
3回	テーマ	運動の法則	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4-6)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	速さと速度、加速度、加速度運動			
4回	テーマ	運動の法則	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.7-9)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力と運動、ニュートンの運動の法則、落体の運動			
5回	テーマ	エネルギー	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事			
6回	テーマ	エネルギー	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置エネルギー、運動エネルギー			
7回	テーマ	エネルギー	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則			
8回	テーマ	学習到達度判定	試験	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめを行う。			
9回	テーマ	波動	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 4.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波の表し方、波の重ね合わせ、回折、波の伝わり方			
10回	テーマ	波動	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 4.4-5)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	音波、光波			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	電荷と電流	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷･電場･電位			
12回	テーマ	電荷と電流	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と抵抗			
13回	テーマ	電荷と電流	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直流回路			
14回	テーマ	電場と磁場	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と磁場Ⅰ			
15回	テーマ	電場と磁場　／学習到達度判定	演習　／試験、講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。／試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成･提出	60　／　180
	内容	電流と磁場Ⅱ　／試験と総括			

科目名	薬学基礎物理学演習◎C（1薬）	開講学年	1	講義コード	1221503	区分	必修
英文表記	pharmaceutical physics exercises	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	福島 和洋（非常勤）　町田 光男　天本 徳浩

研究室	本館1階 非常勤講師室　F702　F802	オフィスアワー	福島：授業終了後、町田：木曜5時限、天本：木曜5時限

メールアドレス	fksm@kumamoto-u.ac.jp

キーワード	音波と光波　電気と磁気　運動　仕事とエネルギー

授業概要	薬学は色々な学問から成り立っており、物理学もその1つとして重要である。高校で物理学を履修していない学生、あるいは高校の物理学に関する知識や理解度が十分でない学生などを念頭において、薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基礎的事項について、本科目と並行して行われる薬学基礎物理学で学ぶ知識が確実に身に付くように演習を行なう。

関連科目
薬学基礎物理学

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c,g	①	薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基本的知識を修得することができる。
c	②	物理学の基礎知識を修得することで薬学の専門科目（例えば物理化学Ⅰ,Ⅱなど）にスムーズに取り組むことができる。
c,g	③	授業に積極的に取り組むことによって、学習意欲と集中力を養うことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	35	35	25	0	0	0	5	0	100

教科書	薬学の基礎としての物理　学術図書出版社　大林康二 他 著

参考書	授業中に指示する

予備知識	1.高校の数学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ薬学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学、波、電磁気学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（25点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（5点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本概念	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(1章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理量、スカラー量とベクトル量、有効数字			
2回	テーマ	運動の法則	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力、力のつり合い、摩擦力			
3回	テーマ	運動の法則	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4-6)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	速さと速度、加速度、加速度運動			
4回	テーマ	運動の法則	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.7-9)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力と運動、ニュートンの運動の法則、落体の運動			
5回	テーマ	エネルギー	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事			
6回	テーマ	エネルギー	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置エネルギー、運動エネルギー			
7回	テーマ	エネルギー	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則			
8回	テーマ	学習到達度判定	試験	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめを行う。			
9回	テーマ	波動	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 4.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波の表し方、波の重ね合わせ、回折、波の伝わり方			
10回	テーマ	波動	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 4.4-5)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	音波、光波			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	電荷と電流	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷･電場･電位			
12回	テーマ	電荷と電流	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と抵抗			
13回	テーマ	電荷と電流	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直流回路			
14回	テーマ	電場と磁場	演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と磁場Ⅰ			
15回	テーマ	電場と磁場　／学習到達度判定	演習／試験、講義	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。／試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成･提出	60／180
	内容	電流と磁場Ⅱ／試験と総括			

科目名	物理学実験（２ナ微生）	開講学年	2	講義コード	1221601	区分	必修
英文表記	physics Laboratory	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	上野賢仁　町田光男　天本徳浩

研究室	F803　F702　F802	オフィスアワー	実験終了後

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	重力加速度　比熱　剛性率、ヤング率　光の波長　　オームの法則

授業概要	物理学実験は、今後、経験するであろう卒業研究や様々な応用実験の前に必ずやっておかねばならない学習実験である。即ち、研究実験と異なり結果が分かっている実験なので逆に、基礎的実験器具類の取り扱い方を習熟することができる。また、測定で得られたデータの処理法、特に得られた物理量の精度及び有効数字の取り扱い方を学び、技術者として必要な真摯な心構えを身に付ける。そして、論文（レポート）も分かりやすく簡潔で丁寧な書き方を目指す。 最初に、実験の目的、実施方法、レポートの書き方、注意事項について講義し、実験で必要となるノギス、マイクロメーターの取り扱い、計測方法、測定誤差・精度について習熟する。実験では、単振り子による重力加速度の大きさの測定、水熱量計を用いた金属の比熱測定、サールの装置を用いた針金のヤング率測定、回折格子を用いた光の波長測定、オームの法則と半導体の電気抵抗の温度依存を調べる実験、光電効果によるプランク定数の測定を行う。また、隔週で実施する演習では、有効数字と四則演算、物理量の単位、誤差と正規分布、最小二乗法について学び、発表を行う。	関連科目：1.基礎物理学　2.物理学

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・中学校 必修 高等学校 選択 【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校 理科）【各科目に含めることが必要な事項】・・・物理学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む。）

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量の精度及び有効数字の取り扱い方を学び理解することができる。
f	②	レポートの作成等を通して論理的な記述力と発表能力を身に付けることができる。
g	③	各人が自身で物理学実験を行うことにより、真摯な心構えを身に付けることができる。
i	④	共同研究者と協力して取り組むことにより、チームで仕事をする姿勢を身に付けることができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	45	45	0	10	0	100

教科書	物理学実験　　崇城大学物理学教室

参考書	基礎物理学　学術図書出版　原 康夫　9784-7806-0300-2 理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　978-4-7806-0637-9

予備知識	1.基礎物理学 2.物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　工学は物理学を基礎として成り立っており、建築学、宇宙航空システム工学を学ぶ学生にとって力学は基礎科目として必須である。この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ建築学、宇宙航空システム工学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学、波、熱力学、電磁気学、原子物理学）の基礎知識を修得し、専門課程における「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.実験、レポートを評価する。（45点） 2.演習では、多方面から評価するので、「演習の課題」、「プレゼンテーション」等で評価する。（45点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出する。（10点） 4.予定された実験を全て行い、レポートを提出すること。（やむを得ない事情で欠席した場合は追実験を実施する。） レポート等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.班編成を行うので、班によって実験項目の順番が入れ替わることがある。 2.受講者数によっては、実験室の収容人数の都合上、実験項目を一部変更することがある。 3.各自、実験ノートを用意すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	説明	講義	【予習】基礎物理学・物理学で学んだことを整理し、テキストの該当箇所をよく読む（Ⅰ.）。【復習】説明された内容をよく理解する 。	60
	内容	実験の目的、実施方法、レポートの書き方、注意事項、安全に実験を行うための注意			
2回	テーマ	ノギス・マイクロメーター	実験	【予習】テキストの該当箇所をよく読む（Ⅱ.1.）。【復習】使い方をよく理解する。	60
	内容	ノギス、マイクロメーターの取り扱い、計測方法、測定誤差・精度			
3回	テーマ	演習	演習	【予習】テキストの該当箇所をよく読む（Ⅰ.5.）。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	有効数字と四則演算			
4回	テーマ	単振り子による重力加速度の大きさの測定	実験	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.2.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	単振り子を用いて重力加速度の大きさを測定する。			
5回	テーマ	演習	演習	【予習】テキストの該当箇所をよく読む（Ⅰ.5.）。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	物理量の単位			
6回	テーマ	比熱の測定	実験	【予習】テキストの前半部分を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.5.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	氷熱量計を用いて鉄、銅及び真鍮の比熱を求める。			
7回	テーマ	演習	演習	【予習】テキストの該当箇所をよく読む（Ⅰ.4.）。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	誤差と正規分布			
8回	テーマ	伸びによるヤング率の測定	実験	【予習】テキストの前半部分を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.6.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	サールの装置を用いて針金のヤング率を測定する。			
9回	テーマ	演習	演習	【予習】テキストの該当箇所をよく読む（Ⅰ.6.）。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	最小二乗法			
10回	テーマ	光の波長測定	実験	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.10.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	回折格子を用いて半導体レーザー光の波長を求める。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	演習	演習　SGD	【予習】行った実験について調べる。【復習】演習を踏まえて調べたことを整理する。	60
	内容	発表準備			
12回	テーマ	オームの法則／サーミスタ抵抗	実験	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく(Ⅱ.11.12.)。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	オームの法則、半導体の電気抵抗の温度依存を調べる。			
13回	テーマ	演習	演習　SGD	【予習】行った実験について調べる。【復習】演習を踏まえて調べたことを整理する。	60
	内容	発表準備			
14回	テーマ	光電効果によるプランク定数の測定	実験	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	光電効果の測定によりプランク定数を求める。			
15回	テーマ	演習	演習　SGD	【予習】行った実験について調べる。【復習】発表を振り返り、考えを整理する。「到達度ポートフォリオ」の作成、提出する。	60
	内容	発表			

科目名	物理学実験（２建操・２シス◎）	開講学年 2	講義コード 1221701	区分 必修
英文表記	physics Laboratory	開講期 前期	開講形態	単位数 2

担当教員	上野賢仁　町田光男　池田達裕（非常勤）
研究室	F803　F702　本館1階 非常勤講師室(またはF703)
オフィスアワー	実験終了後
メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	重力加速度　比熱　剛性率、ヤング率　光の波長　　オームの法則

授業概要

物理学実験は、今後、経験するであろう卒業研究や様々な応用実験の前に必ずやっておかねばならない学習実験である。即ち、研究実験と異なり結果が分かっている実験なので逆に、基礎的実験器具類の取り扱い方を習熟することができる。また、測定で得られたデータの処理法、特に得られた物理量の精度及び有効数字の取り扱い方を学び、技術者として必要な真摯な心構えを身に付ける。そして、論文（レポート）も分かりやすく簡潔で丁寧な書き方を目指す。　最初に、実験の目的、実施方法、レポートの書き方、注意事項について講義し、実験で必要となるノギス、マイクロメーターの取り扱い、計測方法、測定誤差・精度について習熟する。実験では、単振り子による重力加速度の大きさの測定、水熱量計を用いた金属の比熱測定、サールの装置を用いた針金のヤング率測定、回折格子を用いた光の波長測定、オームの法則と半導体の電気抵抗の温度依存を調べる実験、光電効果によるプランク定数の測定を行う。また、隔週で実施する演習では、有効数字と四則演算、物理量の単位、誤差と正規分布、最小二乗法について学び、発表を行う。

関連科目

1.基礎物理学　2.物理学

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g,i	c,f,g,i

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量の精度及び有効数字の取り扱い方を学び理解することができる。
f	②	レポートの作成等を通して論理的な記述力と発表能力を身に付けることができる。
g	③	各人が自身で物理学実験を行うことにより、真摯な心構えを身に付けることができる。
i	④	共同研究者と協力して取り組むことにより、チームで仕事をする姿勢を身に付けることができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	45	45	0	10	0	100

教科書

物理学実験　　崇城大学物理学教室

参考書

基礎物理学　学術図書出版　原 康夫　9784-7806-0300-2
理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　978-4-7806-0637-9

予備知識	1.基礎物理学 2.物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　工学は物理学を基礎として成り立っており、建築学、宇宙航空システム工学を学ぶ学生にとって力学は基礎科目として必須である。この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ建築学、宇宙航空システム工学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学、波、熱力学、電磁気学、原子物理学）の基礎知識を修得し、専門課程における「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.実験、レポートを評価する。（45点） 2.演習では、多方面から評価するので、「演習の課題」、「プレゼンテーション」等で評価する。（45点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出する。（10点） 4.予定された実験を全て行い、レポートを提出すること。（やむを得ない事情で欠席した場合は追実験を実施する。） レポート等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.班編成を行うので、班によって実験項目の順番が入れ替わることがある。 2.受講者数によっては、実験室の収容人数の都合上、実験項目を一部変更することがある。 3.各自、実験ノートを用意すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	説明	講義	【予習】基礎物理学・物理学で学んだことを整理し、テキストの該当箇所をよく読む（Ⅰ.）。【復習】説明された内容をよく理解する 。	60
	内容	実験の目的、実施方法、レポートの書き方、注意事項、安全に実験を行うための注意			
2回	テーマ	ノギス・マイクロメーター	実験	【予習】テキストの該当箇所をよく読む（Ⅱ.1.）。【復習】使い方をよく理解する。	60
	内容	ノギス、マイクロメーターの取り扱い、計測方法、測定誤差・精度			
3回	テーマ	演習	演習	【予習】テキストの該当箇所をよく読む（Ⅰ.5.）。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	有効数字と四則演算			
4回	テーマ	単振り子による重力加速度の大きさの測定	実験	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.2.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	単振り子を用いて重力加速度の大きさを測定する。			
5回	テーマ	演習	演習	【予習】テキストの該当箇所をよく読む（Ⅰ.5.）。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	物理量の単位			
6回	テーマ	比熱の測定	実験	【予習】テキストの前半部分を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.5.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	氷熱量計を用いて鉄、銅及び真鍮の比熱を求める。			
7回	テーマ	演習	演習	【予習】テキストの該当箇所をよく読む（Ⅰ.4.）。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	誤差と正規分布			
8回	テーマ	伸びによるヤング率の測定	実験	【予習】テキストの前半部分を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.6.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	サールの装置を用いて針金のヤング率を測定する。			
9回	テーマ	演習	演習	【予習】テキストの該当箇所をよく読む（Ⅰ.6.）。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	最小二乗法			
10回	テーマ	光の波長測定	実験	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.10.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	回折格子を用いて半導体レーザー光の波長を求める。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	演習	演習　SGD	【予習】行った実験について調べる。【復習】演習を踏まえて調べたことを整理する。	60
	内容	発表準備			
12回	テーマ	オームの法則／サーミスタ抵抗	実験	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく(Ⅱ.11.12.)。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	オームの法則、半導体の電気抵抗の温度依存を調べる。			
13回	テーマ	演習	演習　SGD	【予習】行った実験について調べる。【復習】演習を踏まえて調べたことを整理する。	60
	内容	発表準備			
14回	テーマ	光電効果によるプランク定数の測定	実験	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	光電効果の測定によりプランク定数を求める。			
15回	テーマ	演習	演習　SGD	【予習】行った実験について調べる。【復習】発表を振り返り、考えを整理する。「到達度ポートフォリオ」の作成、提出する。	60
	内容	発表			

科目名	薬学基礎化学◎（１薬）	開講学年 1	講義コード 1230101	区分 必修
英文表記	Chemistry for Pharmacy Students	開講期 前期前半	開講形態	単位数 1
担当教員	下野 和実　杉浦 正晴　寒水 壽朗			
研究室	PH326（下野和実）　PH425（杉浦正晴）　PH422（寒水壽朗）		オフィスアワー	時間が許す限り午後はいつでも対応
メールアドレス	kshimono@m.sojo-u.ac.jp			
キーワード	化学　リメディアル			

授業概要

高校化学に対する理解度が十分でない学生を念頭に、薬学を学ぶ上で必須となる化学の基礎的事項を解説する。本科目と並行して行われる「薬学基礎化学演習」の授業と連携しながら、基本的な知識を確実に習得することを目標とする。試験・小テスト等に対する学生へのフィードバックは、授業中に適宜行う。

関連科目

薬学基礎化学演習

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	本科目を通して理解できたり、思ったりしたことを簡潔にまとめることができる。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	45	45	0	5	0	0	5	0	100

教科書

随時、授業にて指定する。

参考書

高等学校で使用した「基礎化学」および「化学」の教科書

予備知識	
DP との 関連	本科目は以下のDPおよび学習アウトカムに対応する。なお、別途配布カリキュラムマップをあわせて参照すること。（DP）薬剤師としての高度な知識を修得したもの（アウトカム）医薬品・生体に関する基本的な知識に基づき、薬学・医療関係における問題点の思索・解決能力と自発的な学習態度を身につける（有機化学・生薬学などの知識・技能を段階的に身につける）。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	2回の平常試験の結果と宿題課題評価を基本とし、授業態度等を加味して総合的に評価する。

学修上の注意 (SBOs)	本科目は薬学基礎化学演習と連動している。講義後は配布される宿題を解いて提出すること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。　到達度目標　コアカリ記号　1．単位と有効数字について説明できる。　大学独自1　2．原子量、分子量、物質量を説明できる。　大学独自2　3．溶液の濃度計算と調製ができる。(技能)　大学独自3　4．質量保存の法則について説明できる。　大学独自4　5．酸と塩基の基本的な性質および強弱の指標を説明できる。　大学独自5　6．弱酸・弱塩基の水溶液のpHが計算できる。　大学独自6　7．酸化と還元について電子の授受を含めて説明できる。　大学独自7　8．pHおよび解離定数について説明できる。　C2(2)-①- 2　9．代表的な化合物の名称と構造を列挙できる。　大学独自8　10．代表的な化合物をIUPAC規則に基づいて命名することができる。　C3(1)-①-1　11．薬学領域で用いられる代表的な化合物を慣用名で記述できる。　C3(1)-①- 2　12．構造異性体と立体異性体の違いについて説明できる。　C3(1)-②- 1　13．エタン、ブタンの立体配座とその安定性について説明できる。　C3(1)-②- 8　14．代表的な官能基を列挙し、性質を説明できる。　C3(3)-①- 1　15．代表的な生体高分子を構成する小分子（アミノ酸、糖、脂質、ヌクレオチドなど）の構造に基づく化学的性質を説明できる。　C4(2)-①- 1　16．医薬品の標的となる生体高分子（タンパク質、核酸など）の立体構造とそれを規定する化学結合、相互作用について説明できる。[C4(1)-1-2]　C4(2)-①- 2　17．リン化合物（リン酸誘導体など）および硫黄化合物（チオール、ジスルフィド、チオエステルなど）の構造と化学的性質を説明できる。　C4(2)-①- 1　18．リン化合物（リン酸誘導体など）および硫黄化合物（チオール、ジスルフィド、チオエステルなど）の生体内での機能を化学的性質に基づき説明できる。　C4(2)-①- 2　19．代表的な医薬品の働きと、その科学的な合成方法を説明できる。　大学独自9

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	溶液の濃度	講義・演習	（予習）基礎化学の教科書の1、2章を事前に読み、（復習）宿題の解答を作成すること。	90
	内容	溶液の濃度、溶液の希釈 担当：下野 SBOs：大学独自3			
2回	テーマ	酸と塩基, 酸化と還元	講義	（復習）必ず授業内容の復習を行い、宿題に対する解答をまとめておくこと。	90
	内容	酸・塩基,pHの計算, 酸化・還元 担当：下野 SBOs：大学独自5,6,7;C2(2)-①-2			
3回	テーマ	化学平衡	講義	（復習）必ず授業内容の復習を行い、宿題に対する解答をまとめておくこと。	90
	内容	化学平衡と平衡定数 担当：下野 SBOs：大学独自4;C2(2)-①-2			
4回	テーマ	まとめ1	講義・試験	必ず授業内容の復習を行っておくこと。	90
	内容	まとめと平常試験（下野担当分） 担当：下野			
5回	テーマ	有機化学の基礎1	講義	（復習）必ず授業内容の復習を行い、宿題に対する解答をまとめておくこと。	90
	内容	IUPAC命名法、炭化水素の構造 担当：寒水 SBOs：C3(1)-①-1,2;C3(1)-②-1,8			
6回	テーマ	有機化学の基礎2	講義	（復習）必ず授業内容の復習を行い、宿題に対する解答をまとめておくこと。	90
	内容	官能基、芳香族化合物、複素環化合物 担当：杉浦 SBOs：C3(1)-①-1,2;C3(3)-①-1;大学独自8			
7回	テーマ	有機化学の基礎3	講義・演習	（復習）宿題に対する解答・解説をレポートにまとめておくこと。	90
	内容	有機化学の基礎まとめ 担当：杉浦 SBOs：			
8回	テーマ	まとめ2	講義・試験	必ず授業内容の復習を行っておくこと。	90
	内容	まとめと平常試験（杉浦・寒水担当分） 担当：杉浦・寒水			

科目名	薬学基礎化学演習◎（１薬）	開講学年 1	講義コード 1230201	区分 必修
英文表記	Chemistry for Pharmacy Students	開講期 前期前半	開講形態	単位数 1
担当教員	杉浦 正晴　下野 和実　宮本 秀一　寒水 壽朗			
研究室	PH425（杉浦正晴）　PH326（下野和実）　PH325（宮本秀一）　PH422（寒水壽朗）	オフィスアワー	時間が許す限り午後はいつでも対応	
メールアドレス	msugiura@m.sojo-u.ac.jp			
キーワード	化学　リメディアル			

授業概要

演習を通して、薬学を学ぶ上で必須となる化学の基本的な知識を確実に身につけることを目標とする。また、化学実験を行う上で必要とされるレポートのまとめ方などについても学ぶ。本科目は、並行して行われる「薬学基礎化学」の授業内容と連携しながら進める。レポート・小テスト等に対する学生へのフィードバックは、授業中に適宜行う。

関連科目

薬学基礎化学

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	本科目を通して理解できたり、思ったりしたことを簡潔にまとめることができる。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	45	50	0	0	5	0	100

教科書

実験実習の基本とデータのまとめ方　三恵社　崇城大学薬学部 編
薬学基礎化学演習 基礎化学実験　　薬学基礎化学演習担当教員作成

参考書

高等学校で使用した「基礎化学」および「化学」の教科書

予備知識	
DP との 関連	本科目は以下のDPおよび学習アウトカムに対応する。なお、別途配布カリキュラムマップをあわせて参照すること。（DP）薬剤師としての高度な知識を修得したもの （アウトカム）医薬品・生体に関する基本的な知識に基づき、薬学・医療関係における問題点の思索・解決能力と自発的な学習態度を身につける（有機化学・生薬学などの知識・技能を段階的に身につける）。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	レポートおよび授業内の小テストの結果を基本とし、授業態度等を加味して総合的に評価する。 実習レポートについては、原則として以下の評価指標に基づいて評価する。基準1を満たせば概ね合格とする。 [評価指標:レポート] 基準2.教科書、参考書等の記述を引用しながら、論理的に考察が述べられている。 基準1.自分の行った実験結果が適切に整理され、考察が示されている。 基準0.実験事実に基づいて実験結果が示されている。

学修上の注意 (SBOs)	本科目は薬学基礎化学と連動している。授業時間内に小テストを実施する。講義後は配布される宿題を解いて提出すること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。　到達度目標　コアカリ記号 1. 単位と有効数字について説明できる。 大学独自1　2. 原子量、分子量、物質量を説明できる。 大学独自2　3. 溶液の濃度計算と調製ができる。(技能)　大学独自3　4. 質量保存の法則について説明できる。 大学独自4　5. 酸と塩基の基本的な性質および強弱の指標を説明できる。 大学独自5　6. 弱酸・弱塩基の水溶液のpHが計算できる。 大学独自6　7. 酸化と還元について電子の授受を含めて説明できる。 大学独自7　8. pHおよび解離定数について説明できる。 C2(2)-①-2　9. 代表的な化合物の名称と構造を列挙できる。 大学独自8　10. 代表的な化合物をIUPAC規則に基づいて命名することができる。 C3(1)-①-1　11. 薬学領域で用いられる代表的な化合物を慣用名で記述できる。 C3(1)-①-2　12. 構造異性体と立体異性体の違いについて説明できる。 C3(1)-②-1　13. エタン、ブタンの立体配座とその安定性について説明できる。 C3(1)-②-8　14. 代表的な官能基を列挙し、性質を説明できる。 C3(3)-①-1　15. 代表的な生体高分子を構成する小分子（アミノ酸、糖、脂質、ヌクレオチドなど）の構造に基づく化学的性質を説明できる。 C4(2)-①-1　16. 医薬品の標的となる生体高分子（タンパク質、核酸など）の立体構造とそれを規定する化学結合、相互作用について説明できる。[C4(1)-1-2]　C4(2)-①-2　17. リン化合物（リン酸誘導体など）および硫黄化合物（チオール、ジスルフィド、チオエステルなど）の構造と化学的性質を説明できる。 C4(2)-①-1　18. リン化合物（リン酸誘導体など）および硫黄化合物（チオール、ジスルフィド、チオエステルなど）の生体内での機能を化学的性質に基づき説明できる。 C4(2)-①-2　19. 代表的な医薬品の働きと、その科学的な合成方法を説明できる。 大学独自9

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理量と有効数字	講義	（復習）必ず授業内容の復習を行い、宿題に対する解答をまとめておくこと。	90
	内容	物理量、単位、有効数字、原子量と物質量、分子量と式量　担当：下野　SBOs：大学独自1,2			
2回	テーマ	酸と塩基, 酸化と還元	講義・演習	（復習）宿題に対する解答・解説をレポートにまとめておくこと。	90
	内容	酸・塩基,pHの計算, 酸化・還元　担当：下野　SBOs：大学独自6,7,8, C2(2)-①-2			
3回	テーマ	化学平衡	講義・演習	（復習）宿題に対する解答・解説をレポートにまとめておくこと。	90
	内容	化学平衡と平衡定数　担当：下野　SBOs：大学独自4,5;C2(2)-①-2			
4回	テーマ	有機化学の基礎1	講義・演習	（復習）宿題に対する解答・解説をレポートにまとめておくこと。	90
	内容	IUPAC命名法、炭化水素の構造　担当：寒水　SBOs：C3(1)-①-1,2;C3(1)-②-1,8			
5回	テーマ	有機化学の基礎2	講義	（復習）必ず授業内容の復習を行い、宿題に対する解答をまとめておくこと。	90
	内容	官能基、芳香族化合物、複素環化合物1　担当：寒水　SBOs：C3(1)-①-1,2;C3(3)-①-1;大学独自8			
6回	テーマ	有機化学の基礎3	講義	（復習）必ず授業内容の復習を行い、宿題に対する解答をまとめておくこと。	90
	内容	官能基、芳香族化合物、複素環化合物2　担当：杉浦　SBOs：C3(1)-①-1,2;C3(3)-①-1;大学独自8			
7回	テーマ	レポートの書き方1	講義・演習	（予習）実験実習の教科書の3章を事前によく読み、演習課題のレポートを作成しておくこと。	90
	内容	レポートの書き方、基本統計量、最小二乗法　担当：宮本　SBOs：大学独自9			
8回	テーマ	レポートの書き方2	講義・演習	（予習）実験実習の教科書の3章を事前によく読み、演習課題のレポートを作成しておくこと。	90
	内容	レポートの書き方、基本統計量、最小二乗法　担当：宮本　SBOs：大学独自9			
9回	テーマ	レポートの書き方3	講義・演習	（復習）実験実習の教科書の3章の内容と講義内容を踏まえ、レポートの改訂版を作成し、提出すること。	90
	内容	レポートの書き方、基本統計量、最小二乗法　担当：宮本　SBOs：大学独自9			

科目名	薬学基礎生物学◎（１薬）	開講学年 1	講義コード 1230301	区分 必修
英文表記	Biology	開講期 前期前半	開講形態	単位数 2
担当教員	大栗 誉敏			
研究室	P338		オフィスアワー 時間が許す限りいつでも対応可	
メールアドレス	ohkuri@ph.sojo-u.ac.jp			
キーワード	生物			

授業概要

本学科の人材育成の目標の一つは、医療分野で活躍できる薬剤師である。高度な知識を身につけた薬剤師を目指す学生には、生命活動の理解の基礎となる本科目は必要不可欠である。生物学は薬学を学ぶうえで重要な基礎学問である。この講義では、特に高校で生物を学んでいない学生に向け高校レベルの生物学を分かりやすく解説していく。また高校で生物を学んできた学生は復習としてしっかり理解し直し、さらなる発展的内容へ進むためにつなげていく。また、講義を通して様々な医薬分野における課題に対応できる基礎能力と現象を定性的に捉えられる汎用的解析能力を養う。

関連科目

薬学の生物系専門科目

建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標			
JABEE基準			

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	本科目を通して理解できたり、思ったりしたことを簡潔にまとめることができる。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
27	68	0	0	0	0	5	0	100

教科書

コア講義 生物学　裳華房　田村隆明　　978-4-7853-5218-9

参考書

授業時に配布するプリントを使用する

予備知識	高校生物
DP との 関連	本科目は以下のDPおよび学習アウトカムに対応する。なお、別途配布カリキュラムマップをあわせて参照すること。（DP）薬剤師としての高度な知識を修得したもの （アウトカム）医薬品・生体に関する基本的な知識に基づき、薬学・医療関係における問題点の思索・解決能力と自発的な学習態度を身につける（生物系薬学の知識・技能を段階的に身につける）。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	中間試験と定期試験の2回で評価する

遅刻は認めない　到達度目標　JABEE記号orコアカリ記号　1.「種」とは何か、説明できる。　大学独自1　2.　ヒトの生物分類上の階級について説明できる。　大学独自2　3.　原核生物と真核生物の違いについて説明できる。　大学独自3　4.　生物の分類における3つのドメインについてそれぞれ説明できる。　大学独自4　5.　対立遺伝子の概念について、説明できる。　大学独自5　6.　メンデルの3つの法則についてそれぞれ説明できる。　大学独自6　7.　特殊な遺伝を示す遺伝子について例を挙げ説明できる。　大学独自7　8.　遺伝子の実体は何か説明できる。　大学独自8　9.　細胞膜の構造について、説明できる。　大学独自9　10.　アミノ酸とタンパク質の関係を説明できる。　大学独自10　11.　DNAとRNAを構成するヌクレオチドの違いについて説明できる。　大学独自11　12.　DNAの構造について説明できる。　大学独自12　13.　ゲノムと遺伝子の違いについて説明できる。　大学独自13　14.　染色体の構造を説明できる。　大学独自14　15.　DNAの半保存的複製とは何か説明できる。　大学独自15　16.　リーディング鎖とラギング鎖におけるDNAの複製機構をそれぞれ説明できる。　大学独自16　17.　転写機構を説明できる。　大学独自17　18.　転写調節の必要性を説明できる。　大学独自18　19.　翻訳機構を説明できる。　大学独自19　20.　mRNA, tRNA, rRNAの役割についてそれぞれ説明できる。　大学独自20　21.　無性生殖と有性生殖についてそれぞれ説明できる。　大学独自21　22.　減数分裂のしくみについて説明できる。　大学独自22　23.　ヒトが個体になるまでの過程を説明できる。　大学独自23　24.　幹細胞と幹細胞の医療への応用について説明できる。　大学独自24　25.　酵素について説明できる。　大学独自25　26.　ATPとその必要性について説明できる。　大学独自26　27.　エネルギー代謝の大きな流れを説明できる。　大学独自27　28.　どのようにヒトはエネルギー源を貯蔵するか説明できる。　大学独自28　29.　内呼吸と外呼吸について説明できる。　大学独自29　30.　糖、蛋白質、脂質がどこでどのように消化吸収されるか説明できる。　大学独自30　31.　肝臓のはたらきを説明できる。　大学独自31　32.　腎臓のはたらきを説明できる。　大学独自32　33.　ホメオスタシスとは何か説明できる。　大学独自33　34.　浸透圧について説明できる。　大学独自34　35.　自律神経について説明できる。　大学独自35　36.　ホルモンについて説明できる。　大学独自36　37.　ウイルスと細菌の違いについて説明できる。　大学独自37　38.　抗生物質とは何か説明できる。　大学独自38　39.　獲得免疫について説明できる。　大学独自39　40.　アレルギーについて説明できる。　大学独自40　41.　植物における光合成の目的について説明できる。　大学独自41　42.　光合成の明反応と暗反応について説明できる。　大学独自42　43.　植物における窒素同化の目的としくみについて説明できる。　大学独自43　44.　個体群密度について説明できる。　大学独自44　45.　生物群集について説明できる。　大学独自45　46.　生態系とは何か説明できる。　大学独自46　47.　RNAワールド仮説について説明できる。　大学独自47　48.　ダーウィンの進化論について例を挙げ説明できる。　大学独自48　49.　系統樹とその見方について説明できる。　大学独自49

学修上の注意

(SBOs)

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	生物学とは	講義	教科書序章p1ー3をよく読んでくること。	30
	内容	生物学の学習の取り組み方			
2回	テーマ	生物の種類	講義	教科書1章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。	120
	内容	生物種、生物の分類、生物のドメイン　SBOs:大学独自1ー4			
3回	テーマ	遺伝と遺伝子	講義	教科書2章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	対立遺伝子、メンデルの法則　SBOs:大学独自5ー8			
4回	テーマ	細胞とそこに含まれる物質	講義	教科書3章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	細胞膜の構造、蛋白質、核酸　SBOs:大学独自9ー12			
5回	テーマ	DNA複製と細胞の増殖	講義	教科書4章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	ゲノム、遺伝子、染色体、DNA複製　SBOs:大学独自13ー16			
6回	テーマ	遺伝子発現	講義	教科書5章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	転写、翻訳、RNAの役割　SBOs:大学独自17ー20			
7回	テーマ	生殖と発生・分化	講義	教科書6章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	生殖、減数分裂、細胞分化　SBOs:大学独自21ー24			
8回	テーマ	まとめ	講義	これまでの分からなかった所を見返し、本当に理解したか確認すること。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	2ー7回の解説			
9回	テーマ	生命を支える化学反応	講義	教科書7章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出す。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決する。	120
	内容	酵素、ATP、エネルギー代謝　SBOs:大学独自25ー28			
10回	テーマ	動物の器官	講義	教科書8章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	呼吸、消化吸収、肝臓、腎臓　SBOs:大学独自29ー32			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	多細胞生物個体の統御	講義	教科書9章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	ホメオスタシス、浸透圧、自律神経、ホルモン　SBOs:大学独自33ー36			
12回	テーマ	外的の侵入とその制御	講義	教科書10章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	ウイルスと細菌、免疫、アレルギー　SBOs:大学独自37ー40			
13回	テーマ	植物の生き方	講義	教科書11章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	光合成、窒素同化　SBOs:大学独自41ー43			
14回	テーマ	生物の進化	講義	教科書13章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	生物進化、RNAワールド、系統樹　SBOs:大学独自47ー49			
15回	テーマ	まとめ	講義	これまでの分からなかった所を見返し、本当に理解したか確認すること。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	9ー14回の解説			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎M（1機建）	開講学年	1	講義コード	1250101	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance (PCHAT)			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎A（1機建）	開講学年	1	講義コード	1250102	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	
	JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance (PCHAT)			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎C（1機建）	開講学年	1	講義コード	1250103	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎H（1機建）	開講学年	1	講義コード	1250104	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	
	JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎Ⅰ（1機建）	開講学年	1	講義コード	1250105	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎C（1ナ微）	開講学年	1	講義コード	1250201	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎H（1ナ微）	開講学年	1	講義コード	1250202	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance (PCHAT)			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎E（1ナ微）	開講学年	1	講義コード	1250203	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎M（1ナ微）	開講学年	1	講義コード	1250204	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance (PCHAT)			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎I（１ナ微）	開講学年	1	講義コード	1250205	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要	関連科目
英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.	English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance (PCHAT)			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎S（1宇生）	開講学年	1	講義コード	1250301	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要	関連科目
英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.	English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance (PCHAT)			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎K（1宇生）	開講学年	1	講義コード	1250302	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要	関連科目
英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.	English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎Y（1宇生）	開講学年	1	講義コード	1250303	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要	関連科目
英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.	English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎L（1宇生）	開講学年	1	講義コード	1250304	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎Ⅰ（1宇生）	開講学年	1	講義コード	1250305	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎N（1宇生）	開講学年	1	講義コード	1250306	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要	関連科目
英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.	English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance (PCHAT)			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎E（1宇生）	開講学年	1	講義コード	1250307	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎C（1情）	開講学年	1	講義コード	1250401	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎O（1情）	開講学年	1	講義コード	1250402	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎M（1情）	開講学年	1	講義コード	1250403	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%)　2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%)　3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center.　4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance (PCHAT)			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎P（1情）	開講学年	1	講義コード	1250404	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要	関連科目
英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.	English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance (PCHAT)			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎U（1情）	開講学年	1	講義コード	1250405	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎T（1情）	開講学年	1	講義コード	1250406	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要	関連科目
英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.	English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎D（1美デ）	開講学年	1	講義コード	1250501	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	
	JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎R（1美デ）	開講学年	1	講義コード	1250502	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	
	JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎A（1美デ）	開講学年	1	講義コード	1250503	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎D（1薬）	開講学年	1	講義コード	1250601	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要	関連科目
英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.	English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎R（1薬）	開講学年	1	講義コード	1250602	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance (PCHAT)			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎U（1薬）	開講学年	1	講義コード	1250603	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎G（1薬）	開講学年	1	講義コード	1250604	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要	関連科目
英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.	English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎S（1薬）	開講学年	1	講義コード	1250605	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ（英語Ⅰ）◎（再履修）	開講学年	1	講義コード	1250701	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 2、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育、将来の夢や計画）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, hobbies, school and education, future dreams and plans).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%)　2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%)　3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター（SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center.　4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo			
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information			
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）			
4回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	家族 Talking about your family	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
7回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	趣味 Hobbies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	音楽 Music	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験			
15回	テーマ	テスト	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備Transcript preparation			
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
19回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
20回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice			
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
25回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
26回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
27回	テーマ	食べ物 Food	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	振り返りと自己評価	演習	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	英語留学研修（選択外国語Ⅰ英語留学）（１全学科）春期	開講学年	1-	講義コード	1251501	区分	選択
英文表記	English through study abroad 留学英語(選択英語)	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	Gareth Humphreys						
研究室	SILC 403			オフィスアワー	月曜日 1限目		
メールアドレス	ghumphreys@m.sojo-u.ac.jp						
キーワード	1 Study abroad preparation 留学準備　2 Independent learning 自立学習　3 Intercultural awareness 異文化認識						

授業概要

留学予定の学生の準備をサポートするHelp prepare students for study abroad　海外での学習の機会を最大限に活用できるように自律学習力育成の促進するPromote independent learning skills to enhance study abroad learning opportunities　異文化認識の育成をサポートするSupport development of intercultural awareness　議論や発表等の活動により会話力育成をサポートするDevelop communication skills through discussions and presentation

関連科目

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自分自身の留学先の国について調べることができるI can research information about my study abroad destination country.
f,g	②	Moodle、SALC使用や振り返りにおいて自立学習能力を示す事ができるI can demonstrate independent learning skills through Moodle, SALC use, and self-reflection.
f,g	③	自分自身の留学経験について経験や出来事を話す事ができるI can talk about experiences and events relating to my study abroad experience.
f,g	④	自分自身の文化について経験や出来事を話す事ができるI can talk about experiences and events relating to my own culture.
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	30	0	30	0	40	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	Gareth Humphreys
評価明細 基準	1. 8つの自律学習ユニット(ILU)で文化理解、異文化間コミュニケーショングローバル英語に関するトピックを扱う(30)。それぞれのユニットは学習内容、振り返り、ミニテストで構成されます。 There are 8 independent online learning units (ILU) to complete covering topics relating to study abroad and intercultural communication. Each ILU contains learning content, reflections, and mini- tests. . Students must also visit the SALC to discuss content from the ILU. (30) 2. a) 留学ポートフォリオ(30)には各自が参加予定の留学プログラムや留学先に関する調査、振り返り学習記録、課題、SALC使用の記録と出席記録が含まれる The study abroad portfolio (30) contains self-reflections, a learning record, a record of SALC use, and an attendance record. b) SOJOポートフォリオ (10) 3. 留学体験の後、主に異文化体験についてのオンラインプレゼンテーションを行う (30) Students will make an online presentation after their sojourn (30).

学修上の注意 (SBOs)	1. グループ学習10回、個別面談に3回参加する。しかし個人面談は参加者各自の都合に合わせ柔軟に対応する。 Students attend 10 sessions and 3 one-to-one tutorial sessions. Group sessions are at fixed times; one-to-one tutorials can be arranged flexibly at times convenient for individual students. 2. 基本的には、学生が個人のペースで行う課題が多い。 The course enables students to work at their own pace. 3. 自立学習ユニットは海外研修前に完了することが望ましいが、必要に応じて研修後に完了しても良い It is recommended that you complete the ILUs before you study abroad 4 担当講師や他の参加学生と会話をする際は出来る限り英語を使用することが求められるが、英語試験ではないので間違いなどは気にする必要はない。 You are expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and other students. However, the course is not a test of English and you should not worry about making mistakes. 5. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Course Orientation	e-L演習	コース説明Introduction to course aims and outline. 自立学習課題の説明	90
	内容	コース説明Introduction to course aims and outline. 自立学習課題の説明Introduction to ILUs 留学目標 Study abroad goals			
2回	テーマ	Class 1	e-L演習	SALC活用 振り返り Self-reflection	90
	内容	Unit 1: Researching study abroad destinations留学先についての調査			
3回	テーマ	Class 2	e-L演習	SALC活用 振り返り Self-reflection	90
	内容	Unit 2: 文化の定義 Defining culture			
4回	テーマ	Class 3	e-L演習	SALC活用 振り返り Self-reflection	90
	内容	Unit 3: 異文化間コミュニケーションIntercultural communication			
5回	テーマ	Class 4	e-L演習	SALC活用 振り返り Self-reflection	90
	内容	Unit 4: Cultural stereotypes 文化的ステレオタイプ			
6回	テーマ	Class 5	e-L演習	SALC活用 振り返り Self-reflection	90
	内容	Unit 5: 個人と文化The individual and culture			
7回	テーマ	Class 6	e-L演習	SALC活用 振り返り Self-reflection	90
	内容	Unit 6: 自分自身の文化について知るExploring my own culture			
8回	テーマ	Class 7	e-L演習	SALC活用 振り返り Self-reflection	90
	内容	Unit 7: 世界言語としての英語English as a global language			
9回	テーマ	Class 8	e-L演習	SALC活用 振り返り Self-reflection	90
	内容	Unit 8: 異文化認識Intercultural awareness			
10回	テーマ	Tutorial discussion 1	e-L演習	Meeting	30
	内容	留学への期待 Study abroad expectations			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	Tutorial discussion 2	e-L演習	Meeting	30
	内容	Checking progress 進捗確認 留学前の不安等への対処 Addressing concerns pre-study abroad			
12回	テーマ	留学（海外研修）Study Abroad Trip	実習 AL	授業型学習と教育的参加Classroom based study and educational visits	45 時間
	内容	留学プログラムにより内容は異なるContent will vary according to overseas program			
13回	テーマ	Tutorial discussion 3	e-L演習	Meeting	30
	内容	留学の報告 Study abroad debrief			
14回	テーマ	Class 9	e-L演習	振り返り Self-reflection Poster making and checking	180
	内容	経験について話し合う Discussing experiences オンラインプレゼンテーションの説明 Introducing online presentations			
15回	テーマ	Class 10	e-L演習	復習と振り返り Review and reflection コース評価 崇城ポートフォリオCourse evaluation Sojo Portfolio	180
	内容	復習と振り返り Review and reflection コース評価 崇城ポートフォリオCourse evaluation Sojo Portfolio			

科目名	ＴＯＥＩＣ演習（選択外国語Ｉ英語TOEIC）（２全学科）前期	開講学年	2–	講義コード	1251901	区分	選択
英文表記	English for TOEIC	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	宝来 華代子（実務経験）

研究室	SILC 303(3階）	オフィスアワー	月曜2限目

メールアドレス	khorai@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	TOEIC リーディング　基礎英文法　主体的な取り組み

授業概要	本授業では英語能力測定テストの1つであるTOEIC(Test of English for International Communication)のリーディングセクションの学習対策を進めながら、基礎英文法理解と会話やビジネスで活用される英単語の習得を目指します。 初回と期末テストで同様の形式の模擬テストを行い学習成果を測ります。担当教員の前職における企業や社会人向けTOEIC研修の実務経験を活かし、効果的な学習、学習計画や継続に関して授業中に教授します。 授業では文法の学習を中心に行います。毎週の単語テストや確認テストなど定期的に行われます。学習内容を理解できるようクラス外での学生の主体的な取り組みが期待されます。難しいと感じる項目がある場合はクラス外でSALCの学習相談や学習教材などのリソース活用、オンライン学習など自分に適切な学習方法を考えて取り組みましょう。 毎回のクラスでは学習への取り組みの振り返りをしてもらいます。単語テストは毎回、与えられた課題の単語テストが行われますので学習しておきましょう。

関連科目
英語I、英語II、英語III、英語IV

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	fg	fg	fg	fg

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	TOEICに出る基本的な文法を学び理解することができる。
g	②	英単語学習と習得によって、学習を習慣的に継続的に行うことができる。
fg	③	学習した内容の理解を深めるため、自分に適切な学習方法を考え復習できる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	20	20	25	10	0	0	20	5	100

教科書	TOEIC TEST必ずでる単スピードマスター　Jリサーチ出版　成重 寿　　9784863922402

参考書	新TOEICテスト文法問題でる1000問　アスク出版　TEX加藤　978472179521 公式TOEIC Listening & Reading 問題集1　国際ビジネスコミュニケーション協会　　978-4906033492 公式TOEIC Listening & Reading 問題集2　国際ビジネスコミュニケーション協会　　978-4906033508

予備知識	基本的な英文法、単語知識。TOEIC受験経験者は350点以上程度の知識。
DP との 関連	本科目においては就職試験等で英語能力証明の方法の1つとしてよく使われているTOEIC試験のスコアアップを目指し、その学習過程において自律学修育成に向け自己管理能力の育成、また他者と協同学習を通し、自己の理解内容を深めたり、談話における人間関係形成を目指します。
実務経験 のある 教員	宝来　華代子
評価明細 基準	定期試験ではクラスの最初にTOEICリーディングセクション（70分）のテストを行いますが、これと比較した伸び率及び、スコアを評価します。また自主的に学内IP試験やTOEIC公開テストを受験し、スコアが向上した場合、評価として考慮しますので申告してください。（20%） 中間テストには復習テストも含みます（20%）。小テストは毎回のクラス課題単語テストの評価です（25%）。 レポートは文法について調べる等の課題（10%）。 ポートフォリオはクラス内外での自分の学習課題やその取り組みについての振り返り記録を指し、SALCの活用（アドバイジングセッション、TOEICテスト受験や自律学修等の取り組み記録）、クラス内でのグループ学習で積極的な取り組み記録を含みます（15%）。 その他はSojoポートフォリオ（5%）でポータルにアクセスし学期末に振り返りを行います。

学修上の注意 (SBOs)	TOEICテストでのスコアアップと主体的な取り組み、自律学修促進を目指します。 欠席した場合は必ず次回のクラスまでに受験できなかった分の単語テストや復習テストを次回のクラス前までに受けに来てください。 自己学習や復習でわからないときはSALCの教材を活用したり、クラスメートと学習したり、アドバイジングセッションを活用し、授業内容が理解できるように取り組んでください。授業外での学習は必須で、TOEIC学内テストや公式テストの受験を強く推奨し、取り組みと成果は評価します。また、自分に合った学習方法や学習教材についてはSALCでアドバイジングセッションなど積極的に活用してください。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション 事前テスト	講義/演習		60
	内容	コースのオリエンテーション。学習の進め方について説明します。自立学修についての説明。			
2回	テーマ	自己学習計画とポートフォリオ	講義/演習	ポートフォリオ振り返りレポート提出　単語Day 1−2	90
	内容	レベル確認テスト。結果を基に自分の学習目標の設定と学習計画をたてる。			
3回	テーマ	文法：品詞	講義/演習	品詞の働きについて調べる　単語Day 3−4	90
	内容	文法の品詞について学習し、品詞を意識し、文の構造を理解する			
4回	テーマ	文法：品詞	講義/演習	品詞の働きについて調べる　単語Day 5&Step 1	90
	内容	名詞の働きについて学習　形容詞・副詞の働きについて学習			
5回	テーマ	文法：品詞	講義/演習	品詞練習問題　単語Day 6−7	90
	内容	動詞の働きについて学習			
6回	テーマ	文法：品詞	講義/演習	長文問題教材検索　単語Day 8−9	90
	内容	品詞練習問題　長文問題解き方のコツ（自分の長文学習テーマを選ぶ）			
7回	テーマ	中間テスト	講義/演習	ポートフォリオ（振り返り）タスク完成　動詞について調べる 単語Day 10 &Step 2	90
	内容	TOEICリーディングパートのテスト			
8回	テーマ	中間テスト復習・ポートフォリオ	講義/演習	中間テスト復習	90
	内容	動詞の働き・主語と動詞の関係			
9回	テーマ	動詞	講義/演習	現在分詞・過去分詞・動名詞予習　単語Day 11−12	90
	内容	動詞の時制ルール			
10回	テーマ	動詞	講義/演習	分詞構文予習　単語Day 13−14	90
	内容	現在分詞・過去分詞・動名詞			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	動詞	講義/演習	動詞復習　単語Day 15−16	90
	内容	分詞構文			
12回	テーマ	動詞	講義/演習	テスト復習　単語Day 17−18	90
	内容	動詞復習確認テスト			
13回	テーマ	動詞･単語復習テスト	講義/演習	パート6練習問題　単語Day 19−20	90
	内容	パート6解き方			
14回	テーマ	定期テスト	講義/演習	定期テスト復習	90
	内容	定期テスト			
15回	テーマ	次の目標	講義/演習	ポートフォリオ（振り返り）タスク完成	90
	内容	定期テスト復習　今後の課題振り返りと計画			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎M（２機）	開講学年	2	講義コード	1252101	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎A（２機）	開講学年	2	講義コード	1252102	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎C（２機）	開講学年	2	講義コード	1252103	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎H（２建）	開講学年	2	講義コード	1252201	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎Ｉ（２建）	開講学年	2	講義コード	1252202	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎N（２建）	開講学年	2	講義コード	1252203	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎C（２ナ）	開講学年	2	講義コード	1252301	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid- term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self- Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation 私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎H（２ナ）	開講学年	2	講義コード	1252302	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎E（２微）	開講学年	2	講義コード	1252401	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation 私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎M（２微）	開講学年	2	講義コード	1252402	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅢ◎Ⅰ（２微）	開講学年	2	講義コード	1252403	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.						
キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning						

授業概要

自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid- term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self- Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎S（２字）	開講学年	2	講義コード	1252501	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅢ◎K（２宇）	開講学年	2	講義コード	1252502	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅢ◎Y（２宇）	開講学年	2	講義コード	1252503	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation 私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎L（２生）	開講学年	2	講義コード	1252601	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎Ｉ（２生）	開講学年	2	講義コード	1252602	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ｉ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅢ◎N（２生）	開講学年	2	講義コード	1252603	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation 私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎E（２生）	開講学年	2	講義コード	1252604	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎C（２情）	開講学年	2	講義コード	1252701	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎O（２情）	開講学年	2	講義コード	1252702	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid- term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self- Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎M（２情）	開講学年	2	講義コード	1252703	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid- term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self- Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation 私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎P（２情）	開講学年	2	講義コード	1252704	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎U（２情）	開講学年	2	講義コード	1252705	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎T（２情）	開講学年	2	講義コード	1252706	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation 私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅢ◎D（２美デ）	開講学年	2	講義コード	1252801	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.						
キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning						

授業概要

自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅢ◎R（２美デ）	開講学年	2	講義コード	1252802	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.						
キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning						

授業概要

自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎D（２薬）	開講学年	2	講義コード	1252901	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎R（２薬）	開講学年	2	講義コード	1252902	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid- term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self- Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅢ◎U（２薬）	開講学年 2	講義コード 1252903	区分 必修
英文表記	English Communication 3	開講期 前期	開講形態	単位数 2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)
研究室	silconline.jpを確認すること
オフィスアワー	silconline.jpを確認すること
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.
キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要

自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎G（２薬）	開講学年	2	講義コード	1252904	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation　私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎S（２薬）	開講学年	2	講義コード	1252905	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.

キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid-term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self-Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation 私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	英語III（イングリッシュコミュニケーションIII）◎（再履修）	開講学年	2	講義コード	1253001	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@.						
キーワード	調査 survey　専攻 major (subject)　ポスター発表 poster presentation　自己管理型学習 self-directed learning						

授業概要

自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施した結果をポスタープレゼンテーション形式で発表します。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings as a poster.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICの各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語 I　英語 II　英語 IV

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができます。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたりポスター発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and a poster presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	0	10	10	10	0	45	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: ボキャブラリーテスト(小テスト 10)は学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。Vocabulary tests (10) throughout the semester to practice words relating to your field of study and other important vocabulary リサーチ報告(レポート10)とポスター発表 (口頭発表 10)は自分の研究分野に関する簡単な話題について。Survey report (10) and Poster Presentation (10) based on a simple topic connected to your field of study 中間試験リーディング評価(中間試験 10) Mid- term reading assessment (10) 自律学習ポートフォリオ(ポートフォリオ 35)。ポートフォリオには精読ワークシート、自律学習計画とその振り返り、また自律学修センター（SALC)でのSALCアクティビティーも含みます。Independent Learning Portfolio (35). Your portfolio will include your intensive reading worksheets, as well as independent learning plans and reflections, and evidence of activities completed in the Self- Access Learning Center. SOJOポートフォリオ (ポートフォリオ 10) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) PraxisEdオンライン単語課題 (15) PraxisEd Online vocabulary study (15)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxisedcom). You can buy subscription cards from the university book shop.　オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	オンライン自己紹介 Online Self-Introduction	45
	内容	自己紹介 Self-introductions			
2回	テーマ	オンライン単語課題 Online vocabulary study	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	単語課題の導入 Introduction to PraxisEd vocabulary study			
3回	テーマ	私の専攻 1 My Major 1	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	何を研究してるか? What do you study?			
4回	テーマ	私の専攻 2 My Major 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	キーワードとフレーズ Key words and phrases			
5回	テーマ	私の専攻 3 My Major 3	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城での研究 Study at Sojo			
6回	テーマ	私の専攻 4 My Major 4	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	大学生活 My University Life			
7回	テーマ	私の専攻 5 My Major 5	演習 実習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	簡単な調査実施 Conducting a simple survey			
8回	テーマ	私の専攻 6 My Major 6	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査レポートライティング Writing a survey report 精読導入:リーディング方略 Introduction to Intensive Reading: Reading Strategies			
9回	テーマ	私の専攻 7 My Major 7	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解1 Reading Text 1（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			
10回	テーマ	私の専攻 8 My Major 8	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解2 Reading Text 2（学科によりテーマは異なる)(Topic will vary depending on department)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	私の専攻 9　My Major 9	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解3 Reading Text 3（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
12回	テーマ	私の専攻 10　My Major 10	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解4 Reading Text 4（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
13回	テーマ	私の専攻 11　My Major 11	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解5 Reading Text 5（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
14回	テーマ	私の専攻 12　My Major 12	演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	文書読解6 Reading Text 6（学科によりテーマは異なる）(Topic will vary depending on department)			
15回	テーマ	読解テスト　Mid-term reading Test	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation			
16回	テーマ	自己管理型学習1 Self-Directed Learning 1	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻: 復習と評価My Major: Review & Assessment 言語学習目標 Language learning goals			
17回	テーマ	自己管理型学習2 Self-Directed Learning 2	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	言語学習方法と学習素材 Language learning methods & resources			
18回	テーマ	自己管理型学習3 Self-Directed Learning 3	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	学習計画 Planning learning			
19回	テーマ	自己管理型学習4　Self-Directed Learning 4	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (1)			
20回	テーマ	自己管理型学習5 Self-Directed Learning 5	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (2)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	自己管理型学習6 Self-Directed Learning 6	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (3)			
22回	テーマ	自己管理型学習7 Self-Directed Learning 7	AL 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (4)			
23回	テーマ	自己管理型学習8 Self-Directed Learning 8	SGD 講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections (5)			
24回	テーマ	自己管理型学習9 Self-Directed Learning 9	講義 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	最終振り返りと評価 Reflection & self-evaluation 私の専攻:最終発表課題 My Major: Final Presentation topic			
25回	テーマ	ポスター発表プロジェクト1 Poster Presentation Project 1	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	発表リサーチ Presentation research			
26回	テーマ	ポスター発表プロジェクト2 Poster Presentation Project 2	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リサーチ報告とポスターデザイン Survey report & poster design			
27回	テーマ	ポスター発表プロジェクト3 Poster Presentation Project 3	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の準備 Presentation preparation			
28回	テーマ	ポスター発表プロジェクト4 Poster Presentation Project 4	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	ポスター発表の練習Poster presentation practice			
29回	テーマ	ポスター発表プロジェクト5 Poster Presentation Project 5	演習 AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	ポスター発表 Poster presentation			
30回	テーマ	最終振り返りと評価 Reflection and evaluation	SBG AL	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Self-evaluation & feedback			

科目名	専門英語Ⅰ（SILC）（３ナ）	開講学年	3	講義コード	1254101	区分	選択
英文表記	Academic English	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ロブ ハーシェル
研究室	SILC 401
オフィスアワー	silconline.jpを参照してください ・ Please refer to silconline.jp
メールアドレス	hirschel@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	学問分野の会話・academic conversation　英語講義に参加するためのスキル・skills for participating in English lectures　ポスター発表・poster presentation

授業概要

この授業は3部構成です。There are three parts to the course.　1. 学問に関するディスカッションに参加したり会話をリードするスキルを向上する。You will develop your ability to lead and participate in Academic Discussions.　2.英語講義でのリスニング力やメモの取り方（記述力）の効果的なスキルを向上する。You will work on improving your listening and note-taking skills to effectively participate in English lectures.　3.研究分野のトピックに関してのポスターのデザインを行う。プレゼンテーションの練習に励み、学内でポスター発表を行う。You will design a poster on a topic in your field of study. You will practice presentation skills and give a poster presentation to the university community.

関連科目

1.英語Ⅰ　2.英語Ⅱ　3.英語Ⅲ　4.英語Ⅳ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	学問に関するディスカッションに参加し、会話をリードすることができる。I can participate in and lead academic discussions.
f,g	②	英語講義に参加し、自分の意見を発表することができる。I can participate in English lectures.
f,g	③	自分の専門分野に関するトピックについて調べ、デザインし、ポスター発表ができる。I can design and present a poster on a topic in my field of study.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15		15	0	30	0	40	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	基礎的な英語力・Basic English ability
DP との 関連	学問に関するディスカッション力の向上を通して「人間関係形成・社会形成能力」を身に着ける。「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」等の基礎能力を英語講義、ポスター発表の実践を通し学ぶ。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.学習ポートフォリオは成績の30%であり、授業参加と全ての宿題を含む。 The Learning Portfolio, which is 30% of your grade, includes class participation and all homework.　2.ポスター発表（アブストラクト、ポスターデザイン、発表、自己評価）は成績の30%となる。 The poster presentation (including abstract, poster design, presentations and self-evaluation) is 30% of your grade.　3.学問に関するディスカッションを含む小テスト（15%）と中間テスト（15%）。 Short tests include an Academic Discussion (15%) and a Mid-term Test (15%).　4. SOJOポートフォリオは成績の10%となる。 The SOJO Portfolio is 10% of your grade.

学修上の注意 (SBOs)	1.授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you have to be absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　2.宿題は非常に重要な要素です。宿題は授業で学んだこと、テスト準備、授業活動や将来学習する語学スキル(を練習できるように作成されています。週に1.5時間は宿題に費やすことを目指さなければなりません。Homework is a very important part of the course. The homework activities are designed to practice what you study in class, prepare for tests and class activities and further develop your language skills. You should spend about 1.5 hours per week doing English homework.　3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。Plagiarism, including copy and pasting submissions such as reports is NOT acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	講義、演習	スキルズセンター(SC)、英会話ラウンジ(CL)等、Skills Center (SC), Conversation Lounge (CL), etc. (15分), 英語の日記 English Diary（30分）	45
	内容	自己紹介、コースの説明、宿題の説明 Self-introductions, Course Explanation, Homework Explanation			
2回	テーマ	学問に関するディスカッションAcademic Discussion Introduction	講義、演習	SC, CL等（15分）、英語の日記 English Diary（30分）、ディスカッションスキル練習Discussion Skills Practice（45分）	90
	内容	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills and Practice (introducing a topic, paraphrasing, summarizing)			
3回	テーマ	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills & Practice	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、ディスカッションスキル練習 Academic Discussion Preparation（45分）	90
	内容	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills and Practice (introducing a topic, paraphrasing, summarizing)			
4回	テーマ	学生リーダーディスカッション Student-led Discussions	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、ディスカッションスキル練習 Academic Discussion Preparation（45分）	90
	内容	学生リーダーディスカッション（評価） Students lead Academic Discussions (skill-based assessment)			
5回	テーマ	学生リーダーディスカッション Student-led Discussions	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りSelf-Reflection (45分)	90
	内容	学生リーダーディスカッション（評価） Students lead Academic Discussions (skill-based assessment)			
6回	テーマ	講義スキル 1 Lecture Skills 1	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion			
7回	テーマ	講義スキル2 Lecture Skills 2	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion			
8回	テーマ	講義スキル 3 Lecture Skills 3	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion			
9回	テーマ	中間テスト Midterm Test	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りSelf-Reflection (45分)	90
	内容	これまで学習した内容に関するテスト			
10回	テーマ	ポスターユーニットの紹介 Intro to Poster Unit	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 100要約(45分	90
	内容	ユーニットの紹介、例を見て、要約を書く Intro to Poster Unit, view samples, write abstract			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	ポスターデザイン Poster Design	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), ポスター作成 Poster Creation (45分)	90
	内容	教員による要約のチェック、プランを書いて、ポスター作成を開始するAbstract checked by teacher, students draw poster plan, students begin poster			
12回	テーマ	ポスター作成1 Poster Creation 1	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), ポスター作成 Poster Creation (45分)	90
	内容	ポスター作成、教員に見てもらう Work on Poster, get feedback from Teacher			
13回	テーマ	ポスター作成1 Poster Creation 2	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), プレゼンの練習(45分)	90
	内容	ポスター作成、最終確認、ポスターの締め切り Work on Poster, final feedback, poster deadline			
14回	テーマ	ポスター発表の練習 Poster presentation practice	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りとプレゼン本番練習Self-Reflection+Practice (45分), ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	90
	内容	クラス内発表。教員からのフィードバック Give presentation in class, get feedback from Teacher			
15回	テーマ	ポスター発表 Final Poster presentation	講義、演習		
	内容	学内プレゼン実施 Give Presentation in front of the university community			

科目名	専門英語Ⅰ（SILC）（３生）	開講学年	3	講義コード	1254201	区分	選択
英文表記	Academic English	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ロブ ハーシェル		
研究室	SILC 401	オフィスアワー	silconline.jpを参照してください ・ Please refer to silconline.jp
メールアドレス	hirschel@ed.sojo-u.ac.jp		
キーワード	学問分野の会話・academic conversation　英語講義に参加するためのスキル・skills for participating in English lectures　ポスター発表・poster presentation		

授業概要

この授業は3部構成です。There are three parts to the course.　1. 学問に関するディスカッションに参加したり会話をリードするスキルを向上する。You will develop your ability to lead and participate in Academic Discussions.　2.英語講義でのリスニング力やメモの取り方（記述力）の効果的なスキルを向上する。You will work on improving your listening and note-taking skills to effectively participate in English lectures.　3.研究分野のトピックに関してのポスターのデザインを行う。プレゼンテーションの練習に励み、学内でポスター発表を行う。You will design a poster on a topic in your field of study. You will practice presentation skills and give a poster presentation to the university community.

関連科目

1.英語Ⅰ　2.英語Ⅱ　3.英語Ⅲ　4.英語Ⅳ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	学問に関するディスカッションに参加し、会話をリードすることができる。I can participate in and lead academic discussions.
f,g	②	英語講義に参加し、自分の意見を発表することができる。I can participate in English lectures.
f,g	③	自分の専門分野に関するトピックについて調べ、デザインし、ポスター発表ができる。I can design and present a poster on a topic in my field of study.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15		15	0	30	0	40	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	基礎的な英語力・Basic English ability
DP との 関連	学問に関するディスカッション力の向上を通して「人間関係形成・社会形成能力」を身に着ける。「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」等の基礎能力を英語講義、ポスター発表の実践を通し学ぶ。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.学習ポートフォリオは成績の30%であり、授業参加と全ての宿題を含む。 The Learning Portfolio, which is 30% of your grade, includes class participation and all homework.　2.ポスター発表（アブストラクト、ポスターデザイン、発表、自己評価）は成績の30%となる。 The poster presentation (including abstract, poster design, presentations and self-evaluation) is 30% of your grade.　3.学問に関するディスカッションを含む小テスト（15%）と中間テスト（15%）。 Short tests include an Academic Discussion (15%) and a Mid-term Test (15%).　4. SOJOポートフォリオは成績の10%となる。 The SOJO Portfolio is 10% of your grade.

学修上の注意 (SBOs)	1.授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you have to be absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　2.宿題は非常に重要な要素です。宿題は授業で学んだこと、テスト準備、授業活動や将来学習する語学スキル(を練習できるように作成されています。週に1.5時間は宿題に費やすことを目指さなければなりません。Homework is a very important part of the course. The homework activities are designed to practice what you study in class, prepare for tests and class activities and further develop your language skills. You should spend about 1.5 hours per week doing English homework.　3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。Plagiarism, including copy and pasting submissions such as reports is NOT acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	講義、演習	スキルズセンター(SC)、英会話ラウンジ(CL)等、Skills Center (SC), Conversation Lounge (CL), etc. (15分), 英語の日記 English Diary（30分）	45
	内容	自己紹介、コースの説明、宿題の説明 Self-introductions, Course Explanation, Homework Explanation			
2回	テーマ	学問に関するディスカッションAcademic Discussion Introduction	講義、演習	SC, CL等（15分）、英語の日記 English Diary（30分）、ディスカッションスキル練習Discussion Skills Practice（45分）	90
	内容	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills and Practice (introducing a topic, paraphrasing, summarizing)			
3回	テーマ	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills & Practice	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、ディスカッションスキル練習 Academic Discussion Preparation（45分）	90
	内容	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills and Practice (introducing a topic, paraphrasing, summarizing)			
4回	テーマ	学生リーダーディスカッション Student-led Discussions	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、ディスカッションスキル練習 Academic Discussion Preparation（45分）	90
	内容	学生リーダーディスカッション（評価） Students lead Academic Discussions (skill-based assessment)			
5回	テーマ	学生リーダーディスカッション Student-led Discussions	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りSelf-Reflection (45分)	90
	内容	学生リーダーディスカッション（評価） Students lead Academic Discussions (skill-based assessment)			
6回	テーマ	講義スキル 1 Lecture Skills 1	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion			
7回	テーマ	講義スキル2 Lecture Skills 2	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion			
8回	テーマ	講義スキル 3 Lecture Skills 3	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion			
9回	テーマ	中間テスト Midterm Test	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りSelf-Reflection (45分)	90
	内容	これまで学習した内容に関するテスト			
10回	テーマ	ポスターユーニットの紹介 Intro to Poster Unit	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 100要約(45分	90
	内容	ユーニットの紹介、例を見て、要約を書く Intro to Poster Unit, view samples, write abstract			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	ポスターデザイン Poster Design	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), ポスター作成 Poster Creation (45分)	90
	内容	教員による要約のチェック、プランを書いて、ポスター作成を開始するAbstract checked by teacher, students draw poster plan, students begin poster			
12回	テーマ	ポスター作成1 Poster Creation 1	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), ポスター作成 Poster Creation (45分)	90
	内容	ポスター作成、教員に見てもらう Work on Poster, get feedback from Teacher			
13回	テーマ	ポスター作成1 Poster Creation 2	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), プレゼンの練習(45分)	90
	内容	ポスター作成、最終確認、ポスターの締め切り Work on Poster, final feedback, poster deadline			
14回	テーマ	ポスター発表の練習 Poster presentation practice	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りとプレゼン本番練習Self-Reflection+Practice (45分), ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	90
	内容	クラス内発表。教員からのフィードバック Give presentation in class, get feedback from Teacher			
15回	テーマ	ポスター発表 Final Poster presentation	講義、演習		
	内容	学内プレゼン実施 Give Presentation in front of the university community			

科目名	基礎日本語Ⅰ（選択外国語Ⅰ日本語）（１全学科）	開講学年	1	講義コード	1260101	区分	選択
英文表記	Basic Japanese Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	塩入すみ（非常勤）　與縄友子（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師控室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室

メールアドレス	shioiri@kumagaku.ac.jp

キーワード	日本語能力試験、N1-N2、聴解、読解・文法

授業概要	この授業は留学生を対象とし、日本語能力試験のN1合格を目標とする。授業では聴解を中心としたテキストと読解・文法を中心としたテキストを使用する。日本語を用いた仕事に就くことを目標とする学生には日本語能力試験の取得は不可欠であることから、受験に必要な基礎的な事項の導入と解説、更に応用練習を行う。

関連科目

選択外国語（日本語）Ⅱ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		f	f

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	日本語能力試験N1に合格する。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	20	0	10	0	10	0	100

教科書	授業で指示する。

参考書	授業で指示する。

予備知識	日本語能力試験N2受験レベルの日本語能力をもつことが望ましい。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。日本語を自主的・継続的に学修し社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。また、自身の考えを論理的にまとめ、日本語で伝えるために必要となる基礎的能力（文章作成能力、口頭発表能力、コミュニケーション能力）を身につける。さらに、個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力も身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	.期末試験（30点）・中間試験（30点）：それぞれの曜日の授業で行う。筆記試験、聴き取り、口頭試験等による。　小テスト（20点）：各授業の毎回の定着を測るために短時間で行い、授業でフィードバックする。課題を含む。　成果発表（10点）：授業での口頭発表やプレゼンテーション、作文や文章による発表を含む。　ポートフォリオ（10点）：到達課題レポートをポートフォリオシステムに入力し、プリントアウトして最後の授業時間に提出すること。

学修上の注意 (SBOs)	・出席を重視する。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。　・提出物は期限以内に提出すること。 ・レポート等の剽窃は絶対にしないこと。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	【聴解クラス】ガイダンスとレベルチェック	講義・演習	ニュースの聞き取り①	
	内容	授業内容の説明とレベルチェック・テスト			
2回	テーマ	【文法・読解クラス】ガイダンスとレベルチェック	講義・演習	日本語能力試験問題 ①（次回提出、以下同じ）	60
	内容	授業内容の説明とレベルチェック・テスト			
3回	テーマ	【聴解クラス】テスト返却と解説　第1課	講義・演習	ニュースの聞き取り②	60
	内容	テストの解答と解説「掃除」聴解、話の構成理解と要約			
4回	テーマ	【文法・読解クラス】テスト返却と解説	講義・演習	日本語能力試験問題②	60
	内容	テストの解答と解説			
5回	テーマ	【聴解クラス】第2課	講義・演習	ニュースの聞き取り③	60
	内容	「本屋」聴解、話の構成理解と要約			
6回	テーマ	【文法・読解クラス】第1課	講義・演習	日本語能力試験問題③	60
	内容	「鎌倉のあじさい」読解、文法の解説と練習			
7回	テーマ	【聴解クラス】第3課 第4課	講義・演習	ニュースの聞き取り④	60
	内容	小テスト「新幹線のおでこ」「体験プレゼント」聴解、話の構成理解と要約			
8回	テーマ	【文法・読解クラス】第2課	講義・演習	日本語能力試験問題④	60
	内容	前回の小テスト　「梅干しの効用」読解、文法の解説と練習			
9回	テーマ	【聴解クラス】第5課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑤	60
	内容	小テスト「そば屋ののれん」聴解、話の構成理解と要約			
10回	テーマ	【文法・読解クラス】第3課	講義・演習	日本語能力試験問題⑤	60
	内容	前回の小テスト　「科学者とあたま」読解、文法の解説と練習			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	【聴解クラス】第6課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑥	60
	内容	小テスト「犬の肥満」聴解、話の構成理解と要約			
12回	テーマ	【文法・読解クラス】第4課	講義・演習	日本語能力試験問題⑥	60
	内容	前回の小テスト　「一つ買ったら三つ捨てる」読解、文法の解説と練習			
13回	テーマ	【聴解クラス】第7課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑦	60
	内容	小テスト「卵かけご飯」聴解、話の構成理解と要約			
14回	テーマ	【文法・読解クラス】第5課	講義・演習	日本語能力試験問題⑦	60
	内容	前回の小テスト　「時間があるとき、時間がないとき」読解、文法の解説と練習			
15回	テーマ	【聴解クラス】第8課	講義・演習	復習	60
	内容	小テスト「女性専用車両」聴解、話の構成理解と要約			
16回	テーマ	【文法・読解クラス】第7課	講義・演習	復習	60
	内容	前回の小テスト　「疲れと悦びのパラジス」読解、文法の解説と練習			
17回	テーマ	【聴解クラス】中間試験	講義・演習	ニュースの聞き取り⑧	60
	内容	中間試験（第1～8課）			
18回	テーマ	【文法・読解クラス】中間試験	講義・演習	日本語能力試験問題⑧	60
	内容	中間試験（第1～7課）			
19回	テーマ	【聴解クラス】試験の返却・第9課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑨	60
	内容	「剣道」聴解、話の構成理解と要約			
20回	テーマ	【文法・読解クラス】試験の返却・第11課	講義・演習	日本語能力試験問題⑨	60
	内容	「脳死は本当に人の死か」読解、文法の解説と練習			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	【聴解クラス】第10課・第11課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑩	60
	内容	小テスト「落語」聴解、話の構成理解と要約			
22回	テーマ	【文法・読解クラス】第13課・14課	講義・演習	日本語能力試験問題⑩	60
	内容	前回の小テスト　「変化する力」「ハキダメギク」読解、文法の解説と練習			
23回	テーマ	【聴解クラス】第12課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑪	60
	内容	小テスト「そばをすする音」聴解、話の構成理解と要約			
24回	テーマ	【文法・読解クラス】第15課	講義・演習	日本語能力試験問題⑪	60
	内容	前回の小テスト　「花の好きな犬」読解、文法の解説と練習			
25回	テーマ	【聴解クラス】第13課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑫	60
	内容	小テスト「将棋」聴解、話の構成理解と要約			
26回	テーマ	【文法・読解クラス】第16課	講義・演習	日本語能力試験問題⑫	60
	内容	前回の小テスト　「いかに読書すべきか」読解、文法の解説と練習			
27回	テーマ	【聴解クラス】第14課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑬	60
	内容	小テスト「南極」聴解、話の構成理解と要約			
28回	テーマ	【文法・読解クラス】第17課・18課	講義・演習	日本語能力試験問題⑬	60
	内容	前回の小テスト　「合羽橋」「東京タワー」読解、文法の解説と練習			
29回	テーマ	【聴解クラス】第15課　復習とまとめ	講義・演習	ニュースの聞き取り⑭	60
	内容	小テスト「明治神宮の森」聴解、話の構成理解と要約　復習とまとめ（第9～15課）			
30回	テーマ	【文法・読解クラス】第19課　復習とまとめ	講義・演習	日本語能力試験問題⑭	60
	内容	「心の強い子どもを育てる」読解、文法の解説　復習とまとめ（第11～19課）			

科目名	基礎日本語Ⅲ（２全学科）	開講学年	2	講義コード	1260301	区分	選択
英文表記	Basic Japanese Ⅲ	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	塩入すみ（非常勤）　道本ゆう子（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業後の非常勤講師室

メールアドレス	shioiri@kumagaku.ac.jp

キーワード	ビジネス･ジャパニーズ、スタディ･スキルズ、日本語能力試験、就職活動

授業概要	この授業は留学生を対象とし、日本語で就職活動やビジネス、また大学での日本語を使ったプレゼンテーションやレポートの執筆など、スタディ･スキルズを修得することを目標とする。授業では基礎的な敬語表現の確認、ビジネスの様々な場面での会話の練習、日本語によるプレゼンテーションの方法などを実践的に練習する。また、日本語を用いた仕事に就くことを目標とする学生には日本語能力試験の取得は不可欠であることから、日本語能力試験問題なども扱う。

関連科目
基礎日本語Ⅰ･Ⅱ･Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標			
		JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	日本語で就職活動やビジネスができる。
	②	日本語能力試験N1、ビジネス日本語試験に合格できる。
	③	日本語を使ってプレゼンテーションやレポートの執筆など、大学の専門的な活動ができる。
	④	日本語の新聞やニュースを理解し、意見を言うことができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	20	0	10	0	10	0	100

教科書	授業で指示する。

参考書	授業で指示する。

予備知識	日本語能力試験N2レベルの日本語能力をもつことが望ましい。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。日本語を自主的・継続的に学修し社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。また、自身の考えを論理的にまとめ、日本語で伝えるために必要となる基礎的能力（文章作成能力、口頭発表能力、コミュニケーション能力）を身につける。さらに、個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力も身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	.期末試験（30点）・中間試験（30点）：それぞれの曜日の授業で行う。筆記試験、聴き取り、口頭試験等による。　小テスト（20点）：各授業の毎回の定着を測るために短時間で行い、授業でフィードバックする。課題を含む。　成果発表（10点）：授業での口頭発表やプレゼンテーション、作文や文章による発表を含む。 ポートフォリオ（10点）：到達課題レポートをポートフォリオシステムに入力し、プリントアウトして15回目の授業時間に提出すること。

学修上の注意 (SBOs)	・出席を重視する。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。　・提出物は期限以内に提出すること。 ・レポート等の剽窃は絶対にしないこと。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	【ビジネス日本語】ガイダンスとレベルチェック	講義・演習		
	内容	授業内容の説明とレベルチェック・テスト（N2程度）			
2回	テーマ	【スタディ・スキルズ】ガイダンスとレベルチェック	講義・演習	新聞記事読解WS① 次回提出（以下同じ）	60
	内容	授業内容の説明とレベルチェック・テスト（N2程度）			
3回	テーマ	【ビジネス日本語】就職活動準備①	講義・演習		
	内容	インターシップ情報を得る			
4回	テーマ	【スタディ・スキルズ】リーディング①	講義・演習	新聞記事読解WS②	60
	内容	要約の練習：新聞記事の速読と要約の練習			
5回	テーマ	【ビジネス日本語】就職活動準備②	講義・演習		
	内容	インターンシップに応募する			
6回	テーマ	【スタディ・スキルズ】リーディング②	講義・演習	新聞記事読解WS③ 日本語能力試験問題	60 30
	内容	ニュースの聴き取り			
7回	テーマ	【ビジネス日本語】就職活動準備③	講義・演習		
	内容	ケーススタディ 就活ルック			
8回	テーマ	【スタディ・スキルズ】レポートの書き方①	講義・演習	新聞記事読解WS③ 日本語能力試験問題	60 30
	内容	レポートの書き方：レポートの構成、サンプルの提示、文系と理系のレポート			
9回	テーマ	【ビジネス日本語】インターンシップ参加①	講義・演習		
	内容	インターンシップに参加する-1			
10回	テーマ	【スタディ・スキルズ】レポートの書き方②	講義・演習	新聞記事読解WS④ 日本語能力試験問題	60 30
	内容	レポートの書き方：レポートの用語、文体			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	【ビジネス日本語】インターンシップ参加②	講義・演習		
	内容	インターンシップに参加する-2			
12回	テーマ	【スタディ・スキルズ】レポートの書き方③	講義・演習	新聞記事読解WS⑤　日本語能力試験問題	60 30
	内容	レポートの書き方：資料収集とまとめ方、参考文献の書き方			
13回	テーマ	【ビジネス日本語】インターンシップ参加③	講義・演習		
	内容	ケーススタディ「ほうれんそう（報連相）」			
14回	テーマ	【スタディ・スキルズ】レポートの書き方④	講義・演習	新聞記事読解WS⑥　日本語能力試験問題	60 30
	内容	レポートの書き方：引用のし方			
15回	テーマ	【ビジネス日本語】就職活動準備まとめ	講義・演習		
	内容	これまでの課題の講評、注意点			
16回	テーマ	【スタディ・スキルズ】中間試験	講義・演習	新聞記事読解WS⑦　日本語能力試験問題	60 30
	内容	レポートの書き方：図表の説明			
17回	テーマ	【ビジネス日本語】中間試験	講義・演習		
	内容	中間試験			
18回	テーマ	【スタディ・スキルズ】プレゼンテーション①	講義・演習	新聞記事読解WS⑧	60
	内容	中間試験			
19回	テーマ	【ビジネス日本語】就職面接①	講義・演習		
	内容	面接を受ける①			
20回	テーマ	【スタディ・スキルズ】プレゼンテーション②	講義・演習	新聞記事読解WS⑨	60
	内容	提出したレポートの講評、注意点など			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	【ビジネス日本語】就職面接②	講義・演習		
	内容	面接を受ける②			
22回	テーマ	【スタディ・スキルズ】プレゼンテーション③	講義・演習	新聞記事読解WS⑩	60
	内容	プレゼンテーション：DVD			
23回	テーマ	【ビジネス日本語】就職面接③	講義・演習		
	内容	ケーススタディグループディスカッション			
24回	テーマ	【スタディ・スキルズ】	講義・演習	新聞記事読解WS⑪	60
	内容	プレゼンテーション：読み原稿の書き方①			
25回	テーマ	【ビジネス日本語】初めての仕事①	講義・演習		
	内容	報告書を書く			
26回	テーマ	【スタディ・スキルズ】	講義・演習	新聞記事読解WS⑫	60
	内容	プレゼンテーション：読み原稿の書き方②			
27回	テーマ	【ビジネス日本語】初めての仕事②	講義・演習		
	内容	データをまとめる			
28回	テーマ	【スタディ・スキルズ】	講義・演習	新聞記事読解WS⑬	60
	内容	プレゼンテーション：発表と講評①			
29回	テーマ	【ビジネス日本語】初めての仕事③　まとめと復習	講義・演習		
	内容	ケーススタディ 上司のあいまい表現　まとめと復習			
30回	テーマ	【スタディ・スキルズ】　まとめと復習	講義・演習	新聞記事読解WS⑭	60
	内容	ニュースの聴き取り、新聞記事の要約の応用練習　まとめと復習			

科目名	特殊講座（未来デザイン）（１機ナ建宇情微生）	開講学年 1	講義コード 1270201	区分 選択
英文表記	Designing the future	開講期 前期	開講形態	単位数 1
担当教員	田口 雄太　川副 智行　中山 泰宗			
研究室	G303 田口 雄太　G301 川副 智行　本館501 中山 泰宗		オフィスアワー 火曜12:30 - 15:00	
メールアドレス	ytaguchi@ed.sojo-u.ac.jp			
キーワード	アントレプレナーシップ　イノベーション　ベンチャー　デザイン　　サイエンス			

授業概要

「アントレプレナーシップ（起業家精神）」は、これからの未来を切り開く若者にとって必須の精神である。現代社会は変化が早く、その中を生き抜くためには新しいことに挑戦し達成する必要がある。そしてこれは起業だけでなく、会社内での新規事業の開発、社会課題の解決、新しい科学領域の開拓など、どんな挑戦にも必要である。 本授業では、まず総論として①若者を取り巻く現代社会の情勢について学び、②アントレプレナーシップによる社会の変化について学ぶ。続いてアントレプレナーシップのコアとなる、③想像力によりイノベーションを起こす力、④リーダーシップによりチーム形成する力、⑤熱意を持ちビジョンを達成する力、について理解を深める。

関連科目

「アントレプレナーシップ入門」、「ベンチャービジネス」、「イノベーション入門」、「ローカルイノベーション」

建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標			
JABEE基準			

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	アントレプレナーシップについて認識し、口頭もしくは記述によって説明することができる。
	②	アントレプレナーシップと社会の関係について、口頭もしくは記述によって説明することができる。
	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	60	0	0	10	30	100

教科書

講義レジュメを教科書とする

参考書

起業の教科書　日経BP社　トーマツベンチャーサポート　9784822235871

予備知識	課題の発見と解決に向けて主体的･協働的に学ぶこと。
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	レポート1: アントレプレナーシップについてのレポート、最大30点。 レポート2: アントレプレナーシップへ繋がる3つの力についてのレポート、最大30点。 予習課題: 2回目- 7回目の予習としてWeb上の課題をこなす、最大5点/回×6回　ポートフォリオ: 学修到達度レポートによって評価する、最大10点 ★提出物は適宜返却する。 ★WebClassで提出されたレポートは適宜コメントを返すので、必ず参照すること。

学修上の注意 (SBOs)	1. 毎回、講義のポイントをまとめたレジュメをスクリーンに投影し、各種資料、映像資料を参照しながら進める。 2. 講義のレジュメは、資料などはWebClassで閲覧、ダウンロードする。 3. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。 4. 2回目- 7回目は授業前にWebClassの予習課題を行っておくこと。 5. レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第2回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題1を行っておくこと。	120
	内容	シラバスの説明、教員紹介、授業概要の紹介			
2回	テーマ	アントレプレナーシップとは	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第3回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題2を行っておくこと。【課題】レポート1作成、期限までにWebClassに提出。	120
	内容	アントレプレナーシップとは何か、現代社会で何故必要とされるのか			
3回	テーマ	アントレプレナーに必要な力	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第4回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題3を行っておくこと。	120
	内容	挑戦に必要な3つの力について概説する			
4回	テーマ	想像力	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第5回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題4を行っておくこと。	120
	内容	挑戦するために必要なビジョンとデザイン思考について			
5回	テーマ	チームを育てる力	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第6回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題5を行っておくこと。	120
	内容	チームとは何か、目標を達成するチームとはどんなチームか			
6回	テーマ	達成する力	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第7回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題6を行っておくこと。	120
	内容	挑戦をどうやって達成するか			
7回	テーマ	未来に向けて	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【課題】レポート2作成、期限までにWebClassに提出。	120
	内容	アントレプレナーシップの深め方、専門の重要性など			
8回	テーマ	講義まとめ	講義	【復習】これまでの講義を振り返っておくこと。	120
	内容	講義のまとめと教員からのメッセージ			

科目名	特殊講座（未来デザイン）（１美デ）	開講学年	1	講義コード	1270202	区分	選択
英文表記	Designing the future	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	田口 雄太　川副 智行　中山 泰宗

研究室	G303 田口 雄太　G301 川副 智行　本館501 中山 泰宗	オフィスアワー	火曜12:30 - 15:00

メールアドレス	ytaguchi@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	アントレプレナーシップ　イノベーション　ベンチャー　デザイン　　サイエンス

授業概要	「アントレプレナーシップ（起業家精神）」は、これからの未来を切り開く若者にとって必須の精神である。現代社会は変化が早く、その中を生き抜くためには新しいことに挑戦し達成する必要がある。そしてこれは起業だけでなく、会社内での新規事業の開発、社会課題の解決、新しい科学領域の開拓など、どんな挑戦にも必要である。 本授業では、まず総論として①若者を取り巻く現代社会の情勢について学び、②アントレプレナーシップによる社会の変化について学ぶ。続いてアントレプレナーシップのコアとなる、③想像力によりイノベーションを起こす力、④リーダーシップによりチーム形成する力、⑤熱意を持ちビジョンを達成する力、について理解を深める。

関連科目
「アントレプレナーシップ入門」、「ベンチャービジネス」、「イノベーション入門」、「ローカルイノベーション」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	アントレプレナーシップについて認識し、口頭もしくは記述によって説明することができる。
	②	アントレプレナーシップと社会の関係について、口頭もしくは記述によって説明することができる。
	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	60	0	0	10	30	100

教科書	講義レジュメを教科書とする

参考書	起業の教科書　日経BP社　トーマツベンチャーサポート　9784822235871

予備知識	課題の発見と解決に向けて主体的･協働的に学ぶこと。
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	レポート1: アントレプレナーシップについてのレポート、最大30点。 レポート2: アントレプレナーシップへ繋がる3つの力についてのレポート、最大30点。 予習課題: 2回目- 7回目の予習としてWeb上の課題をこなす、最大5点/回×6回　ポートフォリオ: 学修到達度レポートによって評価する、最大10点 ★提出物は適宜返却する。 ★WebClassで提出されたレポートは適宜コメントを返すので、必ず参照すること。

学修上の注意 (SBOs)	1. 毎回、講義のポイントをまとめたレジュメをスクリーンに投影し、各種資料、映像資料を参照しながら進める。 2. 講義のレジュメは、資料などはWebClassで閲覧、ダウンロードする。 3. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。 4. 2回目- 7回目は授業前にWebClassの予習課題を行っておくこと。 5. レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第2回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題1を行っておくこと。	120
	内容	シラバスの説明、教員紹介、授業概要の紹介			
2回	テーマ	アントレプレナーシップとは	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第3回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題2を行っておくこと。【課題】レポート1作成、期限までにWebClassに提出。	120
	内容	アントレプレナーシップとは何か、現代社会で何故必要とされるのか			
3回	テーマ	アントレプレナーに必要な力	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第4回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題3を行っておくこと。	120
	内容	挑戦に必要な3つの力について概説する			
4回	テーマ	想像力	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第5回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題4を行っておくこと。	120
	内容	挑戦するために必要なビジョンとデザイン思考について			
5回	テーマ	チームを育てる力	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第6回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題5を行っておくこと。	120
	内容	チームとは何か、目標を達成するチームとはどんなチームか			
6回	テーマ	達成する力	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第7回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題6を行っておくこと。	120
	内容	挑戦をどうやって達成するか			
7回	テーマ	未来に向けて	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【課題】レポート2作成、期限までにWebClassに提出。	120
	内容	アントレプレナーシップの深め方、専門の重要性など			
8回	テーマ	講義まとめ	講義	【復習】これまでの講義を振り返っておくこと。	120
	内容	講義のまとめと教員からのメッセージ			

科目名	特殊講座（未来デザイン）（１薬）	開講学年 1	講義コード 1270203	区分 選択
英文表記	Designing the future	開講期 前期	開講形態	単位数 1
担当教員	田口 雄太　川副 智行　中山 泰宗			
研究室	G303 田口 雄太　G301 川副 智行　本館501 中山 泰宗		オフィスアワー 火曜12:30 - 15:00	
メールアドレス	ytaguchi@ed.sojo-u.ac.jp			
キーワード	アントレプレナーシップ　イノベーション　ベンチャー　デザイン　　サイエンス			

授業概要

「アントレプレナーシップ（起業家精神）」は、これからの未来を切り開く若者にとって必須の精神である。現代社会は変化が早く、その中を生き抜くためには新しいことに挑戦し達成する必要がある。そしてこれは起業だけでなく、会社内での新規事業の開発、社会課題の解決、新しい科学領域の開拓など、どんな挑戦にも必要である。 本授業では、まず総論として①若者を取り巻く現代社会の情勢について学び、②アントレプレナーシップによる社会の変化について学ぶ。続いてアントレプレナーシップのコアとなる、③想像力によりイノベーションを起こす力、④リーダーシップによりチーム形成する力、⑤熱意を持ちビジョンを達成する力、について理解を深める。

関連科目

「アントレプレナーシップ入門」、「ベンチャービジネス」、「イノベーション入門」、「ローカルイノベーション」

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	アントレプレナーシップについて認識し、口頭もしくは記述によって説明することができる。
	②	アントレプレナーシップと社会の関係について、口頭もしくは記述によって説明することができる。
	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	60	0	0	10	30	100

教科書

講義レジュメを教科書とする

参考書

起業の教科書　日経BP社　トーマツベンチャーサポート　9784822235871

予備知識	課題の発見と解決に向けて主体的･協働的に学ぶこと。
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	レポート1: アントレプレナーシップについてのレポート、最大30点。 レポート2: アントレプレナーシップへ繋がる3つの力についてのレポート、最大30点。 予習課題: 2回目- 7回目の予習としてWeb上の課題をこなす、最大5点/回×6回　ポートフォリオ: 学修到達度レポートによって評価する、最大10点 ★提出物は適宜返却する。 ★WebClassで提出されたレポートは適宜コメントを返すので、必ず参照すること。

学修上の注意 (SBOs)	1. 毎回、講義のポイントをまとめたレジュメをスクリーンに投影し、各種資料、映像資料を参照しながら進める。 2. 講義のレジュメは、資料などはWebClassで閲覧、ダウンロードする。 3. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。 4. 2回目- 7回目は授業前にWebClassの予習課題を行っておくこと。 5. レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第2回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題1を行っておくこと。	120
	内容	シラバスの説明、教員紹介、授業概要の紹介			
2回	テーマ	アントレプレナーシップとは	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第3回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題2を行っておくこと。【課題】レポート1作成、期限までにWebClassに提出。	120
	内容	アントレプレナーシップとは何か、現代社会で何故必要とされるのか			
3回	テーマ	アントレプレナーに必要な力	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第4回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題3を行っておくこと。	120
	内容	挑戦に必要な3つの力について概説する			
4回	テーマ	想像力	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第5回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題4を行っておくこと。	120
	内容	挑戦するために必要なビジョンとデザイン思考について			
5回	テーマ	チームを育てる力	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第6回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題5を行っておくこと。	120
	内容	チームとは何か、目標を達成するチームとはどんなチームか			
6回	テーマ	達成する力	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【予習】第7回の講義レジュメを読んでおくこと。予習課題6を行っておくこと。	120
	内容	挑戦をどうやって達成するか			
7回	テーマ	未来に向けて	講義	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。【課題】レポート2作成、期限までにWebClassに提出。	120
	内容	アントレプレナーシップの深め方、専門の重要性など			
8回	テーマ	講義まとめ	講義	【復習】これまでの講義を振り返っておくこと。	120
	内容	講義のまとめと教員からのメッセージ			

科目名	専門英語Ⅰ（３機）	開講学年	3	講義コード	1613601	区分	選択
英文表記	Technical English I	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	吉良 章夫

研究室	I427	オフィスアワー	水5時限、 金5時限

メールアドレス	akira@mec.sojo-u.ac.jp

キーワード	専門用語　機械英語　技術英語

授業概要

機械技術者は英語で書かれた仕様書や取扱説明書などを理解したり、海外の工場や取引先と意思疎通したりするなど、今後、技術英語を理解する必要性がますます高まると予想される。技術英語は文学作品や時事英語に比べ、平易な文章で既述されている場合が多く、理解しやすいが、専門用語や特有の言い回しについての知識がないと理解困難な場合がある。そこで機械工学の中心をなす力学、機械材料、設計製図、機械工作法などに加え、その基礎となる物理・数学などに関する専門用語（日本語）に対応する英語表現を知り、英文を正しく理解できるようになることを目的とする。

関連科目

基礎科目：イングリッシュコミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 連携科目：なし 発展科目：専門英語Ⅱ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標			
		JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	機械工学および物理・数学などの専門用語（日本語）を英訳できる。
	②	機械工学および物理・数学などの専門用語（英語）を和訳できる。
	③	機械工学および物理・数学などに関する英文を読み、内容を理解できる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	20	0	0	0	0	10	70	100

教科書	適宜、資料を配信する。

参考書	学術用語集 機械工学編（増訂版）　丸善　日本機械学会　978-4-88898-030-2 科学技術論文、報告書その他の文書に必要な英語論文・文例辞典　小倉書店　小倉書店

予備知識	英語の授業なので、基本的な文法や単語は知っておく必要がある。また、機械工学に関する英語であるため、機械工学やその基礎となる物理や数学の専門用語（日本語）の理解も必要である。
DP との 関連	大学のディプロマ・ポリシー『「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの 。』に関連する科目である。専門用語や対応した英語表現を習得し、機械技術者として求められる英語表現の理解力を身につけることを目的とする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	主に毎回の授業での予習課題（5点×14回＝70点）と1回の定期試験（20点）で評価する。 1. 予習課題：予習課題と添削への取組状況により、5点×14回＝70点の評価とする。 2. 定期試験：全講義内容の理解度を確認するための試験を行い、20点満点で評価する。 3. ポートフォリオによる自己評価：10点

学修上の注意 (SBOs)	毎回のテーマに関連した予習課題を提示するので、提出期限までに解答して提出すること。この取組状況を確認後、授業開始前に返却する。授業では予習課題へのフィードバックとして解説を行うので、自分で添削、追記して再度提出すること。これらの取り組み内容を評価に加える（合計70点）。講義中の添削は各自が用意した赤ペンにて行うこと。赤ペン以外での添削は評価対象外とするので赤ペンを常に持参すること。また、予習課題の提出に関して期限や注意事項に反した場合は評価対象外とするので留意すること。遅刻について、授業開始から30分までは出席を認めるが、30分を超えた場合は欠席扱いとする。テーマに関連した教科書・参考書および辞書・文法書など、内容の理解を補うものを必要に応じて持参すること。なお、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	講義概要説明、技術英語の基礎(1)	講義	【予習】英文法など、専門英語を学ぶのに必要な基礎知識の理解を深めておくこと。【復習】講義の内容の理解を深める。	60
	内容	本講義の概要と技術英語に関する基本的な事項を説明する。			
2回	テーマ	技術英語の基礎(2)	講義	【予習】テーマ2の予習課題を実施すること。【復習】講義の内容の理解を深める。	60
	内容	技術英語を学ぶ上で、必要最低限の文法に関して説明する。			
3回	テーマ	理数系の基礎(1)	講義	【予習】テーマ3の予習課題を実施すること。【復習】講義の内容の理解を深める。	60
	内容	数や図形などに関する英語表現について解説する。			
4回	テーマ	理数系の基礎(2)	講義	【予習】テーマ4の予習課題を実施すること。【復習】講義の内容の理解を深める。	60
	内容	数学に関する英語表現について解説する。			
5回	テーマ	理数系の基礎(3)	講義	【予習】テーマ5の予習課題を実施すること。【復習】講義の内容の理解を深める。	60
	内容	物理や単位などに関する英語表現について解説する。			
6回	テーマ	機械工学の基礎(1)	講義	【予習】テーマ6の予習課題を実施すること。【復習】講義の内容の理解を深める。	60
	内容	工業力学に関する英語表現について解説する。			
7回	テーマ	機械工学の基礎(2)	講義	【予習】テーマ7の予習課題を実施すること。【復習】講義の内容の理解を深める。	60
	内容	材料力学に関する英語表現について解説する。			
8回	テーマ	機械工学の基礎(3)	講義	【予習】テーマ8の予習課題を実施すること。【復習】講義の内容の理解を深める。	60
	内容	流体力学に関する英語表現について解説する。			
9回	テーマ	機械工学の基礎(4)	講義	【予習】テーマ9の予習課題を実施すること。【復習】講義の内容の理解を深める。	60
	内容	熱力学に関する英語表現について解説する。			
10回	テーマ	機械工学の基礎(5)	講義	【予習】テーマ10の予習課題を実施すること。【復習】講義の内容の理解を深める。	60
	内容	機械力学、制御工学に関する英語表現について解説する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	機械工学の基礎(6)	講義	【予習】テーマ11の予習課題を実施すること。【復習】講義の内容の理解を深める。	60
	内容	機械材料学に関する英語表現について解説する。			
12回	テーマ	機械工学の基礎(7)	講義	【予習】テーマ12の予習課題を実施すること。【復習】講義の内容の理解を深める。	60
	内容	加工学に関する英語表現について解説する。			
13回	テーマ	機械工学の基礎(8)	講義	【予習】テーマ13の予習課題を実施すること。【復習】講義の内容の理解を深める。	60
	内容	機構学に関する英語表現について解説する。			
14回	テーマ	機械工学の基礎(9)	講義	【予習】テーマ14の予習課題を実施すること。【復習】講義の内容の理解を深める。	60
	内容	設計･製図、図面、実験･実習に関する英語表現について解説する。			
15回	テーマ	機械工学の基礎(10)	講義	【予習】テーマ15の予習課題を実施すること。【復習】講義の内容の理解を深める。	60
	内容	仕様書、取扱説明書、報告書、技術書などに関する英語表現について解説する。			
16回	テーマ	総括	試験	【予習】講義内容全体を再確認し、理解を深める。【復習】試験で分からなかった問題を振り返り、理解を深める。	120
	内容	定期試験を実施する。			

科目名	専門英語Ⅰ（３ナ）	開講学年	3	講義コード	1625001	区分	選択
英文表記	Technical English Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	水城圭司

研究室	N501	オフィスアワー	オフィスアワーについては学修上の注意欄を参照

メールアドレス	mizuki@nano.sojo-u.ac.jp

キーワード	化学英単語　学術論文　SciFinder　ChemDraw　　TOEIC

授業概要	英語は世界共通のコミュニケーションツールとしてナノサイエンスの分野でも英語が公用語となっており、最新の重要な情報はほぼすべて英語によって公表されている。これらの情報は、卒業研究や大学院での研究、さらには就職後の業務や研究開発などにも必要不可欠である。 本講義では、グローバル化人材育成を目的とした実用英語、化学を専門とする学生を対象とした化学英語の基礎、英語文献の検索とその活用法について習得することで、上述に関連した専門能力を向上するための英語力の深化と課題解決能力を高めることができる。 なお、講義中のテスト・レポートの結果は、適宜授業中に学生へフィードバックする。

関連科目
基礎科目：英語Ⅰ～Ⅳ　発展科目：専門英語Ⅱ、ナノサイエンス演習、卒業研究、ゼミナール

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標			
		JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	化学英語文献を検索し、必要な文献をダウンロードすることができる
	②	TOEICがどのようなものか知り、その学習計画をたてることができる
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	0	0	0	10	90	100

教科書	授業の中で指示する

参考書	化学英語101　化学同人　　9784759810592 公式TOEIC Listening & Reading 問題集

予備知識	なるべく多くの英単語を暗記しておいてほしい。
DP との 関連	ディプロマポリシー(DP)中にある項目「汎用的技能：ナノサイエンス分野において応用力を有する専門家になるため、汎用的基礎力と専門能力を身につけたもの」に関連した科目であり、「実用的な英語力と化学英語の基礎力と専門能力」を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	その他とはテストと課題であり、その内訳はテスト：30点、課題・ふりかえり：60点である　ポートフォリオ記入：10点

学修上の注意 (SBOs)	レポート等の提出物において、コピーアンドペーストのような剽窃（他人のものを自分のものとして発表・提出すること）をした場合、不正行為と見なされます。 オフィスアワーの時間は事前予約制とします。事前予約方法は、火曜日4限目に該当教員の居室を訪ねるか、Eメール等で申請すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	予習：シラバスの熟読し、気になる点をノートにまとめておく 復習：講義内容を理解し、今後の学修計画をノートにまとめておく	40
	内容	講義の進め方。TOEIC、専門英語、英単語の重要性について			
2回	テーマ	TOEIC模擬テスト1（リスニング）	講義、演習	予習：TOEIC対策用の単語暗記、リスニングをおこなう 復習：模擬テスト(リスニング)について反省し、今後の学習計画について考え、ノートにまとめておく	40
	内容	TOEIC模擬テスト1（リスニング）とふりかえり			
3回	テーマ	TOEIC1模擬テスト（リーディング）	講義、演習	予習：TOEIC対策用の単語暗記、英文法学習をおこなう 復習：模擬テスト(リーディング)について反省し、今後の学習計画について考え、ノートにまとめておく	40
	内容	TOEIC模擬テスト1（リーディング）とふりかえり			
4回	テーマ	TOEIC模擬テスト1のふりかえり	講義、演習、SGD	予習：これまでのTOEIC学習計画に必要な教材等をリストアップしてノートにまとめておく 復習：講義中に議論しながら作成した学習計画をノートにまとめておく	40
	内容	TOEIC模擬テストの自己採点とふりかえり（今後の学習計画について）			
5回	テーマ	TOEICの学習計画作成	講義、演習、SGD	予習：講義中に議論しながら作成した学習計画をノートにまとめておく 復習：計画に沿ったTOEICの学習を行い、実施した内容をノートにまとめる	40
	内容	TOEICに関する今後の学習計画作成と実行方法について			
6回	テーマ	「SciFinderWeb」の登録と利用法1	講義、演習	予習：ノートPCを大学の無線LANに接続できるようにする。また、セキュリティーの更新など授業い影響の出ないように準備をしておく。 復習：SciFInderを使用して文献検索をする。	40
	内容	自然科学データベース「SciFinderWeb」の利用法、化学英単語の調べ方、PC必須			
7回	テーマ	「SciFinderWeb」を利用した文献検索	講義、演習	予習：ノートPCを大学の無線LANに接続できるようにする。また、セキュリティーの更新など授業い影響の出ないように準備をしておく。 復習：電子ジャーナルのサイトから文献を検索・ダウンロードする。	40
	内容	自然科学データベース「SciFinderWeb」の利用法と文献について、PC必須			
8回	テーマ	ChemOfficeと「SciFinderWeb」を利用した化学構造検索	講義、演習	予習：ノートPCを大学の無線LANに接続できるようにする。また、セキュリティーの更新など授業い影響の出ないように準備をしておく。 復習：ChemOfficeとSciFinderの利用法についてノートにまとめておく	40
	内容	化学構造描画ソフト「ChemOffice」と自然科学データベース「SciFinder Web」、PC必須			
9回	テーマ	化学英語論文の構成について	講義、演習	予習：ノートPCを大学の無線LANに接続できるようにする。また、セキュリティーの更新など授業い影響の出ないように準備をしておく。 復習：化学英語論文の構成をノートにまとめておく。	40
	内容	化学論文構成について、PC必須、e-L			
10回	テーマ	化学英語論文中の英単語調査	講義、演習	予習：ノートPCを大学の無線LANに接続できるようにする。また、セキュリティーの更新など授業い影響の出ないように準備をしておく。 復習：化学英語論文中の不明な専門英単語について、和訳と意味を調べておく	40
	内容	化学論文調査と専門英単語、PC必須			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	化学英語論文の読み進め方	講義、演習	予習：ノートPCを大学の無線LANに接続できるようにする。また、セキュリティーの更新など授業い影響の出ないように準備をしておく。 復習：化学英語論文中の不明な専門英単語について、和訳と意味を調べておく	40
	内容	化学論文の読み進め方、PC必須			
12回	テーマ	TOEIC学修の進捗確認と化学英語論文の読解状況確認	講義、演習、SGD	予習：これまでのTOEIC自己学習内容について復習する。自己の作成した専門英単語を暗記する。 復習：SGDでみつかった問題、改善点をノートにまとめておく	40
	内容	TOEICの学修状況と専門英単語リストの作成・提出、小グループ間での確認			
13回	テーマ	TOEIC模擬テスト2（リスニング）	講義、演習	予習：これまでのTOEIC自己学習内容について復習する 復習：模擬テスト(リスニング)について反省し、その問題点についてノートにまとめておく	40
	内容	TOEIC模擬テスト2(リスニング)とふりかえり			
14回	テーマ	TOEIC2模擬テスト（リーディング）	講義、演習	予習：これまでのTOEIC自己学習内容について復習する 復習：模擬テスト(リーディング)について反省し、その問題点についてノートにまとめておく	40
	内容	TOEIC模擬テスト2(リーディング)とふりかえり			
15回	テーマ	TOEIC模擬テスト2のふりかえり, 総括	講義、演習、SGD	予習：これまでのTOEIC学習計画について反省し、問題点、改善点をノートにまとめておく 復習：講義中に議論しながら修正した学習計画をノートにまとめておく	40
	内容	TOEIC模擬テストの自己採点とふりかえり(今後の学習計画について), 総括、授業アンケート、ポートフォリオ			

科目名	専門英語Ⅰ＊３（３建）	開講学年	3	講義コード	1635701	区分	選択/建築計画コース・建
英文表記	Academic English Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	古賀 元也　東 康二

研究室	J611　J515	オフィスアワー	適宜、昼休み（12:00～1:00）に研究室にて、講義内容に関する質問を受付ける。

メールアドレス	koga@sojo-u.ac.jp

キーワード	Academic, English

授業概要

外国語の習得では日常会話などの基礎的英語(500語程度)を超えると、専門分野により語彙の塊が異なってくる。住宅・建築においても例外でなく、これらを「専門英語」と呼ぶことが多い。しかし、本来、語学を学ぶ上では専門英語とか建築英語といった特別な英語は存在しない。建築の専門家として必要な英語とは、読み・書き・話すの三拍子がそろった英語の基礎力である。国際化が急速に進む日本社会にあっては、一定レベル以上の技術者にとって、英語の基礎力の重要性はますます高くなる。近年,建築の分野における日本の企業,研究機関のフィールドは国内だけでなく海外に広がっており,英語は不可欠となっている。この講義を通じて,今後の社会において求められる基礎能力を養う。 本講義は,前半の7回は建築・都市の分野を対象とし,スピーチを2つ取り上げ,まずスピーチの英文原稿の読み込みと和訳に取り組み読解力を身に着ける。そしてスピーチ映像を見て,英語の聞き取り能力を養う。加えて,海外での生活,働くために最低限必要なビジネスフレーズなども取り扱う。第8回に前半部分の総括として小試験①を実施する。 後半はSeismic Design of Steel Special Moment Framesという耐震設計ガイドの中から耐震設計の概要の部分を教材とする。基礎力養成のため、文法の解説は最小限にとどめ、正確に日本語に翻訳するよりも英語のまま内容を理解させるように試みる。

関連科目

連携科目 2年:英語Ⅲ、英語Ⅳ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g	f, g

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	英文法の基礎は理解できる。
	②	長文読解能力が上達し、内容を理解できる。
	③	都市を扱った英語のプレゼンテーションを理解できる。
	④	国内にとどまらず国際的な活動に興味・関心を持つことができる。
	⑤	学術的な文章では,特有の単語・言い回しが使われることを理解できる。
	⑥	文章全体で,どのような内容が書かれているか,大筋で理解できる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
95	0	0	0	0	0	5	0	100

教科書	配布プリント
参考書	

予備知識	基礎科目 1年:英語Ⅰ、英語Ⅱ
DP との 関連	「今後の社会で求められる建築的課題に対する専門的知識と技術体系及びそれに基づく分析・判断力及び応用力を身につけたもの。」のうち、分析・判断力につながる科目である。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	【学習到達度の評価】 1) 適宜、授業中に学生に質問を行い、理解度を把握すると共に、事例を提示して理解を深める。 2) 図書館の蔵書など講義に関連した本を提示し、それを学習することにより予習をさせる。 3) 2回の小試験により、授業全体の理解度を確認する。 4) 試験終了後に時間を設けて、試験の講評を行う。【評価方法】　 1) 各小試験の平均点により評価する。 2) 全授業終了後に学生自身による自己評価を行う。

学修上の注意 (SBOs)	1) 指定した箇所を予習し,音読およびその内容を発表できるように準備しておくこと。 2) 配布プリントはファイルに閉じて講義時に必ず持参すること。 3) 英和辞典を持参すること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は,不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	講義の概説と英語の練習	講義　演習	高校までの英文法をおさらいしておくこと。	60
	内容	文法の確認と英語スピーチ聞き取りのウォーミングアップ			
2回	テーマ	建築・都市Ⅰ：都市計画家Eric Sandersonのスピーチ	講義　演習	配布資料の事前に指定した箇所の内容について予習を行うこと。 専門用語を整理し、授業内容の復習を行うこと。	60
	内容	英文法の復習・スピーチの聞き取りと読解(その1)			
3回	テーマ	同上	講義　演習	配布資料の事前に指定した箇所の内容について予習を行うこと。 専門用語を整理し、授業内容の復習を行うこと。	60
	内容	英文法の復習・スピーチの聞き取りと読解(その2)			
4回	テーマ	同上	講義　演習	配布資料の事前に指定した箇所の内容について予習を行うこと。 専門用語を整理し、授業内容の復習を行うこと。	60
	内容	英文法の復習・スピーチの聞き取りと読解(その3)			
5回	テーマ	建築・都市Ⅱ：建築家Ole Scheerenのスピーチ	講義　演習	配布資料の事前に指定した箇所の内容について予習を行うこと。 専門用語を整理し、授業内容の復習を行うこと。	60
	内容	英文法の復習・スピーチの聞き取りと読解(その4)			
6回	テーマ	同上	講義　演習	配布資料の事前に指定した箇所の内容について予習を行うこと。 専門用語を整理し、授業内容の復習を行うこと。	60
	内容	英文法の復習・スピーチの聞き取りと読解(その5)			
7回	テーマ	同上	講義　演習	配布資料の事前に指定した箇所の内容について予習を行うこと。 専門用語を整理し、授業内容の復習を行うこと。	60
	内容	英文法の復習・スピーチの聞き取りと読解(その6)			
8回	テーマ	①～⑦の総括	講義　演習	7回までの講義内容を復習し,小試験1に臨むこと。	60
	内容	①～⑦のまとめと小試験1			
9回	テーマ	Seismic Design of Steel Special Moment Frames	講義　演習	配布資料の事前に指定した箇所の内容について予習を行うこと。 専門用語を整理し、授業内容の復習を行うこと。	60
	内容	Introduction:音読・読解(その1)			
10回	テーマ	同上	講義　演習	配布資料の事前に指定した箇所の内容について予習を行うこと。 専門用語を整理し、授業内容の復習を行うこと。	60
	内容	Historic Development:音読・読解(その2)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	同上	講義 演習	配布資料の事前に指定した箇所の内容について予習を行うこと。 専門用語を整理し、授業内容の復習を行うこと。	60
	内容	Historic Development：音読・読解（その3）			
12回	テーマ	同上	講義 演習	配布資料の事前に指定した箇所の内容について予習を行うこと。 専門用語を整理し、授業内容の復習を行うこと。	60
	内容	Steel Moment Frame Seismic Behavior：音読・読解（その4）			
13回	テーマ	同上	講義 演習	配布資料の事前に指定した箇所の内容について予習を行うこと。 専門用語を整理し、授業内容の復習を行うこと。	60
	内容	When to Use Steel Special Moment Frames：音読・読解（その5）			
14回	テーマ	同上	講義 演習	配布資料の事前に指定した箇所の内容について予習を行うこと。 専門用語を整理し、授業内容の復習を行うこと。	60
	内容	Frame Proportioning：音読・読解（その6）			
15回	テーマ	同上	講義 演習	配布資料の事前に指定した箇所の内容について予習を行うこと。 専門用語を整理し、授業内容の復習を行うこと。	60
	内容	Frame Proportioning：音読・読解（その7）			
16回	テーマ	⑨～⑮の総括	講義 演習		60
	内容	⑨～⑮のまとめと小試験2			

科目名	専門英語Ⅰ（３整）	開講学年	3	講義コード	1653701	区分	選択
英文表記	English for Aircraft Engineering I	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	岩﨑 敏也

研究室	空港キャンパス 整備学教員室	オフィスアワー	火曜日　（集中講義）

メールアドレス	iwasaki@arsp.sojo-u.ac.jp

キーワード	Aviation Maintenance　English

授業概要	航空系の企業に就職するためには、より高い英語能力が必要です。そしてより高い英語能力を持てば、自ら就職したい企業の選択度が広がります。　しかし過去の一部の先輩方は、英語の勉強は難しい、つまらない、勉強しても今は英語を使うところがない、英語を勉強する時間がないなどがあるため、英語学習をおろそかにしていました。結果自分の英語能力が上がっていない状態のまま、就活を始めざろうえない状況におかれていました。　この悪いRoutineが繰り返されないようにするため、自らの英語の取り組み経験を皆さんにもShareし、そして皆さんが自ら継続的に英語学習に取り組めるきっかけを付けさせることをこの授業の目的とします。　皆さんの希望があれば、航空無線通信士試験の過去に出題された英文を題材にします。

関連科目
基礎科目：英語Ⅰ～Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	英語を使うことが楽しくなることができる。
	②	TOEIC L&Rで100点以上向上することができる。
	③	英語を英語のまま理解できる能力をつけさせることができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	40	0	0	0	0	10	50	100

教科書	配布する資料を使用する

参考書	TOEICテスト中学英文法で600点！　アルク　小石裕子　978-4-7574-2809-6 公式TOEIC Listening&Reading問題集　IIBC

予備知識	中学で習う英文法、英単語は少なくても完璧にマスターしていること。
DP との 関連	実務的な英語力の向上によって得られる視野の広がりは豊かな人間性の構築にも大きく寄与します。 課題対応能力が身につきグローバルな環境で活躍する機会はさらに広がります。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	・定期試験は、授業の中で実施した内容で出題し、得点化します。　・その他は、以下の要領で点数化します。詳しくは最初の授業で話します。　1.主に毎回出す課題について評価（プラス）　2.TOEICのIPテストまたは公式テスト、英検などの受験（プラス）　3.TOEICの点数で自己最高点数を取得したとき(プラス)　　なお、授業中に授業と関係ないことをしている場合、最大40点まで減点します。(マイナス)　・ポートフォリオは、提出をすることで10点加点します。

学修上の注意 (SBOs)	・英語能力を向上についての大きな目標を持ち、それに向かってください。・日々の学修についても、無理のない小さい目標を持ち、それに向かって勉強をしてください。・英語はCommunication Toolです。海外の文章を読む、英語のYoutubeを見る、人と話したり、メール、チャットをすることで、英語に接することが楽しくなります。自ら英語が楽しめる状況になるように何をしたらよいか考えてください。・従来の学修方法にこだわらず、電子辞書やIT機器を多用し、積極的に翻訳ソフトなどに書けて理解を速めてください。・考えても答えが浮かばないのに、考え続けるのは時間の無駄です。答えが見つかりそうもない場合は、最初から答えを見て勉強することも有効です。・一度覚えたことをどうしたら忘れないようにできるかを自ら考えてください。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	（2コマ分）　オリエンテーションとTOEIC構成	講義、演習	復習課題を実施	毎日最低10
	内容	オリエンテーション ・自己評価と目標の設定 ・授業の目的､概要説明 TOEIC ・TOEIC公式問題構成等　英文読解 ・英語SpeechのListeningとReading			
2回	テーマ	（2コマ分）　取り組み紹介とTOEIC攻略	講義、演習	復習課題	毎日最低10
	内容	・課題提出及び紹介(フィードバック) ・TOEIC攻略法 ・英語のListeningとReading			
3回	テーマ	（2コマ分）　取り組み紹介と英語攻略	講義、演習	復習課題	毎日最低10
	内容	・課題提出及び紹介(フィードバック) ・英語攻略法 ・英語のListeningとReading			
4回	テーマ	（2コマ分）　取り組み紹介と英語攻略	講義、演習	復習課題	毎日最低10
	内容	・課題提出及び紹介(フィードバック) ・英語攻略法 ・英語のListeningとReading			
5回	テーマ	（2コマ分）　取り組み紹介と英語攻略	講義、演習	復習課題	毎日最低10
	内容	・課題提出及び紹介(フィードバック) ・英語攻略法 ・英語のListeningとReading			
6回	テーマ	（2コマ分）　取り組み紹介と英語攻略	講義、演習	復習課題	毎日最低10
	内容	・課題提出及び紹介(フィードバック) ・英語攻略法 ・英語のListeningとReading			
7回	テーマ	（2コマ分）　取り組み紹介と英語攻略	講義、演習	復習課題	毎日最低10
	内容	・課題提出及び紹介(フィードバック) ・英語攻略法 ・英語のListeningとReading			
8回	テーマ	試験	試験、講義		30
	内容	評価試験 試験のフィードバック			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎（旧カリ）後期（旧キャリア基礎Ｉ修得者）	開講学年	1	講義コード	2113102	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する		
研究室	30クラス開講のため授業で周知する	オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @		
キーワード	大学学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WC		

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚し、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。	関連科目：「SOJO基礎Ⅱ」「キャリア・プレコーオプ」および専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
efi	②	本学HPと研究室の調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fi	③	チームで問題を協働解決し、パワーポイントでの口頭発表と文章での報告をすることができる。
fi	④	信頼性のある精確な情報を収集・分析し、制約条件を満たしたレポートを作成することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	20	3	52	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ 2020　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:A・Bそれぞれの①反省点、②貢献内容 各項目300文字以上 15点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」) チーム発表:7分　(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 5点　3.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　①チーム発表:10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 10点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 5点　4.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 3点　5.ポートフォリオ:入学オリエンテーション時に紙媒体で作成した「入学時自己診断シート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、5回目の授業時にプリントアウトして提出 3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力。5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。3点×13週分＝39点　7.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　8.その他:時事ワークシート2点×5回＝10点　★プレゼンテーションABの準備作業不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①SOJO基礎Ｉの概要	講義　PW：個人ワーク	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12：00とする。5月連休期間中、曜日振替週も入力すること。 ★入学時自己診断シートは、5回目の授業日に印刷して提出	30 60
	内容	シラバスの説明 大学で学ぶということ 高校生と大学生・大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領 時事WS PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	オリエンテーション②キャリアデザイン	講義　PW	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30　60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	オリエンテーション③チーム討議の方法	講義　PW	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30　60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 チーム討議の進め方、BS、KJ法 プレゼンテーションの基礎技法、チーム編成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 受験生向けの本学HP全体の改善案、新作案 他大学HPとの比較等の情報収集、章立、役割分担			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30　60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
6回	テーマ	発表会「崇城大学HP探究」	GW	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成	60　60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
7回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備① ★ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	講義　GW	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学科研究室の概要調査、インタビュー、他大学研究室との比較、章立を検討して役割分担を決定			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑦ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、内容討議、PowerPoint作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	中間報告と修正			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①「学科研究室調査」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動報告書の作成、貢献度レポートの作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
12回	テーマ	発表会②「学科研究室調査」（予備） プレゼンテーションBのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ ★以下は次回提出 チーム活動報告書 貢献度レポート	60 6 0 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 チーム報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
13回	テーマ	文章作成の基本①	講義 ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑫ 左記レポート作成	60 60
	内容	レポート作成の概要 タイトル設定、概要、章立、本文1200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上 ①○○学科学生としてのありかた ②○○学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案 ③最近の時事問題に対する解決法の提案 ④アルバイト先の業務改善の提案 ⑤崇城大学への提案：学修、課外プロジェクト、福利厚生施設等			
14回	テーマ	文章作成の基本②	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑬ 左記レポート作成 ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 60 20 6 0 30
	内容	上記レポート作成 授業資料のバインダー整理			
15回	テーマ	文章作成の基本③ 自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	提出物の点検、出席確認、総評 上記レポートの作成：続きは夏期課題『時事WSブック』（夏期課題）の配布 ともに後期「SOJO基礎Ⅱ」の第1回目の授業日に提出。「SOJO基礎Ⅱ」の成績とする。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ａ（１機）	開講学年	1	講義コード 2113301	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	単位数 2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する				
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @				
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS				

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DPとの関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｂ（１機）	開講学年 1	講義コード 2113302	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する			
研究室	30クラス開講のため授業で周知する		オフィスアワー 30クラス開講のため授業で周知する	
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @			
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS			

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｃ（１機）	開講学年 1	講義コード 2113303	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する			
研究室	30クラス開講のため授業で周知する		オフィスアワー 30クラス開講のため授業で周知する	
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @			
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS			

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ａ（１ナ）	開講学年	1	講義コード	2113401	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS						

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DPとの関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｂ（１ナ）	開講学年	1	講義コード	2113402	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS						

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　P W	担当課題の発表準備シートの作成:次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12:00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題(レポート、時事WSブック)提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択(抽選の場合あり) 発表準備シートの作成　PW:個人ワーク、GW:グループワーク、 WS:ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース① チーム活動:発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース② チーム活動:発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③ チーム活動:発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④ チーム活動:発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出(部数は別途指示) ★チーム発表(10分)、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表(10分)、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦ ★以下は次回提出 時事WS①(以下同じ) チーム活動報告書 貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件(図書、インターネット情報等)を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧ 時事WS② 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成:「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上(書籍、インターネット情報、業界紙等) 項目:①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	PW	今週の活動とトップニュース⑨ 時事WS③ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ａ（１建）	開講学年	1	講義コード	2113501	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する
研究室	30クラス開講のため授業で周知する
オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60　3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｂ（１建）	開講学年	1	講義コード	2113502	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する
研究室	30クラス開講のため授業で周知する
オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60　3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｃ（１建）	開講学年 1	講義コード 2113503	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する			
研究室	30クラス開講のため授業で周知する		オフィスアワー 30クラス開講のため授業で周知する	
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @			
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS			

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎（１シス）	開講学年	1	講義コード	2113601	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する
研究室	30クラス開講のため授業で周知する
オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DPとの関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。　★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　ＰＷ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース① チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース② チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦ ★以下は次回提出 時事WS①（以下同じ） チーム活動報告書 貢献度レポート	60 30 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧ 時事WS② 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨ 時事WS③ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出(部数は別途指示) ★チーム発表(7分)、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ（１整）	開講学年	1	講義コード	2113701	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS						

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える（キャリアデザイン）意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DPとの関連	初年次教育の一環として、本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力（文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力）を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート：夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート：「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容：①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート：企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容：①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表（プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」）　①発表：1チーム10分（しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料）8点　②チーム活動報告書：チームで1部提出（PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析）4点　5.成果発表（プレゼンテーションD「職業人とは何か」）　1チーム7分（しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料）4点　6.作品：授業資料（テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示）を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ：「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ：学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック（夏期課題）5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点（公認欠席等を除く）　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　ＰＷ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース① チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース② チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦ ★以下は次回提出 時事WS①（以下同じ） チーム活動報告書 貢献度レポート	60 30 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧ 時事WS② 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨ 時事WS③ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ（１操）	開講学年	1	講義コード	2113801	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS						

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える（キャリアデザイン）意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DPとの関連	初年次教育の一環として、本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力（文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力）を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート：夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート：「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容：①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート：企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容：①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表（プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」）　①発表：1チーム10分（しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料）8点　②チーム活動報告書：チームで1部提出（PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析）4点　5.成果発表（プレゼンテーションD「職業人とは何か」）　1チーム7分（しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料）4点　6.作品：授業資料（テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示）を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ：「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ：学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック（夏期課題）5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点（公認欠席等を除く）　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　ＰＷ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース① チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース② チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦ ★以下は次回提出 時事WS①（以下同じ） チーム活動報告書 貢献度レポート	60 30 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧ 時事WS② 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨ 時事WS③ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ａ（１情）	開講学年	1	講義コード	2113901	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS						

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｂ（１情）	開講学年	1	講義コード	2113902	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS						

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DPとの関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｃ（１情）	開講学年 1	講義コード 2113903	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する			
研究室	30クラス開講のため授業で周知する		オフィスアワー 30クラス開講のため授業で周知する	
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @			
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS			

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｄ（１情）	開講学年 1	講義コード 2113904	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する			
研究室	30クラス開講のため授業で周知する		オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @			
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS			

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DPとの関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｅ（１情）	開講学年	1	講義コード	2113905	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS						

授業概要	関連科目
1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。	「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DPとの関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ａ（１微）	開講学年	1	講義コード	2114001	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する
研究室	30クラス開講のため授業で周知する
オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｂ（１微）	開講学年 1	講義コード 2114002	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する			
研究室	30クラス開講のため授業で周知する		オフィスアワー 30クラス開講のため授業で周知する	
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @			
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS			

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｃ（１微）	開講学年 1	講義コード 2114003	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する			
研究室	30クラス開講のため授業で周知する		オフィスアワー 30クラス開講のため授業で周知する	
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @			
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS			

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ａ（１生）	開講学年	1	講義コード	2114101	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する						
研究室	30クラス開講のため授業で周知する			オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する		
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @						
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS						

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｂ（１生）	開講学年	1	講義コード	2114102	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	30クラス開講のため授業で周知する		
研究室	30クラス開講のため授業で周知する	オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @		
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS		

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｃ（１生）	開講学年 1	講義コード 2114103	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する			
研究室	30クラス開講のため授業で周知する		オフィスアワー 30クラス開講のため授業で周知する	
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @			
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS			

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート:「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容:①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート:企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容:①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　①発表:1チーム10分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 8点　②チーム活動報告書:チームで1部提出(PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析) 4点　5.成果発表(プレゼンテーションD「職業人とは何か」)　1チーム7分(しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料) 4点　6.作品:授業資料(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック(夏期課題) 5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　Ｐ Ｗ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦　★以下は次回提出　時事WS①（以下同じ）　チーム活動報告書　貢献度レポート	60 3 0 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎（再履修）	開講学年 1	講義コード 2114201	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 2
担当教員	30クラス開講のため授業で周知する			
研究室	30クラス開講のため授業で周知する	オフィスアワー	30クラス開講のため授業で周知する	
メールアドレス	30クラス開講のため授業で周知する @			
キーワード	企業等提供問題の解決　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　文章表現　　時事WS			

授業概要

1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。 ★提出物は適宜返却する。 ★「今週の活動とトップニュース」については「教員コメント」を必ず参照すること。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」「キャリア・コーオプ」及び専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
efg	①	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
defi	②	企業等提供問題について信頼性のある精確な情報を収集・分析し、所属学科と将来の職業との関連性を検討することで、現時点での最善解を求めることができる。
bfi	③	職業人への意識を高めるために、具体的な企業での自身の役割について制約条件を満たしたレポートを作成し、キャリアデザインを進めることができる。
fi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	18	16	2	49	15	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える（キャリアデザイン）意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
DP との 関連	初年次教育の一環として、本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力（文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力）を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート：夏期課題 書式は前期に指示済み 5点　2.レポート：「プレゼンテーションCに対する私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25㎜、内容：①反省点、②貢献内容 各項目500文字以上 5点　3.レポート：企業調査「就職したと仮定した企業での私の役割」、書式は同上、内容：①企業の概要、②その企業で何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 8点　4.成果発表（プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」）　①発表：1チーム10分（しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料）8点　②チーム活動報告書：チームで1部提出（PowerPoint資料、プレゼンテーションの分析）4点　5.成果発表（プレゼンテーションD「職業人とは何か」）　1チーム7分（しゃべり方、内容・独自性、質疑応答、投影画面、参考資料）4点　6.作品：授業資料（テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示）を紙バインダーに整理 2点　7.ポートフォリオ：「今週の活動とトップニュース」 3点×13週分＝39点　8.ポートフォリオ：学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出 10点　9.その他　①時事WSブック（夏期課題）5点　②時事ワークシート 2点×5回＝10点　★プレゼンテーションCDの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点（公認欠席等を除く）　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　ＰＷ	担当課題の発表準備シートの作成：次回授業で点検あり。★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12：00とする。曜日の振り替え週、冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	夏期課題（レポート、時事WSブック）提出「SOJO基礎Ⅱ」の概要、チーム編成、 プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 企業等からの学科に沿った内容の提供課題に対するアイデア的解決、担当課題選択（抽選の場合あり） 発表準備シートの作成　PW：個人ワーク、GW：グループワーク、 WS：ワークシート			
2回	テーマ	プレゼンテーションC準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース① チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	発表準備シートのチーム内での報告会 発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションC準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース② チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションC準備③中間報告	ＧＷ	今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	チーム単位での経過報告と改善作業 情報収集、構成、PowerPoint作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションC準備④	ＧＷ	今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint完成			
6回	テーマ	発表会①「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑤ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
7回	テーマ	発表会②「企業提供課題の解決」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑥ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成	60 60 60
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、教員講評、 評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションCのチーム活動報告書作成	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑦ ★以下は次回提出 時事WS①（以下同じ） チーム活動報告書 貢献度レポート	60 30 60 60
	内容	チーム活動報告書作成の討議、原案作成 ★次回からのレポートのテーマに関連する参考文献2件（図書、インターネット情報等）を次回持参			
9回	テーマ	職業人への意識①企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑧ 時事WS② 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目本文400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑨ 時事WS③ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	ＰＷ	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 企業調査レポートの作成	60 30 60
	内容	時事WS②の返却･解答･解説 「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成			
12回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備①	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤ チーム活動：発表の準備	60 30 60
	内容	時事WS③の返却･解答･解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてPowerPointを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションD「職業人とは何か」準備②	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動：発表の準備	60 60
	内容	時事WS④の返却･解答･解説 PowerPoint作成			
14回	テーマ	発表会「職業人とは何か」	ＧＷ	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次回提出 授業資料バインダー 学修到達度レポート（授業アンケートの入力）	60 20 60 30
	内容	時事WS⑤の返却･解答･解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） ★チーム発表（7分）、質疑応答、教員講評			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 ＰＷ	★学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 学修到達度レポート提出 授業資料バインダー点検 出席確認、総評			

科目名	ベンチャービジネス（１機建宇）	開講学年 1	講義コード 2115101	区分 選必
英文表記	Venture Business	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	田口 雄太　川副 智行
研究室	G303 田口 雄太　G301 川副 智行
オフィスアワー	金曜12:30 - 15:00
メールアドレス	ytaguchi@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	アントレプレナーシップ　問題･課題発見　テクノロジー　ビジネスプラン

授業概要

本講義は、本学起業家育成プログラム関連講義の一つとし、問題・課題を発見する上で必要となる視点や現代社会を変えつつある先端のテクノロジーについてを座学と演習を通じて学ぶ。そして、アントレプレナーシップ(起業家精神)を養う。
さらに、ビジネスプラン作成のためのフレームワークを習得する。実戦として、チームでビジネスプランを作成するPBLの授業の中から、他者との共同・協働する力を養う。また、作成するビジネスプランは第7回崇城大学ビジネスプランコンテストに応募する。

関連科目

「特殊講座(未来デザイン)」、「アントレプレナーシップ入門」、「イノベーション入門」、「ローカルイノベーション」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			aefg	aefg

JABEE記号		学生の到達度目標
a,e,f	①	ビジネスプランの作成に必要なスキルを習得し、実践に活用することができる。
f	②	チームでビジネスプランを作成し、口頭で発表することができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	75	15	0	10	0	100

教科書

講義のレジュメを教科書とする

参考書

ビジネスモデル･ジェネレーション　翔泳社　アレック･オスターワルダー　9784798122977
インセンティブプレゼンテーション　KADOKAWA　杉本真樹　9784048862189

予備知識	課題の発見と解決に向けて主体的･協働的に学ぶこと。
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1. 成果発表: チームごとにビジネスプランの中間報告と成果発表をすることができるかを評価する。15点 2. レポート1: 第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学し、得た知見をまとめるレポートを評価する。30点　　レポート2: チームで作成した、第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト エントリーシート(ビジネスプラン)の① 市場性、②収益性、③独創性、④実現可能性を評価する。45点 3. ポートフォリオ: 学生到達度レポートによって評価する。10点 ★提出物は適宜返却する。 ★WebClassで提出されたレポートは適宜コメントを返すので、必ず参照すること。

学修上の注意 (SBOs)	1. グループワークでは、学生と教員、学生同士のコミュニケーションを重視し、積極的な参加姿勢を求める。 2. 第7回崇城大学ビジネスプランコンテストに応募する。 3. 講義のレジュメは、資料などはWebClassで閲覧、ダウンロードする。 4. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。 5. レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第2回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	講義の概要、教員紹介、チームビルディング			
2回	テーマ	問題・課題発見	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第3回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	問題・課題を発見する視点について学ぶ。そして、テーマに即した問題・課題をチームで列挙する(PBL)。			
3回	テーマ	テクノロジー	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第4回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	情報テクノロジーがどのように社会を変えてきたかについて学ぶ。そして、テーマに即したテクノロジーについてチームで討議する(PBL)。			
4回	テーマ	ビジネスプラン作成①	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第5回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	ビジネスモデル構築に必要な9つのブロックを学ぶ。チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
5回	テーマ	ビジネスプラン作成②	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第6回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	ビジネスモデル構築に必要な9つのブロックを学ぶ。チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
6回	テーマ	ビジネスプラン作成③	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第7回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
7回	テーマ	プレゼンテーション資料作成①	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第8回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
8回	テーマ	プレゼンテーション資料作成②	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第9回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
9回	テーマ	成果発表①	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第10回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて、成果発表を行う。			
10回	テーマ	成果発表②	講義　演習	【復習】 第6回崇城大学ビジネスプランコンテストファイナリストの発表映像を見ておくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて、成果発表を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト①	演習	【予習】自分のプランを読み返し、第7回崇城大学ビジネスプランコンテストの発表者のプランと比較できるよう自分のプランのポイントをまとめること。	120
	内容	第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学する(PBL)。			
12回	テーマ	第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト②	演習	【予習】自分のプランを読み返し、第7回崇城大学ビジネスプランコンテストの発表者となったと仮定して、自分のプランについてのプレゼンテーションの構成をまとめること。	120
	内容	第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学する(PBL)。			
13回	テーマ	第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト③	演習	【復習】自分のプランと発表者のプランと何が違うのかポイントをまとめる。第7回崇城大学ビジネスプランコンテストの感想をまとめること。	120
	内容	第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学する(PBL)。			
14回	テーマ	ビジネスプラン講評	講義	【復習】ビジネスプランを実行に移すためのポイントをまとめる。第15回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	各チームのビジネスプランを実現するために必要なことを考察する。			
15回	テーマ	講義のまとめ	講義	【復習】レポート作成。期限までにWebClassに提出。学習到達度レポートも同様に期限までに提出。	120
	内容	講義のまとめと教員からのメッセージ			

科目名	ベンチャービジネス（１ナ微）	開講学年	1	講義コード	2115201	区分	選必
英文表記	Venture Business	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	田口 雄太　川副 智行

研究室	G303 田口 雄太　G301 川副 智行	オフィスアワー	金曜12:30 - 15:00

メールアドレス	ytaguchi@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	アントレプレナーシップ　問題･課題発見　テクノロジー　ビジネスプラン

授業概要

本講義は、本学起業家育成プログラム関連講義の一つとし、問題・課題を発見する上で必要となる視点や現代社会を変えつつある先端のテクノロジーについてを座学と演習を通じて学ぶ。そして、アントレプレナーシップ(起業家精神)を養う。
さらに、ビジネスプラン作成のためのフレームワークを習得する。実戦として、チームでビジネスプランを作成するPBLの授業の中から、他者との共同・協働する力を養う。また、作成するビジネスプランは第7回崇城大学ビジネスプランコンテストに応募する。

関連科目

「特殊講座(未来デザイン)」、「アントレプレナーシップ入門」、「イノベーション入門」、「ローカルイノベーション」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			aefg	aefg

JABEE記号		学生の到達度目標
a,e,f	①	ビジネスプランの作成に必要なスキルを習得し、実践に活用することができる。
f	②	チームでビジネスプランを作成し、口頭で発表することができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	75	15	0	10	0	100

教科書

講義のレジュメを教科書とする

参考書

ビジネスモデル･ジェネレーション　翔泳社　アレック･オスターワルダー　9784798122977
インセンティブプレゼンテーション　KADOKAWA　杉本真樹　9784048862189

予備知識	課題の発見と解決に向けて主体的･協働的に学ぶこと。
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1. 成果発表: チームごとにビジネスプランの中間報告と成果発表をすることができるかを評価する。15点 2. レポート1: 第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学し、得た知見をまとめるレポートを評価する。30点　レポート2: チームで作成した、第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト エントリーシート(ビジネスプラン)の① 市場性、②収益性、③独創性、④実現可能性を評価する。45点 3. ポートフォリオ: 学生到達度レポートによって評価する。10点 ★提出物は適宜返却する。 ★WebClassで提出されたレポートは適宜コメントを返すので、必ず参照すること。

学修上の注意 (SBOs)	1. グループワークでは、学生と教員、学生同士のコミュニケーションを重視し、積極的な参加姿勢を求める。 2. 第7回崇城大学ビジネスプランコンテストに応募する。 3. 講義のレジュメは、資料などはWebClassで閲覧、ダウンロードする。 4. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。 5. レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第2回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	講義の概要、教員紹介、チームビルディング			
2回	テーマ	問題・課題発見	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第3回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	問題・課題を発見する視点について学ぶ。そして、テーマに即した問題・課題をチームで列挙する(PBL)。			
3回	テーマ	テクノロジー	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第4回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	情報テクノロジーがどのように社会を変えてきたかについて学ぶ。そして、テーマに即したテクノロジーについてチームで討議する(PBL)。			
4回	テーマ	ビジネスプラン作成①	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第5回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	ビジネスモデル構築に必要な9つのブロックを学ぶ。チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
5回	テーマ	ビジネスプラン作成②	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第6回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	ビジネスモデル構築に必要な9つのブロックを学ぶ。チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
6回	テーマ	ビジネスプラン作成③	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第7回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
7回	テーマ	プレゼンテーション資料作成①	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第8回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
8回	テーマ	プレゼンテーション資料作成②	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第9回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
9回	テーマ	成果発表①	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第10回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて、成果発表を行う。			
10回	テーマ	成果発表②	講義　演習	【復習】 第6回崇城大学ビジネスプランコンテストファイナリストの発表映像を見ておくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて、成果発表を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト①	演習	【予習】自分のプランを読み返し、第7回崇城大学ビジネスプランコンテストの発表者のプランと比較できるよう自分のプランのポイントをまとめること。	120
	内容	第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学する(PBL)。			
12回	テーマ	第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト②	演習	【予習】自分のプランを読み返し、第7回崇城大学ビジネスプランコンテストの発表者となったと仮定して、自分のプランについてのプレゼンテーションの構成をまとめること。	120
	内容	第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学する(PBL)。			
13回	テーマ	第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト③	演習	【復習】自分のプランと発表者のプランと何が違うのかポイントをまとめる。第7回崇城大学ビジネスプランコンテストの感想をまとめること。	120
	内容	第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学する(PBL)。			
14回	テーマ	ビジネスプラン講評	講義	【復習】ビジネスプランを実行に移すためのポイントをまとめる。第15回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	各チームのビジネスプランを実現するために必要なことを考察する。			
15回	テーマ	講義のまとめ	講義	【復習】レポート作成。期限までにWebClassに提出。学習到達度レポートも同様に期限までに提出。	120
	内容	講義のまとめと教員からのメッセージ			

科目名	ベンチャービジネス（１情生）	開講学年	1	講義コード	2115301	区分	選必
英文表記	Venture Business	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	田口 雄太　川副 智行

研究室	G303 田口 雄太　G301 川副 智行	オフィスアワー	金曜12:30 - 15:00

メールアドレス	ytaguchi@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	アントレプレナーシップ　問題･課題発見　テクノロジー　ビジネスプラン

授業概要	本講義は、本学起業家育成プログラム関連講義の一つとし、問題･課題を発見する上で必要となる視点や現代社会を変えつつある先端のテクノロジーについてを座学と演習を通じて学ぶ。そして、アントレプレナーシップ(起業家精神)を養う。 さらに、ビジネスプラン作成のためのフレームワークを習得する。実戦として、チームでビジネスプランを作成するPBLの授業の中から、他者との共同･協働する力を養う。また、作成するビジネスプランは第7回崇城大学ビジネスプランコンテストに応募する。

関連科目

「特殊講座(未来デザイン)」、「アントレプレナーシップ入門」、「イノベーション入門」、「ローカルイノベーション」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A1	A1
		JABEE基準		aefg	aefg

JABEE記号		学生の到達度目標
a,e,f	①	ビジネスプランの作成に必要なスキルを習得し、実践に活用することができる。
f	②	チームでビジネスプランを作成し、口頭で発表することができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	75	15	0	10	0	100

教科書	講義のレジュメを教科書とする

参考書	ビジネスモデル･ジェネレーション　翔泳社　アレック･オスターワルダー　9784798122977 インセンティブプレゼンテーション　KADOKAWA　杉本真樹　9784048862189

予備知識	課題の発見と解決に向けて主体的･協働的に学ぶこと。
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1. 成果発表: チームごとにビジネスプランの中間報告と成果発表をすることができるかを評価する。15点 2. レポート1: 第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学し、得た知見をまとめるレポートを評価する。30点　　レポート2: チームで作成した、第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト エントリーシート(ビジネスプラン)の① 市場性、②収益性、③独創性、④実現可能性を評価する。45点 3. ポートフォリオ: 学生到達度レポートによって評価する。10点 ★提出物は適宜返却する。 ★WebClassで提出されたレポートは適宜コメントを返すので、必ず参照すること。

学修上の注意 (SBOs)	1. グループワークでは、学生と教員、学生同士のコミュニケーションを重視し、積極的な参加姿勢を求める。 2. 第7回崇城大学ビジネスプランコンテストに応募する。 3. 講義のレジュメは、資料などはWebClassで閲覧、ダウンロードする。 4. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。 5. レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第2回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	講義の概要、教員紹介、チームビルディング			
2回	テーマ	問題・課題発見	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第3回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	問題・課題を発見する視点について学ぶ。そして、テーマに即した問題・課題をチームで列挙する(PBL)。			
3回	テーマ	テクノロジー	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第4回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	情報テクノロジーがどのように社会を変えてきたかについて学ぶ。そして、テーマに即したテクノロジーについてチームで討議する(PBL)。			
4回	テーマ	ビジネスプラン作成①	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第5回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	ビジネスモデル構築に必要な9つのブロックを学ぶ。チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
5回	テーマ	ビジネスプラン作成②	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第6回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	ビジネスモデル構築に必要な9つのブロックを学ぶ。チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
6回	テーマ	ビジネスプラン作成③	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第7回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
7回	テーマ	プレゼンテーション資料作成①	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第8回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
8回	テーマ	プレゼンテーション資料作成②	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第9回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
9回	テーマ	成果発表①	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第10回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて、成果発表を行う。			
10回	テーマ	成果発表②	講義　演習	【復習】 第6回崇城大学ビジネスプランコンテストファイナリストの発表映像を見ておくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて、成果発表を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト①	演習	【予習】自分のプランを読み返し、第7回崇城大学ビジネスプランコンテストの発表者のプランと比較できるよう自分のプランのポイントをまとめること。	120
	内容	第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学する(PBL)。			
12回	テーマ	第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト②	演習	【予習】自分のプランを読み返し、第7回崇城大学ビジネスプランコンテストの発表者となったと仮定して、自分のプランについてのプレゼンテーションの構成をまとめること。	120
	内容	第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学する(PBL)。			
13回	テーマ	第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト③	演習	【復習】自分のプランと発表者のプランと何が違うのかポイントをまとめる。第7回崇城大学ビジネスプランコンテストの感想をまとめること。	120
	内容	第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学する(PBL)。			
14回	テーマ	ビジネスプラン講評	講義	【復習】ビジネスプランを実行に移すためのポイントをまとめる。第15回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	各チームのビジネスプランを実現するために必要なことを考察する。			
15回	テーマ	講義のまとめ	講義	【復習】レポート作成。期限までにWebClassに提出。学習到達度レポートも同様に期限までに提出。	120
	内容	講義のまとめと教員からのメッセージ			

科目名	ベンチャービジネス（１美デ薬）	開講学年	1	講義コード	2115401	区分	選必
英文表記	Venture Business	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	田口 雄太　川副 智行

研究室	G303 田口 雄太　G301 川副 智行	オフィスアワー	金曜12:30 - 15:00

メールアドレス	ytaguchi@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	アントレプレナーシップ　問題･課題発見　テクノロジー　ビジネスプラン

授業概要

本講義は、本学起業家育成プログラム関連講義の一つとし、問題・課題を発見する上で必要となる視点や現代社会を変えつつある先端のテクノロジーについてを座学と演習を通じて学ぶ。そして、アントレプレナーシップ(起業家精神)を養う。
さらに、ビジネスプラン作成のためのフレームワークを習得する。実戦として、チームでビジネスプランを作成するPBLの授業の中から、他者との共同・協働する力を養う。また、作成するビジネスプランは第7回崇城大学ビジネスプランコンテストに応募する。

関連科目

「特殊講座(未来デザイン)」、「アントレプレナーシップ入門」、「イノベーション入門」、「ローカルイノベーション」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			aefg	aefg

JABEE記号		学生の到達度目標
a,e,f	①	ビジネスプランの作成に必要なスキルを習得し、実践に活用することができる。
f	②	チームでビジネスプランを作成し、口頭で発表することができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	75	15	0	10	0	100

教科書

講義のレジュメを教科書とする

参考書

ビジネスモデル･ジェネレーション　翔泳社　アレック･オスターワルダー　9784798122977
インセンティブプレゼンテーション　KADOKAWA　杉本真樹　9784048862189

予備知識	課題の発見と解決に向けて主体的･協働的に学ぶこと。
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1. 成果発表: チームごとにビジネスプランの中間報告と成果発表をすることができるかを評価する。15点 2. レポート1: 第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学し、得た知見をまとめるレポートを評価する。30点　　レポート2: チームで作成した、第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト エントリーシート(ビジネスプラン)の① 市場性、②収益性、③独創性、④実現可能性を評価する。45点 3. ポートフォリオ: 学生到達度レポートによって評価する。10点 ★提出物は適宜返却する。 ★WebClassで提出されたレポートは適宜コメントを返すので、必ず参照すること。

学修上の注意 (SBOs)	1. グループワークでは、学生と教員、学生同士のコミュニケーションを重視し、積極的な参加姿勢を求める。 2. 第7回崇城大学ビジネスプランコンテストに応募する。 3. 講義のレジュメは、資料などはWebClassで閲覧、ダウンロードする。 4. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。 5. レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第2回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	講義の概要、教員紹介、チームビルディング			
2回	テーマ	問題・課題発見	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第3回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	問題・課題を発見する視点について学ぶ。そして、テーマに即した問題・課題をチームで列挙する(PBL)。			
3回	テーマ	テクノロジー	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第4回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	情報テクノロジーがどのように社会を変えてきたかについて学ぶ。そして、テーマに即したテクノロジーについてチームで討議する(PBL)。			
4回	テーマ	ビジネスプラン作成①	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。 第5回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	ビジネスモデル構築に必要な9つのブロックを学ぶ。チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
5回	テーマ	ビジネスプラン作成②	講義　演習	【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめておくこと。第6回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	ビジネスモデル構築に必要な9つのブロックを学ぶ。チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
6回	テーマ	ビジネスプラン作成③	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第7回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
7回	テーマ	プレゼンテーション資料作成①	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第8回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
8回	テーマ	プレゼンテーション資料作成②	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第9回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて討議を行うとともに、発表準備を進める(PBL)。			
9回	テーマ	成果発表①	講義　演習	【復習】チームごとにビジネスプランを仕上げる。第10回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて、成果発表を行う。			
10回	テーマ	成果発表②	講義　演習	【復習】 第6回崇城大学ビジネスプランコンテストファイナリストの発表映像を見ておくこと。	120
	内容	チームが着目するビジネスプランについて、成果発表を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト①	演習	【予習】自分のプランを読み返し、第7回崇城大学ビジネスプランコンテストの発表者のプランと比較できるよう自分のプランのポイントをまとめること。	120
	内容	第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学する(PBL)。			
12回	テーマ	第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト②	演習	【予習】自分のプランを読み返し、第7回崇城大学ビジネスプランコンテストの発表者となったと仮定して、自分のプランについてのプレゼンテーションの構成をまとめること。	120
	内容	第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学する(PBL)。			
13回	テーマ	第7回崇城大学ビジネスプランコンテスト③	演習	【復習】自分のプランと発表者のプランと何が違うのかポイントをまとめる。第7回崇城大学ビジネスプランコンテストの感想をまとめること。	120
	内容	第7回崇城大学ビジネスプランコンテストを見学する(PBL)。			
14回	テーマ	ビジネスプラン講評	講義	【復習】ビジネスプランを実行に移すためのポイントをまとめる。第15回の講義レジュメを読んでおくこと。	120
	内容	各チームのビジネスプランを実現するために必要なことを考察する。			
15回	テーマ	講義のまとめ	講義	【復習】レポート作成。期限までにWebClassに提出。学習到達度レポートも同様に期限までに提出。	120
	内容	講義のまとめと教員からのメッセージ			

科目名	ローカルイノベーション（２全学科）	開講学年 2	講義コード 2115901	区分 選必
英文表記	Local Innovation	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	川副 智行　田口 雄太
研究室	G301 川副 智行　G303 田口 雄太
オフィスアワー	月曜日3限
メールアドレス	@
キーワード	デザイン思考　ブルーオーシャン　ビジネスモデル　カスタマージャーニー　プランニング

授業概要

この講義では、アイディエーションで確立したアイデアをビジネスに向けた提案へと高めていくため、プランニングの知識やスキルを身に付ける。講義の中では、デザイン思考を用いた実践的なワークショップを実施するとともに、論理的に他者の納得ができるプランの組み立て、プレゼンテーション能力を体得する。イノベーションが実践できる素地を醸成し、その成果を崇城大学ビジネスプランコンテストへの応募に繋げる

関連科目

「特殊講座（未来デザイン）」「イノベーション入門」「アントレプレナーシップ入門」「ベンチャービジネス」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
(d)	①	アイデアからビジネスを組み立てる上での注意点や障壁を理解することができる。
(d), (e)	②	デザイン思考の基礎的なプロセスを習得して、プランニングを実践することができる。
(d), (e), (g)	③	プランのブラッシュアップ手法を理解して、各自のアイデアのブラッシュすることができる。
(e), (h), (i)	④	グループワークに主体的に参加して、肯定的に他者の意見を取り込み、協働でのプランニングを実践できる。
(f), (h)	⑤	スケジュール内で完成させたビジネスプランについて、魅力的なプレゼンを実施することができる。
(g)	⑥	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	15	60	15	0	10	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶこと。 起業の有無に関わらず、本講義で学ぶ実践的なスキルとマインドはキャリア形成に有効であることを理解して欲しい。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする
実務経験のある教員	
評価明細基準	1. 小テスト：15点 講義で取り上げた内容に関する基礎的事項を理解し、課題に対して自己の見解を論理的に説明できるか等を評価する。テストは適宜返却する。 2. レポート：20点×3回＝60点 地方創生に関する課題/カスタマージャーニーを1200～1500字でまとめる。また、ビジネスプランコンテストエントリーシート（①市場性、②独創性、③実現可能性）及び他プランの感想を800～1000字をまとめる。(学習到達度を評価)。提出されたレポートは適宜コメントをフィードバックする。 3. 成果発表：15点 チームごとにビジネスプランの中間成果発表(2回)をすることができるかを評価する。2回成果発表の参加が必要。(学習到達度を評価) 4. ポートフォリオ: 学習到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 前半は講義のポイントをまとめたレジュメを投影し、各種資料を参照しながら進める。後半はグループワークを基本とする。　2. 講義のレジュメは、資料などはWebClassで閲覧、ダウンロードする。　3. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。 4.起業の有無にかかわらず社会で必要となる知識・スキル・マインドの育成を目指して実践的な講義を実施することから、講義への積極的な参加が望ましい。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・アンケート記入	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第2回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・講義概要、講師紹介、イノベーション入門の復習を実施する。・提案資料書作成及びプレゼンテーションの重要性を理解する。・現状把握アンケートを通して、今後の講義内容を理解する。			
2回	テーマ	アイデアをビジネスへ（プランニングと障壁）	講義	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第3回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・ビジネス考案におけるプランニングの重要性を理解する。・死の谷、魔の川、ダーウィンの海を理解して、研究開発からビジネスへの移行の注意点を理解する。・			
3回	テーマ	ビジネスモデルとブルーオーシャン	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第4回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・様々なビジネスモデルを理解することで、ビジネス着想の幅を広げる。・ブルーオーシャン戦略の考え方を理解して、市場選定のセンスを養う。・ビジネスモデル+市場選定スキルを応用してプランニングの準備をする。			
4回	テーマ	地方創生に向けた課題の発見	講義・PBL（Project Based Learning ）・レポート作成	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第5回の講義レジュメを読んでおく。地方創生に関する課題をレポートにまとめる。	120
	内容	・ビジネス視点で身近な地方特有の課題を複数考える。・選定した課題を解決可能なレベルにブレイクダウンするコツを習得する。・地方創生に向けた課題とその選定理由及び市場性をレポートにまとめる。			
5回	テーマ	デザイン思考part.1（理論）	講義・PBL（Project Based Learning ）	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第6回の講義レジュメを読んでおく。	60
	内容	・デザイン思考の概略を理解し、その活用に関する知識を得る。・常法ではなく、対象特性に合わせたカスタマイズの必要性を理解する。・自身のアイデアに適用し、本手法のメリットが活かせるようになる。			
6回	テーマ	カスタマージャーニーとペルソナ	講義・PBL（Project Based Learning ）・レポート作成	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第7回の講義レジュメを読んでおく。カスタマージャーニーに関する課題をレポートにまとめる。	120
	内容	・ペルソナ設定の必要性を理解して、自身のアイデアに適用できる。・カスタマージャーニーを理解して、確度の高いプランニングを実現する。、・ペルソナとカスタマージャーニー視点でプラン素案をレポートにまとめる。			
7回	テーマ	ビジネスプランニング1（個人ワーク）	演習・PBL（Project Based Learning ）・SGD（Small Group Discussion）	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第8回の講義レジュメを読んでおく。ビジネスプランコンテストのグループ討議の準備をする。	90
	内容	・これまで習得した手法を用いてビジネスプランニングを実践する。・ビジネスプランの実現後の変化をイメージして、1枚の資料で表現する。・時間内に作成した資料を用いてプレゼンテーションをする。			
8回	テーマ	コンシューマリサーチ	講義・PBL（Project Based Learning ）・SGD（Small Group Discussion）	【復習】講義で紹介したポイントやキーワードをまとめておく。第9回の講義レジュメを読んでおく。小テストの準備をする。次回のグループ討議の準備をする。	120
	内容	・プロトタイピングにおける顧客受容度の確認に関する手法を理解する。・対象の特性や確認する項目に合わせたリサーチ方法が選択できる。・機器計測を併用した科学的なリサーチ方法の知識を得る。			
9回	テーマ	デザイン思考part.2（実践）	SGD（Small Group Discussion）・小テスト	【復習】ビジネスプランコンテストのグループ討議の準備をする。。	90
	内容	・自身のプラン・企画においてプロトタイピングを実施する。・他者からのアドバイスを受け、プランを改善できるスキルを身に付ける。・小テストの実施			
10回	テーマ	ビジネスプランニング2（グループワーク）	SGD（Small Group Discussion）・演習	【復習】チームごとにイノベーションビジネスプランを仕上げる。	90
	内容	・ビジネスプランをモデルとしてグループ討議の基礎を理解する。・一定時間で効率的な議論を運営して、合意形成による結論を導く。・チームビルディングと共に、協働による改善案を作り上げる。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	崇城大学ビジネスプランコンテスト見学	演習・PBL（Project Based Learning）	【復習】崇城大学ビジネスプランコンテストの感想をまとめること。	120
	内容	・評価ポイントを踏まえたビジネスプランの作成と説明ができる。・効果的なプレゼン資料の作成スキルとプレゼンスキルを習得する。・他者の発表のメモを取り、ポジティブな質問ができるスキルを身に付ける。			
12回	テーマ	崇城大学ビジネスプランコンテスト見学	演習・PBL（Project Based Learning）	【復習】崇城大学ビジネスプランコンテストの感想をまとめること。	120
	内容	・評価ポイントを踏まえたビジネスプランの作成と説明ができる。・効果的なプレゼン資料の作成スキルとプレゼンスキルを習得する。・他者の発表のメモを取り、ポジティブな質問ができるスキルを身に付ける。			
13回	テーマ	崇城大学ビジネスプランコンテスト見学	演習・PBL（Project Based Learning）	【復習】崇城大学ビジネスプランコンテストの感想をまとめること。	120
	内容	・評価ポイントを踏まえたビジネスプランの作成と説明ができる。・効果的なプレゼン資料の作成スキルとプレゼンスキルを習得する。・他者の発表のメモを取り、ポジティブな質問ができるスキルを身に付ける。			
14回	テーマ	ビジネスプラン講評	SGD（Small Group Discussion）・レポート作成	【復習】ビジネスプランコンテストに関する報告レポートをまとめる。	120
	内容	・自身のプランへの振り返りを行って、プランニングスキルの向上に繋げる。・地方創生における課題をまとめ、次年度以降のナレッジ化を行う。・ビジネスプランコンテストに関連した報告レポートを作成する。			
15回	テーマ	講義のまとめ	PBL（Project Based Learning）・アンケート記入	【復習】ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	60
	内容	・講義のまとめと教員からのメッセージ・レポートやアンケートの傾向を共有化して、自分や他者の意識を理解する。・プランニングスキルの習得度に関するアンケートを実施する。			

科目名	キャリアプレコーオプ（２機建宇情）	開講学年	2	講義コード	2116501	区分	選必
英文表記	Career Pre-Coop；Pre-Cooperative Education	開講期	前後期	開講形態		単位数	2
担当教員	辻田祐純　藤本元啓　田上寛美（非常勤）　藤田崇（非常勤）						
研究室	本館附属棟１F　本館305　本館附属棟１F　本館附属棟１F			オフィスアワー	授業で周知する		
メールアドレス	授業で周知する@						
キーワード	社会人基礎力　企業等提供問題解決　チームワーク　プレゼンテーション　キャリアデザイン						

授業概要

概要　本科目は、企業や団体などが抱えている現実的な問題を学生に提示し、学生がその問題の解決にあたるという、課題解決型コーオプ教育の前段階として位置づけたもので、社会人基礎力としての実践力、責任感、主体的行動力を身につけ、専門教育における学修意欲や就業意識の向上を図るものである。 1.企業等が提供する現実的な問題について、チームで精確な情報を収集し、工学・情報・デザイン系の基礎知識を生かして、アイデア的な解決案を発表する。 2.学期中に2つの問題をチームで解決・発表し、希望する個人・チームは追加の解決案の発表を行う。【クラス編成】 Aクラス:機械、建築、宇宙システム、情報、美術、デザイン学科 Bクラス:ナノサイエンス、応微、応生、薬学科　学修上の助言 1.身につけた専門基礎的な知識を現実社会の問題のアイデア的解決に生かしてみたい学生の受講を歓迎 2.「インターンシップⅠ・Ⅱ」受講予定学生の参加を歓迎

関連科目

後継科目として、3年次「キャリアセミナー」（学科別クラス）、「キャリアプロジェクト」（学生プロジェクト、2年次までに1年間の活動経験者対象）、「インターンシップⅠ・Ⅱ」（5日間以上、夏期・春期集中）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
d,e,f,i	①	企業等の提供課題について信用のある精確な情報を収集・分析し、現時点での最善解を、PowerPointを使用して口頭発表することができる。
f,i	②	チーム活動への積極的な貢献をとおして、問題を協働解決することができる。
e,f,g	③	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力の向上と社会への関心度を高めることができる。
g	④	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	10	30	3	47	10	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	

予備知識	「SOJO基礎」で学修したチーム活動に関する基礎知識
DP との 関連	本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	★成績評価はプロセス評価で行う。 1.レポート:「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」 書式:A4用紙1枚、1行40文字、1頁40行、MS明朝、余白各25㎜ 10点 2.①発表:1チーム10分間(しゃべり方、内容・独自性、投影画面、参考資料、質疑応答等) 10点×2回＝20点 ②発表報告書:チームで1部提出(書式は上記1に同じ、パワーポイント資料、報告分析) 5点×2回＝10点 3.作品:授業資料整理バインダー 3点 4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」入力 3点×13週分＝39点 5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、それをプリントアウトして15回目の授業時間に提出 8点 6.その他:時事ワークシート 2点×5回＝10点 ★プレゼンテーションの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く) ★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し 公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場 合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特 別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、本科目の単位認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーン等でのゲーム・メール等は禁止。発見次第退出を命じ、以後の授業出席を認めない。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション　プレゼンテーションA準備①	講義　GW	★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12:00とする。	
	内容	シラバスの説明、チーム編成			
2回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	プレゼンテーションAの課題提示　発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションA準備③中間報告	GW	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA発表会①	GW	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：情報収集、整理、報告書の作成	60　60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示）　★発表時間10分　発表チーム以外は評価シート作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションA発表会②	GW	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：報告書の作成	60　60
	内容	★発表時間10分　発表チーム以外は評価シートの作成			
6回	テーマ	プレゼンテーションB準備①	GW	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動：情報収集、整理	60　60
	内容	プレゼンテーションB課題提示　発表の構成、工程表、分担等の決定			
7回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動：情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、PowerPoint作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備③中間報告	GW	今週の活動とトップニュース⑦　時事WS①　チーム活動：情報収集、整理	60　30 60
	内容	情報収集、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　チーム活動：情報収集、整理、報告書の作成	60　30 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示）　★発表時間10分　発表チーム以外は評価シート作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB発表会②	GW	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　チーム活動：報告書の作成	60　30 60
	内容	★発表時間10分　発表チーム以外は評価シート作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	課題レポート作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 課題レポート作成	60 30 60
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の作成 発表エントリー（希望）：個人、チーム			
12回	テーマ	課題レポート作成②	PW	今週の活動とトップニュー⑪ 時事WS⑤ 課題レポート作成	60 30 60
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の作成			
13回	テーマ	課題レポート作成③予備 課題レポート発表会①	PW GW	今週の活動とトップニュース⑫ 課題レポート作成：次回提出	60 60
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の作成 もしくは発表 ・7分間、PowerPointデータ印刷配布			
14回	テーマ	課題レポート発表会②	PW GW	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次週提出 到達度レポート 授業資料のバインダー整理 ★授業アンケートの入力	60 60 60 15
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の発表 ・7分間、PowerPointデータ印刷配布			
15回	テーマ	まとめ	講義	学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	60
	内容	到達度レポート提出、授業資料整理バインダー点検、総評、出席確認			

科目名	キャリアプレコーオプ（２ナ微生美デ薬）	開講学年	2	講義コード	2116601	区分	選必
英文表記	Career Pre-Coop；Pre-Cooperative Education	開講期	前後期	開講形態		単位数	2
担当教員	辻田祐純　藤本元啓　田上寛美（非常勤）　藤田崇（非常勤）						
研究室	本館附属棟１F　本館305　本館附属棟１F　本館附属棟１F			オフィスアワー	授業で周知する		
メールアドレス	授業で周知する@						
キーワード	社会人基礎力　企業等提供問題解決　チームワーク　プレゼンテーション　キャリアデザイン						

授業概要

概要　本科目は、企業や団体などが抱えている現実的な問題を学生に提示し、学生がその問題の解決にあたるという、課題解決型コーオプ教育の前段階として位置づけたもので、社会人基礎力としての実践力、責任感、主体的行動力を身につけ、専門教育における学修意欲や就業意識の向上を図るものである。 1.企業等が提供する現実的な問題について、チームで精確な情報を収集し、工学・情報・デザイン系の基礎知識を生かして、アイデア的な解決案を発表する。 2.学期中に2つの問題をチームで解決・発表し、希望する個人・チームは追加の解決案の発表を行う。【クラス編成】 Aクラス:機械、建築、宇宙システム、情報、美術、デザイン学科　Bクラス:ナノサイエンス、応微、応生、薬学科　学修上の助言　1.身につけた専門基礎的な知識を現実社会の問題のアイデア的解決に生かしてみたい学生の受講を歓迎　2.「インターンシップⅠ・Ⅱ」受講予定学生の参加を歓迎

関連科目

後継科目として、3年次「キャリアセミナー」（学科別クラス）、「キャリアプロジェクト」（学生プロジェクト、2年次までに1年間の活動経験者対象）、「インターンシップⅠ・Ⅱ」（5日間以上、夏期・春期集中）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準		fghi	fghi	

JABEE記号		学生の到達度目標
d,e,f,i	①	企業等の提供課題について信用のある精確な情報を収集・分析し、現時点での最善解を、PowerPointを使用して口頭発表することができる。
f,i	②	チーム活動への積極的な貢献をとおして、問題を協働解決することができる。
e,f,g	③	「今週の活動とトップニュース」「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力の向上と社会への関心度を高めることができる。
g	④	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	10	30	3	47	10	100

教科書

SOJO基礎ⅠⅡ　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書

予備知識	「SOJO基礎」で学修したチーム活動に関する基礎知識
DP との 関連	本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	★成績評価はプロセス評価で行う。 1.レポート:「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」 書式:A4用紙1枚、1行40文字、1頁40行、MS明朝、余白各25㎜ 10点 2.①発表:1チーム10分間(しゃべり方、内容・独自性、投影画面、参考資料、質疑応答等) 10点×2回＝20点 ②発表報告書:チームで1部提出(書式は上記1に同じ、パワーポイント資料、報告分析) 5点×2回＝10点 3.作品:授業資料整理バインダー 3点 4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」入力 3点×13週分＝39点 5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、それをプリントアウトして15回目の授業時間に提出 8点 6.その他:時事ワークシート 2点×5回＝10点 ★プレゼンテーションの準備作業授業の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く) ★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し 公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場 合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特 別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、本科目の単位認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーン等でのゲーム・メール等は禁止。発見次第退出を命じ、以後の授業出席を認めない。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション　プレゼンテーションA準備①	講義　GW	★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12:00とする。	
	内容	シラバスの説明、チーム編成			
2回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	GW	今週の活動とトップニュース①　チーム活動：発表の情報収集、整理	60　60
	内容	プレゼンテーションAの課題提示　発表の構成、工程表、分担等の決定			
3回	テーマ	プレゼンテーションA準備③中間報告	GW	今週の活動とトップニュース②　チーム活動：情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、構成、PowerPoint作成			
4回	テーマ	プレゼンテーションA発表会①	GW	今週の活動とトップニュース③　チーム活動：情報収集、整理、報告書の作成	60　60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示）　★発表時間10分　発表チーム以外は評価シート作成			
5回	テーマ	プレゼンテーションA発表会②	GW	今週の活動とトップニュース④　チーム活動：報告書の作成	60　60
	内容	★発表時間10分　発表チーム以外は評価シートの作成			
6回	テーマ	プレゼンテーションB準備①	GW	今週の活動とトップニュース⑤　チーム活動：情報収集、整理	60　60
	内容	プレゼンテーションB課題提示　発表の構成、工程表、分担等の決定			
7回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	GW	今週の活動とトップニュース⑥　チーム活動：情報収集、整理	60　60
	内容	情報収集、PowerPoint作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションB準備③中間報告	GW	今週の活動とトップニュース⑦　時事WS①　チーム活動：情報収集、整理	60　30 60
	内容	情報収集、PowerPoint作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑧　時事WS②　チーム活動：情報収集、整理、報告書の作成	60　30 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示）　★発表時間10分　発表チーム以外は評価シート作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB発表会②	GW	今週の活動とトップニュース⑨　時事WS③　チーム活動：報告書の作成	60　30 60
	内容	★発表時間10分　発表チーム以外は評価シート作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	課題レポート作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④ 課題レポート作成	60 30 60
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の作成 発表エントリー（希望）：個人、チーム			
12回	テーマ	課題レポート作成②	PW	今週の活動とトップニュー⑪ 時事WS⑤ 課題レポート作成	60 30 60
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の作成			
13回	テーマ	課題レポート作成③予備 課題レポート発表会①	PW GW	今週の活動とトップニュース⑫ 課題レポート作成：次回提出	60 60
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の作成 もしくは発表 ・7分間、PowerPointデータ印刷配布			
14回	テーマ	課題レポート発表会②	PW GW	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は次週提出 到達度レポート 授業資料のバインダー整理 ★授業アンケートの入力	60 60 60 15
	内容	「プレゼンテーションAもしくはBについてのさらなる解決案について」の発表 ・7分間、PowerPointデータ印刷配布			
15回	テーマ	まとめ	講義	学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	60
	内容	到達度レポート提出、授業資料整理バインダー点検、総評、出席確認			

科目名	キャリア基礎Ⅲ◎Ａ（３建）	開講学年	3	講義コード	2116901	区分	必修
英文表記	Basic Style for Career Ⅲ	開講期	前期または後期	開講形態		単位数	1

担当教員	複数クラスのため授業で周知
研究室	複数クラスのため授業で周知
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知@
キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要

この科目は,就職活動を約1年後に控え,知識基盤社会の中,グローバル化･複雑化する企業の採用環境に対応できるプログラムを実施します.①自分自身が過ごしてきた過去を整理し,自分の人柄と能力を言葉と文章で表現ができるようになること②積極的に議論し,他者との意見の違いをまとめて,説得できることの2点を目的としています．講座形式と毎回実施する個人･グループワークを通して,自分自身のキャリアデザインの気づきを高めましょう．授業では全回,レポート用紙を授業終了前に配ります.講義において,出てきたキーワード,気づいたこと,考えたこと,今後に活かしたいことなどを書いて提出します.. 第3～7回のグループディスカッション対策では積極的に意見を発信するスキルの獲得に努めてください.

関連科目

キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A$	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
e,h	①	社会人として求められる力のレベルが分かり,自分に足りない力を強化する計画を立てることができる
f,i	②	個人ワークやグループで討論した内容を説得力を持って伝えることができる
g	③	実行可能な就職活動計画を作成することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	20	18	52	10	0	100

教科書	授業で適宜,配布する
参考書	就活のまえに-良い仕事､職場とは？　ちくまプリマー新書　中沢孝夫　978-4-480-68830-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求められます. だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければなりません. また,その力を正しく相手に伝えることも必要です. 就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算です.
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①第12回,15回の提出物(レポート)×10点→20点 ②グループディスカッション対策での発表内容:18点 ③第2回～14回の「今週の活動とトップニュース」(作品)×4点→52点 ④第15回提出の到達度ポートフォリオ(ポートフォリオ)→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,遅刻は厳禁.授業開始20分以降は欠席とする ③また,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ④欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味することがある ⑤各自で就職活動ノートを準備すること ※オフィスアワーを適宜,設定することがある

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入する	90
	内容	授業の導入として,授業の概要･授業計画･成績評価方法,科目の目的･目標の説明を受ける.また,就職の選考過程で求められるテクニカルスキルの水準を提示する			
2回	テーマ	SPIテスト対策講座	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	代表的な筆記試験のSPIについて説明を受け、模擬SPI試験を受験する(AL),			
3回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	グループディスカッション対策のチーム編成をする グループディスカッションについて講義を受け,グループのメンバーとコミュニケーションをとる練習をする			
4回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	企業から課題の提示を受け,課題を理解する(PBL)			
5回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題について討議し,グループとしての意見を集約する(PBL)			
6回	テーマ	グループディスカッション対策④	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	集約した意見を出題者へ伝えるためのプレゼンテーションを準備する(PBL)			
7回	テーマ	グループディスカッション対策⑤	講義・演習	プレゼンテーション用ソフトを使用し,出題者へのプレゼンテーション 「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題についてプレゼンテーションし,出題者の評価を受ける(PBL)			
8回	テーマ	企業の実際を知る	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	プレゼンテーション予備.企業の社員から実際の業務内容を聞き,討論する(AL)			
9回	テーマ	自己分析① 過去	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	これまでの過去を振り返り,どんな経験により,現在の自分が成り立っているのかを考える(AL)			
10回	テーマ	自己分析② 現在	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	現在の自分を多角的に見つめることで,自己理解を深める(AL)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自己分析③ 未来･他人から見た自分	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	前2講を踏まえて未来への自分をイメージする.また,他人から自分はどう見られているかを知る(AL)			
12回	テーマ	履歴書について	演習	自己表現シート(課題①),「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	“自己表現シート”を作成する.講義終了時に提出する(AL)			
13回	テーマ	面接対策①	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	面接について講義を受け,前講で作成した自己表現シートを基に面接練習をする			
14回	テーマ	面接対策②	演習	「今週の活動とトップニュース」を提出する　履歴書(課題②),「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	グループ面接を練習し,アドバイスを受ける			
15回	テーマ	総括･まとめ	講義・演習	履歴書(課題②),到達度「今週の活動とトップニュース」を提出する	
	内容	この授業のまとめとして,“大学指定の履歴書”を作成し,提出する(AL)			

科目名	キャリア基礎III◎B（３建）	開講学年 3	講義コード 2116902	区分 必修
英文表記	Basic Style for Career III	開講期 前期または後期	開講形態	単位数 1
担当教員	複数クラスのため授業で周知			
研究室	複数クラスのため授業で周知	オフィスアワー 複数クラスのため授業で周知		
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知@			
キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力			

授業概要

この科目は,就職活動を約1年後に控え,知識基盤社会の中,グローバル化・複雑化する企業の採用環境に対応できるプログラムを実施します.①自分自身が過ごしてきた過去を整理し,自分の人柄と能力を言葉と文章で表現ができるようになること②積極的に議論し,他者との意見の違いをまとめて,説得できることの2点を目的としています．講座形式と毎回実施する個人・グループワークを通して,自分自身のキャリアデザインの気づきを高めましょう．授業では全回,レポート用紙を授業終了前に配ります.講義において,出てきたキーワード,気づいたこと,考えたこと,今後に活かしたいことなどを書いて提出します.. 第3～7回のグループディスカッション対策では積極的に意見を発信するスキルの獲得に努めてください.

関連科目

キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A$	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
e,h	①	社会人として求められる力のレベルが分かり,自分に足りない力を強化する計画を立てることができる
f,i	②	個人ワークやグループで討論した内容を説得力を持って伝えることができる
g	③	実行可能な就職活動計画を作成することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	20	18	52	10	0	100

教科書

授業で適宜,配布する

参考書

就活のまえに-良い仕事､職場とは？　ちくまプリマー新書　中沢孝夫　978-4-480-68830-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求められます. だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければなりません. また,その力を正しく相手に伝えることも必要です. 就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算です.
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①第12回,15回の提出物(レポート)×10点→20点 ②グループディスカッション対策での発表内容:18点 ③第2回～14回の「今週の活動とトップニュース」(作品)×4点→52点 ④第15回提出の到達度ポートフォリオ(ポートフォリオ)→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,遅刻は厳禁.授業開始20分以降は欠席とする ③また,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ④欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味することがある ⑤各自で就職活動ノートを準備すること ※オフィスアワーを適宜,設定することがある

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入する	90
	内容	授業の導入として,授業の概要･授業計画･成績評価方法,科目の目的･目標の説明を受ける.また,就職の選考過程で求められるテクニカルスキルの水準を提示する			
2回	テーマ	SPIテスト対策講座	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	代表的な筆記試験のSPIについて説明を受け、模擬SPI試験を受験する(AL),			
3回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	グループディスカッション対策のチーム編成をする グループディスカッションについて講義を受け,グループのメンバーとコミュニケーションをとる練習をする			
4回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	企業から課題の提示を受け,課題を理解する(PBL)			
5回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題について討議し,グループとしての意見を集約する(PBL)			
6回	テーマ	グループディスカッション対策④	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	集約した意見を出題者へ伝えるためのプレゼンテーションを準備する(PBL)			
7回	テーマ	グループディスカッション対策⑤	講義・演習	プレゼンテーション用ソフトを使用し,出題者へのプレゼンテーション 「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題についてプレゼンテーションし,出題者の評価を受ける(PBL)			
8回	テーマ	企業の実際を知る	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	プレゼンテーション予備.企業の社員から実際の業務内容を聞き,討論する(AL)			
9回	テーマ	自己分析① 過去	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	これまでの過去を振り返り,どんな経験により,現在の自分が成り立っているのかを考える(AL)			
10回	テーマ	自己分析② 現在	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	現在の自分を多角的に見つめることで,自己理解を深める(AL)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自己分析③ 未来･他人から見た自分	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	前2講を踏まえて未来への自分をイメージする.また,他人から自分はどう見られているかを知る(AL)			
12回	テーマ	履歴書について	演習	自己表現シート(課題①),「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	“自己表現シート”を作成する.講義終了時に提出する(AL)			
13回	テーマ	面接対策①	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	面接について講義を受け,前講で作成した自己表現シートを基に面接練習をする			
14回	テーマ	面接対策②	演習	「今週の活動とトップニュース」を提出する　履歴書(課題②),「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	グループ面接を練習し,アドバイスを受ける			
15回	テーマ	総括･まとめ	講義・演習	履歴書(課題②),到達度「今週の活動とトップニュース」を提出する	
	内容	この授業のまとめとして,“大学指定の履歴書”を作成し,提出する(AL)			

科目名	キャリア基礎III◎（３宇）	開講学年 3	講義コード 2117001	区分 必修
英文表記	Basic Style for Career III	開講期 前期または後期	開講形態	単位数 1
担当教員	複数クラスのため授業で周知			
研究室	複数クラスのため授業で周知	オフィスアワー 複数クラスのため授業で周知		
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知@			
キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力			

授業概要

この科目は,就職活動を約1年後に控え,知識基盤社会の中,グローバル化･複雑化する企業の採用環境に対応できるプログラムを実施します.①自分自身が過ごしてきた過去を整理し,自分の人柄と能力を言葉と文章で表現ができるようになること②積極的に議論し,他者との意見の違いをまとめて,説得できることの2点を目的としています．講座形式と毎回実施する個人･グループワークを通して,自分自身のキャリアデザインの気づきを高めましょう．授業では全回,レポート用紙を授業終了前に配ります.講義において,出てきたキーワード,気づいたこと,考えたこと,今後に活かしたいことなどを書いて提出します.. 第3～7回のグループディスカッション対策では積極的に意見を発信するスキルの獲得に努めてください.

関連科目

キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A$	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
e,h	①	社会人として求められる力のレベルが分かり,自分に足りない力を強化する計画を立てることができる
f,i	②	個人ワークやグループで討論した内容を説得力を持って伝えることができる
g	③	実行可能な就職活動計画を作成することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	20	18	52	10	0	100

教科書

授業で適宜,配布する

参考書

就活のまえに-良い仕事､職場とは？　ちくまプリマー新書　中沢孝夫　978-4-480-68830-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求められます. だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければなりません. また,その力を正しく相手に伝えることも必要です. 就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算です.
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①第12回,15回の提出物(レポート)×10点→20点 ②グループディスカッション対策での発表内容:18点 ③第2回～14回の「今週の活動とトップニュース」(作品)×4点→52点 ④第15回提出の到達度ポートフォリオ(ポートフォリオ)→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,遅刻は厳禁.授業開始20分以降は欠席とする ③また,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ④欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味することがある ⑤各自で就職活動ノートを準備すること ※オフィスアワーを適宜,設定することがある

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入する	90
	内容	授業の導入として,授業の概要･授業計画･成績評価方法,科目の目的･目標の説明を受ける.また,就職の選考過程で求められるテクニカルスキルの水準を提示する			
2回	テーマ	SPIテスト対策講座	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	代表的な筆記試験のSPIについて説明を受け、模擬SPI試験を受験する(AL),			
3回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	グループディスカッション対策のチーム編成をする グループディスカッションについて講義を受け,グループのメンバーとコミュニケーションをとる練習をする			
4回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	企業から課題の提示を受け,課題を理解する(PBL)			
5回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題について討議し,グループとしての意見を集約する(PBL)			
6回	テーマ	グループディスカッション対策④	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	集約した意見を出題者へ伝えるためのプレゼンテーションを準備する(PBL)			
7回	テーマ	グループディスカッション対策⑤	講義・演習	プレゼンテーション用ソフトを使用し,出題者へのプレゼンテーション 「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題についてプレゼンテーションし,出題者の評価を受ける(PBL)			
8回	テーマ	企業の実際を知る	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	プレゼンテーション予備.企業の社員から実際の業務内容を聞き,討論する(AL)			
9回	テーマ	自己分析① 過去	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	これまでの過去を振り返り,どんな経験により,現在の自分が成り立っているのかを考える(AL)			
10回	テーマ	自己分析② 現在	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	現在の自分を多角的に見つめることで,自己理解を深める(AL)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自己分析③ 未来･他人から見た自分	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	前2講を踏まえて未来への自分をイメージする.また,他人から自分はどう見られているかを知る(AL)			
12回	テーマ	履歴書について	演習	自己表現シート(課題①),「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	“自己表現シート”を作成する.講義終了時に提出する(AL)			
13回	テーマ	面接対策①	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	面接について講義を受け,前講で作成した自己表現シートを基に面接練習をする			
14回	テーマ	面接対策②	演習	「今週の活動とトップニュース」を提出する　履歴書(課題②),「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	グループ面接を練習し,アドバイスを受ける			
15回	テーマ	総括･まとめ	講義・演習	履歴書(課題②),到達度「今週の活動とトップニュース」を提出する	
	内容	この授業のまとめとして,“大学指定の履歴書”を作成し,提出する(AL)			

科目名	キャリア基礎Ⅲ◎Ａ（３微）	開講学年 3	講義コード 2117101	区分 必修
英文表記	Basic Style for Career Ⅲ	開講期 前期または後期	開講形態	単位数 1

担当教員	複数クラスのため授業で周知

研究室	複数クラスのため授業で周知	オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知

メールアドレス	複数クラスのため授業で周知@

キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要	この科目は,就職活動を約1年後に控え,知識基盤社会の中,グローバル化･複雑化する企業の採用環境に対応できるプログラムを実施します.①自分自身が過ごしてきた過去を整理し,自分の人柄と能力を言葉と文章で表現ができるようになること②積極的に議論し,他者との意見の違いをまとめて,説得できることの2点を目的としています．講座形式と毎回実施する個人･グループワークを通して,自分自身のキャリアデザインの気づきを高めましょう．授業では全回,レポート用紙を授業終了前に配ります.講義において,出てきたキーワード,気づいたこと,考えたこと,今後に活かしたいことなどを書いて提出します.. 第3～7回のグループディスカッション対策では積極的に意見を発信するスキルの獲得に努めてください.

関連科目
キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A$	A4
		JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
e,h	①	社会人として求められる力のレベルが分かり,自分に足りない力を強化する計画を立てることができる
f,i	②	個人ワークやグループで討論した内容を説得力を持って伝えることができる
g	③	実行可能な就職活動計画を作成することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	18	52	10	0	100

教科書	授業で適宜,配布する

参考書	就活のまえに-良い仕事､職場とは？　ちくまプリマー新書　中沢孝夫　978-4-480-68830-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求められます. だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければなりません. また,その力を正しく相手に伝えることも必要です. 就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算です.
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①第12回,15回の提出物(レポート)×10点→20点 ②グループディスカッション対策での発表内容:18点 ③第2回～14回の「今週の活動とトップニュース」(作品)×4点→52点 ④第15回提出の到達度ポートフォリオ(ポートフォリオ)→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,遅刻は厳禁.授業開始20分以降は欠席とする ③また,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ④欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味することがある ⑤各自で就職活動ノートを準備すること ※オフィスアワーを適宜,設定することがある

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入する	90
	内容	授業の導入として,授業の概要･授業計画･成績評価方法,科目の目的･目標の説明を受ける.また,就職の選考過程で求められるテクニカルスキルの水準を提示する			
2回	テーマ	SPIテスト対策講座	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	代表的な筆記試験のSPIについて説明を受け、模擬SPI試験を受験する(AL),			
3回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	グループディスカッション対策のチーム編成をする グループディスカッションについて講義を受け,グループのメンバーとコミュニケーションをとる練習をする			
4回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	企業から課題の提示を受け,課題を理解する(PBL)			
5回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題について討議し,グループとしての意見を集約する(PBL)			
6回	テーマ	グループディスカッション対策④	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	集約した意見を出題者へ伝えるためのプレゼンテーションを準備する(PBL)			
7回	テーマ	グループディスカッション対策⑤	講義・演習	プレゼンテーション用ソフトを使用し,出題者へのプレゼンテーション 「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題についてプレゼンテーションし,出題者の評価を受ける(PBL)			
8回	テーマ	企業の実際を知る	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	プレゼンテーション予備.企業の社員から実際の業務内容を聞き,討論する(AL)			
9回	テーマ	自己分析① 過去	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	これまでの過去を振り返り,どんな経験により,現在の自分が成り立っているのかを考える(AL)			
10回	テーマ	自己分析② 現在	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	現在の自分を多角的に見つめることで,自己理解を深める(AL)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自己分析③ 未来･他人から見た自分	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	前2講を踏まえて未来への自分をイメージする.また,他人から自分はどう見られているかを知る(AL)			
12回	テーマ	履歴書について	演習	自己表現シート(課題①),「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	“自己表現シート”を作成する.講義終了時に提出する(AL)			
13回	テーマ	面接対策①	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	面接について講義を受け,前講で作成した自己表現シートを基に面接練習をする			
14回	テーマ	面接対策②	演習	「今週の活動とトップニュース」を提出する　履歴書(課題②),「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	グループ面接を練習し,アドバイスを受ける			
15回	テーマ	総括･まとめ	講義・演習	履歴書(課題②),到達度「今週の活動とトップニュース」を提出する	
	内容	この授業のまとめとして,“大学指定の履歴書”を作成し,提出する(AL)			

科目名	キャリア基礎Ⅲ◎Ｂ（３微）	開講学年 3	講義コード 2117102	区分 必修
英文表記	Basic Style for Career Ⅲ	開講期 前期または後期	開講形態	単位数 1
担当教員	複数クラスのため授業で周知			
研究室	複数クラスのため授業で周知	オフィスアワー 複数クラスのため授業で周知		
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知@			
キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力			

授業概要

この科目は,就職活動を約1年後に控え,知識基盤社会の中,グローバル化･複雑化する企業の採用環境に対応できるプログラムを実施します.①自分自身が過ごしてきた過去を整理し,自分の人柄と能力を言葉と文章で表現ができるようになること②積極的に議論し,他者との意見の違いをまとめて,説得できることの2点を目的としています．講座形式と毎回実施する個人･グループワークを通して,自分自身のキャリアデザインの気づきを高めましょう．授業では全回,レポート用紙を授業終了前に配ります.講義において,出てきたキーワード,気づいたこと,考えたこと,今後に活かしたいことなどを書いて提出します.. 第3～7回のグループディスカッション対策では積極的に意見を発信するスキルの獲得に努めてください.

関連科目

キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A$	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
e,h	①	社会人として求められる力のレベルが分かり,自分に足りない力を強化する計画を立てることができる
f,i	②	個人ワークやグループで討論した内容を説得力を持って伝えることができる
g	③	実行可能な就職活動計画を作成することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	20	18	52	10	0	100

教科書

授業で適宜,配布する

参考書

就活のまえに-良い仕事､職場とは？　ちくまプリマー新書　中沢孝夫　978-4-480-68830-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求められます. だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければなりません. また,その力を正しく相手に伝えることも必要です. 就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算です.
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①第12回,15回の提出物(レポート)×10点→20点 ②グループディスカッション対策での発表内容:18点 ③第2回～14回の「今週の活動とトップニュース」(作品)×4点→52点 ④第15回提出の到達度ポートフォリオ(ポートフォリオ)→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,遅刻は厳禁.授業開始20分以降は欠席とする ③また,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ④欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味することがある ⑤各自で就職活動ノートを準備すること ※オフィスアワーを適宜,設定することがある

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入する	90
	内容	授業の導入として,授業の概要･授業計画･成績評価方法,科目の目的･目標の説明を受ける.また,就職の選考過程で求められるテクニカルスキルの水準を提示する			
2回	テーマ	SPIテスト対策講座	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	代表的な筆記試験のSPIについて説明を受け、模擬SPI試験を受験する(AL),			
3回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	グループディスカッション対策のチーム編成をする グループディスカッションについて講義を受け,グループのメンバーとコミュニケーションをとる練習をする			
4回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	企業から課題の提示を受け,課題を理解する(PBL)			
5回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題について討議し,グループとしての意見を集約する(PBL)			
6回	テーマ	グループディスカッション対策④	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	集約した意見を出題者へ伝えるためのプレゼンテーションを準備する(PBL)			
7回	テーマ	グループディスカッション対策⑤	講義・演習	プレゼンテーション用ソフトを使用し,出題者へのプレゼンテーション 「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題についてプレゼンテーションし,出題者の評価を受ける(PBL)			
8回	テーマ	企業の実際を知る	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	プレゼンテーション予備.企業の社員から実際の業務内容を聞き,討論する(AL)			
9回	テーマ	自己分析① 過去	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	これまでの過去を振り返り,どんな経験により,現在の自分が成り立っているのかを考える(AL)			
10回	テーマ	自己分析② 現在	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	現在の自分を多角的に見つめることで,自己理解を深める(AL)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自己分析③ 未来･他人から見た自分	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	前2講を踏まえて未来への自分をイメージする.また,他人から自分はどう見られているかを知る(AL)			
12回	テーマ	履歴書について	演習	自己表現シート(課題①),「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	“自己表現シート”を作成する.講義終了時に提出する(AL)			
13回	テーマ	面接対策①	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	面接について講義を受け,前講で作成した自己表現シートを基に面接練習をする			
14回	テーマ	面接対策②	演習	「今週の活動とトップニュース」を提出する　履歴書(課題②),「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	グループ面接を練習し,アドバイスを受ける			
15回	テーマ	総括･まとめ	講義・演習	履歴書(課題②),到達度「今週の活動とトップニュース」を提出する	
	内容	この授業のまとめとして,“大学指定の履歴書”を作成し,提出する(AL)			

科目名	キャリア基礎Ⅲ◎Ａ（３生）	開講学年 3	講義コード 2117201	区分 必修
英文表記	Basic Style for Career Ⅲ	開講期 前期または後期	開講形態	単位数 1

担当教員	複数クラスのため授業で周知
研究室	複数クラスのため授業で周知
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知@
キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要

この科目は,就職活動を約1年後に控え,知識基盤社会の中,グローバル化･複雑化する企業の採用環境に対応できるプログラムを実施します.①自分自身が過ごしてきた過去を整理し,自分の人柄と能力を言葉と文章で表現ができるようになること②積極的に議論し,他者との意見の違いをまとめて,説得できることの2点を目的としています．講座形式と毎回実施する個人･グループワークを通して,自分自身のキャリアデザインの気づきを高めましょう．授業では全回,レポート用紙を授業終了前に配ります.講義において,出てきたキーワード,気づいたこと,考えたこと,今後に活かしたいことなどを書いて提出します.. 第3～7回のグループディスカッション対策では積極的に意見を発信するスキルの獲得に努めてください.

関連科目

キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A$	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
e,h	①	社会人として求められる力のレベルが分かり,自分に足りない力を強化する計画を立てることができる
f,i	②	個人ワークやグループで討論した内容を説得力を持って伝えることができる
g	③	実行可能な就職活動計画を作成することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	20	18	52	10	0	100

教科書	授業で適宜,配布する
参考書	就活のまえに-良い仕事､職場とは？　ちくまプリマー新書　中沢孝夫　978-4-480-68830-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求められます. だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければなりません. また,その力を正しく相手に伝えることも必要です. 就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算です.
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①第12回,15回の提出物(レポート)×10点→20点 ②グループディスカッション対策での発表内容:18点 ③第2回～14回の「今週の活動とトップニュース」(作品)×4点→52点 ④第15回提出の到達度ポートフォリオ(ポートフォリオ)→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,遅刻は厳禁.授業開始20分以降は欠席とする ③また,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ④欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味することがある ⑤各自で就職活動ノートを準備すること ※オフィスアワーを適宜,設定することがある

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入する	90
	内容	授業の導入として,授業の概要･授業計画･成績評価方法,科目の目的･目標の説明を受ける.また,就職の選考過程で求められるテクニカルスキルの水準を提示する			
2回	テーマ	SPIテスト対策講座	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	代表的な筆記試験のSPIについて説明を受け、模擬SPI試験を受験する(AL),			
3回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	グループディスカッション対策のチーム編成をする グループディスカッションについて講義を受け,グループのメンバーとコミュニケーションをとる練習をする			
4回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	企業から課題の提示を受け,課題を理解する(PBL)			
5回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題について討議し,グループとしての意見を集約する(PBL)			
6回	テーマ	グループディスカッション対策④	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	集約した意見を出題者へ伝えるためのプレゼンテーションを準備する(PBL)			
7回	テーマ	グループディスカッション対策⑤	講義・演習	プレゼンテーション用ソフトを使用し,出題者へのプレゼンテーション 「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題についてプレゼンテーションし,出題者の評価を受ける(PBL)			
8回	テーマ	企業の実際を知る	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	プレゼンテーション予備.企業の社員から実際の業務内容を聞き,討論する(AL)			
9回	テーマ	自己分析① 過去	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	これまでの過去を振り返り,どんな経験により,現在の自分が成り立っているのかを考える(AL)			
10回	テーマ	自己分析② 現在	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	現在の自分を多角的に見つめることで,自己理解を深める(AL)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自己分析③ 未来･他人から見た自分	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	前2講を踏まえて未来への自分をイメージする.また,他人から自分はどう見られているかを知る(AL)			
12回	テーマ	履歴書について	演習	自己表現シート(課題①),「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	“自己表現シート”を作成する.講義終了時に提出する(AL)			
13回	テーマ	面接対策①	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	面接について講義を受け,前講で作成した自己表現シートを基に面接練習をする			
14回	テーマ	面接対策②	演習	「今週の活動とトップニュース」を提出する　履歴書(課題②),「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	グループ面接を練習し,アドバイスを受ける			
15回	テーマ	総括･まとめ	講義・演習	履歴書(課題②),到達度「今週の活動とトップニュース」を提出する	
	内容	この授業のまとめとして,“大学指定の履歴書”を作成し,提出する(AL)			

科目名	キャリア基礎III◎B（３生）	開講学年 3	講義コード 2117202	区分 必修
英文表記	Basic Style for Career III	開講期 前期または後期	開講形態	単位数 1
担当教員	複数クラスのため授業で周知			
研究室	複数クラスのため授業で周知	オフィスアワー 複数クラスのため授業で周知		
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知@			
キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力			

授業概要

この科目は,就職活動を約1年後に控え,知識基盤社会の中,グローバル化・複雑化する企業の採用環境に対応できるプログラムを実施します.①自分自身が過ごしてきた過去を整理し,自分の人柄と能力を言葉と文章で表現ができるようになること②積極的に議論し,他者との意見の違いをまとめて,説得できることの2点を目的としています．講座形式と毎回実施する個人・グループワークを通して,自分自身のキャリアデザインの気づきを高めましょう．授業では全回,レポート用紙を授業終了前に配ります.講義において,出てきたキーワード,気づいたこと,考えたこと,今後に活かしたいことなどを書いて提出します.. 第3～7回のグループディスカッション対策では積極的に意見を発信するスキルの獲得に努めてください.

関連科目

キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A$	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
e,h	①	社会人として求められる力のレベルが分かり,自分に足りない力を強化する計画を立てることができる
f,i	②	個人ワークやグループで討論した内容を説得力を持って伝えることができる
g	③	実行可能な就職活動計画を作成することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	20	18	52	10	0	100

教科書

授業で適宜,配布する

参考書

就活のまえに-良い仕事､職場とは？　ちくまプリマー新書　中沢孝夫　978-4-480-68830-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求められます. だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければなりません. また,その力を正しく相手に伝えることも必要です. 就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算です.
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①第12回,15回の提出物(レポート)×10点→20点 ②グループディスカッション対策での発表内容:18点 ③第2回～14回の「今週の活動とトップニュース」(作品)×4点→52点 ④第15回提出の到達度ポートフォリオ(ポートフォリオ)→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,遅刻は厳禁.授業開始20分以降は欠席とする ③また,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ④欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味することがある ⑤各自で就職活動ノートを準備すること ※オフィスアワーを適宜,設定することがある

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入する	90
	内容	授業の導入として,授業の概要･授業計画･成績評価方法,科目の目的･目標の説明を受ける.また,就職の選考過程で求められるテクニカルスキルの水準を提示する			
2回	テーマ	SPIテスト対策講座	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	代表的な筆記試験のSPIについて説明を受け、模擬SPI試験を受験する(AL),			
3回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	グループディスカッション対策のチーム編成をする グループディスカッションについて講義を受け,グループのメンバーとコミュニケーションをとる練習をする			
4回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	企業から課題の提示を受け,課題を理解する(PBL)			
5回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題について討議し,グループとしての意見を集約する(PBL)			
6回	テーマ	グループディスカッション対策④	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	集約した意見を出題者へ伝えるためのプレゼンテーションを準備する(PBL)			
7回	テーマ	グループディスカッション対策⑤	講義・演習	プレゼンテーション用ソフトを使用し,出題者へのプレゼンテーション 「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	課題についてプレゼンテーションし,出題者の評価を受ける(PBL)			
8回	テーマ	企業の実際を知る	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	プレゼンテーション予備.企業の社員から実際の業務内容を聞き,討論する(AL)			
9回	テーマ	自己分析① 過去	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	これまでの過去を振り返り,どんな経験により,現在の自分が成り立っているのかを考える(AL)			
10回	テーマ	自己分析② 現在	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	現在の自分を多角的に見つめることで,自己理解を深める(AL)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自己分析③ 未来･他人から見た自分	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	前2講を踏まえて未来への自分をイメージする.また,他人から自分はどう見られているかを知る(AL)			
12回	テーマ	履歴書について	演習	自己表現シート(課題①),「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	“自己表現シート”を作成する.講義終了時に提出する(AL)			
13回	テーマ	面接対策①	演習	「今週の活動とトップニュース」を記入し提出する	90
	内容	面接について講義を受け,前講で作成した自己表現シートを基に面接練習をする			
14回	テーマ	面接対策②	演習	「今週の活動とトップニュース」を提出する　履歴書(課題②),「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	グループ面接を練習し,アドバイスを受ける			
15回	テーマ	総括･まとめ	講義・演習	履歴書(課題②),到達度「今週の活動とトップニュース」を提出する	
	内容	この授業のまとめとして,“大学指定の履歴書”を作成し,提出する(AL)			

科目名	キャリア実践Ⅱ◎A（３機）	開講学年	3	講義コード	2117401	区分	必修
英文表記	Practice Style for Career Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	1
担当教員	複数クラスのため授業で周知						
研究室	複数クラスのため授業で周知			オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知		
メールアドレス	tsujita@ ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力						

授業概要

高度技術者として知識基盤社会で活躍するためには、一般教養や専門技術を身につけるとともに、働くことの意義や社会の仕組みについて理解することが大切である。この科目は、『キャリア基礎Ⅰ～Ⅲ』『キャリア実践Ⅰ』等の履修を通して得られた、自己分析の結果、文章や会話による自己表現法、および、業界・業種・職種などの基礎知識を踏まえ、より実践的な就職活動の手段や方法を習得し、望ましい就職の実現に結びつけることを目的としている

関連科目

キャリア基礎Ⅰ,キャリア基礎Ⅱ,キャリア基礎Ⅲ,キャリア実践Ⅰ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A$	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
e,g	①	各自の自己分析や職業興味検査の結果を踏まえて,就職したい業界・業種・専門分野・職種を決めることができる
h	②	各自の希望する業界・業種・専門分野・職種の企業分析をして,何を求められているかを整理することができる
f	③	あいさつやマナー・ルールの遵守など,社会人としての一般常識を身につけることができる
h,i	④	企業等に採用されるレベル達成のため計画を立て,学修と訓練を通してそれらを達成することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	40	20	30	10	0	100

教科書	授業で適宜,配布する
参考書	

予備知識	①授業へ3分の2以上の出席が必要です.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ③欠席した授業の回の課題等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味する
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:ES①～③,就職活動計画書×10点→40点 2.成果発表:グループディスカッション等での発表×10点→20点 3.課題･レポート点(ミニッツペーパー):15回×2点→30点 4.ポートフォリオ:学習到達度ポートフォリオ→10点

学修上の注意 (SBOs)	15回の授業を通して講座形式と毎回実施する個人・グループワークを通して、自分自身のキャリア形成における気づきを高める。 毎回、課題・レポート用紙を配る。講義において、出てきたキーワード、気づいたこと、考えたこと、今後に活かしたいことなどを書いて提出する。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義・演習		
	内容	授業の導入として、ミニ・グループ活動に引き続き、以下の項目を説明を受ける/授業の概要・授業計画・成績評価方法、科目の目的・目標			
2回	テーマ	就職活動報告	講義・演習		
	内容	就職活動を経験した在学中の上級生から就活体験を聞き、就活の実情を知るとともに、これからの活動を具体的にイメージする。また、それを基に活動計画を作成する			
3回	テーマ	企業にとって欲しい人材とは	講義・演習		
	内容	地域の企業経営者から企業から見た欲しい人材について話を聞き、どのようにしたら企業から受け入れられる人材になれるか、目標を設定する			
4回	テーマ	ESを書く①	講義・演習	ES①を記入し,次回までに提出する	90
	内容	ESについて説明を受け、ESを実際に繰り返し書いて、通るESを書き上げる(AL)			
5回	テーマ	ESを書く②	講義・演習	ES②を記入し,次回までに提出する	90
	内容	同上			
6回	テーマ	ESを書く③	講義・演習	ES③を記入し,次回までに提出する	90
	内容	同上			
7回	テーマ	グループ面接対策①	講義・演習		
	内容	グループ面接の説明とロールプレイにより、グループ面接を疑似体験する(AL)			
8回	テーマ	グループ面接対策②	講義・演習		
	内容	同上			
9回	テーマ	個人面接対策①	講義・演習		
	内容	個人面接の説明とロールプレイ(AL)			
10回	テーマ	個人面接対策②	講義・演習		
	内容	同上			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習		
	内容	グループディスカッションの説明とロールプレイ(AL)			
12回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習		
	内容	同上			
13回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習		
	内容	同上			
14回	テーマ	若手社会人からのメッセージ	講義・演習	就職活動計画書,「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	若手社会人から就職活動へのアドバイスと入社後の状況などの説明を聞くことにより、受講生各自の就職活動へ向けての具体的な指標を得る			
15回	テーマ	まとめ	講義・演習	就職活動計画書,「学習到達度ポートフォリオ」を提出	
	内容	この科目で獲得したスキルを基に就職活動計画書を完成し、進捗を報告する			

科目名	キャリア実践Ⅱ◎B（３機）	開講学年	3	講義コード	2117402	区分	必修
英文表記	Practice Style for Career Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	1
担当教員	複数クラスのため授業で周知						
研究室	複数クラスのため授業で周知			オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知		
メールアドレス	tsujita@ ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力						

授業概要

高度技術者として知識基盤社会で活躍するためには、一般教養や専門技術を身につけるとともに、働くことの意義や社会の仕組みについて理解することが大切である。この科目は、『キャリア基礎Ⅰ～Ⅲ』『キャリア実践Ⅰ』等の履修を通して得られた、自己分析の結果、文章や会話による自己表現法、および、業界・業種・職種などの基礎知識を踏まえ、より実践的な就職活動の手段や方法を習得し、望ましい就職の実現に結びつけることを目的としている

関連科目

キャリア基礎Ⅰ,キャリア基礎Ⅱ,キャリア基礎Ⅲ,キャリア実践Ⅰ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A$	A4
	JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
e,g	①	各自の自己分析や職業興味検査の結果を踏まえて,就職したい業界・業種・専門分野・職種を決めることができる
h	②	各自の希望する業界・業種・専門分野・職種の企業分析をして,何を求められているかを整理することができる
f	③	あいさつやマナー・ルールの遵守など,社会人としての一般常識を身につけることができる
h,i	④	企業等に採用されるレベル達成のため計画を立て,学修と訓練を通してそれらを達成することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	40	20	30	10	0	100

教科書	授業で適宜,配布する
参考書	

予備知識	①授業へ3分の2以上の出席が必要です.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ③欠席した授業の回の課題等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味する
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:ES①～③,就職活動計画書×10点→40点 2.成果発表:グループディスカッション等での発表×10点→20点 3.課題･レポート点(ミニッツペーパー):15回×2点→30点 4.ポートフォリオ:学習到達度ポートフォリオ→10点

学修上の注意 (SBOs)	15回の授業を通して講座形式と毎回実施する個人・グループワークを通して、自分自身のキャリア形成における気づきを高める。 毎回、課題・レポート用紙を配る。講義において、出てきたキーワード、気づいたこと、考えたこと、今後に活かしたいことなどを書いて提出する。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義・演習		
	内容	授業の導入として、ミニ・グループ活動に引き続き、以下の項目を説明を受ける/授業の概要・授業計画・成績評価方法、科目の目的・目標			
2回	テーマ	就職活動報告	講義・演習		
	内容	就職活動を経験した在学中の上級生から就活体験を聞き、就活の実情を知るとともに、これからの活動を具体的にイメージする。また、それを基に活動計画を作成する			
3回	テーマ	企業にとって欲しい人材とは	講義・演習		
	内容	地域の企業経営者から企業から見た欲しい人材について話を聞き、どのようにしたら企業から受け入れられる人材になれるか、目標を設定する			
4回	テーマ	ESを書く①	講義・演習	ES①を記入し,次回までに提出する	90
	内容	ESについて説明を受け、ESを実際に繰り返し書いて、通るESを書き上げる(AL)			
5回	テーマ	ESを書く②	講義・演習	ES②を記入し,次回までに提出する	90
	内容	同上			
6回	テーマ	ESを書く③	講義・演習	ES③を記入し,次回までに提出する	90
	内容	同上			
7回	テーマ	グループ面接対策①	講義・演習		
	内容	グループ面接の説明とロールプレイにより、グループ面接を疑似体験する(AL)			
8回	テーマ	グループ面接対策②	講義・演習		
	内容	同上			
9回	テーマ	個人面接対策①	講義・演習		
	内容	個人面接の説明とロールプレイ(AL)			
10回	テーマ	個人面接対策②	講義・演習		
	内容	同上			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習		
	内容	グループディスカッションの説明とロールプレイ(AL)			
12回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習		
	内容	同上			
13回	テーマ	グループディスカッション対策③	講義・演習		
	内容	同上			
14回	テーマ	若手社会人からのメッセージ	講義・演習	就職活動計画書,「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	若手社会人から就職活動へのアドバイスと入社後の状況などの説明を聞くことにより、受講生各自の就職活動へ向けての具体的な指標を得る			
15回	テーマ	まとめ	講義・演習	就職活動計画書,「学習到達度ポートフォリオ」を提出	
	内容	この科目で獲得したスキルを基に就職活動計画書を完成し、進捗を報告する			

科目名	キャリアデザインⅡ◎（３美デ）	開講学年	3	講義コード	2117601	区分	必修
英文表記	Career Design Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	辻田祐純※　藤田崇（非常勤）						
研究室	本館付属棟1F就職部就職課ｷｬﾘｱｶｳﾝｾﾗｰ室			オフィスアワー	火曜日4限		
メールアドレス	t-fujita@ cc.sojo-u.ac.jp						
キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力						

授業概要

高度技能者として知識基盤社会で活躍するために、一般教養や専門技術を身につけるとともに、働くことの意義や社会の仕組みについて理解することが大切である。この科目は、『キャリアデザインⅠ』の履修を通して得られた、自己分析の結果、文章や会話による自己表現法、および、業界・業種・職種などの基礎知識を踏まえ、より実践的な就職活動の手段や方法を習得し、望ましい就職の実現に結びつけることを目的としている。

関連科目

キャリアデザインⅠ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	各自の自己分析を踏まえて,就職したい業界・業種・専門分野・職種を決めることができる
	②	各自の希望する業界・業種・専門分野・職種の企業分析をして,何を求められているかを整理することができる
	③	あいさつやマナー・ルールの遵守など,社会人としての一般教養を身につけることができる
	④	採用されるレベル達成のための計画を立て,学修と訓練を通して,それを達成することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	15	45	0	0	40	0	100

教科書	授業で適宜,配布する
参考書	

予備知識	①授業へ3分の2以上の出席が必要です。15回の講義の内、10回以上の出席が単位付与の必要条件とする。 ②第2回目の講座より、遅刻者の入室は原則認めない。（自然災害等による公共機関等の遅れ及び実験遅延は証明書により認める） ③第2回目の講座より、筆記用具、テキスト等の忘れものは減点処分とする。 ④社会人標準の授業であるので、講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある。 ⑤欠席した授業の回の課題・小テスト等は、次回の授業時までに提出することができ、その場合は評価点に加味する。 ⑥授業時間前後に就職課にてオフィスアワーを設ける。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	期末テストは実施しない。再試験も実施しない ①小テスト:課題①②③3回×5点＝15点 ②レポート:15回×3点＝45点 ③ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」15回×2点＝30点 ④ポートフォリオ:「学習到達度ポートフォリオ」10点

学修上の注意 (SBOs)	15回の授業を通して講座形式と毎回実施する個人・グループワークを通して、自分自身のキャリア形成における気づきを高める。 毎回、課題・レポート用紙を配る。講義において、出てきたキーワード、気づいたこと、考えたこと、今後に活かしたいことなどを書いて提出する。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	授業の導入として、授業の概要・授業計画・成績評価方法、科目の目的・目標の説明を受ける			
2回	テーマ	4年生による就活体験記	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	就職活動を経験した在学中の上級生から就活体験を聞き、就活の実情を知るとともに、これからの活動を具体的にイメージする			
3回	テーマ	自己分析	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	再度自分を見つめ直す			
4回	テーマ	自己PRの作成	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	自己PRを考えて文章にする			
5回	テーマ	学生生活の作成	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	学生生活を振り返り文章にする			
6回	テーマ	履歴書の作成①(課題①)	講義・演習	履歴書提出(課題①),「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	大学指定の履歴書を使用しながら履歴書を書く際の注意点などの説明を受け、作成する			
7回	テーマ	履歴書の作成②(課題②)	講義・演習	履歴書提出(課題②),「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	前回の履歴書を元に質を高める			
8回	テーマ	履歴書の作成③(課題③)	講義・演習	履歴書提出(課題③),「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	前回の履歴書を元に質を高める			
9回	テーマ	SPI対策講座②	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	SPI試験を受験する(AL)			
10回	テーマ	グループディスカッション対策①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	グループディスカッションの説明とロールプレイ①			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	グループディスカッション対策②	講義・演習	履歴書提出（課題①），「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	グループディスカッションの説明とロールプレイ②			
12回	テーマ	面接対策講座①	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	面接の説明と入退室の所作およびロールプレイ			
13回	テーマ	面接対策講座②	講義・演習	「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	グループ面接のロールプレイ			
14回	テーマ	面接対策講座③	講義・演習	「学習達成度ポートフォリオ」を記入する，「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	個人面接のロールプレイ			
15回	テーマ	総括・まとめ	講義・演習	「学習達成度ポートフォリオ」を提出する，「今週の活動とトップニュース」・レポートを記入し提出する	90
	内容	これまでの講義を振り返る			

科目名	キャリア基礎Ⅰ（旧カリ）後期	開講学年	1	講義コード	2117702	区分	必修
英文表記	Basic Style for Career Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	1

担当教員	藤本元啓

研究室	本館305	オフィスアワー	授業で周知

メールアドレス	授業で周知@

キーワード	大学での学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン　チーム活動　　時事WS

授業概要	1.生徒から学生になったことを自覚し、大学生活における実践目標の明確化と自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL（Project-Based Learning）型チーム学修を通して、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（リサーチペーパー、レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「キャリア基礎Ⅱ」「キャリア基礎Ⅲ」「キャリア実践Ⅰ」「キャリア実践Ⅱ」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A4	A4
		JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
gh	①	信用のある精確な情報を収集・分析し、簡単なリサーチペーパーを作成することができる。
g	②	時事ワークシートを通して社会の動きを知り、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
fg	③	「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして自己管理能力の向上と社会への関心度を高めることができる。
fhi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	22	15	4	49	10	100

教科書	

参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DPとの関連	初年次教育の一環として、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「プレゼンテーションA・Bをとおした私のチームへの貢献度」A4用紙1枚、1行40文字、1頁40行、MS明朝、余白各25㎜800～1000文字 10点　2.レポート:リサーチペーパー、書式は同上、1200文字以上、参考文献2つ以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙2枚以上になる場合は、両面印刷 12点　3.成果発表(プレゼンテーションB)　①チーム発表:1チーム15分間(内容、独自性、投影画面、参考資料等) 10点　②チーム発表報告書:チームで1部提出(パワーポイント資料、報告分析) 5点　4.作品:(テキスト、時事ワークシート、調査資料等、詳細は別途指示)を紙バインダーに整理 4点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」入力し、毎回授業開始時に提出、5回目の授業までは紙媒体に記述し提出してもよいが必ず入力すること。入力がない場合は得点化しない。　3点×13週分＝39点　6.ポートフォリオ:学生の到達度目標①～⑤の「到達度評価レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出すること。10点　7.その他:時事ワークシート 2点×5回＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンにしまうこと。授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	時事WS① 次回提出（以下同じ） ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12:00とする。5月連休期間中、曜日振り替え週も入力すること。	30
	内容	キャリア基礎Ⅰの概要、チーム編成 高校生と大学生、大学生と社会人の違い SOJOポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の作成要領			
2回	テーマ	キャリアデザインとはなにか	講義 演習	時事WS② 今週の活動とトップニュース①	30 60
	内容	自身のキャリアの振り返りと将来設計			
3回	テーマ	チーム討議の仕方、プレゼンテーションA準備①	講義 演習	時事WS③ 今週の活動とトップニュース②	30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 BS、KJ法、チーム活動の進め方 プレゼンテーションの基礎技法 テーマ：イベント企画、熊本紹介、大学紹介etc 章立てを検討し役割分担			
4回	テーマ	プレゼンテーションA準備②	演習	時事WS④ 今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集、整理	30 60 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 情報収集、内容討議			
5回	テーマ	プレゼンテーションA準備③	演習	時事WS⑤ 今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集、整理	30 60 60
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 情報収集、内容討議、パワーポイント作成			
6回	テーマ	発表会	演習	今週の活動とトップニュース⑤ リサーチペーパーのテーマに関心のある参考文献を図書館から2冊以上借りて次回持参）	60 60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 チーム発表（7分間）、質疑応答、教員講評、評価シート作成 リサーチペーパー（レポート）作成の予告			
7回	テーマ	発表会予備、文章作成の基本技法①	講義 演習	今週の活動とトップニュース⑥ リサーチペーパー作成	60 60
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 チーム発表、質疑応答、教員講評 リサーチペーパー（レポート）作成の概要 参考文献が必要なタイトル設定、概要、章立て作成 詳細はテキストp52を参照			
8回	テーマ	文章作成の基本技法②	演習	今週の活動とトップニュース⑦ リサーチパーパー作成	60 60
	内容	リサーチペーパー作成			
9回	テーマ	プレゼンテーションB「学科HP探求」準備①	演習	今週の活動とトップニュース⑧ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	所属学科HPの改善案、新作、他大学HPとの比較 情報収集、構成、パワーポイント作成			
10回	テーマ	プレゼンテーションB準備②	演習	今週の活動とトップニュース⑨ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、パワーポイント作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションB準備③	演習	今週の活動とトップニュース⑩ チーム活動：発表の情報収集、整理	60 60
	内容	情報収集、構成、パワーポイント作成			
12回	テーマ	発表会①	演習	今週の活動とトップニュー⑪ チーム活動報告書の作成	60 60
	内容	発表時間15分、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
13回	テーマ	発表会②	演習	今週の活動とトップニュース⑫ チーム活動報告書の作成 貢献度レポートの作成 授業資料の整理	60 60 60 20
	内容	発表時間15分、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
14回	テーマ	自己点検	演習	今週の活動とトップニュース⑬ ★以下は15回目の授業日に提出 チーム活動報告書の作成 到達度レポートの作成 貢献度レポートの作成	60 60 60 60
	内容	チーム活動報告書、到達度レポート チーム発表作業に対する貢献度レポートの作成 授業資料の整理 授業アンケートの入力（提出不要）			
15回	テーマ	まとめ	講義 演習	学期末活動報告書を入力し、後期のチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 提出物の返却、授業資料の点検、出席確認、総評			

科目名	キャリア基礎Ⅱ（旧カリ）後期	開講学年	2	講義コード	2117801	区分	必修
英文表記	Basic Style for Career Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	1

担当教員	複数クラスのため授業で周知
研究室	複数クラスのため授業で周知
オフィスアワー	複数クラスのため授業で周知
メールアドレス	複数クラスのため授業で周知 @
キーワード	研究室調査　企業調査　チーム活動　SOJOポートフォリオ　　時事WS
授業概要	1.生徒から学生になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「時事ワークシート」と「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修を通して、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.所属学科の研究室を調査し、将来の職業との関連性を考える。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。
関連科目	「キャリア基礎Ⅰ」「キャリア基礎Ⅲ」「キャリア実践Ⅰ」「キャリア実践Ⅱ」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
fg	①	「今週の活動とトップニュース」と「時事WS」の作成をとおして、自己管理能力と社会への関心度を高めることができる。
g	②	所属学科の研究室調査をとおして、将来の職業との関連性を検討し、キャリアデザインを進めることができる。
fhi	③	企業への関心を深め、具体的な企業でどのような貢献ができるかを文章と口頭で説明することができる。
fhi	④	チームで問題を協働解決し、パワーポイントを使用して口頭発表し、文章で報告することができる。
g	⑤	本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	23	15	3	49	10	100

教科書	
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
DP との 関連	本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)の理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続を図る。・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力(文章作成能力、口頭発表力、コミュニケーション能力)を身につける。・一定の制約下で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート:「プレゼンテーションAに対する私のチームへの貢献度」A4用紙、1行40文字、1頁40行、MS明朝、 余白各25㎜、1,000文字以上 8点　2.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」書式は同上、項目:①企業の概要②そこで何をしたいのか③そのためには何が必要なのか④働くことの意味とは何か、各項目本文400文字以上、参考文献2件以上、参考文献の注は文字数に含めない、A4用紙両面印刷 15点　3.成果発表(研究室調査)　①プレゼンテーションA:1チーム15分間(内容、独自性、投影画面、参考資料等) 10点　②プレゼンテーションA報告書:チームで1部提出(パワーポイント資料、報告分析) 5点　4.作品:紙バインダーに整理(今週の活動とトップニュース、時事ワークシート、調査資料等) 3点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」を「SOJOポートフォリオシステム」入力し、毎回授業開始時にプリントアウトして提出。3点×13週分＝39点　6.ポートフォリオ:学生の到達度目標①~⑤の「学修到達度レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、プリントアウトして、15回目の授業時間に提出。10点　7.その他:時事ワークシート 2点×5回＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定はおこなわない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.毎回ノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のために紙バインダーを購入すること。 7.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 ★遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「到達度レポート」を大きく減点する。 8.お茶・水以外の飲用は不可。 9.スマートフォーンはカバンの中にしまうこと。授業中の使用を発見した場合は退出を命じ、欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義　演習	研究室調査準備シートの作成 ★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始めて、締切は毎週月曜日12:00とする。冬休み期間中も入力すること。	60
	内容	キャリア基礎Ⅱの概要と「今週の活動とトップニュース」の作成説明 チーム編成、研究室調査の説明 ★「研究室調査準備シートの作成」 所属学科の2つの研究室を選択し、選択理由と研究室の特徴をワークシートにまとめる。			
2回	テーマ	研究室調査①	演習	今週の活動とトップニュース① チーム活動：発表の情報収集・整理	60 60
	内容	研究室調査の準備 「研究室調査準備シート」をチーム内で報告し、調査する研究室を決定する。			
3回	テーマ	研究室調査②	演習	今週の活動とトップニュース② チーム活動：発表の情報収集・整理	60 60
	内容	情報収集、構成			
4回	テーマ	研究室調査③	演習	今週の活動とトップニュース③ チーム活動：発表の情報収集・整理	60 60
	内容	情報収集、構成、パワーポイント作成 中間報告			
5回	テーマ	研究室調査④	演習	今週の活動とトップニュース④ チーム活動：発表の情報収集・整理	60 60
	内容	情報収集、構成、パワーポイント作成			
6回	テーマ	プレゼンテーションA①「研究室調査」	演習	今週の活動とトップニュース⑤ チーム報告書作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） 発表時間15分、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
7回	テーマ	プレゼンテーションA②「研究室調査」	演習	今週の活動とトップニュース⑥ チーム報告書作成	60 60
	内容	発表時間15分、質疑応答、教員講評、評価シートの作成			
8回	テーマ	プレゼンテーションA③予備、報告書等作成	演習	今週の活動とトップニュース⑦ チーム報告書の作成 貢献度レポートの作成 時事WS①の作成（次回提出、以下同じ）	60 60 60 30
	内容	発表時間15分、質疑応答、教員講評、評価シートの作成 「プレゼンテーションAチーム報告書」「プレゼンテーションAに対する私のチームへの貢献度」レポートの作成（ともに次回提出）			
9回	テーマ	文章作成の基本 職業人への意識①企業調査	演習	今週の活動とトップニュース⑧ 時事WS②の作成 企業調査レポート作成	60 30 60
	内容	レポート作成の概要説明 レポート作成：「就職したと仮定した企業での私の役割」下記各項目400文字以上、参考文献2件以上（書籍、インターネット情報、業界紙等） 項目：①企業の概要、②そこで何をしたいのか、③そのためには何が必要なのか、④働くことの意味とは何か ★12回目の授業日に提出			
10回	テーマ	職業人への意識②企業調査	演習	今週の活動とトップニュース⑨ 時事WS③の作成 企業調査レポート作成	60 30 60
	内容	時事WS①の返却・解答・解説 企業調査レポート作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	職業人への意識③企業調査	演習	今週の活動とトップニュース⑩ 時事WS④の作成 企業調査レポート作成（次回提出）	60 30 60
	内容	時事WS②の返却・解答・解説 企業調査レポート作成			
12回	テーマ	職業人への意識に関するチーム討議	演習	今週の活動とトップニュース⑪ 時事WS⑤の作成	60 30
	内容	時事WS③の返却・解答・解説 ★KJ法を用いて、チームメンバーの意見を集約し、下記項目についてパワーポイントを作成 ①「職業人」として何が必要なのか ②そのためにはどのような準備が必要なのか ③「働く」とは何なのか			
13回	テーマ	プレゼンテーションB「職業人とは何か」	演習	今週の活動とトップニュース⑫ 学修到達度レポート作成	60 60
	内容	時事WS④の返却・解答・解説 ★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） 発表時間7分、質疑応答、教員講評			
14回	テーマ	プレゼンテーションB予備、自己点検	演習	今週の活動とトップニュース⑬ 学修到達度レポートの作成 個人資料のバインダー整理 ★授業アンケートの入力	60 60 20 30
	内容	時事WS⑤の返却・解答・解説 学修到達度レポートの作成（次回提出） 授業アンケートの作成（入力の完成、提出なし） 授業資料のバインダー整理（次回点検）			
15回	テーマ	自己点検、まとめ	講義 演習	学期末活動報告書を入力し、次年度初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	120
	内容	学期末活動報告書の作成 出席確認、授業資料バインダー点検、総評			

科目名	キャリアプランニングⅠ（旧カリ）後期	開講学年	3	講義コード	2117902	区分	必修
英文表記	Career Planning Ⅰ	開講期	集中	開講形態		単位数	1

担当教員	辻田祐純※　藤本元啓

研究室	本館付属棟1F就職部就職課内　本館305	オフィスアワー	金曜日1限目

メールアドレス	tsujita@ ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要	就職はゴールではなく,通過点である．就職活動は何のためにするのか,内定を取ればそれでよいのか？ この科目は就職活動を支援して行くことを目指している.しかし,必ずしも内定の獲得目的としているわけではない．就職活動というフィールドを経験することで成長する受講生を支援する,地域･国･世界を形成する社会人になる過程を支援する科目である

関連科目
キャリア基礎Ⅰ,キャリア基礎Ⅱ,キャリア基礎Ⅲ,人生と職業Ⅱ,キャリアプランニングⅡ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A2	A2
		JABEE基準		e,f,g,h,i	e,f,g,h,i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,i	①	授業での自己分析を基に自分のPRを表現することができる
g,h	②	効果的な履歴書･ESを作成することができる
f,i	③	企業を調査し,自分の強みを企業で生かす方法を表現することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	30	8	0	0	62	0	100

教科書	授業で適宜,配布する

参考書	採用基準　ダイヤモンド社　伊賀泰代　ISBN978-4-478-02341-9

予備知識	大学を卒業して社会人になるのではなく,今から少しずつ社会人になって行く.就職活動を通して,社会に触れ,社会へ出て行くための準備をして行く．企業のルールを学び,社会人の価値観を知る．社会的評価に身を任すことで新しい出会いやチャンスを通して変化する自分を楽しんで欲しい
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①小テスト:各回ごとの振り返り･質問･感想×2点→30点 ②レポート:各フェーズでのレポート4つ×2点→8点 ③ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」13回×4点→52点 ④ポートフォリオ:第15回提出の学習到達度ポートフォリオ→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ③欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味する ④各自で就職活動ノートを準備すること ※欠席者はオフィスアワーに担当教員を訪ね,課題等を確認すること

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」①を記入する	90
	内容	授業の目的と概要を説明する．自己紹介をする			
2回	テーマ	自己分析Ⅰ	講義	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」②を記入し提出する	90
	内容	自己分析の目的･過去の自分を振り返る①			
3回	テーマ	自己分析Ⅱ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」③を記入し提出する	90
	内容	過去②･現在の自分を見つめる			
4回	テーマ	自己分析Ⅲ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」④を記入し提出する	90
	内容	他人から見た自分を知る･将来の自分を考える			
5回	テーマ	自己表現テスト	講義	「自己表現シート」を提出する 振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑤を記入し提出する	90
	内容	自己分析を基に自分のPRを表現する			
6回	テーマ	履歴書・エントリーシートの作成Ⅰ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑥を記入し提出する	90
	内容	効果的な履歴書･ESの作成について説明を受け,履歴書･ESを書く			
7回	テーマ	履歴書・エントリーシートの作成Ⅱ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑦を記入し提出する	90
	内容	学生時代に力を入れたことを書く			
8回	テーマ	履歴書・エントリーシートの作成Ⅲ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑧を記入し提出する	90
	内容	自己PRを書く			
9回	テーマ	履歴書・エントリーシートの作成Ⅳ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑨を記入し提出する	90
	内容	志望動機を書く．主体的な企業の選択方法の説明を受ける			
10回	テーマ	エントリーシート模擬試験	講義・演習	ESを記入し提出する 振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑩を記入し提出する	90
	内容	実際にESを書いてみる			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	一般常識模擬試験	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑪を記入し提出する	90
	内容	一般常識テストを受けて,傾向と対策を考える			
12回	テーマ	企業の情報収集と活用方法Ⅰ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑫を記入し提出する	90
	内容	個人で企業選択を行い,調査してみる			
13回	テーマ	企業の情報収集と活用方法Ⅱ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑬を記入し提出する	90
	内容	自分の強みと企業の強みを考える			
14回	テーマ	企業の情報収集と活用方法Ⅲ	講義・演習	企業調査報告書を記入し提出する 振り返り・質問・感想を記入し提出する「学習到達度ポートフォリオ」を記入する「今週の活動とトップニュース」⑬を提出する	90
	内容	選択企業の調査結果を報告する			
15回	テーマ	キャリアプランニングⅠの総括	講義・演習	ライフプランを記入し提出する 振り返り・質問・感想を記入し提出する「学習到達度ポートフォリオ」を提出する	30
	内容	科目の総括とWebClassでの社会人基礎力チェック作成			

科目名	キャリアプランニングⅡ（旧カリ）後期	開講学年	3	講義コード	2118002	区分	必修
英文表記	Career Planning Ⅱ	開講期	集中	開講形態		単位数	1

担当教員	辻田祐純※　藤本元啓

研究室	本館付属棟1F就職部就職課　本館305	オフィスアワー	水曜日2限目

メールアドレス	tsujita@ ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要	職業のことを視野に入れながらも,自分の人生の時間,それも遠い将来のことではなく目の前の学生生活を意味のあるものにする作業をこの科目を通して行う.学生生活の経験の上に卒業後の社会人としての生活が待っている.そのことを考えると,この科目は職業人生にとっても重要である.

関連科目
キャリア基礎Ⅰ,キャリア基礎Ⅱ,キャリア基礎Ⅲ,人生と職業Ⅱ,キャリアプランニングⅠ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			e,f,g,h,i	e,f,g,h,i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,i	①	あいさつや会話を状況に応じて交わすことができる
g,h	②	対話を通じて相手と新しい意見をつくることができる
f,i	③	社会人と日常生活についての会話ができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	30	0	8	0	62	0	100

教科書	授業で適宜,配布する

参考書	採用基準　ダイヤモンド社　伊賀泰代　ISBN978-4-478-02341-9

予備知識	「キャリア」とは狭義には職業人生(ワークキャリア)のことを言う.広義には余暇などを含めた生活(ライフキャリア)のありとあらゆる場面が「キャリア」につながって行く．どちらの「キャリア」についても,人との出会いがカギとなる.この科目では他者とのコミュニケーションの楽しさを体験してもらうことで,どちらの「キャリア」も豊かにしていく術の習得を目指す.
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①小テスト:各回ごとの振り返り･質問･感想×2点→30点 ②成果発表:各フェーズでの発表とディスカッションでの発言4回×2点→8点 ③ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース」13回×4点→52点 ④ポートフォリオ:学習到達度ポートフォリオ→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ③欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味する ④各自で就職活動ノートを準備すること ※欠席者はオフィスアワーに担当教員を訪ね,課題等を確認すること

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」①を記入し提出する	90
	内容	科目の目的と概要を説明する受講ルールについて確認する			
2回	テーマ	対人関係技能の向上	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」②を記入し提出する	90
	内容	グループでの対話を通じて,対人関係のスキル向上にチャレンジする			
3回	テーマ	自分も相手も大切にする伝え方	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」③を記入し提出する	90
	内容	Win−Winのコミュニケーションを学ぶ			
4回	テーマ	人生の先輩から学ぶⅠ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」④を記入し提出する	90
	内容	社会人の生き方・考え方から職業観を学ぶ 講演者との対話-口頭発表①			
5回	テーマ	社会が求める人材像を知る	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑤を記入し提出する	90
	内容	実社会で求められる人格と能力を理解する			
6回	テーマ	ロールモデルを探す	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑥を記入し提出する	90
	内容	自分の目指す人を探り,将来の方向性を考える			
7回	テーマ	多様化する就労環境を知る	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑦を記入し提出する	90
	内容	就職までの流れを知る.就労環境を理解し,何をすべきかを考える			
8回	テーマ	将来のためのビジネススキルⅠ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑧を記入し提出する	90
	内容	実社会で役立つディベート・プレゼンテーション力の向上にチャレンジする-その①			
9回	テーマ	将来のためのビジネススキルⅡ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑨を記入し提出する	90
	内容	実社会で役立つディベート・プレゼンテーション力の向上にチャレンジする-その② ビジネスマナーについて自分の意見を発表する-口頭発表②			
10回	テーマ	働くことを考える	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑩を記入し提出する	90
	内容	働くことについて様々な考え方を知る			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	業界・企業情報の活用方法Ⅰ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑪を記入し提出する	90
	内容	社会・業界・企業の一般知識を理解する-その①			
12回	テーマ	業界・企業情報の活用方法Ⅱ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑫を記入し提出する	90
	内容	社会・業界・企業の一般知識を理解する-その②			
13回	テーマ	業界・企業情報の活用方法Ⅲ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑬を記入し提出する	90
	内容	社会・業界・企業の一般知識を理解する- その③　企業についての調査結果を報告する-口頭発表③			
14回	テーマ	人生の先輩から学ぶⅡ	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「今週の活動とトップニュース」⑬を提出する「学習到達度ポートフォリオ」を記入する	90
	内容	社会人で活躍する人から学び,学生生活に生かす　講演者との対話- 口頭発表④			
15回	テーマ	振り返りと今後へのアクション	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する「学習到達度ポートフォリオ」を提出する	90
	内容	科目の総括とWebClassでの社会人基礎力チェック作成			

科目名	人生と職業Ⅱ（旧カリ）後期	開講学年	3	講義コード	2118102	区分	必修
英文表記	Life and Calling Ⅱ	開講期	集中	開講形態		単位数	1

担当教員	辻田祐純※　藤本元啓

研究室	本館付属棟1F就職部就職課　本館305	オフィスアワー	金曜日1限目

メールアドレス	tsujita@ ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	キャリアデザイン　就業力　社会人基礎力　人間力

授業概要	「就職できる」だけでなく「社会で活躍できる」力を磨く！ 人生は新卒で就職した1社目で決まる.納得して就職活動を終えるため,より実践的な就職活動の手段や方法を習得し,望ましい就職の実現に結びつけることを目的としている

関連科目
キャリア基礎Ⅰ,キャリア基礎Ⅱ,キャリア基礎Ⅲ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		e,f,g,h,i	e,f,g,h,i	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,i	①	あいさつやマナー・ルールの遵守など,社会人としての常識を理解し,それを実践することができる
g,h	②	生涯にわたるキャリアデザインを設計することができる
f,i	③	社会人とビジネスについて意見交換することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	30	40	20	0	10	0	100

教科書	授業で適宜,配布する

参考書	採用基準　ダイヤモンド社　伊賀泰代　ISBN978-4-478-02341-9

予備知識	就職では,これまでの学生生活を通じて獲得した力をフル動員してアウトプットすることが求めらる．だからこそ,自分の力が社会的にどの程度のレベルかを理解し,場合によっては強化しなければならない．また,その力を正しく相手に伝えることも必要である．就職活動とは,履修・課外を問わず,これまでの活動の総決算である
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ,それらを実践できるようにする
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①各回ごとの振り返り・質問・感想×2点→30点(小テスト) ②各フェーズでの成果物4つ×10点→40点(レポート) ③各フェーズでの発表とディスカッションでの発言20点 ④第15回提出の到達度ポートフォリオ→10点

学修上の注意 (SBOs)	①授業へ3分の2以上の出席が必要である.15回の講義の内,10回以上の出席が単位付与の必要条件とする ②社会人標準の授業であるので,講師の指導に従えない学生は退室させる場合がある ③欠席した授業の回の提出物等は,次回の授業時までに提出することができ,その場合は評価点に加味する ④各自で就職活動ノートを準備すること ※欠席者はオフィスアワーに担当教員を訪ね,課題等を確認すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	科目の概要と目標を説明する.就職状況を説明し,これからの学生生活の過ごし方を考える			
2回	テーマ	良い企業とは何か?（1）	講義	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―(講義) 良い企業とは何か?：企業経営者が考える良い企業			
3回	テーマ	良い企業とは何か?（2）	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―グループワーク：働くことの意味を考える(AL)			
4回	テーマ	良い企業とは何か?（3）	講義・演習	「良い企業とは何か?」感想文を提出する 振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―ディスカッション：若手社会人とのディスカッション(AL)			
5回	テーマ	わが国の職業の動向と特徴（1）	講義	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―(講義)働くとき役立つ制度は：ブラック企業とは?働くときに守ってくれるのは誰?世の中で実際に役立つ法律・制度・知識―			
6回	テーマ	わが国の職業の動向と特徴（2）	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―グループワーク：ライフステージごとの労働法・労働保険・社会保険について調査する(AL)			
7回	テーマ	わが国の職業の動向と特徴（3）	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―グループワーク：(2)の調査の続き(AL)			
8回	テーマ	わが国の職業の動向と特徴（4）	講義・演習	「ライフステージごとの労働法・労働保険・社会保険」調査書を提出する 振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―グループワーク：調査のまとめと発表(AL)			
9回	テーマ	ビジネスの場でのコミュニケーション（1）	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―(講義) ビジネスの場で求められるコミュニケーションとは?			
10回	テーマ	ビジネスの場でのコミュニケーション（2）	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	―グループワーク：社会人としてあるべきコミュニケーションについて考える(AL)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	ビジネスの場でのコミュニケーション（3）	講義・演習	「ビジネスの場でのコミュニケーション」感想文を提出する 振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	ーグループワーク:(2)のまとめと発表(AL)			
12回	テーマ	ワークライフバランスのデザイン（1）	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	ー(講義)バランスの取れたこれからの働き方			
13回	テーマ	ワークライフバランスのデザイン（2）	講義・演習	振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	ーグループワーク:ワークライフバランスについて考える(AL)			
14回	テーマ	ワークライフバランスのデザイン（3）	講義・演習	ライフプランを提出する 「学習到達度ポートフォリオ」を作成する 振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	ー個人ワーク:ライフプランを作成する(AL)			
15回	テーマ	これからの就活	講義・演習	「学習到達度ポートフォリオ」提出 振り返り・質問・感想を記入し提出する	90
	内容	科目の総括とWebClassでの社会人基礎力チェック作成			

科目名	日本語表現（旧基礎日本語）（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2121101	区分	選必
英文表記	Introduction to Japanese	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	上妻 利博		
研究室	本館付属棟318 上妻 利博	オフィスアワー	木曜日の昼休み
メールアドレス	@		
キーワード	日本語の基礎力、語彙力、表現力　小論文作成力　図書館活用		

授業概要

実社会では、コミュニケーションにおける敬語の使用法や語彙力の充実が求められている。また、プレゼンテーションやレポート作成等に関しても、的確で分かりやすい表現が不可欠である。そのような中で、日本人としての日本語の基礎力及び表現力を幅広く身に付けることが重要である。そのような意味から、次のようなことを目標に授業を展開する。 ①日本語検定3級合格程度の語彙力、コミュニケーション力を身に付ける。 ②図書館等を利用し、多くの書籍を読む。 ③表現力育成の一環として、小論文や書評作成に挑戦する。 ④学修成果を確認するために、日本語検定試験に挑戦する。

関連科目

関連科目：日本の文学

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A１	A１
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
fg	①	言葉の使い方等に関心を持ち、社会生活上必要な日本語力を身につけることができる。
fg	②	小説や資料等を読み、自己の意見や提案等を文章で作成することができる。
fg	③	授業で学んだことを専門分野での論文・レポート等の表現に生かすことができる。
fg	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
20	40	0	30	0	0	10	0	100

教科書	日本語検定3級 3訂版　東京書籍
参考書	

予備知識	日頃から新聞のコラムや社説等を読み、社会情勢等に関心をもっておく。 書評コンテストへの対応として、図書館の蔵書等を活用し、読書量を増やしておく。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①定期試験　（40点）②中間テスト2回 1回目 「敬語」「語彙」「言葉の意味」（10点）　2回目 「文法」「表記」「漢字」　（10点）③小論文2回　1回目 課題に対する小論文　（10点）　2回目 自選課題に対する小論文　（10点）　書評1回　自選図書に関する書評　（10点）④ポートフォリオ　（10点）

学修上の注意 (SBOs)	①専用のノートを作成し、問題の解答・解説をそのノートに記入する。②各授業内容に沿って「日本語検定3級 3訂版」の予習・復習を確実に行う。③書評コンテスト、小論文作成用に図書館等の書籍を多く読む。④レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	授業ガイダンス	演習　講義	日本語検定問題集のP6～P11の予習	30
	内容	確認テスト 入学時までの日本語に関する知識を確認する。			
2回	テーマ	「敬語」①	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP12～P17の予習	60
	内容	問題集を使って、敬語の使い方を学習する。			
3回	テーマ	「敬語」②	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP44～P52の予習	60
	内容	問題集を使って、敬語の使い方を学習する。			
4回	テーマ	「語彙」「言葉の意味」① 小論文の書き方指導	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP64～P67の予習	60
	内容	問題集を使って、「語彙」「言葉の意味」を学習する。小論文の基本的な書き方を学習する。			
5回	テーマ	「語彙」「言葉の意味」② 小論文①（下書Ⅰ）	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP68～P72の予習	60
	内容	問題集を使って「語彙」「言葉の意味」を学習する。テーマに基づいた小論文の下書を行う。			
6回	テーマ	「語彙」「言葉の意味」③ 小論文①（下書Ⅱ）	演習　講義	中間テストⅠに向けた「敬語」「語彙」「言葉の意味」の復習 小論文①の清書に向けた推敲	120
	内容	問題集を使って「語彙」「言葉の意味」を学習する。テーマに基づいた小論文の下書を行う。			
7回	テーマ	中間テストⅠ　小論文①（清書・提出）	演習	中間テストⅠの振り返り	60
	内容	これまで学習した「敬語」「語彙」「言葉の意味」の内容のテストを行う。テーマに基づいた小論文の清書を提出する。			
8回	テーマ	書評の書き方の説明 図書館研修（書評コンテスト関係）	演習　講義	日本語検定問題集のP28～P31の予習 書評コンテスト用図書の読込	300
	内容	書評例をもとに、書評の書き方を説明する。書評コンテスト関係の書籍を図書館から借りる。			
9回	テーマ	「文法」① 書評コンテスト用（下書Ⅰ）	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP32～P35の予習	60
	内容	問題集を使って「文法」を学習する。書評コンテスト用の下書を行う。			
10回	テーマ	「文法」② 書評コンテスト用（下書Ⅱ）	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP82～P85の予習 書評コンテスト作品の清書に向けた推敲	60
	内容	問題集を使って「文法」を学習する。書評コンテスト用の下書を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	「表記」「漢字」①　書評コンテスト用（清書・提出）	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP86～P89の予習	60
	内容	問題集を使って、「表記」「漢字」を学習する。書評コンテスト用の清書を提出する。			
12回	テーマ	「表記」「漢字」②　小論文②（下書Ⅰ）	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP98～P106の予習	60
	内容	問題集を使って「表記」「漢字」を学習する。自分で小論文の題材を選び、下書を行う。			
13回	テーマ	「表記」「漢字」③	演習　講義	中間テストⅡ向けた「文法」「表記」「漢字」の復習　小論文②の清書に向けた推敲	120
	内容	問題集を使って「表記」「漢字」を学習する。自分で小論文の題材を選び、下書を行う。			
14回	テーマ	中間テストⅡ　小論文②（清書・提出）	演習	定期試験の向けた中間テストⅠ・Ⅱの総復習　学修到達度レポートの作成	120
	内容	これまで学習した「文法」「表記」「漢字」の内容のテストを行う。自己のテーマに基づいた小論文の清書を提出する。			
15回	テーマ	定期試験	講義	学修到達度レポートの提出	60
	内容	定期試験 まとめ、総評			

科目名	日本の文学（１全学科）	開講学年 1	講義コード 2121201	区分 選必
英文表記	Japanese Literature	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	岩本 晃代
研究室	本館３階 304
オフィスアワー	木曜５限
メールアドレス	iwamoto@ ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	文学　地域文化

授業概要

日本の代表的な近現代の作家の作品を取り上げて、日本文学史の基礎的な知識の修得とともに、文学作品を鑑賞し、その内容を文章で表現する能力を培うことを目的とする。 近現代の名作について、文学の時代性、文化の変遷、歴史的背景ふまえつつ考察する。また、熊本にゆかりのある作家の作品を取り上げて、地域への関心が持てるように講義を行う。適宜、文章表現のための練習問題等を配布し、日本語の表現について学習する。 1.作家については、経歴や関連する作家等について自主的に図書館等で調べること。 2.作品中の分からない言葉等は辞書等で調べ、ワークシートに記入すること。 3.自分の選んだ作品について、作家及びその時代の歴史や文化に関しての調査を行い、レポートとしてまとめること。 以上のことから、自分の考えたこと等を文章や口頭で表現できる基礎的能力とコミュニケーション能力を養う。 4.毎回作成するワークシートは、添削後、次回に返却する。指示に従って推敲・補筆修正をしておくこと。

関連科目

「日本語表現」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A１	A１	
JABEE基準		a,f,g	a,f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	さまざまな視点から日本の文学作品を鑑賞し、その内容を文章にすることができる。
a,f	②	調べたことをもとに、自分の考えを分かりやすく文章で表現することができる。
g	③	分からない言葉等を自主的に調べ、課題に最後まで取り組むことができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	40	0	30	0	20	10	0	100

教科書	くまもと文学紀行　高教研国語部会 授業中に配布する文学資料
参考書	日本近代文学大事典　講談社 現代詩大事典　三省堂

予備知識	図書館等を活用して読書量を増やしておくこと。
DP との 関連	日本の代表的な文学作品や熊本ゆかりの作家の文学作品を鑑賞すること及び、自分の出身地域等に関わる作家の課題研究を通して、自分の考えたこと等を文章や口頭で表現することにより、「課題対応力」を身につけ実践することができる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート（課題研究）30点　所定の用紙に下書きをし、さらに推敲したうえで清書したものを提出　（詳細は授業中に指示する） 2.まとめの試験（定期試験） 40点 3.ワークシート（補筆修正した完成版を「作品」として評価する）20点 4.「到達度評価ポートフォリオ」10点 【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力しプリントアウトして提出

学修上の注意 (SBOs)	1. 分からない語句等を調べるために電子辞書等を持ってくること。 2. 授業中に配布するワークシートを完成させて提出すること。(次の授業で返却する)なお、ワークシートの内容についてまとめたものを、定期試験のうちの一つの問題(小論文形式)とする。 3. レポート(課題研究)については、本学図書館及び熊本県立図書館等で資料を収集し、それらをもとにまとめること。 4. 提出物については期限を厳守すること。 ・レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	【復習】 文学史の復習	30
	内容	講義の全体について説明する。日本文学史(近現代)について学習する。			
2回	テーマ	熊本の文学1	講義／演習	【予習】熊本の文学者について調べておく【復習】作品の読み直し	60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学1 夏目漱石・小泉八雲等			
3回	テーマ	熊本の文学2	講義／演習	【予習】熊本の文学者について調べておく【復習】作品の読み直し ワークシートの推敲・補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学2 耕治人・島一春・石牟礼道子等			
4回	テーマ	熊本の文学3	講義／演習	【予習】熊本の文学者について調べておく【復習】作品の読み直し ワークシートの推敲・補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学3 蔵原伸二郎・淵上毛銭・中村汀女等			
5回	テーマ	明治の文学1	講義／演習	【予習】文学史の資料で自然主義について調べておく【復習】作品の読み直し ワークシートの推敲・補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:自然主義の作家の作品 島崎藤村・田山花袋等			
6回	テーマ	明治の文学2	講義／演習	【予習】文学史の資料で反自然主義について調べておく【復習】作品の読み直し ワークシートの推敲・補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:反自然主義の作家の作品1 夏目漱石・森鷗外・白樺派等			
7回	テーマ	明治の文学3	講義／演習	【予習】文学史の資料で反自然主義について調べておく【復習】作品の読み直し ワークシートの推敲・補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:反自然主義の作家の作品2 夏目漱石・森鷗外・白樺派等			
8回	テーマ	前半のまとめ	講義／演習	【予習】文学史の資料で大正期以降の代表的な作品について調べておく【復習】 課題研究の準備	60
	内容	熊本の文学についてのまとめ 日本文学史(明治期)についてのまとめ レポート(課題研究)作成の方法についての説明			
9回	テーマ	大正の文学1	講義／演習	【予習】文学史の資料で芥川龍之介について調べておく【復習】作品の読み直し ワークシートの推敲・補筆修正 課題研究の準備	60
	内容	作品鑑賞:芥川龍之介等			
10回	テーマ	大正の文学2	講義／演習	【予習】文学史の資料でプロレタリア文学について調べておく【復習】作品の読み直し ワークシートの推敲・補筆修正 課題研究の準備	60
	内容	作品鑑賞:プロレタリア文学等			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	昭和の文学1	講義／演習	【予習】課題研究 【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:昭和期の作家の作品1 文学史資料の作品の中から			
12回	テーマ	昭和の文学2	講義／演習	【予習】課題研究 【復習】作品の読み直し ワークシートの推敲･補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:昭和期の作家の作品2 文学史資料の作品の中から			
13回	テーマ	現代の文学	講義／演習	【予習】課題研究 【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:現代作家の作品 文学史資料の作品の中から			
14回	テーマ	後半のまとめ	講義／演習	【予習】課題研究 【復習】課題研究の成果としてのレポート清書	60
	内容	日本近代文学史のまとめ ワークシート全体のまとめ ワークシート完成版の提出 ポートフォリオの作成			
15回	テーマ	全体のまとめ	講義／演習		
	内容	授業全体のまとめ まとめの試験(定期試験) レポート(課題研究)提出 ポートフォリオの提出			

科目名	人間と心理（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2121301	区分	選択
英文表記	Psychology	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	園部 博範（実務経験）

研究室	図書館4階	オフィスアワー	火曜、木曜の2限目

メールアドレス	sonobe-h@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	学習理論　自己･他者理解　行動の背景　人の発達　コミュニケーション

授業概要

本講義では我々の身近で起こる出来事を心理学の理論をもとに解説し、心理学とは一体どのような学問なのかを学び、心理学への興味や理解を深める。さらに、我々の日常の行動の意味を知ったり、自己理解や他者理解を深め、人間関係のあり方を学び、これらをもとに社会に貢献できる人として生きるため役に立つものである。また、前職における児童相談所、精神保健福祉センターの実務の経験を活かし、人間の発達やメンタルヘルスの分野において授業の中で学生に教授する。1.授業中に質問し、横の人との会話を勧めるので、積極的に参加する。2.授業中の心理テストの内容をよく理解し、真剣に取り組み自己理解に努める。3.心理学を学ぶことによって、自分や他者、さらにその関係について、知見を深めるよう努　める。4.さらに、心理学の知識を自己管理能力を高める資源とする。5.小テストについては、15回目の授業時にフィードバックする。

関連科目

文化社会関連科目:「人間と哲学」 教職関連科目:「教育心理学」「教育相談の理論及び方法」
その他の関連科目:「キャリア関連科目」「生物学関連科目」「脳関連科目」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,e	a,e

JABEE記号		学生の到達度目標
a,e	①	心理テストによって自己理解を深め、対人関係における自分の課題を知り記述することができる。
a,i	②	本講義で人間の心や行動を理解し、他者への働きかけの方法を学んだことを文章で表現することができる。
f,h	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	50	10	30	0	0	10	0	100

教科書

やさしい心理学　北大路書房　水田恵三　　978-7628-2048-9

参考書

新しい心理学ゼミナール　福村出版　藤田圭一編　978-4-571-20072-4
心理学入門　健ぱく社　平田･伊藤編　978-4-7679-4013-7
よくわかる心理学　ミネルヴァ書房　無籐他編　978-4-623-05250-9

予備知識	1.日常での出来事、小説などから心理学的な現象を考えておくとよい。 2.人間の行動や心理はすべて心理学に関係あるので、小説や漫画の登場人物の心理や 行動を観察しておくと心理学が楽しくなる。 3.自分が落ち込んだときにどんな方法や本を読むか、また、その内容を考えるようにす る。 4.性格、心理検査、ストレスなどの心理学に関する本を読んでおく。
DP との 関連	1.人の発達、学習、認知、社会性などを学び、人間関係の仕組みや人間関係形成能 力を身につ ける。また、自己理解や他者の行動の背景を知り、自己管理能力の基 礎的・汎用的能力を身につける。 2.働くことにおいて、自分が果たす役割を意識し、それを遂行するためには、自己理解 や他者理解はいうまでもなく、コミュニケーション能力や職場への適応能力も必要で ある。これらを身に付けるために心理学の知識が役に立つ、それがキャリアデザイン のありかたにも関連していく。 3.またこの科目は教職科目に継続しているため、教師としての職務内容やそのあり方を 身につけ、キャリアデザインを組み立てるものでもある。
実務経験 のある 教員	園部博範
評価明細 基準	1.定期試験（15回目）50点 2.小テスト 10点（8回目） 3.レポート:いくつかのテーマから選択したものについて、調査・報告する。A4の1枚、PC 使用。1頁40行、1行40文字、MS明朝、10.5p、1200文字～1300文字 10回目にレポー トの指示説明を行う。作成後は15回目までに提出する。30点 4.ポートフォリオ:「学習到達度評価レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、 プリントアウトして、15回目までに提出する。10点

学修上の注意 (SBOs)	1.試験は小テス、定期試験を行い、追試・再試は実施しない。 2.教科書以外の資料も提示するので、重要な部分はノートをとること。ノートは各自取るよ　うにし、その評価はしないので、各自教科書とともに復習の材料とすること。 3.グループ討論や当てられることが苦手な人は事前に申し出ること。 4.毎回の心理テストは自己を探求するものなので、積極的に参加し自己理解を深めるこ　と。 5.心理テストに抵抗がある場合は、事前に申し出ること。 6.レポートは提出日までに出すこと。 7.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされる。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	「心とは何か」	講義　演習	予習：心や心理学に関する本を読んでおく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	ガイダンス、心の起源、心とは何かについて学ぶ。 演習：心理テスト、人間関係を見る。			
2回	テーマ	「心理学とは何か」	講義　演習	予習：ゲシュタルトの法則、人の物の見え方について調べておく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	心理学の歩み、研究方法、領域、人間関係について学ぶ。 演習：心理テスト、私のストレス度とコーピングチェック。			
3回	テーマ	「人は物をどう見るのか」	講義　演習	予習：学習と記憶に関する事を調べておく。復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	ゲシュタルトの法則、知覚の恒常性、錯視について学ぶ。 演習：心理テスト、自分をどう評価しているか。			
4回	テーマ	「人はどのように学ぶのか」	講義　演習	予習：人間の欲求にはどんなものがあるか調べておく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	古典的：オペラント条件づけ、学習と記憶について学ぶ。　演習：心理テスト、自分はどの感覚を使って生きているか。			
5回	テーマ	「人は何故行動するのか（1）」	講義　演習	予習：人間の感情や欲求不満について調べておく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	欲求の種類、達成欲求と親和欲求について学ぶ。　演習：心理テスト、3つの自分を発見する。			
6回	テーマ	「人は何故行動するのか（2）」	講義　演習	予習：子供がどのようにして大きくなっていくか調べておく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	フラストレーションと葛藤の心理、感情の心理について学ぶ。　演習：心理テスト、達成動機と親和欲求の程度。			
7回	テーマ	「人はどのように成長するのか」	講義　演習	予習：自己・他者理解とは何かを調べておく。　復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	発達とは、乳幼児～老年期の発達心理について学ぶ。演習：心理テスト、欲求不満の表し方。			
8回	テーマ	「人は自分をどう見るのか（1）」	講義	予習：性格に関することを調べておく。　復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	人は自分をどう見るか、人をどう見るかについて学ぶ。小テスト			
9回	テーマ	「人は自分をどう見るのか（2）」	講義　演習	予習：第一印象について調べておく。　復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	人格理論、性格・心理検査、自己意識、悩める心について学ぶ。 演習：心理テスト、私の今のアイデンティテイ状態。			
10回	テーマ	「人は人をどう見るのか（1）」	講義　演習	予習：私たちが人をどのように見ているか調べておく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30　30
	内容	容貌や人の認知、印象形成について学ぶ。　演習：心理テスト、自分の性格を知る（類型論）。レポート作成説明。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	「人は人をどう見るのか(2)」	講義　演習	予習:どんな人が好意を持たれるか調べておく。　復習:習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	暗黙のパーソナリティ理論、対人認知、2者･3者関係について学ぶ。演習:心理テスト、今の自分はどこまで自己実現しているか。			
12回	テーマ	「人は何故心惹かれるのか」	講義　演習	予習:言葉以外のコミュニケーション方法を調べておく。 復習:習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	恋愛の心理と法則、発展と崩壊について学ぶ。演習:心理テスト、自分の愛し方を知る。			
13回	テーマ	「人はメッセージをどう読み取るのか」	講義　演習	予習:自分のテリトリー(対人距離)がどの位か調べておく。 復習:習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	ノンバーバルコミュニケーション①表情と視線、動作と姿勢について学ぶ。演習:心理テスト、私の感情と自己物語。			
14回	テーマ	「説得するためには、説得されないためには	講義　演習	予習:教科書全体に目を通しておく。 復習:授業記録ノートを読む	30 30
	内容	ノンバーバルコミュニケーション②近言語、服装等、対人距離、社会的スキルついて学ぶ。 演習:心理テスト、ソーシャルスキルと思いやりの程度を知る。			
15回	テーマ	授業のまとめ	講義　演習		
	内容	授業全体のまとめ`総括ための定期試験`レポート及びポートフォリオの提出　総評			

科目名	人間と哲学（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2121401	区分	選必
英文表記	The Human beings and Philosophy	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	金田健司		
研究室	本館306	オフィスアワー	金曜5限
メールアドレス	k-kaneda @ed.sojo-u.ac.jp		

キーワード：人格と人間主義　哲学と科学　論理的整合性　経験科学(主義)から実証科学(主義)へ　経験的事実(実証科学)と超経験的事実(精神科学)

授業概要：人間を他の動物から区別する点は多々ありますが、人間が超自然的事実と経験的事実の双方を認識し得る存在であるということもまた、人間を他の動物から区別し得る重要な点であると思われます。つまり、人間は観念論的態度と科学的態度の双方を有し得るという点で「特別な存在」なのです。したがって本講義は、哲学的にも科学的にも「正しく考える」力を伸長・拡大していくことを目的とするものであり、この目的を達成するべく、次のような柱を置いています。1.人格ゆえの人間存在 2.人間主義(ヒューマニズム) ①理想型 ②現実型 3.哲学と科学の異質性 ①妥当性と可能性に対する態度 ②事実判断と価値判断 ③精神科学と経験科学 4.哲学によっても科学によっても解明できないモノ(哲学と科学の同質性) ＝人間の精神的価値そのものを問い、創造していく領域 ①芸術(文学、音楽、美術) ②宗教 5.哲学から生成された科学の基盤である実証主義(経験主義から実証主義へ) ①一般論的に ②経験科学的に ③コント(A.Comte)の「実証主義」による知識の三つの発展段階 ⅰ)神学的段階 ⅱ)形而上学的段階 ⅲ)実証的段階 6.人間にとって「絶対者」(超自然的事実)とは何か？ 7.本当に「神は死んだ」(ニーチェ)のか？ 8.人間は何を介して人間となるのか？ 9.再び、人格とは何か？

関連科目：連携科目：人間と歴史、ドイツ語圏の文化と社会

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a g	a g

JABEE記号		学生の到達度目標
a f g h	①	哲学という学問体系を理解できる。
a f g h	②	哲学と科学の異質性と同質性を理解できる。
a f g h	③	「正しく考える」とはどのように考えることなのかを理解し、日々の生活に活かすことができる。
a f g h	④	これからの人生(社会経験)において、人間本位にモノを考えることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	90	0	0	10	0	100

教科書：哲学のすすめ　講談社現代新書　岩崎武雄　4-06-115466-7
正しく考えるために　講談社現代新書　岩崎武雄　4-06-115685-3

参考書：

予備知識	高等学校で「倫理」もしくは「現代社会」を学んだ方は、その教科書を一読しておくことをお勧めします。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力のうち、特に「人間形成能力・社会形成能力」「自己理解能力・自己管理能力」を,、思索することを通じて身につけ、これらを毎日の生活に活かせるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	Ⅰ:レポート:1年次後期に、30点満点のレポートを3回提出してもらいます（計90点満点）。なお、レポートの内容（課題）、書式・形式、提出期日などは、講義開始後、詳細に説明します。但し、三回目のレポートに関しては、講義最終日にポートフォリオと一緒に提出することとします。 Ⅱ:ポートフォリオ:10点満点で自己評価をしてもらいます（講義担当者についての評価ではありません）。講義最終日に、三回目のレポートと一緒に、プリントアウトして提出することとします。

学修上の注意 (SBOs)	Ⅰ:単位を集めるためではなく、真に哲学を学ぶ意欲のある学生、三回のレポート執筆に耐え得る意欲のある学生、一冊でも多くの哲学書を読む気構えのある学生の受講を歓迎します。 Ⅱ:遅刻出席は講義開始後20分までとし、それ以後の遅刻については、原則として認めません。 Ⅲ:レポート執筆における剽窃行為（不正行為）については単位認定を行いません。 Ⅳ:講義中はお茶・水以外の飲用は認めません。（但し、服薬は認めます。） Ⅴ:教科書として挙げた二冊の書は、講義用テキストとしては使いませんが、レポートの課題図書としますので必ず購入し、自主的・積極的に、何回も精読・熟読しておかないとレポートの作成が困難をきわめますので、意欲的・能動的に、果敢にこれら二冊を自分のものにしていき、人生の礎としていってください。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	人間が存在するということ	講義	【復習】ノートの読み直し。なおノートの整理には、何らかの「哲学事典」を使われることをお勧めします。【その他】教科書として挙げた二冊のレポート課題図書を読み始めること。	60
	内容	人間が存在するという、あるいは存在していたということこそ、あらゆる学問が成立し得る大前提である。では、われわれが多用する「人格」とは、いったい何なのであろうか？　今後三回のレポートの書式・形式、課題内容を説明する。			
2回	テーマ	人間主義とは何か？	講義	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	理想型としての人間主義を考察する。			
3回	テーマ	人間主義とは何か？	講義	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	現実型としての人間主義を考察する。			
4回	テーマ	哲学の原意	講義	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	philosophia の意味について／哲学と思想の違いについて			
5回	テーマ	哲学と科学	講義	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	哲学と科学の対象の違いと思考形式の違い			
6回	テーマ	哲学と科学	講義	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	可能性を問題にする科学と妥当性を問題にする哲学			
7回	テーマ	哲学と科学	講義	【予習】第一回目のレポートの作成とプリントアウトを完了しておくこと。【復習】ノートの読み直し。	各90
	内容	哲学の一形式であった経験主義から科学の原理である実証主義の発生／一般論としての実証主義／「実証すること」の二様　第一回レポート提出日			
8回	テーマ	哲学と科学	講義　演習	【予習】自分で選んだ「哲学事典」を用い、コント（A. Comte）の言う「実証主義」について、精確かつ詳細に調べ上げる。【復習】ノートの読み直し。	各60
	内容	科学原理としての実証主義／実証主義は経験的事実だけを知識の対象とする＝実証できるものだけが人間の知識である⇒実証不可能な超経験的事物（第一原因・究極因と呼ばれるもの）の暗黙の認知ではないのか？ このことについて、班を編成し、班別議論を行い、簡単なまとめを全体の前で発表する。　第一回レポートの大まかな模範解答例を提示し、それについて解説し、フィードバックを行う。			
9回	テーマ	哲学と科学	講義	【予習】マックス・ヴェーバーについて可能な限り詳細に調べておくこと。【予習】社会学、社会科学とは何か、各種辞典・辞書などにあたり、精確に調べ上げておくこと。【復習】ノートの読み直し。	各90
	内容	フランス社会学の礎を築いたコントの「実証主義」によれば人間の知識には三つの発展段階があるという。この「知識の三段解説」を解説する際には、ドイツにおける社会科学の先覚者M. ヴェーバーによる「支配の三つの発展段階」説にも、コラム的にふれてみたい。			
10回	テーマ	哲学と科学	講義　演習	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	実証主義のまとめと復習：実証的であるということは、どういうことなのか？前回と今回の二時間にわたって解説してきた「実証主義」の概要について、班を編成し、班別議論を行い、簡単なまとめを全体の前で発表する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人間の精神的価値	講義　演習	【予習】芸術や宗教などの感性や主観で感得する以外に方法のない領域について、思索を深めておくこと。【予習】第二回目のレポートの作成とプリントアウトを完了させておくこと。【復習】ノートの読み直し。	各90
	内容	哲学によっても科学によっても、つまり論理的整合性をもってしてはとらえきれない人間の「精神的価値そのもの」について考察し、議論を行う。 いったい「精神的価値」とはどのようなもので、なぜ人間が生きていくうえで欠くべからざるものなのかについて、班を編成し、班別議論を行い、簡単なまとめを全体の前で発表する。　第二回レポート提出日			
12回	テーマ	人間の精神的価値	講義　演習	【予習】「哲学事典」などで「精神科学」「シュプランガー」「ディルタイ」などのコトバや人物について詳細かつ精確に調べておくこと。【復習】ノートの読み直し。	各90
	内容	経験科学的・自然科学的実証主義は万能か／実証主義自体が認めざるを得ない実証不可能な第一原因・究極因をわれわれはどのように扱うべきなのか（以上、前回からの続きと復習）／19世紀後半から20世紀中盤に至るまで、特にドイツで隆昌をきわめた「精神科学」の意味を考察する／精神科学において、実証不可能な超経験的・超自然的事物は扱われ得るのか否か／精神科学は超経験的・超自然的事物の存在を証明できるのか、議論を行う。　実証主義（科学）に対するアンチ・テーゼとしての「精神科学」の意味と意義について、班を編成し、班別議論を行い、簡単なまとめを全体の前で発表する。　第二回レポートの大まかな模範解答例を提示し、それについて解説し、フィードバックを行う。　第三回レポートの課題内容を発表する。			
13回	テーマ	絶対者の行方	講義	【復習】配布された資料を精確に読みながら、ノートを見直しておくこと。	60
	内容	「神は死んだ」（ニーチェ）のか／個々人に固有の価値観＝主観と精神科学の関係／　憲法第19条「思想・良心の自由」、第20条「信教の自由」、第23条「学問の自由」が意味するもの／主観は当該本人にしか感得できず、したがって主観的信条（たとえば信仰）を別の主観をもつ他者に強要することは、魂の殺人に他ならない。　資料を配布する。			
14回	テーマ	人間について	講義　演習	【予習】「哲学事典」などで、カントについて調べておくこと。【復習】ノートの読み直し。	各60
	内容	結局、人間とは何か／人間が人間になる条件とは何か／人間は、何によって、何を介して人間となるのか／何が人間に〈人格〉を付与するのか／ドイツ観念論哲学の祖・カントの『教育学講義』に認められる人間についてのきわめて重要な三つの命題を時間をかけて考え、議論していく。　人間が人間になるための三つの要件について、班を編成し、、班別議論を行い、簡単なまとめを全体の前で発表する。			
15回	テーマ	人間と哲学について	講義	【予習】ノート全体の読み直し。【予習】ポートフォリオを作成し、プリントアウトしておくこと。【予習】第三回目のレポートを作成し、プリントアウトを完了させておくこと。	各120
	内容	本講義の総復習：人間にせよ哲学にせよ、永遠に完成し得ない観念にすぎない。観念が観念を追究し、観念が観念によって追究され続けているのだ。しかし、哲学が万学の基盤である理由はここにある。　①ポートフォリオの回収　②第三回レポートの回収　第三回レポートの大まかな模範解答例を提示し、それについて解説し、フィードバックを行う。③まとめと総評			

科目名	人間と歴史（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2121501	区分	選必
英文表記	History and the problem Ⅰ	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	冨田健之						
研究室	本館302			オフィスアワー	水曜昼休み		
メールアドレス	@						
キーワード	歴史学　歴史教科書　記述の変化　研究の進展　「歴史は変わる」						

授業概要

1.中学校歴史教科書はその時代時代の特徴をつかむための最良の手引き書であり、歴史を学び直そうとする際に第一に参照されるべき参考書だといえる。また、中学校歴史教科書は学習指導要領の改訂に基づき、原則として4年ごとに改訂され、そのたびに記述が修正されたり、場合によってはまったく新しくかきかえられたりもする。 2.本授業では、東京書籍から1972（昭和47）年と2006（平成18）年にそれぞれ刊行された中学校歴史教科書を比較し、約30年の間に教科書記述がどれだけ変わってきたのかをまず確認する。 3.ついで、そうした教科書記述の変化の背景にある、歴史研究の発展・深化についてみていく。 4.歴史は「暗記物」というレッテルが貼られることがあるが、知識を身につけることはどの研究分野にあってもその出発点である。 5.本授業では、基礎的な知識を身につけたうえで、その知識を「応用」していくスベを修得していく。それによって、歴史的背景をふまえた現代社会を理解し、そこで生きていくための基礎知識（社会形成能力）と汎用的能力を身につけることをめざす。 6.小テストについては、可能な限り採点の上次回の授業時に返却する。

関連科目

総合・人間科学関係科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a.g	a.g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	人間や社会を多角的な視野から捉え、考え文章で説明することができる。
g	②	自主的、継続的に学修することができる。
g	③	レポート課題について十分な準備調査を行い、wordを使ってレポートを作成することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	55	30	0	5	10	0	100

教科書

教科書は使用しない

参考書

参考書は授業中に適宜紹介する

予備知識	1.自ら学ぼうとする意欲と意思 2.中学校程度の日本史に関する知識
DP との 関連	「課題対応力」の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1. 小テスト:初回5点 第2～6回×10点＝55点 2. レポート:課題は第11回授業時に提示する。A4用紙、フォーマット(余白各25㎜、1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1200文字以上、参考文献必須、30点 3. 作品(個人資料):紙バインダーに整理したもの(配付資料、小テスト答案、ノートなど)5点 4. ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点 ①【学生の到達度目標】の項目1～4の達成度とその理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出 ②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1．中間･定期試験は実施しない。再試験も実施しない。 2．授業中に教師の発言を同時進行でメモしノートするスキルを身につけることが必須となる 3．教師の質問には積極的に答えるようにする 4．授業内容に関して不明な点があれば積極的に質問するようにする 5．個人資料保存のため紙バインダーを準備すること 6．レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされるので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	授業全般に関するガイダンス	講義	ガイダンス内容を再度確認する	10
	内容	授業概要の説明および受講にあたっての諸注意などを行う			
2回	テーマ	人類の出現	講義	授業内容の復習をしておく	20
	内容	人類出現の年代はどこまでさかのぼるのか			
3回	テーマ	三内丸山遺跡	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	発見、発掘で変わる時代像			
4回	テーマ	稲作のはじまり	講義　演習	授業内容の復習をしておく	20
	内容	米づくりはいつ日本に伝わったのか　確認テスト①			
5回	テーマ	仁徳天皇陵	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	世界最大の古墳と習ったはずだが			
6回	テーマ	聖徳太子	講義　演習	授業内容の復習をしておく	20
	内容	旧一万円札の肖像は別人？　確認テスト②			
7回	テーマ	蝦夷	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	反乱者から抵抗の英雄へ			
8回	テーマ	鎌倉幕府	講義　演習	授業内容の復習をしておく	20
	内容	「イイクニつくろう」と覚えたが…　確認テスト③			
9回	テーマ	モンゴル襲来	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	2回とも暴風が吹いたのか			
10回	テーマ	倭寇	講義　演習	授業内容の復習をしておく	20
	内容	日本人ばかりではなかった　確認テスト④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	長篠の戦い レポート課題の提示	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	武田騎馬隊は存在したのか レポート作成に関するガイダンス			
12回	テーマ	島原・天草一揆	講義 演習	授業内容の復習をしておく レポートを作成する	60
	内容	「乱」から「一揆」へ 確認テスト⑤			
13回	テーマ	「鎖国」と「開国」	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する レポートを作成する	60
	内容	江戸幕府は国を閉じてはいなかった			
14回	テーマ	個人資料の整理と提出 レポートの確認作業	講義 演習	レポートを作成する ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	60
	内容	各自が選択した課題が適切であるか、参考資料・文献が適切であるか、使用するデータは十分か、等の確認を行う 確認テスト⑥			
15回	テーマ	レポートの提出 個人資料の返却	講義 演習		
	内容	レポートを完成させ提出する 個人資料などを返却する 授業の総括を行う			

科目名	人間と環境（１全学科）	開講学年 1	講義コード 2121601	区分 選択
英文表記	Human and Environment	開講期 前期・後期	開講形態	単位数 2

担当教員	上野賢仁

研究室	F803	オフィスアワー 授業終了後（または、木曜5時限図書館1階）

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	自然と人間の相互作用　地球と気候システム　環境指標と生物多様性　環境経済と環境政策 資源･エネルギー利用と環境負荷

授業概要

人間をとりまく環境はいま、地球温暖化、生物多様性、資源･エネルギーの枯渇、環境汚染などの問題が溢れており、これらは複数の要因と関係し、複雑である。人間が環境問題にどう対処すべきかを考えるとき、からみ合った複雑なことを広い視野で多面的に理解する必要がある。人間活動に起因する環境問題はあらゆる分野が関係するが、個々人としてはまず自然科学と社会科学の両面から考える姿勢をもつのが良いと思われる。 本講義では、環境に関する基礎的な事柄を学びつつ、様々な対策手法や環境技術を学びながら、人間と環境の相互関係をシステム的に捉えて考えていく。各人の専門分野において環境問題に取り組む際の基礎的な素養を身に付けることができるものと期待している。 講義では、前半で「人間と環境」に関しての基礎事項や捉え方について説明した後、関連するテキストの該当箇所について説明し、後半で理解を助けるために簡単な計算などの演習を行う。（資料や課題にWebClassを使う。関数電卓を用意しておくと良い。）

関連科目

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A1	A1	
JABEE基準		a,b,g	a,b,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	環境問題を多角的な視点から捉え、問題の背景や構造、対策の現状を理解し、文章（あるいは口頭）で説明することができる。
b	②	技術が社会や自然に及ぼす影響、及び技術者の社会的責任を理解し、文章（あるいは口頭）で説明することができる。
g	③	自主的、継続的に学習することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	0	30	0	0	10	0	100

教科書

Professional Engineering Library 環境工学　実教出版　PEL編集委員会監修、山崎慎一編　978-4-407-34030-3

参考書

環境問題をシステム的に考える　化学同人　井村秀文　978-4-7598-1323-4
環境白書／循環型社会白書／生物多様性白書　日経印刷　環境省大臣官房環境計画課：環境省環境再生･資源循環局　978-4865791174
環境社会検定試験eco検定公式テキスト　日本能率境界マネジメントセンター　東京商工会議所　978-4820727026
新版 環境被害のガバナンス　成文堂　永松俊雄　978-4792333607
熊本県自然保護読本 自然保護とあなた-子供達の未来のために-　城野印刷所　熊本県自然保護読本編集委員会

予備知識	環境問題に関する関心を持ち、新聞記事やニュースに目を通しておくこと。
DP との 関連	本学DP「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」に必要な人間や社会に対する多角的視野と基礎的知識、及び社会課題への対応についての汎用的能力を身につけ、それらを実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1. 中間試験、期末試験　各30点（再試験は実施しない。） 2. 課題レポート 30点（7回目授業時にテーマ等について説明、11回目授業時に提出を求める。） 図書館の環境関連図書を資料として、課題レポート（本文1,000文字以上）を次の規定に沿って作成し提出する。 A4用紙1枚（両面可）、表紙不要、余白各25mm、1頁40行、1行40文字、フォント：MS明朝体、10.5pt。 1行目：タイトル、2行目：空白、3行目：学部名、学科名、学籍番号、氏名、4行目：空白、5行目：本文。 参考文献・URLを末尾に記載。（著書の場合：著者名、『著書名』、引用頁、発行所、発行年。論文の場合：著者名、「論文名」『雑誌名』、引用頁、発行所、発行年。Webの場合：名称、URL、アクセス日） 3. ポートフォリオ：「到達度評価レポート」10点 【学生の到達度目標】の項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し15回目までに提出する。 授業アンケートに回答する。 4. 講義中に実施する演習問題の取り組み状況も評価に加味する。 5. 100点満点中60点以上を合格とする。

学修上の注意 (SBOs)	1. 授業回数の1／3以上の欠席者は成績評価を行わない（不合格となる）。ただし、公認欠席は出席扱いとする。 2. 遅刻は授業開始後20分までとし、以後は欠席とする。 3. 提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。ただし、公認欠席の場合は別途指示する。 4. 授業中のお茶・水以外の飲用は不可。 5. 授業中に他の授業の課題やスマートフォン等を使用した場合は退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	自然と人間の相互関係	講義	予習:教科書の全体に目を通しておく。復習:ガイダンスでの説明事項について確認する。	20 20
	内容	ガイダンス／自然と人間の相互関係の把握と理解			
2回	テーマ	地球と人間／環境容量	講義 演習	予習:教科書の1章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球と人間の関係／地球の許容限界／環境容量			
3回	テーマ	地球の気候システム／地球温暖化	講義 演習	予習:教科書の1～2章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球の大気／水の循環／気候システム／地球温暖化			
4回	テーマ	環境指標／生物多様性	講義 演習	予習:教科書の12章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	生物多様性／生態系／生態系の機能とサービス／生物多様性の保全			
5回	テーマ	環境感／地球と人間の歴史／文明の転換／持続可能性	講義 演習	予習:教科書の1～3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	変化する世界の見方／成長の限界／熱力学的な視点／地球の歴史／人間の歴史／低炭素・共生・循環型社会／持続可能性			
6回	テーマ	環境管理／環境影響評価（その1）	講義 演習	予習:教科書の2～3、13章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	コモンズの悲劇／ローカルコモンズ／環境管理／環境影響評価			
7回	テーマ	環境経済／環境政策／環境倫理	講義 演習	予習:教科書の1～3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球環境と経済／市場の失敗／環境情報／環境政策／環境倫理			
8回	テーマ	前半まとめ／中間試験	講義 試験	予習:1～8回の授業内容を総復習し、中間試験の準備をしておく。復習:中間試験の内容を振り返る。	60 30
	内容	前半の講義についてのまとめ／中間試験による達成度の確認			
9回	テーマ	資源・エネルギー利用／環境負荷	講義 演習	予習:教科書の3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	資源生産性／エネルギー生産性／隠れた資源フロー（エコロジカルリュックサック）／内包エネルギー（ライフサイクルエネルギー）／環境負荷／エコロジカル・フットプリント／環境資源勘定／マテリアルフロー／ライフサイクルアセスメント(LCA)			
10回	テーマ	自然エネルギー利用／省エネルギー	講義 演習	予習:教科書の1、3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	エネルギーの質／エクセルギー／ヒートポンプ／カルノー効率／バイオマスエネルギー／環境に好ましい選択／仮想評価法(CVM)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	公害／環境関連法	講義 演習	予習：教科書の4章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30 30
	内容	産業発展と公害／公害病／環境保全のための法制度			
12回	テーマ	水環境／廃棄物	講義 演習	予習：教科書の5～8章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30 30
	内容	水質汚濁／富栄養化／上水道／下水道／廃棄物処理			
13回	テーマ	土壌環境／大気環境／熱環境	講義 演習	予習：教科書の9～11章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30 30
	内容	土壌環境／大気環境／音・振動／熱環境			
14回	テーマ	生態系／環境影響評価（その2）	講義 演習	予習：教科書の12～13章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読するとともに、9～15回の授業内容を総復習し、期末試験の準備をしておく。	30 60
	内容	生態系と生物多様性の保存／環境影響評価（環境アセスメント）／ミティゲーション			
15回	テーマ	後半まとめ／期末試験 ／総括	講義 試験 ／講義	予習：9～15回の授業内容を総復習し、期末試験の準備をしておく。 復習：期末試験の内容を振り返り、ポートフォリオ（到達度レポート）を作成する。 ／復習：授業全体の内容を振り返る。	60 30 ／30
	内容	後半の講義についてのまとめ／期末試験による達成度の確認			

科目名	現代の社会と法（１全学科）	開講学年 1	講義コード 2121701	区分 選必
英文表記	Modern Society and Law	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	竹内 明里（実務経験）

研究室	本館付属棟312	オフィスアワー 昼休み

メールアドレス	take1118@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	法　社会　人権

授業概要	1 授業概要 （1）本講義は、教員の官庁等での勤務経験等を踏まえ、「ブラック校則」「LGBT」「介護問題」「ブラックバイト」など、学生が関わりうる現代社会の様々な問題を題材として、法の基本的な枠組を学び、社会問題解決のための多様なアプローチ等を考えるものである。（2）授業はレジュメに沿った講義形式だが、毎週の宿題を踏まえて、グループディスカッションを行い、レポートを作成する。（3）本講義は、(1)(2)をとおして、学生が以下の能力を習得することを目的とする。・現代社会を理解し、社会生活を営む上での基礎知識（社会形成能力）・自分の意見を分かりやすく伝える表現力（人間関係形成能力）・毎回宿題を行うことで、自主的に社会問題を調べ、継続的に学習する能力　2 学修上の助言 （1）心構えとして、取り上げる「法」や社会問題を他人事と思わず、自分の問題として考えること。科学技術により改善される社会問題（介護）や、科学技術が生み出した社会問題（軍事研究、SNSトラブル等）があることに留意すること。（2）社会問題や法的問題には、「1+1=2」のような明確な正解がない場合もある。「多数派の意見」が「正しい」とは限らない。様々な意見を議論する中で新しい解決策が生まれることも多い。授業では、自分の意見を積極的に発言しながら、他の履修者の意見にも耳を傾けること。（3）毎回の宿題は必ず行うこと。宿題の「復習課題」では授業で学んだ知識を定着させ、「予習課題」では次回取り上げる社会問題を調べ、自分の考えを整理すること。　＊提出物については、次回授業などで適宜解説をする。

関連科目

本講義では広く法を扱うが、日本を形作る根本的な法として「日本国憲法」があり、公務員・教員の基本知識として、採用試験でも出題されている。本講義履修後、より深く「日本」の在り方を考えたい場合には、発展科目として「日本国憲法」を勧める。

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A１	A１	
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	法の基礎知識や多様な考え方を学び、これらを活かして社会問題を考えることができる
f	②	社会問題を調べ、自分の意見を分かりやすく文章で説明することができる
g	③	社会問題を自分で調べて宿題を作成し、毎回期限前に提出することができる
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	34	0	30	0	0	10	26	100

教科書	教科書は使用しない。

参考書	高校生からの法学入門　中央大学出版部　中央大学法学部　978-4805727096 科学者と戦争　岩波書店　池内 了　978-4004316114 ブラック校則 理不尽な苦しみの現実　東洋館出版社　荻上チキ、内田 良　978-4491035574 介護殺人:追いつめられた家族の告白（新潮文庫）　新潮社　毎日聞大阪社会部取材班　978-4101012919 はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで (スッキリわかる!)　ナツメ社　石田 仁　978-4816365829

予備知識	(1)現代の社会問題への関心と、自ら学ぼうとする意欲を持つこと (2)ニュースで現代の社会の動きを把握すること (3)中学や高校の「現代社会」「公民」などの知識をおさらいしておくこと
DP との 関連	(1)法の基本構造や社会問題について、多様な考え方を知り理解を深め、社会生活を営む上での基礎知識(社会形成能力)を身に着ける。 (2)討議や発表、レポート作成を通じて、自分の意見を分かりやすく伝える表現力やコミュニケーション能力(人間関係形成能力)を身に着ける。
実務経験 のある 教員	竹内明里
評価明細 基準	1 定期試験 34点 2 レポート 30点(第11回提出) 所定のテーマ(第1回に詳細を発表)について、参考文献(書籍一冊以上+その他資料)読み、レポートを作成する。第8回・9回・10回では「レポートワークシート」をもとにグループワークを行うが、完成した「ワークシート」を持参していない学生は出席を認めない。特に、第10回に「レポートワークシート③(レポート下書き)」を提出しない学生には、第11回でのレポートの提出自体を認めない。 3「到達度評価ポートフォリオ」10点 「学生の到達度目標」の各項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力しプリントアウトして第15回で提出。 4 その他:宿題 26点(2点×13回) 毎回授業前に完成しておくこと。期限後の提出、授業中に作業を行った場合は評価対象外。 5 60点以上を合格とする。再試験等は一切行わない。

学修上の注意 (SBOs)	1 授業参加のマナーを守ること。守れない場合は出席を認めない。 （授業資料・筆記用具・学生証以外は鞄に収納、携帯操作禁止、私語禁止） 2 授業中は学生証を机の上に置き、指定座席に座ること（視力等は応相談）。 3 授業開始後20分を遅刻とし、以後の出席を認めない。 4 提出物は期限内に提出する。締め切り後は受け付けない。 公欠予定者は前もって提出しておくこと（応相談）。 病欠・予期せぬ公欠の場合は、次回授業前日までに教員研究室ポストに提出すること（応相談）。 5 グループワークや提出物においては、社会問題を自分で調べてまとめ、自分の考えを他人にわかるように述べる努力をすること。この努力により、社会問題への理解が深まり、表現力も向上する。 このため、レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされ、単位を認めない。 また、グループワークに積極的に参加しない場合は、授業自体に参加していないとみなし、退出を命じることもある。 6 わからないことがあれば、授業やオフィスアワーに教員に質問をすること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	（復習）ガイダンスでの説明事項についての確認	20
	内容	授業概要、受講時の注意事項など			
2回	テーマ	イントロダクション：法とは何か	講義、演習	（予習）「法と道徳」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	法と道徳の違い、日本における法の種類（憲法、法律、条令等）を知る。			
3回	テーマ	憲法①総論・統治	講義、演習	（予習）「憲法の基礎」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	憲法の歴史、3大原理（国民主権、平和主義、基本的人権の尊重）を学び、憲法の意義を考える。			
4回	テーマ	憲法②人権	講義、演習	（予習）「ブラック校則と人権」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	「ブラック校則」などを題材として、憲法が保障する人権について学ぶ。			
5回	テーマ	民法①財産法	講義、演習	（予習）「消費者トラブル」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	大学生が関わりうる契約トラブル 等を題材に、契約や不法行為等、財産に関する民法の規定を学ぶ。			
6回	テーマ	民法②家族法	講義、演習	（予習）「LGBTと法」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読。	60
	内容	婚姻、相続等、家族に関する法を学ぶ。また、「LGBT」「同性婚」などを題材に、家族法の意義を考える。			
7回	テーマ	刑法①総論	講義、演習	（予習）「刑法の基礎」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読。 ※次回に向けて「レポートワークシート①」を作成する	60
	内容	刑法① 罪刑法定主義等、刑法の基本原則を学ぶ。			
8回	テーマ	刑法②刑事訴訟法、 レポート作業①	講義、演習	（予習）「裁判員裁判」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読 ※次回に向けて「レポートワークシート②」を作成する。	60
	内容	刑法① 「裁判員裁判」を題材に、刑事裁判手続きの基礎を学ぶ。 レポート作業① 「レポートトワークシート①」を持参し、グループ内で発表する。			
9回	テーマ	法による日常紛争の解決、 レポート作業②	講義、演習	（予習）「SNSトラブル」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読。 ※次回に向けて「レポートワークシート③（レポート下書き）」を作成する。2部印刷して次回授業で持参。	60
	内容	法による日常紛争の解決 「SNSトラブル」などを題材に、日常的な紛争（トラブル）において法が果たす役割を考える。 レポート作業② 「レポートワークシート②」をグループ内で発表する。全体の流れ、調査内容の過不足、わかりやすさ（論理性、文章など）、参考文献の書き方などを相互に検討する。			
10回	テーマ	レポート作業③	演習	※次回に向けて「レポート完成版」を作成する	60
	内容	「レポートワークシート③（レポート下書き）」をグループ内で発表する。全体の流れ、調査内容の過不足、わかりやすさ（論理性、文章など）、参考文献の書き方などを相互に検討する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人権問題を考える	講義、演習	（予習）「ハンセン病と人権」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	上熊本に療養所のあった「ハンセン病」を題材に、人権を考える			
12回	テーマ	製造者と消費者の法	講義、演習	（予習）「製造物による事故」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	「テレビ発火事故」「こんにゃくゼリー裁判」などを題材に、「ものづくり」に携わる者が知るべき法(製造物責任法,知的財産権等)を学ぶ。			
13回	テーマ	労働と法	講義、演習	（予習）「ブラックバイト」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	「ブラックバイト」などを題材に、労働者として知るべき法（労働基準法等）を学び、現代の労働問題を考える。			
14回	テーマ	国際社会の法	講義、演習	（予習）「国際社会」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読 ※ポートフォリオ「到達度レポート」を行い、印刷して第15回提出。	60
	内容	国際社会の法（国際法）や国連の取組の基礎を学び、国際問題を考える。			
15回	テーマ	まとめ 期末試験	講義	（予習）これまでの授業内容を総復習しておく。 ※ポートフォリオ「科目到達度レポート」を提出する。	60
	内容	期末試験 解説 全体のまとめ			

科目名	現代の社会と政治（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2121801	区分	選必
英文表記	Political Science	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	今井亮佑

研究室	本館310	オフィスアワー	初回講義で示します

メールアドレス	@

キーワード	政治　選挙　熟議

授業概要	(1)政治の基本的な仕組みを理解してもらいます 18歳になれば選挙権を得て、一人の有権者として政治と関わることになります。しかし、政治の仕組みがわかっていなければ、折角得た選挙権を有効に行使することができません。そこで本講義を通じて、一般教養として、政治の仕組みに関する基本的理解を深めてもらいます。 (2)政治に関する論点について、自分なりに考えてもらいます 政治とは、正解のない営みです。 一つの問題に対する色々な立場・考え方が存在します。 本講義では、政治に関する諸論点に対する、複数の見方を提示します。 受講生の皆さんには、講義内容をもとに、関連する情報を自ら収集・処理することで、論点に対する自分なりの考えをまとめてもらいます。 (3)他の受講生と「熟議」してもらいます この講義の中では、他の受講生との熟議（意見交換）をしてもらう機会を設けます。 予め示した論点について、自分なりの考えをまとめてきてもらい、少人数のグループでその考えをぶつけ合ってもらいます。 価値観や意見の異なる人たちで一つの論点について議論することで、多面的な視点を獲得するとともに、コミュニケーション・スキルを磨いてもらうのがその目的です。

関連科目
基礎科目:SOJO基礎I、SOJO基礎II

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	政治に関する論点について多面的に考える能力とその素養を身に付けることができる。
f	②	自身の考えを論理的に記述する力を養うことができる。
f	③	他の受講生との討議を通じて、コミュニケーション能力を磨くことができる。
g	④	自主的、継続的に学習する習慣を身に付けることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	72	0	0	10	18	100

教科書	※指定なし

参考書	政治学　東京大学出版会　川出良枝・谷口将紀（編）　978-4130322195

予備知識	■受講にあたり、予備知識は必要としませんが、政治を学びたいという積極的な意欲は持って下さい。 ■政治は絶えず動いています。その動きをフォローするために、日々新聞に目を通すようにして下さい。
DP との 関連	講義の中で、政治的問題に対する自身の立場を根拠付けて論じる機会を多く設けます。それを通じて、本学DPに挙げられている基礎的・汎用的能力である、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」を身に付け、それらを実践できるようにします。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.リサーチペーパー①・②・③（計72点） ○講義で取り上げるテーマに関連する論点について、受講生の間で（5～6名程度の小グループで）熟議（意見交換）してもらう機会を三度設けます。 ○熟議のテーマとされた論点について、 ・講義を受けた時点でどのように考えていたか ・どのようなソースから、どのような情報を入手したか ・熟議の場で、他の受講生からどのような意見が出されたか ・それを聞いて、自身の考えはどのような影響を受けたか ・最終的に、どのような考えに至ったか を、根拠も含めて論理的に記述してもらいます（①②③各1500字以上）。 ※提出の2週間後までをめどに、気づいた点、改善すべき点をフィードバックします。 2.意見交換への貢献度（各6点、計18点） ○意見交換の際、有益な考え方を出せたかどうか、グループの他のメンバーに評価してもらいます。 3. ポートフォリオ:「学修到達度レポート」（10点） ・【学生の到達度目標】の項目①～④の達成度とその理由を各200～250文字で入力してもらいます。 ☆いずれも、詳細は講義の中で説明します。

学修上の注意 (SBOs)	■受講マナーは必ず守って下さい。・私語厳禁です。・講義中は携帯電話／スマートフォンをマナーモードに設定の上、鞄の中にしまってもらいます。☆携帯電話／スマートフォンを操作しているのを発見次第退出を命じ、以後の授業出席を認めません。■授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とします。■リサーチペーパーは、提出期限（初回講義時に明示）を厳守してください。期限後に出されても一切受け取りません。■再試験等は一切行いません。■リサーチペーパーの執筆に際し、コピー&ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）を行った場合は、不正行為とみなし、単位を認定しません。■私が話す内容、黒板やパワーポイントに示す内容の中から、重要だと思う点を抽出・要約してノートにメモするというスキルを身に付けて下さい。■講義内容が理解できなかった場合は、遠慮なく質問して下さい（講義中／講義後でも、オフィスアワーでも構いません）。■新聞やテレビニュースを通じて、日々の政治の動きに興味を持つようにして下さい。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	(復習)ガイダンスでの説明事項についてよく頭に入れる。	30
	内容	授業概要や受講時の注意事項等を説明する。			
2回	テーマ	日本政治の争点①:外交・安全保障	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の安全保障、日米同盟の歴史的背景について講じる。			
3回	テーマ	日本政治の争点②:経済・福祉	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	経済政策や福祉政策に関する諸論点について講じる。			
4回	テーマ	政治の仕組み:政策過程①	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	どのような過程を経て政策が作られるのか、日本型の政策決定の特徴について講じる。			
5回	テーマ	政治の仕組み:政策過程②	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。（予習)次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	日本型の政策決定の功罪や、近年の変化について講じる。			
6回	テーマ	熟議①	演習	(復習)熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議(意見交換)してもらう(SGD)。			
7回	テーマ	政治の仕組み:選挙制度①	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	選挙制度を類型化し、それぞれの特徴について説明する。また、衆参両院の選挙制度の特徴や、制度改革の背景などについて講じる。			
8回	テーマ	政治の仕組み:選挙制度②	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の現行の選挙制度にまつわる論点や、いわゆる「一票の格差」の問題について講じる。			
9回	テーマ	政治の仕組み:行政制度	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の行政機構の改革の概要と、それがもたらした影響について講じる。			
10回	テーマ	政治のアクター:政党	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	政党の果たす機能や日本の政党の特徴について講じる。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	政治のアクター:政治家	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。（予習）次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	なぜ、どのような人が政治家を目指すのか、政治家の実態はどのようなものかについて講じる。			
12回	テーマ	熟議②	演習	（復習）熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議（意見交換）してもらう（SGD）。			
13回	テーマ	政治のアクター:有権者①	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	なぜ人は選挙で投票／棄権するのか、人は何を判断基準に投票する政党や候補者を選ぶのかについて講じる。			
14回	テーマ	政治のアクター:有権者②	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。（予習）次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	若年層の投票率が低いのは問題か、投票率を上げるにはどうすればよいのかについて講じる。			
15回	テーマ	熟議②	演習	（復習）熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。 学修到達度レポートを執筆し、授業アンケートに回答する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議（意見交換）してもらう（SGD）。			

科目名	現代の社会と経済（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2121901	区分	選必
英文表記	Modem Soeiey and Economy	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	徳永 洋(非常勤)						
研究室	教務課前 非常勤講師室			オフィスアワー	授業後の非常勤講師室		
メールアドレス	asonohana 1592@gmail.com						
キーワード	①社会　②経済　③金融　④経済効果　⑤歴史						

授業概要	関連科目
1.現代の社会と経済の基礎などについて幅広く学び基本的な知識を身につける。 2.現代の社会と経済を見るうえで重要であるので、真剣な学習への取り組みを期待する。 3.自分の選んだテーマについて調査するなどして、レポート(課題研究)としてまとめること。	

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A1	A1
	JABEE基準		afg	afg

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	多面的に物事を考える能力を身につけることができる。
f	②	論理的な記述力を養うことがてきる。
g	③	自主的に学習する習慣を身につけることができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	60	0	30	0	0	10	0	100

教科書	使用しません
参考書	使用しません

予備知識	受講にあたり予備知識は必要としませんが、社会と経済を学びたい意欲は持って下さい。
DP との 関連	1.本学DPの理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続をはかる 2.自主的、継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける 3.自身の考え方を論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力（文章作成能力）を身につける 4.一定の制約下で個人で計画的に課題に取り組み、解決する能力を身につける
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート(課題研究) 30点 2.定期試験 60点 3.「到達度評価ポートフォリオ」 10点 (上記「学生の到達度目標」の項目①から③の達成度と、その理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出して下さい)

学修上の注意 (SBOs)	1.私が話す内容やホワイトボードに書いた内容の中で、重要と思う点をノートなどにメモするというスキルを身につけて下さい。　2.新聞やテレビニュースなどを通じて、日々の社会と経済の動きに興味を持つようにして下さい。　3.レポート(課題研究)については、本学図書館や県立図書館などで資料を収集し、それらをもとにして、まとめること。なお、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。　4.授業開始30分を超えた遅刻は、欠席扱いとするので注意すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	あなたの知らない「お金のはなし」その1　オリエンテーション1	講義 演習	【復習】講義内容の復習	15
	内容	①お札の一生 ②日銀の機能 ③シラバスの説明			
2回	テーマ	あなたの知らない「お金のはなし」その2　オリエンテーション2	講義 演習	【予習】日本のコインついて調べておく　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①小判の話 ②コインの一生 ③レポートの作成方法			
3回	テーマ	商業道徳～信頼される会社の条件	講義 演習	【予習】日本の商業道徳の概要を調べておく　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①会社は誰のものか ②日本でいちばん大切にしたい会社 ③ポートフォリオの作成			
4回	テーマ	商業道徳とその変遷～禁欲から強欲へ	講義	【予習】現代日本の商業道徳について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①日本とアメリカの商業道徳 ②資本主義はどのように変質したか ③企業事件の概要			
5回	テーマ	企業の盛衰を左右する危機管理力	講義 演習	【予習】危機管理力の概念について調べておく　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①失敗学とは ②ハインリッヒの法則 ③危機管理の成功例と失敗例 ④講義3回～5回を受講して各自の企業イメージの変化はあるか			
6回	テーマ	グローバル化とその影響	講義	【予習】経済グローバル化について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①経済のグローバル化とは ②外国為替相場と物価 ③BRICSとG7、G20			
7回	テーマ	農業と食料～日本と世界の食と農の姿	講義	【予習】日本の食料事情について調べておく　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①世界と日本の農業の姿 ②自由貿易論とTPP ③企業の農業分野への参入			
8回	テーマ	地球温暖化の現状認識　・レポート(課題研究)作成の方法について説明	講義 演習	【予習】日本の温暖化の現状について調べておく【復習】講義内容の復習・課題研究の準備	30
	内容	①世界と日本の異常気象 ②地球温暖化について ③IPCCについて④レポート(課題研究)の具体的ナ作成方法			
9回	テーマ	地球温暖化回避への取り組み	講義	【予習】日本の温暖化回避への取り組みを調べておく【復習】講義内容の復習・課題研究の準備	30
	内容	①省エネへの取り組みと課題 ②原子力発電ほか			
10回	テーマ	20代で知っておきたいお金のこと	講義 演習	【予習】将来の生活設計について思い描いておく　【復習】講義内容の復習・課題研究の準備	30
	内容	①お金のリスク ②結婚とお金 ③老後とお金 ④あなたのお金に対する考え方は（考え・意見）			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	AKB48の経済効果ほか	講義	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①経済効果ってなんだろう ②AKB48と吉本興業の経済効果			
12回	テーマ	くまモンの経済効果	講義	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①くまモンの経済効果算出方法 ②くまモンの活動について			
13回	テーマ	どういう社会を築くか、どういう生き方を選ぶか	講義 演習	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①幸せの経済学 ②ソーシャル・ビジネスについて ③ブータンの国民総幸福量 ④あなたの李蒼とする日本の社会とは（考え・意見）			
14回	テーマ	20世紀はどんな世紀であったか	講義 演習	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習・レポート(課題研究)作成と「到達度評価ポートフォリオ」の作成とそれぞれのプリントアウト	30
	内容	①国民国家の成立と危機 ②ソ連の成立と崩壊 ③なぜ欧米は世界の覇者となったのか ④レポート・ポートフォリオの作成について			
15回	テーマ	全体のまとめと「定期試験」および提出物	講義 演習		
	内容	経済社会史1から14のまとめと「定期試験」およびレポート(課題研究)と「到達度評価ポートフォリオ」の提出			

科目名	日本語表現（旧基礎日本語）（２全学科）後期	開講学年 2	講義コード 2123101	区分 選必
英文表記	Introduction to Japanese	開講期 前・後期	開講形態	単位数 2

担当教員	上妻 利博
研究室	本館付属棟318 上妻 利博
オフィスアワー	木曜日の昼休み
メールアドレス	@
キーワード	日本語の基礎力、語彙力、表現力　小論文作成力　図書館活用

授業概要

実社会では、コミュニケーションにおける敬語の使用法や語彙力の充実が求められている。また、プレゼンテーションやレポート作成等に関しても、的確で分かりやすい表現が不可欠である。そのような中で、日本人としての日本語の基礎力及び表現力を幅広く身に付けることが重要である。そのような意味から、次のようなことを目標に授業を展開する。 ①日本語検定3級合格程度の語彙力、コミュニケーション力を身に付ける。 ②図書館等を利用し、多くの書籍を読む。 ③表現力育成の一環として、小論文や書評作成に挑戦する。 ④学修成果を確認するために、日本語検定試験に挑戦する。

関連科目

関連科目：日本の文学

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A１	A１
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
fg	①	言葉の使い方等に関心を持ち、社会生活上必要な日本語力を身につけることができる。
fg	②	小説や資料等を読み、自己の意見や提案等を文章で作成することができる。
fg	③	授業で学んだことを専門分野での論文・レポート等の表現に生かすことができる。
fg	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	20	40	0	30	0	0	10	0	100

教科書	日本語検定3級 3訂版　東京書籍
参考書	

予備知識	日頃から新聞のコラムや社説等を読み、社会情勢等に関心をもっておく。 書評コンテストへの対応として、図書館の蔵書等を活用し、読書量を増やしておく。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	①定期試験　（40点）②中間テスト2回 1回目 「敬語」「語彙」「言葉の意味」（10点）　2回目 「文法」「表記」「漢字」　（10点）③小論文2回　1回目 課題に対する小論文　（10点）　2回目 自選課題に対する小論文　（10点）　書評1回　自選図書に関する書評　（10点）④ポートフォリオ　（10点）

学修上の注意 (SBOs)	①専用のノートを作成し、問題の解答・解説をそのノートに記入する。②各授業内容に沿って「日本語検定3級 3訂版」の予習・復習を確実に行う。③書評コンテスト、小論文作成用に図書館等の書籍を多く読む。④レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	授業ガイダンス	演習　講義	日本語検定問題集のP6～P11の予習	30
	内容	確認テスト 入学時までの日本語に関する知識を確認する。			
2回	テーマ	「敬語」①	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP12～P17の予習	60
	内容	問題集を使って、敬語の使い方を学習する。			
3回	テーマ	「敬語」②	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP44～P52の予習	60
	内容	問題集を使って、敬語の使い方を学習する。			
4回	テーマ	「語彙」「言葉の意味」① 小論文の書き方指導	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP64～P67の予習	60
	内容	問題集を使って、「語彙」「言葉の意味」を学習する。小論文の基本的な書き方を学習する。			
5回	テーマ	「語彙」「言葉の意味」② 小論文①（下書Ⅰ）	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP68～P72の予習	60
	内容	問題集を使って「語彙」「言葉の意味」を学習する。テーマに基づいた小論文の下書を行う。			
6回	テーマ	「語彙」「言葉の意味」③ 小論文①（下書Ⅱ）	演習　講義	中間テストⅠに向けた「敬語」「語彙」「言葉の意味」の復習 小論文①の清書に向けた推敲	120
	内容	問題集を使って「語彙」「言葉の意味」を学習する。テーマに基づいた小論文の下書を行う。			
7回	テーマ	中間テストⅠ　小論文①（清書・提出）	演習	中間テストⅠの振り返り	60
	内容	これまで学習した「敬語」「語彙」「言葉の意味」の内容のテストを行う。テーマに基づいた小論文の清書を提出する。			
8回	テーマ	書評の書き方の説明　図書館研修（書評コンテスト関係）	演習　講義	日本語検定問題集のP28～P31の予習　書評コンテスト用図書の読込	300
	内容	書評例をもとに、書評の書き方を説明する。書評コンテスト関係の書籍を図書館から借りる。			
9回	テーマ	「文法」①　書評コンテスト用（下書Ⅰ）	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP32～P35の予習	60
	内容	問題集を使って「文法」を学習する。書評コンテスト用の下書を行う。			
10回	テーマ	「文法」②　書評コンテスト用（下書Ⅱ）	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP82～P85の予習　書評コンテスト作品の清書に向けた推敲	60
	内容	問題集を使って「文法」を学習する。書評コンテスト用の下書を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	「表記」「漢字」①　書評コンテスト用（清書・提出）	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP86～P89の予習	60
	内容	問題集を使って、「表記」「漢字」を学習する。書評コンテスト用の清書を提出する。			
12回	テーマ	「表記」「漢字」②　小論文②（下書Ⅰ）	演習　講義	本時の復習と日本語検定問題集のP98～P106の予習	60
	内容	問題集を使って「表記」「漢字」を学習する。自分で小論文の題材を選び、下書を行う。			
13回	テーマ	「表記」「漢字」③	演習　講義	中間テストⅡ向けた「文法」「表記」「漢字」の復習　小論文②の清書に向けた推敲	120
	内容	問題集を使って「表記」「漢字」を学習する。自分で小論文の題材を選び、下書を行う。			
14回	テーマ	中間テストⅡ　小論文②（清書・提出）	演習	定期試験の向けた中間テストⅠ・Ⅱの総復習　学修到達度レポートの作成	120
	内容	これまで学習した「文法」「表記」「漢字」の内容のテストを行う。自己のテーマに基づいた小論文の清書を提出する。			
15回	テーマ	定期試験	講義	学修到達度レポートの提出	60
	内容	定期試験 まとめ、総評			

科目名	日本の文学（２全学科）後期	開講学年 2	講義コード 2123201	区分 選必
英文表記	Japanese Literature	開講期 前後期	開講形態	単位数 2

担当教員	岩本 晃代
研究室	本館３階 304
オフィスアワー	木曜５限
メールアドレス	iwamoto@ ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	文学　地域文化

授業概要

日本の代表的な近現代の作家の作品を取り上げて、日本文学史の基礎的な知識の修得とともに、文学作品を鑑賞し、その内容を文章で表現する能力を培うことを目的とする。 近現代の名作について、文学の時代性、文化の変遷、歴史的背景ふまえつつ考察する。また、熊本にゆかりのある作家の作品を取り上げて、地域への関心が持てるように講義を行う。適宜、文章表現のための練習問題等を配布し、日本語の表現について学習する。 1.作家については、経歴や関連する作家等について自主的に図書館等で調べること。 2.作品中の分からない言葉等は辞書等で調べ、ワークシートに記入すること。 3.自分の選んだ作品について、作家及びその時代の歴史や文化に関しての調査を行い、レポートとしてまとめること。 以上のことから、自分の考えたこと等を文章や口頭で表現できる基礎的能力とコミュニケーション能力を養う。 4.毎回作成するワークシートは、添削後、次回に返却する。指示に従って推敲・補筆修正をしておくこと。

関連科目

「日本語表現」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A１	A１
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	さまざまな視点から日本の文学作品を鑑賞し、その内容を文章にすることができる。
a,f	②	調べたことをもとに、自分の考えを分かりやすく文章で表現することができる。
g	③	分からない言葉等を自主的に調べ、課題に最後まで取り組むことができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	40	0	30	0	20	10	0	100

教科書	くまもと文学紀行　高教研国語部会 授業中に配布する文学資料
参考書	日本近代文学大事典　講談社 現代詩大事典　三省堂

予備知識	図書館等を活用して読書量を増やしておくこと。
DP との 関連	日本の代表的な文学作品や熊本ゆかりの作家の文学作品を鑑賞すること及び、自分の出身地域等に関わる作家の課題研究を通して、自分の考えたこと等を文章や口頭で表現することにより、「課題対応力」を身につけ実践することができる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート（課題研究）30点　所定の用紙に下書きをし、さらに推敲したうえで清書したものを提出　（詳細は授業中に指示する） 2.まとめの試験（定期試験） 40点 3.ワークシート（補筆修正した完成版を「作品」として評価する）20点 4.「到達度評価ポートフォリオ」10点 【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力しプリントアウトして提出

学修上の注意 (SBOs)	1. 分からない語句等を調べるために電子辞書等を持ってくること。 2. 授業中に配布するワークシートを完成させて提出すること。(次の授業で返却する)なお、ワークシートの内容についてまとめたものを、定期試験のうちの一つの問題(小論文形式)とする。 3. レポート(課題研究)については、本学図書館及び熊本県立図書館等で資料を収集し、それらをもとにまとめること。 4. 提出物については期限を厳守すること。 ・レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	【復習】 文学史の復習	30
	内容	講義の全体について説明する。日本文学史(近現代)について学習する。			
2回	テーマ	熊本の文学1	講義／演習	【予習】熊本の文学者について調べておく【復習】作品の読み直し	60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学1 夏目漱石・小泉八雲等			
3回	テーマ	熊本の文学2	講義／演習	【予習】熊本の文学者について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲・補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学2 耕治人・島一春・石牟礼道子等			
4回	テーマ	熊本の文学3	講義／演習	【予習】熊本の文学者について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲・補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学3 蔵原伸二郎・淵上毛銭・中村汀女等			
5回	テーマ	明治の文学1	講義／演習	【予習】文学史の資料で自然主義について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲・補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:自然主義の作家の作品 島崎藤村・田山花袋等			
6回	テーマ	明治の文学2	講義／演習	【予習】文学史の資料で反自然主義について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲・補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:反自然主義の作家の作品1 夏目漱石・森鷗外・白樺派等			
7回	テーマ	明治の文学3	講義／演習	【予習】文学史の資料で反自然主義について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲・補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:反自然主義の作家の作品2 夏目漱石・森鷗外・白樺派等			
8回	テーマ	前半のまとめ	講義／演習	【予習】文学史の資料で大正期以降の代表的な作品について調べておく【復習】 課題研究の準備	60
	内容	熊本の文学についてのまとめ 日本文学史(明治期)についてのまとめ レポート(課題研究)作成の方法についての説明			
9回	テーマ	大正の文学1	講義／演習	【予習】文学史の資料で芥川龍之介について調べておく【復習】作品の読み直し ワークシートの推敲・補筆修正 課題研究の準備	60
	内容	作品鑑賞:芥川龍之介等			
10回	テーマ	大正の文学2	講義／演習	【予習】文学史の資料でプロレタリア文学について調べておく【復習】作品の読み直し ワークシートの推敲・補筆修正 課題研究の準備	60
	内容	作品鑑賞:プロレタリア文学等			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	昭和の文学1	講義／演習	【予習】課題研究 【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:昭和期の作家の作品1 文学史資料の作品の中から			
12回	テーマ	昭和の文学2	講義／演習	【予習】課題研究 【復習】作品の読み直し ワークシートの推敲･補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:昭和期の作家の作品2 文学史資料の作品の中から			
13回	テーマ	現代の文学	講義／演習	【予習】課題研究 【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	60
	内容	作品鑑賞:現代作家の作品 文学史資料の作品の中から			
14回	テーマ	後半のまとめ	講義／演習	【予習】課題研究 【復習】課題研究の成果としてのレポート清書	60
	内容	日本近代文学史のまとめ ワークシート全体のまとめ ワークシート完成版の提出 ポートフォリオの作成			
15回	テーマ	全体のまとめ	講義／演習		
	内容	授業全体のまとめ まとめの試験(定期試験) レポート(課題研究)提出 ポートフォリオの提出			

科目名	人間と心理（２全学科）後期	開講学年 2	講義コード 2123301	区分 選択
英文表記	Psychology	開講期 前期／後期	開講形態	単位数 2

担当教員	園部 博範（実務経験）

研究室	図書館4階	オフィスアワー	火曜、木曜の2限目

メールアドレス	sonobe-h@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	学習理論　自己･他者理解　行動の背景　人の発達　コミュニケーション

授業概要

本講義では我々の身近で起こる出来事を心理学の理論をもとに解説し、心理学とは一体どのような学問なのかを学び、心理学への興味や理解を深める。さらに、我々の日常の行動の意味を知ったり、自己理解や他者理解を深め、人間関係のあり方を学び、これらをもとに社会に貢献できる人として生きるための一助とするものである。 また、前職における児童相談所、精神保健福祉センターの実務の経験を活かし、人間の発達やメンタルヘルスの分野において授業の中で学生たちに教授する。 1.授業中に質問し、横の人との会話を勧めるので、積極的に参加する。 2.授業中の心理テストの内容をよく理解し、真剣に取り組み自己理解に努める。 3.心理学を学ぶことによって、自分や他者、さらにその関係について、知見を深めるよう努める。 4.さらに、心理学の知識を自己管理能力を高める資源とする。

関連科目

文化社会関連科目:「人間と哲学」 教職関連科目:「教育心理学」「教育相談の理論及び方法」
その他の関連科目:「キャリア関連科目」「生物学関連科目」「脳関連科目」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,e	a,e

JABEE記号		学生の到達度目標
a,e	①	心理テストによって自己理解を深め、対人関係における自分の課題を知り記述することができる。
a.i	②	本講義で人間の心や行動を理解し、他者への働きかけの方法を学んだことを文章で表現することができる。
f,h	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	50	10	30	0	0	10	0	100

教科書

やさしい心理学　北大路書房　水田恵三　978-7628-2048-9

参考書

新しい心理学ゼミナール　福村出版　藤田圭一編　978-4-571-20072-4
心理学入門　健ぱく社　平田･伊藤編　978-4-7679-4013-7
よくわかる心理学　ミネルヴァ書房　無籐他編　978-4-623-05250-9

予備知識	1.日常での出来事、小説などから心理学的な現象を考えておくとよい。　2.人間の行動や心理はすべて心理学に関係あるので、小説や漫画の登場人物の心理や行動を　理解しておくと心理学が楽しくなる。　3.自分が落ち込んだときにどんな方法や本を読むか、また、その内容を考えるようにする。　4.性格、心理検査、ストレスなどの心理学に関する本を読んでおく。
DP との 関連	1.人の発達、学習、認知、社会性などを学び、人間関係の仕組みや人間関係形成能力を身につ　ける。また、自己理解や他者の行動の背景を知り、自己管理能力の基礎的・汎用的能力を身　につける。　2.働くことにおいて、自分が果たす役割を意識し、それを遂行するためには、自己理解や他者理　解はいうまでもなく、コミュニケーション能力や職場への適応能力も必要である。これらを身に　付けるために心理学の知識が役に立つ、それがキャリアデザインのありかたにも関連してい　く。 3.またこの科目は教職科目に継続しているため、教師としての職務内容やそのあり方を身につ　け、キャリアデザインを組み立てるものでもある。
実務経験 のある 教員	園部博範
評価明細 基準	1.定期試験（15回目）50点　2.小テスト（8回目）10点　3.レポート:いくつかのテーマから選択したものについて、調査・報告する。A4の1枚、PC　使用1頁40行、1行40文字、MS明朝、10.5p、1200～1300文字 10回目にレポートの指　示説明を行う。作成後は15回目までに提出する。30点　4.ポートフォリオ:「学習到達度評価レポート」を「SOJOポートフォリオシステム」に入力し、　プリントアウトして、15回目までに提出する。10点

学修上の注意 (SBOs)	1.試験は小テス、定期試験を行い、追試・再試は実施しない。 2.教科書以外の資料も提示するので、重要な部分はノートをとること。ノートは各自取るよ うにし、その評価はしないので、各自教科書とともに復習の材料とすること。 3.グループ討論や当てられることが苦手な人は事前に申し出ること。 4.毎回の心理テストは自己を探求するものなので、積極的に参加し自己理解を深め るこ と。 5.心理テストに抵抗がある場合は、事前に申し出ること。 6.レポートは提出日までに出すこと。 7.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされる。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	「心とは何か」	講義　演習	予習：心や心理学に関する本を読んでおく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30
	内容	ガイダンス、心の起源、心とは何かについて学ぶ。 演習：心理テスト、人間関係を見る。			
2回	テーマ	「心理学とは何か」	講義　演習	予習：ゲシュタルトの法則、人の物の見え方について調べておく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	心理学の歩み、研究方法、領域、人間関係について学ぶ。 演習：心理テスト、私のストレス度とコーピングチェック。			
3回	テーマ	「人は物をどう見るのか」	講義　演習	予習：学習と記憶に関する事を調べておく。復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	ゲシュタルトの法則、知覚の恒常性、錯視について学ぶ。 演習：心理テスト、自分をどう評価しているか。			
4回	テーマ	「人はどのように学ぶのか」	講義　演習	予習：人間の欲求にはどんなものがあるか調べておく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	古典的：オペラント条件づけ、学習と記憶について学ぶ。　演習：心理テスト、自分はどの感覚を使って生きているか。			
5回	テーマ	「人は何故行動するのか（1）」	講義　演習	予習：人間の感情や欲求不満について調べておく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	欲求の種類、達成欲求と親和欲求について学ぶ。　演習：心理テスト、3つの自分を発見する。			
6回	テーマ	「人は何故行動するのか（2）」	講義　演習	予習：子供がどのようにして大きくなっていくか調べておく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	フラストレーションと葛藤の心理、感情の心理について学ぶ。　演習：心理テスト、達成動機と親和欲求の程度。			
7回	テーマ	「人はどのように成長するのか」	講義　演習	予習：自己・他者理解とは何かを調べておく。　復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	発達とは、乳幼児～老年期の発達心理について学ぶ。演習：心理テスト、欲求不満の表し方。			
8回	テーマ	「人は自分をどう見るのか（1）」	講義	予習：性格に関することを調べておく。　復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	人は自分をどう見るか、人をどう見るかについて学ぶ。小テスト			
9回	テーマ	「人は自分をどう見るのか（2）」	講義　演習	予習：第一印象について調べておく。　復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	人格理論、性格・心理検査、自己意識、悩める心について学ぶ。 演習：心理テスト、私の今のアイデンティテイ状態。			
10回	テーマ	「人は人をどう見るのか（1）」	講義　演習	予習：私たちが人をどのように見ているか調べておく。 復習：習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	容貌や人の認知、印象形成について学ぶ。　演習：心理テスト、自分の性格を知る（類型論）。レポート作成説明。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	「人は人をどう見るのか(2)」	講義　演習	予習:どんな人が好意を持たれるか調べておく。　復習:習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	暗黙のパーソナリティ理論、対人認知、2者･3者関係について学ぶ。演習:心理テスト、私の自分はどこまで自己実現しているか。			
12回	テーマ	「人は何故心惹かれるのか」	講義　演習	予習:言葉以外のコミュニケーション方法を調べておく。 復習:習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	恋愛の心理と法則、発展と崩壊について学ぶ。演習:心理テスト、自分の愛し方を知る。			
13回	テーマ	「人はメッセージをどう読み取るのか」	講義　演習	予習:自分のテリトリー(対人距離)がどの位か調べておく。 復習:習った教科書の範囲と授業記録ノートを読む	30 30
	内容	ノンバーバルコミュニケーション①表情と視線、動作と姿勢について学ぶ。演習:心理テスト、私の感情と自己物語。			
14回	テーマ	「説得するためには、説得されないためには	講義　演習	予習:教科書全体に目を通しておく。 復習:授業記録ノートを読む	30 30
	内容	ノンバーバルコミュニケーション②近言語、服装等、対人距離、社会的スキルついて学ぶ。 演習:心理テスト、ソーシャルスキルと思いやりの程度を知る。			
15回	テーマ	授業のまとめ	講義　演習		
	内容	授業全体のまとめ 総括ための定期試験 レポート及びポートフォリオの提出 総評			

科目名	人間と哲学（２全学科）後期	開講学年 2	講義コード 2123401	区分 選必
英文表記	The Human beings and Philosophy	開講期 前後	開講形態	単位数 2
担当教員	金田健司			
研究室	本館306	オフィスアワー 金曜5限		
メールアドレス	k-kaneda @ed.sojo-u.ac.jp			
キーワード	人格と人間主義　哲学と科学　論理的整合性　経験科学(主義)から実証科学(主義)へ　経験的事実(実証主義)と超経験的事実(精神科学)			

授業概要

人間を他の動物から区別する点は多々ありますが、人間が超自然的事実と経験的事実の双方を認識し得る存在であるということもまた、人間を他の動物から区別し得る重要な点であると思われます。つまり、人間は観念論的態度と科学的態度の双方を有し得るという点で「特別な存在」なのです。したがって本講義は、哲学的にも科学的にも「正しく考える」力を伸長・拡大していくことを目的とするものであり、この目的を達成するべく、次のような柱を置いています。1.人格ゆえの人間存在 2.人間主義(ヒューマニズム) ①理想型 ②現実型 3.哲学と科学の異質性 ①妥当性と可能性に対する態度 ②事実判断と価値判断 ③精神科学と経験科学 4.哲学によっても科学によっても解明できないモノ(哲学と科学の同質性) ＝人間の精神的価値そのものを問い、創造していく領域 ①芸術(文学、音楽、美術) ②宗教 5.哲学から生成された科学の基盤である実証主義(経験主義から実証主義へ) ①一般論的に ②経験科学論的に ③コント(A. Comte)の「実証主義」による知識の三つの発展段階 ⅰ)神学的段階 ⅱ)形而上学的段階 ⅲ)実証的段階 6.人間にとって「絶対者」(超自然的事実)とは何か? 7.本当に「神は死んだ」(ニーチェ)のか? 8.人間は何を介して人間となるのか? 9.再び、人格とは何か?

関連科目

連携科目：人間と歴史、ドイツ語圏の文化と社会

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a g	a g

JABEE記号		学生の到達度目標
a f g h	①	哲学という学問体系を理解できる。
a f g h	②	哲学と科学の異質性と同質性を理解できる。
a f g h	③	「正しく考える」とはどのように考えることなのかを理解し、日々の生活に活かすことができる。
a f g h	④	これからの人生(社会経験)において、人間本位にモノを考えることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	90	0	0	10	0	100

教科書

哲学のすすめ　講談社現代新書　岩崎武雄　　4-06-115466-7
正しく考えるために　講談社現代新書　岩崎武雄　4-06-115685-3

参考書

予備知識	高等学校で「倫理」もしくは「現代社会」を学んだ方は、その教科書を一読しておくことをお勧めします。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力のうち、特に「人間形成能力・社会形成能力」「自己理解能力・自己管理能力」を、思索をすることを通じて身につけ、これらを毎日の生活に活かせるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	Ⅰ:レポート;学期中に、30点満点のレポートを3回提出してもらいます（計90点満点）。なお、レポートの内容（課題）、書式・形式、提出期日などは、講義開始後、詳細に説明します。但し、三回目のレポートに関しては、講義最終日にポートフォリオと一緒に提出することとします。 Ⅱ:ポートフォリオ;10点満点で自己評価をしてもらいます（講義担当者についての評価ではありません）。講義最終日に、三回目のレポートと一緒に、プリントアウトして提出することとします。

学修上の注意 (SBOs)	Ⅰ：単位を集めるためではなく、真に哲学を学ぶ意欲のある学生、三回のレポート執筆に耐え得る意欲のある学生、一冊でも多くの哲学書を読む気構えのある学生の受講を歓迎します。 Ⅱ：遅刻出席は講義開始後20分までとし、それ以後の遅刻については、原則として認めません。 Ⅲ：レポート執筆における剽窃行為（不正行為）については単位認定を行いません。 Ⅳ：講義中はお茶・水以外の飲用は認めません。（但し、服薬は認めます。） Ⅴ：教科書として挙げた二冊の書は、講義用テキストとしては使いませんが、レポートの課題図書としますので必ず購入し、自主的・積極的に、何回も精読・熟読しておかないとレポートの作成が困難をきわめますので、意欲的・能動的に、果敢にこれら二冊を自分のものにしていき、人生の糧としていってください。 Ⅵ：講義内容についての学修は、予習にも復習にも全力で取り組んでください。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	人間が存在するということ	講義	【復習】ノートの読み直し。なおノートの整理には、何らかの「哲学事典」使うことをお勧めします。【その他】教科書として挙げた二冊のレポート課題図書を読み始めること。	60
	内容	人間が存在するという、あるいは存在していたということこそ、あらゆる学問が成立し得る大前提である。では、われわれが多用する「人格」とは、いったい何なのであろうか？　今後三回のレポートの書式・形式、課題内容を説明する。			
2回	テーマ	人間主義とは何か？	講義	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	理想型としての人間主義を考察する。			
3回	テーマ	人間主義とは何か？	講義	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	現実型としての人間主義を考察する。			
4回	テーマ	哲学の原意	講義	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	philosophia の意味について／哲学と思想の違いについて			
5回	テーマ	哲学と科学	講義	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	哲学と科学の対象の違いと思考形式の違い			
6回	テーマ	哲学と科学	講義	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	可能性を問題にする科学と妥当性を問題にする哲学			
7回	テーマ	哲学と科学	講義	【予習】第一回目のレポートの作成とプリントアウトを完了しておくこと。【復習】ノートの読み直し。	各90
	内容	哲学の一形式であった経験主義から科学の原理である実証主義の発生／一般論としての実証主義／「実証すること」の二様　第一回レポート提出日			
8回	テーマ	哲学と科学	講義　演習	【予習】自分で選んだ「哲学事典」等を用い、コント（A. Comte）の言う「実証主義」について、精確かつ詳細に調べ上げる。【復習】ノートの読み直し。	各60
	内容	科学原理としての実証主義／実証主義は経験的事実だけを知識の対象とする＝実証できるものだけが人間の知識である⇒実証不可能な超経験的事物（第一原因・究極因と呼ばれるもの）の暗黙の認知ではないのか？　このことについて、班を編成し、班別議論を行い、簡単なまとめを全体の前で発表する。　第一回レポートの大まかな模範解答例を提示し、それについて解説し、フィードバックを行う。			
9回	テーマ	哲学と科学	講義	【予習】マックス・ヴェーバーについて可能な限り詳細に調べておくこと。【予習】社会学、社会科学とは何か、各種辞典・辞書などにあたり、精確に調べ上げておくこと。【復習】ノートの読み直し。	各90
	内容	フランス社会学の礎を築いたコントの「実証主義」によれば人間の知識には三つの発展段階があるという。この「知識の三段解説」を解説する際には、ドイツにおける社会科学の先覚者M.ヴェーバーによる「支配の三つの発展段階」説にも、コラム的にふれてみたい。			
10回	テーマ	哲学と科学	講義　演習	【復習】ノートの読み直し。	60
	内容	実証主義のまとめと復習：実証的であるということは、どういうことなのか？　前々回、前回、今回と三回にわたり実証主義の性質（本質）について考えてきたが、実証主義とははたして何なのか？このことについて、班を編成し、班別議論を行い、簡単なまとめを全体の前で発表する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人間の精神的価値	講義　演習	【予習】芸術や宗教などの感性や主観で監督する以外に方法のない領域について、思索を深めておくこと。【予習】第二回目のレポートの作成とプリントアウトを完了させておくこと。【復習】ノートの読み直し。	各90
	内容	哲学によっても科学によっても、つまり論理的整合性をもってしてはとらえきれない人間の「精神的価値そのもの」について考察し、議論を行う。　いったい「精神的価値」とはどのようなものなのか?このことについて、班を編成し、班別議論を行い、簡単なまとめを全体の前で発表する。　第二回レポート提出日			
12回	テーマ	人間の精神的価値	講義　演習	【予習】「哲学事典」などで「精神科学」「シュプランガー」「ディルタイ」などのコトバや人物について詳細かつ精確に調べておくこと。【復習】ノートの読み直し。	各90
	内容	経験科学的・自然科学的実証主義は万能か／実証主義自体が認めざるを得ない実証不可能な第一原因・究極因をわれわれはどのように扱うべきなのか（以上、前回からの続きと復習）／19世紀後半から20世紀中盤まで隆昌をきわめた「精神科学」の意味を考察する／精神科学において、実証不可能な超経験的・超自然的事物は扱われ得るのか否か／精神科学は超経験的・超自然的事物の存在を証明できるのだろうか？　このことについて、班を編成し、班別議論を行い、簡単なまとめを全体の前で発表する。　第二回レポートの大まかな模範解答例を提示し、それについて解説し、フィードバックを行う。　第三回レポートの課題内容を発表する。			
13回	テーマ	絶対者の行方	講義	【復習】配布された資料を精確に読みながら、ノートを見直しておくこと。	60
	内容	「神は死んだ」（ニーチェ）のか／個々人に固有の価値観＝主観と精神科学の関係／　憲法第19条「思想・良心の自由」、第20条「信教の自由」、第23条「学問の自由」が意味するもの／主観は当該本人にしか感得できず、したがって主観的信条（たとえば信仰）を別の主観をもつ他者に強要することは、魂の殺人に他ならない。　資料を配布する。			
14回	テーマ	人間について	講義　演習	【予習】「哲学事典」等で、カントについて調べておくこと。【復習】ノートの読み直し。	各60
	内容	結局、人間とは何か／人間が人間になる条件とは何か／人間は、何によって、何を介して人間となるのか／何が人間に〈人格〉を付与するのか／ドイツ観念論哲学の祖・カントの『教育学講義』に認められる人間についてのきわめて重要な三つの命題を時間をかけて考え、議論していく。　カントが提示した、人間が人間となるための要件（命題）をもとに、人間とは何かを考えていく。班を編成し、班別議論を行い、簡単なまとめを全体の前で発表する。			
15回	テーマ	人間と哲学について	講義	【予習】ノート全体の読み直し。【予習】ポートフォリオを作成し、プリントアウトしておくこと。【予習】第三回目のレポートを作成し、プリントアウトを完了させておくこと。	各120
	内容	本講義の総復習：人間にせよ哲学にせよ、永遠に完成し得ない観念にすぎない。観念が観念を追究し、観念が観念によって追究され続けているのだ。しかし、哲学が万学の基盤である理由はここにある。　①ポートフォリオの回収　②第三回レポートの回収　第三回レポートの大まかな模範解答例を提示し、それについて解説し、フィードバックを行う。③まとめと総評			

科目名	人間と歴史（２全学科）後期	開講学年 1	講義コード 2123501	区分 選必
英文表記	History and the problem Ⅰ	開講期 前期	開講形態	単位数 2
担当教員	冨田健之			
研究室	本館302		オフィスアワー 水曜昼休み	
メールアドレス	@			
キーワード	歴史学　歴史教科書　記述の変化　研究の進展　「歴史は変わる」			

授業概要

1.中学校歴史教科書はその時代時代の特徴をつかむための最良の手引き書であり、歴史を学び直そうとする際に第一に参照されるべき参考書だといえる。また、中学校歴史教科書は学習指導要領の改訂に基づき、原則として4年ごとに改訂され、そのたびに記述が修正されたり、場合によってはまったく新しくかきかえられたりもする。 2.本授業では、東京書籍から1972(昭和47)年と2006(平成18)年にそれぞれ刊行された中学校歴史教科書を比較し、約30年の間に教科書記述がどれだけ変わってきたのかをまず確認する。 3.ついで、そうした教科書記述の変化の背景にある、歴史研究の発展・深化についてみていく。 4.歴史は「暗記物」というレッテルが貼られることがあるが、知識を身につけることはどの研究分野にあってもその出発点である。 5.本授業では、基礎的な知識を身につけたうえで、その知識を「応用」していくスベを修得していく。それによって、歴史的背景をふまえた現代社会を理解し、そこで生きていくための基礎知識(社会形成能力)と汎用的能力を身につけることをめざす。 6.小テストについては、可能な限り採点の上、次回の授業時に返却する。

関連科目

総合・人間科学関係科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a.g	a.g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	人間や社会を多角的な視野から捉え、考え文章で説明することができる。
g	②	自主的、継続的に学修することができる。
g	③	レポート課題について十分な準備調査を行い、wordを使ってレポートを作成することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	55	30	0	5	10	0	100

教科書

教科書は使用しない

参考書

参考書は授業中に適宜紹介する

予備知識	1.自ら学ぼうとする意欲と意思 2.中学校程度の日本史に関する知識
DP との 関連	「課題対応力」の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1. 小テスト:初回5点 第2～6回×10点＝55点 2. レポート:課題は第11回授業時に提示する。A4用紙、フォーマット(余白各25㎜、1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1200文字以上、参考文献必須、30点 3. 作品(個人資料):紙バインダーに整理したもの(配付資料、小テスト答案、ノートなど)5点 4. ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点 ①【学生の到達度目標】の項目1～4の達成度とその理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出 ②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1. 中間･定期試験は実施しない。再試験も実施しない。 2. 授業中に教師の発言を同時進行でメモしノートするスキルを身につけることが必須となる 3. 教師の質問には積極的に答えるようにする 4. 授業内容に関して不明な点があれば積極的に質問するようにする 5. 個人資料保存のため紙バインダーを準備すること 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされるので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	授業全般に関するガイダンス	講義	ガイダンス内容を再度確認する	10
	内容	授業概要の説明および受講にあたっての諸注意などを行う			
2回	テーマ	人類の出現	講義	授業内容の復習をしておく	20
	内容	人類出現の年代はどこまでさかのぼるのか			
3回	テーマ	三内丸山遺跡	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	発見、発掘で変わる時代像			
4回	テーマ	稲作のはじまり	講義　演習	授業内容の復習をしておく	20
	内容	米づくりはいつ日本に伝わったのか　確認テスト①			
5回	テーマ	仁徳天皇陵	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	世界最大の古墳と習ったはずだが			
6回	テーマ	聖徳太子	講義　演習	授業内容の復習をしておく	20
	内容	旧一万円札の肖像は別人？　確認テスト②			
7回	テーマ	蝦夷	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	反乱者から抵抗の英雄へ			
8回	テーマ	鎌倉幕府	講義　演習	授業内容の復習をしておく	20
	内容	「イイクニつくろう」と覚えたが…　確認テスト③			
9回	テーマ	モンゴル襲来	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	2回とも暴風が吹いたのか			
10回	テーマ	倭寇	講義　演習	授業内容の復習をしておく	20
	内容	日本人ばかりではなかった　確認テスト④			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	長篠の戦い レポート課題の提示	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	武田騎馬隊は存在したのか レポート作成に関するガイダンス			
12回	テーマ	天草・島原一揆	講義　演習	授業内容の復習をしておく レポートを作成する	60
	内容	「乱」から「一揆」へ 確認テスト⑤			
13回	テーマ	鎖国と開国	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業の冒頭で前回授業に関する確認テストを実施する レポートを作成する	60
	内容	江戸幕府は国を閉じてはいなかった			
14回	テーマ	個人資料の整理と提出 レポートの確認作業	講義　演習	レポートを作成する ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	60
	内容	各自が選択した課題が適切であるか、参考資料・文献が適切であるか、使用するデータは十分か、等の確認を行う 確認テスト⑥			
15回	テーマ	レポートの提出 個人資料の返却	講義　演習		
	内容	レポートを完成させ提出する 個人資料などを返却する 授業の総括を行う			

科目名	人間と環境（２全学科）後期	開講学年 1	講義コード 2123601	区分 選択
英文表記	Human and Environment	開講期 前期・後期	開講形態	単位数 2

担当教員	上野賢仁
研究室	F803
オフィスアワー	木曜5時限
メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	自然と人間の相互作用　地球と気候システム　環境指標と生物多様性　環境経済と環境政策 資源･エネルギー利用と環境負荷

授業概要

人間をとりまく環境はいま、地球温暖化、生物多様性、資源･エネルギーの枯渇、環境汚染などの問題が溢れており、これらは複数の要因と関係し、複雑である。人間が環境問題にどう対処すべきかを考えるとき、からみ合った複雑なことを広い視野で多面的に理解する必要がある。人間活動に起因する環境問題はあらゆる分野が関係するが、個々人としてはまず自然科学と社会科学の両面から考える姿勢をもつのが良いと思われる。 本講義では、環境に関する基礎的な事柄を学びつつ、様々な対策手法や環境技術を学びながら、人間と環境の相互関係をシステム的に捉えて考えていく。各人の専門分野において環境問題に取り組む際の基礎的な素養を身に付けることができるものと期待している。 講義では、前半で「人間と環境」に関しての基礎事項や捉え方について説明した後、関連するテキストの該当箇所について説明し、後半で理解を助けるために簡単な計算などの演習を行う。（資料や課題にWebClassを使う。関数電卓を用意しておくと良い。）

関連科目

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,b,g	a,b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	環境問題を多角的な視点から捉え、問題の背景や構造、対策の現状を理解し、文章（あるいは口頭）で説明することができる。
b	②	技術が社会や自然に及ぼす影響、及び技術者の社会的責任を理解し、文章（あるいは口頭）で説明することができる。
g	③	自主的、継続的に学習することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	0	30	0	0	10	0	100

教科書

Professional Engineering Library 環境工学　実教出版　PEL編集委員会監修、山崎慎一編　978-4-407-34030-3

参考書

環境問題をシステム的に考える　化学同人　井村秀文　978-4-7598-1323-4
環境白書／循環型社会白書／生物多様性白書　日経印刷　環境省大臣官房環境計画課：環境省環境再生･資源循環局　978-4865791174
環境社会検定試験eco検定公式テキスト　日本能率境界マネジメントセンター　東京商工会議所　978-4820727026
新版 環境被害のガバナンス　成文堂　永松俊雄　978-4792333607
熊本県自然保護読本 自然保護とあなた-子供達の未来のために-　城野印刷所　熊本県自然保護読本編集委員会

予備知識	環境問題に関する関心を持ち、新聞記事やニュースに目を通しておくこと。
DP との 関連	本学DP「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」に必要な人間や社会に対する多角的視野と基礎的知識、及び社会課題への対応についての汎用的能力を身につけ、それらを実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1. 中間試験、期末試験　各30点（再試験は実施しない。） 2. 課題レポート 30点（7回目授業時にテーマ等について説明、11回目授業時に提出を求める。） 図書館の環境関連図書を資料として、課題レポート（本文1,000文字以上）を次の規定に沿って作成し提出する。 A4用紙1枚（両面可）、表紙不要、余白各25mm、1頁40行、1行40文字、フォント：MS明朝体、10.5pt。 1行目：タイトル、2行目：空白、3行目：学部名、学科名、学籍番号、氏名、4行目：空白、5行目：本文。 参考文献・URLを末尾に記載。（著書の場合：著者名、『著書名』、引用頁、発行所、発行年。論文の場合：著者名、「論文名」『雑誌名』、引用頁、発行所、発行年。Webの場合：名称、URL、アクセス日） 3. ポートフォリオ：「到達度評価レポート」10点 【学生の到達度目標】の項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し15回目までに提出する。 授業アンケートに回答する。 4. 講義中に実施する演習問題の取り組み状況も評価に加味する。 5. 100点満点中60点以上を合格とする。

学修上の注意 (SBOs)	1. 授業回数の1／3以上の欠席者は成績評価を行わない（不合格となる）。ただし、公認欠席は出席扱いとする。 2. 遅刻は授業開始後20分までとし、以後は欠席とする。 3. 提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。ただし、公認欠席の場合は別途指示する。 4. 授業中のお茶・水以外の飲用は不可。 5. 授業中に他の授業の課題やスマートフォン等を使用した場合は退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	自然と人間の相互関係	講義	予習:教科書の全体に目を通しておく。復習:ガイダンスでの説明事項について確認する。	20 20
	内容	ガイダンス／自然と人間の相互関係の把握と理解			
2回	テーマ	地球と人間／環境容量	講義 演習	予習:教科書の1章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球と人間の関係／地球の許容限界／環境容量			
3回	テーマ	地球の気候システム／地球温暖化	講義 演習	予習:教科書の1～2章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球の大気／水の循環／気候システム／地球温暖化			
4回	テーマ	環境指標／生物多様性	講義 演習	予習:教科書の12章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	生物多様性／生態系／生態系の機能とサービス／生物多様性の保全			
5回	テーマ	環境感／地球と人間の歴史／文明の転換／持続可能性	講義 演習	予習:教科書の1～3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	変化する世界の見方／成長の限界／熱力学的な視点／地球の歴史／人間の歴史／低炭素・共生・循環型社会／持続可能性			
6回	テーマ	環境管理／環境影響評価（その1）	講義 演習	予習:教科書の2～3、13章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	コモンズの悲劇／ローカルコモンズ／環境管理／環境影響評価			
7回	テーマ	環境経済／環境政策／環境倫理	講義 演習	予習:教科書の1～3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球環境と経済／市場の失敗／環境情報／環境政策／環境倫理			
8回	テーマ	前半まとめ／中間試験	講義 試験	予習:1～8回の授業内容を総復習し、中間試験の準備をしておく。復習:中間試験の内容を振り返る。	60 30
	内容	前半の講義についてのまとめ／中間試験による達成度の確認			
9回	テーマ	資源・エネルギー利用／環境負荷	講義 演習	予習:教科書の3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	資源生産性／エネルギー生産性／隠れた資源フロー（エコロジカルリュックサック）／内包エネルギー（ライフサイクルエネルギー）／環境負荷／エコロジカル・フットプリント／環境資源勘定／マテリアルフロー／ライフサイクルアセスメント(LCA)			
10回	テーマ	自然エネルギー利用／省エネルギー	講義 演習	予習:教科書の1、3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	エネルギーの質／エクセルギー／ヒートポンプ／カルノー効率／バイオマスエネルギー／環境に好ましい選択／仮想評価法(CVM)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	公害／環境関連法	講義　演習	予習：教科書の4章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30　30
	内容	産業発展と公害／公害病／環境保全のための法制度			
12回	テーマ	水環境／廃棄物	講義　演習	予習：教科書の5～8章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30　30
	内容	水質汚濁／富栄養化／上水道／下水道／廃棄物処理			
13回	テーマ	土壌環境／大気環境／熱環境	講義　演習	予習：教科書の9～11章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30　30
	内容	土壌環境／大気環境／音・振動／熱環境			
14回	テーマ	生態系／環境影響評価（その2）	講義　演習	予習：教科書の12～13章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読するとともに、9～15回の授業内容を総復習し、期末試験の準備をしておく。	30　60
	内容	生態系と生物多様性の保存／環境影響評価（環境アセスメント）／ミティゲーション			
15回	テーマ	後半まとめ／期末試験　／総括	講義　試験　／講義	予習：9～15回の授業内容を総復習し、期末試験の準備をしておく。 復習：期末試験の内容を振り返り、ポートフォリオ（到達度レポート）を作成する。 ／復習：授業全体の内容を振り返る。	60　30　／30
	内容	後半の講義についてのまとめ／期末試験による達成度の確認			

科目名	現代の社会と法（２全学科）後期	開講学年 2	講義コード 2123701	区分 選必
英文表記	Modern Society and Law	開講期 前後期	開講形態	単位数 2

担当教員	竹内 明里（実務経験）
研究室	本館付属棟312
オフィスアワー	昼休み
メールアドレス	take1118@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	法　社会　人権

授業概要

1 授業概要 (1)本講義は、教員の官庁等での勤務経験等を踏まえ、「ブラック校則」「LGBT」「介護問題」「ブラックバイト」など、学生が今後関わりうる(関わった)現代社会の様々な問題を題材として、法の基本的な枠組を学び、社会問題解決のための多様なアプローチ等を考えるものである。 (2)授業はレジュメに沿った講義形式だが、毎週の宿題を踏まえて、グループディスカッションを行い、レポートを作成する。 (3)本講義は、(1)(2)をとおして、学生が以下の能力を習得することを目的とする。 ・現代社会を理解し、社会生活を営む上での基礎知識(社会形成能力) ・自分の意見を分かりやすく伝える表現力(人間関係形成能力) ・毎回宿題を行うことで、自主的に社会問題を調べ、継続的に学習する能力
2 学修上の助言 (1)心構えとして、取り上げる「法」や社会問題を他人事と思わず、自分の問題として考えること。科学技術により改善される社会問題(介護)や、科学技術が生み出した社会問題(軍事研究、SNSトラブル等)があることに留意すること。 (2)社会問題や法的問題には、「1+1=2」のような明確な正解がない場合もある。「多数派の意見」が「正しい」とは限らない。様々な意見を議論する中で新しい解決策が生まれることも多い。授業では、自分の意見を積極的に発言しながら、他の履修者の意見にも耳を傾けること。 (3)毎回の宿題は必ず行うこと。宿題の「復習課題」では授業で学んだ知識を定着させ、「予習課題」では次回取り上げる社会問題を調べ、自分の考えを整理すること。 *提出物については、次回授業などで適宜解説をする。

関連科目

本講義では広く法を扱うが、日本を形作る根本的な法として「日本国憲法」があり、公務員・教員の基本知識として、採用試験でも出題されている。本講義履修後、より深く「日本」の在り方を考えたい場合には、発展科目として「日本国憲法」を勧める。

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A１	A１
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	法の基礎知識や多様な考え方を学び、これらを活かして社会問題を考えることができる
f	②	社会問題を調べ、自分の意見を分かりやすく説明することができる
g	③	社会問題を自分で調べて宿題を作成し、毎回期限前に提出することができる
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	34	0	30	0	0	10	26	100

教科書

教科書は使用しない。

参考書

高校生からの法学入門　中央大学出版部　中央大学法学部　978-4805727096
科学者と戦争　岩波書店　池内 了　978-4004316114
ブラック校則 理不尽な苦しみの現実　東洋館出版社　荻上チキ、内田 良　978-4491035574
介護殺人:追いつめられた家族の告白(新潮文庫)　新潮社　毎日聞大阪社会部取材班　978-4101012919
はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで (スッキリわかる!)　ナツメ社　石田 仁　978-4816365829

予備知識	(1)現代の社会問題への関心と、自ら学ぼうとする意欲を持つこと (2)ニュースで現代の社会の動きを把握すること (3)中学や高校の「現代社会」「公民」などの知識をおさらいしておくこと
DP との 関連	(1)法の基本構造や社会問題について、多様な考え方を知り理解を深め、社会生活を営む上での基礎知識(社会形成能力)を身に着ける。 (2)討議やレポート作成などの作業を通じて、自分の意見を分かりやすく伝える表現力やコミュニケーション能力(人間関係形成能力)を身に着ける。
実務経験 のある 教員	竹内明里
評価明細 基準	1 定期試験 34点 2 レポート 30点(第11回提出) 所定のテーマ(第1回に詳細を発表)について、参考文献(書籍一冊以上+その他資料)読み、レポートを作成する。第8回・9回・10回では「レポートワークシート」をもとにグループワークを行うが、完成した「ワークシート」を持参していない学生は出席を認めない。特に、第10回に「レポートワークシート③(レポート下書き)」を提出しない学生には、第11回でのレポートの提出自体を認めない。 3「到達度評価ポートフォリオ」10点 「学生の到達度目標」の各項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力しプリントアウトして第15回で提出。 4 その他:宿題 26点(2点×13回) 毎回授業前に完成しておくこと。期限後の提出、授業中に作業を行った場合は評価対象外。 5 60点以上を合格とする。再試験等は一切行わない。

学修上の注意 (SBOs)	1 授業参加のマナーを守ること。守れない場合は出席を認めない。 （授業資料・筆記用具・学生証以外は鞄に収納、携帯操作禁止、私語禁止） 2 授業中は学生証を机の上に置き、指定座席に座ること（視力等は応相談）。 3 授業開始後20分を遅刻とし、以後の出席を認めない。 4 提出物は期限内に提出する。締め切り後は受け付けない。 公欠予定者は前もって提出しておくこと（応相談）。 病欠・予期せぬ公欠の場合は、次回授業前日までに教員研究室ポストに提出すること（応相談）。 5 グループワークや提出物においては、社会問題を自分で調べてまとめ、自分の考えを他人にわかるように述べる努力をすること。この努力により、社会問題への理解が深まり、表現力も向上する。 このため、レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされ、単位を認めない。 また、グループワークに積極的に参加しない場合は、授業自体に参加していないとみなし、退出を命じることもある。 6 わからないことがあれば、授業やオフィスアワーに教員に質問をすること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	（復習）ガイダンスでの説明事項についての確認	20
	内容	授業概要、受講時の注意事項など			
2回	テーマ	イントロダクション：法とは何か	講義、演習	（予習）「法と道徳」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	法と道徳の違い、日本における法の種類（憲法、法律、条令等）を知る。			
3回	テーマ	憲法①総論・統治	講義、演習	（予習）「憲法の基礎」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	憲法の歴史、3大原理（国民主権、平和主義、基本的人権の尊重）を学び、憲法の意義を考える。			
4回	テーマ	憲法②人権	講義、演習	（予習）「ブラック校則と人権」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	「ブラック校則」などを題材として、憲法が保障する人権について学ぶ。			
5回	テーマ	民法①財産法	講義、演習	（予習）「消費者トラブル」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	大学生が関わりうる契約トラブル 等を題材に、契約や不法行為等、財産に関する民法の規定を学ぶ。			
6回	テーマ	民法②家族法	講義、演習	（予習）「LGBTと法」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読。	60
	内容	婚姻、相続等、家族に関する法を学ぶ。また、「LGBT」「同性婚」などを題材に、家族法の意義を考える。			
7回	テーマ	刑法①総論	講義、演習	（予習）「刑法の基礎」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読。 ※次回に向けて「レポートワークシート①」を作成する	60
	内容	刑法① 罪刑法定主義等、刑法の基本原則を学ぶ。			
8回	テーマ	刑法②刑事訴訟法、 レポート作業①	講義、演習	（予習）「裁判員裁判」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読 ※次回に向けて「レポートワークシート②」を作成する。	60
	内容	刑法① 「裁判員裁判」を題材に、刑事裁判手続きの基礎を学ぶ。 レポート作業① 「レポートトワークシート①」を持参し、グループ内で発表する。			
9回	テーマ	法による日常紛争の解決、 レポート作業②	講義、演習	（予習）「SNSトラブル」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読。 ※次回に向けて「レポートワークシート③（レポート下書き）」を作成する。2部印刷して次回授業で持参。	60
	内容	法による日常紛争の解決 「SNSトラブル」などを題材に、日常的な紛争（トラブル）において法が果たす役割を考える。 レポート作業② 「レポートワークシート②」をグループ内で発表する。全体の流れ、調査内容の過不足、わかりやすさ（論理性、文章など）、参考文献の書き方などを相互に検討する。			
10回	テーマ	レポート作業③	演習	※次回に向けて「レポート完成版」を作成する	60
	内容	「レポートワークシート③（レポート下書き）」をグループ内で発表する。全体の流れ、調査内容の過不足、わかりやすさ（論理性、文章など）、参考文献の書き方などを相互に検討する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人権問題を考える	講義、演習	（予習）「ハンセン病と人権」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	上熊本に療養所のあった「ハンセン病」を題材に、人権を考える			
12回	テーマ	製造者と消費者の法	講義、演習	（予習）「製造物による事故」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	「テレビ発火事故」「こんにゃくゼリー裁判」などを題材に、「ものづくり」に携わる者が知るべき法(製造物責任法,知的財産権等)を学ぶ。			
13回	テーマ	労働と法	講義、演習	（予習）「ブラックバイト」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読	60
	内容	「ブラックバイト」などを題材に、労働者として知るべき法（労働基準法等）を学び、現代の労働問題を考える。			
14回	テーマ	国際社会の法	講義、演習	（予習）「国際社会」に関する宿題シートを行う。（復習）宿題（復習シート）を行う。 配布資料の再読 ※ポートフォリオ「到達度レポート」を行い、印刷して第15回提出。	60
	内容	国際社会の法（国際法）や国連の取組の基礎を学び、国際問題を考える。			
15回	テーマ	期末試験 まとめ	講義	（予習）これまでの授業内容を総復習しておく。 ※ポートフォリオ「科目到達度レポート」を提出する。	60
	内容	期末試験 解説 全体のまとめ			

科目名	現代の社会と政治（２全学科）後期	開講学年 1	講義コード 2123801	区分 選必
英文表記	Political Science	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	今井亮佑

研究室	本館310	オフィスアワー	初回講義で示します

メールアドレス	@

キーワード	政治　選挙　熟議

授業概要	(1)政治の基本的な仕組みを理解してもらいます 18歳になれば選挙権を得て、一人の有権者として政治と関わることになります。しかし、政治の仕組みがわかっていなければ、折角得た選挙権を有効に行使することができません。そこで本講義を通じて、一般教養として、政治の仕組みに関する基本的理解を深めてもらいます。 (2)政治に関する論点について、自分なりに考えてもらいます 政治とは、正解のない営みです。 一つの問題に対する色々な立場・考え方が存在します。 本講義では、政治に関する諸論点に対する、複数の見方を提示します。 受講生の皆さんには、講義内容をもとに、関連する情報を自ら収集・処理することで、論点に対する自分なりの考えをまとめてもらいます。 (3)他の受講生と「熟議」してもらいます この講義の中では、他の受講生との熟議（意見交換）をしてもらう機会を設けます。 予め示した論点について、自分なりの考えをまとめてきてもらい、少人数のグループでその考えをぶつけ合ってもらいます。 価値観や意見の異なる人たちで一つの論点について議論することで、多面的な視点を獲得するとともに、コミュニケーション・スキルを磨いてもらうのがその目的です。

関連科目
基礎科目:SOJO基礎I、SOJO基礎II

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	政治に関する論点について多面的に考える能力とその素養を身に付けることができる。
f	②	自身の考えを論理的に記述する力を養うことができる。
f	③	他の受講生との討議を通じて、コミュニケーション能力を磨くことができる。
g	④	自主的、継続的に学習する習慣を身に付けることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	72	0	0	10	18	100

教科書	※指定なし

参考書	政治学　東京大学出版会　川出良枝・谷口将紀（編）　978-4130322195

予備知識	■受講にあたり、予備知識は必要としませんが、政治を学びたいという積極的な意欲は持って下さい。 ■政治は絶えず動いています。その動きをフォローするために、日々新聞に目を通すようにして下さい。
DP との 関連	講義の中で、政治的問題に対する自身の立場を根拠付けて論じる機会を多く設けます。それを通じて、本学DPに挙げられている基礎的・汎用的能力である、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」を身に付け、それらを実践できるようにします。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.リサーチペーパー①・②・③（計72点） ○講義で取り上げるテーマに関連する論点について、受講生の間で（5～6名程度の小グループで）熟議（意見交換）してもらう機会を三度設けます。 ○熟議のテーマとされた論点について、 ・講義を受けた時点でどのように考えていたか ・どのようなソースから、どのような情報を入手したか ・熟議の場で、他の受講生からどのような意見が出されたか ・それを聞いて、自身の考えはどのような影響を受けたか ・最終的に、どのような考えに至ったか を、根拠も含めて論理的に記述してもらいます（①②③各1500字以上）。 ※提出の2週間後までをめどに、気づいた点、改善すべき点をフィードバックします。 2.意見交換への貢献度（各6点、計18点） ○意見交換の際、有益な考え方を出せたかどうか、グループの他のメンバーに評価してもらいます。 3. ポートフォリオ:「学修到達度レポート」（10点） ・【学生の到達度目標】の項目①～④の達成度とその理由を各200～250文字で入力してもらいます。 ☆いずれも、詳細は講義の中で説明します。

学修上の注意 (SBOs)	■受講マナーは必ず守って下さい。・私語厳禁です。・講義中は携帯電話／スマートフォンをマナーモードに設定の上、鞄の中にしまってもらいます。☆携帯電話／スマートフォンを操作しているのを発見次第退出を命じ、以後の授業出席を認めません。■授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とします。■リサーチペーパーは、提出期限（初回講義時に明示）を厳守してください。期限後に出されても一切受け取りません。■再試験等は一切行いません。■リサーチペーパーの執筆に際し、コピー＆ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）を行った場合は、不正行為とみなし、単位を認定しません。■私が話す内容、黒板やパワーポイントに示す内容の中から、重要だと思う点を抽出・要約してノートにメモするというスキルを身に付けて下さい。■講義内容が理解できなかった場合は、遠慮なく質問して下さい（講義中／講義後でも、オフィスアワーでも構いません）。■新聞やテレビニュースを通じて、日々の政治の動きに興味を持つようにして下さい。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	(復習)ガイダンスでの説明事項についてよく頭に入れる。	30
	内容	授業概要や受講時の注意事項等を説明する。			
2回	テーマ	日本政治の争点①:外交・安全保障	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の安全保障、日米同盟の歴史的背景について講じる。			
3回	テーマ	日本政治の争点②:経済・福祉	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	経済政策や福祉政策に関する諸論点について講じる。			
4回	テーマ	政治の仕組み:政策過程①	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	どのような過程を経て政策が作られるのか、日本型の政策決定の特徴について講じる。			
5回	テーマ	政治の仕組み:政策過程②	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。（予習)次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	日本型の政策決定の功罪や、近年の変化について講じる。			
6回	テーマ	熟議①	演習	(復習)熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議(意見交換)してもらう(SGD)。			
7回	テーマ	政治の仕組み:選挙制度①	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	選挙制度を類型化し、それぞれの特徴について説明する。また、衆参両院の選挙制度の特徴や、制度改革の背景などについて講じる。			
8回	テーマ	政治の仕組み:選挙制度②	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の現行の選挙制度にまつわる論点や、いわゆる「一票の格差」の問題について講じる。			
9回	テーマ	政治の仕組み:行政制度	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の行政機構の改革の概要と、それがもたらした影響について講じる。			
10回	テーマ	政治のアクター:政党	講義	(復習)講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	政党の果たす機能や日本の政党の特徴について講じる。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	政治のアクター:政治家	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。（予習）次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	なぜ、どのような人が政治家を目指すのか、政治家の実態はどのようなものかについて講じる。			
12回	テーマ	熟議②	演習	（復習）熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議（意見交換）してもらう（SGD）。			
13回	テーマ	政治のアクター:有権者①	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	なぜ人は選挙で投票／棄権するのか、人は何を判断基準に投票する政党や候補者を選ぶのかについて講じる。			
14回	テーマ	政治のアクター:有権者②	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。（予習）次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	若年層の投票率が低いのは問題か、投票率を上げるにはどうすればよいのかについて講じる。			
15回	テーマ	熟議②	演習	（復習）熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。 学修到達度レポートを執筆し、授業アンケートに回答する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議（意見交換）してもらう（SGD）。			

科目名	日本国憲法（３機宇情）	開講学年	3	講義コード	2124101	区分	選択
英文表記	The Constitution of Japan	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	竹内明里（実務経験）

研究室	本館付属棟312	オフィスアワー	昼休み

メールアドレス	take1118@sojo-u.ac.jp

キーワード	法　社会　憲法　人権　　統治

授業概要

1 授業概要 (1)日本国憲法は基本的人権の尊重や平和主義、国民主権など日本国のあり方を定めている。本講義では、裁判例や社会問題(「ブラック校則」「軍事研究と平和主義」「君が代斉唱問題」等)を題材に、教員の官庁での経験も踏まえつつ、日本国憲法の理念、人権、日本の統治の仕組みへの理解を深める。 (2)授業はレジュメに沿った講義形式だが、毎週の宿題を踏まえて、グループ討議や発表を行う。 (3)こうした作業を通じて、憲法や人権への理解を深め、多様な観点から考えることにより、社会生活を営む上での基礎知識(社会形成能力)を身に着けるとともに、自分の意見を分かりやすく伝える表現力やコミュニケーション能力(人間関係形成能力)を身に着ける。また、毎回宿題を行うことで、自主的に社会問題を調べ、継続的に学習する習慣を身につける。 (4)なお、ニーズに応じて教員採用試験や公務員試験対策を盛り込む。 2 学修上の助言 (1)心構えとして、日本国憲法や社会問題を他人事と思わず、自分の問題として考えること。 (2)憲法が関わる社会問題には、「1+1=2」のような明確な正解がないこともあるし、「多数派の意見」が「正しい」ものでない場合もある。様々な意見を議論する中で新しい解決策が生まれることも多い。授業では、自分の意見を積極的に発言しながら、他の履修者の意見にも耳を傾けること。 (3)毎回の宿題は必ず行うこと。宿題の「復習課題」で授業中に学んだ知識を定着させ、「予習課題」で次回取り上げる社会問題を調べ、自分の考えを整理すること。 ＊提出物については、次回授業などで適宜解説をする。

関連科目

法学を扱う授業としては、「現代社会と法Ⅰ」と本講義「日本国憲法」が設定されている。 本講義は「日本国憲法」に特化したものであり、幅広い法の基礎知識を学ぶ「現代社会と法Ⅰ」に対して応用的な立ち位置にある。 また、本科目は、公務員・教員採用試験受験者のニーズを重視する。このため、「宿題〔復習課題〕」についても、試験対策問題を含むなど、「現代社会と法Ⅰ」よりも量が多くなる。 法について、より一般的な基礎知識を学びたい場合には、「現代社会と法Ⅰ」を履修することを勧める。

教職関連区分

建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A１	A１
JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	日本国憲法の基礎知識や多様な考え方を学び、これらを活かして、社会問題を考えることができる
f	②	日本国憲法に関する社会問題を調べて、自分の意見を文章で分かりやすく説明することができる
f	③	日本国憲法に関する社会問題を自分で調べて宿題を作成し、毎回期限前に提出することができる
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	34	0	30	0	0	10	26	100

教科書

教職課程のための憲法入門 <第2版>　弘文堂　原博史、斎藤一久　　978-4-335-35763-3

参考書

いちばんやさしい憲法入門 第5版　有斐閣　初宿正典ほか　978-4641220911
教養としての憲法入門　弘文堂　神野 潔　978-4335356636
憲法 第六版　岩波書店　芦部信喜ほか　978-4000227995
ポケット六法 令和2年度版　有斐閣　ポケット六法 令和2年度版　978-4641009202

予備知識	(1)憲法に関する動きへの関心と、自ら学ぼうとする意欲を持つこと (2)ニュースで現代の社会の動きを把握すること (3)中学や高校の「現代社会」「公民」、本学の「現代社会と法Ｉ」(履修している場合)の知識をおさらいしておくこと。
DP との 関連	(1)日本国憲法の基本構造や社会問題への理解を深め、多様な観点から考えることにより、社会に貢献するための基礎知識(社会形成能力)を身に着ける。 (2)討議やレポート作成等の作業を通じて、自分の意見を分かりやすく伝える表現力やコミュニケーション能力(人間関係形成能力)を身に着ける。
実務経験 のある 教員	竹内明里
評価明細 基準	1 定期試験 34点 2 レポート 30点(第11回提出) 所定のテーマ(第1回に詳細を発表)について、参考文献(書籍一冊以上+その他資料)読み、レポートを作成する。第8回・9回・10回では「レポートワークシート」をもとにグループワークを行うが、完成した「ワークシート」を持参していない学生は出席を認めない。特に、第10回に「レポートワークシート③(レポート下書き)」を提出しない学生には、第11回でのレポートの提出自体を認めない。 3「到達度評価ポートフォリオ」10点 「学生の到達度目標」の各項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力しプリントアウトして第15回で提出。 4 その他:宿題 26点(2点×13回) 毎回授業前に完成しておくこと。期限後の提出、授業中に作業を行った場合は評価対象外。 5 60点以上を合格とする。再試験等は一切行わない。

学修上の注意 (SBOs)	1 授業参加のマナーを守ること。守れない場合は出席を認めない。 （授業資料/筆記用具/学生証以外は鞄に収納、携帯操作禁止、私語禁止） 2 授業中は学生証を机の上に置き、指定座席に座ること（応相談）。 3 授業開始後20分を遅刻とし、以後の出席を認めない。 4 提出物は期限内に提出する。締め切り後は受け付けない。 公欠予定者は前もって提出しておくこと（応相談）。 病欠・予期せぬ公欠の場合は次回授業前日までに教員研究室に提出すること（応相談）。 5 グループワークや提出物においては、社会問題を自分で調べてまとめ、自分の考えを他人にわかるように述べる努力をすること。この努力を継続することで、社会問題への理解や表現力が高めることができる。 このため、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなし、単位を認めない。また、グループワークに積極参加しない場合には、授業に参加していないものとみなし、退出を命じることもある 6 わからないことがあれば、授業やオフィスアワーに教員に質問をすること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	（復習）ガイダンスでの説明事項についての確認	20
	内容	授業概要、受講時の注意事項など			
2回	テーマ	イントロダクション	講義　演習	（予習）「立憲主義と憲法の基礎」に関する新聞記事等についての宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	憲法の意義、歴史、三大原理（国民主権・基本的人権の尊重・平和主義）を学ぶ。			
3回	テーマ	人権総論1	講義　演習	（予習）人権の歴史等に関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	人権保障の歴史、人権の観念、享有主体等を学ぶ。			
4回	テーマ	人権総論2	講義　演習	（予習）「基本的人権の限界」に関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	基本的人権の限界（公共の福祉、私人間効力等）を学ぶ。			
5回	テーマ	人権各論1：包括的基本権	講義　演習	（予習）「新しい人権」に関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	幸福追求権や新しい人権（プライバシー権、自己決定権等）の意義、内容、限界を学ぶ。			
6回	テーマ	人権各論2：法の下の平等	講義　演習	（予習）「法の下の平等」に関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	法の下の平等の意義、内容、限界を学ぶ。			
7回	テーマ	人権各論3：精神的自由権①	講義　演習	（予習）「思想・良心の自由、信教の自由」に関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読　※次回に向けて「レポートワークシート①」を作成する	60
	内容	思想・良心の自由、信教の自由について、意義、内容、限界を学ぶ。			
8回	テーマ	人権各論4：精神的自由権②、レポート作業1：	講義　演習	（予習）「表現の自由、学問の自由」に関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読　※次回に向けて「レポートワークシート②」を作成する。	60
	内容	人権各論4 表現の自由、学問の自由について、意義、内容、限界を学ぶ。レポート作業1 「レポートワークシート①」を持参し、グループ内で発表する。			
9回	テーマ	人権各論5：経済的自由権、レポート作業2	講義　演習	（予習）「職業選択の自由」に関する宿題シートを行う。（復習復習シートを行う。配布資料の再読　※次回に向けて「レポートワークシート③（レポート下書き）」を作成する。2部印刷して次回授業で持参。	60
	内容	人権各論5 職業選択の自由、居住・移転の自由、財産権について、意義、内容、限界を学ぶ。 レポート作業2 「レポートワークシート②」をグループ内で発表する。全体の流れ、調査内容の過不足、わかりやすさ（論理性、文章など）、参考文献の書き方などを確認する。			
10回	テーマ	レポート作業3	演習	※次回に向けて「レポート完成版」を作成する。次回印刷して提出する。	60
	内容	「レポートワークシート③（レポート下書き）」をグループ内で発表する。全体の流れ、調査内容の過不足、わかりやすさ（論理性、文章など）、参考文献の書き方などを相互に検討する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人権各論6:参政権・社会権	講義 演習	（予習）「選挙権、教育を受ける権利」に関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	選挙権等の参政権及び生存権・教育を受ける権利等の社会権について、意義、内容、限界を学ぶ。			
12回	テーマ	統治1:国会	講義 演習	（予習）統治の仕組みに関する宿題を行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	権力分立制の歴史と意義、日本国憲法における三権の位置付けを把握する。また、国会の地位（国民の代表機関・国権の最高機関・唯一の立法機関）を学ぶ。			
13回	テーマ	統治2:内閣	講義 演習	（予習）統治の仕組みに関する宿題シートを行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読	60
	内容	行政権の概念、内閣の組織と権能、議院内閣制等を学ぶ。			
14回	テーマ	統治3:裁判所	講義 演習	（予習）統治の仕組みに関する宿題を行う。（復習）復習シートを行う。配布資料の再読 ※ポートフォリオ「科目到達度レポート」を入力し、印刷して第15回に提出	60
	内容	司法権の概念、裁判所の組織と権能、司法権の独立や違憲審査制等を学ぶ。			
15回	テーマ	期末試験 まとめ	講義 演習	（予習）これまでの授業内容を総復習しておく。 ※ポートフォリオ「科目到達度レポート」の提出	60
	内容	期末試験 解説 全体のまとめ			

科目名	技術者倫理（３機）	開講学年	3	講義コード	2124301	区分	選択/応用微生物工学科必
英文表記	Engineering Ethics	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	鈴木俊洋						
研究室	本館309			オフィスアワー	授業で指示する		
メールアドレス	t-suzuki@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	組織における科学技術者　社会における科学技術者　専門職としての科学技術者　倫理的判断形成　　科学技術者と環境						

授業概要	関連科目
1. 科学技術の専門家になるということがいかなることかを理解し、科学技術者として実社会で出会う可能性のある倫理的問題に対処する方法を学ぶ。　2. 方法論や諸概念の把握と並行して、具体的事例に即して、倫理的判断形成の実践的練習を行う。　3. 授業内でのディスカッションを通じて倫理的問題の討論の練習を行う。　★提出課題（時事ワークシート等）については、課題提出の次の週などに適宜解説を行う。	科学・技術・社会に関係する諸科目

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A3	A3	A3
JABEE基準	b	b	b,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
b	①	倫理的判断がいかなるものかを文章で説明することができる
b	②	セブンステップガイドにそって倫理的判断を実践することができる
b	③	「予防原則」という概念について文章で適切に説明することができる
b	④	科学技術における「安全」の意義を文章で説明することができる
b	⑤	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	24	40	0	0	10	26	100

教科書	指定しない
参考書	本質から考え行動する科学技術者倫理　白桃書房　金沢工業大学・科学技術応用倫理研究所編　9784561256991 理系のための科学技術者倫理　丸善出版　直江清隆・盛永審一郎編　9784621089460 技術の道徳化: 事物の道徳性を理解し設計する　法政大学出版局　フェルベーク著　9784588010330

予備知識	1. 科学技術の関わる社会的問題について興味を持っていること（日常生活の中で、新聞や報道番組などを通じて知識を深めておくこと） 2. ディスカッションにおいて自らの意見を述べる姿勢を持っていること 3. 他者の意見を聞き、それについて質問をする姿勢を持っていること 4. 倫理的問題を自らの問題として考えようとする姿勢を持っていること
DP との 関連	科学技術者倫理の諸問題の学習や実践的思考練習を通して、専門職として社会や組織の中で働くための能力を身に着けることを目的とする本授業は、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)のうちで、特に、「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応力」を身につけ、実践できる能力の育成を図ることに関連する。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.小テスト:期末に論述形式の確認テストを実施する 24点　2.レポート(期末レポート):期末に授業全体に関するレポートを提出する 20点　A4用紙1枚片面、表紙不要 フォーマット(1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1.000文字以上　3.レポート(事例考察シート):事例考察シート(授業内で配布する様式に記入して提出)を計4回提出 5点×4回 20点　4.その他:リアクションペーパー:初回と最終回以外の各回の授業終了時に授業内容についての質問・疑問・感想・コメント・考えたことなどを記述したリアクションペーパーを提出 2点×13回 26点　5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点　①【学生の到達度目標】の項目①～⑤の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出　②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1.重要な事務的連絡や告知は授業冒頭で行うので授業には遅刻しないこと。（遅刻は授業開始後20分までとし以後は欠席とする。） 2.複数回でひとまとまりのテーマを扱う場合もあるので、やむをえず授業に欠席した場合には、教員や友人から情報を得るなどして、欠席した回に行われたことを把握するようにつとめること。 3.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。但し公認欠席の場合は別途指示する。 4.私語は厳禁であるが、授業内で扱われているテーマについて意見を述べることは歓迎する。その場で述べられなかったことは、リアクションペーパーに書いてもらえれば、次の回の授業で対応する。 5.お茶・水以外飲食は不可。 6.授業中にスライド・黒板の内容を写真撮影することは禁止する。（事情がある場合は適宜別途指示する。） 7.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義	シラバスを読む 授業で扱った内容について理解を深める	30 60
	内容	科学技術者倫理とは何か。なぜ必要なのか。どのように授業を進めるか。			
2回	テーマ	科学技術と倫理	講義 演習	科学技術が関わる倫理的問題について考える 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	技術と倫理の関係 倫理的判断とは何か リアクションペーパーの作成			
3回	テーマ	倫理的判断形成	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	セブンステップガイドの説明と練習 リアクションペーパーの作成			
4回	テーマ	組織の中の科学技術者①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
5回	テーマ	組織の中の科学技術者②	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
6回	テーマ	科学技術専門知と安全性	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート②として第9回授業で提出）	60 60
	内容	「安全」とは何か 安全の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート①の解説			
7回	テーマ	公益通報（内部告発）	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート②として第9回授業で提出）	60 60
	内容	公益通報（内部告発）についての説明 事例による判断練習とディスカッション リアクションペーパー作成			
8回	テーマ	科学技術者と倫理規定	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート②として第9回授業で提出）	60 60
	内容	専門職としての科学技術者 倫理規定についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
9回	テーマ	科学技術者と環境	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート③として第12回授業で提出）	60 60
	内容	「環境」とは何か 環境の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート②の解説			
10回	テーマ	パターナリズムとインフォームド・コンセント	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート③として第12回授業で提出）	60 60
	内容	科学技術のパターナリズムとインフォームド・コンセント 事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	科学技術者とグローバル化	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート③として第12回授業で提出）	60 60
	内容	「グローバル化」の諸相 グローバル化に関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
12回	テーマ	総合的な事例の考察①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート④として第14回授業で提出）	60 60
	内容	総合的な事例についての動画を視聴 事例の分析とディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート③の解説			
13回	テーマ	総合的な事例の考察②	講義 演習	授業で扱った事例の考察（事例考察シート④として第14回授業で提出） 期末レポートの作成	60 60
	内容	事例の分析とディスカッション 倫理的な判断の提示の練習 リアクションペーパー作成			
14回	テーマ	よりよき科学技術社会のために	講義 演習	授業内容の理解を深める 到達度評価レポートの作成 期末レポートの作成	30 30 60
	内容	いかなる科学技術者になるか どのように科学技術と付き合っていくか リアクションペーパー作成 事例考察シート④の解説			
15回	テーマ	まとめ 確認テスト	講義 演習	授業全体をまとめて復習する	60
	内容	確認テスト（30分） 確認テストの解説 全体のまとめ			

科目名	技術者倫理◎（３微）	開講学年	3	講義コード	2124601	区分	選択/応用微生物工学科必
英文表記	Engineering Ethics	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	鈴木俊洋

研究室	本館309	オフィスアワー	授業で指示する

メールアドレス	t-suzuki@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	組織における科学技術者　社会における科学技術者　専門職としての科学技術者　倫理的判断形成　　科学技術者と環境

授業概要	1. 科学技術の専門家になるということがいかなることかを理解し、科学技術者として実社会で出会う可能性のある倫理的問題に対処する方法を学ぶ。　2. 方法論や諸概念の把握と並行して、具体的事例に即して、倫理的判断形成の実践的練習を行う。　3. 授業内でのディスカッションを通じて倫理的問題の討論の練習を行う。　★提出課題（時事ワークシート等）については、課題提出の次の週などに適宜解説を行う。

関連科目
科学・技術・社会に関係する諸科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A3	A3
	JABEE基準		b	b	b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
b	①	倫理的判断がいかなるものかを文章で説明することができる
b	②	セブンステップガイドにそって倫理的判断を実践することができる
b	③	「予防原則」という概念について文章で適切に説明することができる
b	④	科学技術における「安全」の意義を文章で説明することができる
b	⑤	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	24	40	0	0	10	26	100

教科書	指定しない

参考書	本質から考え行動する科学技術者倫理　白桃書房　金沢工業大学・科学技術応用倫理研究所編　9784561256991 理系のための科学技術者倫理　丸善出版　直江清隆・盛永審一郎編　9784621089460 技術の道徳化: 事物の道徳性を理解し設計する　法政大学出版局　フェルベーク著　9784588010330

予備知識	1. 科学技術の関わる社会的問題について興味を持っていること（日常生活の中で、新聞や報道番組などを通じて知識を深めておくこと） 2. ディスカッションにおいて自らの意見を述べる姿勢を持っていること 3. 他者の意見を聞き、それについて質問をする姿勢を持っていること 4. 倫理的問題を自らの問題として考えようとする姿勢を持っていること
DP との 関連	科学技術者倫理の諸問題の学習や実践的思考練習を通して、専門職として社会や組織の中で働くための能力を身に着けることを目的とする本授業は、本学DP(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)のうちで、特に、「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応力」を身につけ、実践できる能力の育成を図ることに関連する。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.小テスト:期末に論述形式の確認テストを実施する 24点　2.レポート(期末レポート):期末に授業全体に関するレポートを提出する 20点　A4用紙1枚片面、表紙不要 フォーマット(1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1.000文字以上　3.レポート(事例考察シート):事例考察シート(授業内で配布する様式に記入して提出)を計4回提出 5点×4回 20点　4.その他:リアクションペーパー:初回と最終回以外の各回の授業終了時に授業内容についての質問・疑問・感想・コメント・考えたことなどを記述したリアクションペーパーを提出 2点×13回 26点　5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点　①【学生の到達度目標】の項目①～⑤の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出　②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1.重要な事務的連絡や告知は授業冒頭で行うので授業には遅刻しないこと。（遅刻は授業開始後20分までとし以後は欠席とする。） 2.複数回でひとまとまりのテーマを扱う場合もあるので、やむをえず授業に欠席した場合には、教員や友人から情報を得るなどして、欠席した回に行われたことを把握するようにつとめること。 3.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。但し公認欠席の場合は別途指示する。 4.私語は厳禁であるが、授業内で扱われているテーマについて意見を述べることは歓迎する。その場で述べられなかったことは、リアクションペーパーに書いてもらえれば、次の回の授業で対応する。 5.お茶・水以外飲食は不可。 6.授業中にスライド・黒板の内容を写真撮影することは禁止する。（事情がある場合は適宜別途指示する。） 7.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義	シラバスを読む 授業で扱った内容について理解を深める	30 60
	内容	科学技術者倫理とは何か。なぜ必要なのか。どのように授業を進めるか。			
2回	テーマ	科学技術と倫理	講義 演習	科学技術が関わる倫理的問題について考える 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	技術と倫理の関係 倫理的判断とは何か リアクションペーパーの作成			
3回	テーマ	倫理的判断形成	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	セブンステップガイドの説明と練習 リアクションペーパーの作成			
4回	テーマ	組織の中の科学技術者①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
5回	テーマ	組織の中の科学技術者②	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
6回	テーマ	科学技術専門知と安全性	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート②として第9回授業で提出）	60 60
	内容	「安全」とは何か 安全の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート①の解説			
7回	テーマ	公益通報（内部告発）	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート②として第9回授業で提出）	60 60
	内容	公益通報（内部告発）についての説明 事例による判断練習とディスカッション リアクションペーパー作成			
8回	テーマ	科学技術者と倫理規定	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート②として第9回授業で提出）	60 60
	内容	専門職としての科学技術者 倫理規定についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
9回	テーマ	科学技術者と環境	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート③として第12回授業で提出）	60 60
	内容	「環境」とは何か 環境の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート②の解説			
10回	テーマ	パターナリズムとインフォームド・コンセント	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート③として第12回授業で提出）	60 60
	内容	科学技術のパターナリズムとインフォームド・コンセント 事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	科学技術者とグローバル化	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート③として第12回授業で提出）	60 60
	内容	「グローバル化」の諸相 グローバル化に関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
12回	テーマ	総合的な事例の考察①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察（事例考察シート④として第14回授業で提出）	60 60
	内容	総合的な事例についての動画を視聴 事例の分析とディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート③の解説			
13回	テーマ	総合的な事例の考察②	講義 演習	授業で扱った事例の考察（事例考察シート④として第14回授業で提出） 期末レポートの作成	60 60
	内容	事例の分析とディスカッション 倫理的な判断の提示の練習 リアクションペーパー作成			
14回	テーマ	よりよき科学技術社会のために	講義 演習	授業内容の理解を深める 到達度評価レポートの作成 期末レポートの作成	30 30 60
	内容	いかなる科学技術者になるか どのように科学技術と付き合っていくか リアクションペーパー作成 事例考察シート④の解説			
15回	テーマ	まとめ 確認テスト	講義 演習	授業全体をまとめて復習する	60
	内容	確認テスト（30分） 確認テストの解説 全体のまとめ			

科目名	政治学Ⅰ（３機ナ建宇情微生）後期	開講学年	3	講義コード	2124901	区分	選必
英文表記	Political Science I	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	今井亮佑

研究室	本館310	オフィスアワー	初回講義で示します

メールアドレス	@

キーワード	政治　選挙　熟議

授業概要	(1)政治の基本的な仕組みを理解してもらいます 18歳になれば選挙権を得て、一人の有権者として政治と関わることになります。しかし、政治の仕組みがわかっていなければ、折角得た選挙権を有効に行使することができません。そこで本講義を通じて、一般教養として、政治の仕組みに関する基本的理解を深めてもらいます。 (2)政治に関する論点について、自分なりに考えてもらいます 政治とは、正解のない営みです。 一つの問題に対する色々な立場・考え方が存在します。 本講義では、政治に関する諸論点に対する、複数の見方を提示します。 受講生の皆さんには、講義内容をもとに、関連する情報を自ら収集・処理することで、論点に対する自分なりの考えをまとめてもらいます。 (3)他の受講生と「熟議」してもらいます この講義の中では、他の受講生との熟議(意見交換)をしてもらう機会を設けます。 予め示した論点について、自分なりの考えをまとめてきてもらい、少人数のグループでその考えをぶつけ合ってもらいます。 価値観や意見の異なる人たちで一つの論点について議論することで、多面的な視点を獲得するとともに、コミュニケーション・スキルを磨いてもらうのがその目的です。

関連科目

基礎科目:キャリア基礎I、キャリア基礎II

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	政治に関する論点について多面的に考える能力とその素養を身に付けることができる。
f	②	自身の考えを論理的に記述する力を養うことができる。
f	③	他の受講生との討議を通じて、コミュニケーション能力を磨くことができる。
g	④	自主的、継続的に学習する習慣を身に付けることができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑥	

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	75	0	0	10	15	100

教科書	

参考書	

予備知識	■受講にあたり、予備知識は必要としませんが、政治を学びたいという積極的な意欲は持って下さい。 ■政治は絶えず動いています。その動きをフォローするために、日々新聞に目を通すようにして下さい。
DP との 関連	講義の中で、政治的問題に対する自身の立場を根拠付けて論じる機会を多く設けます。それを通じて、本学DPに挙げられている基礎的・汎用的能力である、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」を身に付け、それらを実践できるようにします。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.リアクションペーパー（4回、計20点） ○4回の講義では、扱うテーマに関連する論点を提示します。それについて、自分の考えを根拠も含めて記述したものを、次週の講義の前日までに提出してもらいます。 ※提出の2週間後までをめどに、気づいた点、改善すべき点をフィードバックします。 2.リサーチペーパー①・②・③（①②各17点、③21点、計55点） ○講義で取り上げるテーマに関連する論点について、受講生の間で（5～6名程度の小グループで）熟議（意見交換）してもらう機会を三度設けます。 ○熟議のテーマとされた論点について、 ・講義を受けた時点でどのように考えていたか ・どのようなソースから、どのような情報を入手したか ・熟議の場で、他の受講生からどのような意見が出されたか ・それを聞いて、自身の考えはどのような影響を受けたか ・最終的に、どのような考えに至ったか を、根拠も含めて論理的に記述してもらいます（各2000字以上）。 ※提出の2週間後までをめどに、気づいた点、改善すべき点をフィードバックします。 3.意見交換への貢献度（各5点、計15点） ○意見交換の際、有益な考え方を出せたかどうか、グループの他のメンバーに評価してもらいます。 4. ポートフォリオ:「学修到達度レポート」（10点） ・【学生の到達度目標】の項目①～④の達成度とその理由を各200～250文字で入力してもらいます。 ☆いずれも、詳細は講義の中で説明します。

学修上の注意 (SBOs)	■受講マナーは必ず守って下さい。・私語厳禁です。・講義中は携帯電話／スマートフォンをマナーモードに設定の上、鞄の中にしまってもらいます。☆携帯電話／スマートフォンを操作しているのを発見次第退出を命じ、以後の授業出席を認めません。■授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とします。■リサーチペーパーは、提出期限（初回講義時に明示）を厳守してください。期限後に出されても一切受け取りません。■再試験等は一切行いません。■リサーチペーパーの執筆に際し、コピー＆ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）を行った場合は、不正行為とみなし、単位を認定しません。■私が話す内容、黒板やパワーポイントに示す内容の中から、重要だと思う点を抽出・要約してノートにメモするというスキルを身に付けて下さい。■講義内容が理解できなかった場合は、遠慮なく質問して下さい（講義中／講義後でも、オフィスアワーでも構いません）。■新聞やテレビニュースを通じて、日々の政治の動きに興味を持つようにして下さい。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	（復習）ガイダンスでの説明事項についてよく頭に入れる。	30
	内容	授業概要や受講時の注意事項等を説明する。			
2回	テーマ	日本政治の争点①：外交・安全保障	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の安全保障、日米同盟の歴史的背景について講じる。			
3回	テーマ	日本政治の争点②：経済・福祉	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	経済政策や福祉政策に関する諸論点について講じる。			
4回	テーマ	政治の仕組み：政策過程①	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	どのような過程を経て政策が作られるのか、日本型の政策決定の特徴について講じる。			
5回	テーマ	政治の仕組み：政策過程②	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。（予習）次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	日本型の政策決定の功罪や、近年の変化について講じる。			
6回	テーマ	熟議①	演習	（復習）熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議（意見交換）してもらう（SGD）。			
7回	テーマ	政治の仕組み：選挙制度①	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	選挙制度を類型化し、それぞれの特徴について説明する。また、衆参両院の選挙制度の特徴や、制度改革の背景などについて講じる。			
8回	テーマ	政治の仕組み：選挙制度②	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の現行の選挙制度にまつわる論点や、いわゆる「一票の格差」の問題について講じる。			
9回	テーマ	政治の仕組み：行政制度	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	日本の行政機構の改革の概要と、それがもたらした影響について講じる。			
10回	テーマ	政治のアクター：政党	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	政党の果たす機能や日本の政党の特徴について講じる。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	政治のアクター:政治家	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。（予習）次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	なぜ、どのような人が政治家を目指すのか、政治家の実態はどのようなものかについて講じる。			
12回	テーマ	熟議②	演習	（復習）熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議（意見交換）してもらう（SGD）。			
13回	テーマ	政治のアクター:有権者①	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。	30
	内容	なぜ人は選挙で投票／棄権するのか、人は何を判断基準に投票する政党や候補者を選ぶのかについて講じる。			
14回	テーマ	政治のアクター:有権者②	講義	（復習）講義内容を復習した上で、講義で示された論点に対して、自分なりに考えてみる。（予習）次週の熟議に向けて、論点に関する情報を信頼できるソースから集め、自分の考えをまとめる。	120
	内容	若年層の投票率が低いのは問題か、投票率を上げるにはどうすればよいのかについて講じる。			
15回	テーマ	熟議②	演習	（復習）熟議の結果を踏まえて、リサーチペーパーを執筆する。 学修到達度レポートを執筆し、授業アンケートに回答する。	180
	内容	講義で示した論点について、小グループで熟議（意見交換）してもらう（SGD）。			

科目名	哲学の出発点（３機ナ建宇情微生）後期	開講学年	3	講義コード	2125301	区分	選必
英文表記	Starting point in philosophy	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	清水俊（非常勤）						
研究室	本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後の非常勤講師控室				
メールアドレス	shimizuep@bloom.ocn.ne.jp						
キーワード	哲学　倫理学　クリティカル・シンキング						

授業概要	関連科目	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
『哲学ってどんなこと?』を参照しながら、様々な対象について哲学的に考えていく訓練をします。存在そのものから人生の意味まで、多くの対象を哲学的にとらえることにより、「自ら考える」力を養ってくことになります。教科書を読んで予習し、授業内容について家庭でも考察してください。 12回目の授業中に、中間テストの結果を学生にフィードバックする。					
教職関連区分	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	あらゆる事柄を、多様な視点から考える能力を身に付けることができる。
f	②	自らの考えを的確に表明し、論述する能力を身に付けることができる。
g	③	常に哲学的な問題意識を持ち続け、自主的に対象を考察することができるようになる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	0	0	60	0	0	10	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	教科書においてわからない単語などあれば、予習の段階で辞書などで調べてみること。
DP との 関連	哲学を学ぶことを通じて、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.リサーチペーパー（30点） 指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているか、参考文献をきちんと読み解けているかを評価。 2.ポートフォリオ（10点） 到達度評価レポート。【学生の到達目標】と項目①～③の達成度とその理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出。 規定に従って書けているかで評価。 3.期末レポート（60点） 指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているかを評価。

学修上の注意 (SBOs)	教科書の講義に関連する箇所を、必ず事前に読んでおくこと。授業中のレポートに関する指示などは聞き逃さないようにし、必要な事柄は必ず書きとどめておくこと。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	哲学にできること	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。	
	内容	哲学を学ぶにあたって必要な事柄の解説 哲学的な問いを立ててみる ポートフォリオ・リサーチペーパーの作成要領			
2回	テーマ	はじめに 哲学の入り口	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	哲学が対象とすることについての考察 問いについてのディスカッション レポートの作成要領			
3回	テーマ	何かを知ること	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	私たちはどうやって何かを知るのかの考察 問いについてのディスカッション リサーチペーパー作成に必要な参照文献の探し方概要			
4回	テーマ	他人の心	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	他人の心を知るとはどのようなことかについての考察 問いについてのディスカッション			
5回	テーマ	心-身問題	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	心と体の関係についての考察 問いについてのディスカッション			
6回	テーマ	ことばの意味	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 リサーチペーパーの作成	
	内容	言葉と意味の関係はどのようになっているのかについての考察 問いについてのディスカッション リサーチペーパーの課題発表			
7回	テーマ	自由意志	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	私たちの意志は自由なのか、自由とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
8回	テーマ	正しいことと不正なこと	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	正や不正とは何なのか、倫理とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
9回	テーマ	正義	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	正義のために何をなすべきなのか、正義とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
10回	テーマ	死	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	死とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人生の意味	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	人生の意味とは何か、人生とは何かについての考察 問いについてのディスカッション 教科書のまとめ 期末レポートの課題発表・作成概要			
12回	テーマ	時間	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 期末レポートの作成	
	内容	時間について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
13回	テーマ	愛	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 期末レポートの作成	
	内容	様々な愛について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
14回	テーマ	大人と子供	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 ポートフォリオ（到達度レポート）の作成・授業アンケートの入力	
	内容	大人と子供について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
15回	テーマ	その他の哲学的テーマ	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	
	内容	様々なテーマについて哲学的に考察 問いについてディスカッション			

科目名	現代の社会と経済Ⅰ（３機ナ建宇情微生）後期	開講学年	3	講義コード	2125701	区分	選必
英文表記	Modem Soeiey and Economy	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	徳永 洋(非常勤)

研究室	教務課前 非常勤講師室	オフィスアワー	授業後の非常勤講師室

メールアドレス	asonohana 1592@gmail.com

キーワード	①社会　②経済　③金融　④経済効果　⑤歴史

授業概要	1.現代の社会と経済の基礎などについて幅広く学び基本的な知識を身につける。 2.現代の社会と経済を見るうえで重要であるので、真剣な学習への取り組みを期待する。 3.自分の選んだテーマについて調査するなどして、レポート(課題研究)としてまとめること。

関連科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			afg	afg

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	多面的に物事を考える能力を身につけることができる。
f	②	論理的な記述力を養うことがてきる。
g	③	自主的に学習する習慣を身につけることができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	60	0	30	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	受講にあたり予備知識は必要としませんが、社会と経済を学びたい意欲は持って下さい。
DP との 関連	1.本学DPの理解と基礎的な実践を行い、専門科目との接続をはかる 2.自主的、継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける 3.自身の考え方を論理的にまとめ、他者に伝えるために必要となる基礎的能力（文章作成能力）を身につける 4.一定の制約下で個人で計画的に課題に取り組み、解決する能力を身につける
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.レポート(課題研究) 30点 2.定期試験 60点 3.「到達度評価ポートフォリオ」 10点 (上記「学生の到達度目標」の項目①から③の達成度と、その理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出して下さい)

学修上の注意 (SBOs)	1.私が話す内容やホワイトボードに書いた内容の中で、重要と思う点をノートなどにメモするというスキルを身につけて下さい。　2.新聞やテレビニュースなどを通じて、日々の社会と経済の動きに興味を持つようにして下さい。　3.レポート(課題研究)については、本学図書館や県立図書館などで資料を収集し、それらをもとにして、まとめること。なお、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。　4.授業開始30分を超えた遅刻は、欠席扱いとするので注意すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	あなたの知らない「お金のはなし」その1　オリエンテーション1	講義 演習	【復習】講義内容の復習	15
	内容	①お札の一生 ②日銀の機能 ③シラバスの説明			
2回	テーマ	あなたの知らない「お金のはなし」その2　オリエンテーション2	講義 演習	【予習】日本のコインついて調べておく　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①小判の話 ②コインの一生 ③レポートの作成方法			
3回	テーマ	商業道徳～信頼される会社の条件	講義 演習	【予習】日本の商業道徳の概要を調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①会社は誰のものか ②日本でいちばん大切にしたい会社 ③ポートフォリオの作成			
4回	テーマ	商業道徳とその変遷～禁欲から強欲へ	講義	【予習】現代日本の商業道徳について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①日本とアメリカの商業道徳 ②資本主義はどのように変質したか ③企業事件の概要			
5回	テーマ	企業の盛衰を左右する危機管理力	講義 演習	【予習】危機管理力の概念について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①失敗学とは ②ハインリッヒの法則 ③危機管理の成功例と失敗例 ④講義3回～5回を受講して各自の企業イメージの変化はあるか			
6回	テーマ	グローバル化とその影響	講義	【予習】経済グローバル化について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①経済のグローバル化とは ②外国為替相場と物価 ③BRICSとG7、G20			
7回	テーマ	農業と食料～日本と世界の食と農の姿	講義	【予習】日本の食料事情について調べておく【復習】講義内容の復習	30
	内容	①世界と日本の農業の姿 ②自由貿易論とTPP ③企業の農業分野への参入			
8回	テーマ	地球温暖化の現状認識 ・レポート(課題研究)作成の方法について説明	講義 演習	【予習】日本の温暖化の現状について調べておく【復習】講義内容の復習・課題研究の準備	30
	内容	①世界と日本の異常気象 ②地球温暖化について ③IPCCについて④レポート(課題研究)の具体的ナ作成方法			
9回	テーマ	地球温暖化回避への取り組み	講義	【予習】日本の温暖化回避への取り組みを調べておく【復習】講義内容の復習・課題研究の準備	30
	内容	①省エネへの取り組みと課題 ②原子力発電ほか			
10回	テーマ	20代で知っておきたいお金のこと	講義 演習	【予習】将来の生活設計について思い描いておく 【復習】講義内容の復習・課題研究の準備	30
	内容	①お金のリスク ②結婚とお金 ③老後とお金 ④あなたのお金に対する考え方は（考え・意見）			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	AKB48の経済効果ほか	講義	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①経済効果ってなんだろう ②AKB48と吉本興業の経済効果			
12回	テーマ	くまモンの経済効果	講義	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①くまモンの経済効果算出方法 ②くまモンの活動について			
13回	テーマ	どういう社会を築くか、どういう生き方を選ぶか	講義 習演	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習	30
	内容	①幸せの経済学 ②ソーシャル・ビジネスについて ③ブータンの国民総幸福量 ④あなたの李蒼とする日本の社会とは（考え・意見）			
14回	テーマ	20世紀はどんな世紀であったか	講義 習演	【予習】課題研究　【復習】講義内容の復習・レポート(課題研究)作成と「到達度評価ポートフォリオ」の作成とそれぞれのプリントアウト	30
	内容	①国民国家の成立と危機 ②ソ連の成立と崩壊 ③なぜ欧米は世界の覇者となったのか ④レポート・ポートフォリオの作成について			
15回	テーマ	全体のまとめと「定期試験」および提出物	講義 習演		
	内容	経済社会史1から14のまとめと「定期試験」およびレポート(課題研究)と「到達度評価ポートフォリオ」の提出			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎①（テニス）（１機建）	開講学年	1	講義コード	2132101	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）	授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ：ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け 内容：履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	６０
2回	テーマ：コース別活動 内容：グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
3回	テーマ：基本スキル習得 内容：各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
4回	テーマ：基本スキルの応用 内容：前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
5回	テーマ：戦術の習得 内容：戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
6回	テーマ：実戦への応用 内容：第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
7回	テーマ：ゲーム理論習得 内容：試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
8回	テーマ：スキルの向上 内容：VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
9回	テーマ：スキル習得活動 内容：スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	６０
10回	テーマ：体力測定 健康度・生活習慣調査 内容：文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	６０

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎②（サッカー）（１機建）	開講学年	1	講義コード	2132102	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト） 30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	６０
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	６０
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	６０
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎③（バドミントン）（１機建）	開講学年 1	講義コード 2132103	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	６０
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	６０
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	６０
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎④（卓球）（１機建）	開講学年	1	講義コード	2132104	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	６０
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	６０
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	６０
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎①（テニス）（１ナ微）	開講学年	1	講義コード	2132201	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎②（サッカー）（１ナ微）	開講学年 1	講義コード 2132202	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要	本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目
健康科学概論

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	バドミントン　西東社　銭谷欽治 卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会 見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修 サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト） 30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	６０
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	６０
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	６０
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎③（バドミントン）（１ナ微）	開講学年	1	講義コード	2132203	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎④（卓球）（１ナ微）	開講学年	1	講義コード	2132204	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	６０
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	６０
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	６０
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎①（テニス）（１宇生）	開講学年	1	講義コード	2132301	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎②（サッカー）（１宇生）	開講学年 1	講義コード 2132302	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要	本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目
健康科学概論

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	バドミントン　西東社　銭谷欽治 卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会 見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修 サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト） 30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎③（バドミントン）（１宇生）	開講学年 1	講義コード 2132303	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	６０
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	６０
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	６０
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎④（卓球）（１宇生）	開講学年 1	講義コード 2132304	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	６０
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	６０
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	６０
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎①（テニス）（１情）	開講学年 1	講義コード 2132401	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）			
研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー 火曜日3，4限		
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp			
キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法			

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎②（サッカー）（１情）	開講学年	1	講義コード	2132402	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト） 30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎③（バドミントン）（１情）	開講学年 1	講義コード 2132403	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 1
担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）			
研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー 火曜日3，4限		
メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp			
キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法			

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え､トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は､不正行為とみなされます 6.3密を避け､運動前後の手洗い消毒必須､必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル､飲料などすべて各自で準備し､使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	６０
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	６０
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	６０
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎④（卓球）（１情）	開講学年	1	講義コード	2132404	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要	本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目
健康科学概論

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準		f, g, i	f, g, i	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	バドミントン　西東社　銭谷欽治 卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会 見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修 サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト） 30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	６０
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	６０
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	６０
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎①（テニス）（１美デ薬）	開講学年	1	講義コード	2132501	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎②（サッカー）（１美デ薬）	開講学年 1	講義コード 2132502	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト） 30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	６０
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	６０
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	６０
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	６０
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎③（バドミントン）（１美デ薬）	開講学年	1	講義コード	2132503	区分	選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト）30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 対抗戦活動2 内容 第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
12回	テーマ 対抗戦活動3 内容 第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
13回	テーマ 対抗戦活動4 内容 第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
14回	テーマ スキルテスト 内容 種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
15回	テーマ フィードバック及びまとめ 内容 健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	60

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎④（卓球）（１美デ薬）	開講学年 1	講義コード 2132504	区分 選択／必修
英文表記	Health Sports Educational Ⅱ	開講期 後期	開講形態	単位数 1

担当教員	阪本達也（実務経験）　増村雅尚（実務経験）　水月晃　藤原大樹　　入部祐郁（非常勤）

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日3，4限

メールアドレス	tsakamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。また、体力測定及び健康度・生活習慣調査を行い生活状況・体力・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そもそも礼儀作法とは、挨拶が基本であり、挨拶とは「心を開いて相手に迫る」という意味がある。その為、挨拶は相手とコミュニケーションを取る為の最も有効な手段となる。まずは相手を敬い自分を律する（自制心）心こそ人間的成長を促し、大人としての立ち居振る舞いができるようになると考えられる。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。【授業方法】 スポーツ種目として、主に武道、個人・小集団スポーツ設定し（施設の関係上調整有）、種目の自由選択により実施する。個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。健康度・生活習慣調査及び体力測定を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行い、結果は15回目の授業においてフィードバックをする。人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。 ≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本について ②「日本の伝統的な礼儀・作法」について ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」について ④「敬語・接客」について ⑤「身だしなみ」について ≪Ⅳ武士道≫ ①義、②勇、③仁、④礼、⑤誠、⑥名誉、⑦忠義

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動の中で健康・体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	実社会で必要となる礼儀作法の習得を図り、実践することができる。（人間性向上プログラムⅢ①～⑤、Ⅳ①～⑦）
f,g,h,i	③	スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書

参考書

バドミントン　西東社　銭谷欽治
卓球基礎コーチング教本　大修館書店　日本卓球協会
見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト） 30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 6.3密を避け、運動前後の手洗い消毒必須、必要以上の身体接触を避ける。 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさない。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。 人間性向上プログラムⅢ①			
3回	テーマ	基本スキル習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本スキルの把握。 人間性向上プログラムⅢ②			
4回	テーマ	基本スキルの応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ③			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ④			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅣ①			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ②			
9回	テーマ	スキル習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能、試合のルールについてレポートを作成し、次回授業時に提出。	60
	内容	スキル向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ③			
10回	テーマ	体力測定 健康度・生活習慣調査	実技	【予習】体力テストの意義について調べる。	60
	内容	文部科学省指定の体力測定を行う。さらに生活習慣・健康度調査を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑥			
14回	テーマ	スキルテスト	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	種目別スキルテスト。人間性向上プログラムⅣ⑦			
15回	テーマ	フィードバック及びまとめ	講義	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成（作成期限は1週間後の正午まで）	６０
	内容	健康度・生活習慣調査結果と体力テスト結果のフィードバック。全体、各コースでのまとめを行う。			

科目名	健康科学概論（１全学科）後期	開講学年 1	講義コード 2133101	区分 選択
英文表記	Health Science Theory	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	増村雅尚（実務経験）
研究室	保健体育棟 2階
オフィスアワー	火曜日の3，4限
メールアドレス	masumura@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	健康づくり　生活習慣　運動･身体活動　運動処方

授業概要

本学の教育理念は「体･徳･智」です。「体」を最初に掲げているのは、私達が自らの人生を豊かに幸せに過ごすための大きな要素として、「心と体の健康」があげられるからです。健康科学概論は、心と体の健康に関する知識および身体運動に関することを学び、科学的な思考態度を養い、生活設計を図る能力と自己管理能力を育成することを目的としています。具体的には、健康科学、身体運動学、運動生理学、生涯スポーツを領域とし、また、複雑多様化した現代社会への精神的な適応能力育成も視野に入れ、本講義と健康スポーツを組み合わせ、修得した理論をリサーチペーパーやミニッツペーパーにて自身へのフィードバックとするとともに、フィードバックを発表にて表現することにより、理論と実践が一体化した学習を行います。

関連科目

健康スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
a,g	①	健康の諸問題について、文章で説明（報告）することができる。
a,d	②	生活習慣形成の重要性を理解し、それを実践することができる。
a,d,g	③	健康と体力･運動（身体活動）の関連性を理解し、それを実践することができる。
a,d,h,i	④	健康に関するプレゼンテーションができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	0	20	30	10	0	10	0	100

教科書	授業の中で指示をする
参考書	健康増進科学概論　東京教学社　今村裕行他

予備知識	1.自己生活習慣の把握 2.健康の維持増進への意欲･関心 3.健康に関する諸課題
DP との 関連	本学DP(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的･汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)を理解し、実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験　2回行うので、15点×2＝30点 2.レポート　疑問点などを図書館等の健康関連の図書を活用し、リサーチペーパーを提出する。30点 （A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25mm、1000文字以上） 3.ミニッツペーパー　毎時の授業内容を確認し、ミニッツペーパーを作成する。2×10＝20点 4.成果発表　各グループに発表課題を与え、口頭発表を行ってもらう。10点 5.ポートフォリオ 「達成度評価ポートフォリオ」10点

学修上の注意 (SBOs)	1.時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.健康スポーツ教育Ⅰ・Ⅱとの関連性を理解してください。 3.講義ノートの積極的活用 4.講義関連質問先：担当教員研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます 講義に関する質問・相談等は、オフィスアワーなどを積極的に利用してください。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	校訓「体・徳・智」,健康とは	講義	【予習】シラバスを読み、授業内容の確認をする。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	健康とは,Quality of Life,平均寿命,健康寿命、我が国の健康課題			
2回	テーマ	我が国の健康づくり施策	講義	【予習】「我が国の健康づくり施策」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	健康日本21,身体活動基準2013 ,METs			
3回	テーマ	メタボリックシンドローム	講義	【予習】「メタボリックシンドローム」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	特定健康診断,内臓脂肪,高血圧症,糖尿病,脂肪異常症			
4回	テーマ	健康と体力	講義	【予習】「健康と体力」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	体力とは,健康と体力の関係,ライフステージによる体力の変化,ロコモティブシンドローム			
5回	テーマ	肥満と減量	講義	【予習】「肥満と減量」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	BMI,体組成,肥満の予防,ダイエット,低体重			
6回	テーマ	身体的健康と運動	講義	【予習】「身体的健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	エネルギー消費,骨格筋,身体的健康に及ぼす運動・身体活動の効果,不活動			
7回	テーマ	精神的健康と運動	演習，講義	【予習】「精神的健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。 健康に関するリサーチペーパーを作成する。	10 50
	内容	ストレス,ストレスと運動,運動が及ぼす脳への影響,精神的健康に及ぼす運動・身体活動の効果,中間テスト			
8回	テーマ	運動処方・トレーニング法	講義	【予習】「運動処方・トレーニング法」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	トレーニングの原理・原則,トレーニングの条件,ACSMの基本原則,有酸素運動,最大酸素摂取量,心拍予備能,レジスタンストレーニング,最大反復回数			
9回	テーマ	栄養	講義	【予習】「健康と栄養」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	食生活の現状,食事バランスガイド 成果発表のグループ分け			
10回	テーマ	飲酒・喫煙	講義	【予習】「健康と飲酒・喫煙」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	大量飲酒・イッキ飲みの健康に及ぼす影響,喫煙・受動喫煙が及ぼす健康被害			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	睡眠･休養	講義	【予習】「健康と睡眠･休養」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	体内時計,生活リズム			
12回	テーマ	薬物乱用の防止	講義	【予習】「健康と薬物乱用」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	薬物乱用とは,依存症､ドーピング			
13回	テーマ	健康実践1	演習	【予習】発表の準備 【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	成果発表1,AL, SGD			
14回	テーマ	健康実践2	演習	【予習】発表内容について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	成果発表2,AL, SGD			
15回	テーマ	まとめ	演習，講義	【予習】テスト範囲の内容を確認する。【復習】テスト内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。「到達度ポートフォリオ」の作成を行う。	50 10
	内容	中間テスト 総括			

科目名	健康科学概論（２全学科）後期	開講学年 1	講義コード 2134201	区分 選択
英文表記	Health Science Theory	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	藤原大樹

研究室	保健体育棟 2階	オフィスアワー	火曜日の3，4限

メールアドレス	hfujiwara@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	健康づくり　生活習慣　運動･身体活動　運動処方

授業概要	本学の教育理念は「体･徳･智」です。「体」を最初に掲げているのは、私達が自らの人生を豊かに幸せに過ごすための大きな要素として、「心と体の健康」があげられるからです。健康科学概論は、心と体の健康に関する知識および身体運動に関することを学び、科学的な思考態度を養い、生活設計を図る能力と自己管理能力を育成することを目的としています。具体的には、健康科学、身体運動学、運動生理学、生涯スポーツを領域とし、また、複雑多様化した現代社会への精神的な適応能力育成も視野に入れ、本講義と健康スポーツを組み合わせ、修得した理論をリサーチペーパーやミニッツペーパーにて自身へのフィードバックとするとともに、フィードバックを発表にて表現することにより、理論と実践が一体化した学習を行います。

関連科目
健康スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A4	A4
		JABEE基準		f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
a,g	①	健康の諸問題について、文章で説明（報告）することができる。
a,d	②	生活習慣形成の重要性を理解し、それを実践することができる。
a,d,g	③	健康と体力･運動（身体活動）の関連性を理解し、それを実践することができる。
a,d,h,i	④	健康に関するプレゼンテーションができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	0	20	30	10	0	10	0	100

教科書	授業の中で指示をする

参考書	健康増進科学概論　東京教学社　今村裕行他

予備知識	1.自己生活習慣の把握 2.健康の維持増進への意欲･関心 3.健康に関する諸課題
DP との 関連	本学DP(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的･汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの)を理解し、実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験　2回行うので、15点×2＝30点 2.レポート　疑問点などを図書館等の健康関連の図書を活用し、リサーチペーパーを提出する。30点 （A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25mm、1000文字以上） 3.ミニッツペーパー　毎時の授業内容を確認し、ミニッツペーパーを作成する。2×10＝20点 4.成果発表　各グループに発表課題を与え、口頭発表を行ってもらう。10点 5.ポートフォリオ 「達成度評価ポートフォリオ」10点

学修上の注意 (SBOs)	1.時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.健康スポーツ教育Ⅰ・Ⅱとの関連性を理解してください。 3.講義ノートの積極的活用 4.講義関連質問先：担当教員研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます 講義に関する質問・相談等は、オフィスアワーなどを積極的に利用してください。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	校訓「体・徳・智」,健康とは	講義	【予習】シラバスを読み、授業内容の確認をする。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	健康とは,Quality of Life,平均寿命,健康寿命、我が国の健康課題			
2回	テーマ	我が国の健康づくり施策	講義	【予習】「我が国の健康づくり施策」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	健康日本21,身体活動基準2013 ,METs			
3回	テーマ	メタボリックシンドローム	講義	【予習】「メタボリックシンドローム」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	特定健康診断,内臓脂肪,高血圧症,糖尿病,脂肪異常症			
4回	テーマ	健康と体力	講義	【予習】「健康と体力」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	体力とは,健康と体力の関係,ライフステージによる体力の変化,ロコモティブシンドローム			
5回	テーマ	肥満と減量	講義	【予習】「肥満と減量」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	BMI,体組成,肥満の予防,ダイエット,低体重			
6回	テーマ	身体的健康と運動	講義	【予習】「身体的健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	エネルギー消費,骨格筋,身体的健康に及ぼす運動・身体活動の効果,不活動			
7回	テーマ	精神的健康と運動	演習，講義	【予習】「精神的健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。 健康に関するリサーチペーパーを作成する。	10 50
	内容	ストレス,ストレスと運動,運動が及ぼす脳への影響,精神的健康に及ぼす運動・身体活動の効果,中間テスト			
8回	テーマ	運動処方・トレーニング法	講義	【予習】「運動処方・トレーニング法」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	トレーニングの原理・原則,トレーニングの条件,ACSMの基本原則,有酸素運動,最大酸素摂取量,心拍予備能,レジスタンストレーニング,最大反復回数			
9回	テーマ	栄養	講義	【予習】「健康と栄養」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	食生活の現状,食事バランスガイド 成果発表のグループ分け			
10回	テーマ	飲酒・喫煙	講義	【予習】「健康と飲酒・喫煙」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	大量飲酒・イッキ飲みの健康に及ぼす影響,喫煙・受動喫煙が及ぼす健康被害			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	睡眠･休養	講義	【予習】「健康と睡眠･休養」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	体内時計,生活リズム			
12回	テーマ	薬物乱用の防止	講義	【予習】「健康と薬物乱用」について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	薬物乱用とは,依存症､ドーピング			
13回	テーマ	健康実践1	演習	【予習】発表の準備 【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	成果発表1,AL, SGD			
14回	テーマ	健康実践2	演習	【予習】発表内容について調べる。【復習】授業内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。	10 50
	内容	成果発表2,AL, SGD			
15回	テーマ	まとめ	演習，講義	【予習】テスト範囲の内容を確認する。【復習】テスト内容を確認し、疑問点などを調べミニッツペーパーを作成し、提出する。「到達度ポートフォリオ」の作成を行う。	50 10
	内容	中間テスト 総括			

科目名	健康スポーツ実習（２年）後期	開講学年	2	講義コード	2135201	区分	選択
英文表記	Health Sports Practicum	開講期	前後期	開講形態		単位数	1

担当教員	水月晃　藤原大樹
研究室	保健体育棟 2階
オフィスアワー	火曜日の3，4限
メールアドレス	suigetsu@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④生活習慣　⑤礼儀･作法

授業概要

健康スポーツ実習では、個人スポーツ、また小集団スポーツ活動を通して,身体的な健康･体力の維持増進はもちろん、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康も維持増進させる知識と実践方法を体得し、生涯を通してスポーツや身体運動に親しむ習慣を獲得する。併せて、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることによって,「社会人基礎力」を習得する。内容は卓球･バドミントン･バスケットボール･タグラグビーの4種目のうち3種目行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通して、身体的健康･体力の維持増進の重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,i	②	スポーツ活動を通して、精神的健康を維持増進させる知識を獲得して、それを実践することができる。
f,g,h,i	③	スポーツや身体運動に親しむ習慣を獲得することができる。
f,g	④	スポーツ活動を通して、社会で通用する基礎的な力を身につけることができる
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	30	50	10	0	0	10	0	100

教科書	
参考書	アクティブスポーツ(総合版)　大修館書店　鈴木 一行

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
DP との 関連	本学DP（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの）のうち、人間関係形成・社会形成、自己理解・自己管理の能力、課題対応力を身につけ、実践できる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.毎回の反省・感想レポートで学習到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性）を評価し、グループ活動の評価を加味する。50点　2.選択種目における基本技術・ルール等を図書館の蔵書などから事前把握（情報収集）したもののレポートを提出する。10点　3.中間試験（スキルテスト） 30点　4.ポートフォリオ「到達度評価レポート（ポートフォリオ）」の実施 10点

学修上の注意 (SBOs)	1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズ持参 3.貴重品の自己管理 4.講義関連質問先 各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センター 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本スキル習得(種目1)	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	種目の特性･歴史の理解。スキルの基本把握。学習目標の確認。			
2回	テーマ	基本スキルの応用(種目1)	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。			
3回	テーマ	戦術の習得 （種目1）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術･作戦確認、実践へ向け練習。			
4回	テーマ	実戦への応用(種目1)	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	対抗戦実施。個別反省活動。			
5回	テーマ	ゲーム理論習得　スキルテスト(種目1)	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。 スキルテスト。			
6回	テーマ	基本スキル習得(種目2)	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	種目の特性･歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。			
7回	テーマ	基本スキルの応用(種目2)	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。			
8回	テーマ	戦術の習得 （種目2）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術･作戦確認、実践へ向け練習。			
9回	テーマ	実戦への応用(種目2)	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	対抗戦実施。個別反省活動。			
10回	テーマ	ゲーム理論習得　スキルテスト(種目2)	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。 スキルテスト。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	基本スキル習得(種目3)	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	種目の特性･歴史の理解。スキルの基本習得。学習目標の確認。			
12回	テーマ	基本スキルの応用(種目3)	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本スキルを踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。			
13回	テーマ	戦術の習得 （種目3）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術･作戦確認、実践へ向け練習。			
14回	テーマ	実戦への応用(種目3)	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	対抗戦実施。個別反省活動。			
15回	テーマ	ゲーム理論習得 スキルテスト(種目3)	実技	【復習】「到達度ポートフォリオ」の作成 （作成期限は1週間後の正午まで）	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。スキルテスト。			

科目名	英語圏の文化と社会（１全学科）後期	開講学年 1	講義コード 2141101	区分 選必
英文表記	The English-Speaking World: Society and Culture	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	Gareth Humphreys（実務経験）　Robert Hirschel
研究室	SILC 4F
オフィスアワー	Please refer to silconline.jp silconline.jpで確認してください。
メールアドレス	ghumphreys@m.sojo-u.ac.jp
キーワード	English-speaking communities 英語圏コミュニティー　Cultural learning 文化学習　Intercultural understanding 異文化理解　Diversity 多様性　Independent learning 自主学習

授業概要

Develop intercultural understanding in the context of English-speaking communities　英語圏コミュニティーでの異文化理解の向上を図る。Develop awareness of cultural diversity among English-speaking communities　英語圏コミュニティー内の文化多様性認知の向上を図る。Understand different characteristics of English language use in the world　世界での異なる英語言語の特徴を理解する。Promote independent learning and research skills about cultural topics　文化話題についての自立学習やリサーチ力の促進を図る。We teach this course based on our research and experience in study abroad and international education in previous teaching positions in Japanese and international universities. このコースでは自己の留学経験や研究、及び前職の日本や海外の大学での留学に関する教育業務の経験をもとに指導を行います。

関連科目

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		fg	fg	fg

JABEE記号		学生の到達度目標
fg	①	I can talk about the learning content in relation to my own experiences in English or Japanese. 自分の経験に基づき学習内容について英語または日本語で話ができる。
fg	②	I can research and report information about (some) English-speaking communities in English or Japanese. 英語圏コニュニティーについて英語または日本語で情報を調査し報告できる。
fg	③	I can demonstrate independent learning skills through silconline.jp, independent tasks, and self-reflection. silconline.jp、自主学習課題、自己振返りを通じて自立学習スキルを確認することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	20	0	10	40	100

教科書

ありません

参考書

予備知識	基礎英語力 Basic English skills
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	The extent to which a student has achieved the goals of the course is assessed through the following: 学生がどのようにコース目標を達成したかは次のように評価する: Reflections (30): reflections on the learning content using English or Japanese. レポート (30) は 振返り:英語または日本語で学習内容を振り返る Final project (20): silconline.jp-based project. 成果発表 (20) は 最終プロジェクト: silconline.jp に基づくプロジェクト Sojo Portfolio (10): A description of your achievements ポートフォリオ (10): 到達達成ポートフォリオ Culture Portfolio (40): reading and independent tasks. その他 (40) は「Cultureのポートフォリオ」: リーディングと自主学習課題

学修上の注意 (SBOs)	1. Classes essentially consist of presentation of learning content by the teacher(s), followed by tasks requiring individual engagement with content, leading to self-reflection. 学習内容は教員により提示され、以下のような課題で、各々の課題への取り組みや学習への振り返り課題が望まれる。 2. More complex reading content is presented in Japanese. より複雑な読解内容では日本語で提示する。 3. You are expected to use English as much as possible to communicate with your teacher(s) and other students. However, the course is not a test of English and you should not worry about making mistakes. 教員及び他の学生とはな能な限り英語を活用することが期待される。しかし、コースは英語テストとは異なり、英語の間違いへお心配は必要ない。 4. Self-reflections and reports can be completed in Japanese and/or English. 自己の振り返りやレポートは日本語やまたは英語で行うことができる。 5. In the final project you will be required to submit a video entry on silconline.jp. 最終レポートはsilconline.jpでビデオの提出が要求される。 6. If you do not attend class regularly or on time, you will not be able to pass the course. クラスに定期的または時間通りに出席しない場合はコースに合格できないでしょう。 7. If you are absent for any reason you must contact your teacher(s) to catch up on work missed. いかなる理由でも欠席する場合は教員に連絡し、欠席した分の課題の遅れを取り戻さなければならない。 8. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Introduction: Cultures of English-speaking world	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	コース説明:英語圏の文化Introduction to course aims and outline. コースの目的と概要導入			
2回	テーマ	Topic 1: English language in the world	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Global Englishes Varieties of English in the world トピック1:グローバル英語における英語言語			
3回	テーマ	Topic 2: English in Japan	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Role of English in Japan トピック2:日本での英語 日本での英語の役割			
4回	テーマ	Topic 3: Multilingualism and multiculturalism	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Multicultural communities Using more than one language トピック3:多言語主義と多文化主義 多文化コミュニティー 1つの言語えはなく複数言語を使う			
5回	テーマ	Topic 4: Cultural stereotyping	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Avoiding stereotypes Generalisations トピック4:文化的ステレオタイプ ステレオタイプを避ける 一般化			
6回	テーマ	Topic 5: Families	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Family life in English-speaking communities トピック5:家族 英語圏コミュニティーでの家族生活			
7回	テーマ	Topic 6: Education	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Education differences in the world トピック6:教育 世界の教育の違い			
8回	テーマ	Topic 7: Student life	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Comparing student life in English-speaking communities with Japanese student life トピック7:英語圏コミュニティーと日本の学生生活の学生生活比較			
9回	テーマ	Topic 8: Work	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Working styles Working differences トピック8:働き方 仕事の違い			
10回	テーマ	Topic 9: Living abroad	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Experiences of Japanese people living overseas トピック9:海外生活 日本人の海外生活経験			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	Topic 10: Social life	演習　e-L	宿題：振り返り、リーディング、自主調査　Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Comparing social life in English-speaking communities　トピック10：社会生活　英語圏との社会生活比較			
12回	テーマ	Topic 11: Open Topic 1	演習　e-L	宿題：振り返り、リーディング、自主調査　Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Entertainment: comparing and contrasting popular entertainment in English-speaking communities　トピック11：エンターテインメント　エンターテインメント：英語圏で対照的な人気のエンタープライズとの比較			
13回	テーマ	Topic 12: Open Topic 2	演習　e-L	宿題：振り返り、リーディング、自主調査　Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Student-selected topic　トピック12：オープン課題　学生がトピックを選択			
14回	テーマ	Final project: Summarising the course (1)	演習　e-L	宿題：振り返り、リーディング、自主調査　Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Summarising and reflecting　最終プロジェクト：コースの概要（1）まとめと振り返り			
15回	テーマ	Final project: Summarising the course (2)	演習　e-L	復習と振り返り Review and reflection　コース評価 Course evaluation　最終レポート Final report　崇城ポートフォリオSojo Portfolio	90分
	内容	Reflection, evaluation and feedback　最終プロジェクト：コースの概要（2）振返り、評価とフィードバック			

科目名	英語圏の文化と社会（２全学科）後期	開講学年 1	講義コード 2141102	区分 選必
英文表記	The English-Speaking World: Society and Culture	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	Gareth Humphreys（実務経験）　Robert Hirschel
研究室	SILC 4F
オフィスアワー	Please refer to silconline.jp silconline.jpで確認してください。
メールアドレス	ghumphreys@m.sojo-u.ac.jp
キーワード	English-speaking communities 英語圏コミュニティー　Cultural learning 文化学習　Intercultural understanding 異文化理解　Diversity 多様性　Independent learning 自主学習

授業概要

Develop intercultural understanding in the context of English-speaking communities　英語圏コミュニティーでの異文化理解の向上を図る。Develop awareness of cultural diversity among English-speaking communities　英語圏コミュニティー内の文化多様性認知の向上を図る。Understand different characteristics of English language use in the world　世界での異なる英語言語の特徴を理解する。Promote independent learning and research skills about cultural topics　文化話題についての自立学習やリサーチ力の促進を図る。We teach this course based on our research and experience in study abroad and international education in previous teaching positions in Japanese and international universities. このコースでは自己の留学経験や研究、及び前職の日本や海外の大学での留学に関する教育業務の経験をもとに指導を行います。

関連科目

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		fg	fg	fg

JABEE記号		学生の到達度目標
fg	①	I can talk about the learning content in relation to my own experiences in English or Japanese. 自分の経験に基づき学習内容について英語または日本語で話ができる。
fg	②	I can research and report information about (some) English-speaking communities in English or Japanese. 英語圏コニュニティーについて英語または日本語で情報を調査し報告できる。
fg	③	I can demonstrate independent learning skills through silconline.jp, independent tasks, and self-reflection. silconline.jp、自主学習課題、自己振返りを通じて自立学習スキルを確認することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	30	20	0	10	40	100

教科書

ありません

参考書

予備知識	基礎英語力 Basic English skills
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	The extent to which a student has achieved the goals of the course is assessed through the following: 学生がどのようにコース目標を達成したかは次のように評価する: Reflections (30): reflections on the learning content using English or Japanese. レポート (30) は 振返り:英語または日本語で学習内容を振り返る Final project (20): silconline.jp-based project. 成果発表 (20) は 最終プロジェクト: silconline.jp に基づくプロジェクト Sojo Portfolio (10): A description of your achievements ポートフォリオ (10): 到達達成ポートフォリオ Culture Portfolio (40): reading and independent tasks. その他 (40) は「Cultureのポートフォリオ」: リーディングと自主学習課題

学修上の注意 (SBOs)	1. Classes essentially consist of presentation of learning content by the teacher(s), followed by tasks requiring individual engagement with content, leading to self-reflection. 学習内容は教員により提示され、以下のような課題で、各々の課題への取り組みや学習への振り返り課題が望まれる。 2. More complex reading content is presented in Japanese. より複雑な読解内容では日本語で提示する。 3. You are expected to use English as much as possible to communicate with your teacher(s) and other students. However, the course is not a test of English and you should not worry about making mistakes. 教員及び他の学生とはな能な限り英語を活用することが期待される。しかし、コースは英語テストとは異なり、英語の間違いへお心配は必要ない。 4. Self-reflections and reports can be completed in Japanese and/or English. 自己の振り返りやレポートは日本語やまたは英語で行うことができる。 5. In the final project you will be required to submit a video entry on silconline.jp. 最終レポートはsilconline.jpでビデオの提出が要求される。 6. If you do not attend class regularly or on time, you will not be able to pass the course. クラスに定期的または時間通りに出席しない場合はコースに合格できないでしょう。 7. If you are absent for any reason you must contact your teacher(s) to catch up on work missed. いかなる理由でも欠席する場合は教員に連絡し、欠席した分の課題の遅れを取り戻さなければならない。 8. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Introduction: Cultures of English-speaking world	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	コース説明:英語圏の文化Introduction to course aims and outline. コースの目的と概要導入			
2回	テーマ	Topic 1: English language in the world	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Global Englishes Varieties of English in the world トピック1:グローバル英語における英語言語			
3回	テーマ	Topic 2: English in Japan	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Role of English in Japan トピック2:日本での英語 日本での英語の役割			
4回	テーマ	Topic 3: Multilingualism and multiculturalism	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Multicultural communities Using more than one language トピック3:多言語主義と多文化主義 多文化コミュニティー 1つの言語えはなく複数言語を使う			
5回	テーマ	Topic 4: Cultural stereotyping	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Avoiding stereotypes Generalisations トピック4:文化的ステレオタイプ ステレオタイプを避ける 一般化			
6回	テーマ	Topic 5: Families	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Family life in English-speaking communities トピック5:家族 英語圏コミュニティーでの家族生活			
7回	テーマ	Topic 6: Education	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Education differences in the world トピック6:教育 世界の教育の違い			
8回	テーマ	Topic 7: Student life	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Comparing student life in English-speaking communities with Japanese student life トピック7:英語圏コミュニティーと日本の学生生活の学生生活比較			
9回	テーマ	Topic 8: Work	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Working styles Working differences トピック8:働き方 仕事の違い			
10回	テーマ	Topic 9: Living abroad	演習　e-L	宿題:振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Experiences of Japanese people living overseas トピック9:海外生活 日本人の海外生活経験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	Topic 10: Social life	演習　e-L	宿題：振り返り、リーディング、自主調査　Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Comparing social life in English-speaking communities　トピック10：社会生活　英語圏との社会生活比較			
12回	テーマ	Topic 11: Open Topic 1	演習　e-L	宿題：振り返り、リーディング、自主調査　Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Entertainment: comparing and contrasting popular entertainment in English-speaking communities　トピック11：エンターテインメント　エンターテインメント：英語圏で対照的な人気のエンタープライズとの比較			
13回	テーマ	Topic 12: Open Topic 2	演習　e-L	宿題：振り返り、リーディング、自主調査　Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Student-selected topic　トピック12：オープン課題　学生がトピックを選択			
14回	テーマ	Final project: Summarising the course (1)	演習　e-L	宿題：振り返り、リーディング、自主調査　Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Summarising and reflecting　最終プロジェクト：コースの概要（1）まとめと振り返り			
15回	テーマ	Final project: Summarising the course (2)	演習　e-L	復習と振り返り Review and reflection　コース評価 Course evaluation　最終レポート Final report　崇城ポートフォリオSojo Portfolio	90分
	内容	Reflection, evaluation and feedback　最終プロジェクト：コースの概要（2）振返り、評価とフィードバック			

科目名	中国語圏の文化と社会（１全学科）後期	開講学年	1	講義コード	2141201	区分	選択
英文表記	Culture and Society in the Chinese Speaking Area	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	単援朝		
研究室	本館307	オフィスアワー	月曜４限、金曜４限
メールアドレス	shan@までの文字を入力@@ed.sojo-u.ac.jp以降を入力		
キーワード	言語、文化、社会、理解、共生		

授業概要

中国語圏とは中国語を母語とする人々が生活する国と地域を指し、中国、台湾、香港、マカオなどはそうです。この地域の文化と社会を学ぶことにより異文化理解の意義と方法を知るのが目的です。授業のやり方としては、11回目まで教員の講義を聞き映像資料を見て中国語圏の文化と社会を学んでいきます。その間、小テストを行いレポートを提出してもらいます。12回目から三回にわたって、異文化理解実践として、受講生が指定された範囲内で関心のある課題を見つけチームで共同研究し成果発表を行います。最終回は担当教員が成果発表について講評を行います。

関連科目

中国語Ⅰ　中国語Ⅱ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	中国語圏の文化と社会についての理解を深め、グローバル的な考え方を身に着ける。
f.g	②	異文化理解の意義と方法を把握し、批判的思考をすることができる。
f.i	③	資料検索及び編集の能力を高め、研究成果を発表することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	30	30	30	0	10	0	100

教科書

なし。必要に応じてプリントを配布する。

参考書

中国文化事典　丸善出版　中国文化事典編集員会
漢字の世界：中国文化の原点1　平凡社　白川静
漢字の世界：中国文化の原点2　平凡社　白川静

予備知識	中国語という言語と中国という国についてある程度知っておきます。
DP との 関連	グローバル的な視点から多面的に物事を理解し、広く論理的に考える基礎的能力、「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」を中心とする汎用的能力を身につけ、それらを実践できるようにします。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	小テストは3回×10点＝30点　レポートは A4用紙1枚、1行40文字、1頁40行、MS明朝、200字以上5回×10点＝50点　成果発表は1回×30点＝30点　ポートフォリオは1回×10点＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.必ずレポートを提出すること。 2.引用について必ず出所を明記すること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為と みなされます。 3.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 4.スマートフォンはカバンの中にしまうこと。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	中国語と中国語圏とは	講義	今日のテーマをめぐって予習	９０
	内容	中国語、中国語圏あれこれ			
2回	テーマ	異文化理解のために	講義	今日のテーマをめぐって予習	９０
	内容	異文化理解の意義と方法			
3回	テーマ	中国語圏文化とは	講義	小テスト1	９０
	内容	儒教と中国文化について			
4回	テーマ	伝統文化の世界	講義	今日のテーマをめぐって予習	９０
	内容	中国の伝統文化について			
5回	テーマ	経済と社会	講義	小テスト2	９０
	内容	歴史、地理、民族について			
6回	テーマ	戯曲と音楽	講義	レポート：中国の戯曲と音楽について	９０
	内容	中国の戯曲と音楽について			
7回	テーマ	建築と造園	講義	今日のテーマをめぐって予習	９０
	内容	中国の代表的な建築と庭園について			
8回	テーマ	生活習慣	講義	今日のテーマをめぐって予習	９０
	内容	生活習慣の地域差について			
9回	テーマ	食文化1	講義	レポート：食文化の特徴について	９０
	内容	南方の食文化について			
10回	テーマ	食文化2	講義	小テスト3	９０
	内容	北方の食文化について			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	風土と民俗	講義	今日のテーマをめぐって予習	９０
	内容	各地の風土と民俗について			
12回	テーマ	成果発表1	講義	成果発表の準備予習（発表はチームで行い、1チームあたり20分間）	９０
	内容	中国語圏の文化と社会をめぐって関心のある課題を大学で専攻する分野の知識を生かす見地から研究、発表する。AL			
13回	テーマ	成果発表2	演習	成果発表の準備予習（発表はチームで行い、1チームあたり20分間）	９０
	内容	中国語圏の文化と社会をめぐって関心のある課題を大学で専攻する分野の知識を生かす見地から研究、発表する。AL　AL			
14回	テーマ	成果発表3	演習	成果発表の準備（発表はチームで行い、1チームあたり20分間）	９０
	内容	中国語圏の文化と社会をめぐって関心のある課題を大学で専攻する分野の知識を生かす見地から研究、発表する。AL　AL			
15回	テーマ	講評	演習		９０
	内容	成果発表の講評・まとめ　AL			
16回	テーマ	まとめ	講義	ポートフォリオ提出	９０
	内容	文化と社会			

科目名	韓国語圏の文化と社会（１全学科）後期	開講学年	1	講義コード	2141301	区分	選必
英文表記	Culture and Society in the Korean Speaking Area	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	辛教燦（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室

メールアドレス	viduri1026@gmail.com

キーワード	韓国語　韓国文化　韓国社会　批判的思考　　共生

授業概要

本講義を通して異文化に対する理解と批判的思考を身につける。具体的には、韓国語圏の文化と社会について映画・ドラマ・K-POPなどの文化コンテンツを通じて考える。また受講生がグループに分かれて講義で提示した範囲内外で自由にテーマを設定し、調査・討議・発表を行う。他のグループのテーマの中で興味深かった成果発表についての批判的感想をレポートとして提出する。

関連科目

韓国語　選択外国語Ⅰ（韓国語）　選択外国語Ⅱ（韓国語）　他の言語科目

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f.i	①	異文化について主体的に調査することができる。
f.g	②	調査した内容を批判的に分析することができる。
a.f	③	異文化について理解を深めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	30	0	30	30	0	10	0	100

教科書	なし

参考書	

予備知識	韓国文化や韓国事情への関心と簡単な予備知識が必要である。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会関係形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.定期試験30点　2.レポート30点、メール提出（表紙不要、PCで作成、A4用紙1枚にまとめてE-mail提出、書式はWordの基本仕様：余白各25㎜、1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字のサイズ10.5、本文1,000文字以上、メールでの提出が難しく、2枚以上の場合は両面印刷）　3.成果発表30点　4.ポートフォリオ10点、レポートの後ろに内容を張り付け、一つのファイルにまとめてメール提出（メールでの提出が難しい場合は印刷して教員に提出）

学修上の注意 (SBOs)	1.授業に積極的に参加し、主体的に発言及び意見交換を行うこと。 2.グループで協力し、選択したテーマへの理解を深めること。 3.他のグループのテーマに対して批判的討論を行うこと。 4.レポートとポートフォリオは一つのファイルにまとめてメールで提出すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス①	講義	授業内容の確認	90
	内容	授業内容の説明			
2回	テーマ	ガイダンス②	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	テーマ別グループ分け			
3回	テーマ	韓国の歴史	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国歴史の概観 グループ①発表、討議			
4回	テーマ	日韓交流史	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国ドラマから見る韓国と日本の交流史 グループ②発表、討議			
5回	テーマ	韓国の文字	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国ドラマから見るハングル グループ③発表、討議			
6回	テーマ	韓国の戦争と分断	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国映画から見る韓国戦争と分断 グループ④発表、討議			
7回	テーマ	韓国の民主化	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国映画から見る韓国の民主化 グループ⑤発表、討議			
8回	テーマ	韓国の政治と言論	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国映画から見る政治と言論 グループ⑥発表、討議			
9回	テーマ	韓国の映画と社会①	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国映画から見る韓国社会①			
10回	テーマ	韓国の映画と社会②	講義　演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国映画から見る韓国社会②			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	韓国の教育	講義 演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国ドラマから見る韓国の教育 グループ⑦発表、討議			
12回	テーマ	韓国の観光	講義 演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国ドラマと観光・料理・ファッション グループ⑧発表、討議			
13回	テーマ	韓国の歌	講義 演習	課題(発表の準備):選択したテーマに沿って各グループごとに資料収集及び定義、意味・意義分析、比較、批評を行う	90
	内容	韓国の歌謡とK-POP グループ⑨発表、討議			
14回	テーマ	韓国の節句	講義 演習	課題:レポートの作成	90
	内容	韓国の節句 グループ⑩発表、討議			
15回	テーマ	まとめ	講義 演習	レポートとポートフォリオ(到達度レポート)の提出	90
	内容	まとめ			
16回	テーマ	試験			
	内容	定期試験			

科目名	ドイツ語圏の文化と社会（１全学科）後期	開講学年 1	講義コード 2141401	区分 選必
英文表記	Cultural and Societies in German Speaking Areas	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	アクスト フローリアン
研究室	本館１階非常勤講師室
オフィスアワー	授業後非常勤講師室で対応
メールアドレス	axt.koushi@icloud.com
キーワード	文化　社会　理解
授業概要	ドイツ語圏の文化や社会等について、興味・関心のある分野をグループで調べ、発表する。その後、全体でディスカッションをする。

関連科目

ドイツ語　他の言語科目

建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4
JABEE基準		a,f,g	a,f,g

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	自ら資料検索ができる。
	②	論理的な思考を通して発表・表現することができる。
	③	ドイツ語圏の文化と社会及び比較文化に対する理解を深めることができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	30	60	0	10	0	100

教科書	「なし」
参考書	ヨーロッパ学入門　朝日出版社　武蔵大学人文学部ヨーロッパ比較文化学科編　4255004102 インターネット上の資料

予備知識	関心のある分野について情報収集をすること。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	授業時の口頭発表　授業への積極的な参加　期末レポート　ポートフォリオは印刷して担当教員に提出　詳細は以下の通り。　レポートは1回提出するので1×30=30点　成果発表は1回行うので1×60=60点　ポートフォリオは1回提出するので1×10=10点

学修上の注意 (SBOs)	1.積極的な参加と発言を主体的に行うこと。 2.著作権に留意すること。出典及び引用を明記する。 3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	科目内容の確認、テキストの読書	45
	内容	科目内容の説明、テーマ設定とグループ分け			
2回	テーマ	討議	演習	テーマの書籍を読む、グループ内打ち合わせ	90
	内容	テキストに関して討議を行う、グループ内打ち合わせ			
3回	テーマ	討議	演習	テーマの書籍を読む、グループ内打ち合わせ	90
	内容	テキストに関して討議を行う、グループ内打ち合わせ			
4回	テーマ	討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	テキストに関して討議を行う、グループ内打ち合わせ			
5回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
6回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
7回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
8回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
9回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
10回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
12回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
13回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
14回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション			
15回	テーマ	発表・討議	演習	グループ内打ち合わせ	90
	内容	発表、ディスカッション、まとめ			
16回	テーマ	まとめ		ポートフォリオ提出	
	内容	講評・まとめ			

科目名	フランス語圏の文化と社会（１全学科）後期	開講学年 1	講義コード 2141501	区分 選択
英文表記	Culture and Society in France	開講期 後期	開講形態	単位数 2
担当教員	フェレロ イヴ （非常勤）			
研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー 火曜日、授業の後		
メールアドレス	yves@plum.plala.or.jp			
キーワード	文化　社会　生活　理解　　共生			

授業概要

フランス語圏の文化と社会について講義と演習という形で学んでいく。この学習を通して異文化理解の意義と方法を知るのが目的である。 授業のやり方としては、受講生に与えられた課題をめぐってチームで共同研究をし成果発表をしてもらうことを主とする。

関連科目

フランス語Ⅰ、フンランス語Ⅱ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	フランスの文化と社会について理解を深め、客観視することができる
f .g	②	異文化理解の意義と方法を把握し、批判的思考をすることができる
f.i	③	資料検索及び編集の能力を高め、研究成果を発表することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	２８	５２	0	２０	0	100

教科書

無し

参考書

無し

予備知識	フランス語とフランスという国についてある程度知っておく。
DP との 関連	基本的、汎用的能力（「人間関係形成、社会形成能力」「課題対用能力」「グローバルな視点から多面的に物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	レポートははA4用紙1枚、1行40文字、1頁40行、MS明朝、100文字以上 14回X2点＝28点　成果発表は1回X52点＝52点　ポートフォリオは1回X20店＝20店

学修上の注意 (SBOs)	1.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 2.引用について出所を明記すること。.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	演習		９０
	内容	授業の説明			
2回	テーマ	フランス語	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	フランス語の発音、原点			
3回	テーマ	EUでのフランス	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	地理:ヨーロッパとフランス			
4回	テーマ	スポーツ	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	国技、格闘技、教育			
5回	テーマ	料理	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	惣菜、調味料、パン対米			
6回	テーマ	休暇	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	過ごし方、有休			
7回	テーマ	ファッション	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	洋服、下着、身に着ける物			
8回	テーマ	藝術	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	歴史、美術、音楽			
9回	テーマ	身体	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	香水、生活習慣			
10回	テーマ	家族	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	家事、性、老者			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	教育	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	制服、旅費、性教育、国語			
12回	テーマ	健康	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	国民保険、病院			
13回	テーマ	労働	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	社員と上司、労働者と政府との関係			
14回	テーマ	税金	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	種類、使い方			
15回	テーマ	政治	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	政治のシステム			
16回	テーマ	まとめ	講義	ポートフォリオ提出	
	内容	講評・まとめ			

科目名	中国語（２全学科）後期	開講学年 2	講義コード 2142101	区分 選択
英文表記	Chinese	開講期 後期	開講形態	単位数 2.
担当教員	単援朝			
研究室	本館307	オフィスアワー 木曜４ 金曜３		
メールアドレス	shan@ed.sojo-u.ac.jp			
キーワード	発音,語彙,文法,漢字			

授業概要

1.中国語は中国語を初めて学習する人のための入門・初級講座である。中国の基礎を身につけるよう、週一回の授業で中国語の発音をはじめ、日常生活に密着した語彙、表現および簡単な文法事項を学ぶ。中国語でのコミュニケーション力の基礎作りは目的である。 2.ALを基本的授業手法とする。発音練習、会話練習と文法解説を交互に行うが、とくに単語の発音練習に力を入れる。 3.毎回練習問題（小テスト）を課すので、必ず提出すること。 4.中間試験と小テストの講評を行う。

関連科目

中国語圏の文化と社会

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	発音の仕組みが分かり、習った単語を発音することができる。
f.g.i	②	動詞述語文と形容詞述語文の構造を理解し、中国語の短文を読み、書くことができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
１５	５５	２０	０	０	０	１０	０	１００

教科書

改訂 中国語への招待　熊本出版文化会館　王忠義・単継清　4-7505-9806-2C3087

参考書

精選日中・中日辞典　東方書店　姜晩成・王郁良編

予備知識	1.初修外国語なので、英語学習の要領、体験などが学習において役立つ。 2.中国という国についての基本的知識。 3.漢字
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験 1回行うので1×15点＝15点 2.小テスト 10回行うので10×2点＝20点 3.定期試験 1回×55点＝55点 4.ポートフォリオ1回×10点＝10点 5.基本的に再試を行わない。

学修上の注意 (SBOs)	1.語学の勉強は一般の授業と違って、単なる講義を聞いて理解するだけでなく、真似たり、考えたり、口にしたりすることなどが必要であるということを心得て、双方向的学習を目指すように授業中発音練習、会話練習に積極的に参加すること。 2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.スマートフォンはカバンの中にしまうこと。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	中国語とは	講義		90
	内容	中国語あれこれ 中国語の発音、語彙、文法などについて概説			
2回	テーマ	発音	講義 AL	【予習】教科書p6～17を読んでおく。【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	発音 母音、子音、複母音			
3回	テーマ	発音	講義 AL	【予習】教科書p18～25を読んでおく。【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	発音 声調、軽声、音節			
4回	テーマ	動詞述語文	講義	【予習】教科書p6～8を読んでおく。 【復習】小テストの講評。	90
	内容	初対面 人称代名詞 動詞“是”			
5回	テーマ	動詞述語文	講義	【予習】教科書p26～29を読んでおく。【復習】小テストの講評。	90
	内容	図書館に行きます 動詞述語文の肯定形と否定形 一般疑問文			
6回	テーマ	形容詞述語文	講義	【予習】教科書p30～37を読んでおく。【復習】小テストの講評。	90
	内容	緑茶が美味しいです 代名詞 連体修飾語 形容詞述語文			
7回	テーマ	動詞述語文	講義	【予習】教科書p38～41を読んでおく。【復習】小テストの講評。	90
	内容	郵便局は遠いですか 量詞（助数詞） 反復疑問文（肯定否定疑問文）			
8回	テーマ	動詞述語文	講義	【予習】教科書p42～45を読んでおく。【復習】小テストの講評。	90
	内容	どこに行きますか 簡略疑問文 疑問詞疑問文			
9回	テーマ	中間試験	講義 試験	【復習】小テストの講評。	90
	内容	中間試験 第6課～第10課			
10回	テーマ	様々な表現	講義	【予習】教科書p46～49を読んでおく。【復習】中間試験の講評。	90
	内容	病院は銀行の隣にあります 方位詞 存在の表現(1)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	様々な表現	講義	【予習】教科書p50～53を読んでおく。【復習】小テストの講評。	90
	内容	電子辞書を持っていますか 存在の表現(2) 所有の表現			
12回	テーマ	様々な表現	講義	【予習】教科書p54～57を読んでおく。 【復習】小テストの講評。	90
	内容	誕生日は何月何日ですか 年月日の言い方 曜日の言い方 時刻の言い方			
13回	テーマ	様々な表現	講義	【予習】教科書p58～61を読んでおく。 【復習】小テストの講評。	90
	内容	一番出口で待ちます 前置詞			
14回	テーマ	様々な表現	講義	【予習】教科書p62～65を読んでおく。 【復習】小テストの講評。	90
	内容	あなたより一歳年上です 疑問詞"多" 比較の表現			
15回	テーマ	発音、語彙、文法	講義	【予習】語彙の復習・プリントを配る ポートフォリオ（到達度レポート）作成	90
	内容	復習 語彙、文法			
16回	テーマ	定期試験	試験		90
	内容	定期試験			

科目名	韓国語（２全学科）後期	開講学年	2	講義コード	2142201	区分	選択
英文表記	Korean	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	辛教燦（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室

メールアドレス	viduri1026@gmail.com

キーワード	韓国語　ハングル　韓国文化

授業概要	本講義では、韓国語の「ハングル」の読み書き、簡単な会話を学ぶ。また、ハングル入力によるインターネット検索を行い、自分で簡単な韓国関連の情報を調べられるようにする。韓国の歌などの文化を通して韓国語を楽しく学ぶ。 (1)ハングル文字（母音・子音・パッチムなど）を学ぶ。(2)韓国語における簡単な挨拶・身近なものの名称などの表現を学ぶ。(3)インターネット上で韓国関連の情報検索を行う。(4)韓国の映画やドラマ、K-POPなどの文化を通して韓国語を学ぶ。

関連科目

選択外国語Ⅰ(韓国語) 選択外国語Ⅱ(韓国語) 韓国語圏の文化と社会

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	ハングルの基礎、特に文字の母音と子音の構造を学び、ハングルを読むことができる。
f.g.i	②	韓国語の基礎文型を学び、韓国語で簡単な日常会話を話すことができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	20	0	0	10	0	100

教科書	授業中に配布する

参考書	

予備知識	韓国文化や韓国事情への関心と簡単な予備知識が必要である。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.定期試験　・1回（40点） 2.中間試験　・1回（30点） 3.レポート　・1回（20点） 4.ポートフォリオ　・1回（10点)

学修上の注意 (SBOs)	・発音練習など、授業に積極的に参加すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義 演習	授業内容の確認	90
	内容	ガイダンス			
2回	テーマ	文字と発音①	講義 演習	教材の「基本母音と子音」を予習・復習	90
	内容	「基本母音と基本子音」			
3回	テーマ	文字と発音②	講義 演習	教材の「激音・濃音」を予習・復習	90
	内容	「激音・濃音」			
4回	テーマ	文字と発音③	講義 演習	教材の「二重母音」を予習・復習	90
	内容	「二重母音」			
5回	テーマ	文字と発音④	講義 演習	教材の「パッチム」を予習・復習	90
	内容	「パッチム」			
6回	テーマ	文字と発音⑤	講義 演習	教材の「発音の規則」を予習・復習	90
	内容	「発音の規則」			
7回	テーマ	総合練習(1)	講義 演習	中間テストの準備	90
	内容	発音と文字①～⑤			
8回	テーマ	中間試験	講義 演習		90
	内容				
9回	テーマ	韓国文化と韓国語①	講義 演習	韓国の文化コンテンツを調査	90
	内容	「韓国の文化コンテンツと韓国語①」			
10回	テーマ	韓国文化と韓国語②	講義 演習	韓国の文化コンテンツを調査	90
	内容	「韓国の文化コンテンツと韓国語②」			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	会話① 「日程と乗り物」	講義 演習	教材の「日程と乗り物」を予習･復習	90
12回	テーマ 内容	会話② 「食べ物と買い物」	講義 演習	教材の「食べ物と買い物」を予習･復習	90
13回	テーマ 内容	会話③ 「アクシデントと対処」	講義 演習	教材の「アクシデントと対処」を予習･復習	90
14回	テーマ 内容	文化と情報検索 韓国の文化学習と韓国語で情報検索方法学習	講義 演習	韓国語で情報検した結果の課題提出	90
15回	テーマ 内容	総合練習(2) 会話①~③	講義 演習	【予習】期末テストの準備 【復習】期末テストの準備と課題提出 レポート、ポートフォリオ(到達度レポート)の提出	90
16回	テーマ 内容	試験 定期試験	演習		

科目名	ドイツ語（２全学科）後期	開講学年 2	講義コード 2142301	区分 選必
英文表記	German	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	アクスト フローリアン
研究室	本館１階非常勤講師室
オフィスアワー	授業後非常勤講師室で対応
メールアドレス	axt.koushi@icloud.com
キーワード	ドイツ語学習　外国語

授業概要

日常生活の様々な場面において、ドイツ語でコミュニケーションが取れるようにする。ドイツ語を総合的に学び、活用能力を習得する。

関連科目

ドイツ語圏の文化と社会　他の言語科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	ドイツ語の基礎的な仕組みを理解できる。
	②	簡単なドイツ語会話ができる。
	③	簡単なドイツ語文章を書くことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	50	30	0	10	0	10	0	100

教科書

Ein Geist in Nurnberg? Deutsch fur Anfanger　同学社　Diana Beier-Taguchi, 清野智昭　978-4-8102-0735-4

参考書

予備知識	日頃から新聞やニュース、読書等を通してドイツやヨーロッパに関心を持つこと。
DP との 関連	グローバル的な視点から多面的に物事を理解し、広く論理的に考える基礎的能力、「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」を中心とする汎用的能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	授業への積極的な参加及び、小テストと定期試験によって総合的に評価する。　詳細は以下の通り。 定期試験は1回行うので1×50=50点　小テストは6回行うので6×5=30点 成果発表は1回行うので1×10=10点 ポートフォリオは1回行うので1×10=10点

学修上の注意 (SBOs)	1.出席を怠らず、毎時間の予習と復習を行うこと。　2.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義・演習	当該ページの復習	90
	内容	イントロダクション／アルファベットの読み方／あいさつ／自己紹介			
2回	テーマ	動詞(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	動詞の現在人称変化			
3回	テーマ	数字	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	数字			
4回	テーマ	動詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	不正規動詞			
5回	テーマ	名詞(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	名詞の性			
6回	テーマ	小テスト名詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	名詞の格			
7回	テーマ	名詞(3)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	複数形			
8回	テーマ	名詞(4)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	複数形			
9回	テーマ	前置詞(1)、所有冠詞(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	前置詞、所有冠詞			
10回	テーマ	前置詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	前置詞			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	動詞(4)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	分離動詞			
12回	テーマ	小テスト、副文(1)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	副文			
13回	テーマ	動詞(5)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	話法の助動詞			
14回	テーマ	動詞(6)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	話法の助動詞			
15回	テーマ	副文(2)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	副文			
16回	テーマ	試験			90
	内容	定期試験			

科目名	フランス語（２全学科）後期	開講学年	2	講義コード	2142401	区分	選択
英文表記	Foreign Language (French I) (Applied Microbial Technology / Applied Life Science)	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	フェレロ イヴ （非常勤）						
研究室	本館１階 非常勤講師室			オフィスアワー	火２限本館1階、木３限、木４限芸術学部		
メールアドレス	yves@plum.plala.or.jp						
キーワード	フランス語　単語　発音　文法						

授業概要

フランス語はフランス語の入門講座である。フランス語を基礎から勉強し、日常生活によく使われることばや言い方を中心に会話の練習をしながら読み書きの基本を身につける。

関連科目

フランス語圏の文化と社会

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	簡単な発音をすることが出来る。
f.g	②	フランス語の短文を読み書きの基本を身に着け、それらを実践することができる。
a.f.g	③	フランスの文化についての理解を深め、グローバル的な考え方を身に着ける。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	20	70	0	0	0	0	10	0	100

教科書

授業開始時教科書を配布する。　フェレロ

参考書

予備知識	フランス語、フランス文化についての基礎的知識　中高校で習った英語の学び方とその体験
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」「グローバルな視点から多面的に物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	中間テストは1回行うので1回×20点＝20点　定期試験は1回行うので1回×70点＝70点　ポートフォリオは1回×10点＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.電子媒体でもいいので和仏一仏和辞書を持って来ること。2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	オリエンテーション＝発音			
2回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	1日に10分
	内容	挨拶			
3回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	母音と母音字			
4回	テーマ	単語	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	人称代名詞			
5回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～である（＝be動詞）			
6回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	冠詞			
7回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～を持っている（＝have動詞）			
8回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	er動詞			
9回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	指示形容詞			
10回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	所有形容詞			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	強音人称代名詞			
12回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	形容詞			
13回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	疑問形			
14回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	疑問詞			
15回	テーマ	復習	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング/ポートフォリオ（到達度レポート）を作成	90
	内容	復習			
16回	テーマ	定期試験			
	内容	定期試験			

科目名	選択外国語Ⅰ（韓国語）（３機ナ建宇情微生）後期	開講学年	3	講義コード	2143001	区分	選択
英文表記	Korean Ⅰ	開講期	前期/後期	開講形態		単位数	2

担当教員	辛教燦（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室

メールアドレス	viduri1026@gmail.com

キーワード	韓国語

授業概要	「韓国語Ⅰ」では、韓国語の「ハングル」の読み書き、簡単な会話を学ぶ。また、ハングル入力によるインターネット検索を行い、自分で簡単な韓国関連の情報を調べられるようにする。韓国の歌などの文化を通して韓国語を楽しく学ぶ。 (1)ハングル文字（母音・子音・パッチムなど）を学ぶ。 (2)韓国語における簡単な挨拶・身近なものの名称などの表現を学ぶ。 (3)インターネット上で韓国関連の情報検索を行う。 (4)韓国の歌などの文化を通して韓国語を学ぶ。

関連科目

選択外国語(韓国語) 選択外国語Ⅱ(韓国語) 韓国語圏の文化と社会

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	ハングルの基礎、特に文字の母音と子音の構造を学び、ハングルを読むことができる。
f.g.i	②	韓国語の基礎文型を学び、韓国語で簡単な日常会話を話すことができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	20	0	0	10	0	100

教科書	授業中に配布する

参考書	

予備知識	韓国文化や韓国事情への関心と簡単な予備知識が必要である。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.定期試験　・1回（40点） 2.中間試験　・1回（30点） 3.レポート　・1回（20点） 4.ポートフォリオ　・1回（10点)

学修上の注意 (SBOs)	・発音練習など、授業に積極的に参加すること。・ポートフォリオはレポートに貼り付け、メールで提出(メールでの提出が難しい場合は印刷して教員に提出)

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義　演習	授業内容の確認	90
	内容	ガイダンス			
2回	テーマ	発音と文字①	講義　演習	【予習】プリント「基本母音と子音」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「基本母音と基本子音」:ハングル表·母音と子音の形と音			
3回	テーマ	発音と文字②	講義　演習	【予習】プリント「激音·濃音」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「激音·濃音」:平音·激音·濃音の特色			
4回	テーマ	発音と文字③	講義　演習	【予習】プリント「二重母音」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「二重母音」			
5回	テーマ	発音と文字④	講義　演習	【予習】プリント「パッチム」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「パッチム」:パッチム発音と連音			
6回	テーマ	発音と文字⑤	講義　演習	【予習】プリント「発音の規則」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「発音の規則」:鼻音化·濃音化·激音化·口蓋音化			
7回	テーマ	総合練習(1)	講義　演習	【予習】中間テストの準備【復習】中間テストの準備と課題提出	90
	内容	発音と文字①～⑤			
8回	テーマ	中間試験	講義　演習	【予習】プリント「自己紹介(1)」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容				
9回	テーマ	会話基礎①	講義　演習	【予習】プリント「自己紹介(2)」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「挨拶·教室会話」:こんにちは?			
10回	テーマ	会話基礎②	講義　演習	【予習】プリント「物·人の紹介」を事前に読む【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「自己紹介」:初めまして			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	会話基礎③	講義　演習	【予習】中間テストの準備 【復習】中間テストの準備と課題提出	90
	内容	「物·人の紹介」:これは何ですか?			
12回	テーマ	会話基礎④	講義　演習	【予習】プリント「日程の紹介」を事前に読む 【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「日程の紹介」:週末に何をしますか?			
13回	テーマ	会話基礎⑤	講義　演習	【予習】プリント「場所の紹介」を事前に読む 【復習】次回の小テストの準備と課題提出	90
	内容	「場所の紹介」:事務室はどこにありますか?			
14回	テーマ	文化と情報検索	講義　演習	【予習】プリント(韓国の歌)を事前に読む 【復習】韓国語で情報検した結果の課題提出	90
	内容	韓国の文化学習と韓国語で情報検索方法学習			
15回	テーマ	前期:試験　後期:総合練習(2)	講義　演習	【予習】期末テストの準備 【復習】期末テストの準備と課題提出 ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	90
	内容	前期:定期試験 後期:会話基礎①~⑤			
16回	テーマ	後期:試験	演習		
	内容	後期:定期試験			

科目名	選択外国語Ⅱ（韓国語）（３機ナ建宇情微生）後期	開講学年	3	講義コード	2143101	区分	選択
英文表記	KoreanⅡ	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	辛教燦（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室

メールアドレス	viduri1026@gmail.com

キーワード	韓国語

授業概要	この授業では、前期で覚えた「ハングル文字」を利用し、 (1)韓国語における一日のスケジュール、天気や近日の話などの日常会話を学ぶ。(2)韓国語における疑問･否定･敬語･過去形の表現等を学ぶ。(3)韓国の歌などの文化を通して韓国語を楽しく学ぶ。(4)韓国関連テーマで発表を行う。

関連科目

韓国語　選択外国語Ⅰ（韓国語）
韓国語圏の文化と社会

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	韓国語における一日のスケジュール、天気や近日の話などの日常会話ができる。
	②	韓国語の疑問･否定･敬語･過去形の表現等ができる。
	③	韓国の歌などの文化を通して韓国語の基礎を覚えることができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	40	0	20	0	0	0	0	100

教科書	授業中に配布する

参考書	

予備知識	韓国語の基礎(ハングル)に関する予備知識が必要である。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会関係形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.定期試験　・1回(40点) 2.中間試験　・1回(40点) 3.レポート　・1回(20点)

学修上の注意 (SBOs)	

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	第1回 ガイダンス	講義 演習	【予習】韓国語の文字（ハングル）を読む	90
	内容				
2回	テーマ	第2回 会話基礎①	講義 演習	【予習】プリント「数字(1)」を事前に読む 【復習】課題提出	90
	内容	「数字(1)」：事務室は何階にありますか？			
3回	テーマ	第3回 会話基礎②	講義 演習	【予習】プリント「数字(2)」を事前に読む 【復習】課題提出	90
	内容	「数字(2)」：電話番号は何番ですか？			
4回	テーマ	第4回 会話基礎③	講義 演習	【予習】プリント「動詞(1)」を事前に読む 【復習】課題提出	90
	内容	「動詞(1)」：今、どこに行きますか？			
5回	テーマ	第5回 会話基礎④	講義 演習	【予習】プリント「動詞(2)」を事前に読む 【復習】課題提出	90
	内容	「動詞(2)」：韓国語の辞書を買いたいです。			
6回	テーマ	第6回 会話基礎⑤	講義 演習	【予習】プリント「数字(3)」を事前に読む 【復習】課題提出	90
	内容	「数字(3)」：韓国語辞書1冊と葉書5枚です。			
7回	テーマ	第7回 総合練習(1)	講義 演習	【予習】中間テストの準備 【復習】中間テストの準備と課題提出	90
	内容	総合練習「会話基礎①～⑤」			
8回	テーマ	第8回 中間テスト	講義 演習	【予習】中間テストの準備 【復習】中間テストの準備と課題提出	90
	内容	中間テスト			
9回	テーマ	第9回 会話基礎⑥	講義 演習	【予習】プリント「授与動詞」を事前に読む 【復習】課題提出	90
	内容	「授与動詞」：友達に小包を送ります。			
10回	テーマ	第10回 会話基礎⑦	講義 演習	【予習】プリント「月日・曜日」を事前に読む 【復習】課題提出	90
	内容	「月日・曜日」：テストは何日ですか？			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	第11回 会話基礎⑧	講義 演習	【予習】プリント「数字(4)」を事前に読む 【復習】課題提出	90
	内容	「数字(4)」：午前11時に会議があります。			
12回	テーマ	第12回 会話基礎⑨	講義 演習	【予習】プリント「過去時制」を事前に読む 【復習】課題提出	90
	内容	「過去時制」：卒業後すぐ就職しました。			
13回	テーマ	第13回 会話基礎⑩	講義 演習	【予習】プリント「未来時制」を事前に読む 【復習】課題提出	90
	内容	「未来時制」：民俗村に行くつもりです。			
14回	テーマ	第14回 韓国文化の発表	講義 演習	【予習】パソコン・スマートフォン上でのハングル入力 【復習】韓国語で情報検した結果の課題提出	90
	内容	「ハングル入力」：ハングル入力による韓国文化調査・発表			
15回	テーマ	第15回 総合練習(2)	講義 演習	【予習】期末テストの準備 【復習】期末テストの準備	90
	内容	「会話基礎⑥～⑩」まとめ			
16回	テーマ	定期試験			90
	内容	定期試験			

科目名	選択外国語Ⅰ（フランス語）（３機ナ建宇情微生美デ）後期	開講学年	3	講義コード	2143501	区分	選択
英文表記	Foreign Language (French I) (Applied Microbial Technology / Applied Life Science)	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	フェレロ イヴ （非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	火２限本館1階、木３限、木４限芸術学部

メールアドレス	yves@plum.plala.or.jp

キーワード	フランス語　単語　発音　文法

授業概要	フランス語の入門・初級講座である。フランス語を基礎から勉強し、日常生活に使われることばや言い方を中心に会話の練習をしながら読み書きの基本を身に着ける。

関連科目

フランス語Ⅱ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	簡単な発音をすることが出来る。
f.g	②	フランス語の短文を読み書きの基本を身に着け、それらを実践することができる。
a.f.g	③	フランスの文化についての理解を深め、グローバル的な考え方を身に着ける。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	20	70	0	0	0	0	10	0	100

教科書	授業開始時教科書を配布する。　フェレロ

参考書	

予備知識	フランス語、フランス文化についての基礎的知識　中高校で習った英語の学び方とその体験
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」「グローバルな視点から多面的に物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	中間テストは1回行うので1回×20点＝20点　定期試験は1回行うので1回×70点＝70点　ポートフォリオは1回×10点＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.電子媒体でもいいので和仏一仏和辞書を持って来ること。2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	オリエンテーション＝発音			
2回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	1日に10分
	内容	挨拶			
3回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	母音と母音字			
4回	テーマ	単語	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	人称代名詞			
5回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～である（＝be動詞）			
6回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	冠詞			
7回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～を持っている（＝have動詞）			
8回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	er動詞			
9回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	指示形容詞			
10回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	所有形容詞			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	強音人称代名詞			
12回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	形容詞			
13回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	疑問形			
14回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング　ポートフォリオ(到達度レポート)を作成	90
	内容	疑問詞			
15回	テーマ	試験			90
	内容	定期試験			

科目名	フランス語Ⅱ（選択外国語Ⅱ）（３機ナ建宇情微生美デ）後期	開講学年	3	講義コード	2143701	区分	選択
英文表記	French II (Arts Design)	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	フェレロ イヴ（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	火３限本館1階、火４限芸術学部

メールアドレス	yves@plum.plala.or.jp

キーワード	フランス語　単語　発音　文法

授業概要	フランス語の初中級講座である。フランス語を基礎からし、日常生活に使われることばや言い方を中心に会話の練習をしながら読み書きの基本を身に着ける。

関連科目：フランス語Ⅰ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	簡単な発音をすることが出来る。
a.f.g	②	フランス語の短文を読み書きの基本を身に着け、それらを実践することができる。
f.g	③	フランスの文化についての理解を深め、グローバル的な考え方を身に着ける。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	20	70	0	0	0	0	10	0	100

教科書	授業開始時教科書を配布する。

参考書	

予備知識	フランス語、フランス文化についての基礎的知識　中高校で習った英語の学び方及びその体験
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」「グローバルな視点から多面的に物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	中間テストは1回行うので1回×20点＝20点　定期試験は1回行うので1回×70点＝70点　ポートフォリオは1回×10点＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.電子媒体でもいいので和仏一仏和辞書を持って来ること。2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	会話	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	９０
	内容	前期の会話の復習			
2回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	９０
	内容	する（＝do動詞）			
3回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	９０
	内容	来る／行く			
4回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	９０
	内容	定冠詞の縮約1			
5回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	９０
	内容	疑問形容詞			
6回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	９０
	内容	非人称動詞			
7回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	９０
	内容	e*er動詞			
8回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	９０
	内容	定冠詞の縮約2			
9回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	９０
	内容	不定形用紙			
10回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	９０
	内容	～も～も～しない			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	９０
	内容	目的語の人称代名詞1			
12回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	９０
	内容	目的語の人称代名詞2			
13回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	９０
	内容	再起動詞			
14回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	９０
	内容	命令形			
15回	テーマ	復習	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング　ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	９０
	内容	復習			
16回	テーマ	定期試験			
	内容	定期試験			

科目名	フランス語Ⅰ（３美デ）後期	開講学年	3	講義コード	2143801	区分	選択
英文表記	Foreign Language (French I) (Applied Microbial Technology / Applied Life Science)	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	フェレロ イヴ （非常勤）						
研究室	本館１階 非常勤講師室			オフィスアワー	火２限本館1階、木３限、木４限芸術学部		
メールアドレス	yves@plum.plala.or.jp						
キーワード	フランス語　単語　発音　文法						

授業概要

フランス語の入門・初級講座である。フランス語を基礎から勉強し、日常生活に使われることばや言い方を中心に会話の練習をしながら読み書きの基本を身に着ける。

関連科目

フランスⅡ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	簡単な発音をすることが出来る。
f.g	②	フランス語の短文を読み書きの基本を身に着け、それらを実践することができる。
a.f.g	③	フランスの文化についての理解を深め、グローバル的な考え方を身に着ける。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
20	70	0	0	0	0	10	0	100

教科書

授業開始時教科書を配布する。　フェレロ

参考書

予備知識	フランス語、フランス文化についての基礎的知識　中高校で習った英語の学び方とその体験
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」「グローバルな視点から多面的に物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	中間テストは1回行うので1回×20点＝20点　定期試験は1回行うので1回×70点＝70点　ポートフォリオは1回×10点＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.電子媒体でもいいので和仏一仏和辞書を持って来ること。2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	オリエンテーション＝発音			
2回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	1日に10分
	内容	挨拶			
3回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	母音と母音字			
4回	テーマ	単語	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	人称代名詞			
5回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～である（＝be動詞）			
6回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	冠詞			
7回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～を持っている（＝have動詞）			
8回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	er動詞			
9回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	指示形容詞			
10回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	所有形容詞			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	強音人称代名詞			
12回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	形容詞			
13回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	疑問形			
14回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング　ポートフォリオ(到達度レポート)を作成	90
	内容	疑問詞			
15回	テーマ	試験			90
	内容	定期試験			

科目名	ドイツ語Ⅰ（３機ナ建宇情微生）後期	開講学年 3	講義コード 2144201	区分 選必
英文表記	German	開講期 前期／後期	開講形態	単位数 2
担当教員	アクスト フローリアン			
研究室	本館１階非常勤講師室		オフィスアワー	授業後非常勤講師室で対応
メールアドレス	axt.koushi@icloud.com			
キーワード	ドイツ語学習			

授業概要

日常生活の様々な場面において、ドイツ語でコミュニケーションが取れるようにする。ドイツ語を総合的に学び、活用能力を習得する。

関連科目

ドイツ語 II

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	ドイツ語の基礎的な仕組みを理解できる。
	②	簡単なドイツ語会話ができる。
	③	簡単なドイツ語文章を書くことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	50	30	0	10	0	10	0	100

教科書

Ein Geist in Nurnberg? Deutsch fur Anfanger　同学社　Diana Beier-Taguchi, 清野智昭　978-4-8102-0735-4

参考書

予備知識	日頃から新聞やニュース、読書等を通してドイツやヨーロッパに関心を持つこと。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	授業への積極的な参加及び、小テストと定期試験によって総合的に評価する。　詳細は以下の通り。　定期試験は1回行うので1×50=50点　小テストは6回行うので6×5=30点　成果発表は1回行うので1×10=10点 ポートフォリオは1回行うので1×10=10点

学修上の注意 (SBOs)	1.出席を怠らず、毎時間の予習と復習を行うこと。　2.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義・演習	当該ページの復習	90
	内容	イントロダクション／アルファベットの読み方／あいさつ／自己紹介			
2回	テーマ	動詞(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	動詞の現在人称変化			
3回	テーマ	数字	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	数字			
4回	テーマ	動詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	不正規動詞			
5回	テーマ	名詞(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	名詞の性			
6回	テーマ	小テスト名詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	名詞の格			
7回	テーマ	名詞(3)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	複数形			
8回	テーマ	名詞(4)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	複数形			
9回	テーマ	前置詞(1)、所有冠詞(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	前置詞、所有冠詞			
10回	テーマ	前置詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	前置詞			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	動詞(4)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	分離動詞			
12回	テーマ	小テスト、副文(1)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	副文			
13回	テーマ	動詞(5)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	話法の助動詞			
14回	テーマ	動詞(6)副文(2)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	話法の助動詞 副文			
15回	テーマ	試験			90
	内容	定期試験			
16回	テーマ				90
	内容				

科目名	ドイツ語Ⅱ（３機ナ建宇情微生）後期	開講学年	3	講義コード	2144301	区分	選必
英文表記	German II	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	アクスト フローリアン

研究室	本館１階非常勤講師室	オフィスアワー	授業後非常勤講師室で対応

メールアドレス	axt.koushi@icloud.com

キーワード	ドイツ語学習

授業概要	既習事項を確認しながら、ドイツ語でコミュニケーションが取れるようにする。ドイツ語をより総合的に学び、活用能力を習得する。

関連科目：ドイツ語I

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	ドイツ語の基礎的な仕組みを理解できる。
	②	基本的なドイツ語会話ができる。
	③	基本的なドイツ語文章を書くことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	50	30	0	10	0	10	0	100

教科書	Ein Geist in Nurnberg? Deutsch fur Anfanger　同学社　Diana Beier-Taguchi, 清野智昭　978-4-8102-0735-4

参考書	

予備知識	日頃から新聞やニュース、読書等を通してドイツやヨーロッパに関心を持つこと。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	授業への積極的な参加及び、小テストと定期試験によって総合的に評価する。　詳細は以下の通りで。　定期試験は1回行うので1×50=50点　小テストは6回行うので6×5=30点　成果発表は1回行うので1×10=10点 ポートフォリオは1回行うので1×10=10点

学修上の注意 (SBOs)	1.出席を怠らず、毎時間の予習と復習を行うこと。　2.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	動詞(1)	講義・演習	当該ページの復習	90
	内容	話法の助動詞			
2回	テーマ	人称代名詞	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	人称代名詞の3格･4格			
3回	テーマ	動詞(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	再帰動詞､命令形			
4回	テーマ	完了形	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	現在完了形			
5回	テーマ	前置詞	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	3･4格支配の前置詞			
6回	テーマ	関係代名詞	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	関係代名詞			
7回	テーマ	過去形(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	過去形			
8回	テーマ	過去形(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	過去形､日付			
9回	テーマ	未来形(1)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	未来形			
10回	テーマ	接続法第2式(2)	講義・演習	当該ページの復習　次回の単元の復習	90
	内容	接続法第2式			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	接続法第2式(1)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	接続法第2式			
12回	テーマ	2格	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	名詞の2格			
13回	テーマ	形容詞(1)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	形容詞			
14回	テーマ	形容詞(2)	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	比較級と最上級			
15回	テーマ	補足	講義・演習	当該ページの復習 次回の単元の復習	90
	内容	補足と復習			
16回	テーマ	試験			90
	内容	後期試験			

科目名	中国語Ⅰ（３機ナ建宇情微生）後期	開講学年 3	講義コード 2144801	区分 選択
英文表記	Chinese1	開講期 前期	開講形態	単位数 2.

担当教員	単援朝

研究室	本館307	オフィスアワー 木曜４ 金曜３

メールアドレス	shan@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	発音,語彙,文法,漢字

授業概要	1.中国語は漢字が使用されているから日本人学習者にとって学びやすいと思われがちであるが、発音や文法など言語としての系統が全く違うので外 国語として学ぶほかない。中国語Iは中国語を初めて学習する人のための入門・初級講座である。中国の基礎を身につけるよう、週一回の授業で中国語の発音をはじめ、日常生活に密着した語彙、表現および簡単な文法を学ぶ。中国語でのコミュニケーション力の養成は目的である 2.ALを基本的授業手法とする。発音練習、会話練習と文法解説を交互に行うが、とくに単語の発音練習に力を入れる。 3.毎回練習問題（小テスト）を課すので、必ず提出すること。 4.中間試験と小テストの講評を行う。

関連科目

中国語Ⅱ　中国語圏の文化と社会

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A4	A4
		JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	発音の仕組みが分かり、習った単語を発音することができる。
f.g.i	②	動詞述語文と形容詞述語文の構造を理解し、中国語の短文を読み、書くことができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	１５	５５	２０	０	０	０	１０	０	１００

教科書	改訂 中国語への招待　熊本出版文化会館　王忠義・単継清

参考書	精選日中・中日辞典　東方書店　姜晩成・王郁良編

予備知識	1.初修外国語なので、英語学習の要領、体験などが学習において役立つ。 2.中国という国についての基本的知識。 3.漢字
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験 1回行うので1×15点＝15点 2.小テスト 教科書の第1課から第9課まで+発音10回行うので10×2点＝20点 3.定期試験 1回×55点＝55点 4.ポートフォリオ1回×10点＝10点 5.基本的に再試を行わない。

学修上の注意 (SBOs)	1.語学の勉強は一般の授業と違って、単なる講義を聞いて理解するだけでなく、真似たり、考えたり、口にしたりすることなどが必要であるということを心得て、双方向的学習を目指すように授業中発音練習、会話練習に積極的に参加すること。 2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.スマートフォンはカバンの中にしまうこと。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 5.中国語Ⅰを履修しておかないと中国語Ⅱを履修することができません。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本知識	講義		90
	内容	中国語あれこれ 中国語の発音、語彙、文法などについて概説			
2回	テーマ	発音	講義 AL	【予習】教科書p141～148を読んでおく。　【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	発音 母音、子音、複母音			
3回	テーマ	発音	講義 AL	【予習】教科書p149～151を読んでおく。　【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	発音 声調、軽声、音節			
4回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p6～8を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	初対面 判断、紹介の表現、疑問文(1)、人称代名詞			
5回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p11～14を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	訪問・取り次ぎ 存在、懇請の表現、疑問文(2)、基数詞・序数詞			
6回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p16～19を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	自程 勧誘、時間の表現、疑問文(3)、連動式(1)、方位詞			
7回	テーマ	発音　形容詞述語文	講義	【予習】教科書p22～25を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	買い物 完了、頻度の表現、指示代名詞・疑問代名詞(1)			
8回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p27～30を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	相談 存在、時刻の表現、“二”と“両”の使い分け			
9回	テーマ	中間試験	講義 試験	【復習】小テストの講評。	90
	内容	中間試験 第一課～第五課			
10回	テーマ	発音　様々な修飾語	講義	【予習】教科書p33～36を読んでおく。　【復習】中間試験の講評。	90
	内容	中国語学習 程度、範囲の表現、補語(1)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発音　様々な修飾語	講義	【予習】教科書p39～42を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	旅行　可能、経験、願望の表現、助動詞(1)			
12回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p45～48を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	チケットの予約　方式、願望の表現、連動式(2)			
13回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p52～55を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	休暇　補語(2)、疑問文(4)、曜日の言い方			
14回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p33～55を読んでおく。　【復習】語彙の復習・プリントを配る	90
	内容	復習　第六課～第九課			
15回	テーマ	試験	試験		90
	内容	定期試験			
16回	テーマ				90
	内容				

科目名	中国語Ⅰ（３美デ）後期	開講学年	3	講義コード	2144901	区分	選択
英文表記	Chinese1	開講期	前期	開講形態		単位数	2.
担当教員	単援朝						
研究室	本館307			オフィスアワー	木曜４　金曜３		
メールアドレス	shan@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	発音,語彙,文法,漢字						

授業概要

1.中国語は漢字が使用されているから日本人学習者にとって学びやすいと思われがちであるが、発音や文法など言語としての系統が全く違うので外 国語として学ぶほかない。中国語Iは中国語を初めて学習する人のための入門・初級講座である。中国の基礎を身につけるよう、週一回の授業で中国語の発音をはじめ、日常生活に密着した語彙、表現および簡単な文法を学ぶ。中国語でのコミュニケーション力の養成は目的である 2.ALを基本的授業手法とする。発音練習、会話練習と文法解説を交互に行うが、とくに単語の発音練習に力を入れる。 3.毎回練習問題（小テスト）を課すので、必ず提出すること。 4.中間試験と小テストの講評を行う。

関連科目

中国語Ⅱ　中国語圏の文化と社会

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	発音の仕組みが分かり、習った単語を発音することができる。
f.g.i	②	動詞述語文と形容詞述語文の構造を理解し、中国語の短文を読み、書くことができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
１５	５５	２０	０	０	０	１０	０	１００

教科書

改訂 中国語への招待　熊本出版文化会館　王忠義・単継清

参考書

精選日中・中日辞典　東方書店　姜晩成・王郁良編

予備知識	1.初修外国語なので、英語学習の要領、体験などが学習において役立つ。 2.中国という国についての基本的知識。 3.漢字
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（特に「人間関係形成・社会形成能力」「グローバル的な視点から物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験 1回行うので1×15点＝15点 2.小テスト 教科書の第1課から第9課まで+発音10回行うので10×2点＝20点 3.定期試験 1回×55点＝55点 4.ポートフォリオ1回×10点＝10点 5.基本的に再試を行わない。

学修上の注意 (SBOs)	1.語学の勉強は一般の授業と違って、単なる講義を聞いて理解するだけでなく、真似たり、考えたり、口にしたりすることなどが必要であるということを心得て、双方向的学習を目指すように授業中発音練習、会話練習に積極的に参加すること。 2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.スマートフォンはカバンの中にしまうこと。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 5.中国語Ⅰを履修しておかないと中国語Ⅱを履修することができません。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本知識	講義		90
	内容	中国語あれこれ 中国語の発音、語彙、文法などについて概説			
2回	テーマ	発音	講義 AL	【予習】教科書p141～148を読んでおく。　【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	発音 母音、子音、複母音			
3回	テーマ	発音	講義 AL	【予習】教科書p149～151を読んでおく。　【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	発音 声調、軽声、音節			
4回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p6～8を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	初対面 判断、紹介の表現、疑問文(1)、人称代名詞			
5回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p11～14を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	訪問・取り次ぎ 存在、懇請の表現、疑問文(2)、基数詞・序数詞			
6回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p16～19を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	自程 勧誘、時間の表現、疑問文(3)、連動式(1)、方位詞			
7回	テーマ	発音　形容詞述語文	講義	【予習】教科書p22～25を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	買い物 完了、頻度の表現、指示代名詞・疑問代名詞(1)			
8回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p27～30を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	相談 存在、時刻の表現、“二”と“两”の使い分け			
9回	テーマ	中間試験	講義 試験	【復習】小テストの講評。	90
	内容	中間試験 第一課～第五課			
10回	テーマ	発音　様々な修飾語	講義	【予習】教科書p33～36を読んでおく。　【復習】中間試験の講評。	90
	内容	中国語学習 程度、範囲の表現、補語(1)			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発音　様々な修飾語	講義	【予習】教科書p39～42を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	旅行　可能、経験、願望の表現、助動詞(1)			
12回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p45～48を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	チケットの予約　方式、願望の表現、連動式(2)			
13回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p52～55を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	休暇　補語(2)、疑問文(4)、曜日の言い方			
14回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p33～55を読んでおく。　【復習】語彙の復習・プリントを配る	90
	内容	復習　第六課～第九課			
15回	テーマ	試験	試験		90
	内容	定期試験			
16回	テーマ				90
	内容				

科目名	中国語Ⅱ（３機ナ建宇情微生美デ）後期	開講学年	3	講義コード	2145001	区分	選択
英文表記	Chinese2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	単援朝		
研究室	本館307	オフィスアワー	木曜４　金曜３
メールアドレス	shan@ed.sojo-u.ac.jp		
キーワード	発音、語彙、文法、実用		

授業概要

1.中国語Ⅱは、中国語Iよりさらに一方上の段階を学ぶ初・中級コースである。コミュニケーションのための中国語学習となるよう、厳選された文法事項を勉強すると同時に、会話練習に力点を置き平易な会話を反復練習し、生活習慣を反映する語彙・表現の学習を通じてコミュニケーション能力を養成し、中国の文化、社会的諸相をある程度理解することを図る。中国語でのコミュニケーション力の養成は目的である　　2..ALを基本的授業手法とし、発音練習、会話練習と文法解説を交互に行う。　. 3.毎回練習問題（小テスト）を課す。必ず提出すること。 4.中間試験と小テストの講評を行う。

関連科目

中国語Ⅰ　中国語圏の文化と社会

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	発音の仕組みを理解し、挨拶の表現を中心に簡単な会話をすることができる
	②	基礎文法を習得し、中国語の短文を読み、書くことができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
１５	５７	１８	０	０	０	１０	０	１００

教科書	改訂 中国語への招待　熊本出版文化会館　王忠義・単継清
参考書	精選日中・中日辞典　東方書店？　姜晩成・王郁良編

予備知識	1.英語学習の要領、体験などが学習において役立つ。　2.中国という国についての基本的知識。　3.漢字。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「グローバルな視点で物事の本質を理解する能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験 1回行うので1×15点＝15点　2.小テスト 教科書の第9課から第18課まで+文法10回行うので10×2点＝20点　3.定期試験 1回×55点＝55点　4.ポートフォリオ1回×10点＝10点　5.基本的に再試を行わない。

学修上の注意 (SBOs)	1.語学の勉強は一般の授業と違って、単なる講義を聞いて理解するだけでなく、真似たり、考えたり、口にしたりすることなどが必要であるということを心得て、双方向的学習を目指すように授業中発音練習、会話練習に積極的に参加すること。 2.授業開始30分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.スマートフォンはカバンの中にしまうこと。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 5.中国語Ｉを履修しておかないと中国語ＩＩを履修することができません。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	復習	講義	【復習】前期的試験の講評、作文。	90
	内容	復習　中国語Iで学んだ内容の確認			
2回	テーマ	完了	講義	【予習】教科書p73～76を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	ペンパル訪問 過去・完了の表現			
3回	テーマ	形容詞述語文	講義	【予習】教科書p73～76を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	北京の四季 形容詞述語文(2)			
4回	テーマ	助動詞	講義	【予習】教科書p79～83を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	拳法と気功術 可能の表現、補語(2)(3)、助動詞のまとめ			
5回	テーマ	アスペクト	講義	【予習】教科書p86～90を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	依頼 進行の表現、兼語式(1)、助数詞のまとめ			
6回	テーマ	テンス	講義	【予習】教科書p94～99を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	中華料理 趣味、好みを表す表現			
7回	テーマ	アスペクト	講義	【予習】教科書p98～99を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	文法の整理 テンスとアスペクト（動態）			
8回	テーマ	中間試験	試験	【予習】第十課～第十四課　【復習】小テストの講評。	90
	内容	復習・中間試験 第十課～第十四課			
9回	テーマ	副詞	講義	【予習】教科書p103～107を読んでおく。　【復習】中間試験の講評。	90
	内容	中国の食文化 推定の表現、副詞のまとめ			
10回	テーマ	比較	講義	【予習】教科書p111～114を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	李さんと王君 対人呼称、仮定、比較の表現			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	補語	講義	【予習】教科書p118～122を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	文通(1) 補語(4)(5)			
12回	テーマ	前置詞	講義	【予習】教科書p126～129を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	文通(2) 程度の表現、連動式、兼語式			
13回	テーマ	前置詞	講義	【予習】プリントを配る。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	文法の整理 補語のまとめ、前置詞(介詞)のまとめ			
14回	テーマ	復習 修飾語	講義	【予習】教科書p130～132を読んでおく。ポートフォリオ(到達度レポート)を作成。	90
	内容	復習(1) 第十五課～第十八課			
15回	テーマ	復習	演習	中国の映画	90
	内容	復習(2) 映像資料で学ぶ			
16回	テーマ	期末試験	試験		90
	内容	期末試験			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ①（１機整操・１シス◎）	開講学年	1	講義コード	2211301	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態		単位数	3
担当教員	藤城 謙一　中野 洋一　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明　中西 眞也（非常勤）						
研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中野）、本館付属棟316（津曲）　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）　　本館１階 非常勤講師室（中西）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照				
メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式						

授業概要

機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分、偏微分、2重積分、微分方程式について公式や解法を用いて基本的な計算ができる。
f	②	極値の判定式や関数の性質を活用して、関数を調べたりそのグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書

微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書

解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5
微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6
関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2
微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における、数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中野）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び,その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	講評、中間試験　課題の講評・振り返り、中間試験			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ②（1機整操・1シス◎）	開講学年	1	講義コード	2211302	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態		単位数	3
担当教員	藤城 謙一　中野 洋一　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明　中西 眞也（非常勤）						
研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中野）、本館付属棟316（津曲）　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）　　本館1階 非常勤講師室（中西）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照				
メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式						

授業概要

機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分、偏微分、2重積分、微分方程式について公式や解法を用いて基本的な計算ができる。
f	②	極値の判定式や関数の性質を活用して、関数を調べたりそのグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書

微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書

解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5
微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6
関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2
微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における、数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中野）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び,その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	講評、中間試験　課題の講評・振り返り、中間試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ③（１機整操・１シス◎）	開講学年	1	講義コード	2211303	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態		単位数	3

担当教員	藤城 謙一　中野 洋一　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明　中西 眞也（非常勤）

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中野）、本館付属棟316（津曲)　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）　　本館１階 非常勤講師室（中西）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分、偏微分、2重積分、微分方程式について公式や解法を用いて基本的な計算ができる。
f	②	極値の判定式や関数の性質を活用して、関数を調べたりそのグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における、数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中野）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び,その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	講評、中間試験　課題の講評・振り返り、中間試験			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ④（1機整操・1シス◎）	開講学年	1	講義コード	2211304	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態		単位数	3
担当教員	藤城 謙一　中野 洋一　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明　中西 眞也（非常勤）						
研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中野）、本館付属棟316（津曲）　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）　本館1階 非常勤講師室（中西）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照				
メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式						

授業概要

機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分、偏微分、2重積分、微分方程式について公式や解法を用いて基本的な計算ができる。
f	②	極値の判定式や関数の性質を活用して、関数を調べたりそのグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書

微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書

解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5
微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6
関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2
微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における、数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中野）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び,その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	講評、中間試験　課題の講評・振り返り、中間試験			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ①（１建◎・１情）	開講学年	1	講義コード	2211401	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態		単位数	3

担当教員	藤城 謙一　中野 洋一　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明　中西 眞也（非常勤）

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中野）、本館付属棟316（津曲）　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）　　本館１階 非常勤講師室（中西）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分、偏微分、2重積分、微分方程式について公式や解法を用いて基本的な計算ができる。
f	②	極値の判定式や関数の性質を活用して、関数を調べたりそのグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における、数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中野）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び,その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	講評、中間試験　課題の講評・振り返り、中間試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ②（１建◎・１情）	開講学年	1	講義コード	2211402	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態		単位数	3

担当教員	藤城 謙一　中野 洋一　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明　中西 眞也（非常勤）

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中野）、本館付属棟316（津曲)　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）　　本館１階 非常勤講師室（中西）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分、偏微分、2重積分、微分方程式について公式や解法を用いて基本的な計算ができる。
f	②	極値の判定式や関数の性質を活用して、関数を調べたりそのグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における、数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中野）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び,その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	講評、中間試験　課題の講評・振り返り、中間試験			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ③（１建◎・１情）	開講学年	1	講義コード	2211403	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態		単位数	3

担当教員	藤城 謙一　中野 洋一　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明　中西 眞也（非常勤）

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中野）、本館付属棟316（津曲)　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）　　本館１階 非常勤講師室（中西）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分、偏微分、2重積分、微分方程式について公式や解法を用いて基本的な計算ができる。
f	②	極値の判定式や関数の性質を活用して、関数を調べたりそのグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における、数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中野）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び,その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	講評、中間試験　課題の講評・振り返り、中間試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ④（１建◎・１情）	開講学年	1	講義コード	2211404	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態		単位数	3
担当教員	藤城 謙一　中野 洋一　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明　中西 眞也（非常勤）						
研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中野）、本館付属棟316（津曲）　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）　　本館１階 非常勤講師室（中西）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照				
メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式						

授業概要

機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分、偏微分、2重積分、微分方程式について公式や解法を用いて基本的な計算ができる。
f	②	極値の判定式や関数の性質を活用して、関数を調べたりそのグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書

微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書

解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5
微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6
関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2
微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における、数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中野）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び，その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	講評、中間試験　課題の講評・振り返り、中間試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ⑤（１建◎・１情）	開講学年	1	講義コード	2211405	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態		単位数	3

担当教員	藤城 謙一　中野 洋一　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明　中西 眞也（非常勤）
研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（中野）、本館付属棟316（津曲)　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）　　本館１階 非常勤講師室（中西）
オフィスアワー	学修上の注意欄を参照
メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式

授業概要

機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）「工学・情報系の数理II」（旧カリ：線形代数）（発展科目）「工学・情報系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分、偏微分、2重積分、微分方程式について公式や解法を用いて基本的な計算ができる。
f	②	極値の判定式や関数の性質を活用して、関数を調べたりそのグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書

微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書

解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5
微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6
関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2
微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における、数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（藤城）、「初回の授業で連絡」（中野）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（津曲)、火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び,その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	講評、中間試験　課題の講評・振り返り、中間試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括			

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ①（１ナ◎・１微生）	開講学年	1	講義コード	2211601	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態		単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　中西 眞也　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（中西）　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	微分積分学　定積分　偏微分　2重積分　　微分方程式

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、化学工学での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）「バイオ・化学系の基礎数理I」（旧カリ：「微分積分学I」）（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：「行列と行列式」）（発展科目）「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：「確率・統計」）および化学工学を扱う専門科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分、偏微分、2重積分、微分方程式について公式や解法を用いて基本的な計算をすることができる。
f	②	極値の判定式や関数の性質を活用して、関数を調べたりそのグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における数学I、及び大学で学ぶ1変数の微分の知識。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（河合）、「初回の授業で連絡」（津曲）、「初回の授業で連絡」（中西）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	これまでの既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	定積分	講義	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
3回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	定積分の部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	重積分の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	3重積分について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	120
	内容	定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	30
	内容	後期の授業内容の総括としての演習と「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。			

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ②（１ナ◎・１微生）	開講学年	1	講義コード	2211602	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態		単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　中西 眞也　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（中西）　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	微分積分学　定積分　偏微分　2重積分　　微分方程式

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、化学工学での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）「バイオ・化学系の基礎数理I」（旧カリ：「微分積分学I」）（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：「行列と行列式」）（発展科目）「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：「確率・統計」）および化学工学を扱う専門科目

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分、偏微分、2重積分、微分方程式について公式や解法を用いて基本的な計算をすることができる。
f	②	極値の判定式や関数の性質を活用して、関数を調べたりそのグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における数学I、及び大学で学ぶ1変数の微分の知識。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（河合）、「初回の授業で連絡」（津曲）、「初回の授業で連絡」（中西）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	これまでの既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	定積分	講義	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
3回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	定積分の部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	重積分の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	3重積分について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	120
	内容	定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	30
	内容	後期の授業内容の総括としての演習と「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。			

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ③（１ナ◎・１微生）	開講学年	1	講義コード	2211603	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態		単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　中西 眞也　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（中西）　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	微分積分学　定積分　偏微分　2重積分　　微分方程式

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、化学工学での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）「バイオ・化学系の基礎数理I」（旧カリ：「微分積分学I」）（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：「行列と行列式」）（発展科目）「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：「確率・統計」）および化学工学を扱う専門科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分、偏微分、2重積分、微分方程式について公式や解法を用いて基本的な計算をすることができる。
f	②	極値の判定式や関数の性質を活用して、関数を調べたりそのグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における数学I、及び大学で学ぶ1変数の微分の知識。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（河合）、「初回の授業で連絡」（津曲）、「初回の授業で連絡」（中西）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	これまでの既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	定積分	講義	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
3回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	定積分の部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	重積分の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	3重積分について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	120
	内容	定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	30
	内容	後期の授業内容の総括としての演習と「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。			

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ④（１ナ◎・１微生）	開講学年	1	講義コード	2211604	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態		単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　中西 眞也　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（中西）　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	微分積分学　定積分　偏微分　2重積分　　微分方程式

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、化学工学での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）「バイオ・化学系の基礎数理I」（旧カリ：「微分積分学I」）（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：「行列と行列式」）（発展科目）「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：「確率・統計」）および化学工学を扱う専門科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分、偏微分、2重積分、微分方程式について公式や解法を用いて基本的な計算をすることができる。
f	②	極値の判定式や関数の性質を活用して、関数を調べたりそのグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における数学I、及び大学で学ぶ1変数の微分の知識。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（河合）、「初回の授業で連絡」（津曲）、「初回の授業で連絡」（中西）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	これまでの既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	定積分	講義	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
3回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	定積分の部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	重積分の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	3重積分について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	120
	内容	定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	30
	内容	後期の授業内容の総括としての演習と「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。			

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ⑤（１ナ◎・１微生）	開講学年	1	講義コード	2211605	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態		単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　中西 眞也　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（中西）　本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	微分積分学　定積分　偏微分　2重積分　　微分方程式

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、化学工学での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）「バイオ・化学系の基礎数理I」（旧カリ：「微分積分学I」）（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：「行列と行列式」）（発展科目）「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：「確率・統計」）および化学工学を扱う専門科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分、偏微分、2重積分、微分方程式について公式や解法を用いて基本的な計算をすることができる。
f	②	極値の判定式や関数の性質を活用して、関数を調べたりそのグラフを描くことができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における数学I、及び大学で学ぶ1変数の微分の知識。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。「初回の授業で連絡」（河合）、「初回の授業で連絡」（津曲）、「初回の授業で連絡」（中西）、水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	これまでの既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	定積分	講義	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
3回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	定積分の部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	重積分の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	3重積分について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	120
	内容	定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	30
	内容	後期の授業内容の総括としての演習と「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。			

科目名	確率・統計（２機宇）	開講学年	2	講義コード	2211901	区分	選択
英文表記	Probability and Statistics	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	藤城謙一		
研究室	本館付属棟315	オフィスアワー	学生支援センターの学習支援時間割を確認してください。
メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp		
キーワード	資料の整理　確率分布　推定　検定		

授業概要

確率･統計学は自然科学,工学,農学,医学はもちろん社会科学･人文科学などあらゆる分野で応用されるとともに,より高度かつ広範な学問的発展を遂げている.その意味で,確率･統計の基礎を学ぶことはどの学問分野においても必須の素養であり,より専門的な確率･統計手法への手掛かりとなる.しかし,確率と統計を数理的に行うと,多くの学生諸君は大きな抵抗を覚えるようである.　そこで本講義は,実験データの解析等に資するように,統計学の見地を重視した初歩的内容とする.すなわち現代統計学はいわば「部分から全体を知ることができるか」という問に答えようとするものであるが,もちろんこの問には肯定的に回答される.いわゆる推測統計学(推定･検定)であるが,これを中心に考えたい(計算自体は四則演算程度).ただ,推測統計を論理的に説明しようとすると確率の知識が不可欠となり,アプローチが長くなるところが教える側の悩みの種となる.対象学科によって確率の知識の必要性の有無は異なるであろうから,各学科の先生方および受講生諸君と対話しつつ学科により講義内容と構成を工夫したい.

関連科目

(基礎科目)微分積分（連携科目)線形代数（発展科目)データ解析を要する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	A2
JABEE基準		c，g	c，g	c，g

JABEE記号		学生の到達度目標
c，f，g	①	確率分布の概念が理解できるようになる
c，f，g	②	統計的推定の基礎が理解できるようになる
c，f，g	③	統計的検定の基礎が理解できるようになる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書	新確率統計　大日本図書　新井 他　　978-4-477-02686-2
参考書	新確率統計問題集　大日本図書　新井 他　978-4-477-02688-6

予備知識	数学A「場合の数・確率」、微分積分学
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ,それらを実践できるようにする.特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする.
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート（課題）の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)ポートフォリオを作成して、自己評価する。 5) 図書館の科目に関係する図書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強だから、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。理解できない箇所があれば授業時間前後に質問するか、学生支援センターにおいて学習指導員の指導を受けてください。また、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなします。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	序	講義		
	内容	講義の目的,全般的流れ			
2回	テーマ	確率変数	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	離散確率変数　連続確率変数			
3回	テーマ	確率分布1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	二項分布			
4回	テーマ	確率分布2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	正規分布			
5回	テーマ	確率分布3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ディー分布			
6回	テーマ	母集団と標本	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中心極限定理			
7回	テーマ	推定1	講義　演習	【復習】中間試験のための勉強	120
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中間試験　振り返り、講評			
9回	テーマ	推定2	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
10回	テーマ	推定3	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	検定1	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	検定の手順			
12回	テーマ	検定2	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の検定¨母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
13回	テーマ	検定3	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の検定¨母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
14回	テーマ	検定4	講義　演習	【復習】定期試験のための勉強	120
	内容	母平均の検定¨母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合（注:1群のt検定と呼ばれる検定方法）			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【予習】「学習到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験¨振り返り、講評			
16回	テーマ	まとめ	講義	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	
	内容	授業内容の総括			

科目名	確率・統計①（２情）	開講学年 2	講義コード 2212201	区分 選択
英文表記	Probability and Statistics	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	河合浩明
研究室	本館３階308
オフィスアワー	学生支援センターの学習支援時間割を確認してください。
メールアドレス	@
キーワード	資料の整理　確率分布　推定　検定

授業概要

確率･統計学は自然科学,工学,農学,医学はもちろん社会科学･人文科学などあらゆる分野で応用されるとともに,より高度かつ広範な学問的発展を遂げている.その意味で,確率･統計の基礎を学ぶことはどの学問分野においても必須の素養であり,より専門的な確率･統計手法への手掛かりとなる.しかし,確率と統計を数理的に行うと,多くの学生諸君は大きな抵抗を覚えるようである.　そこで本講義は,実験データの解析等に資するように,統計学の見地を重視した初歩的内容とする.すなわち現代統計学はいわば「部分から全体を知ることができるか」という問に答えようとするものであるが,もちろんこの問には肯定的に回答される.いわゆる推測統計学(推定･検定)であるが,これを中心に考えたい(計算自体は四則演算程度).ただ,推測統計を論理的に説明しようとすると確率の知識が不可欠となり,アプローチが長くなるところが教える側の悩みの種となる.対象学科によって確率の知識の必要性の有無は異なるであろうから,各学科の先生方および受講生諸君と対話しつつ学科により講義内容と構成を工夫したい.

関連科目

（基礎科目）基礎数理I,II（旧カリ:微分積分学）（連携科目）線形代数（発展科目）データ解析を要する科目

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c，g	c，g

JABEE記号		学生の到達度目標
c，f，g	①	確率分布の概念が理解できるようになる
c，f，g	②	統計的推定の基礎が理解できるようになる
c，f，g	③	統計的検定の基礎が理解できるようになる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書	統計学の基礎　裳華房　栗栖 他　　4-7853-1525-3
参考書	

予備知識	高校における数学A「場合の数・確率」、基礎数理I,II（旧カリ：微分積分学）
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ,それらを実践できるようにする.特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする.
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート（課題）の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)ポートフォリオを作成して、自己評価する。 5) 図書館の科目に関係する図書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強だから、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。理解できない箇所があれば授業時間前後に質問するか、学生支援センターにおいて学習指導員の指導を受けてください。また、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなします。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	序	講義		
	内容	講義の目的,全般的流れ			
2回	テーマ	確率変数	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	離散確率変数　連続確率変数			
3回	テーマ	確率分布1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	二項分布			
4回	テーマ	確率分布2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	正規分布			
5回	テーマ	確率分布3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ディー分布			
6回	テーマ	母集団と標本	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中心極限定理			
7回	テーマ	推定1	講義　演習	【復習】中間試験のための勉強	120
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中間試験　振り返り、講評			
9回	テーマ	推定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
10回	テーマ	推定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	検定1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	検定の手順			
12回	テーマ	検定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
13回	テーマ	検定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
14回	テーマ	検定4	講義　演習	【復習】定期試験のための勉強	120
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合 （注:1群のt検定と呼ばれる検定方法）			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【予習】「学習到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験 振り返り、講評			
16回	テーマ	まとめ	講義	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	
	内容	授業内容の総括			

科目名	確率・統計②（２情）	開講学年	2	講義コード	2212202	区分	選択
英文表記	Probability and Statistics	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	田代敬大（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後、非常勤講師室

メールアドレス	@

キーワード	資料の整理　確率分布　推定　検定

授業概要

確率･統計学は自然科学,工学,農学,医学はもちろん社会科学･人文科学などあらゆる分野で応用されるとともに,より高度かつ広範な学問的発展を遂げている.その意味で,確率･統計の基礎を学ぶことはどの学問分野においても必須の素養であり,より専門的な確率･統計手法への手掛かりとなる.しかし,確率と統計を数理的に行うと,多くの学生諸君は大きな抵抗を覚えるようである.　そこで本講義は,実験データの解析等に資するように,統計学の見地を重視した初歩的内容とする.すなわち現代統計学はいわば「部分から全体を知ることができるか」という問に答えようとするものであるが,もちろんこの問には肯定的に回答される.いわゆる推測統計学（推定･検定）であるが,これを中心に考えたい（計算自体は四則演算程度）.ただ,推測統計を論理的に説明しようとすると確率の知識が不可欠となり,アプローチが長くなるところが教える側の悩みの種となる.対象学科によって確率の知識の必要性の有無は異なるであろうから,各学科の先生方および受講生諸君と対話しつつ学科により講義内容と構成を工夫したい.

関連科目

（基礎科目）基礎数理I,II（旧カリ:微分積分学）（連携科目）線形代数（発展科目）データ解析を要する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c，g	c，g

JABEE記号		学生の到達度目標
c，f，g	①	確率分布の概念が理解できるようになる
c，f，g	②	統計的推定の基礎が理解できるようになる
c，f，g	③	統計的検定の基礎が理解できるようになる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

新確率統計　大日本図書　新井 他　　978-4-477-02686-2

参考書

『Excelで学ぶ統計解析入門』　オーム社　管民郎　　978-4-274-06708
『統計学が最強の学問である』　ダイヤモンド社　西内啓　　978-4-478-02221-04
『統計学が最強の学問である（実践編）』　ダイヤモンド社　西内啓　　978-4-478-02823-0
『統計的方法の仕組み』　日科技連　永田靖　4-8171-0294-2
『44の例題で学ぶ統計的検定と推定の解き方』　オーム社　上田拓治　　978-4-274-0676-0

予備知識	高校における数学A「場合の数・確率」、基礎数理I,II（旧カリ：微分積分学）
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ,それらを実践できるようにする.特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする.
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート（課題）の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)ポートフォリオを作成して、自己評価する。 5) 図書館の科目に関係する図書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強だから、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。理解できない箇所があれば授業時間前後に質問するか、学生支援センターにおいて学習指導員の指導を受けてください。また、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなします。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	序	講義		
	内容	講義の目的,全般的流れ			
2回	テーマ	確率変数	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	離散確率変数　連続確率変数			
3回	テーマ	確率分布1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	二項分布			
4回	テーマ	確率分布2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	正規分布			
5回	テーマ	確率分布3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	ディー分布			
6回	テーマ	母集団と標本	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中心極限定理			
7回	テーマ	推定1	講義　演習	【復習】中間試験のための勉強	120
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中間試験　振り返り、講評			
9回	テーマ	推定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
10回	テーマ	推定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の区間推定　母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	検定1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	検定の手順			
12回	テーマ	検定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合 （注：1群のt検定と呼ばれる検定方法）			
13回	テーマ	検定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
14回	テーマ	検定4	講義　演習	【復習】定期試験のための勉強	120
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【予習】「学習到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験 振り返り、講評			
16回	テーマ	まとめ	講義	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	
	内容	授業内容の総括			

科目名	工学・情報系の数理ＩＩＡ（２機）	開講学年	2	講義コード	2212801	区分	選択
英文表記	Linear Algebra II A	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	田中 正紀 (非常勤)		
研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室
メールアドレス	@		
キーワード	線形空間　基底　線形写像　固有値　　対角化		

授業概要

線形代数は工学、生物学、化学、さらに最近では計算機等の情報理論や経済学を学ぶ上で必須の知識となってきている。後期には、前期で学んだ行列に対する知識をさらに学習する。また、行列をベクトル空間の線形写像ととらえ、連立1次方程式論の下で、行列の対角化とその応用を学ぶ。

関連科目

（基礎科目）基礎数学（発展科目）制御工学に関連する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f	①	線形空間の概念を理解し、線形独立か線形従属を計算によって調べることができる。
c	②	基底の概念を理解し、正規直交基底を計算できる。
c	③	固有値と固有ベクトルの概念を理解し、3次以下の行列に対してそれらを求めることができる。
f	④	正則行列の概念を理解し、行列の対角化ができる。
g	⑤	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

やさしく学べる線形代数　共立出版株式会社　石村園子　　978-4-320-01660-6

参考書

トレンディ線形代数　学術図書出版社　秋山、池田、渋谷、田中　978-4-87361-226-3

予備知識	高等学校における、数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート(課題)の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強だから、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。学生支援センターにおいて質問を受けるシステムがあるので、理解できない箇所があれば積極的に質問に来ること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトルについて	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	ベクトルの定義とその演算について学び、演習問題を解く。			
2回	テーマ	ベクトルの内積	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	ベクトルの成分表示の後、ベクトルの内積の定義をし、その意味を述べる。			
3回	テーマ	線形空間（n項ベクトル空間）	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	ベクトル空間とその代表例について述べる。			
4回	テーマ	線形独立、線形従属	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	ベクトルの線形独立性の意味を述べる。			
5回	テーマ	線形独立性と1次連立方程式	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	ベクトルの線形独立性とベクトルの成分表示からでる連立1次方程式との関連を示す。			
6回	テーマ	部分空間	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	部分空間の意味と例を挙げて、説明する。			
7回	テーマ	基底と次元	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	部分空間の基底と次元に関して説明する。			
8回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	講評、中間試験　課題の講評・振り返り、中間試験			
9回	テーマ	線形写像	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	線形写像の意味とその重要性を説明する。			
10回	テーマ	内積空間と正規直交基底	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	内積の計算ができるベクトル空間は特殊な基底（正規直交基底）をもつことを示す。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	線形変換	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	内積の計算ができるベクトル空間における線形変換について述べる。			
12回	テーマ	固有値と固有ベクトル	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	行列の固有値と固有ベクトルの意味を述べる。			
13回	テーマ	行列の対角化	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	正則行列による行列の対角化について述べる。			
14回	テーマ	2次曲線の標準形	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	行列がベクトル空間の変換という性質を持つことを示す。			
15回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	「科目の学修到達度レポート」の作成	100
	内容	講評、定期試験　課題の講評・振り返り、定期試験			
16回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義	「科目の学修到達度レポート」の提出	100
	内容	まとめ　後期の授業内容の総括			

科目名	工学・情報系の数理ＩＩＢ（２機）	開講学年	2	講義コード	2212802	区分	選択
英文表記	Linear Algebra II A	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	城戸 浩章 (非常勤)						
研究室	本館１階 非常勤講師室			オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室		
メールアドレス	@						
キーワード	線形空間　基底　固有値　固有ベクトル　　対角化						

授業概要

線形代数は工学、生物学、化学、さらに最近では計算機等の情報理論や経済学を学ぶ上で必須の知識となってきている。後期には、最終的に固有値と固有ベクトルについて学ぶ。これらの概念は線形空間と線形写像という抽象数学の理論と結びついて初めて十分に理解される。しかし、ここでは抽象理論に深く入らず、全般的な学習・研究に役立つことを目標にして線形空間と固有値の基礎知識の習得と応用力の養成を目指す。

関連科目

（基礎科目）基礎数学（発展科目）制御工学に関連する科目

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
f	①	線形空間の概念を理解し、線形独立か線形従属を計算によって調べることができる。
c	②	基底の概念を理解し、正規直交基底を計算できる。
c	③	固有値と固有ベクトルの概念を理解し、3次以下の行列に対してそれらを求めることができる。
f	④	正則行列の概念を理解し、行列の対角化ができる。
g	⑤	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	45	0	15	0	0	10	0	100

教科書	やさしく学べる線形代数　共立出版株式会社　石村園子　　978-4-320-01660-6
参考書	

予備知識	工学･情報系の数理I(線形代数学I)
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート(課題)の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強だから、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。学生支援センターにおいて、数学の学習指導員が質問を受けるので、センターの学習支援時間割を確認の上、理解できない箇所があれば積極的に質問に行くこと。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトルの演算	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	ベクトルの相等、和、差、スカラー倍の意味を理解する。			
2回	テーマ	ベクトルの内積	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	内積と呼ばれるベクトルの積で図形の構造を理解する。			
3回	テーマ	線形空間の定義	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	線形空間の定義をする。			
4回	テーマ	線形独立と線形従属(1)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	ベクトルの線形独立と線形従属について解説する。			
5回	テーマ	線形独立と線形従属(2)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	前回に引き続き、ベクトルの線形独立と線形従属について解説する。			
6回	テーマ	部分空間、基底と次元(1)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	線形空間の部分空間について述べ、線形空間の基底と次元について解説する。			
7回	テーマ	基底と次元(2)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	前回に引き続き、線形空間の基底と次元について解説する。			
8回	テーマ	講評、中間試験	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験			
9回	テーマ	内積空間の定義	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	内積空間の定義について述べる。			
10回	テーマ	正規直交基底	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	シュミットの直交化法について解説する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	重要な行列、固有値、固有ベクトルの定義	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	対称、直交行列などの説明をする。その後、固有値、固有ベクトルの定義を述べる。			
12回	テーマ	固有値、固有ベクトルの求め方	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	固有値、固有ベクトルを計算で求める。			
13回	テーマ	行列の対角化	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	固有値、固有ベクトルの応用として、行列の対角化を行う。			
14回	テーマ	対称行列の対角化	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	直交行列を用いて対称行列の対角化を行う。			
15回	テーマ	講評、定期試験	講義　演習	「科目の学修到達度レポート」の作成	90
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験			
16回	テーマ	まとめ	講義	「科目の学修到達度レポート」の提出	90
	内容	後期の授業内容の総括			

科目名	工学・情報系の数理Ⅱ◎A（２建）	開講学年	2	講義コード	2212901	区分	選必
英文表記	Linear algebra II	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	藤城 謙一

研究室	本館付属棟315	オフィスアワー	学生支援センターの学習支援時間割を確認してください。

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	行列式　固有値　固有ベクトル　対角化

授業概要	本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能・論理的思考力を養います。 本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学・物理学・生物学・化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学・情報系の数理IIにおいては工学・情報系の数理Iで学んだことを元に,行列式・行列の対角化を学び,さらに,それらの応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的・多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。

関連科目

(基礎科目)工学・情報系の数理I(旧カリ:線形代数学I) (連携科目)確率・統計,工学・情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学・情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	行列式の概念を理解し、3次以下と4次以上のいずれの正方行列についても行列式を計算することができる。
c, f	②	固有値・固有ベクトルまたは線形空間の概念を理解できる。また、それらの概念を用いて行列の対角化ができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書	新版数学シリーズ 新版線形代数　実教出版　岡本和夫・他　　978-4-407-32169-2

参考書	新版数学シリーズ 新版線形代数演習　実教出版　岡本和夫・他　978-4-407-32175-3

予備知識	ベクトル･行列に関する基礎知識［工学･情報系の数理I（旧カリ:線形代数学I）の内容］
DP との 関連	基礎的･汎用的能力（「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ,それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート（ポートフォリオ）を作成し,自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	行列式の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	置換,行列式の定義について学習し,関連の演習問題を解く。			
2回	テーマ	行列式の基本性質	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列式の基本性質について学習し,関連の演習問題を解く。			
3回	テーマ	余因子展開	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列式の余因子展開について学習し,関連の演習問題を解く。			
4回	テーマ	行列式の計算	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	第2回,第3回で学んだ事柄を用いて行列式の値を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
5回	テーマ	逆行列	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	余因子を用いて行列の逆行列を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
6回	テーマ	クラメールの公式	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	行列式を用いて連立方程式を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。			
7回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
8回	テーマ	固有値	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	固有値の求め方を学習し,関連の演習問題を解く。			
9回	テーマ	固有ベクトル	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	固有ベクトルの求め方を学習し,関連の演習問題を解く。			
10回	テーマ	行列の対角化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	第8回,第9回で学んだ事柄を用いて行列の対角化について学習し,関連の演習問題を解く。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対角化の応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	対角化を用いて行列のn乗を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
12回	テーマ	対角化の応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	対角化を用いて,数列の問題を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。			
13回	テーマ	対称行列の対角化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	第14回の授業の準備としての対称行列の対角化を学習し,関連の演習問題を解く。			
14回	テーマ	2次曲線の標準化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	2次曲線の標準化について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成・提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理Ⅱ◎B（２建）	開講学年	2	講義コード	2212902	区分	選必
英文表記	Linear algebra II	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	坂西 文俊（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室

メールアドレス	@

キーワード	行列式　固有値　固有ベクトル　対角化

授業概要	本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能・論理的思考力を養います。 本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学・物理学・生物学・化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学・情報系の数理IIにおいては工学・情報系の数理Iで学んだことを元に,行列式・行列の対角化を学び,さらに,それらの応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的・多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。

関連科目

(基礎科目)工学・情報系の数理I(旧カリ:線形代数学I) (連携科目)確率・統計,工学・情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学・情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	行列式の概念を理解し、3次以下と4次以上のいずれの正方行列についても行列式を計算することができる。
c, f	②	固有値・固有ベクトルまたは線形空間の概念を理解できる。また、それらの概念を用いて行列の対角化ができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書	線形代数入門　学術図書出版　兼山瓊典 葛巻孝子 久綱正和 棚橋勝美 共著　978-4-7806-0075-9

参考書	

予備知識	ベクトル・行列に関する基礎知識［工学・情報系の数理I（旧カリ：線形代数学I）の内容］
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ，それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート（ポートフォリオ）を作成し，自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	行列式の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	置換,行列式の定義について学習し,関連の演習問題を解く。			
2回	テーマ	行列式の基本性質	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列式の基本性質について学習し,関連の演習問題を解く。			
3回	テーマ	余因子展開	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列式の余因子展開について学習し,関連の演習問題を解く。			
4回	テーマ	行列式の計算	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	第2回,第3回で学んだ事柄を用いて行列式の値を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
5回	テーマ	逆行列	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	余因子を用いて行列の逆行列を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
6回	テーマ	クラメールの公式	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	行列式を用いて連立方程式を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。			
7回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
8回	テーマ	固有値	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	固有値の求め方を学習し,関連の演習問題を解く。			
9回	テーマ	固有ベクトル	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	固有ベクトルの求め方を学習し,関連の演習問題を解く。			
10回	テーマ	行列の対角化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	第8回,第9回で学んだ事柄を用いて行列の対角化について学習し,関連の演習問題を解く。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対角化の応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	対角化を用いて行列のn乗を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
12回	テーマ	対角化の応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	対角化を用いて,数列の問題を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。			
13回	テーマ	対称行列の対角化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	第14回の授業の準備としての対称行列の対角化を学習し,関連の演習問題を解く。			
14回	テーマ	2次曲線の標準化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	2次曲線の標準化について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成・提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理Ⅱ（２字）	開講学年	2	講義コード	2213001	区分	選必
英文表記	Linear algebra II	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	坂西 文俊（非常勤）						
研究室	本館1階 非常勤講師室			オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室		
メールアドレス	@						
キーワード	行列式　固有値　固有ベクトル　対角化						

授業概要

本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能･論理的思考力を養います。本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学･物理学･生物学･化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学･情報系の数理IIにおいては工学･情報系の数理Iで学んだことを元に,行列式･行列の対角化を学び,さらに,それらの応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的･多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。

関連科目

(基礎科目)工学･情報系の数理I(旧カリ:線形代数学I) (連携科目)確率･統計,工学･情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学･情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	行列式の概念を理解し、3次以下と4次以上のいずれの正方行列についても行列式を計算することができる。
c, f	②	固有値･固有ベクトルまたは線形空間の概念を理解できる。また、それらの概念を用いて行列の対角化ができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

線形代数入門　学術図書出版　兼山瓊典 葛巻孝子 久綱正和 棚橋勝美 共著　978-4-7806-0075-9

参考書

予備知識	ベクトル･行列に関する基礎知識［工学･情報系の数理I（旧カリ:線形代数学I）の内容］
DP との 関連	基礎的･汎用的能力（「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ,それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート（ポートフォリオ）を作成し,自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	行列式の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	置換,行列式の定義について学習し,関連の演習問題を解く。			
2回	テーマ	行列式の基本性質	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列式の基本性質について学習し,関連の演習問題を解く。			
3回	テーマ	余因子展開	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列式の余因子展開について学習し,関連の演習問題を解く。			
4回	テーマ	行列式の計算	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	第2回,第3回で学んだ事柄を用いて行列式の値を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
5回	テーマ	逆行列	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	余因子を用いて行列の逆行列を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
6回	テーマ	クラメールの公式	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	行列式を用いて連立方程式を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。			
7回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
8回	テーマ	固有値	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	固有値の求め方を学習し,関連の演習問題を解く。			
9回	テーマ	固有ベクトル	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	固有ベクトルの求め方を学習し,関連の演習問題を解く。			
10回	テーマ	行列の対角化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	第8回,第9回で学んだ事柄を用いて行列の対角化について学習し,関連の演習問題を解く。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対角化の応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	対角化を用いて行列のn乗を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
12回	テーマ	対角化の応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	対角化を用いて,数列の問題を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。			
13回	テーマ	対称行列の対角化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	第14回の授業の準備としての対称行列の対角化を学習し,関連の演習問題を解く。			
14回	テーマ	2次曲線の標準化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	2次曲線の標準化について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成・提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理ＩＩＡ（２情）	開講学年	2	講義コード	2213101	区分	選択
英文表記	Linear Algebra II A	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	城戸 浩章 (非常勤)

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室

メールアドレス	@

キーワード	線形空間　基底　固有値　固有ベクトル　　対角化

授業概要	線形代数は工学、生物学、化学、さらに最近では計算機等の情報理論や経済学を学ぶ上で必須の知識となってきている。後期には、最終的に固有値と固有ベクトルについて学ぶ。これらの概念は線形空間と線形写像という抽象数学の理論と結びついて初めて十分に理解される。しかし、ここでは抽象理論に深く入らず、全般的な学習・研究に役立つことを目標にして線形空間と固有値の基礎知識の習得と応用力の養成を目指す。

関連科目
（基礎科目）基礎数学（発展科目）制御工学に関連する科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
f	①	線形空間の概念を理解し、線形独立か線形従属を計算によって調べることができる。
c	②	基底の概念を理解し、正規直交基底を計算できる。
c	③	固有値と固有ベクトルの概念を理解し、3次以下の行列に対してそれらを求めることができる。
f	④	正則行列の概念を理解し、行列の対角化ができる。
g	⑤	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	45	0	15	0	0	10	0	100

教科書	やさしく学べる線形代数　共立出版株式会社　石村園子　　978-4-320-01660-6

参考書	

予備知識	工学･情報系の数理I(線形代数学I)
DP との 関連	基礎的･汎用的能力(「人間関係形成･社会形成能力」「自己理解･自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート(課題)の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強だから、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。学生支援センターにおいて、数学の学習指導員が質問を受けるので、センターの学習支援時間割を確認の上、理解できない箇所があれば積極的に質問に行くこと。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトルの演算	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	ベクトルの相等、和、差、スカラー倍の意味を理解する。			
2回	テーマ	ベクトルの内積	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	内積と呼ばれるベクトルの積で図形の構造を理解する。			
3回	テーマ	線形空間の定義	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	線形空間の定義をする。			
4回	テーマ	線形独立と線形従属(1)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	ベクトルの線形独立と線形従属について解説する。			
5回	テーマ	線形独立と線形従属(2)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	前回に引き続き、ベクトルの線形独立と線形従属について解説する。			
6回	テーマ	部分空間、基底と次元(1)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	線形空間の部分空間について述べ、線形空間の基底と次元について解説する。			
7回	テーマ	基底と次元(2)	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	前回に引き続き、線形空間の基底と次元について解説する。			
8回	テーマ	講評、中間試験	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験			
9回	テーマ	内積空間の定義	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	内積空間の定義について述べる。			
10回	テーマ	正規直交基底	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	シュミットの直交化法について解説する。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	重要な行列、固有値、固有ベクトルの定義	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	対称、直交行列などの説明をする。その後、固有値、固有ベクトルの定義を述べる。			
12回	テーマ	固有値、固有ベクトルの求め方	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	固有値、固有ベクトルを計算で求める。			
13回	テーマ	行列の対角化	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	固有値、固有ベクトルの応用として、行列の対角化を行う。			
14回	テーマ	対称行列の対角化	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	90
	内容	直交行列を用いて対称行列の対角化を行う。			
15回	テーマ	講評、定期試験	講義　演習	「科目の学修到達度レポート」の作成	90
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験			
16回	テーマ	まとめ	講義	「科目の学修到達度レポート」の提出	90
	内容	後期の授業内容の総括			

科目名	工学・情報系の数理ＩＩＢ（２情）	開講学年	2	講義コード	2213102	区分	選必
英文表記	Linear algebra II	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	坂西 文俊（非常勤）						
研究室	本館1階 非常勤講師室			オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室		
メールアドレス	@						
キーワード	行列式　固有値　固有ベクトル　対角化						

授業概要

本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能･論理的思考力を養います。本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学･物理学･生物学･化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学･情報系の数理IIにおいては工学･情報系の数理Iで学んだことを元に,行列式･行列の対角化を学び,さらに,それらの応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的･多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。

関連科目

(基礎科目)工学･情報系の数理I(旧カリ:線形代数学I) (連携科目)確率･統計,工学･情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学･情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	行列式の概念を理解し、3次以下と4次以上のいずれの正方行列についても行列式を計算することができる。
c, f	②	固有値･固有ベクトルまたは線形空間の概念を理解できる。また、それらの概念を用いて行列の対角化ができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法(配点)

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

線形代数入門　学術図書出版　兼山瓊典 葛巻孝子 久綱正和 棚橋勝美 共著　978-4-7806-0075-9

参考書

予備知識	ベクトル・行列に関する基礎知識［工学・情報系の数理I（旧カリ：線形代数学I）の内容］
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ，それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート（ポートフォリオ）を作成し，自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	行列式の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	置換,行列式の定義について学習し,関連の演習問題を解く。			
2回	テーマ	行列式の基本性質	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列式の基本性質について学習し,関連の演習問題を解く。			
3回	テーマ	余因子展開	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	行列式の余因子展開について学習し,関連の演習問題を解く。			
4回	テーマ	行列式の計算	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	第2回,第3回で学んだ事柄を用いて行列式の値を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
5回	テーマ	逆行列	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	余因子を用いて行列の逆行列を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
6回	テーマ	クラメールの公式	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	行列式を用いて連立方程式を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。			
7回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
8回	テーマ	固有値	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	固有値の求め方を学習し,関連の演習問題を解く。			
9回	テーマ	固有ベクトル	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	固有ベクトルの求め方を学習し,関連の演習問題を解く。			
10回	テーマ	行列の対角化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	第8回,第9回で学んだ事柄を用いて行列の対角化について学習し,関連の演習問題を解く。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対角化の応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	対角化を用いて行列のn乗を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
12回	テーマ	対角化の応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	対角化を用いて,数列の問題を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。			
13回	テーマ	対称行列の対角化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	第14回の授業の準備としての対称行列の対角化を学習し,関連の演習問題を解く。			
14回	テーマ	2次曲線の標準化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	2次曲線の標準化について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成・提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理ＩＩＣ（２情）	開講学年	2	講義コード	2213103	区分	選択
英文表記	Linear Algebra II A	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	田中 正紀 (非常勤)

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室

メールアドレス	@

キーワード	線形空間　基底　線形写像　固有値　　対角化

授業概要

線形代数は工学、生物学、化学、さらに最近では計算機等の情報理論や経済学を学ぶ上で必須の知識となってきている。後期には、前期で学んだ行列に対する知識をさらに学習する。また、行列をベクトル空間の線形写像ととらえ、連立1次方程式論の下で、行列の対角化とその応用を学ぶ。

関連科目

（基礎科目）基礎数学（発展科目）制御工学に関連する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f	①	線形空間の概念を理解し、線形独立か線形従属を計算によって調べることができる。
c	②	基底の概念を理解し、正規直交基底を計算できる。
c	③	固有値と固有ベクトルの概念を理解し、3次以下の行列に対してそれらを求めることができる。
f	④	正則行列の概念を理解し、行列の対角化ができる。
g	⑤	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

やさしく学べる線形代数　共立出版株式会社　石村園子　　978-4-320-01660-6

参考書

トレンディ線形代数　学術図書出版社　秋山、池田、渋谷、田中　978-4-87361-226-3

予備知識	高等学校における、数学Ⅰ
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート(課題)の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強だから、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。学生支援センターにおいて質問を受けるシステムがあるので、理解できない箇所があれば積極的に質問に来ること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトルについて	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	ベクトルの定義とその演算について学び、演習問題を解く。			
2回	テーマ	ベクトルの内積	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	ベクトルの成分表示の後、ベクトルの内積の定義をし、その意味を述べる。			
3回	テーマ	線形空間（n項ベクトル空間）	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	ベクトル空間とその代表例について述べる。			
4回	テーマ	線形独立、線形従属	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	ベクトルの線形独立性の意味を述べる。			
5回	テーマ	線形独立性と1次連立方程式	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	ベクトルの線形独立性とベクトルの成分表示からでる連立1次方程式との関連を示す。			
6回	テーマ	部分空間	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	部分空間の意味と例を挙げて、説明する。			
7回	テーマ	基底と次元	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	部分空間の基底と次元に関して説明する。			
8回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	講評、中間試験　課題の講評・振り返り、中間試験			
9回	テーマ	線形写像	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	線形写像の意味とその重要性を説明する。			
10回	テーマ	内積空間と正規直交基底	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	内積の計算ができるベクトル空間は特殊な基底（正規直交基底）をもつことを示す。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	線形変換	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	内積の計算ができるベクトル空間における線形変換について述べる。			
12回	テーマ	固有値と固有ベクトル	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	行列の固有値と固有ベクトルの意味を述べる。			
13回	テーマ	行列の対角化	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	正則行列による行列の対角化について述べる。			
14回	テーマ	2次曲線の標準形	講義　演習	【予習】次回の授業範囲を読んでおく。【復習】与えられた課題を解く。	100
	内容	行列がベクトル空間の変換という性質を持つことを示す。			
15回	テーマ	課題の講評・振り返り	講義　演習	「科目の学修到達度レポート」の作成	100
	内容	講評、定期試験　課題の講評・振り返り、定期試験			
16回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義	「科目の学修到達度レポート」の提出	100
	内容	まとめ　後期の授業内容の総括			

科目名	微分方程式A（２機建宇）	開講学年 2	講義コード 2213201	区分 選択
英文表記	Ordinary Differential Equation	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	日比野 剛士　大嶋 康裕　中西 眞也（非常勤）
研究室	本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）　本館１階 非常勤講師室（中西）　オフィスアワー 学修上の注意欄を参照
メールアドレス	hibino@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	微分方程式　変数分離形　同次形　完全微分形　　微分演算子

授業概要

自然科学の多くの分野において、取り扱う問題を数学的に扱う際に微分方程式を用いてモデル化することが行われます。本科目では基本的な常微分方程式についての解法を学びます。 まず、一般解と特殊解について理解した上で、変数分離形, 同次形, 1階線形の各解法を学びます。その後2階の同次、非同次について、各種解法を学びます。その後、演算子法、級数解、連立微分方程式について初歩的な問題に取り組みます。 1年時の「微分積分学I」および「微分積分学II」を理解した上で受講してください。また「線形代数学I」および「線形代数学II」を履修しておくことも望みます。「線形代数学II」で学ぶ固有値と固有ベクトルの計算に慣れていることを前提とした授業回があります。 講義までに前回の講義内容を復習してください。毎回の単元について全ての問題を解いた場合、概ね週あたり3時間程度はかかるため、毎週の学習時間については学期始めに計画して確保しておくようにしてください。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」、「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ対応:「基礎数学」、「微分積分学I」、「微分積分学II」）（連携科目）「工学・情報系の数理I」、「工学・情報系の数理II」（旧カリ対応:「線形代数学I」、「線形代数学II」、「行列と行列式」、化学工学を扱う科目、物理を扱う科目)

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,g	c,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	微分方程式の各種解法を適切に用いて、一般解や特殊解を求めることができる。
c	②	微分方程式の複雑な問題に対して各種解法を組み合わせて、一般解や特殊解を求めることができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

計算力をつける微分方程式　内田老鶴圃　藤田 育嗣, 間田 潤　　978-4753600342

参考書

現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法　森北出版　小中英嗣　978-4627062115
微分方程式と数理モデル　裳華房　遠藤 雅守, 北林 照幸　978-4785315733
微分方程式で数学モデルを作ろう　日本評論社　デヴィッド・バージェス・モラグ・ボリー　978-4535781733

予備知識	高等学校における数学I、1変数の微積分、偏微分
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験を行う。 2) 授業中に練習問題を演習させ、理解度を確認する。 3) 単元ごとにレポート課題を課し、理解度を確認する。 4) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 5) 授業時に指定する課題についてのレポート(提出方法指定あり)、および図書館の蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の演習問題を全て解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分方程式の類書や専門科目の平易な入門書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡はWebClassもしくはポータルを用いて行います。初回に担当教員の連絡方法の説明を聞き、その連絡手段について週に1、2回は必ず連絡事項の有無を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（中西）。 5. 発展的な（院試対策指導を優先する）学習支援を目的としての相談にも応じます。これらの時間は、(1)担当教員居室（本館付属棟3階）、(2)図書館1階「全学SALC」、(3)図書館4階学生支援センター、のいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)もしくはWebClassに随時掲示します。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	微分方程式とは	講義　演習	【第1回授業の予習】微分積分学の教科書の1変数の微分の公式と不定積分の計算の箇所の例題を解く。【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	簡単な微分方程式の解法と特殊解と一般解の違いの理解			
2回	テーマ	1階微分方程式(変数分離形)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の解法			
3回	テーマ	1階微分方程式(同次形)1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の解法			
4回	テーマ	1階微分方程式(同次形)2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形に変形可能な微分方程式の解法			
5回	テーマ	1階線形微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	線形微分方程式の解法			
6回	テーマ	1階線形微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	90
	内容	ベルヌーイの微分方程式の解法 完全微分形の解法			
7回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲について、各単元の例題を振り返る。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	120
	内容	中間試験と課題の講評・振り返り			
8回	テーマ	2階定数係数線形微分方程式(同次)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次2階定数係数線形微分方程式の解法			
9回	テーマ	2階定数係数線形微分方程式(非同次)1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	特殊解が定数、指数関数の場合の解法			
10回	テーマ	2階定数係数線形微分方程式(非同次)2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	特殊解が整式、三角関数の場合の解法			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	演算子法1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	演算子を用いる解法			
12回	テーマ	演算子法2	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆演算子を用いる解法			
13回	テーマ	演算子法3	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	級数解 演習			
14回	テーマ	連立微分方程式	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	120
	内容	連立微分方程式の解法			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験と課題の講評・振り返り			
16回	テーマ	授業内容の総括	演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	30
	内容	まとめと追加演習、授業内容の総括、「科目の学修到達度レポート」の提出			

科目名	微分方程式B（２機建宇）	開講学年 2	講義コード 2213202	区分 選択
英文表記	Ordinary Differential Equation	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	日比野 剛士　大嶋 康裕　中西 眞也（非常勤）
研究室	本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）　本館１階 非常勤講師室（中西）　オフィスアワー 学修上の注意欄を参照
メールアドレス	hibino@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	微分方程式　変数分離形　同次形　完全微分形　　微分演算子

授業概要

自然科学の多くの分野において、取り扱う問題を数学的に扱う際に微分方程式を用いてモデル化することが行われます。本科目では基本的な常微分方程式についての解法を学びます。 まず、一般解と特殊解について理解した上で、変数分離形, 同次形, 1階線形の各解法を学びます。その後2階の同次、非同次について、各種解法を学びます。その後、演算子法、級数解、連立微分方程式について初歩的な問題に取り組みます。 1年時の「微分積分学I」および「微分積分学II」を理解した上で受講してください。また「線形代数学I」および「線形代数学II」を履修しておくことも望みます。「線形代数学II」で学ぶ固有値と固有ベクトルの計算に慣れていることを前提とした授業回があります。 講義までに前回の講義内容を復習してください。毎回の単元について全ての問題を解いた場合、概ね週あたり3時間程度はかかるため、毎週の学習時間については学期始めに計画して確保しておくようにしてください。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」、「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ対応:「基礎数学」、「微分積分学I」、「微分積分学II」）（連携科目）「工学・情報系の数理I」、「工学・情報系の数理II」（旧カリ対応:「線形代数学I」、「線形代数学II」、「行列と行列式」、化学工学を扱う科目、物理を扱う科目)

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,g	c,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	微分方程式の各種解法を適切に用いて、一般解や特殊解を求めることができる。
c	②	微分方程式の複雑な問題に対して各種解法を組み合わせて、一般解や特殊解を求めることができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

計算力をつける微分方程式　内田老鶴圃　藤田 育嗣, 間田 潤　　978-4753600342

参考書

現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法　森北出版　小中英嗣　978-4627062115
微分方程式と数理モデル　裳華房　遠藤 雅守, 北林 照幸　978-4785315733
微分方程式で数学モデルを作ろう　日本評論社　デヴィッド・バージェス・モラグ・ボリー　978-4535781733

予備知識	高等学校における数学I、1変数の微積分、偏微分
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験を行う。 2) 授業中に練習問題を演習させ、理解度を確認する。 3) 単元ごとにレポート課題を課し、理解度を確認する。 4) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 5) 授業時に指定する課題についてのレポート(提出方法指定あり)、および図書館の蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の演習問題を全て解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分方程式の類書や専門科目の平易な入門書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡はWebClassもしくはポータルを用いて行います。初回に担当教員の連絡方法の説明を聞き、その連絡手段について週に1、2回は必ず連絡事項の有無を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（中西）。 5. 発展的な（院試対策指導を優先する）学習支援を目的としての相談にも応じます。これらの時間は、(1)担当教員居室（本館付属棟3階）、(2)図書館1階「全学SALC」、(3)図書館4階学生支援センター、のいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)もしくはWebClassに随時掲示します。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	微分方程式とは	講義　演習	【第1回授業の予習】微分積分学の教科書の1変数の微分の公式と不定積分の計算の箇所の例題を解く。【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	簡単な微分方程式の解法と特殊解と一般解の違いの理解			
2回	テーマ	1階微分方程式(変数分離形)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の解法			
3回	テーマ	1階微分方程式(同次形)1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の解法			
4回	テーマ	1階微分方程式(同次形)2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形に変形可能な微分方程式の解法			
5回	テーマ	1階線形微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	線形微分方程式の解法			
6回	テーマ	1階線形微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	90
	内容	ベルヌーイの微分方程式の解法 完全微分形の解法			
7回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲について、各単元の例題を振り返る。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	120
	内容	中間試験と課題の講評・振り返り			
8回	テーマ	2階定数係数線形微分方程式(同次)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次2階定数係数線形微分方程式の解法			
9回	テーマ	2階定数係数線形微分方程式(非同次)1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	特殊解が定数、指数関数の場合の解法			
10回	テーマ	2階定数係数線形微分方程式(非同次)2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	特殊解が整式、三角関数の場合の解法			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	演算子法1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	演算子を用いる解法			
12回	テーマ	演算子法2	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆演算子を用いる解法			
13回	テーマ	演算子法3	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	級数解 演習			
14回	テーマ	連立微分方程式	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	120
	内容	連立微分方程式の解法			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験と課題の講評・振り返り			
16回	テーマ	授業内容の総括	演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	30
	内容	まとめと追加演習、授業内容の総括、「科目の学修到達度レポート」の提出			

科目名	微分方程式（２情）	開講学年 2	講義コード 2213301	区分 選択
英文表記	Ordinary Differential Equation	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	日比野 剛士　大嶋 康裕　中西 眞也（非常勤）
研究室	本館付属棟319（日比野）　本館付属棟317（大嶋）　本館１階 非常勤講師室（中西）　オフィスアワー 学修上の注意欄を参照
メールアドレス	hibino@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	微分方程式　変数分離形　同次形　完全微分形　　微分演算子

授業概要

自然科学の多くの分野において、取り扱う問題を数学的に扱う際に微分方程式を用いてモデル化することが行われます。本科目では基本的な常微分方程式についての解法を学びます。 まず、一般解と特殊解について理解した上で、変数分離形, 同次形, 1階線形の各解法を学びます。その後2階の同次、非同次について、各種解法を学びます。その後、演算子法、級数解、連立微分方程式について初歩的な問題に取り組みます。 1年時の「微分積分学I」および「微分積分学II」を理解した上で受講してください。また「線形代数学I」および「線形代数学II」を履修しておくことも望みます。「線形代数学II」で学ぶ固有値と固有ベクトルの計算に慣れていることを前提とした授業回があります。 講義までに前回の講義内容を復習してください。毎回の単元について全ての問題を解いた場合、概ね週あたり3時間程度はかかるため、毎週の学習時間については学期始めに計画して確保しておくようにしてください。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」、「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ対応:「基礎数学」、「微分積分学I」、「微分積分学II」）（連携科目）「工学・情報系の数理I」、「工学・情報系の数理II」（旧カリ対応:「線形代数学I」、「線形代数学II」、「行列と行列式」、化学工学を扱う科目、物理を扱う科目)

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,g	c,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	微分方程式の各種解法を適切に用いて、一般解や特殊解を求めることができる。
c	②	微分方程式の複雑な問題に対して各種解法を組み合わせて、一般解や特殊解を求めることができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

計算力をつける微分方程式　内田老鶴圃　藤田 育嗣, 間田 潤　　978-4753600342

参考書

現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法　森北出版　小中英嗣　978-4627062115
微分方程式と数理モデル　裳華房　遠藤 雅守, 北林 照幸　978-4785315733
微分方程式で数学モデルを作ろう　日本評論社　デヴィッド・バージェス・モラグ・ボリー　978-4535781733

予備知識	高等学校における数学I、1変数の微積分、偏微分
DP との 関連	基礎的・汎用的能力(「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」)を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験を行う。 2) 授業中に練習問題を演習させ、理解度を確認する。 3) 単元ごとにレポート課題を課し、理解度を確認する。 4) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 5) 授業時に指定する課題についてのレポート(提出方法指定あり)、および図書館の蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の演習問題を全て解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分方程式の類書や専門科目の平易な入門書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡はWebClassもしくはポータルを用いて行います。初回に担当教員の連絡方法の説明を聞き、その連絡手段について週に1、2回は必ず連絡事項の有無を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。水曜日4時限（日比野）、月曜日4時限（大嶋）、「初回の授業で連絡」（中西）。 5. 発展的な（院試対策指導を優先する）学習支援を目的としての相談にも応じます。これらの時間は、(1)担当教員居室（本館付属棟3階）、(2)図書館1階「全学SALC」、(3)図書館4階学生支援センター、のいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)もしくはWebClassに随時掲示します。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	微分方程式とは	講義　演習	【第1回授業の予習】微分積分学の教科書の1変数の微分の公式と不定積分の計算の箇所の例題を解く。【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	簡単な微分方程式の解法と特殊解と一般解の違いの理解			
2回	テーマ	1階微分方程式(変数分離形)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の解法			
3回	テーマ	1階微分方程式(同次形)1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の解法			
4回	テーマ	1階微分方程式(同次形)2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形に変形可能な微分方程式の解法			
5回	テーマ	1階線形微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	線形微分方程式の解法			
6回	テーマ	1階線形微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	90
	内容	ベルヌーイの微分方程式の解法 完全微分形の解法			
7回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲について、各単元の例題を振り返る。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	120
	内容	中間試験と課題の講評・振り返り			
8回	テーマ	2階定数係数線形微分方程式(同次)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次2階定数係数線形微分方程式の解法			
9回	テーマ	2階定数係数線形微分方程式(非同次)1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	特殊解が定数、指数関数の場合の解法			
10回	テーマ	2階定数係数線形微分方程式(非同次)2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	特殊解が整式、三角関数の場合の解法			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	演算子法1	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	演算子を用いる解法			
12回	テーマ	演算子法2	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆演算子を用いる解法			
13回	テーマ	演算子法3	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	級数解 演習			
14回	テーマ	連立微分方程式	講義 演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	120
	内容	連立微分方程式の解法			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験と課題の講評・振り返り			
16回	テーマ	授業内容の総括	演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	30
	内容	まとめと追加演習、授業内容の総括、「科目の学修到達度レポート」の提出			

科目名	バイオ・化学系の数理ⅡA（２ナ微生）	開講学年	2	講義コード	2213401	区分	選必
英文表記	Linear Algebra	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	日比野 剛士		
研究室	本館付属棟319	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照
メールアドレス	hibino@ed.sojo-u.ac.jp		
キーワード	行列　逆行列　行列式　連立方程式		

授業概要

本学の数理基礎科目では、各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能・論理的思考力をを養います。 線形代数学は微分積分学と並んで、理系の数学の基礎知識として重要です。統計学、化学工学、数理生物学を学ぶ上で重要な知識となっています。このような状況のもとで、本講義では、行列および行列式の計算について学習します。

関連科目

（連携科目）「バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）、「バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ」（旧カリ：微分積分学Ⅱ）、「バイオ・化学系の数理Ⅰ」（旧カリ：確率統計）（発展科目）数理生物学や微分方程式の発展的内容を活用する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,g	c,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c,f	①	行列の概念を理解し、基本的な計算（和・差・積）や、行列を用いて連立一次方程式を解くことができる。
c,f	②	行列式の概念を理解し、3次以下と4次以上のいずれの正方行列についても行列式を計算することができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	30	10	10	10	0	10	0	100

教科書

線形代数の基礎　サイエンス社　寺田文行・木村宣昭　　4-7819-0846-2

参考書

やさしく学べる線形代数　共立出版　石村園子　978-4-320-01660-6

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。水曜日4時限（日比野）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	行列の定義と行列の演算	講義　演習	【今回の予習】教科書の最初、行列の定義および演算について事前に定義・例題を読んでおくこと。【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	行列を数の一つの拡張として理解し、行列の和、差、スカラー倍の計算について学び、演習を行う。			
2回	テーマ	行列の演算(積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	行列の積の計算について学び、演習を行う。			
3回	テーマ	正方行列と逆行列	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	行列の演算で大きな役割を持つ正方行列と逆行列について学び、演習を行う。			
4回	テーマ	行列と連立一次方程式(1)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	連立一次方程式を、行列を用いて表すことについて学び、演習を行う。			
5回	テーマ	行列と連立一次方程式(2)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	連立一次方程式を、行列を用いて解くことについて学び、演習を行う。			
6回	テーマ	階段行列	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	連立一次方程式の中から本質的な式だけを取り出すために必要な方法について学び、演習を行う。			
7回	テーマ	連立一次方程式の解	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと。	120
	内容	前回に引き続き、連立一次方程式の中から本質的な式だけを取り出すために必要な方法について学び、連立方程式の解の種類について調べる。			
8回	テーマ	逆行列の求め方、中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆行列の求め方について学ぶ。課題の講評・振り返りとして、前回までの範囲について中間試験を実施しその理解度を確認する。			
9回	テーマ	行列式の定義(1)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	行列式の定義について理解をする。			
10回	テーマ	行列式の定義(2)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	前回に引き続き、行列式について学び、演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列式の性質(1)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	いろいろな性質を用いて、行列式の計算について学び、演習を行う			
12回	テーマ	行列式の性質(2)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	前回に引き続き、いろいろな性質を用いて、行列式の計算演習を行う			
13回	テーマ	逆行列の存在条件	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆行列の存在条件について学び、演習を行う。			
14回	テーマ	逆行列と連立一次方程式	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと。	120
	内容	クラメールの公式について学び、演習を行う。			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験			
16回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括			

科目名	バイオ・化学系の数理ⅡB（２ナ微生）	開講学年	2	講義コード	2213402	区分	選必
英文表記	Linear Algebra	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	河合 浩明		
研究室	本館308	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照
メールアドレス	@		
キーワード	行列　逆行列　行列式　連立方程式		

授業概要

本学の数理基礎科目では、各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能・論理的思考力を養います。
線形代数学は微分積分学と並んで、理系の数学の基礎知識として重要です。統計学、化学工学、数理生物学を学ぶ上で重要な知識となっています。このような状況のもとで、本講義では、行列および行列式の計算について学習します。

関連科目

（連携科目）「バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）、「バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ」（旧カリ：微分積分学Ⅱ）、「バイオ・化学系の数理Ⅰ」（旧カリ：確率統計）（発展科目）数理生物学や微分方程式の発展的内容を活用する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,g	c,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c,f	①	行列の概念を理解し、基本的な計算（和・差・積）や、行列を用いて連立一次方程式を解くことができる。
c,f	②	行列式の概念を理解し、3次以下と4次以上のいずれの正方行列についても行列式を計算することができる。
g	③	この授業の評価方法について理解し、計画的に各種課題に取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	30	10	10	10	0	10	0	100

教科書

線形代数の基礎　サイエンス社　寺田文行・木村宣昭　4-7819-0846-2

参考書

やさしく学べる線形代数　共立出版　石村園子　978-4-320-01660-6

予備知識	高等学校における、数学I
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。特に「課題対応能力」を身につけることができるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	行列の定義と行列の演算	講義　演習	【今回の予習】教科書の最初、行列の定義および演算について事前に定義・例題を読んでおくこと。【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	行列を数の一つの拡張として理解し、行列の和、差、スカラー倍の計算について学び、演習を行う。			
2回	テーマ	行列の演算(積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	行列の積の計算について学び、演習を行う。			
3回	テーマ	正方行列と逆行列	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	行列の演算で大きな役割を持つ正方行列と逆行列について学び、演習を行う。			
4回	テーマ	行列と連立一次方程式(1)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	連立一次方程式を、行列を用いて表すことについて学び、演習を行う。			
5回	テーマ	行列と連立一次方程式(2)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	連立一次方程式を、行列を用いて解くことについて学び、演習を行う。			
6回	テーマ	階段行列	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	連立一次方程式の中から本質的な式だけを取り出すために必要な方法について学び、演習を行う。			
7回	テーマ	連立一次方程式の解	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと。	120
	内容	前回に引き続き、連立一次方程式の中から本質的な式だけを取り出すために必要な方法について学び、連立方程式の解の種類について調べる。			
8回	テーマ	逆行列の求め方、中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆行列の求め方について学ぶ。課題の講評・振り返りとして、前回までの範囲について中間試験を実施しその理解度を確認する。			
9回	テーマ	行列式の定義(1)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	行列式の定義について理解をする。			
10回	テーマ	行列式の定義(2)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	前回に引き続き、行列式について学び、演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列式の性質(1)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	いろいろな性質を用いて、行列式の計算について学び、演習を行う			
12回	テーマ	行列式の性質(2)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	前回に引き続き、いろいろな性質を用いて、行列式の計算演習を行う			
13回	テーマ	逆行列の存在条件	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆行列の存在条件について学び、演習を行う。			
14回	テーマ	逆行列と連立一次方程式	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと。	120
	内容	クラメールの公式について学び、演習を行う。			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験			
16回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括			

科目名	物理学◎①（１機）	開講学年	1	講義コード	2220601	区分	選択
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	町田 光男　上野 賢仁

研究室	F702　F803	オフィスアワー	町田：木曜5時限、上野：木曜5時限

メールアドレス	machida@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	等速円運動　摩擦力　単振動　力学的エネルギー　　剛体

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に機械工学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。
前半では、等速円運動をしている物体の表し方を理解し、向心力、遠心力などの慣性力を学ぶ。次に、垂直抗力、制止摩擦力、動摩擦力について運動方程式とその一般解、初期条件について学ぶ。また、空気抵抗が働いている雨滴の運動方程式、糸などで結合された物体のつり合いと運動方程式、フックの法則、ばねにつながれた物体の運動方程式について、一般解と初期条件について学ぶ。 後半では、単振子の運動方程式とその一般解と初期条件について学ぶ。次に、仕事の定義、仕事と位置エネルギーの関係、運動エネルギーと位置エネルギーの関係について学ぶ。さらに、力のモーメントと剛体のつり合いの条件、角運動量とその性質、中心力について学ぶ。

関連科目

1.基礎物理学　2.物理学実験

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	円運動や単振動などの運動と、摩擦が働くときの運動を運動方程式を用いて解くことができる。
c	②	運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの保存則、剛体のつり合い、角運動量が理解できる。
c, g	③	専門課程の授業が理解できる物理学の知識を身につけることができる。
g	④	授業に積極的に取り組むことによって、学習意欲と集中力を養うことができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　工学は物理学を基礎として成り立っており、特に機械工学を学ぶ学生にとって力学は基礎科目として必須である。この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ機械工学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（波、熱力学、電磁気学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	円運動Ⅰ	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の表し方(位置、速度、加速度)について学ぶ。			
2回	テーマ	円運動Ⅱ	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	向心力、遠心力などの慣性力について学ぶ。			
3回	テーマ	摩擦力	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	垂直抗力、制止摩擦力、動摩擦力について学ぶ。			
4回	テーマ	摩擦がはたらいている物体の運動	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	運動方程式、一般解と初期条件について学ぶ。			
5回	テーマ	雨滴の運動	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	空気抵抗が働いている雨滴の運動方程式、終端速度について学ぶ。			
6回	テーマ	結合した物体の運動	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	糸などで結合された物体のつり合いと運動方程式について学ぶ。			
7回	テーマ	フックの法則と単振動	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	フックの法則、ばねにつながれた物体の運動方程式、一般解と初期条件について学ぶ。			
8回	テーマ	中間試験とまとめ	講義・演習	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.~7.までの学習到達度の評価			
9回	テーマ	単振子	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	単振子の運動方程式、一般解と初期条件について学ぶ。			
10回	テーマ	仕事と位置エネルギー	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	仕事の定義、仕事と位置エネルギーの関係について学ぶ。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	位置エネルギーと運動エネルギー	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーの関係について学ぶ。			
12回	テーマ	力学的エネルギー保存則	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギー保存則とそれに関連した問題例について学ぶ			
13回	テーマ	力のモーメントと剛体のつり合い	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 剛体の回転運動)。	60
	内容	力のモーメントと剛体のつり合いの条件について学ぶ。			
14回	テーマ	角運動量	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 剛体の回転運動)。	60
	内容	角運動量とその性質、中心力について学ぶ。			
15回	テーマ	中韓試験とまとめ	講義・演習	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	1.～14.までの学習到達度の評価			
16回	テーマ	まとめ	講義・演習	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.までの内容の総括			

科目名	物理学◎②（１機）	開講学年	1	講義コード	2220602	区分	選択
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	町田 光男　上野 賢仁

研究室	F702　F803	オフィスアワー	町田：木曜5時限、上野：木曜5時限

メールアドレス	machida@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	等速円運動　摩擦力　単振動　力学的エネルギー　　剛体

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に機械工学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。
前半では、等速円運動をしている物体の表し方を理解し、向心力、遠心力などの慣性力を学ぶ。次に、垂直抗力、制止摩擦力、動摩擦力について運動方程式とその一般解、初期条件について学ぶ。また、空気抵抗が働いている雨滴の運動方程式、糸などで結合された物体のつり合いと運動方程式、フックの法則、ばねにつながれた物体の運動方程式について、一般解と初期条件について学ぶ。 後半では、単振子の運動方程式とその一般解と初期条件について学ぶ。次に、仕事の定義、仕事と位置エネルギーの関係、運動エネルギーと位置エネルギーの関係について学ぶ。さらに、力のモーメントと剛体のつり合いの条件、角運動量とその性質、中心力について学ぶ。

関連科目

1.基礎物理学　2.物理学実験

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	円運動や単振動などの運動と、摩擦が働くときの運動を運動方程式を用いて解くことができる。
c	②	運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの保存則、剛体のつり合い、角運動量が理解できる。
c, g	③	専門課程の授業が理解できる物理学の知識を身につけることができる。
g	④	授業に積極的に取り組むことによって、学習意欲と集中力を養うことができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　工学は物理学を基礎として成り立っており、特に機械工学を学ぶ学生にとって力学は基礎科目として必須である。この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ機械工学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（波、熱力学、電磁気学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	円運動Ⅰ	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の表し方(位置、速度、加速度)について学ぶ。			
2回	テーマ	円運動Ⅱ	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	向心力、遠心力などの慣性力について学ぶ。			
3回	テーマ	摩擦力	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	垂直抗力、制止摩擦力、動摩擦力について学ぶ。			
4回	テーマ	摩擦がはたらいている物体の運動	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	運動方程式、一般解と初期条件について学ぶ。			
5回	テーマ	雨滴の運動	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	空気抵抗が働いている雨滴の運動方程式、終端速度について学ぶ。			
6回	テーマ	結合した物体の運動	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	糸などで結合された物体のつり合いと運動方程式について学ぶ。			
7回	テーマ	フックの法則と単振動	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	フックの法則、ばねにつながれた物体の運動方程式、一般解と初期条件について学ぶ。			
8回	テーマ	中間試験とまとめ	講義・演習	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.~7.までの学習到達度の評価			
9回	テーマ	単振子	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	単振子の運動方程式、一般解と初期条件について学ぶ。			
10回	テーマ	仕事と位置エネルギー	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	仕事の定義、仕事と位置エネルギーの関係について学ぶ。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	位置エネルギーと運動エネルギー	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーの関係について学ぶ。			
12回	テーマ	力学的エネルギー保存則	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギー保存則とそれに関連した問題例について学ぶ			
13回	テーマ	力のモーメントと剛体のつり合い	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 剛体の回転運動)。	60
	内容	力のモーメントと剛体のつり合いの条件について学ぶ。			
14回	テーマ	角運動量	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 剛体の回転運動)。	60
	内容	角運動量とその性質、中心力について学ぶ。			
15回	テーマ	中韓試験とまとめ	講義・演習	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	1.～14.までの学習到達度の評価			
16回	テーマ	まとめ	講義・演習	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.までの内容の総括			

科目名	物理学①（１ナ微生）	開講学年	1	講義コード	2220701	区分	選択
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	町田光男　板橋克美　福島和洋(非常勤)

研究室	F702　F801　本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	町田：木曜5時限、板橋：月曜5時限

メールアドレス	machida@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	力　速度と加速度　運動の法則　具体的な運動　　力学的エネルギー

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特にナノサイエンス学科、応用微生物工学科、応用生命科学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。　具体的には、まず前半では、物理学を学ぶのに必要なベクトルの概念および表現法について学び、力の合成・分解・つり合いを学ぶ。位置、速度、加速度の関係、運動の第1～3法則について学び、直線上の運動、平面上の運動の運動方程式を解く。また、等速円運動、フックの法則、単振動について学ぶ。さらに後半では、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量、運動量保存則について学ぶ。

関連科目

1.基礎物理学　2.物理学実験

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルで表わす方法と、物体の運動の表し方を理解することができる。
c	②	運動方程式の立て方および解き方と、典型的物体の運動（落体の運動、円運動、単振動、抵抗力を受けている物体の運動）を理解することができる。
c	③	エネルギー保存則と運動量保存則を理解することができる。
c, g	④	演習及び課題に取り組むことにより、自主的、継続的に学習することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つナノサイエンス学、応用微生物工学、応用生命科学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトル	講義　演習	【予習】教科書(2章 2.1 スカラー量とベクトル量)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要なベクトルの概念および表現法について学ぶ。			
2回	テーマ	力のつりあい	講義　演習	【予習】教科書(2章 2.2 力の合成と分解、2.3 力のつり合い)読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。			
3回	テーマ	速度と加速度Ⅰ	講義　演習	【予習】教科書(2章 2.3 位置、速度、加速度)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。			
4回	テーマ	速度と加速度Ⅱ	講義　演習	【予習】教科書(2章 2.4 位置、速度、加速度の関係)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。			
5回	テーマ	運動の法則	講義　演習	【予習】教科書(3章 3.1 運動の3法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。			
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式Ⅰ	講義　演習	【予習】教科書(4章 4.1 直線運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)の運動方程式を解く。			
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式Ⅱ	講義　演習	【予習】教科書(4章 4.2 放物運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)の運動方程式を解く。			
8回	テーマ	円運動	講義　演習	【予習】教科書(4章 4.3 等速円運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。			
9回	テーマ	単振動	講義　演習	【予習】教科書(4章 4.6 振動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	フックの法則とばねに接続されたおもりの単振動について学ぶ。			
10回	テーマ	学習到達度判定	講義　試験	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	1.~9.の中間試験とまとめを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	仕事	講義　演習	【予習】教科書(5章 5.1 仕事)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事について学ぶ。			
12回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	講義　演習	【予習】教科書(5章 5.2 運動エネルギー、5.3 位置エネルギー)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。			
13回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	講義　演習	【予習】教科書(5章 5.5 力学的エネルギーとその保存則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。			
14回	テーマ	運動量	講義　演習	【予習】教科書(3章 3.3 運動量と力積、3.4 運動量保存則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。			
15回	テーマ	学習到達度判定	講義　試験	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。「到達度ポートフォリオ」の作成	60
	内容	1.～14.の中間試験とまとめを行う。			
16回	テーマ	1.～15.までのまとめ	講義	「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	講義のまとめ。			

科目名	物理学②（１ナ微生）	開講学年	1	講義コード	2220702	区分	選択
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	町田光男　板橋克美　福島和洋(非常勤)						
研究室	F702　F801　本館1階 非常勤講師室			オフィスアワー	町田：木曜5時限、板橋：月曜5時限		
メールアドレス	machida@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	力　速度と加速度　運動の法則　具体的な運動　　力学的エネルギー						

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特にナノサイエンス学科、応用微生物工学科、応用生命科学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。　具体的には、まず前半では、物理学を学ぶのに必要なベクトルの概念および表現法について学び、力の合成・分解・つり合いを学ぶ。位置、速度、加速度の関係、運動の第1～3法則について学び、直線上の運動、平面上の運動の運動方程式を解く。また、等速円運動、フックの法則、単振動について学ぶ。さらに後半では、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量、運動量保存則について学ぶ。

関連科目

1.基礎物理学　2.物理学実験

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルで表わす方法と、物体の運動の表し方を理解することができる。
c	②	運動方程式の立て方および解き方と、典型的物体の運動（落体の運動、円運動、単振動、抵抗力を受けている物体の運動）を理解することができる。
c	③	エネルギー保存則と運動量保存則を理解することができる。
c, g	④	演習及び課題に取り組むことにより、自主的、継続的に学習することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つナノサイエンス学、応用微生物工学、応用生命科学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトル	講義　演習	【予習】教科書(2章 2.1 スカラー量とベクトル量)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要なベクトルの概念および表現法について学ぶ。			
2回	テーマ	力のつりあい	講義　演習	【予習】教科書(2章 2.2 力の合成と分解、2.3 力のつり合い)読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。			
3回	テーマ	速度と加速度Ⅰ	講義　演習	【予習】教科書(2章 2.3 位置、速度、加速度)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。			
4回	テーマ	速度と加速度Ⅱ	講義　演習	【予習】教科書(2章 2.4 位置、速度、加速度の関係)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。			
5回	テーマ	運動の法則	講義　演習	【予習】教科書(3章 3.1 運動の3法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。			
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式Ⅰ	講義　演習	【予習】教科書(4章 4.1 直線運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)の運動方程式を解く。			
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式Ⅱ	講義　演習	【予習】教科書(4章 4.2 放物運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)の運動方程式を解く。			
8回	テーマ	円運動	講義　演習	【予習】教科書(4章 4.3 等速円運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。			
9回	テーマ	単振動	講義　演習	【予習】教科書(4章 4.6 振動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	フックの法則とばねに接続されたおもりの単振動について学ぶ。			
10回	テーマ	学習到達度判定	講義　試験	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	1.~9.の中間試験とまとめを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	仕事	講義　演習	【予習】教科書(5章 5.1 仕事)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事について学ぶ。			
12回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	講義　演習	【予習】教科書(5章 5.2 運動エネルギー、5.3 位置エネルギー)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。			
13回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	講義　演習	【予習】教科書(5章 5.5 力学的エネルギーとその保存則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。			
14回	テーマ	運動量	講義　演習	【予習】教科書(3章 3.3 運動量と力積、3.4 運動量保存則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。			
15回	テーマ	学習到達度判定	講義　試験	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。「到達度ポートフォリオ」の作成	60
	内容	1.～14.の中間試験とまとめを行う。			
16回	テーマ	1.～15.までのまとめ	講義	「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	講義のまとめ。			

科目名	物理学③（１ナ微生）	開講学年	1	講義コード	2220703	区分	選択
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	町田光男　板橋克美　福島和洋(非常勤）

研究室	F702　F801　本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	町田：木曜5時限、板橋：月曜5時限

メールアドレス	machida@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	力　速度と加速度　運動の法則　具体的な運動　　力学的エネルギー

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特にナノサイエンス学科、応用微生物工学科、応用生命科学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。　具体的には、まず前半では、物理学を学ぶのに必要なベクトルの概念および表現法について学び、力の合成・分解・つり合いを学ぶ。位置、速度、加速度の関係、運動の第1～3法則について学び、直線上の運動、平面上の運動の運動方程式を解く。また、等速円運動、フックの法則、単振動について学ぶ。さらに後半では、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量、運動量保存則について学ぶ。

関連科目
1.基礎物理学　2.物理学実験

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルで表わす方法と、物体の運動の表し方を理解することができる。
c	②	運動方程式の立て方および解き方と、典型的物体の運動（落体の運動、円運動、単振動、抵抗力を受けている物体の運動）を理解することができる。
c	③	エネルギー保存則と運動量保存則を理解することができる。
c, g	④	演習及び課題に取り組むことにより、自主的、継続的に学習することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つナノサイエンス学、応用微生物工学、応用生命科学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトル	講義　演習	【予習】教科書(2章 2.1 スカラー量とベクトル量)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要なベクトルの概念および表現法について学ぶ。			
2回	テーマ	力のつりあい	講義　演習	【予習】教科書(2章 2.2 力の合成と分解、2.3 力のつり合い)読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。			
3回	テーマ	速度と加速度Ⅰ	講義　演習	【予習】教科書(2章 2.3 位置、速度、加速度)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。			
4回	テーマ	速度と加速度Ⅱ	講義　演習	【予習】教科書(2章 2.4 位置、速度、加速度の関係)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。			
5回	テーマ	運動の法則	講義　演習	【予習】教科書(3章 3.1 運動の3法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。			
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式Ⅰ	講義　演習	【予習】教科書(4章 4.1 直線運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)の運動方程式を解く。			
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式Ⅱ	講義　演習	【予習】教科書(4章 4.2 放物運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)の運動方程式を解く。			
8回	テーマ	円運動	講義　演習	【予習】教科書(4章 4.3 等速円運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。			
9回	テーマ	単振動	講義　演習	【予習】教科書(4章 4.6 振動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	フックの法則とばねに接続されたおもりの単振動について学ぶ。			
10回	テーマ	学習到達度判定	講義　試験	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	1.~9.の中間試験とまとめを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	仕事	講義　演習	【予習】教科書(5章 5.1 仕事)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事について学ぶ。			
12回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	講義　演習	【予習】教科書(5章 5.2 運動エネルギー、5.3 位置エネルギー)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。			
13回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	講義　演習	【予習】教科書(5章 5.5 力学的エネルギーとその保存則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。			
14回	テーマ	運動量	講義　演習	【予習】教科書(3章 3.3 運動量と力積、3.4 運動量保存則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。			
15回	テーマ	学習到達度判定	講義　試験	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。「到達度ポートフォリオ」の作成	60
	内容	1.～14.の中間試験とまとめを行う。			
16回	テーマ	1.～15.までのまとめ	講義	「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	講義のまとめ。			

科目名	物理学◎①（１建）	開講学年	1	講義コード	2220801	区分	必修
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	天本徳浩　町田光男

研究室	F802　F702	オフィスアワー	天本：木曜5時限、町田：木曜5時限

メールアドレス	amamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	波　熱力学　電磁気学

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に建築学を学ぶ上で重要な波、熱力学、電磁気学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、波、熱、電磁気について概念や法則を理解し、数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な物理現象について問題を解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、波については、波を表す量、縦波と横波、波が示す性質、光波、音波　熱については、熱と温度、熱容量と比熱、理想気体の状態方程式、気体がする仕事、熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。電気については、クーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位、電場と電位の関係、直流回路、合成抵抗、磁場、電磁誘導、交流等について学ぶ。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学実験

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c, g	c, g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	波、熱、電気と磁気に関する基礎的な内容を理解することができる。
c	②	身のまわりで起こる波、熱、電気と磁気が関係する現象を理解することができる。
c, g	③	専門課程の授業が理解できる物理学の知識を身につけることができる。
g	④	演習及び課題に取り組むことにより、自主的、継続的に学習することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　工学は物理学を基礎として成り立っており、特に建築学を学ぶ学生にとって力学は基礎科目として必須である。この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ建築学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（波、熱力学、電磁気学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	波とその性質Ⅰ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (17章 波とその性質)。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。			
2回	テーマ	波とその性質Ⅱ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。			
3回	テーマ	熱と温度	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1 熱、7.2 温度) 。	60
	内容	熱と温度との関係について学ぶ。			
4回	テーマ	熱容量と比熱	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.3 熱容量と比熱) 。	60
	内容	熱容量と比熱について学ぶ。			
5回	テーマ	状態方程式と仕事	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (7章 7.4 理想気体の状態方程式) 。	60
	内容	理想気体の状態方程式、気体がする仕事について学ぶ。			
6回	テーマ	熱力学の第一法則	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(8章 熱力学の第1法則)。	60
	内容	熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。			
7回	テーマ	1.～6.のまとめと中間試験	講義　試験	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」を作成する。	180
	内容	1.～6.のまとめと学習到達度を評価する。			
8回	テーマ	クーロンの法則	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (10章 電荷と静電場) 。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。			
9回	テーマ	電場と電位	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。			
10回	テーマ	直流回路	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	磁石と磁場	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.1 磁気力と磁荷、13.2 磁場と磁束密度)。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。			
12回	テーマ	電流の作る磁場	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.3 電流のつくる磁場)。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場について学ぶ。			
13回	テーマ	電磁誘導	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	モーターや発電機の原理である電磁誘導について学ぶ。			
14回	テーマ	交流と交流回路	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(15章 交流回路)。	60
	内容	実効値や交流回路のインピーダンス等について学ぶ。			
15回	テーマ	8.～14.のまとめと中間試験	講義 試験	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」を作成する。	180
	内容	8.～14.のまとめと、講義全体の学習到達度を評価する。			
16回	テーマ	総括	講義	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること。「到達度ポートフォリオ」を提出する。	60
	内容	講義を総評する。試験を返却し、解説する。			

科目名	物理学◎②（１建）	開講学年	1	講義コード	2220802	区分	必修
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	天本徳浩　町田光男

研究室	F802　F702	オフィスアワー	天本：木曜5時限、町田：木曜5時限

メールアドレス	amamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	波　熱力学　電磁気学

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に建築学を学ぶ上で重要な波、熱力学、電磁気学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、波、熱、電磁気について概念や法則を理解し、数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な物理現象について問題を解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、波については、波を表す量、縦波と横波、波が示す性質、光波、音波　熱については、熱と温度、熱容量と比熱、理想気体の状態方程式、気体がする仕事、熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。電気については、クーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位、電場と電位の関係、直流回路、合成抵抗、磁場、電磁誘導、交流等について学ぶ。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学実験

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		c, g	c, g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	波、熱、電気と磁気に関する基礎的な内容を理解することができる。
c	②	身のまわりで起こる波、熱、電気と磁気が関係する現象を理解することができる。
c, g	③	専門課程の授業が理解できる物理学の知識を身につけることができる。
g	④	演習及び課題に取り組むことにより、自主的、継続的に学習することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　工学は物理学を基礎として成り立っており、特に建築学を学ぶ学生にとって力学は基礎科目として必須である。この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ建築学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（波、熱力学、電磁気学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	波とその性質Ⅰ	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (17章 波とその性質)。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。			
2回	テーマ	波とその性質Ⅱ	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。			
3回	テーマ	熱と温度	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1 熱、7.2 温度) 。	60
	内容	熱と温度との関係について学ぶ。			
4回	テーマ	熱容量と比熱	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.3 熱容量と比熱) 。	60
	内容	熱容量と比熱について学ぶ。			
5回	テーマ	状態方程式と仕事	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (7章 7.4 理想気体の状態方程式) 。	60
	内容	理想気体の状態方程式、気体がする仕事について学ぶ。			
6回	テーマ	熱力学の第一法則	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(8章 熱力学の第1法則)。	60
	内容	熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。			
7回	テーマ	1.～6.のまとめと中間試験	講義 試験	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」を作成する。	180
	内容	1.～6.のまとめと学習到達度を評価する。			
8回	テーマ	クーロンの法則	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (10章 電荷と静電場) 。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。			
9回	テーマ	電場と電位	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。			
10回	テーマ	直流回路	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	磁石と磁場	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.1 磁気力と磁荷、13.2 磁場と磁束密度)。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。			
12回	テーマ	電流の作る磁場	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.3 電流のつくる磁場)。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場について学ぶ。			
13回	テーマ	電磁誘導	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	モーターや発電機の原理である電磁誘導について学ぶ。			
14回	テーマ	交流と交流回路	講義 演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(15章 交流回路)。	60
	内容	実効値や交流回路のインピーダンス等について学ぶ。			
15回	テーマ	8.～14.のまとめと中間試験	講義 試験	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」を作成する。	180
	内容	8.～14.のまとめと、講義全体の学習到達度を評価する。			
16回	テーマ	総括	講義	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること。「到達度ポートフォリオ」を提出する。	60
	内容	講義を総評する。試験を返却し、解説する。			

科目名	物理学◎①（１シス◎・１操）	開講学年	1	講義コード	2220901	区分	必修
英文表記	physics	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	天本徳浩　池田達裕（非常勤）

研究室	F802　本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	天本：木曜5時限、池田：授業終了後

メールアドレス	amamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	波　熱　電気　磁気

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に宇宙航空システム工学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、波、熱、電磁気の概念や法則を理解し、数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な物理現象について問題を解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法について学ぶ。波に関しては、波を表す量、縦波と横波、波が示す性質、光波、音波が示す現象について学ぶ。熱に関しては、熱と温度との関係、熱容量と比熱、理想気体の状態方程式、気体がする仕事、熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。電気に関しては、クーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位、電場と電位の関係、直列回路、並列回路の合成抵抗、磁石がつくる磁場、電流のまわりに発生する磁場、電磁誘導、実効値や交流回路について学ぶ。

関連科目

1.基礎物理学 2。物理学実験

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	波、熱、電気と磁気に関する基礎的な内容を理解することができる。
c	②	身のまわりで起こる波、熱、電気と磁気が関係する現象を理解することができる。
c, g	③	専門課程の授業が理解できる物理学の知識を身につけることができる。
g	④	演習及び課題に取り組むことにより、自主的、継続的に学習することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　工学は物理学を基礎として成り立っており、特に宇宙航空システム工学を学ぶ学生にとって力学は基礎科目として必須である。この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ宇宙航空システム工学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（波、熱力学、電磁気学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	波とその性質Ⅰ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (17章 波とその性質)。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。			
2回	テーマ	波とその性質Ⅱ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。			
3回	テーマ	熱と温度	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1 熱、7.2 温度) 。	60
	内容	熱と温度との関係について学ぶ。			
4回	テーマ	熱容量と比熱	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.3 熱容量と比熱) 。	60
	内容	熱容量と比熱について学ぶ。			
5回	テーマ	状態方程式と仕事	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (7章 7.4 理想気体の状態方程式) 。	60
	内容	理想気体の状態方程式、気体がする仕事について学ぶ。			
6回	テーマ	熱力学の第一法則	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(8章 熱力学の第1法則)。	60
	内容	熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。			
7回	テーマ	1.～6.のまとめと中間試験	講義　演習	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」を作成する。	180
	内容	1.～6.のまとめと学習到達度を評価する。			
8回	テーマ	クーロンの法則	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (10章 電荷と静電場) 。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。			
9回	テーマ	電場と電位	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。			
10回	テーマ	直流回路	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	磁石と磁場	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.1 磁気力と磁荷、13.2 磁場と磁束密度)。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。			
12回	テーマ	電流の作る磁場	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.3 電流のつくる磁場)。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場について学ぶ。			
13回	テーマ	電磁誘導	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	モーターや発電機の原理である電磁誘導について学ぶ。			
14回	テーマ	交流と交流回路	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(15章 交流回路)。	60
	内容	実効値や交流回路のインピーダンス等について学ぶ。			
15回	テーマ	8.～14.のまとめと中間試験	講義　試験	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」を作成する。	180
	内容	8.～14.のまとめと、講義全体の学習到達度を評価する。			
16回	テーマ	総括	講義	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること。「到達度ポートフォリオ」を提出する。	60
	内容	講義を総評する。試験を返却し、解説する。			

科目名	物理学◎②（１シス◎・１操）	開講学年	1	講義コード	2220902	区分	必修
英文表記	physics	開講期	前期	開講形態		単位数	2

担当教員	天本徳浩　池田達裕（非常勤）

研究室	F802　本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	天本：木曜5時限、池田：授業終了後

メールアドレス	amamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	波　熱　電気　磁気

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に宇宙航空システム工学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、波、熱、電磁気の概念や法則を理解し、数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な物理現象について問題を解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法について学ぶ。波に関しては、波を表す量、縦波と横波、波が示す性質、光波、音波が示す現象について学ぶ。熱に関しては、熱と温度との関係、熱容量と比熱、理想気体の状態方程式、気体がする仕事、熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。電気に関しては、クーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位、電場と電位の関係、直列回路、並列回路の合成抵抗、磁石がつくる磁場、電流のまわりに発生する磁場、電磁誘導、実効値や交流回路について学ぶ。

関連科目

1.基礎物理学 2。物理学実験

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	波、熱、電気と磁気に関する基礎的な内容を理解することができる。
c	②	身のまわりで起こる波、熱、電気と磁気が関係する現象を理解することができる。
c, g	③	専門課程の授業が理解できる物理学の知識を身につけることができる。
g	④	演習及び課題に取り組むことにより、自主的、継続的に学習することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　工学は物理学を基礎として成り立っており、特に宇宙航空システム工学を学ぶ学生にとって力学は基礎科目として必須である。この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ宇宙航空システム工学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（波、熱力学、電磁気学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	波とその性質Ⅰ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (17章 波とその性質)。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。			
2回	テーマ	波とその性質Ⅱ	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。			
3回	テーマ	熱と温度	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1 熱、7.2 温度) 。	60
	内容	熱と温度との関係について学ぶ。			
4回	テーマ	熱容量と比熱	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.3 熱容量と比熱) 。	60
	内容	熱容量と比熱について学ぶ。			
5回	テーマ	状態方程式と仕事	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (7章 7.4 理想気体の状態方程式) 。	60
	内容	理想気体の状態方程式、気体がする仕事について学ぶ。			
6回	テーマ	熱力学の第一法則	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(8章 熱力学の第1法則)。	60
	内容	熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。			
7回	テーマ	1.～6.のまとめと中間試験	講義　演習	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」を作成する。	180
	内容	1.～6.のまとめと学習到達度を評価する。			
8回	テーマ	クーロンの法則	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (10章 電荷と静電場) 。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。			
9回	テーマ	電場と電位	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。			
10回	テーマ	直流回路	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	磁石と磁場	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.1 磁気力と磁荷、13.2 磁場と磁束密度)。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。			
12回	テーマ	電流の作る磁場	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.3 電流のつくる磁場)。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場について学ぶ。			
13回	テーマ	電磁誘導	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	モーターや発電機の原理である電磁誘導について学ぶ。			
14回	テーマ	交流と交流回路	講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(15章 交流回路)。	60
	内容	実効値や交流回路のインピーダンス等について学ぶ。			
15回	テーマ	8.～14.のまとめと中間試験	講義　試験	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」を作成する。	180
	内容	8.～14.のまとめと、講義全体の学習到達度を評価する。			
16回	テーマ	総括	講義	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること。「到達度ポートフォリオ」を提出する。	60
	内容	講義を総評する。試験を返却し、解説する。			

科目名	物理学①（１情）	開講学年	1	講義コード	2221001	区分	選択
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	上野賢仁　天本徳浩　福島和洋（非常勤）

研究室	F803　F802　本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	上野：木曜5時限、天本：木曜5時限、福島：授業終了後

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	波動　電磁気学　電子量子論

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に情報学を学ぶ上で重要な波、電磁気学、原子物理学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、波、電磁気の概念や法則を理解し、数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な物理現象について問題を解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、波については、波の性質、音波、光波について学ぶ。電気については、クーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位、電流、オームの法則、ジュール熱、抵抗の接続、磁場、電磁誘導、電磁波、電子量子論について学ぶ。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学実験

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標			
	JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	電気と磁気に関する基礎的な内容と、身の回りで起こる波、電気と磁気が関係する現象を理解することができる。
c	②	電荷、電場、電位の関係と性質を説明することができる。
c	③	電磁誘導の現象と、原子物理学の概要を理解することができる。
c, g	④	専門課程の授業が理解できる物理学の知識を身につけることができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ情報学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（波、電磁気学,原子物理学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	波動 I	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (17章 波とその性質)。	60
	内容	波の性質について学ぶ。			
2回	テーマ	波動II	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	音波が示す現象について学ぶ。			
3回	テーマ	波動 III	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	光波が示す現象について学ぶ。			
4回	テーマ	電荷と電場 I	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (10章 電荷と静電場) 。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。			
5回	テーマ	電荷と電場II	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。			
6回	テーマ	電荷と電場 III	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電位の定義とその性質について学ぶ。			
7回	テーマ	電流と磁場 I	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	電流、オームの法則、ジュール熱、電気抵抗の接続について学ぶ。			
8回	テーマ	電流と磁場II	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.1,13.2 磁気力と磁場)。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。			
9回	テーマ	電流と磁場 III	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.3 電流のつくる磁場)。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場について学ぶ。			
10回	テーマ	電流と磁場IV	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	磁場は電流にも力を作用することを理解し、直流モーターの作動原理について学ぶ。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	学習到達度判定	試験・講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～10.の内容に関する中間試験とまとめを行う。			
12回	テーマ	電磁場Ⅰ	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	発電機や電磁調理器の原理である電磁誘導について学ぶ。			
13回	テーマ	電磁場Ⅱ	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	空間を伝わる電磁波について学ぶ。			
14回	テーマ	電子量子論	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと。講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。	60
	内容	不確定性原理および水素原子の構造についてのBohrの理論(前期量子論)について学ぶ。			
15回	テーマ	学習到達度判定	試験・講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	1.～14.の内容に関する中間試験とまとめを行う。			
16回	テーマ	総括	講義	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.の総括			

科目名	物理学②（１情）	開講学年	1	講義コード	2221002	区分	選択
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	上野賢仁　天本徳浩　福島和洋（非常勤）
研究室	F803　F802　本館1階 非常勤講師室
オフィスアワー	上野：木曜5時限、天本：木曜5時限、福島：授業終了後
メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	波動　電磁気学　電子量子論

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に情報学を学ぶ上で重要な波、電磁気学、原子物理学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、波、電磁気の概念や法則を理解し、数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な物理現象について問題を解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、波については、波の性質、音波、光波について学ぶ。電気については、クーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位、電流、オームの法則、ジュール熱、抵抗の接続、磁場、電磁誘導、電磁波、電子量子論について学ぶ。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学実験

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	電気と磁気に関する基礎的な内容と、身の回りで起こる波、電気と磁気が関係する現象を理解することができる。
c	②	電荷、電場、電位の関係と性質を説明することができる。
c	③	電磁誘導の現象と、原子物理学の概要を理解することができる。
c, g	④	専門課程の授業が理解できる物理学の知識を身につけることができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ情報学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（波、電磁気学,原子物理学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	波動 I	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (17章 波とその性質)。	60
	内容	波の性質について学ぶ。			
2回	テーマ	波動II	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	音波が示す現象について学ぶ。			
3回	テーマ	波動 III	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	光波が示す現象について学ぶ。			
4回	テーマ	電荷と電場 I	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (10章 電荷と静電場) 。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。			
5回	テーマ	電荷と電場II	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。			
6回	テーマ	電荷と電場 III	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電位の定義とその性質について学ぶ。			
7回	テーマ	電流と磁場 I	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	電流、オームの法則、ジュール熱、電気抵抗の接続について学ぶ。			
8回	テーマ	電流と磁場II	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.1,13.2 磁気力と磁場)。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。			
9回	テーマ	電流と磁場 III	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.3 電流のつくる磁場)。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場について学ぶ。			
10回	テーマ	電流と磁場IV	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	磁場は電流にも力を作用することを理解し、直流モーターの作動原理について学ぶ。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	学習到達度判定	試験・講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～10.の内容に関する中間試験とまとめを行う。			
12回	テーマ	電磁場Ⅰ	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	発電機や電磁調理器の原理である電磁誘導について学ぶ。			
13回	テーマ	電磁場Ⅱ	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	空間を伝わる電磁波について学ぶ。			
14回	テーマ	電子量子論	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと。講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。	60
	内容	不確定性原理および水素原子の構造についてのBohrの理論(前期量子論)について学ぶ。			
15回	テーマ	学習到達度判定	試験・講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	1.～14.の内容に関する中間試験とまとめを行う。			
16回	テーマ	総括	講義	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.の総括			

科目名	物理学③（１情）	開講学年	1	講義コード	2221003	区分	選択
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	上野賢仁　天本徳浩　福島和洋（非常勤）

研究室	F803　F802　本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	上野：木曜5時限、天本：木曜5時限、福島：授業終了後

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	波動　電磁気学　電子量子論

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に情報学を学ぶ上で重要な波、電磁気学、原子物理学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、波、電磁気の概念や法則を理解し、数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な物理現象について問題を解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、波については、波の性質、音波、光波について学ぶ。電気については、クーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位、電流、オームの法則、ジュール熱、抵抗の接続、磁場、電磁誘導、電磁波、電子量子論について学ぶ。

関連科目
1.基礎物理学　2.物理学実験

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	電気と磁気に関する基礎的な内容と、身の回りで起こる波、電気と磁気が関係する現象を理解することができる。
c	②	電荷、電場、電位の関係と性質を説明することができる。
c	③	電磁誘導の現象と、原子物理学の概要を理解することができる。
c, g	④	専門課程の授業が理解できる物理学の知識を身につけることができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ情報学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（波、電磁気学,原子物理学）の基礎知識を修得し、専門課程における「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.中間試験を2回行う。（35点×2＝70点）　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（20点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	波動 I	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (17章 波とその性質)。	60
	内容	波の性質について学ぶ。			
2回	テーマ	波動II	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	音波が示す現象について学ぶ。			
3回	テーマ	波動 III	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	光波が示す現象について学ぶ。			
4回	テーマ	電荷と電場 I	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (10章 電荷と静電場) 。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。			
5回	テーマ	電荷と電場II	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。			
6回	テーマ	電荷と電場 III	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電位の定義とその性質について学ぶ。			
7回	テーマ	電流と磁場 I	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	電流、オームの法則、ジュール熱、電気抵抗の接続について学ぶ。			
8回	テーマ	電流と磁場II	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.1,13.2 磁気力と磁場)。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。			
9回	テーマ	電流と磁場 III	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.3 電流のつくる磁場)。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場について学ぶ。			
10回	テーマ	電流と磁場IV	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	磁場は電流にも力を作用することを理解し、直流モーターの作動原理について学ぶ。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	学習到達度判定	試験・講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～10.の内容に関する中間試験とまとめを行う。			
12回	テーマ	電磁場Ⅰ	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	発電機や電磁調理器の原理である電磁誘導について学ぶ。			
13回	テーマ	電磁場Ⅱ	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	空間を伝わる電磁波について学ぶ。			
14回	テーマ	電子量子論	講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと。講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。	60
	内容	不確定性原理および水素原子の構造についてのBohrの理論(前期量子論)について学ぶ。			
15回	テーマ	学習到達度判定	試験・講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	1.～14.の内容に関する中間試験とまとめを行う。			
16回	テーマ	総括	講義	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.の総括			

科目名	基礎化学Ⅱ（１機建宇情）	開講学年	2	講義コード	2221301	区分	選択
英文表記	basic chemistry Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	坂田 眞砂代（非常勤）

研究室	非常勤講師室	オフィスアワー	月曜日４限

メールアドレス	msakata@kumamoto-u.ac.jp

キーワード	無機化学　結城化学　生体物質化学　身の回りの化学

授業概要

私たちの身の回りには、実にさまざまな物質が存在する。海や山や動植物など自然に存在する物質、あるいは、私たちの生活を豊かにする人工の物質など、いろいろある。化学はこれらの物質の性質、構造および物質間の反応を対象とした学問であり、身の回りのすべての物質が化学の教材となる。　この講義では前期の化学Iで培った化学の基礎をもとに、化学Iに引き続き日常生活と化学のさまざまな接点を概説する。この授業では、初めに、消防法にかかわる安全の化学について解説し、次に生活に深く関係した物質や現象をできるだけ多くとりあげ、これらは化学的な見地からはどのようになっているかを解説する。この講義を通して、化学の目でいろいろなことを理解し、興味を持つようになってもらいたい。なお、この科目は学士過程共通の学習効果との対応に該当した科目である。毎週、演習を講義時間内に行い、理解度を確認する。また、授業前には該当する内容について教科書をよく読んで講義に臨むこと。

関連科目

環境と人間、地学、地学実験、基礎物理学、物理学基礎化学Ⅰなど

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c, g	c, g

JABEE記号		学生の到達度目標
C	①	基礎的な物理学、化学を修得し、危険物試薬の化学的および物理的特性が理解することができる。
	②	危険物試薬の消化の方法を理解し、緊急時の初期消化ができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	50	40	0	0	0	10	0	100

教科書

『なし (配布資料を準備の予定)』

参考書

『暮らしと環境化学』 日本化学会編　日本化学会編

予備知識	無機化学、有機化学、化学反応、高分子化学の基礎的な知識
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	(1) 定期試験を行う。（50点） (2) 授業中に練習問題を演習させ、理解度を確認する。 (3) 単元ごとに課題を課し、適宜、小テスト(演習問題)を行い、到達度をチェックする。（40点） テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	教科書は使用しない。授業内容に関係する資料を配布する。毎回、演習問題を配布し、授業内で解答する。授業欠席者は、次の週に、前回の演習問題を配布するので、宿題として翌週の授業前に提出のこと。授業中の私語は、他の受講者に迷惑となるので厳禁。

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	危険物化学とは	講義	【予習】配布資料を読む（危険物試薬1～6類の分類、各々の類の化学的な特性と消化法）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	全体説明 一般の危険物に関する分類について解説する。消防法危険物試薬についての概念について論述する。			
2回	テーマ	危険物試薬の分類根拠	講義	【予習】配布資料を読む（1,2,3類の性質並びにその火災予防及び消火の方法）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬1～6類の分類根拠を説明し、各々の類の化学的な特性と消化法について、解説する。			
3回	テーマ	危険物試薬の特性その1	講義	【予習】配布資料を読む（4類の性質並びにその火災予防及び消火の方法）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬のうち、1,2,3類の性質並びにその火災予防及び消火の方法についての講義と演習。			
4回	テーマ	危険物試薬の特性その2	講義	【予習】配布資料を読む（5,6類の性質並びにその火災予防及び消火）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬のうち、4類の性質並びにその火災予防及び消火の方法についての講義と演習。			
5回	テーマ	危険物試薬の特性その3	講義	【予習】配布資料を読む（危険物試薬を安全に取り扱うために必要な基礎物理学および基礎化学）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬5,6類の性質並びにその火災予防及び消火の方法についての講義と演習。			
6回	テーマ	基礎的な物理学および化学	講義	【予習】配布資料を読む（危険物試薬の燃焼論および消化器の選択および適切で安全な消火の方法）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬を安全に取り扱うために必要な基礎物理学および基礎化学に関する講義と演習。			
7回	テーマ	燃焼及び消火法	講義	【予習】配布資料を読む（人工有害物質と環境汚染物質）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬の燃焼論および消化器の選択および適切で安全な消火の方法についての講義と演習。			
8回	テーマ	環境ホルモンとダイオキシン	講義	【予習】配布資料を読む（二酸化炭素、フロンガス、地球温暖化、水俣病）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	人工有害物質と環境汚染物質についての講義			
9回	テーマ	大気汚染および工場廃液による汚染	講義	【予習】配布資料を読む（各種の天然毒と、人工毒）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	二酸化炭素、フロンガス、地球温暖化、水俣病などについての講義			
10回	テーマ	身の回りの毒	講義	【予習】配布資料を読む（たばこと覚せい剤の人体への害）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	各種の天然毒と、人工毒についての講義			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	身の回りの薬物	講義	【予習】配布資料を読む（アミノ酸、アミノ酸の性質、たんぱく質、酵素）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	たばこと覚せい剤の人体への害についての講義			
12回	テーマ	アミノ酸とたんぱく質	講義	【予習】配布資料を読む（天然高分子材料と応用、プラスチック材料の合成法）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	アミノ酸、アミノ酸の性質、たんぱく質、酵素などについての講義			
13回	テーマ	高分子材料の合成法と応用	講義	【予習】配布資料を読む（天然高分子材料の化学修飾と内毒素除去材への応用）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	天然高分子材料と応用、プラスチック材料の合成法など			
14回	テーマ	高分子材料の開発と毒素除去剤への応用	講義	【予習】配布資料を読む（高分子材料の化学修飾とDNA分離精製材や固定化酵素への応用）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	天然高分子材料の化学修飾と内毒素除去材への応用について			
15回	テーマ	化学修飾した天然高分子材料の生体関連物質分離剤への応用　／定期試験と総括	試験　／講義	【予習】試験範囲の配布資料を読む。	60
	内容	高分子材料の化学修飾とDNA分離精製材や固定化酵素への応用について			

科目名	物理学実験（２機情）	開講学年 2	講義コード 2221801	区分 選択
英文表記	physics Laboratory	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	天本徳浩　上野賢仁　池田達裕（非常勤）
研究室	F802　F803　本館1階 非常勤講師室　　オフィスアワー 実験終了後
メールアドレス	amamoto@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	重力加速度　比熱　剛性率、ヤング率　光の波長　　オームの法則

授業概要

物理学実験は、今後、経験するであろう卒業研究や様々な応用実験の前に必ずやっておかねばならない学習実験である。即ち、研究実験と異なり結果が分かっている実験なので逆に、基礎的実験器具類の取り扱い方を習熟することができる。また、測定で得られたデータの処理法、特に得られた物理量の精度及び有効数字の取り扱い方を学び、技術者として必要な真摯な心構えを身に付ける。そして、論文（レポート）も分かりやすく簡潔で丁寧な書き方を目指す。 最初に、実験の目的、実施方法、レポートの書き方、注意事項について講義し、実験で必要となるノギス、マイクロメーターの取り扱い、計測方法、測定誤差・精度について習熟する。実験では、単振り子による重力加速度の大きさの測定、水熱量計を用いた金属の比熱測定、サールの装置を用いた針金のヤング率測定、回折格子を用いた光の波長測定、オームの法則と半導体の電気抵抗の温度依存を調べる実験、光電効果によるプランク定数の測定を行う。また、隔週で実施する演習では、有効数字と四則演算、物理量の単位、誤差と正規分布、最小二乗法について学び、発表を行う。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量の精度及び有効数字の取り扱い方を学び理解することができる。
f	②	レポートの作成等を通して論理的な記述力と発表能力を身に付けることができる。
g	③	各人が自身で物理学実験を行うことにより、真摯な心構えを身に付けることができる。
i	④	共同研究者と協力して取り組むことにより、チームで仕事をする姿勢を身に付けることができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	45	45	0	10	0	100

教科書

物理学実験　　崇城大学物理学教室

参考書

基礎物理学　学術図書出版　原 康夫　9784-7806-0300-2
理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　978-4-7806-0637-9

予備知識	1.基礎物理学 2.物理学
DP との 関連	「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」「キャリアデザイン能力」等の基礎的・汎用的能力を身につけ、それらを実践できるもの　工学は物理学を基礎として成り立っており、建築学、宇宙航空システム工学を学ぶ学生にとって力学は基礎科目として必須である。この科目では、専門教育への接続を円滑にすると同時に、基礎的・汎用的能力を持つ建築学、宇宙航空システム工学の専門家になるための自然科学の基礎を身につける。特に、物理学における分野（力学、波、熱力学、電磁気学、原子物理学）の基礎知識を修得し、専門課程における「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「知識・理解」、「汎用的技能」につながる課題対応能力を身につけ、それらを実践できるようにする。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.実験、レポートを評価する。（45点） 2.演習では、多方面から評価するので、「演習の課題」、「プレゼンテーション」等で評価する。（45点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出する。（10点） 4.予定された実験を全て行い、レポートを提出すること。（やむを得ない事情で欠席した場合は追実験を実施する。） レポート等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.班編成を行うので、班によって実験項目の順番が入れ替わることがある。 2.受講者数によっては、実験室の収容人数の都合上、実験項目を一部変更することがある。 3.各自、実験ノートを用意すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	説明	講義	【予習】基礎物理学・物理学で学んだことを整理し、テキストの該当箇所をよく読む（Ⅰ.）。【復習】説明された内容をよく理解する 。	60
	内容	実験の目的、実施方法、レポートの書き方、注意事項、安全に実験を行うための注意			
2回	テーマ	ノギス・マイクロメーター	実験	【予習】テキストの該当箇所をよく読む（Ⅱ.1.）。【復習】使い方をよく理解する。	60
	内容	ノギス、マイクロメーターの取り扱い、計測方法、測定誤差・精度			
3回	テーマ	演習	演習	【予習】テキストの該当箇所をよく読む（Ⅰ.5.）。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	有効数字と四則演算			
4回	テーマ	単振り子による重力加速度の大きさの測定	実験	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.2.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	単振り子を用いて重力加速度の大きさを測定する。			
5回	テーマ	演習	演習	【予習】テキストの該当箇所をよく読む（Ⅰ.5.）。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	物理量の単位			
6回	テーマ	比熱の測定	実験	【予習】テキストの前半部分を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.5.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	氷熱量計を用いて鉄、銅及び真鍮の比熱を求める。			
7回	テーマ	演習	演習	【予習】テキストの該当箇所をよく読む（Ⅰ.4.）。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	誤差と正規分布			
8回	テーマ	伸びによるヤング率の測定	実験	【予習】テキストの前半部分を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.6.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	サールの装置を用いて針金のヤング率を測定する。			
9回	テーマ	演習	演習	【予習】テキストの該当箇所をよく読む（Ⅰ.6.）。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	最小二乗法			
10回	テーマ	光の波長測定	実験	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.10.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	回折格子を用いて半導体レーザー光の波長を求める。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	演習	演習　SGD	【予習】行った実験について調べる。【復習】演習を踏まえて調べたことを整理する。	60
	内容	発表準備			
12回	テーマ	オームの法則／サーミスタ抵抗	実験	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく(Ⅱ.11.12.)。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	オームの法則、半導体の電気抵抗の温度依存を調べる。			
13回	テーマ	演習	演習　SGD	【予習】行った実験について調べる。【復習】演習を踏まえて調べたことを整理する。	60
	内容	発表準備			
14回	テーマ	光電効果によるプランク定数の測定	実験	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	光電効果の測定によりプランク定数を求める。			
15回	テーマ	演習	演習　SGD	【予習】行った実験について調べる。【復習】発表を振り返り、考えを整理する。「到達度ポートフォリオ」の作成、提出する。	60
	内容	発表			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎M（１機建）	開講学年	1	講義コード	2250801	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎A（1機建）	開講学年	1	講義コード	2250802	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎C（１機建）	開講学年	1	講義コード	2250803	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎H（１機建）	開講学年	1	講義コード	2250804	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%)　2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%)　3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center.　4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎Ⅰ（１機建）	開講学年	1	講義コード	2250805	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@.						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎C（１ナ微）	開講学年	1	講義コード	2250901	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎H（１ナ微）	開講学年	1	講義コード	2250902	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ 人々 People 内容 (準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
22回	テーマ 人々 People 内容 (練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
23回	テーマ 人々 People 内容 (実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
24回	テーマ 休暇 Holidays 内容 (準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
25回	テーマ 休暇 Holidays 内容 (練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
26回	テーマ 休暇 Holidays 内容 (実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
27回	テーマ 復習 内容 復習Review & Consolidation	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
28回	テーマ 復習 内容 復習Review & Consolidation	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
29回	テーマ テスト 内容 定期試験 Final Speaking Test	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
30回	テーマ テスト 内容 自己評価Reflection, and evaluation	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎E（１ナ微）	開講学年	1	講義コード	2250903	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します: The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意

(SBOs)

授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎M（１ナ微）	開講学年	1	講義コード	2250904	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@.						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎I（１ナ微）	開講学年	1	講義コード	2250905	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎S（１宇生）	開講学年	1	講義コード	2251001	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎K（１宇生）	開講学年	1	講義コード	2251002	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎Y（１宇生）	開講学年	1	講義コード	2251003	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎L（１宇生）	開講学年	1	講義コード	2251004	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎Ⅰ（１宇生）	開講学年	1	講義コード	2251005	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎N（１宇生）	開講学年	1	講義コード	2251006	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎E（１宇生）	開講学年	1	講義コード	2251007	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎C（1情）	開講学年	1	講義コード	2251101	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎O（１情）	開講学年	1	講義コード	2251102	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@.						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎M（１情）	開講学年	1	講義コード	2251103	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@.						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎P（1情）	開講学年	1	講義コード	2251104	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎U（１情）	開講学年	1	講義コード	2251105	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@.						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書

参考書

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎T（1情）	開講学年	1	講義コード	2251106	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎D（１美デ）	開講学年	1	講義コード	2251201	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%)　2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%)　3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center.　4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎R（1美デ）	開講学年	1	講義コード	2251202	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎A（1美デ）	開講学年	1	講義コード	2251203	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎D（1薬）	開講学年	1	講義コード	2251301	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎R（1薬）	開講学年	1	講義コード	2251302	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎U（１薬）	開講学年	1	講義コード	2251303	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@.						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎G（１薬）	開講学年	1	講義コード	2251304	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@.						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎S（1薬）	開講学年	1	講義コード	2251305	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)						
研究室	ムードルを確認すること			オフィスアワー	ムードルを確認すること		
メールアドレス	ムードルを確認すること@.						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　単語学習 vocabulary development						

授業概要

英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目

English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ（英語Ⅱ）◎（再履修）	開講学年	1	講義コード	2251401	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	ムードルを確認すること	オフィスアワー	ムードルを確認すること

メールアドレス	ムードルを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　自己評価 self-evaluation　ポートフォリオ portfolio　　単語学習 vocabulary development

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training.

関連科目
English Communication 1、English Communication 3、English Communication 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、旅行、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, travel, and dreams and future plans).
	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	10	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ English Communication 1
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテストextended speaking tests (中間試験 10%, 定期試験 15%) 2) 単語テストvocabulary quizzes (小テスト10%) 3)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、宿題、自律学修センター(SALC)での学習を含みます。(ポートフォリオ 55%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, homework activities and activities completed in the Self-Access Learning Center. 4) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スピーキングセンター、ライティングセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge, Speaking Center, and Writing Center. オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
12回	テーマ	テクノロジー Technology	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
13回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
14回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストMid-term Exam			
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
18回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
19回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
20回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
22回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
23回	テーマ	人々 People	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
24回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation			
25回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice			
26回	テーマ	休暇 Holidays	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
27回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
28回	テーマ	復習	演習	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation			
29回	テーマ	テスト	試験	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test			
30回	テーマ	テスト	演習	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	自己評価Reflection, and evaluation			

科目名	ＴＯＥＩＣ演習（選択外国語Ｉ英語TOEIC）（１全学科）後期	開講学年	1-	講義コード	2252001	区分	選択
英文表記	English for TOEIC	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	宝来 華代子（実務経験）

研究室	SILC 303(3階)	オフィスアワー	月曜2限目

メールアドレス	khorai@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	TOEIC リーディング　基礎英文法　主体的な取り組み

授業概要	本授業では英語能力測定テストの1つであるTOEIC(Test of English for International Communication)のリーディングセクションの学習対策を進めながら、基礎英文法理解と会話やビジネスで活用される英単語の習得を目指します。 初回と期末テストで同様の形式の模擬テストを行い学習成果を測ります。担当教員の前職における企業や社会人向けTOEIC研修の実務経験を活かし、効果的な学習、学習計画や継続に関して授業中に教授します。 授業では文法の学習を中心に行います。毎週の単語テストや確認テストなど定期的に行われます。学習内容を理解できるようクラス外での学生の主体的な取り組みが期待されます。難しいと感じる項目がある場合はクラス外でSALCの学習相談や学習教材などのリソース活用、オンライン学習など自分に適切な学習方法を考えて取り組みましょう。 毎回のクラスでは学習への取り組みの振り返りをしてもらいます。単語テストは毎回、与えられた課題の単語テストが行われますので学習しておきましょう。

関連科目
英語I、英語II、英語III、英語IV

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準		fg	fg	

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	TOEICに出る基本的な文法を学び理解することができる。
g	②	英単語学習と習得によって、学習を習慣的に継続的に行うことができる。
fg	③	学習した内容の理解を深めるため協同学習を行い、理解を深めることができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	20	20	25	10	0	0	20	5	100

教科書	TOEIC TEST必ずでる単スピードマスター　Jリサーチ出版　成重 寿　　9784863922402

参考書	新TOEICテスト文法問題でる1000問　アスク出版　TEX加藤　978472179521 公式TOEIC Listening & Reading 問題集1　国際ビジネスコミュニケーション協会　　978-4906033492 公式TOEIC Listening & Reading 問題集2　国際ビジネスコミュニケーション協会　　978-4906033508

予備知識	基本的な英文法、単語知識。TOEIC受験経験者は350点以上程度の知識。
DP との 関連	本科目においては就職試験等で英語能力証明の方法の1つとしてよく使われているTOEIC試験のスコアアップを目指し、その学習過程において自律学修育成に向け自己管理能力の育成、また他者と協同学習を通し、自己の理解内容を深めたり、談話における人間関係形成を目指します。
実務経験 のある 教員	宝来　華代子
評価明細 基準	定期試験ではクラスの最初にTOEICリーディングセクション（70分）のテストを行いますが、これと比較した伸び率及び、スコアを評価します。また自主的に学内IP試験やTOEIC公開テストを受験し、スコアが向上した場合、評価として考慮しますので申告してください。（20%） 中間テストには復習テストも含みます（20%）。小テストは毎回のクラス課題単語テストの評価です（25%）。 レポートは文法について調べる等の課題（10%）。 ポートフォリオはクラス内外での自分の学習課題やその取り組みについての振り返り記録を指し、SALCの活用（アドバイジングセッション、TOEICテスト受験や自律学修等の取り組み記録）、クラス内でのグループ学習で積極的な取り組み記録を含みます（15%）。 その他はSojoポートフォリオ（5%）でポータルにアクセスし学期末に振り返りを行います。

学修上の注意 (SBOs)	TOEICテストでのスコアアップと主体的な取り組み、自律学修促進を目指します。 欠席した場合は必ず次回のクラスまでに受験できなかった分の単語テストや復習テストを次回のクラス前までに受けに来てください。 自己学習や復習でわからないときはSALCの教材を活用したり、クラスメートと学習したり、アドバイジングセッションを活用し、授業内容が理解できるように取り組んでください。授業外での学習は必須で、TOEIC学内テストや公式テストの受験を強く推奨し、取り組みと成果は評価します。また、自分に合った学習方法や学習教材についてはSALCでアドバイジングセッションなど積極的に活用してください。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション 事前テスト	講義/演習	事前テスト	60
	内容	コースのオリエンテーションと自分のレベルを認識するために事前テストを行います。この回に欠席し事前テストを受験していない学生は、クラス外にテスト受験を必須とします。			
2回	テーマ	自己学習計画とポートフォリオ	講義/演習	ポートフォリオ振り返りレポート提出 単語Day 1−2	90
	内容	初回のテスト結果を基に自分の学習目標の設定と学習計画をたてる。SALC活用について。			
3回	テーマ	文法：品詞	講義/演習	品詞の働きについて調べる 単語Day 3−4	90
	内容	文法の品詞について学習し、品詞を意識し、文の構造を理解する			
4回	テーマ	文法：品詞	講義/演習	品詞の働きについて調べる 単語Day 5&Step 1	90
	内容	名詞の働きについて学習 形容詞・副詞の働きについて学習			
5回	テーマ	文法：品詞	講義/演習	品詞練習問題 単語Day 6−7	90
	内容	動詞の働きについて学習			
6回	テーマ	文法：品詞	講義/演習	長文問題教材検索 単語Day 8−9	90
	内容	品詞練習問題 長文問題解き方のコツ（自分の長文学習テーマを選ぶ）			
7回	テーマ	中間テスト	講義/演習	ポートフォリオ（振り返り）タスク完成 動詞について調べる 単語Day 10 &Step 2	90
	内容	TOEICリーディングパートのテスト			
8回	テーマ	中間テスト復習・ポートフォリオ	講義/演習	中間テスト復習	90
	内容	動詞の働き・主語と動詞の関係			
9回	テーマ	動詞	講義/演習	現在分詞・過去分詞・動名詞予習 単語Day 11−12	90
	内容	動詞の時制ルール			
10回	テーマ	動詞	講義/演習	分詞構文予習 単語Day 13−14	90
	内容	現在分詞・過去分詞・動名詞			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	動詞	講義/演習	動詞復習　単語Day 15−16	90
	内容	分詞構文			
12回	テーマ	動詞	講義/演習	テスト復習　単語Day 17−18	90
	内容	動詞復習確認テスト			
13回	テーマ	動詞･単語復習テスト	講義/演習	パート6練習問題　単語Day 19−20	90
	内容	パート6解き方			
14回	テーマ	定期テスト	講義/演習	定期テスト復習	90
	内容	定期テスト			
15回	テーマ	次の目標	講義/演習	ポートフォリオ（振り返り）タスク完成	90
	内容	定期テスト復習　今後の課題振り返りと計画			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎M（２機）	開講学年	2	講義コード	2253101	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@

キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10）Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15）Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ EC4 Portfolio	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎A（２機）	開講学年	2	講義コード	2253102	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@

キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10）Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15）Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ EC4 Portfolio	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎C（２機）	開講学年	2	講義コード	2253103	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@

キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10）Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15）Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎H（２建）	開講学年	2	講義コード	2253201	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@

キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ⅰ（２建）	開講学年	2	講義コード	2253202	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語Ⅰ 2.英語 II 3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10) 最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15) イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5) Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎N（２建）	開講学年	2	講義コード	2253203	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@

キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10) 最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15) イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5) Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す　Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法　How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1　Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2　Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3　Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎C（２ナ）	開講学年	2	講義コード	2253301	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10）Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15）Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ EC4 Portfolio	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎H（２ナ）	開講学年	2	講義コード	2253302	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10) 最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15) イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5) Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎E（２微）	開講学年	2	講義コード	2253401	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@

キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10) 最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15) イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5) Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す　Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法　How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1　Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2　Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3　Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎M（２微）	開講学年	2	講義コード	2253402	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@

キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10）Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15）Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ⅰ（２微）	開講学年	2	講義コード	2253403	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語Ⅰ～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語Ⅰ 2.英語Ⅱ 3.英語Ⅲ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ EC4 Portfolio	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎C（２情）	開講学年	2	講義コード	2253501	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10）Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15）Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ｏ（２情）	開講学年	2	講義コード	2253502	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10) 最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15) イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5) Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す　Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法　How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1　Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2　Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3　Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎M（２情）	開講学年	2	講義コード	2253503	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@

キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10) 最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15) イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5) Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ｐ（２情）	開講学年	2	講義コード	2253504	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す　Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法　How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1　Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2　Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3　Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎U（２情）	開講学年	2	講義コード	2253505	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要

自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10) 最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15) イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5) Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す　Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法　How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1　Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2　Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3　Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ｔ（２情）	開講学年	2	講義コード	2253506	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎S（２字）	開講学年	2	講義コード	2253601	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@

キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10) 最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15) イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5) Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブリーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎K（２字）	開講学年	2	講義コード	2253602	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@

キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10) 最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15) イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5) Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Y（２宇）	開講学年	2	講義コード	2253603	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要

自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10) 最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15) イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5) Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎L（２生）	開講学年	2	講義コード	2253701	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@

キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10) 最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15) イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5) Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す　Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法　How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1　Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2　Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3　Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ⅰ（２生）	開講学年	2	講義コード	2253702	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語Ⅰ～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語Ⅰ 2.英語Ⅱ 3.英語Ⅲ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10）Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15）Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎N（２生）	開講学年	2	講義コード	2253703	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@

キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10) 最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15) イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5) Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎E（２生）	開講学年	2	講義コード	2253704	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	silconline.jpを確認すること	オフィスアワー	silconline.jpを確認すること

メールアドレス	silconline.jpを確認すること@

キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10）Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15）Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す　Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法　How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1　Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2　Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3　Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ｄ（２美デ）	開講学年	2	講義コード	2253801	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す　Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法　How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1　Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2　Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3　Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習　Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語　Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ｒ（２美デ）	開講学年	2	講義コード	2253802	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10) 最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15) イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5) Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ EC4 Portfolio	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ｄ（２薬）	開講学年	2	講義コード	2253901	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10）Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15）Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ EC4 Portfolio	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ｒ（２薬）	開講学年	2	講義コード	2253902	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10) 最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15) イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5) Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎U（２薬）	開講学年	2	講義コード	2253903	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10) 最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15) イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5) Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎G（２薬）	開講学年	2	講義コード	2253904	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション　Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ　EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎S（２薬）	開講学年	2	講義コード	2253905	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	silconline.jpを確認すること			オフィスアワー	silconline.jpを確認すること		
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@						
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ EC4 Portfolio	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ（英語Ⅳ）◎（再履修）	開講学年	2	講義コード	2254001	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)
研究室	silconline.jpを確認すること
オフィスアワー	silconline.jpを確認すること
メールアドレス	silconline.jpを確認すること@
キーワード	自身の経験 personal experience　対話の続行 extended conversation　生涯学習 lifelong learning

授業概要

自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてExtended Conversation (対話)ユニットで使用します。You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'Extended Conversation' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く読むことができる。I can read simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
10	15	10	0	0	0	65	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
DP との 関連	本科目においては英語コミュニケーション力の向上を通して人間関係形成や自律学修育成に向け自己管理能力を身につけることを目指します。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　中間試験(10)は自分の経験に関する文章を書き、それを録音。A mid-term test (10) in which you write about an experience and make recording of your text 単語テスト（小テスト10） Vocabulary tests (10)　最終スピーキングテスト（定期試験15） Final speaking test (15)　イングリッシュコミュニケーションポートフォリオ（55）はオンラインでのライティングや音声録音課題（15）宿題（15）リーダーズディスカッションワークシート（15）速読課題（15）SALCでのアクティビティー（5）が含まれます。Your English Communication portfolio (55) will include your online writing and audio recording tasks (15), leaders' discussion worksheets (10), speed reading tasks (10) and evidence of activities completed i n the Self-Access Learning Center (5)　Sojo ポートフォリオ（ポートフォリオ 10）Sojo Portfolio (10)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed. 英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、それぞれに合った特定のスキル（単語、多読、リスニング、ライティング等）を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose a particular skill to focus on (vocabulary, extensive reading, listening, writing, etc.) depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. オンライン学習用のイヤフォンを各自持参して下さい。You need earphones to complete the online learning activities. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーション Orientation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	夏期休暇について話す Talking about the summer vacation			
2回	テーマ	英語4 ポートフォリオ EC4 Portfolio	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	EC4での英語の学習方法 How to study English for EC4			
3回	テーマ	これまでの人生1 Timeline 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
4回	テーマ	これまでの人生2 Timeline 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
5回	テーマ	これまでの人生3 Timeline 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 1)			
6回	テーマ	速読 Speed Reading	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	速読オリエンテーション Speed Reading Orientation			
7回	テーマ	先週末 1 Last Weekend 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
8回	テーマ	先週末 2 Last Weekend 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
9回	テーマ	先週末 3 Last Weekend 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 2)			
10回	テーマ	旅行1 Trip 1	演習	個人自律学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening) 個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			

授業計画

回数（日付）		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	旅行2 Trip 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
12回	テーマ	旅行3 Trip 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 3)			
13回	テーマ	達成 1 Achievement 1	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リスニングと単語 Listening and vocabulary tasks			
14回	テーマ	達成 2 Achievement 2	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	準備と練習 Preparation and practice			
15回	テーマ	達成3 Achievement 3	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	実践 Performance (記述録音 Write and record 4)			
16回	テーマ	中間テスト Mid-term Exam	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	記述録音評価 Write and record assessment			
17回	テーマ	長めの会話のためのオリエンテーション Extended Conversation Orientation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	詳細を加える:空いた時間に何をするか? Adding detail: What I do in my free time			
18回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	講義 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	話を広げる(余談):私の知っている人達&自分の旅行 Branching off : People I know & my travels			
19回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
20回	テーマ	長めの会話: Extended Conversation	AL 演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 1 Leader's Discussion 1			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	アクティブラーニング:自分の住んでいる所&大学生活 Active listening: Where I live & university			
22回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	問題解決:私の子供時代&私の将来 My childhood & my future			
23回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
24回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 2 Leader's Discussion 2			
25回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション準備 Leader's Discussion Preparation			
26回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	AL　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	リーダーズディスカッション 3 Leaders' Discussion 3			
27回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	復習とテスト準備 Review and Test preparation			
28回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test			
29回	テーマ	長めの会話：Extended Conversation	講義　演習	個人自立学習プログラム(ライティング、リーディング、単語また/もしくはリスニング)Personal independent study program (writing, reading, vocabulary and/or listening)	45
	内容	単語テスト Vocabulary Test 生涯学習 Lifelong learning			
30回	テーマ	フィードバック Final Feedback	AL　演習	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	自己評価とフィードバック Reflection, evaluation and feedback			

科目名	専門英語Ⅱ（専門英会話Ⅳ）（SILC）（３機情）	開講学年	3	講義コード	2254301	区分	選択
英文表記	Academic English	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	ロブ ハーシェル

研究室	SILC 401	オフィスアワー	silconline.jpを参照してください ・ Please refer to silconline.jp

メールアドレス	hirschel@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	学問分野の会話・academic conversation　英語講義に参加するためのスキル・skills for participating in English lectures　ポスター発表・poster presentation

授業概要	この授業は3部構成です。There are three parts to the course.　1. 学問に関するディスカッションに参加したり会話をリードするスキルを向上する。You will develop your ability to lead and participate in Academic Discussions.　2.英語講義でのリスニング力やメモの取り方（記述力）の効果的なスキルを向上する。You will work on improving your listening and note-taking skills to effectively participate in English lectures.　3.研究分野のトピックに関してのポスターのデザインを行う。プレゼンテーションの練習に励み、学内でポスター発表を行う。You will design a poster on a topic in your field of study. You will practice presentation skills and give a poster presentation to the university community.

関連科目

1.英語Ⅰ　2.英語Ⅱ　3.英語Ⅲ　4.英語Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	学問に関するディスカッションに参加し、会話をリードすることができる。I can participate in and lead academic discussions.
f,g	②	英語講義に参加し、自分の意見を発表することができる。I can participate in English lectures.
f,g	③	自分の専門分野に関するトピックについて調べ、デザインし、ポスター発表ができる。I can design and present a poster on a topic in my field of study.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15		15	0	30	0	40	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	基礎的な英語力・Basic English ability
DP との 関連	学問に関するディスカッション力の向上を通して「人間関係形成・社会形成能力」を身に着ける。「自己理解・自己管理能力」「課題対応力」等の基礎能力を英語講義、ポスター発表の実践を通し学ぶ。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	1.学習ポートフォリオは成績の30%であり、授業参加と全ての宿題を含む。 The Learning Portfolio, which is 30% of your grade, includes class participation and all homework.　2.ポスター発表（アブストラクト、ポスターデザイン、発表、自己評価）は成績の30%となる。 The poster presentation (including abstract, poster design, presentations and self-evaluation) is 30% of your grade.　3.学問に関するディスカッションを含む小テスト（15%）と中間テスト（15%）。 Short tests include an Academic Discussion (15%) and a Mid-term Test (15%).　4. SOJOポートフォリオは成績の10%となる。 The SOJO Portfolio is 10% of your grade.

学修上の注意 (SBOs)	1.授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you have to be absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　2.宿題は非常に重要な要素です。宿題は授業で学んだこと、テスト準備、授業活動や将来学習する語学スキル(を練習できるように作成されています。週に1.5時間は宿題に費やすことを目指さなければなりません。Homework is a very important part of the course. The homework activities are designed to practice what you study in class, prepare for tests and class activities and further develop your language skills. You should spend about 1.5 hours per week doing English homework.　3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。Plagiarism, including copy and pasting submissions such as reports is NOT acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	講義、演習	スキルズセンター(SC)、英会話ラウンジ(CL)等、Skills Center (SC), Conversation Lounge (CL), etc. (15分), 英語の日記 English Diary（30分）	45
	内容	自己紹介、コースの説明、宿題の説明 Self-introductions, Course Explanation, Homework Explanation			
2回	テーマ	学問に関するディスカッションAcademic Discussion Introduction	講義、演習	SC, CL等（15分）、英語の日記 English Diary（30分）、ディスカッションスキル練習Discussion Skills Practice（45分）	90
	内容	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills and Practice (introducing a topic, paraphrasing, summarizing)			
3回	テーマ	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills & Practice	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、ディスカッションスキル練習 Academic Discussion Preparation（45分）	90
	内容	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills and Practice (introducing a topic, paraphrasing, summarizing)			
4回	テーマ	学生リーダーディスカッション Student-led Discussions	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、ディスカッションスキル練習 Academic Discussion Preparation（45分）	90
	内容	学生リーダーディスカッション（評価） Students lead Academic Discussions (skill-based assessment)			
5回	テーマ	学生リーダーディスカッション Student-led Discussions	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りSelf-Reflection (45分)	90
	内容	学生リーダーディスカッション（評価） Students lead Academic Discussions (skill-based assessment)			
6回	テーマ	講義スキル 1 Lecture Skills 1	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion			
7回	テーマ	講義スキル2 Lecture Skills 2	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion			
8回	テーマ	講義スキル 3 Lecture Skills 3	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion			
9回	テーマ	中間テスト Midterm Test	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りSelf-Reflection (45分)	90
	内容	これまで学習した内容に関するテスト			
10回	テーマ	ポスターユーニットの紹介 Intro to Poster Unit	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 100要約(45分	90
	内容	ユーニットの紹介、例を見て、要約を書く Intro to Poster Unit, view samples, write abstract			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	ポスターデザイン Poster Design	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), ポスター作成 Poster Creation (45分)	90
	内容	教員による要約のチェック、プランを書いて、ポスター作成を開始するAbstract checked by teacher, students draw poster plan, students begin poster			
12回	テーマ	ポスター作成1 Poster Creation 1	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), ポスター作成 Poster Creation (45分)	90
	内容	ポスター作成、教員に見てもらう Work on Poster, get feedback from Teacher			
13回	テーマ	ポスター作成1 Poster Creation 2	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), プレゼンの練習(45分)	90
	内容	ポスター作成、最終確認、ポスターの締め切り Work on Poster, final feedback, poster deadline			
14回	テーマ	ポスター発表の練習 Poster presentation practice	講義、演習	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りとプレゼン本番練習Self-Reflection+Practice (45分), ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	90
	内容	クラス内発表。教員からのフィードバック Give presentation in class, get feedback from Teacher			
15回	テーマ	ポスター発表 Final Poster presentation	講義、演習		
	内容	学内プレゼン実施 Give Presentation in front of the university community			

科目名	基礎日本語Ⅱ（選択外国語Ⅱ日本語）（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2260201	区分	選択
英文表記	Basic Japanese Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	塩入すみ（非常勤）　與縄友子（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師控室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室

メールアドレス	shioiri@kumagaku.ac.jp

キーワード	日本語、ビジネス会話、N1-N2、就職活動

授業概要	この授業は留学生を対象とし、日本語能力試験のN1合格を目標とする。授業では聴解を中心としたテキストと読解・文法を中心としたテキストを使用する。日本語を用いた仕事に就くことを目標とする学生には日本語能力試験の取得は不可欠であることから、受験に必要な基礎的な事項の導入と解説、更に応用練習を行う。

関連科目

選択外国語（日本語）Ⅰ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		f	f

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	日本語能力試験N1に合格する。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	20	0	10	0	10	0	100

教科書	授業で指示する。

参考書	授業で指示する。

予備知識	日本語能力試験N2受験レベルの日本語能力をもつことが望ましい。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。日本語を自主的・継続的に学修し社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。また、自身の考えを論理的にまとめ、日本語で伝えるために必要となる基礎的能力（文章作成能力、口頭発表能力、コミュニケーション能力）を身につける。さらに、個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力も身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	.期末試験（30点）・中間試験（30点）：それぞれの曜日の授業で行う。筆記試験、聴き取り、口頭試験等による。　小テスト（20点）：各授業の毎回の定着を測るために短時間で行い、授業でフィードバックする。課題を含む。　成果発表（10点）：授業での口頭発表やプレゼンテーション、作文や文章による発表を　含む。 　ポートフォリオ（10点）：到達課題レポートをポートフォリオシステムに入力し、プリントアウトして最後の授業時間に提出すること。

学修上の注意 (SBOs)	・出席を重視する。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。　　・提出物は期限以内に提出すること。 ・レポート等の剽窃は絶対にしないこと。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	【聴解クラス】ガイダンスとレベルチェック	講義・演習	ニュースの聞き取り①	
	内容	授業内容の説明とレベルチェック･テスト			
2回	テーマ	【文法・読解クラス】ガイダンスとレベルチェック	講義・演習	日本語能力試験問題 ①（次回提出、以下同じ）	60
	内容	授業内容の説明とレベルチェック･テスト			
3回	テーマ	【聴解クラス】テスト返却と解説　第1課	講義・演習	ニュースの聞き取り②	60
	内容	テストの解答と解説「畳」聴解、話の構成理解と要約			
4回	テーマ	【文法・読解クラス】テスト返却と解説	講義・演習	日本語能力試験問題②	60
	内容	テストの解答と解説			
5回	テーマ	【聴解クラス】第2課	講義・演習	ニュースの聞き取り③	60
	内容	「天神様」聴解、話の構成理解と要約			
6回	テーマ	【文法・読解クラス】第21課	講義・演習	日本語能力試験問題③	60
	内容	「友達」読解、文法の解説と練習			
7回	テーマ	【聴解クラス】第3課 第4課	講義・演習	ニュースの聞き取り④	60
	内容	小テスト「暗闇イベント」「知里幸恵さん」聴解、話の構成理解と要約			
8回	テーマ	【文法・読解クラス】第22課	講義・演習	日本語能力試験問題④	60
	内容	前回の小テスト　「お受験」読解、文法の解説と練習			
9回	テーマ	【聴解クラス】第5課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑤	60
	内容	小テスト「開発途上国支援」聴解、話の構成理解と要約			
10回	テーマ	【文法・読解クラス】第23課	講義・演習	日本語能力試験問題⑤	60
	内容	前回の小テスト　「観光ガイド」読解、文法の解説と練習			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	【聴解クラス】第6課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑥	60
	内容	小テスト「バイオミミクリー生物に学ぶ技術ー」聴解、話の構成理解と要約			
12回	テーマ	【文法・読解クラス】第24課	講義・演習	日本語能力試験問題⑥	60
	内容	前回の小テスト「本を読まない人」読解、文法の解説と練習			
13回	テーマ	【聴解クラス】第7課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑦	60
	内容	小テスト「フェアトレード」聴解、話の構成理解と要約			
14回	テーマ	【文法・読解クラス】第25課	講義・演習	日本語能力試験問題⑦	60
	内容	前回の小テスト「自動ブレーキに国際基準」読解、文法の解説と練習			
15回	テーマ	【聴解クラス】第8課	講義・演習	復習	60
	内容	小テスト「渋滞学」聴解、話の構成理解と要約			
16回	テーマ	【文法・読解クラス】第26課	講義・演習	復習	60
	内容	前回の小テスト「親による子の世話行動」読解、文法の解説と練習			
17回	テーマ	【聴解クラス】中間試験	講義・演習	ニュースの聞き取り⑧	60
	内容	中間試験（第1～8課）			
18回	テーマ	【文法・読解クラス】中間試験	講義・演習	日本語能力試験問題⑧	60
	内容	中間試験（第21~26課）			
19回	テーマ	【聴解クラス】試験の返却・第9課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑨	60
	内容	「バイオトイレ」聴解、話の構成理解と要約			
20回	テーマ	【文法・読解クラス】試験の返却・第27課	講義・演習	日本語能力試験問題⑨	60
	内容	「夫とUFO」読解、文法の解説と練習			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	【聴解クラス】第10課・第11課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑩	60
	内容	小テスト「人はなぜ化粧をするのか」聴解、話の構成理解と要約			
22回	テーマ	【文法・読解クラス】第28課	講義・演習	日本語能力試験問題⑩	60
	内容	前回の小テスト　「彼の住む町へ」読解、文法の解説と練習			
23回	テーマ	【聴解クラス】第12課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑪	60
	内容	小テスト「茶の湯」聴解、話の構成理解と要約			
24回	テーマ	【文法・読解クラス】第29課	講義・演習	日本語能力試験問題⑪	60
	内容	前回の小テスト　「妄想」読解、文法の解説と練習			
25回	テーマ	【聴解クラス】第13課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑫	60
	内容	小テスト「ガラスの天井」聴解、話の構成理解と要約			
26回	テーマ	【文法・読解クラス】第30課	講義・演習	日本語能力試験問題⑫	60
	内容	前回の小テスト　「マイクロチップ」読解、文法の解説と練習			
27回	テーマ	【聴解クラス】第14課	講義・演習	ニュースの聞き取り⑬	60
	内容	小テスト「子どもの顔」聴解、話の構成理解と要約			
28回	テーマ	【文法・読解クラス】第31課	講義・演習	日本語能力試験問題⑬	60
	内容	前回の小テスト　「老眼鏡」読解、文法の解説と練習			
29回	テーマ	【聴解クラス】第15課　復習とまとめ	講義・演習	ニュースの聞き取り⑭	60
	内容	小テスト「防災教育」聴解、話の構成理解と要約			
30回	テーマ	【文法・読解クラス】第35・36課　復習とまとめ	講義・演習	日本語能力試験問題⑭	60
	内容	前回の小テスト　「科学の目、科学の心」読解、文法の解説と練習			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	【聴解クラス】	講義・演習		
	内容	復習とまとめ（第9～15課）			
32回	テーマ	【文法・読解クラス】	講義・演習		
	内容	復習とまとめ			

科目名	基礎日本語Ⅳ（２全学科）	開講学年	2	講義コード	2260401	区分	選択
英文表記	JapaneseⅣ	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	塩入すみ（非常勤）　道本ゆう子（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業後の非常勤講師室

メールアドレス	shioiri@kumagaku.ac.jp

キーワード	ビジネス･ジャパニーズ、スタディ･スキルズ、日本語能力試験、時事日本語、就職活動

授業概要	この授業は留学生を対象とし、日本語で就職活動やビジネス、また大学での日本語を使ったアカデミックな活動ができるようになることを目標とする。授業では基礎的な敬語表現の確認、様々なビジネスの場面での会話やマナーのほか、大学のレポートの書き方やプレゼンテーションの仕方などを実践的に学ぶ。また、日本語を用いた仕事に就くことを目標とする学生には日本語能力試験の取得と時事日本語の理解は不可欠であることから、日本語能力試験問題の練習や新聞記事の読解、ニュースの聴き取りなども行う。

関連科目
基礎日本語Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	日本語で就職活動やビジネスができる。
	②	日本語能力試験N1、ビジネス日本語試験に合格できる。
	③	日本語を使ってプレゼンテーションやレポートの執筆など、大学の専門的な活動ができる。
	④	日本語の新聞やニュースを理解し、意見を言うことができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	20	0	10	0	10	0	100

教科書	授業で指示する。

参考書	授業で指示する。

予備知識	日本語能力試験N2レベルの日本語能力をもつことが望ましい。
DP との 関連	基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」）を身につけ、それらを実践できるようにする。日本語を自主的・継続的に学修し社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける。また、自身の考えを論理的にまとめ、日本語で伝えるために必要となる基礎的能力（文章作成能力、口頭発表能力、コミュニケーション能力）を身につける。さらに、個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力も身につける。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	.期末試験（30点）・中間試験（30点）：それぞれの曜日の授業で行う。筆記試験、聴き取り、口頭試験等による。　小テスト（20点）：各授業の毎回の定着を測るために短時間で行い、授業でフィードバックする。　成果発表（10点）：授業での口頭発表やプレゼンテーション、作文や文章による発表を含む。 ポートフォリオ（10点）：到達課題レポートをポートフォリオシステムに入力し、プリントアウトして最後の授業時間に提出すること。

学修上の注意 (SBOs)	・出席を重視する。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。　・提出物は期限以内に提出すること。 ・レポート等の剽窃は絶対にしないこと。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	【ビジネス日本語】ガイダンスとレベルチェック	講義・演習		
	内容	授業内容の説明とレベルチェック・テスト（N2程度）			
2回	テーマ	【スタディ・スキルズ】ガイダンスとレベルチェック	講義・演習	新聞記事読解WS① 次回提出（以下同じ）	60
	内容	授業内容の説明とレベルチェック・テスト（N2程度）			
3回	テーマ	【ビジネス日本語】電話対応①	講義・演習		
	内容	電話を取り次ぐ			
4回	テーマ	【スタディ・スキルズ】リーディング	講義・演習	新聞記事読解WS②	60
	内容	要約の練習：新聞記事の速読と要約の練習			
5回	テーマ	【ビジネス日本語】電話対応②	講義・演習		
	内容	伝言を受ける			
6回	テーマ	【スタディ・スキルズ】リスニング	講義・演習	新聞記事読解WS③　日本語能力試験問題	60 30
	内容	ニュースの聴き取り			
7回	テーマ	【ビジネス日本語】電話対応③	講義・演習		
	内容	ケーススタディ「（さ）せていただく」の多用			
8回	テーマ	【スタディ・スキルズ】日本語能力試験練習	講義・演習	新聞記事読解WS③　日本語能力試験問題	60 30
	内容	模擬試験と解説			
9回	テーマ	【ビジネス日本語】社外の交渉①	講義・演習		
	内容	アポを取る			
10回	テーマ	【スタディ・スキルズ】日本語能力試験練習	講義・演習	新聞記事読解WS④　日本語能力試験問題	60 30
	内容	聴解			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	【ビジネス日本語】社外の交渉②	講義・演習		
	内容	謝罪をする			
12回	テーマ	【スタディ・スキルズ】日本語能力試験練習	講義・演習	新聞記事読解WS⑤ 日本語能力試験問題	60 30
	内容	文法			
13回	テーマ	【ビジネス日本語】社外の交渉③	講義・演習		
	内容	ケーススタディビジネスの断り表現			
14回	テーマ	【スタディ・スキルズ】日本語能力試験練習	講義・演習	新聞記事読解WS⑥ 日本語能力試験問題	60 30
	内容	語彙・読解			
15回	テーマ	【ビジネス日本語】中間試験	講義・演習		
	内容	中間試験			
16回	テーマ	【スタディ・スキルズ】中間試験	講義・演習	新聞記事読解WS⑦ 日本語能力試験問題	60 30
	内容	中間試験：新聞の要約、ニュースの聴き取り、日本語能力試験			
17回	テーマ	【ビジネス日本語】中間試験	講義・演習		
	内容	中間試験			
18回	テーマ	【スタディ・スキルズ】プレゼンテーション①	講義・演習	新聞記事読解WS③ 日本語能力試験問題	60 30
	内容	ニュースの紹介と意見①			
19回	テーマ	【ビジネス日本語】社内の交渉①	講義・演習		
	内容	誘いを断る			
20回	テーマ	【スタディ・スキルズ】プレゼンテーション②	講義・演習	新聞記事読解WS⑨ 日本語能力試験問題	60 30
	内容	ニュースの紹介と意見②			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	【ビジネス日本語】社内の交渉②	講義・演習		
	内容	許可を得る			
22回	テーマ	【スタディ・スキルズ】プレゼンテーション③	講義・演習	新聞記事読解WS⑩　日本語能力試験問題	60 30
	内容	ニュースの紹介と意見③			
23回	テーマ	【ビジネス日本語】社内の交渉③	講義・演習		
	内容	ケーススタディ 遅刻の捉え方			
24回	テーマ	【スタディ・スキルズ】日本語能力試験練習	講義・演習	新聞記事読解WS⑪　日本語能力試験問題	60 30
	内容	模擬試験と解説			
25回	テーマ	【ビジネス日本語】敬語表現①	講義・演習		
	内容	敬語の復習			
26回	テーマ	【スタディ・スキルズ】日本語能力試験練習	講義・演習	新聞記事読解WS⑫　日本語能力試験問題	60 30
	内容	聴解			
27回	テーマ	【ビジネス日本語】敬語表現②	講義・演習		
	内容	二重敬語、バイト敬語			
28回	テーマ	【スタディ・スキルズ】日本語能力試験練習	講義・演習	新聞記事読解WS⑬	60
	内容	文法			
29回	テーマ	【ビジネス日本語】敬語表現③　復習とまとめ	講義・演習		
	内容	敬語まとめ			
30回	テーマ	【スタディ・スキルズ】日本語能力試験練習　復習とまとめ	講義・演習	新聞記事読解WS⑭	60
	内容	語彙・読解			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	【ビジネス日本語】	講義・演習		
	内容	復習とまとめ			
32回	テーマ	【スタディ･スキルズ】	講義・演習		
	内容	復習とまとめ			

科目名	専門英語Ⅱ（３整）	開講学年	3	講義コード	2653801	区分	選択
英文表記	English for Aircraft Engineering Ⅱ	開講期	後期	開講形態		単位数	2

担当教員	岩﨑 敏也

研究室	空港キャンパス 整備学教員室	オフィスアワー	火曜日 （集中講義）

メールアドレス	iwasaki@arsp.sojo-u.ac.jp

キーワード	Aviation Maintenance English

授業概要	航空系の企業に就職するためには、より高い英語能力が必要です。そしてより高い英語能力を持てば、自ら就職したい企業の選択度が広がります。 しかし過去の一部の先輩方は、英語の勉強は難しい、つまらない、勉強しても今は英語を使うところがない、英語を勉強する時間がないなどがあるため、英語学習をおろそかにしていました。結果自分の英語能力が上がっていない状態のまま、就活を始めざろうえない状況におかれていました。 この悪いRoutineが繰り返されないようにするため、自らの英語の取り組み経験を皆さんにもShareし、そして皆さんが自ら継続的に英語学習に取り組めるきっかけを付けさせることをこの授業の目的とします。 皆さんの希望があれば、航空無線通信士試験の過去に出題された英文を題材にします。

関連科目
専門英語Ⅰ（整備）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	英語を使うことが楽しくなることができる。
	②	TOEIC L&Rで100点以上向上することができる。
	③	英語を英語のまま理解できる能力をつけさせることができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	40	0	0	0	0	10	50	100

教科書	配布する資料を使用する

参考書	TOEICテスト中学英文法で600点！ アルク 小石裕子 978-4-7574-2809-6 公式TOEIC Listening&Reading問題集 IIBC

予備知識	中学で習う英文法、英単語は少なくても完璧にマスターしていること。
DP との 関連	実務的な英語力の向上によって得られる視野の広がりは豊かな人間性の構築にも大きく寄与します。 課題対応能力が身につきグローバルな環境で活躍する機会はさらに広がります。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	・定期試験は、授業の中で実施した内容で出題し、得点化します。 ・その他は、以下の要領で点数化します。詳しくは最初の授業で話します。 1.主に毎回出す課題について評価（プラス） 2.TOEICのIPテストまたは公式テスト、英検などの受験（プラス） 3.TOEICの点数で自己最高点数を取得したとき(プラス) なお、授業中に授業と関係ないことをしている場合、最大40点まで減点します。(マイナス) ・ポートフォリオは、提出をすることで10点加点します。

学修上の注意 (SBOs)	・英語能力を向上についての大きな目標を持ち、それに向かってください。・日々の学修についても、無理のない小さい目標を持ち、それに向かって勉強をしてください。・英語はCommunication Toolです。海外の文章を読む、英語のYoutubeを見る、人と話したり、メール、チャットをすることで、英語に接することが楽しくなります。自ら英語が楽しめる状況になるように何をしたらよいか考えてください。・従来の学修方法にこだわらず、電子辞書やIT機器を多用し、積極的に翻訳ソフトなどに書けて理解を速めてください。・考えても答えが浮かばないのに、考え続けるのは時間の無駄です。答えが見つかりそうもない場合は、最初から答えを見て勉強することも有効です。・一度覚えたことをどうしたら忘れないようにできるかを自ら考えてください。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	（2コマ分）　オリエンテーションと英語攻略	講義、演習	復習課題を実施	毎日最低10
	内容	・英語攻略法　英文読解　・英語のListeningとReading			
2回	テーマ	（2コマ分）　取り組み紹介と英語攻略	講義、演習	復習課題	毎日最低10
	内容	・課題提出及び紹介(フィードバック)　・英語攻略法　・英語のListeningとReading			
3回	テーマ	（2コマ分）　取り組み紹介と英語攻略	講義、演習	復習課題	毎日最低10
	内容	・課題提出及び紹介(フィードバック)　・英語攻略法　・英語のListeningとReading			
4回	テーマ	（2コマ分）　取り組み紹介と英語攻略	講義、演習	復習課題	毎日最低10
	内容	・課題提出及び紹介(フィードバック)　・英語攻略法　・英語のListeningとReading			
5回	テーマ	（2コマ分）　取り組み紹介と英語攻略	講義、演習	復習課題	毎日最低10
	内容	・課題提出及び紹介(フィードバック)　・英語攻略法　・英語のListeningとReading			
6回	テーマ	（2コマ分）　取り組み紹介と英語攻略	講義、演習	復習課題	毎日最低10
	内容	・課題提出及び紹介(フィードバック)　・英語攻略法　・英語のListeningとReading			
7回	テーマ	（2コマ分）　取り組み紹介と英語攻略	講義、演習	復習課題	毎日最低10
	内容	・課題提出及び紹介(フィードバック)　・英語攻略法　・英語のListeningとReading			
8回	テーマ	試験	試験、講義		
	内容	評価試験　試験のフィードバック			

科目名	専門英語Ⅰ（３微）	開講学年	3	講義コード	2703401	区分	選必
英文表記	English for Biotechnology I	開講期	前期	開講形態		単位数	2
担当教員	太田 一良　長濱 一弘　岡 拓二　笹野 佑　　太田 広人　劉 暁輝　西園 祥子						
研究室	H208			オフィスアワー	担当の先生の指示に従ってください		
メールアドレス	nshoko@bio.sojo-u.ac.jp						
キーワード	バイオテクノロジー　生化学　微生物学　分子生物学　　遺伝子工学						

授業概要

バイオテクノロジー分野では、世界的な視野にたって、先端的な研究成果を速やかに理解でき、それを応用する能力が要求される。そのために英語による専門用語の表現法を身につけ、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を身につける必要がある。そこで、応用微生物工学科の全教員により、生化学、微生物学、分子生物学、遺伝子工学の各専門分野で用いられる英語の表現について解説する。また、専門分野における比較的長い英文の読解力、簡単な英作文の力を養う。 試験結果について、翌週以降の講義でフィードバックを行う。

関連科目

専門英語Ⅱ（微）（3年選択）

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
A/f、F/g	①	応用微生物工学の各専門領域で用いられる英語の表現が理解できる。
A/f、F/g	②	英語論文を読破する素養を身につけることができる。
A/f、F/g	③	応用微生物工学の各専門領域で用いられる簡単な英作文ができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	95	0	0	0	0	0	5	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	バイオテクノロジー領域の基本的な専門用語を用いた英語表現は卒業研究、ゼミナールにおいて必要である。
DP との 関連	「バイオテクノロジーに関する専門知識と技術を有し、それを総合的に応用する能力を有するもの。」および、「国際的な視野とコミュニケーション能力を有するもの。」に関連する科目である。英語による専門用語の表現法を身につけ、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を養う上で必要とされる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	中間テスト2回(95点)およびポートフォリオ（5点）で評価する。その合計が60点以上で合格とし、60点に満たない場合は再試験を実施する。再試験の問題は本試験と異なる課題である。

学修上の注意 (SBOs)	英和辞典を引き、予習すること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	単位とその表現-1	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現の理解と定着をはかる。	60
	内容	数の表現について理解し、専門英語を修得する。			
2回	テーマ	単位とその表現-2	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現の理解と定着をはかる。	60
	内容	単位系について理解し、専門英語を修得する。			
3回	テーマ	物質とその表現-1	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現の理解と定着をはかる。	60
	内容	原子について理解し、専門英語を修得する。			
4回	テーマ	物質とその表現-2	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現の理解と定着をはかる。	60
	内容	原子について理解し、専門英語を修得する。			
5回	テーマ	物質とその表現-3	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現の理解と定着をはかる。	60
	内容	無機、有機化合物名について理解し、専門英語を修得する。			
6回	テーマ	物質とその表現-4	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現の理解と定着をはかる。	60
	内容	試薬、抗生物質、主な生体分子名について理解し、専門英語を修得する。			
7回	テーマ	1から6の総括	講義　試験	（予習）1から6の総括　（復習）中間試験の復習	60
	内容	1から6の総括ならびに中間試験			
8回	テーマ	物質とその表現-5	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現の理解と定着をはかる。	60
	内容	アミノ酸、糖と糖関連物質名について理解し、専門英語を修得する。			
9回	テーマ	物質とその表現-6	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現の理解と定着をはかる。	60
	内容	生化学分野において多用される略号名について理解し、専門英語を修得する。			
10回	テーマ	物質とその表現-7	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現の理解と定着をはかる。	60
	内容	代謝にかかわる用語、化学式と反応式およびコロイドについて理解し、専門英語を修得する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	実験器具-1	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現の理解と定着をはかる。	60
	内容	基本的な実験器具の名前、操作方法（漏斗、ろ過、混合、撹拌、加熱、蒸留）について理解し、専門英語を修得する。			
12回	テーマ	実験器具-2	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現の理解と定着をはかる。	60
	内容	基本的な実験器具の名前、操作方法（洗浄、保存、秤量、ピペット、フラスコ、ビーカー、試験管）について理解し、専門英語を修得する。			
13回	テーマ	実験器具-3	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現の理解と定着をはかる。	60
	内容	基本的なバイオ実験機器、装置、操作方法について理解し、専門英語を修得する。			
14回	テーマ	8から13の総括	講義 試験	（予習）8から13の総括 （復習）中間試験の復習	60
	内容	8から13の総括ならびに中間試験。学生自身による自己評価。			
15回	テーマ	まとめと講評	講義	講義全体における内容の復習	60
	内容	講義全体を通じてのまとめと試験の講評			

科目名	専門英語Ⅱ（３微）	開講学年 3	講義コード 2703501	区分 選必
英文表記	English for Biotechnology II	開講期 後期	開講形態	単位数 2

担当教員	安藤 祥司　浴野 圭輔　三枝 敬明　田口 久貴　　寺本 祐司　原島 俊　田口 久貴　小島 幸治　西園 祥子
研究室	H208
オフィスアワー	担当の先生の指示に従ってください
メールアドレス	nshoko@bio.sojo-u.ac.jp
キーワード	バイオテクノロジー　生化学　微生物学　分子生物学　　遺伝子工学

授業概要

バイオテクノロジー分野では、世界的な視野にたって、先端的な研究成果を速やかに理解でき、それを応用する能力が要求される。そのために英語による専門用語の表現法を身につけ、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を身につける必要がある。そこで、応用微生物工学科の全教員により、生化学、微生物学、分子生物学、遺伝子工学の各専門分野で用いられる英語の表現について解説する。また、専門分野における比較的長い英文の読解力、簡単な英作文の力を養う。 試験結果について、翌週以降の講義でフィードバックを行う。

関連科目

専門英語Ⅱ（微）（3年選択）

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
A/f、F/g	①	応用微生物工学の各専門領域で用いられる英語の表現が理解できる。
A/f、F/g	②	英語論文を読破する素養を身につけることができる。
A/f、F/g	③	応用微生物工学の各専門領域で用いられる簡単な英作文ができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	95	0	0	0	0	0	5	0	100

教科書

『バイオ英語入門』 講談社　池北、田口著

参考書

『新・微生物学』 講談社　別府輝彦
『生化学』 講談社　小野寺一清、蕪山由己人
『分子生物学』 講談社　池上正人、海老原充
『遺伝子工学』 講談社　村山洋ほか

予備知識	バイオテクノロジー領域の基本的な専門用語を用いた英語表現は卒業研究、ゼミナールにおいて必要である。
DP との 関連	「バイオテクノロジーに関する専門知識と技術を有し、それを総合的に応用する能力を有するもの。」および、「国際的な視野とコミュニケーション能力を有するもの。」に関連する科目である。英語による専門用語の表現法を身につけ、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を養う上で必要とされる。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	中間テスト2回(95点)およびポートフォリオ（5点）で評価する。その合計が60点以上で合格とし、60点に満たない場合は再試験を実施する。再試験の問題は本試験と異なる課題である。

学修上の注意 (SBOs)	英和辞典を引き、予習すること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	生化学における英語表現-1	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現を理解し、定着をはかる。	60
	内容	細胞の構造とDNA,RNAの基礎について理解し、専門英語を修得する。			
2回	テーマ	生化学における英語表現-2	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現を理解し、定着をはかる。	60
	内容	酵素反応とエネルギー代謝について理解し、専門英語を修得する。			
3回	テーマ	生化学における英語表現-3	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現を理解し、定着をはかる。	60
	内容	解糖系について理解し、専門英語を修得する。			
4回	テーマ	生化学における英語表現-4	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現を理解し、定着をはかる。	60
	内容	TCA回路について理解し、専門英語を修得する。			
5回	テーマ	生化学における英語表現-5	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現を理解し、定着をはかる。	60
	内容	神経について理解し、専門英語を修得する。			
6回	テーマ	生化学における英語表現-6	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現を理解し、定着をはかる。	60
	内容	ホルモンについて理解し、専門英語を修得する。			
7回	テーマ	1から6の総括	講義　試験	（予習）1から6の総括（復習）中間試験の復習	60
	内容	1から6の総括ならびに中間試験			
8回	テーマ	細胞工学における英語表現-1	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現を理解し、定着をはかる。	60
	内容	微生物、植物細胞培養とカルス培養細胞融合について理解し、専門英語を修得する。			
9回	テーマ	細胞工学における英語表現-2	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現を理解し、定着をはかる。	60
	内容	モノクローナル抗体ならびにトランスジェニック生物について理解し、専門英語を修得する。			
10回	テーマ	遺伝子工学における英語表現-1	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現を理解し、定着をはかる。	60
	内容	遺伝子の複製と発現について理解し、専門英語を修得する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	遺伝子工学における英語表現-2	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現を理解し、定着をはかる。	60
	内容	プラスミドについて理解し、専門英語を修得する。			
12回	テーマ	遺伝子工学における英語表現-3	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現を理解し、定着をはかる。	60
	内容	制限酵素について理解し、専門英語を修得する。			
13回	テーマ	遺伝子工学における英語表現-4	講義	（予習）該当するテキストの内容を読み、必要な表現を理解する。（復習）必要な表現を理解し、定着をはかる。	60
	内容	DNAの解析技術について理解し、専門英語を修得する。			
14回	テーマ	8から13の総括	講義 試験	（予習）8から13の総括 （復習）中間試験の復習	60
	内容	8から13の総括ならびに中間試験。学生自身による自己評価。			
15回	テーマ	まとめと講評	講義	講義全体における内容の復習	60
	内容	講義全体を通じてのまとめと試験の講評			
16回	テーマ	講義全体の復習	講義	講義を通して間違いが多かった項目の復習	60
	内容	講義を通じて間違いが多かった項目の復習			